

第3回
國學院大學
卒業生調査報告書

目 次

第1章 調査概要.....	1
調査の目的.....	1
調査の概要.....	1
能力フレーム.....	2
留 意 点.....	2
第2章 調査結果.....	5
問1 属性.....	5
問2 学修方法.....	10
問3 学修の成果.....	24
問4 大学の満足度.....	48
問5 就業状況.....	57
問6 学生時代に身についたと思う能力.....	67
問7 本校および在校生へのメッセージ.....	111
第3章 経年比較.....	133
問2 学修方法.....	133
問3 学修の成果.....	147
問6 学生時代に身についたと思う能力.....	165

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

調査の目的

國學院大學での学びが、卒業後どのように活かされているかを検証するため、複数年度に渡る卒業生を対象として、アンケート調査を実施する。在学中の学修経験、大學満足度、現在の就業状況など卒業生の実態を把握し、本学における学びの在り方について検討する材料とする。

調査の概要

調査対象、方法及び配布回収の状況等は以下のとおりである。

図表 1-1 調査概要

調査名	第3回 國學院大學卒業生調査
調査対象	本学の卒業生のうち、平成19年度・27年度・28年度・29年度に卒業した全学部の者（二部の卒業生も含む。ただし卒業時において日本国内の在住を把握している者。）
調査方法	インターネット上のアンケートに各自アクセスして回答。調査ページのアドレスはハガキに記載し、全員に郵送配布。
抽出方法	該当年度の卒業生について全数抽出
調査期間	平成30年12月10日～平成31年1月7日(29日間)
配布回収	配布:8,643票 有効配布:8,386票(宛先不明257) 回収:1,323票 有効回収率:15.8%
質問項目	問1 属性／問2 学修科目等／問3 学修の成果／問4 大学の満足度／問5 就業状況／問6 学生時代に身についたと思う能力／問7 本校および在校生へのメッセージ

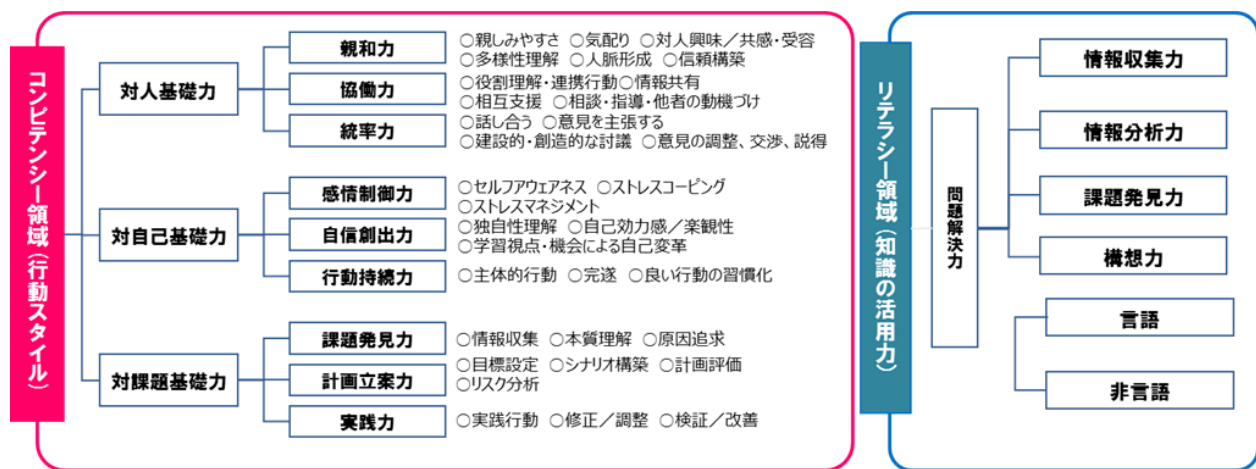
能力フレーム

本調査・分析企画のベースとなる能力要素は、下記の「社会で求められる能力要素」を活用する調査・分析企画となっている。

この能力要素の特徴は、

- ① すでに産業界からのニーズを検証済み。
 - ② ダブリ・重なりがなく、体系として既に纏めている。
 - ③ 独自のライブラリーとして、詳細な要素の内容／記述化されたレベル内容を構築済み。
- となっており、下記の能力要素の構築時の知見やノウハウを活用した企画となっている。

図表 1-2 リテラシーとコンピテンシーの領域



留意点

- グラフ中の n は回答者の総数、クロス集計にある () 内の数字は各項目の回答者数である。
- 小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- クロス集計においては、表側の項目は無回答を除いているため、合計した値は全体に一致しないものがある。
- 図表タイトルの S A はシングルアンサーの略で、選択肢から 1 つだけ選ぶ設問である。MA はマルチアンサーの略で、複数選択する設問である。F A はフリーアンサーの略で、自由記入形式で回答する設問である。

第2章 調査結果

第2章 調査結果

問1 属性

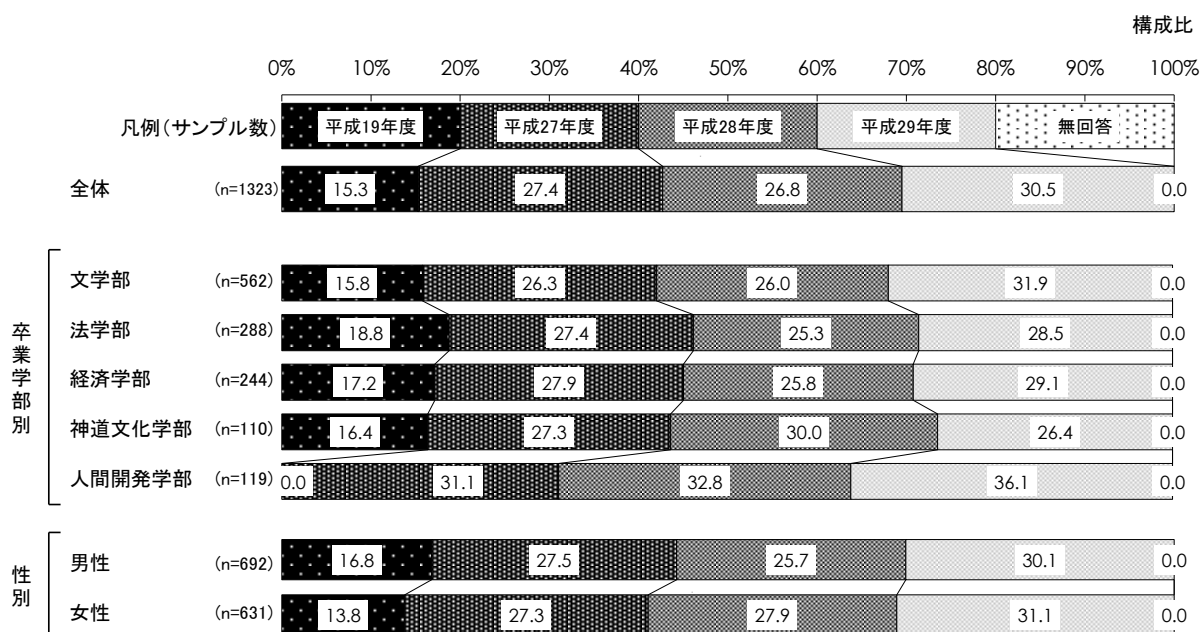
1. 卒業された年度をお答えください。

卒業年度は、「平成29年度」が30.5%と最も多く3割程度を占めている。次いで「平成27年度」(27.4%)、「平成28年度」(26.8%)の順で続き、全体の4分の1程度を占めている。一方、「平成19年度」は15.3%と2割弱にとどまる。

卒業学部別にみると、文学部、法学部、経済学部、人間開発部は「平成29年度」、神道文化学部は「平成28年度」がそれぞれ最も多く、学部により傾向が異なる。また人間開発学部については、「平成18年度」の卒業生は含まれていない。

性別にみると、「平成29年度」は男性が30.1%、女性は31.1%と男女共に3割を占め、他の年度よりも割合が高くなっている。

図表2-1 卒業年度 (SA)



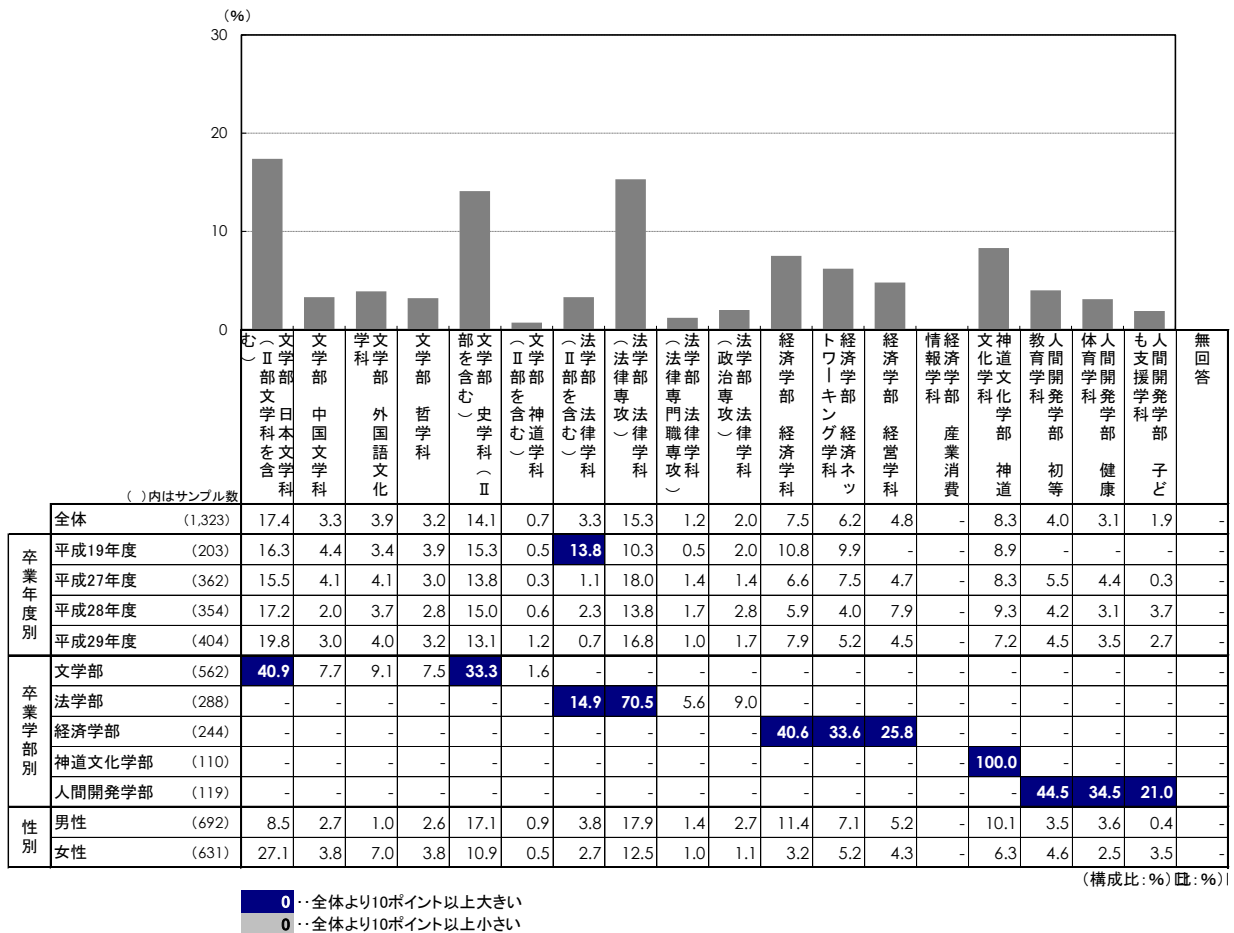
2. 卒業された学部・学科をお答えください。

卒業学部・学科は「文学部 日本文学学科（Ⅱ部文学科を含む）」が最も多く17.4%、次いで「法学部 法律学科（法律専攻）」が15.3%、「文学部 史学科（Ⅱ部を含む）」が14.1%となっている。また、「経済学部 産業消費情報学科」は0%と卒業生からの回答はなかった。

卒業年度別にみると、いずれの年度にも「経済学部 産業消費情報学科」は含まれていないが、その他、平成19年度卒業生には「経済学部 経営学科」、「人間開発学部 初等教育学科」、「人間開発学部 健康体育学科」「人間開発学部 子ども支援学科」が含まれておらず、年度によって構成が異なる点に注意する必要がある。

性別にみると、男性は「法学部 法律学科（法律専攻）」が17.9%で最も多く、次いで「文学部 史学科（Ⅱ部を含む）」が17.1%などの割合が高いのに対し。女性は「文学部 日本文学学科（Ⅱ部文学科を含む）」が27.1%で、全体の3分の1を超えている。

図表2-2 卒業学部・学科（SA）



3. 年齢をお答えください。(2018年4月1日現在でお答えください。)

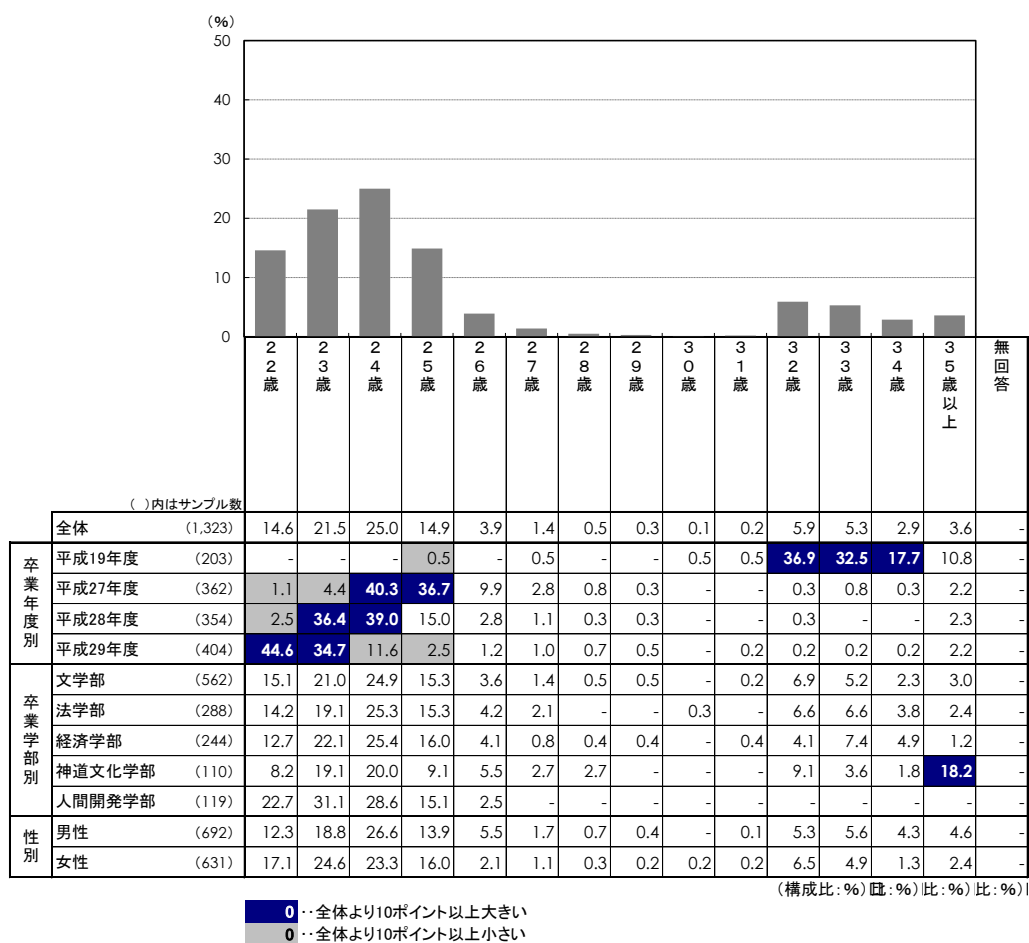
年齢は「24歳」が最も多く25.0%と2割以上を占めている。次いで「23歳」が21.5%と約2割、「25歳」が14.9%と「22歳」が14.6%でともに約1割以上となっている。回答が正規分布しないのは、調査対象者の抽出年度が非連続であることが一因である。

卒業年度別にみると、平成19年度卒業生では「32歳」「33歳」「34歳」が多い。同様に、平成27年度卒業生では「24歳」と「25歳」、平成28年度卒業生では「23歳」と「24歳」、平成29年度卒業生では「22歳」と「23歳」がそれぞれ多くなっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「23歳」が31.1%と3割以上を占めている。また神道文化学部は、「35歳以上」が18.2%となっており、他学部に比べ年齢が高い傾向がみられる。

性別では、男性は「24歳」が26.6%、女性は「23歳」が24.6%と最も多い。

図表2-3 年齢(SA)



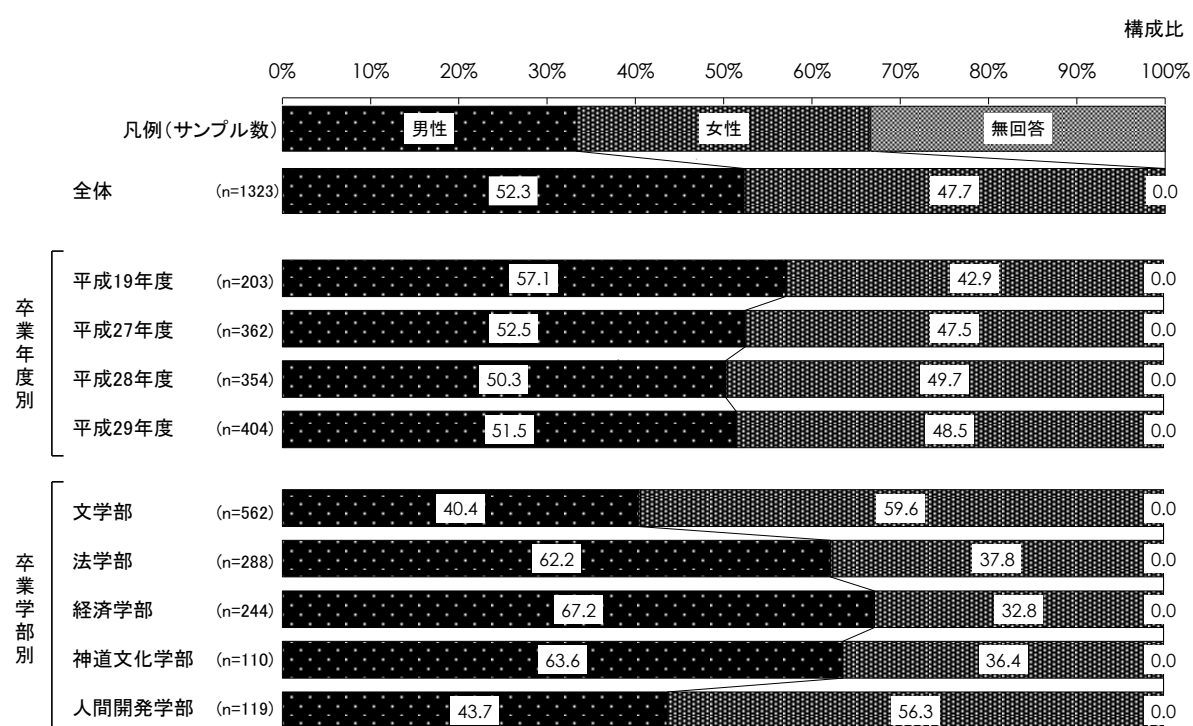
4. 性別をお答えください。(1つ選択)

性別は、「男性」が52.3%、「女性」が47.7%で、男性の回答が女性を上回っている。

卒業年度別にみても、いずれも「男性」の割合が「女性」を上回っている。

卒業学部別にみると、文学部と人間開発学部は「女性」の割合が「男性」を上回っており、それぞれ59.6%、56.3%となっている。

図表2-4 性別 (SA)



5. 現在の居住地をお答えください。

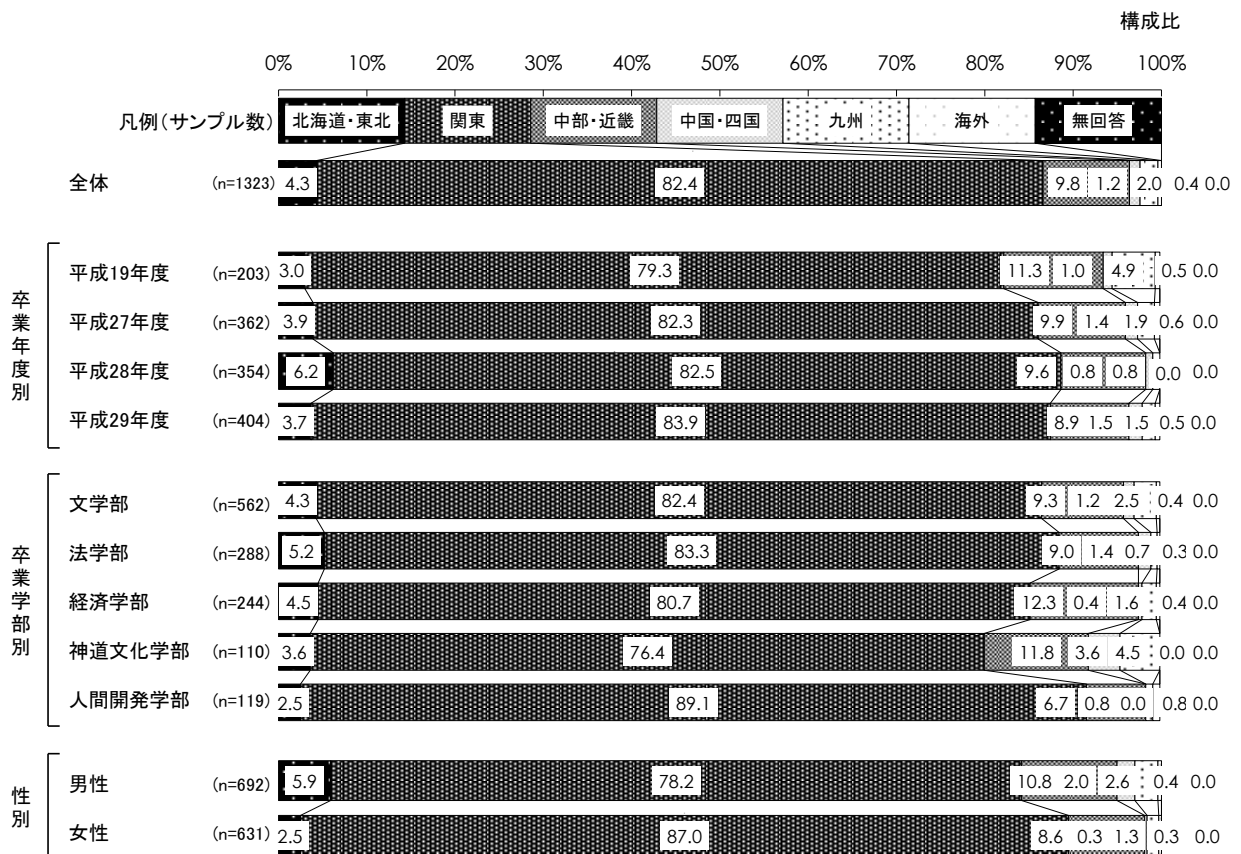
居住地は「関東」が最も多く 82.4%、次いで「中部・近畿」が 9.8%、「北海道・東北」が 4.3% などの順となっている。

卒業年度別にみると、いずれの年度も「関東」、「中部・近畿」、「北海道・東北」の順となっている。

卒業学部別にみると、経済学部において、他学部に比べて「中部・近畿」の割合が 12.3% と高いのが特徴である。

性別でみると、男女ともに「関東」、「中部・近畿」、「北海道・東北」の順となっているが、女性の方が男性より「関東」の割合が 8.8 ポイント高くなっている。

図表 2-5 居住地 (SA)



問2 学修方法

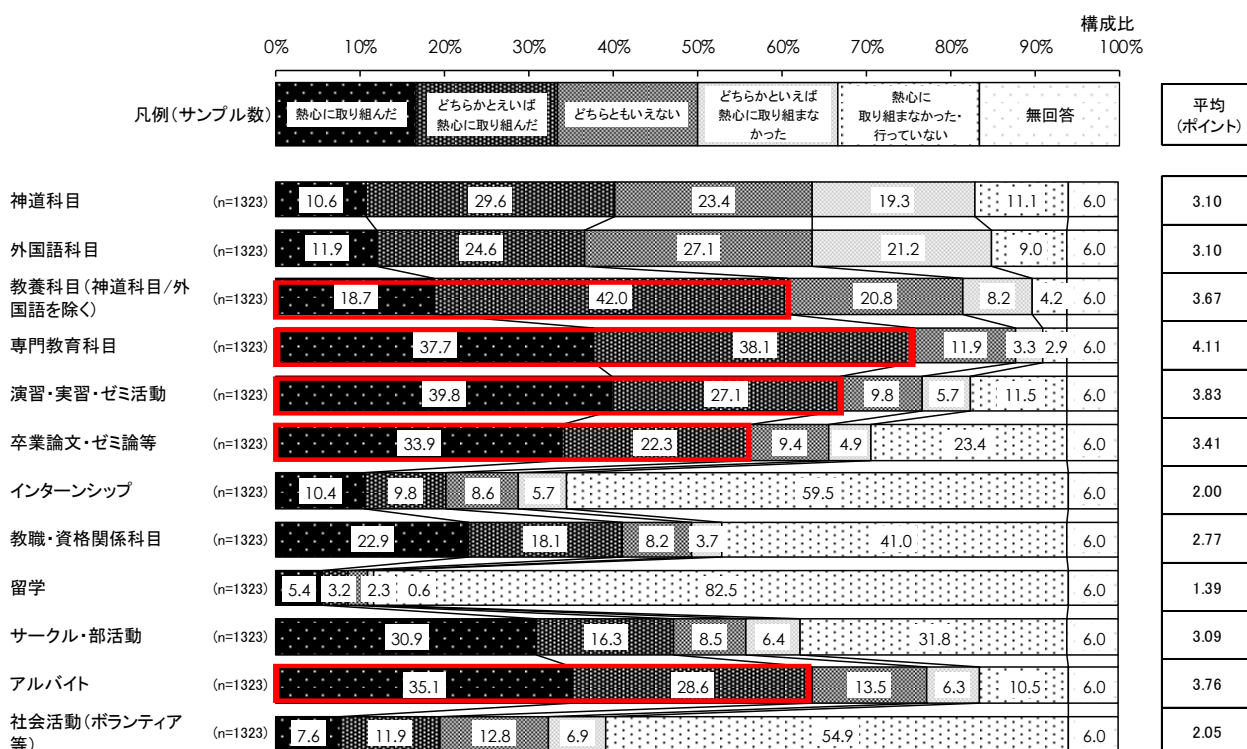
1. 学生時代の学修等への取組状況をお答えください。(それぞれ1つ選択)

科目別に取組状況を見ると、「熱心に取り組んだ」と「どちらかといえば熱心に取り組んだ」を合わせた割合が高いのは、[専門教育科目]が最も高く75.8%、次いで[演習・実習]が66.9%、[教養科目（神道科目/外国語を除く）]が60.7%などの順となっている。

加重平均をみると、最も点数が高いのは[専門教育科目]で4.11ポイント、次いで、[演習・実習]が3.83ポイント[教養科目（神道科目/外国語を除く）]が3.67ポイントなどの順となっている。

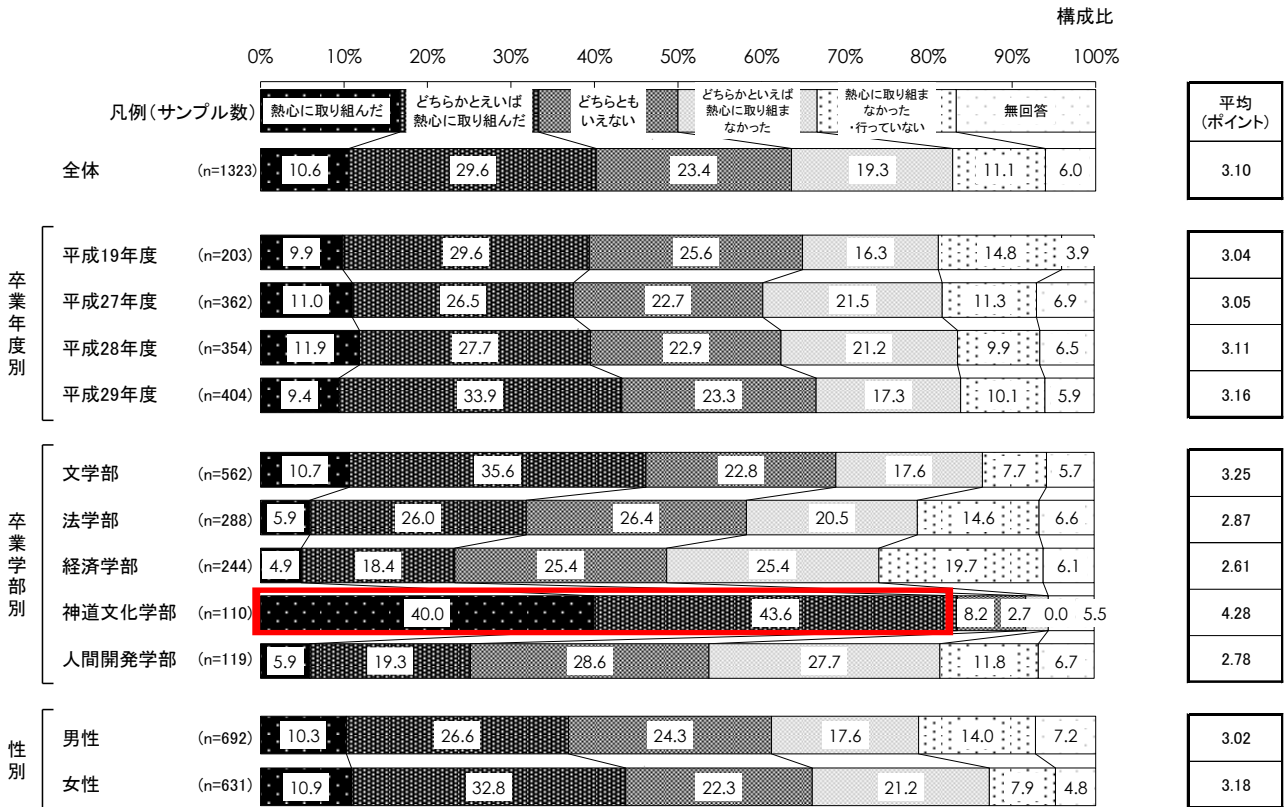
逆に点数が最も低いのは[留学]で1.39ポイント、次いで[インターンシップ]が2.00ポイント、[社会活動（ボランティア等）]が2.05ポイントなどの順となっている。

図表2-6 取組状況（S A）

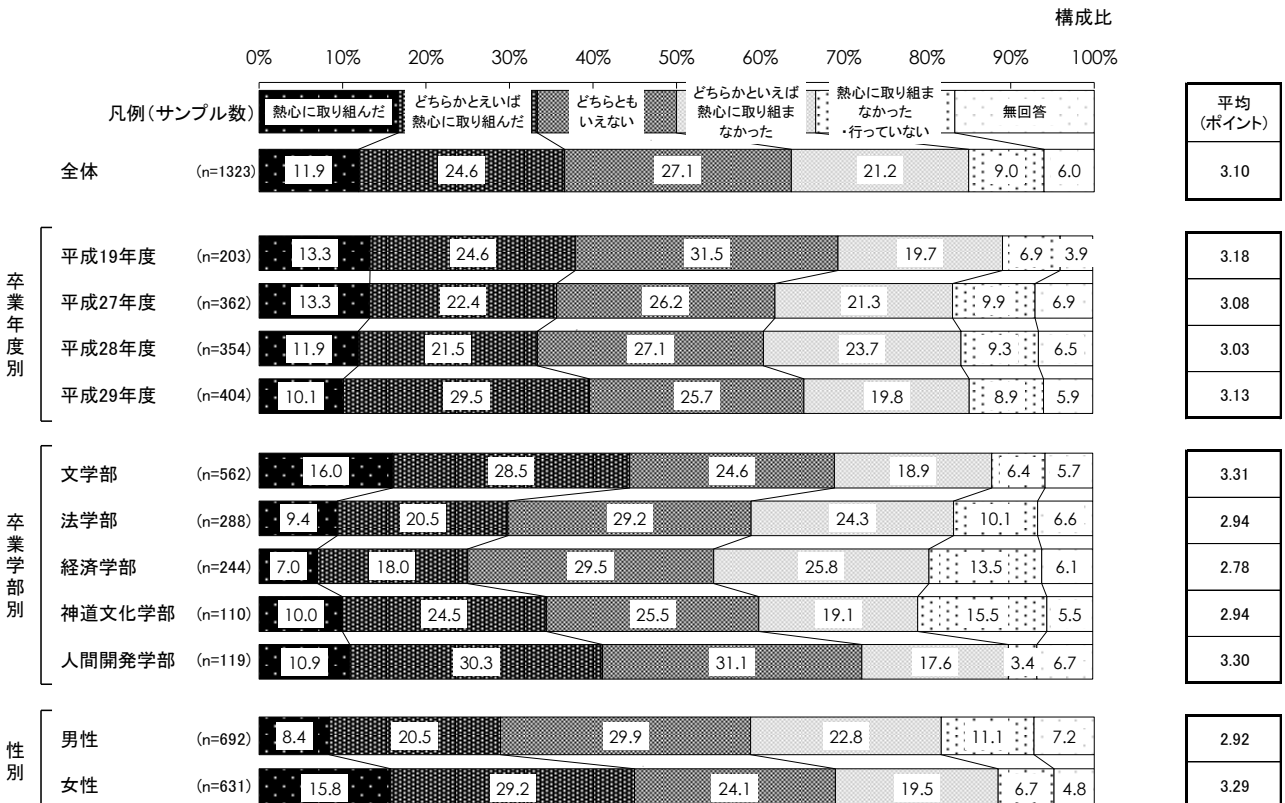


※「熱心に取り組んだ」5ポイント、「どちらかといえば熱心に取り組んだ」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば熱心に取り組まなかった」2ポイント、「熱心に取り組まなかった・行ってない」1ポイントで平均を抽出。

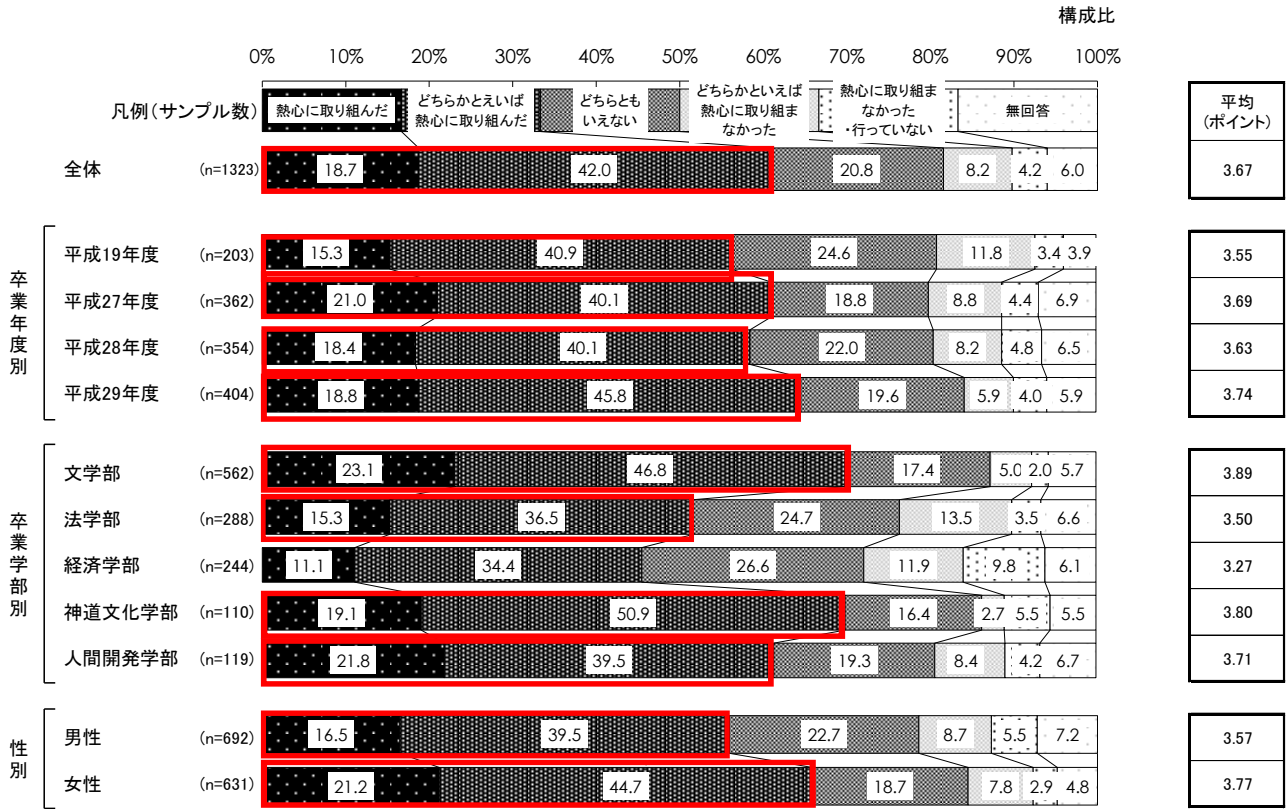
図表 2-7 神道科目 (SA)



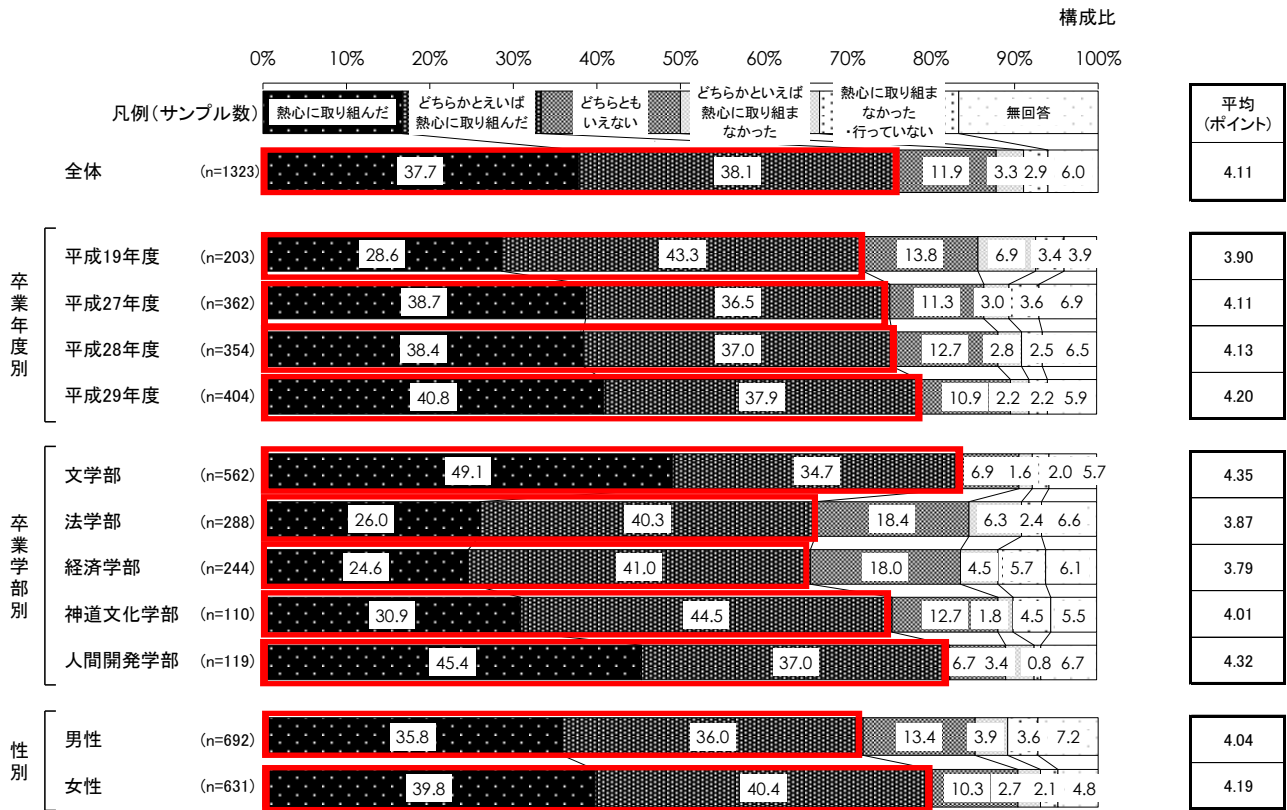
図表 2-8 外国語科目 (SA)



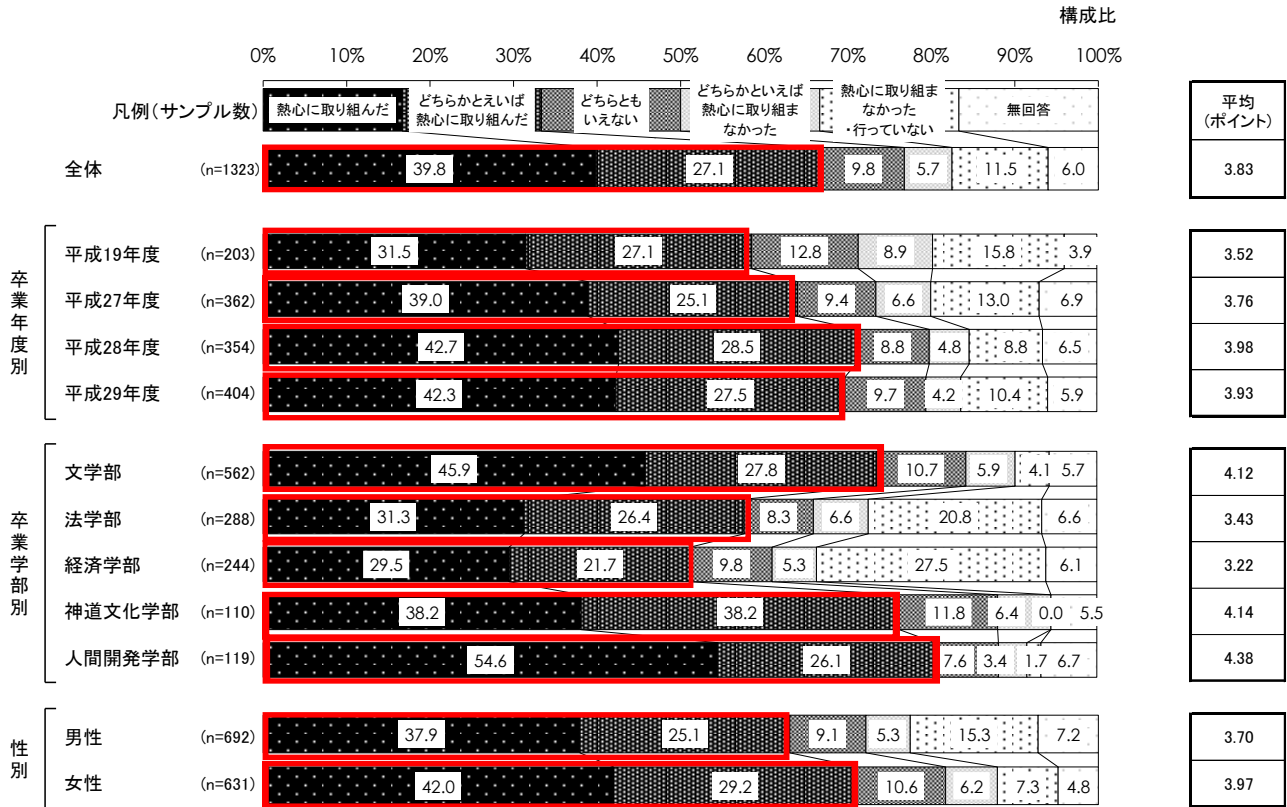
図表 2-9 教養科目（神道科目/外国語を除く）（SA）



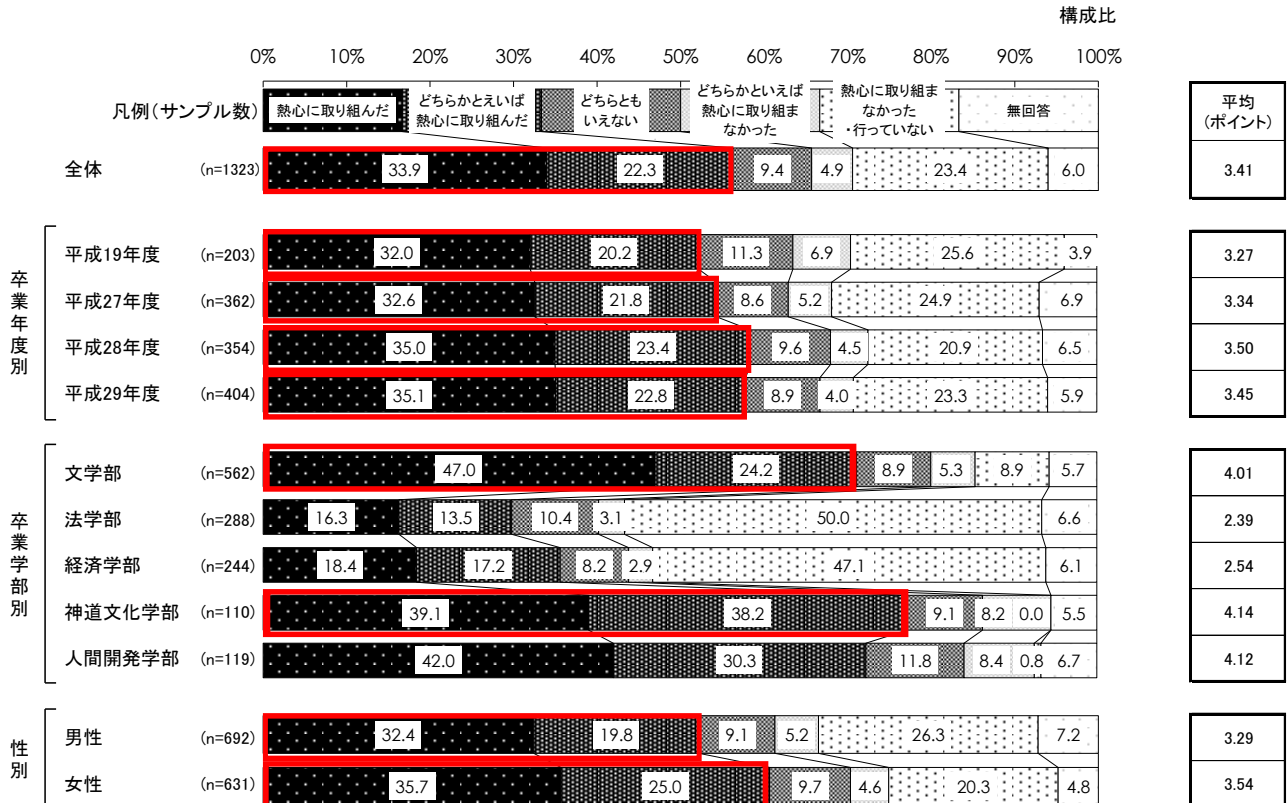
図表 2-10 専門教育科目（SA）



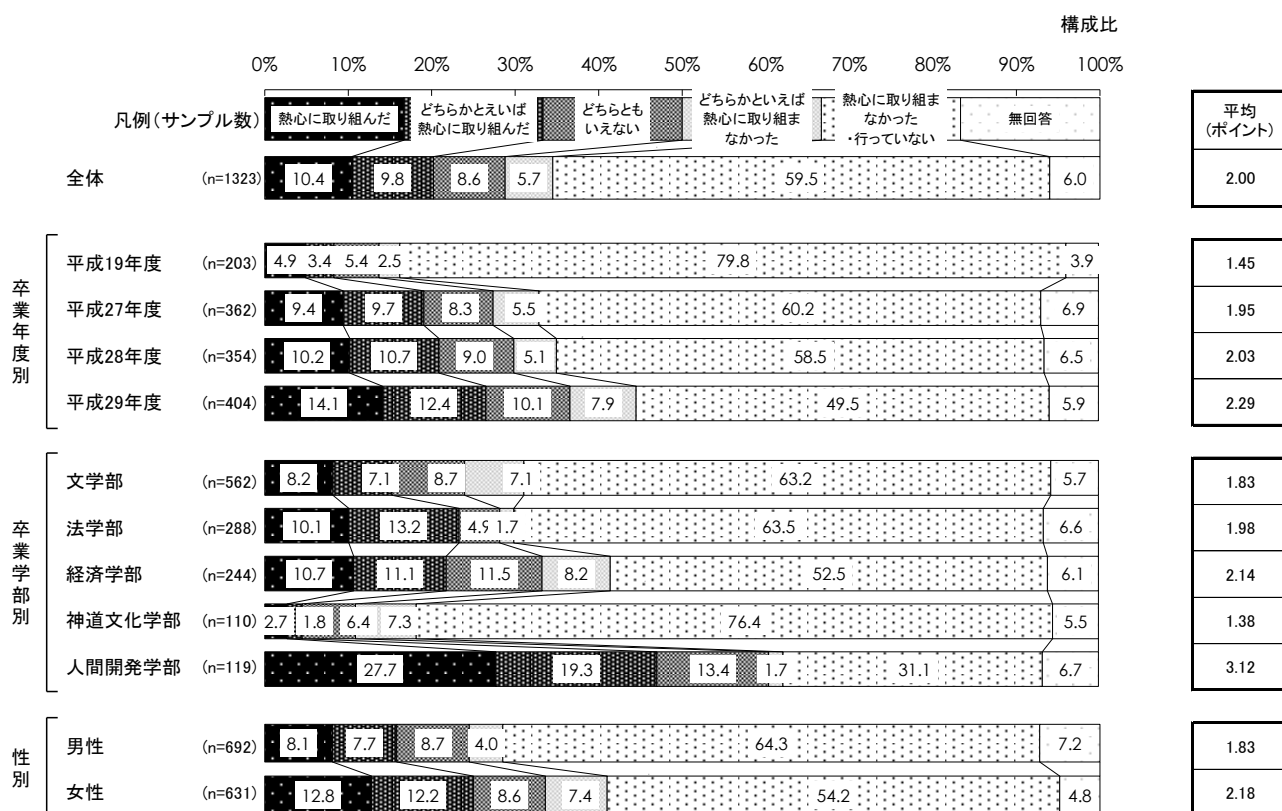
図表 2-11 演習・実習・ゼミ活動 (SA)



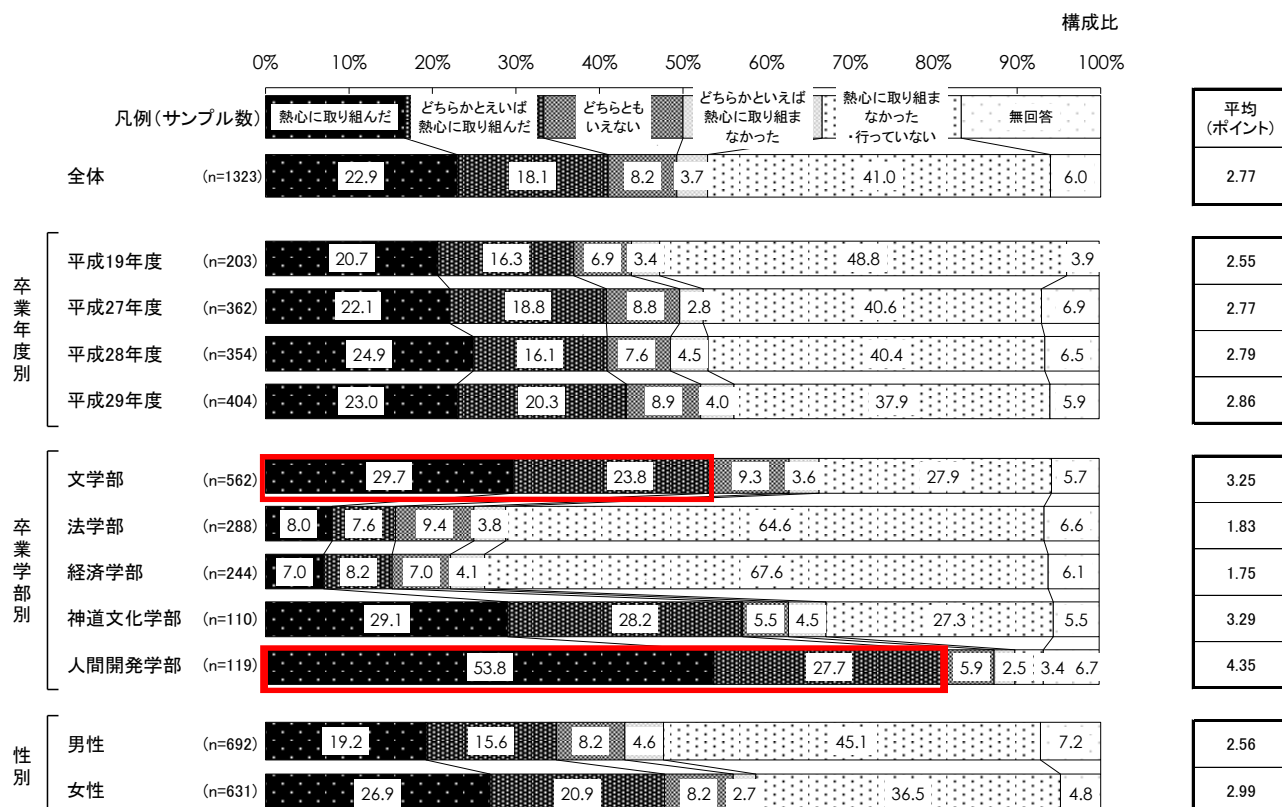
図表 2-12 卒業論文・ゼミ論等 (SA)



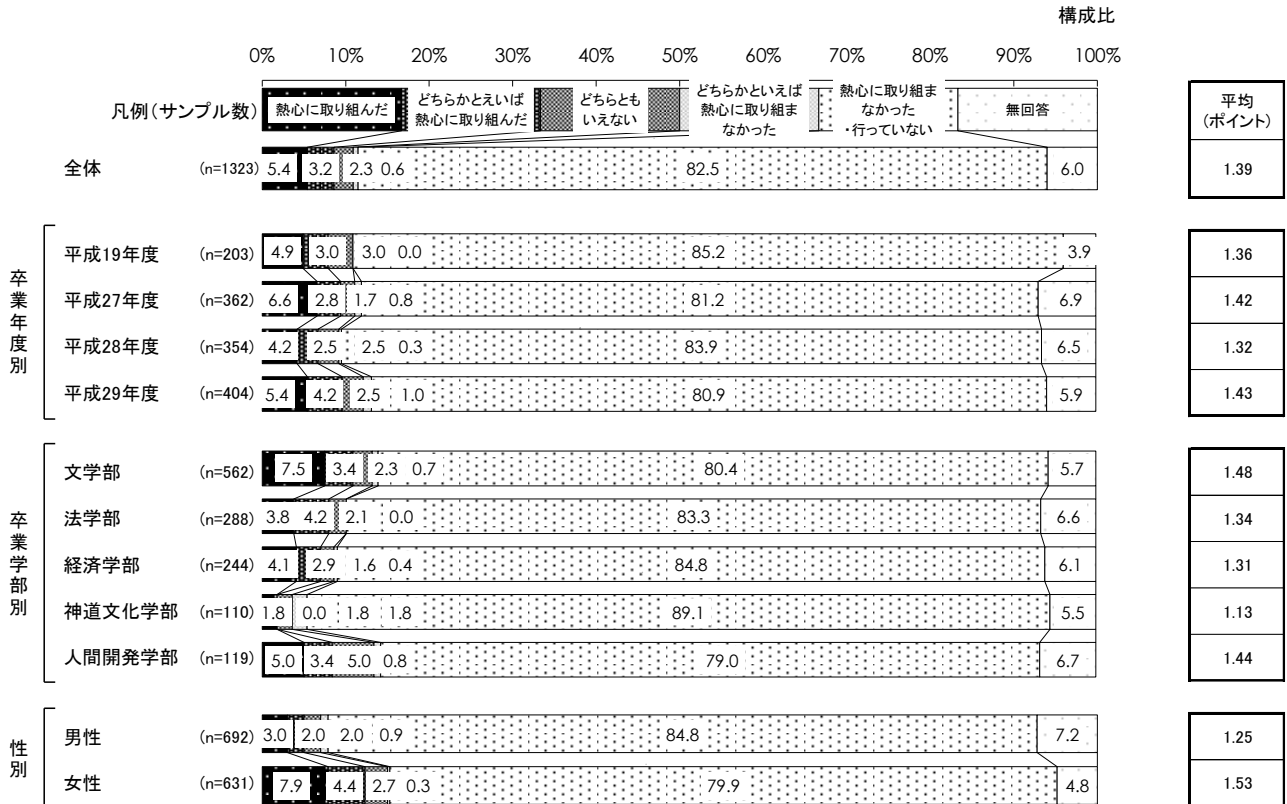
図表 2-13 インターンシップ (SA)



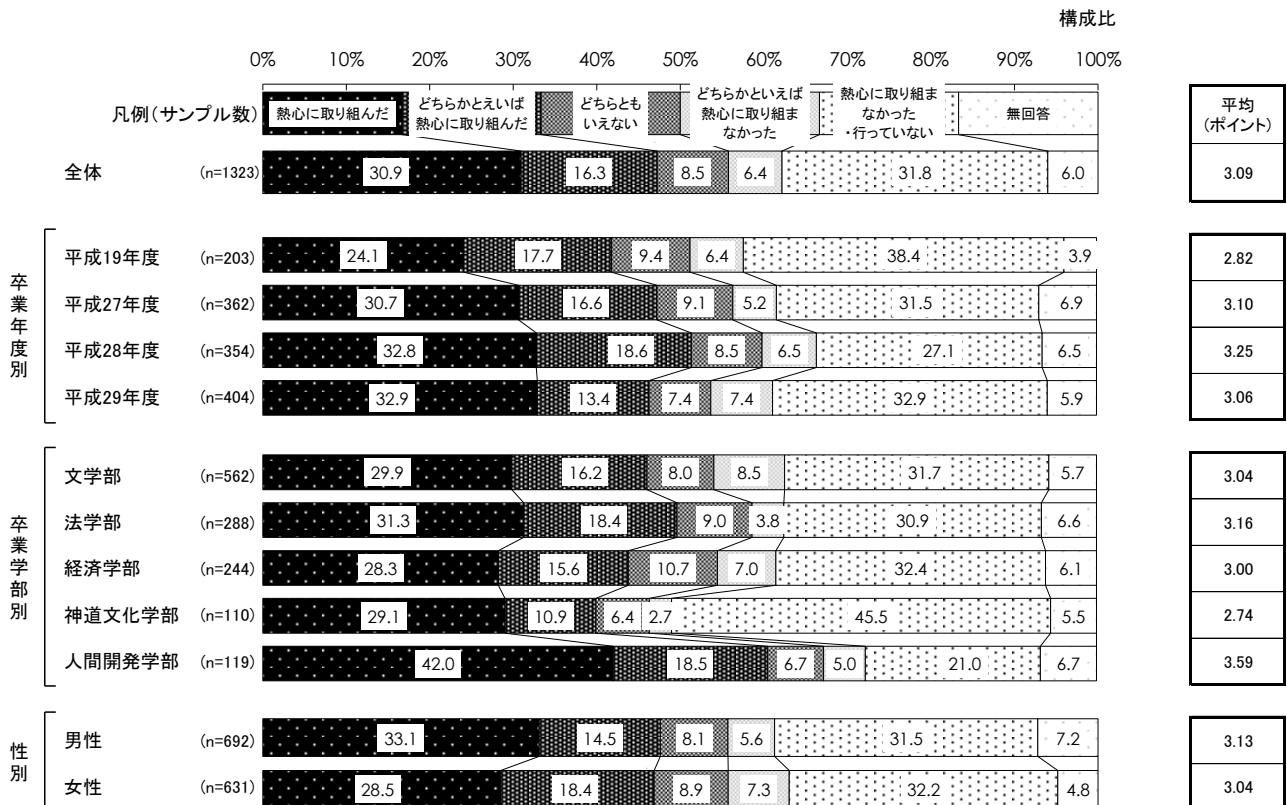
図表 2-14 教職・資格関係科目 (SA)



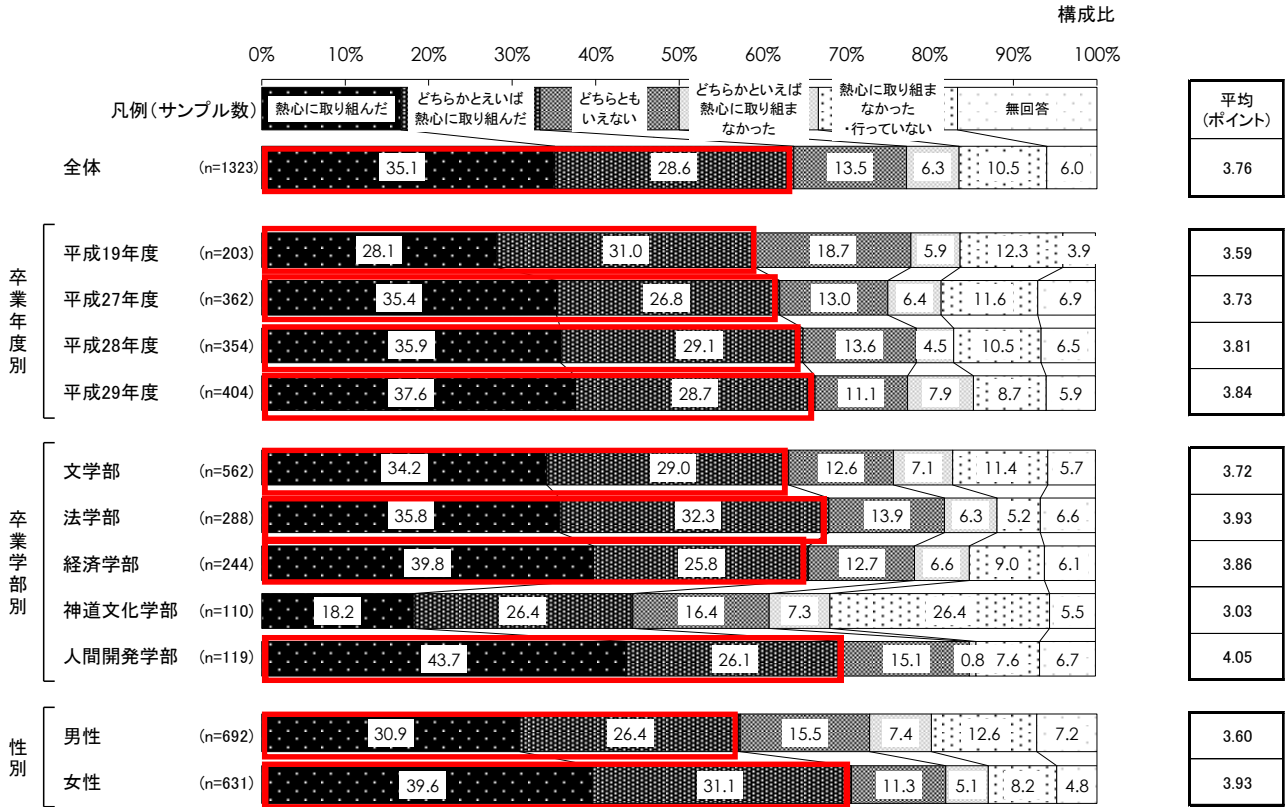
図表 2-15 留学 (SA)



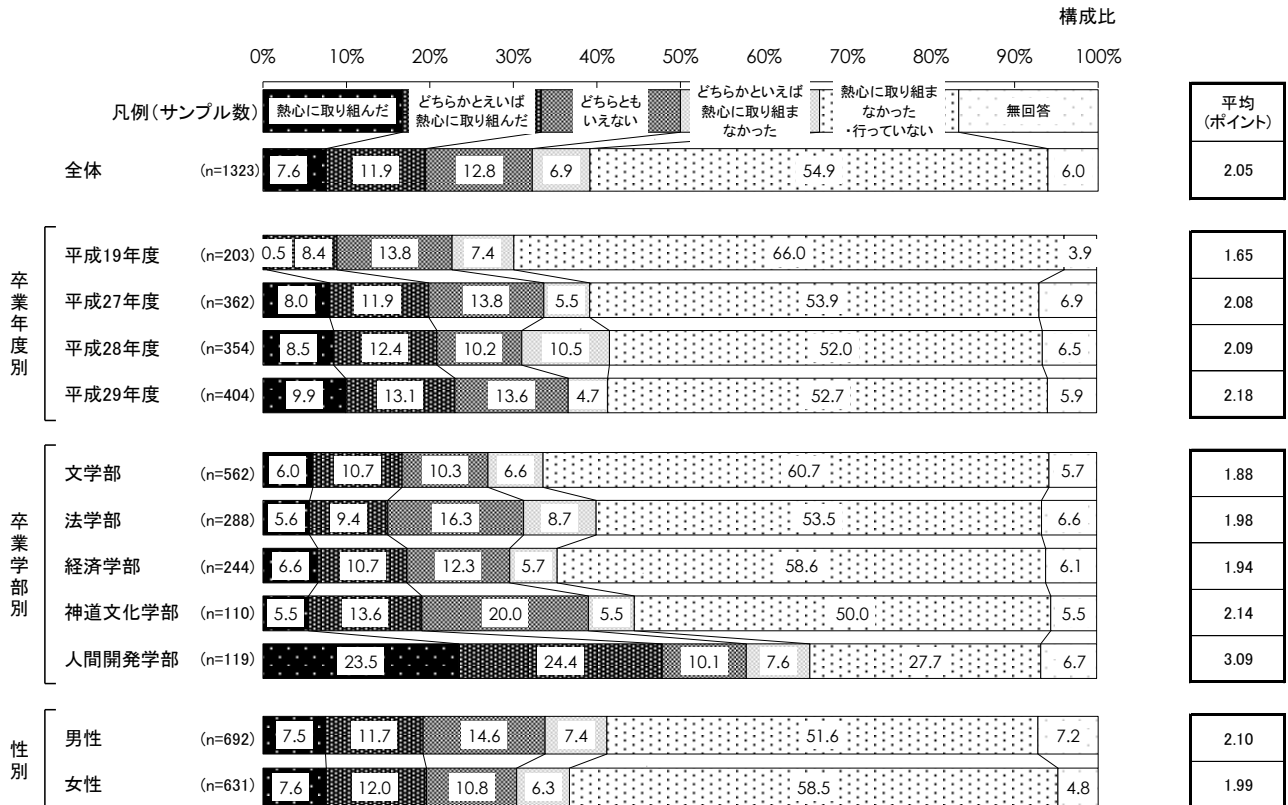
図表 2-16 サークル・部活動 (SA)



図表2-17 アルバイト (SA)



図表2-18 社会活動(ボランティア等) (SA)



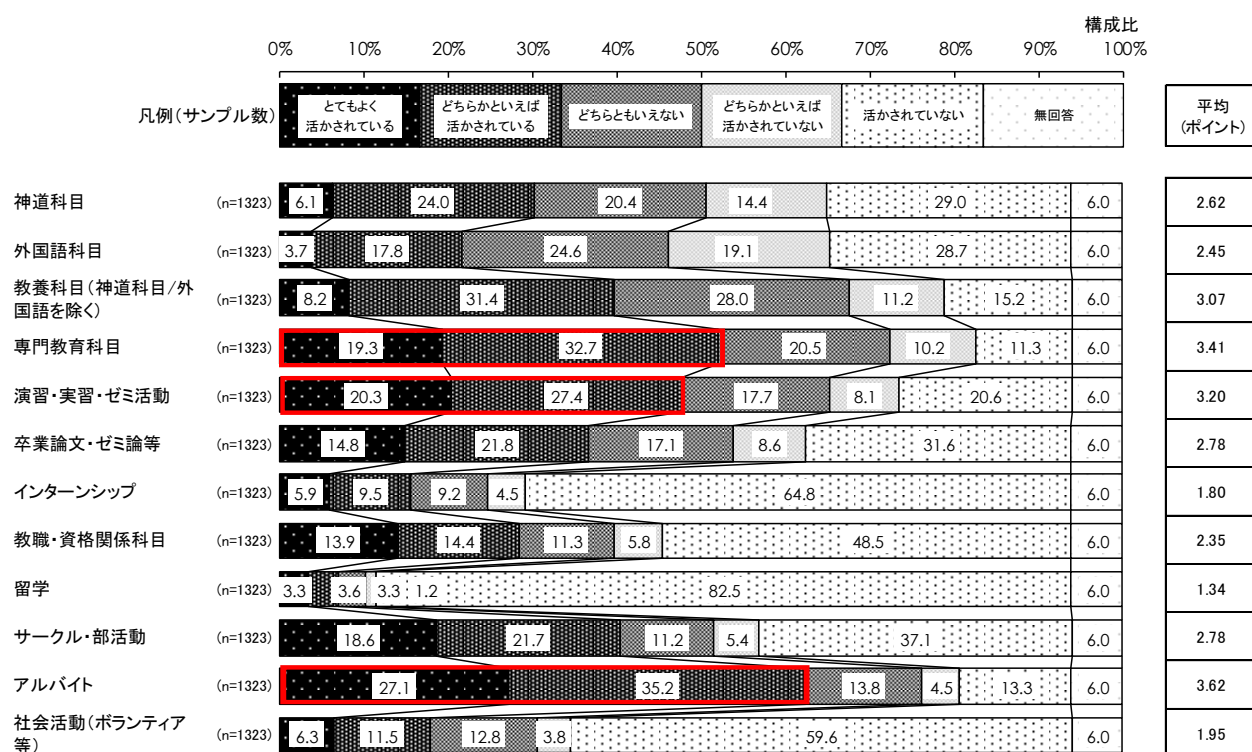
2. 学生時代に学修したことや取り組んだことは、現在の社会人生活でどの程度活かされていますか。(それぞれ1つ選択)

社会人生活での活用の度合いは、「とてもよく活かされている」と「どちらかといえば活かされている」を合わせた割合が高いのは、[アルバイト]が最も高く 62.3%、次いで[専門教育科目]が 52.0%、[演習・実習]が 47.7%などの順となっている。

加重平均すると、最も点数が高いのは[アルバイト]で 3.62 ポイント、次いで[専門教育科目]が 3.41 ポイント、[演習・実習]が 3.20 ポイントなどの順となっている。

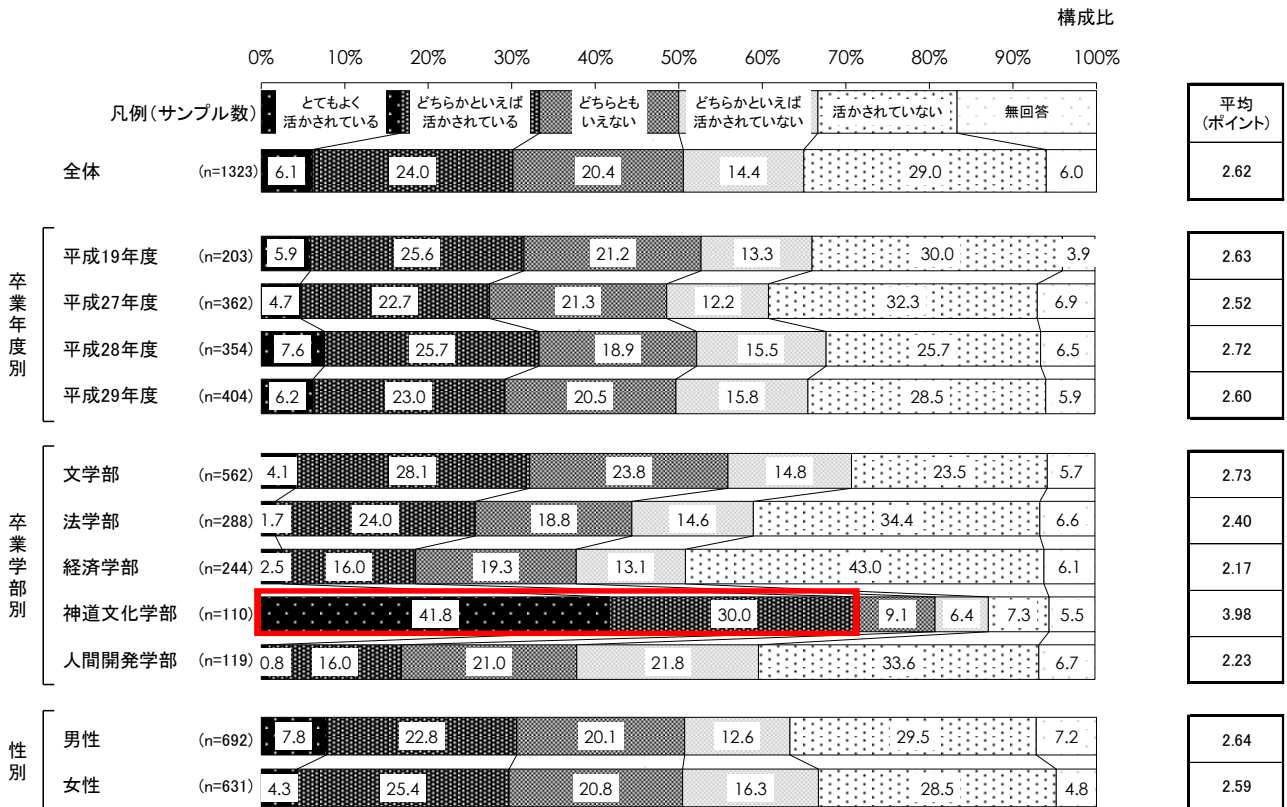
逆に点数が最も低いのは[留学]で 1.34 ポイント、次いで[インターンシップ]が 1.80 ポイント、[社会活動（ボランティア等）]が 1.95 ポイントなどの順となっている。

図表 2-19 現在の社会人生活での活用の度合い（SA）

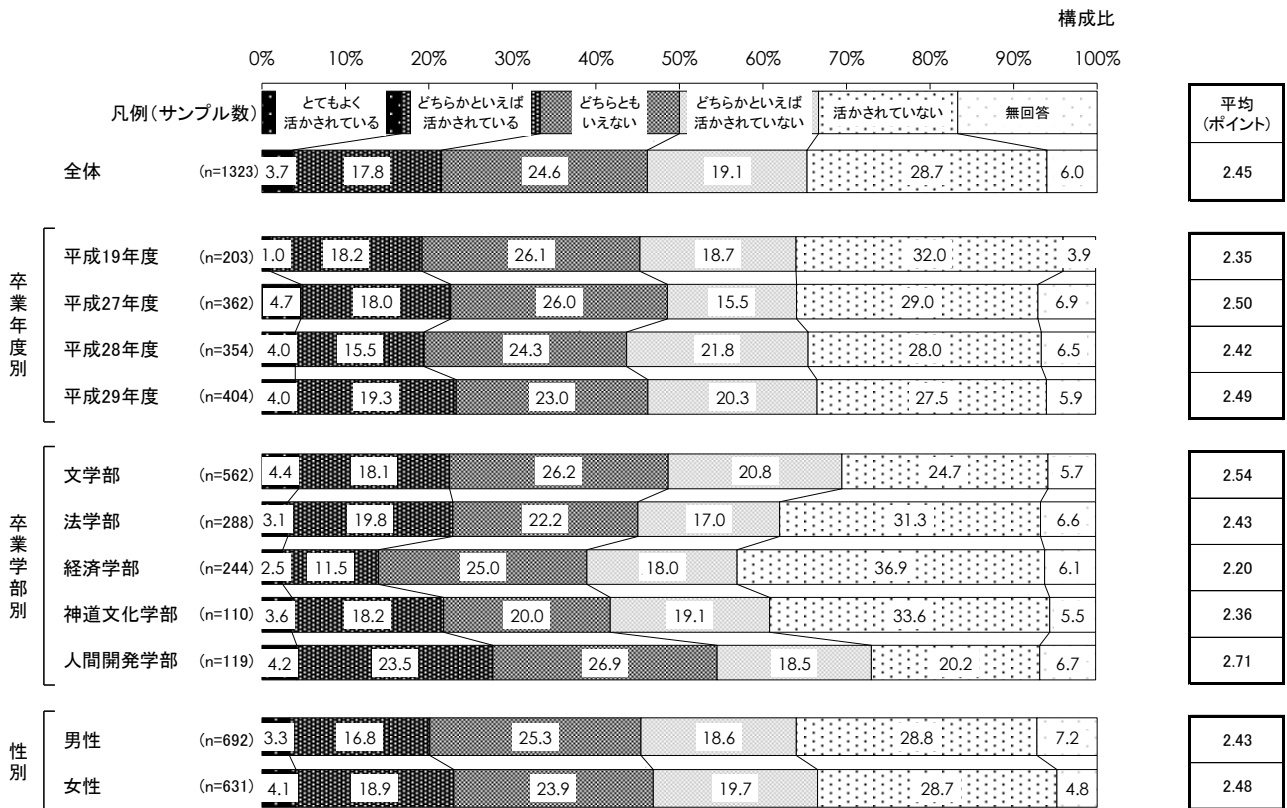


※「とてもよく活かされている」5ポイント、「どちらかといえば活かされている」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば活かされていない」2ポイント、「活かされていない」1ポイントで平均を抽出。

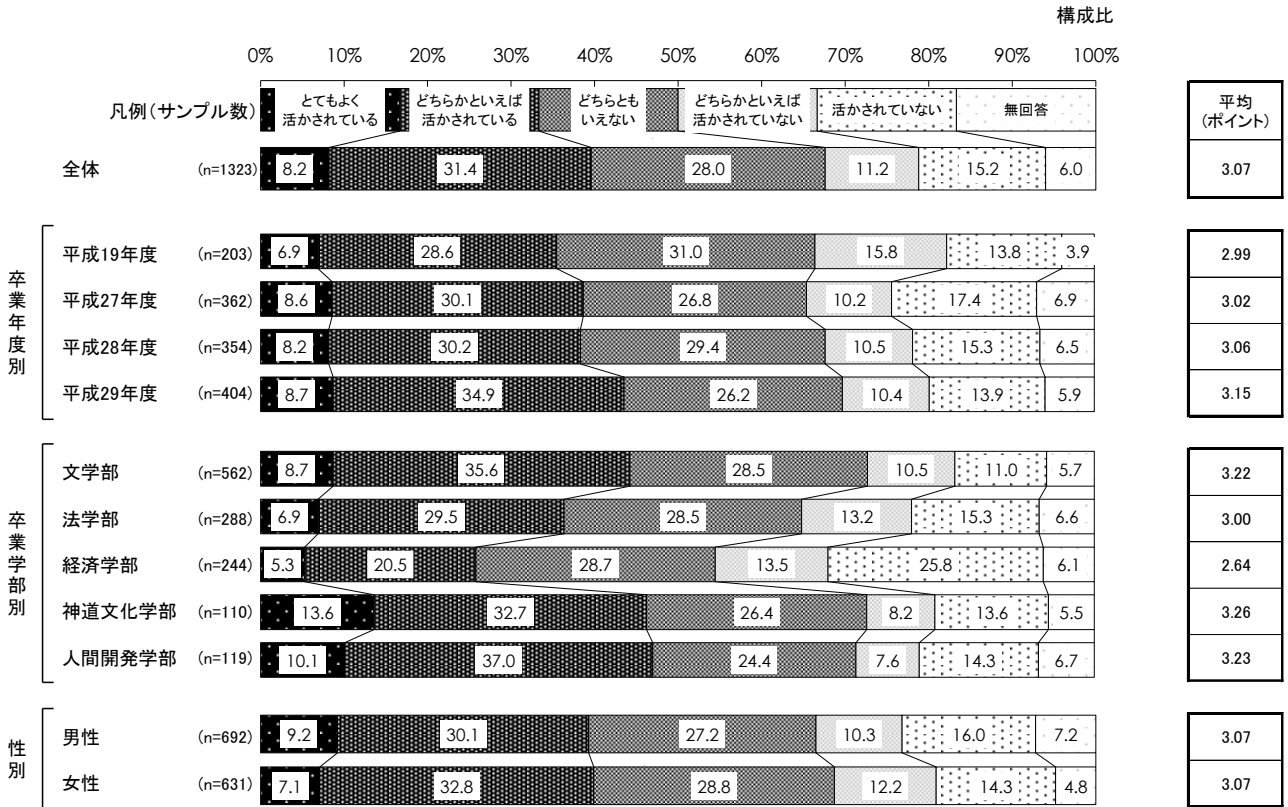
図表 2-20 神道科目 (SA)



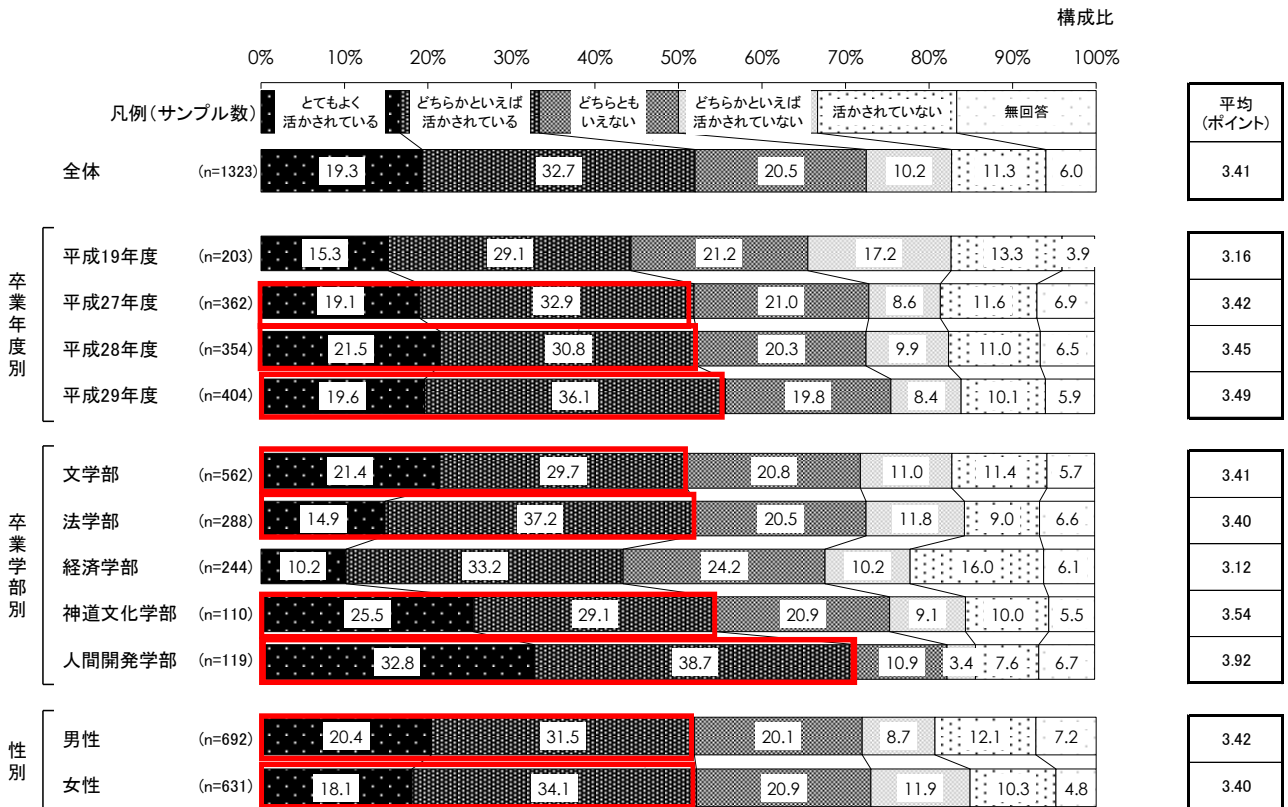
図表 2-21 外国語科目 (SA)



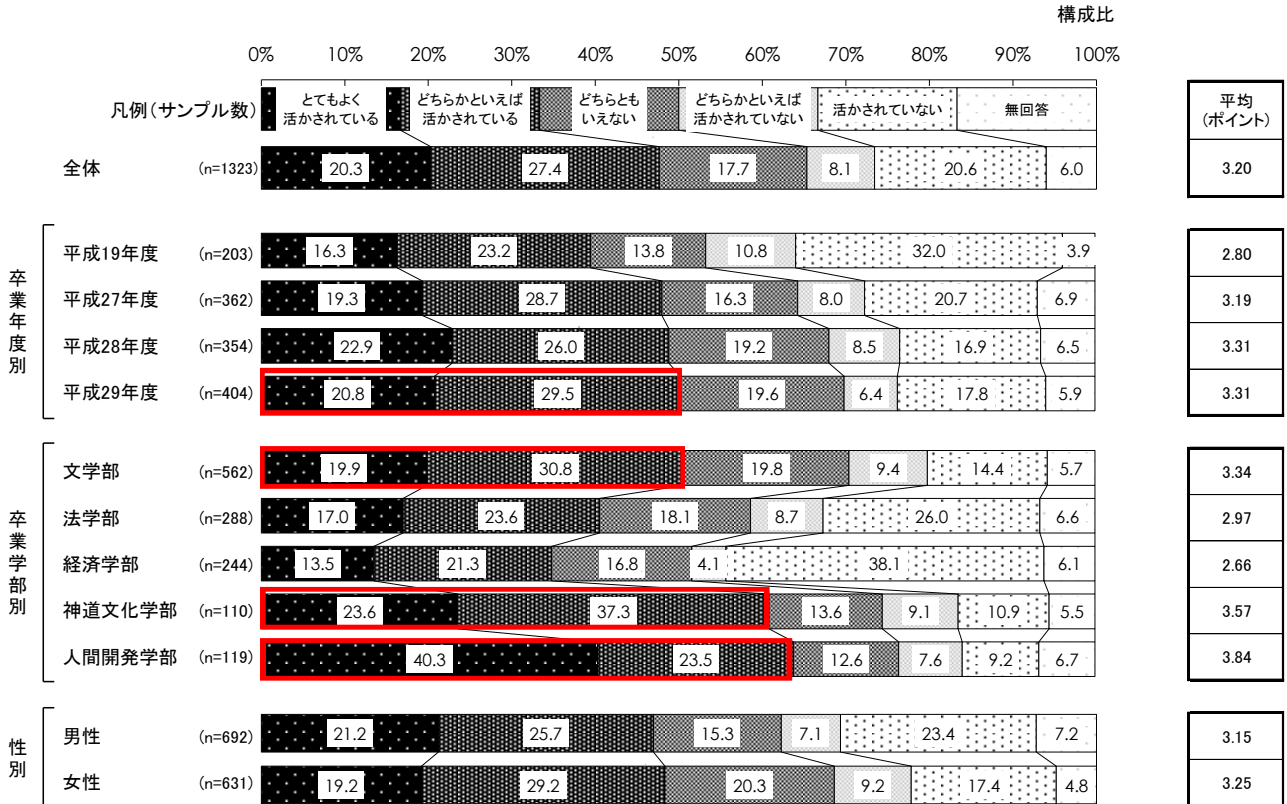
図表 2-22 教養科目（神道科目/外国語科目を除く）（SA）



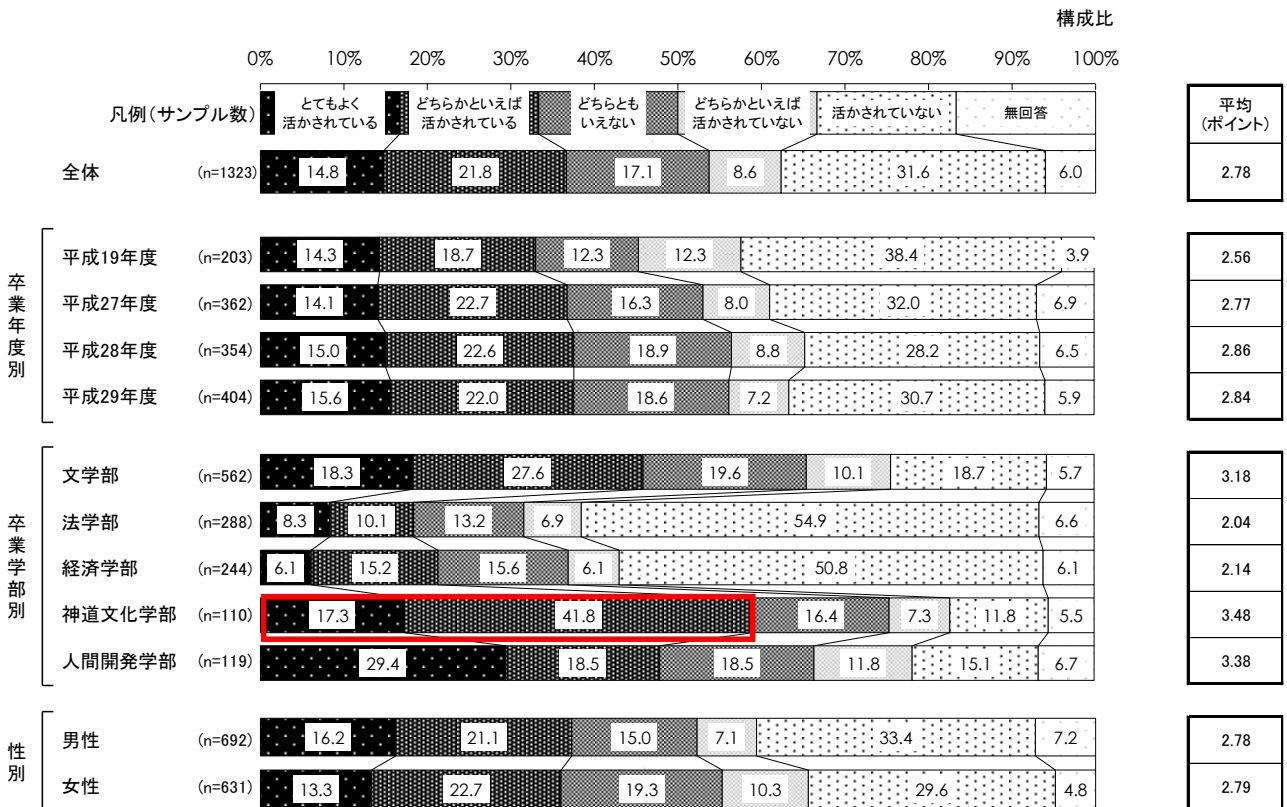
図表 2-23 専門教育科目（SA）



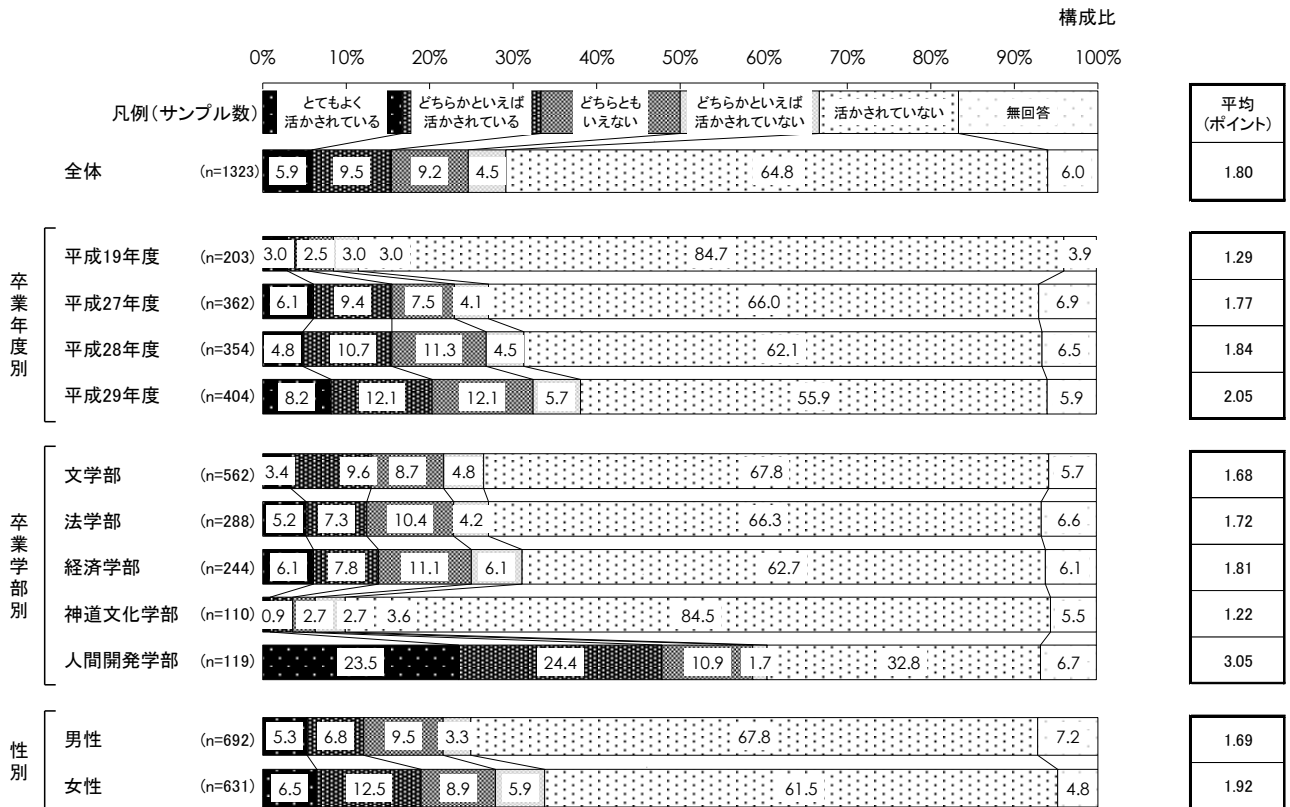
図表 2-24 演習・実習・ゼミ活動 (SA)



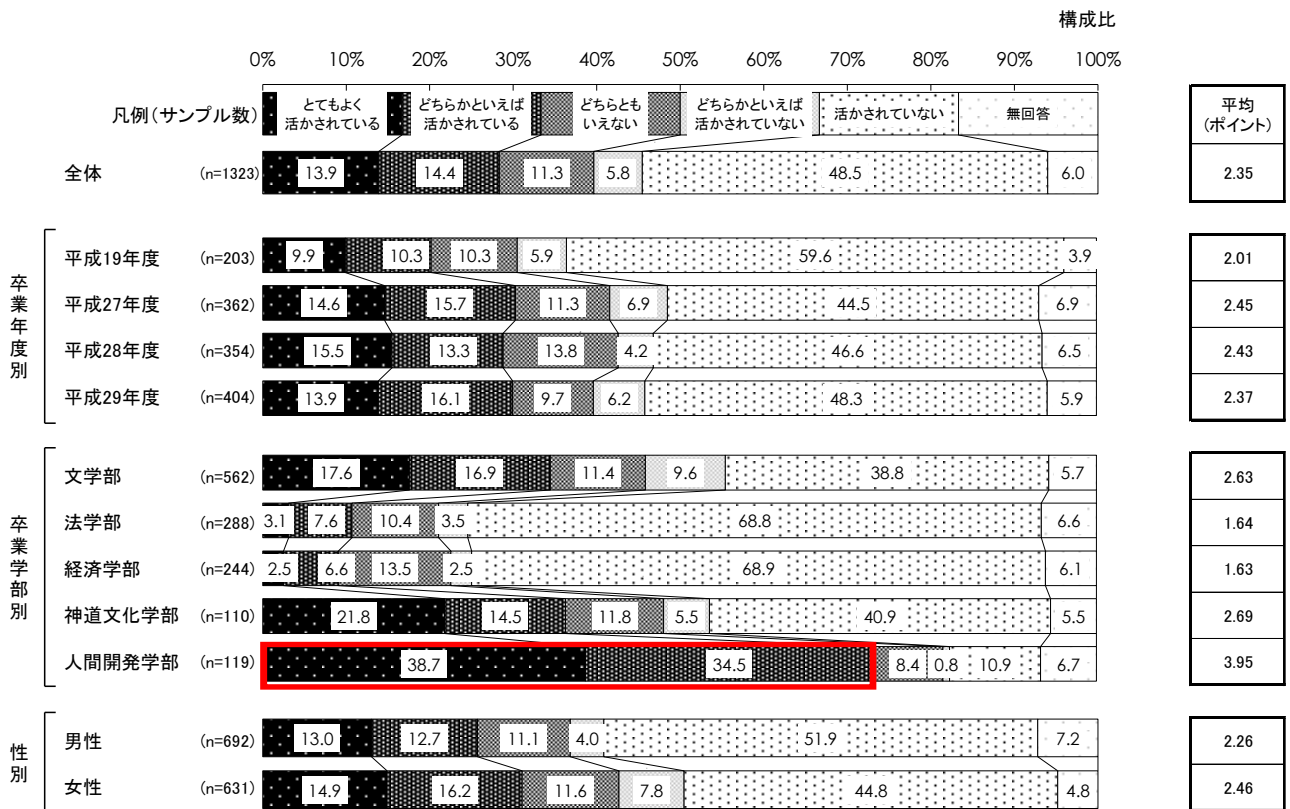
図表 2-25 卒業論文・ゼミ論等 (SA)



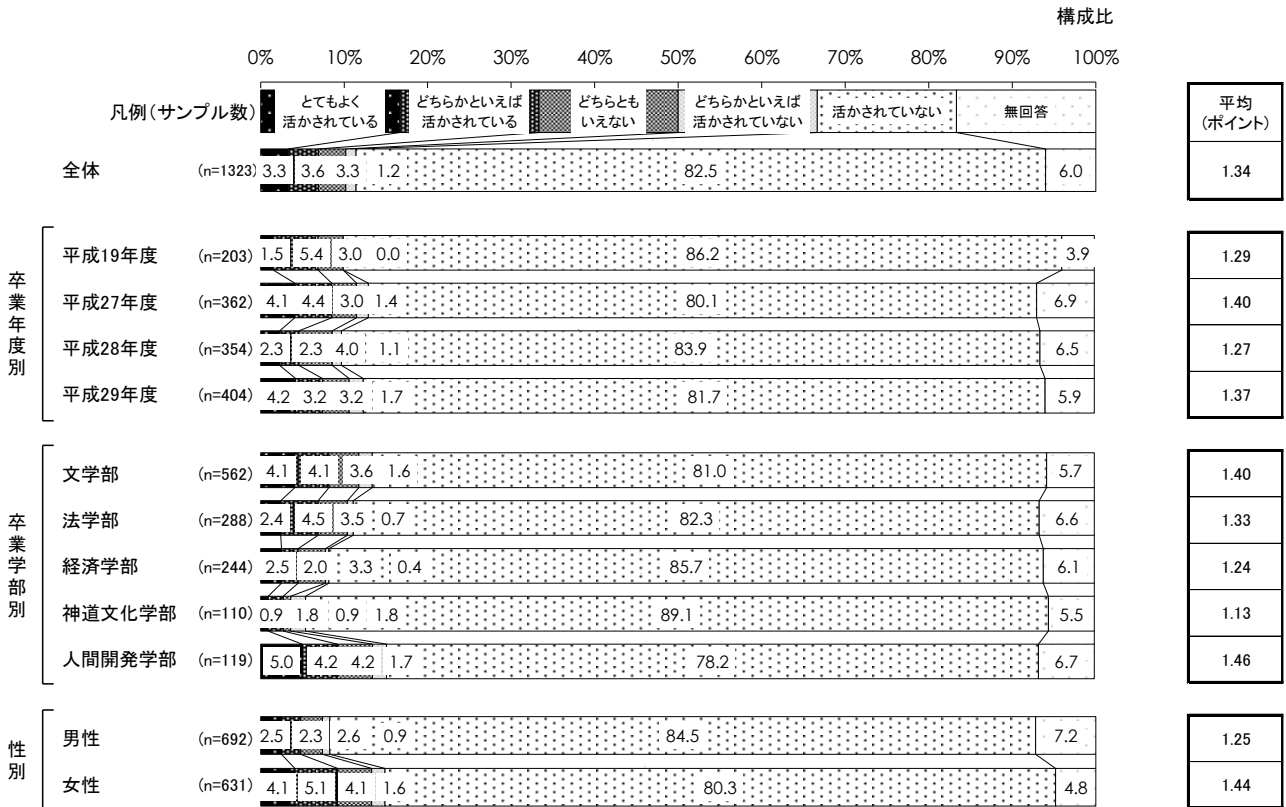
図表 2-26 インターンシップ (SA)



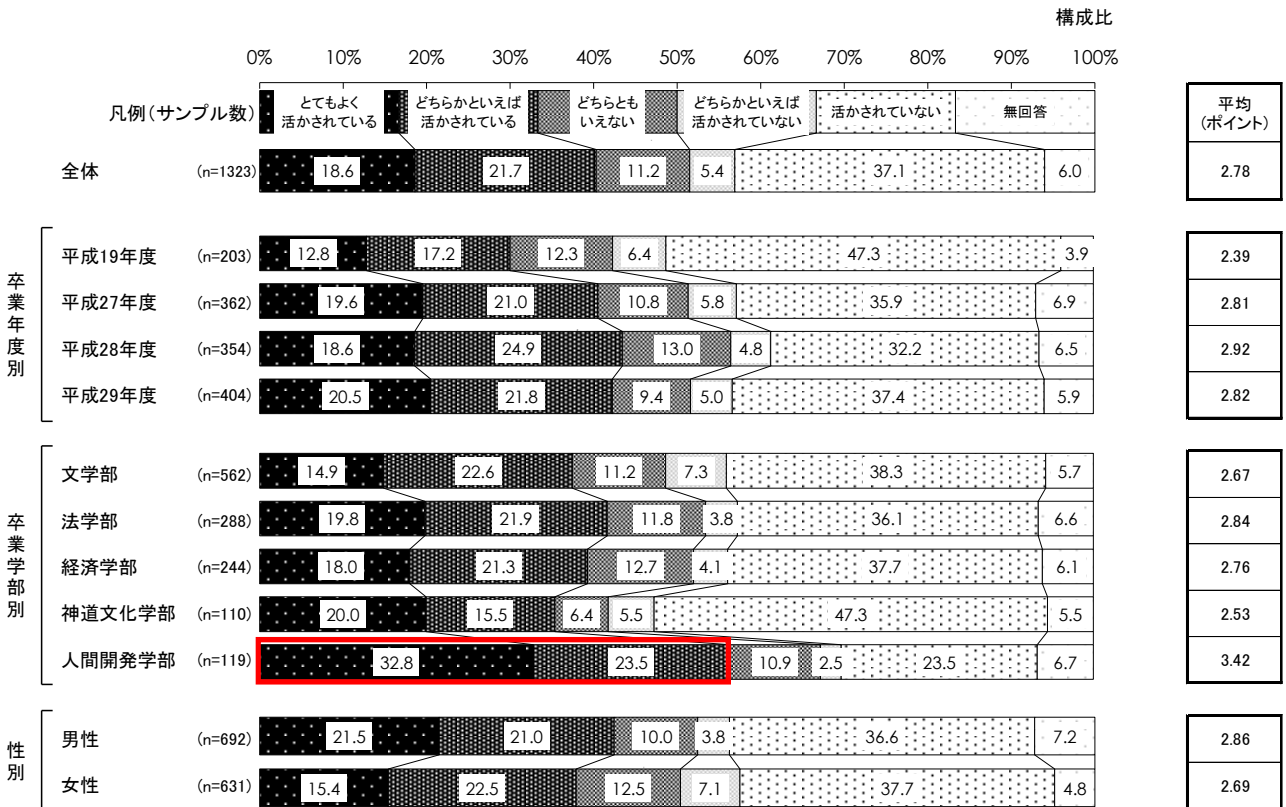
図表 2-27 教職・資格関係科目 (SA)



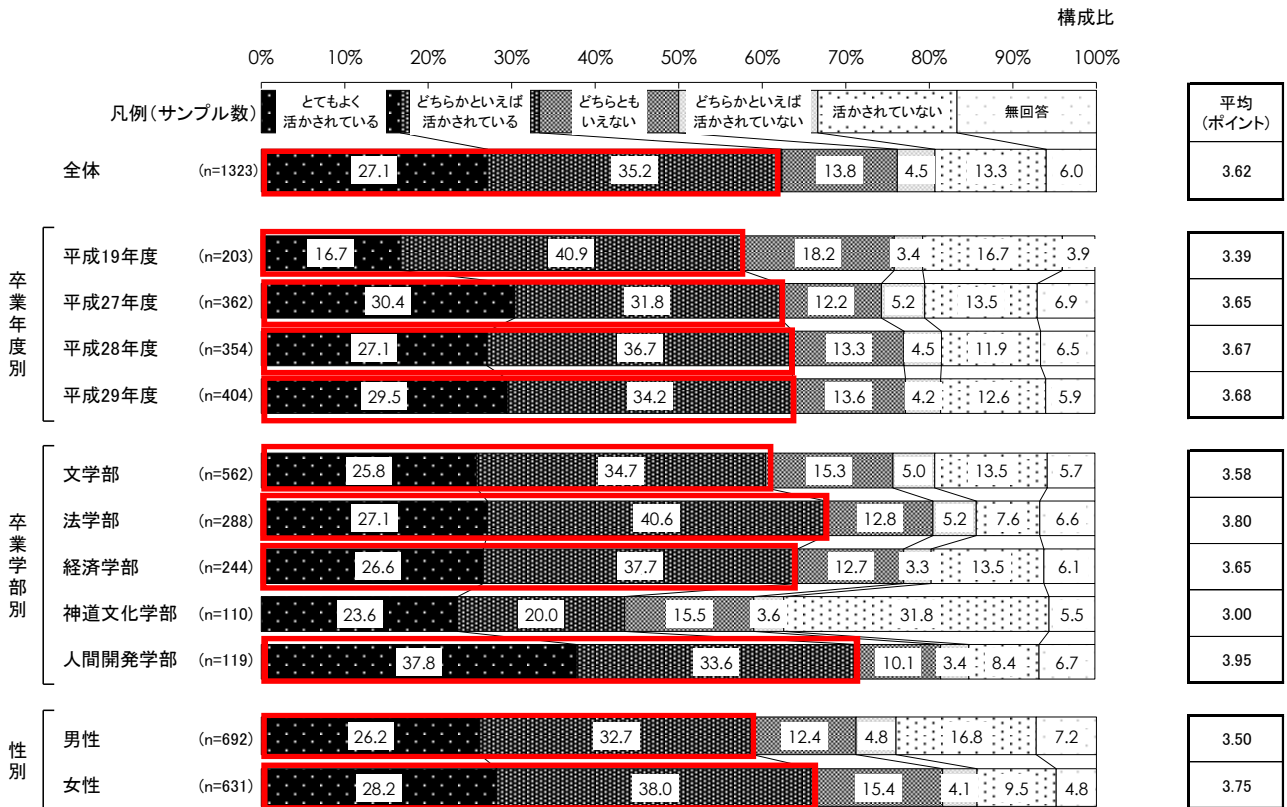
図表 2-28 留学 (SA)



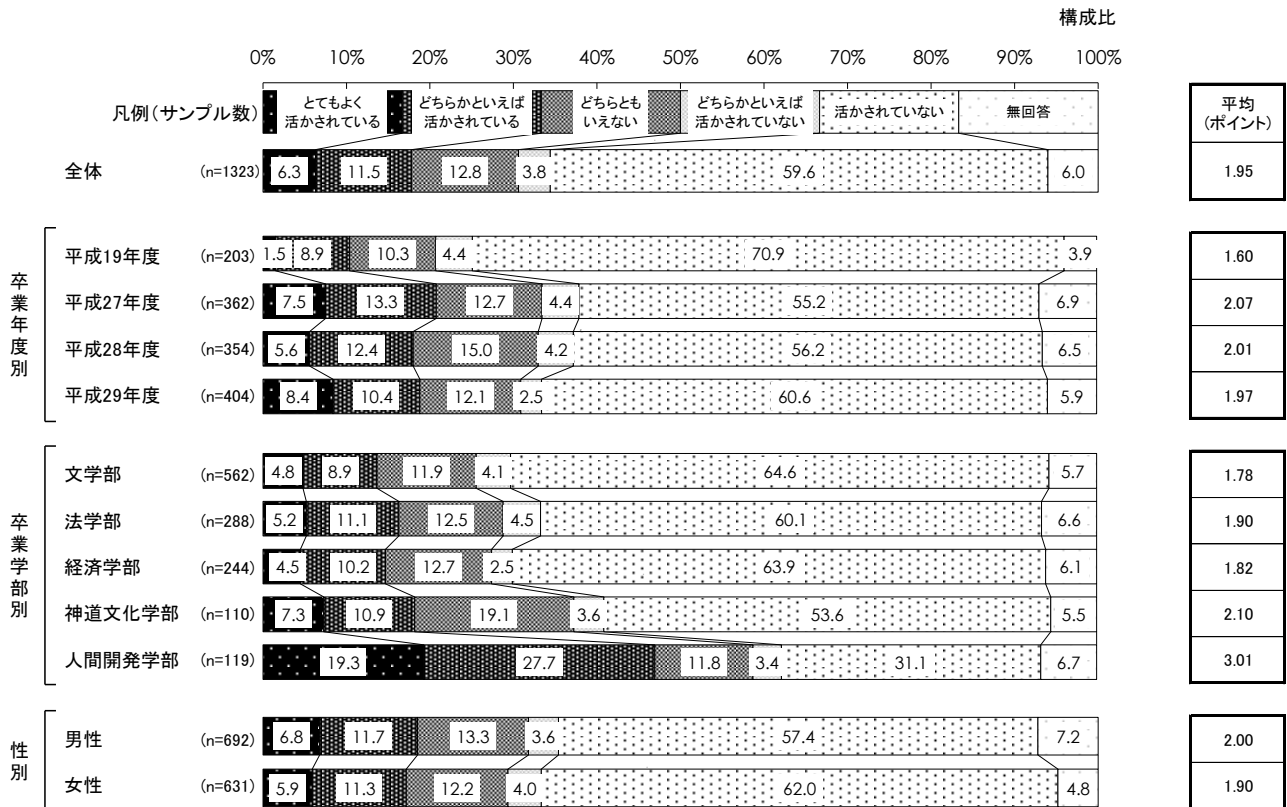
図表 2-29 サークル・部活動 (SA)



図表 2-30 アルバイト (SA)



図表 2-31 社会活動 (ボランティア等) (SA)



問3 学修の成果

1. 学生時代に身についたことをお答えください。(それぞれ1つ選択)

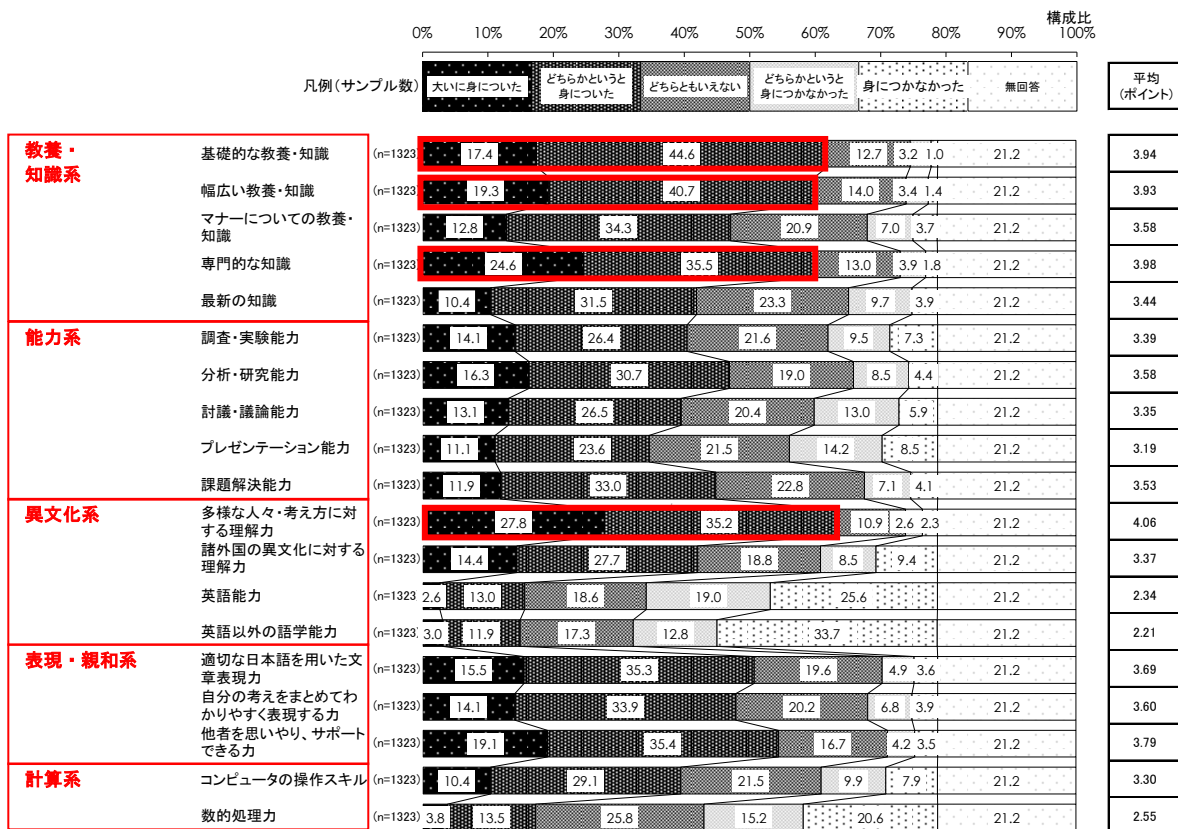
学生時代に身についたことは、「大いに身についた」と「どちらかというと身についた」を合わせた割合が高いのは、[多様な人々・考え方に対する理解力]が63.0%で最も高く、次いで[基礎的な教養・知識]が62.0%、[専門的な知識]が60.1%、[幅広い教養・知識]が60%などの順となっている。

加重平均すると、最も点数が高いのは[多様な人々・考え方に対する理解力]で4.06ポイント、次いで[専門的な知識]が3.98ポイント、[基礎的な教養・知識]が3.94ポイントなどの順となっている。

逆に点数が最も低いのは[英語以外の語学能力]で2.21ポイント、次いで[英語能力]が2.34ポイント、[数的処理力]が2.55ポイントなどの順となっている。

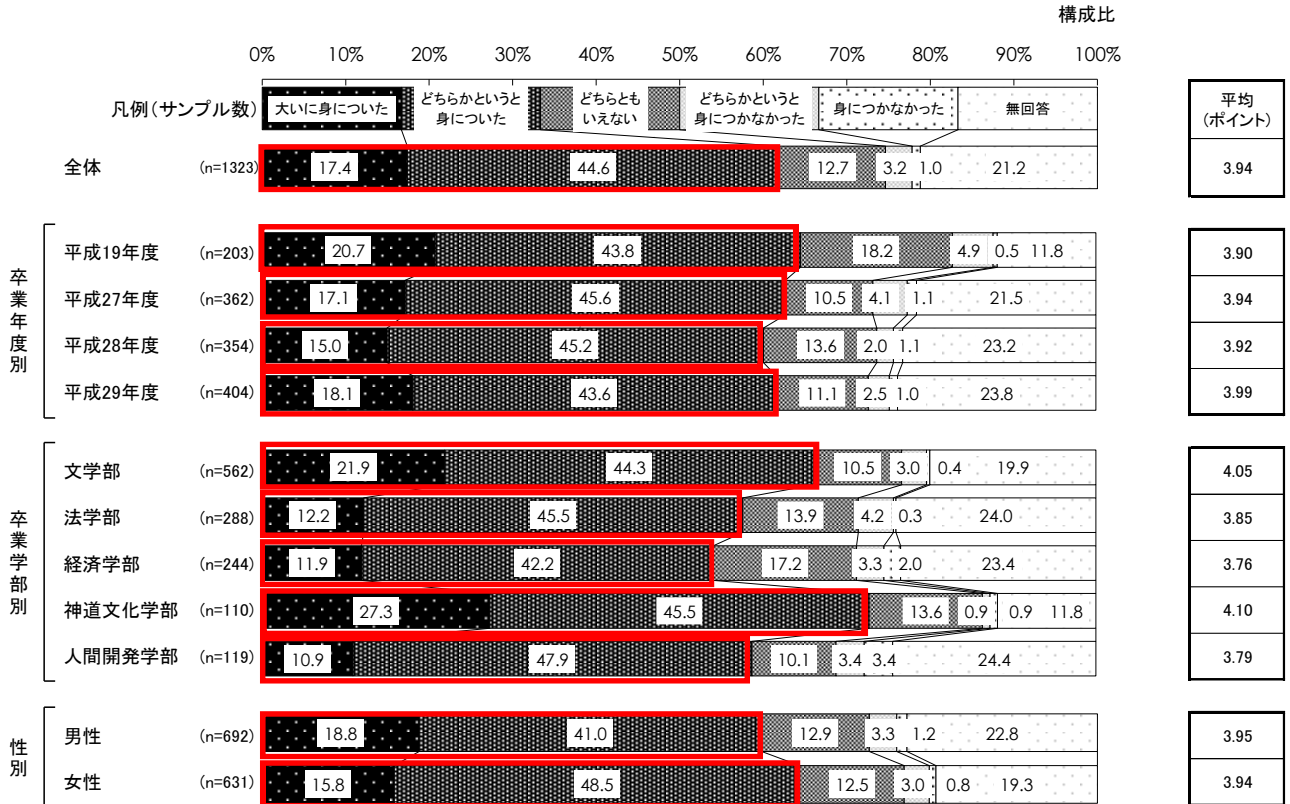
大きな分野でみると、[教養・知識系]は身についたという割合が高い一方で、[能力系]については相対的に低く、また[異文化系]においては語学能力に対する評価が、特に低い傾向がみられる。

図表2-32 学生時代に身についたこと (SA)

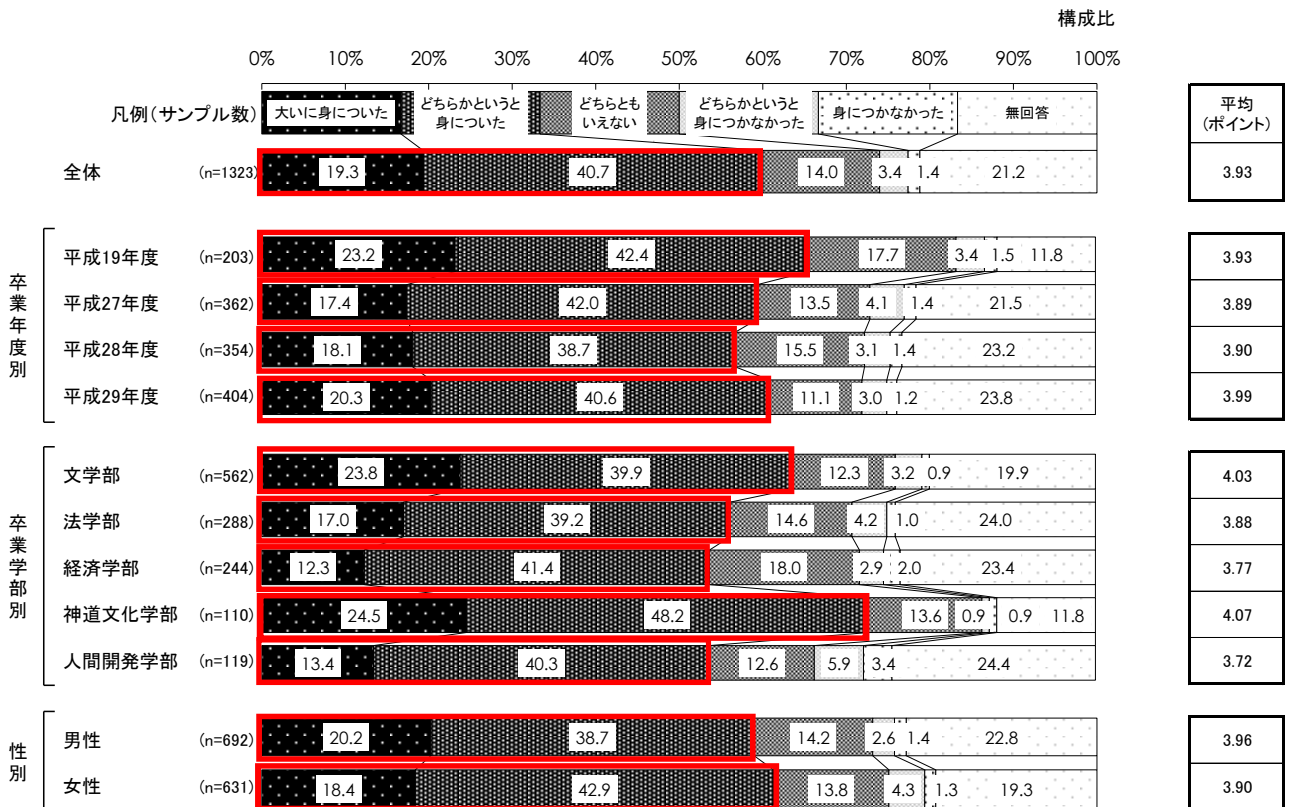


※「大いに身についた」5ポイント、「どちらかというと身についた」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかというと身につかなかった」2ポイント、「身につかなかった」1ポイントで平均を抽出。

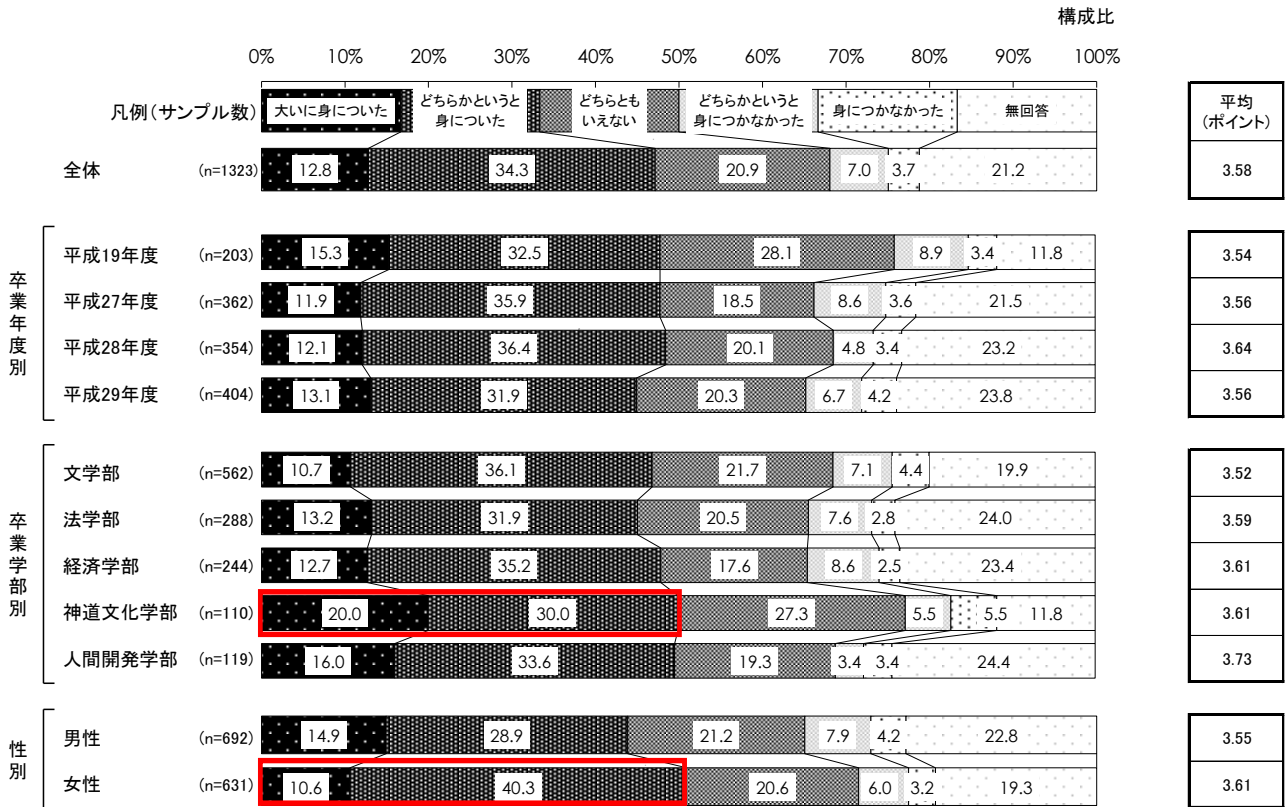
図表 2-33 基礎的な教養・知識 (SA)



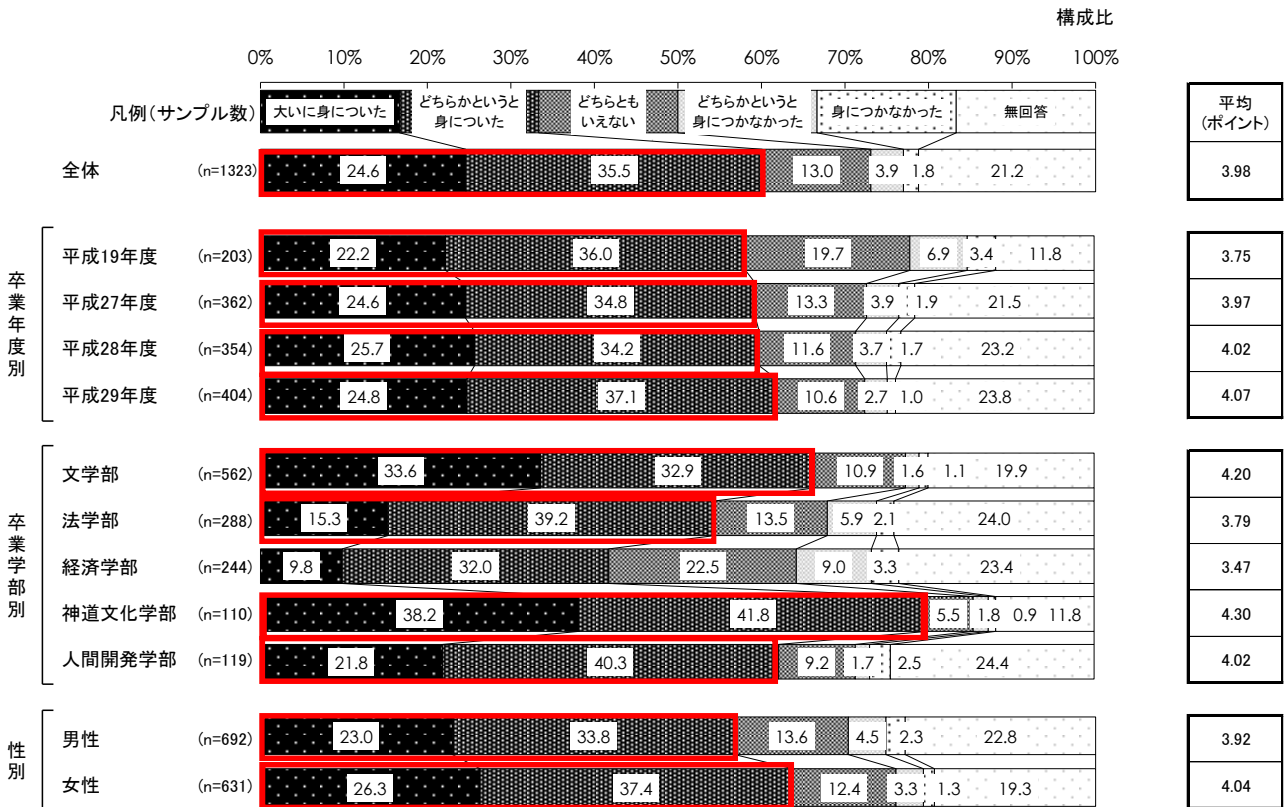
図表 2-34 幅広い教養・知識 (SA)



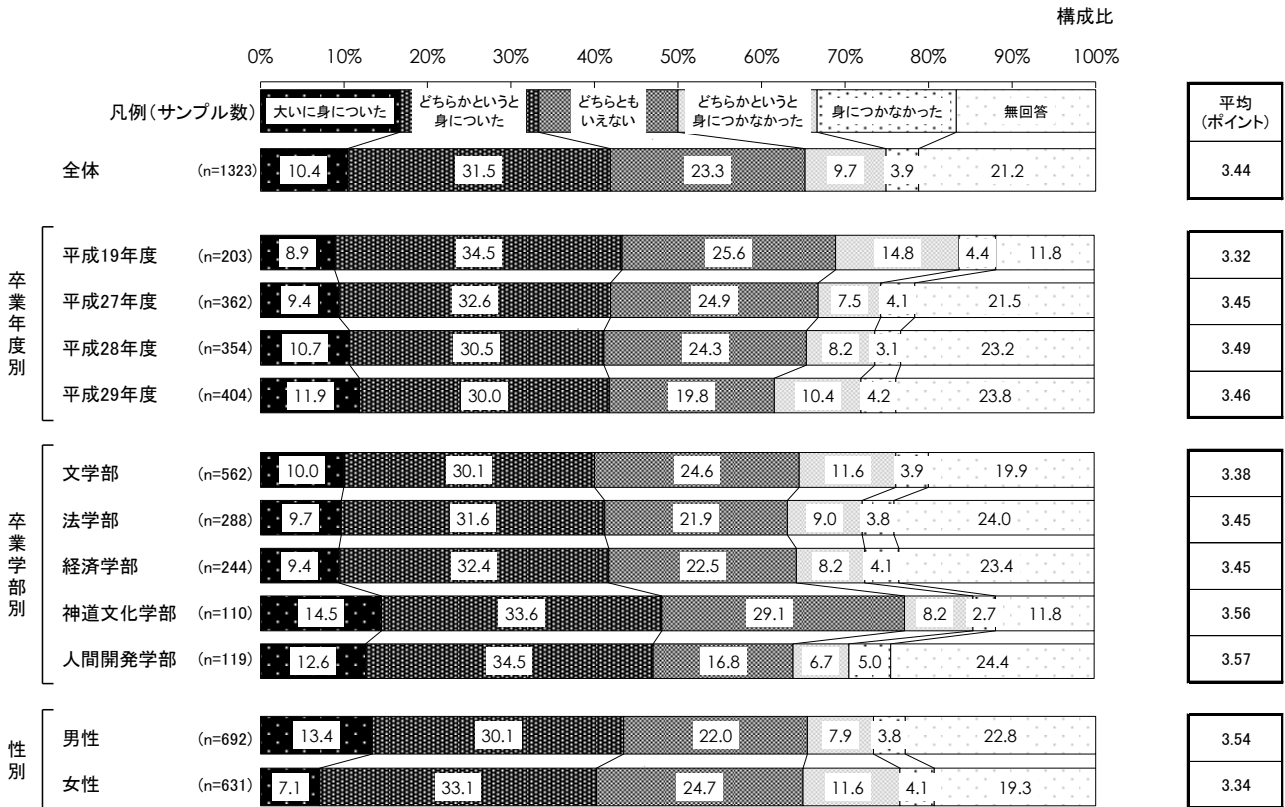
図表 2-35 マナーについての教養・知識 (SA)



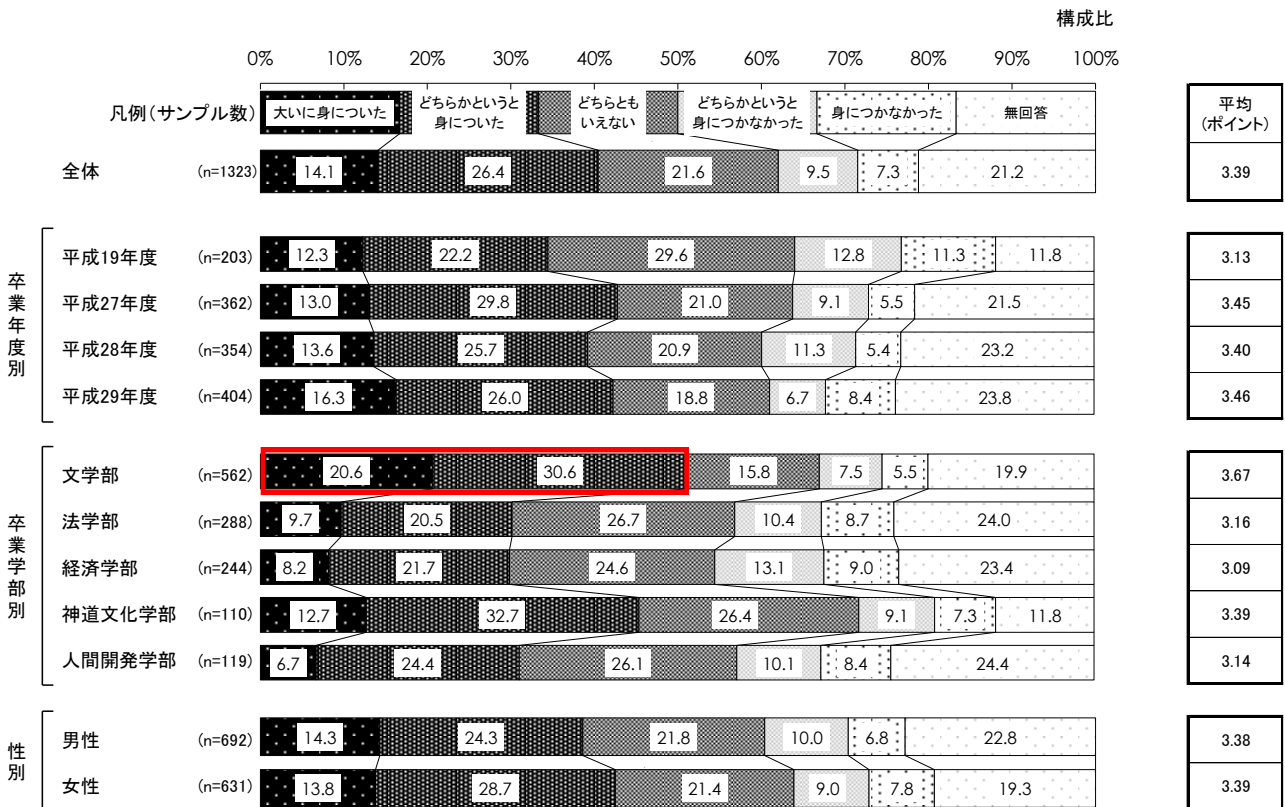
図表 2-36 専門的な知識 (SA)



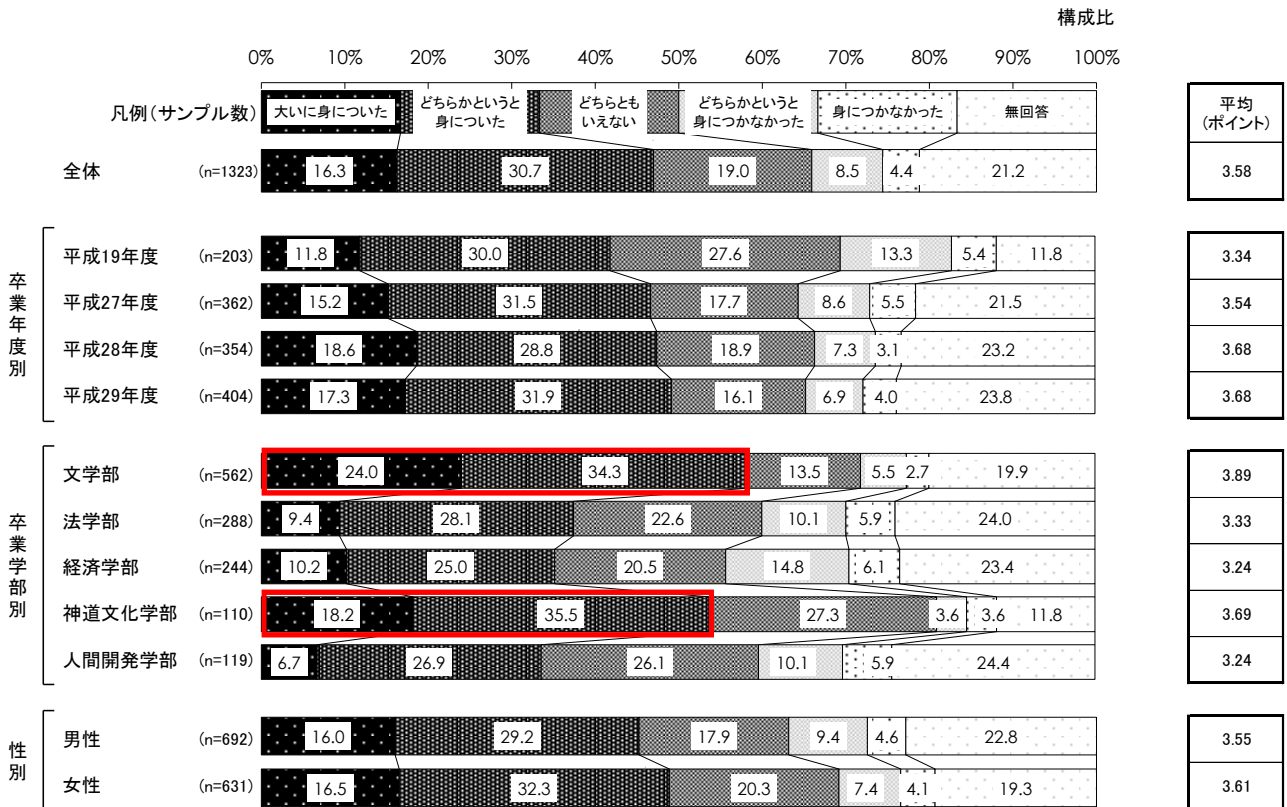
図表 2-37 最新の知識 (SA)



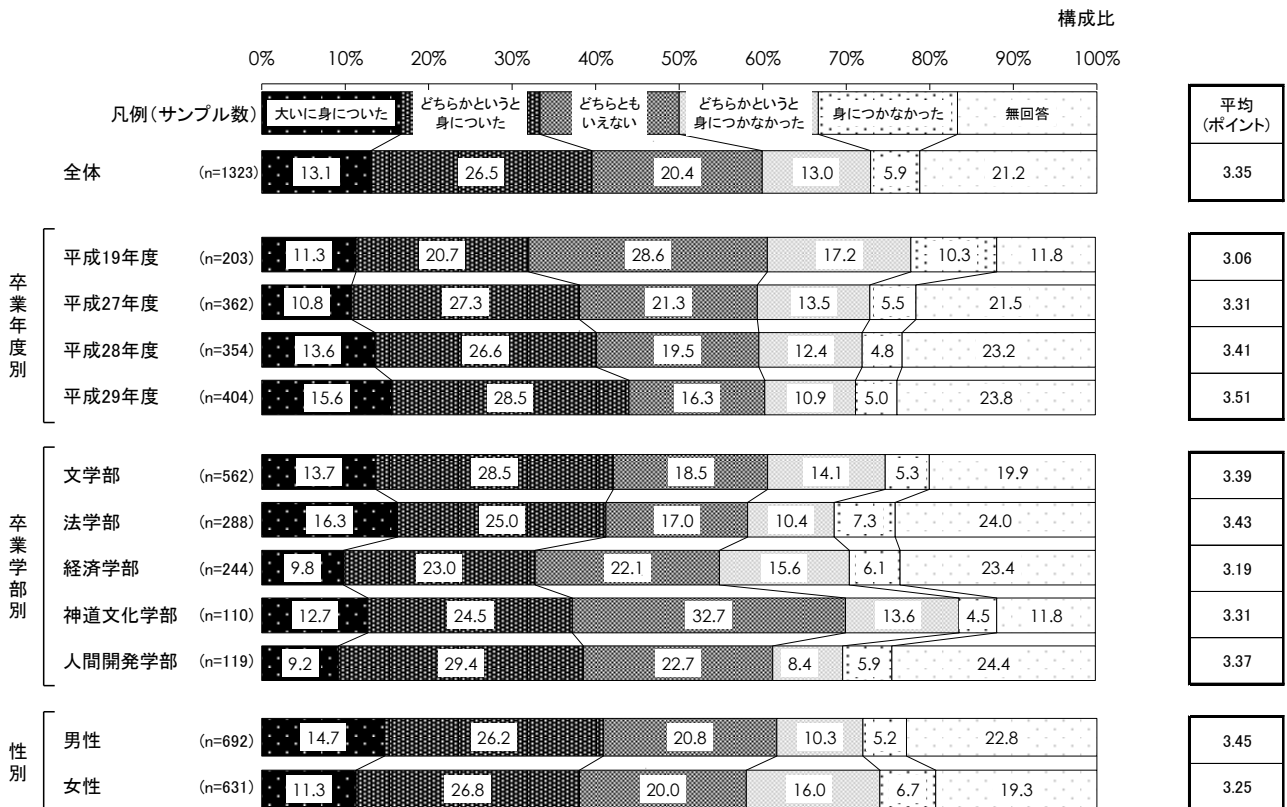
図表 2-38 調査・実験能力 (SA)



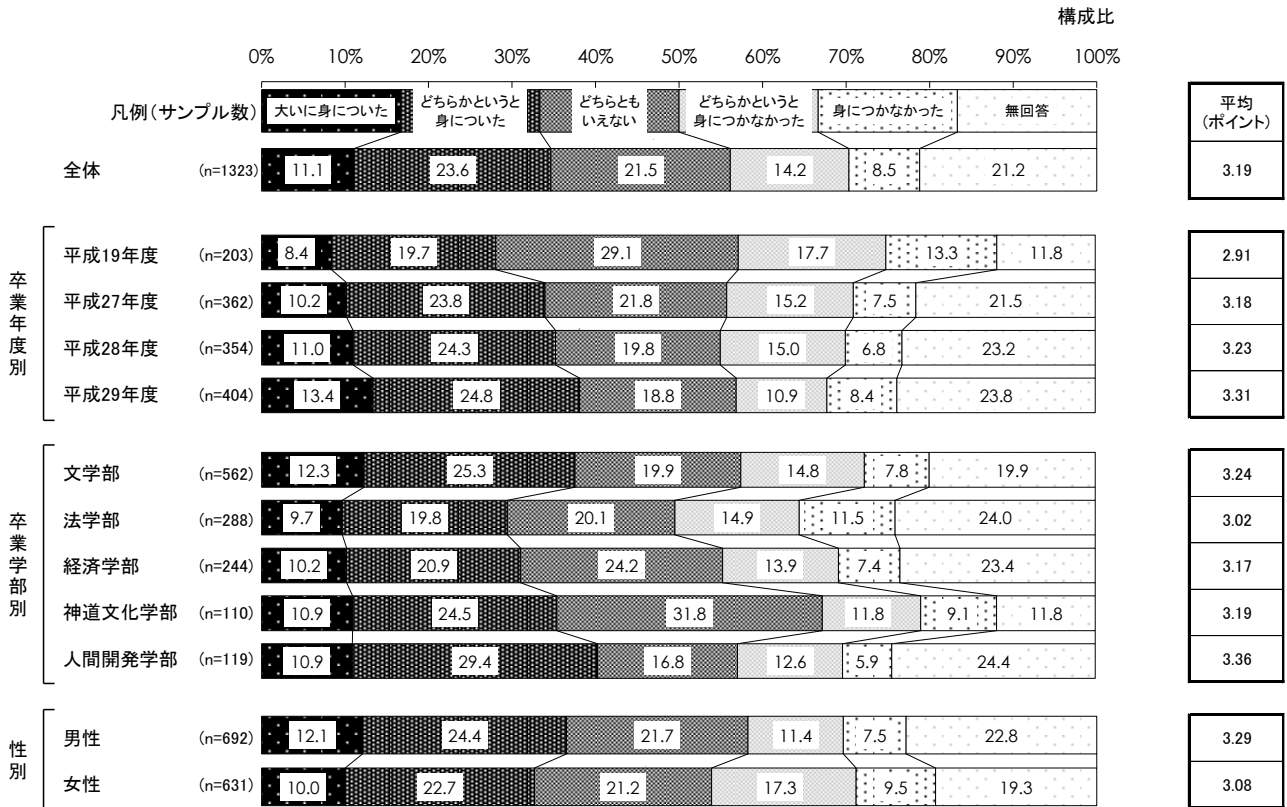
図表 2-39 分析・研究能力 (SA)



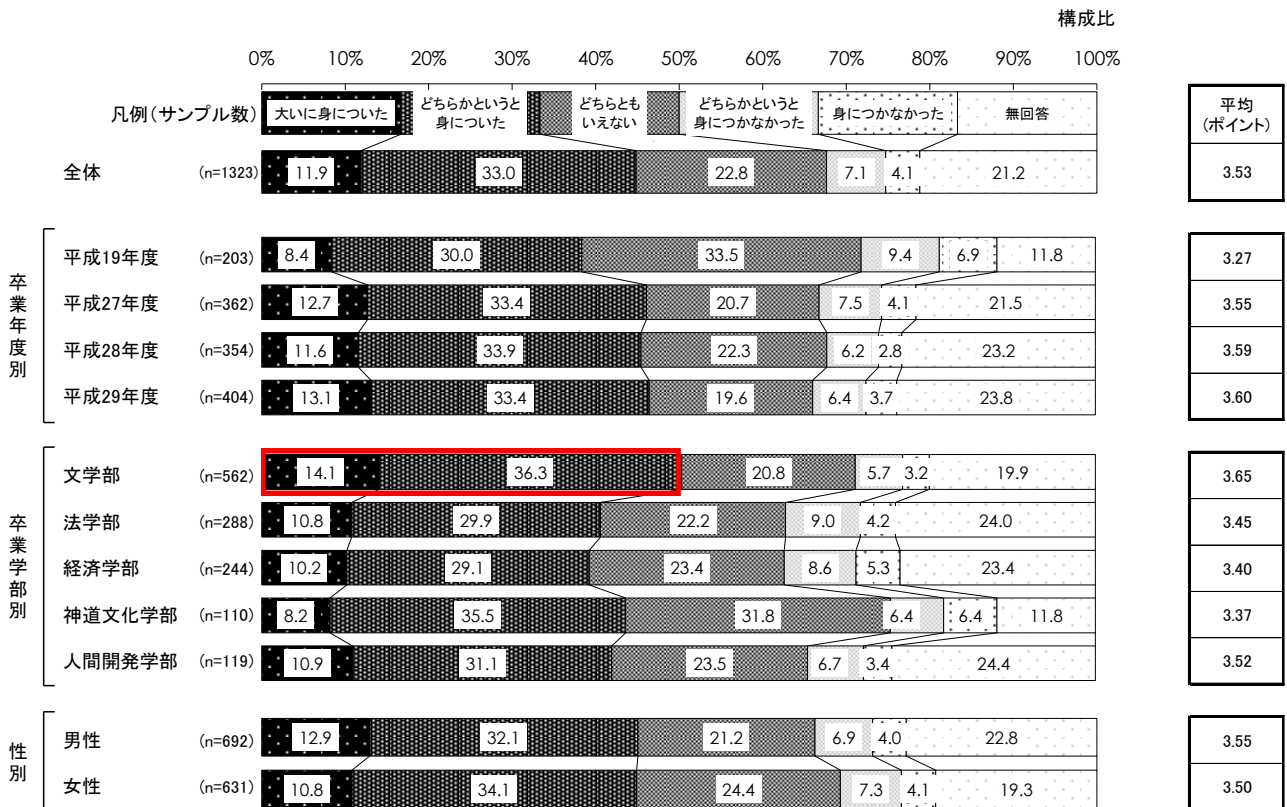
図表 2-40 討議・議論能力 (SA)



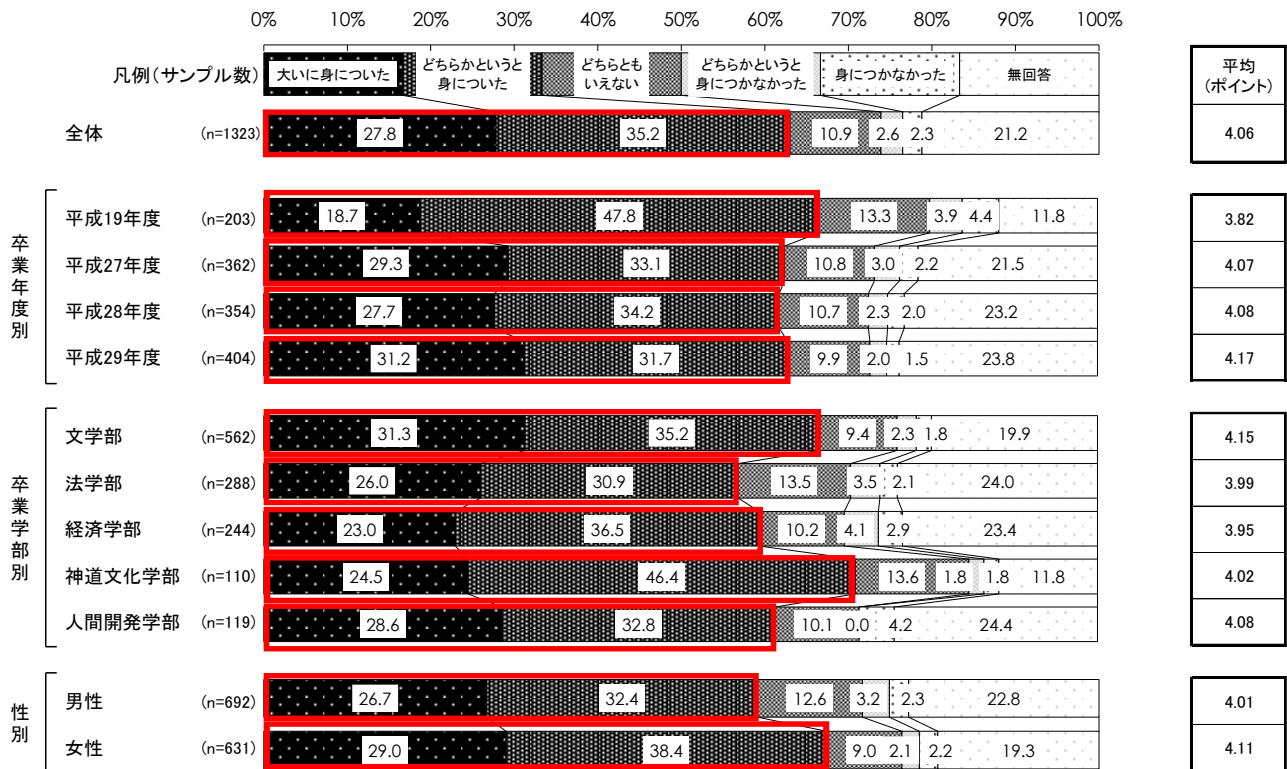
図表 2-4 1 プレゼンテーション能力 (SA)



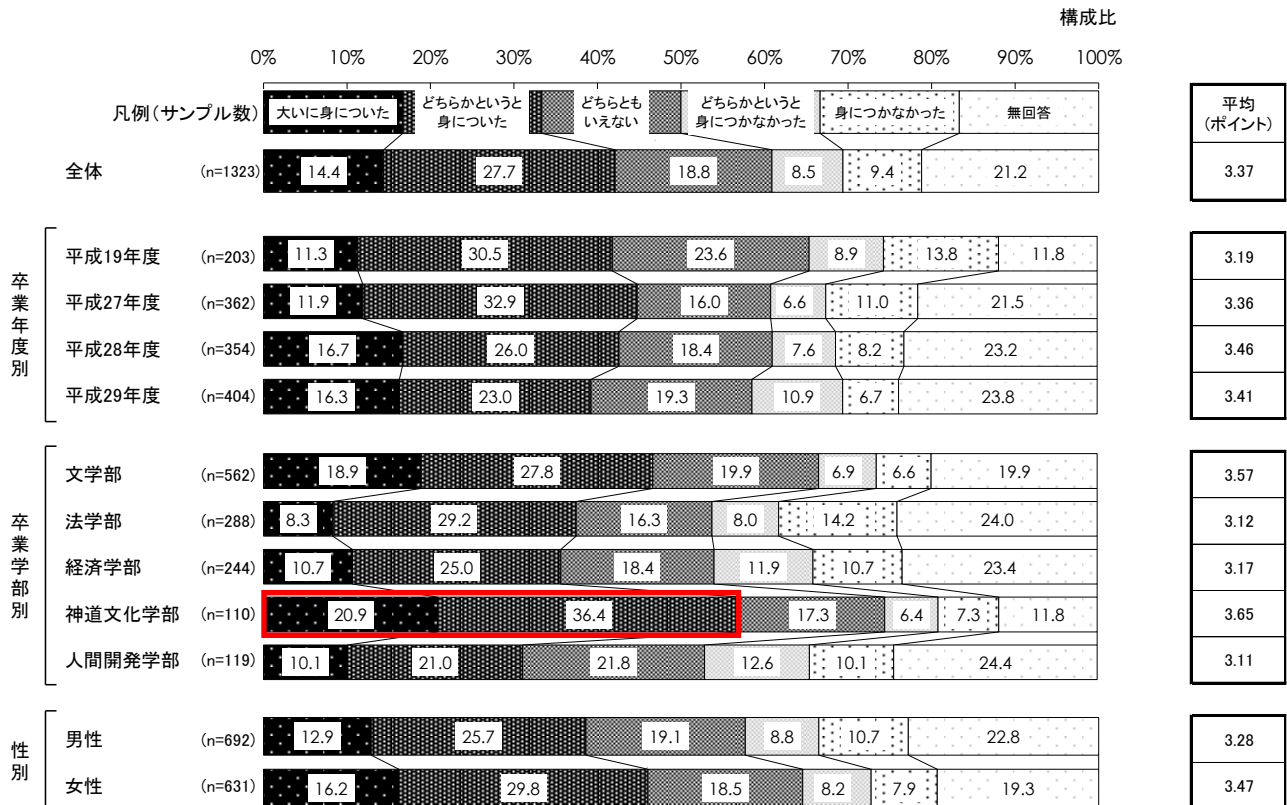
図表 2-4 2 課題解決能力 (SA)



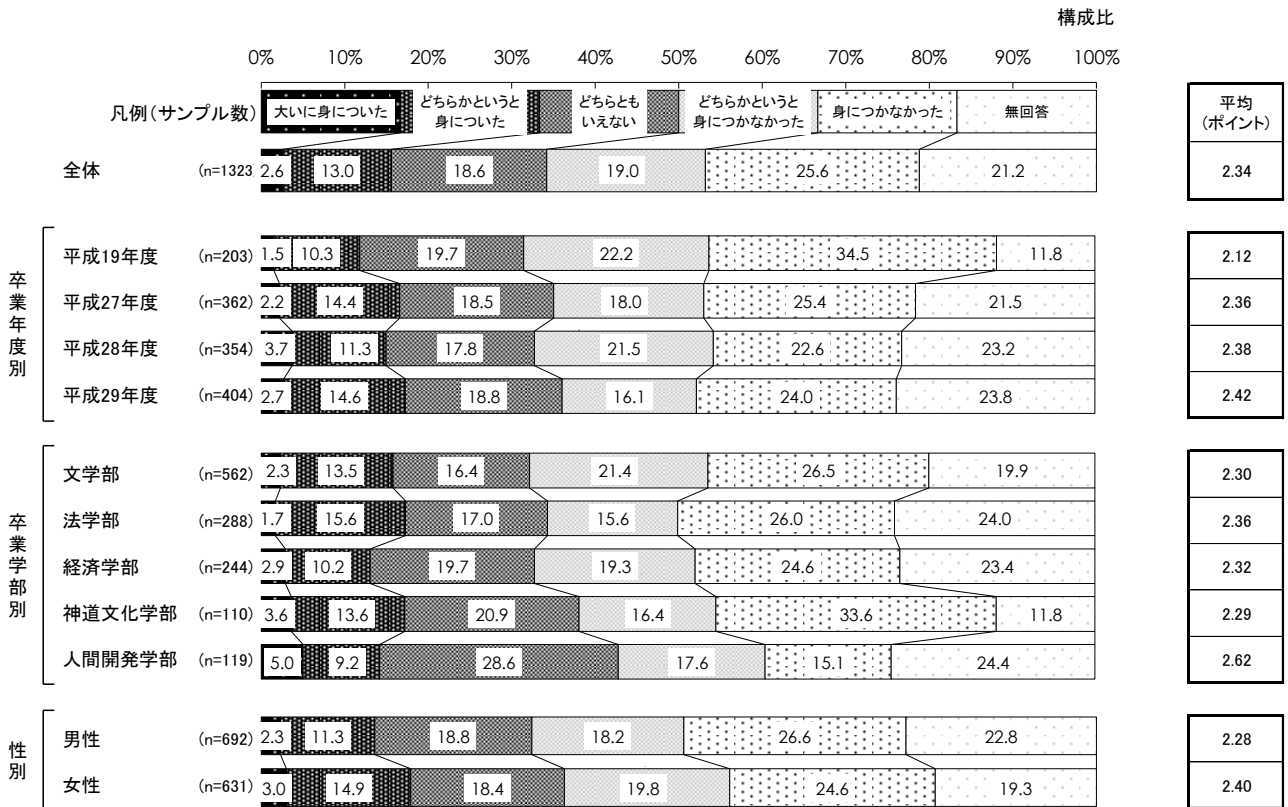
図表 2-43 多様な人々・考え方に対する理解力 (SA) 構成比



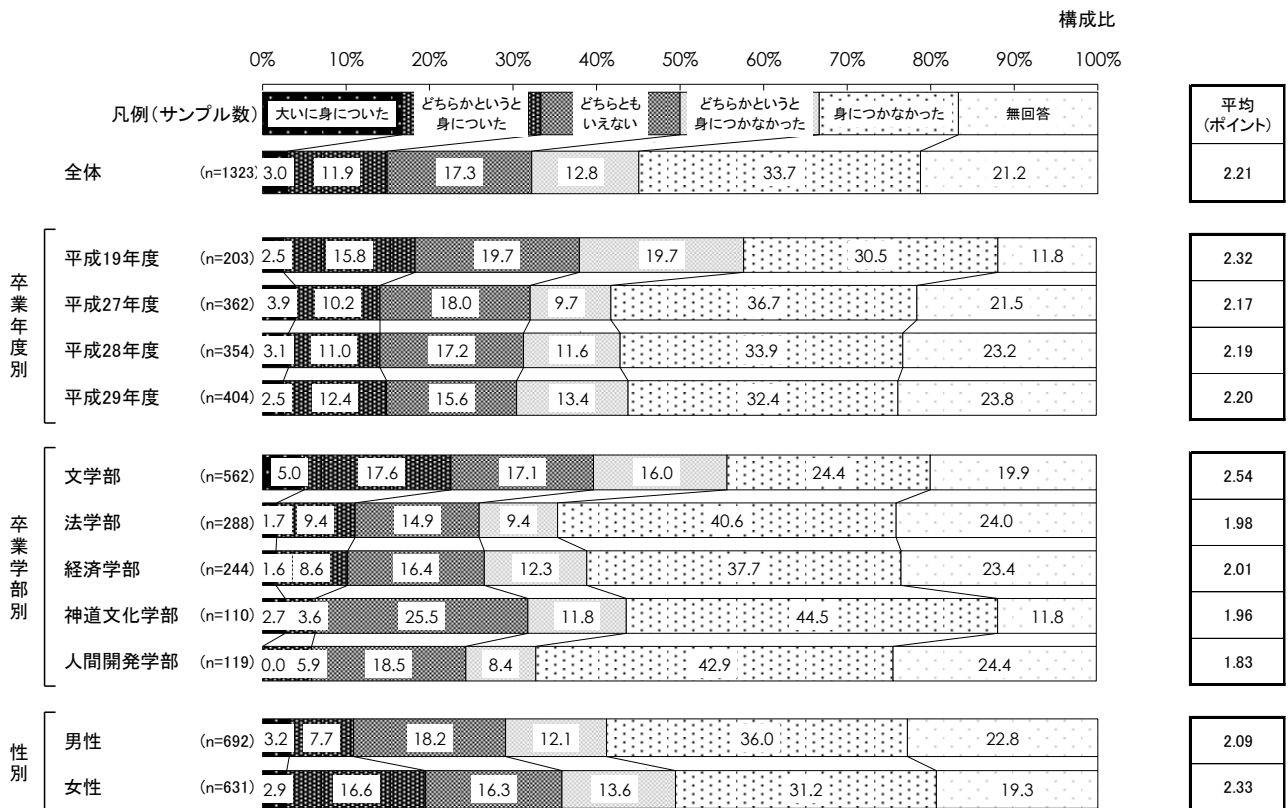
図表 2-44 諸外国の異文化に対する理解力 (SA) 構成比



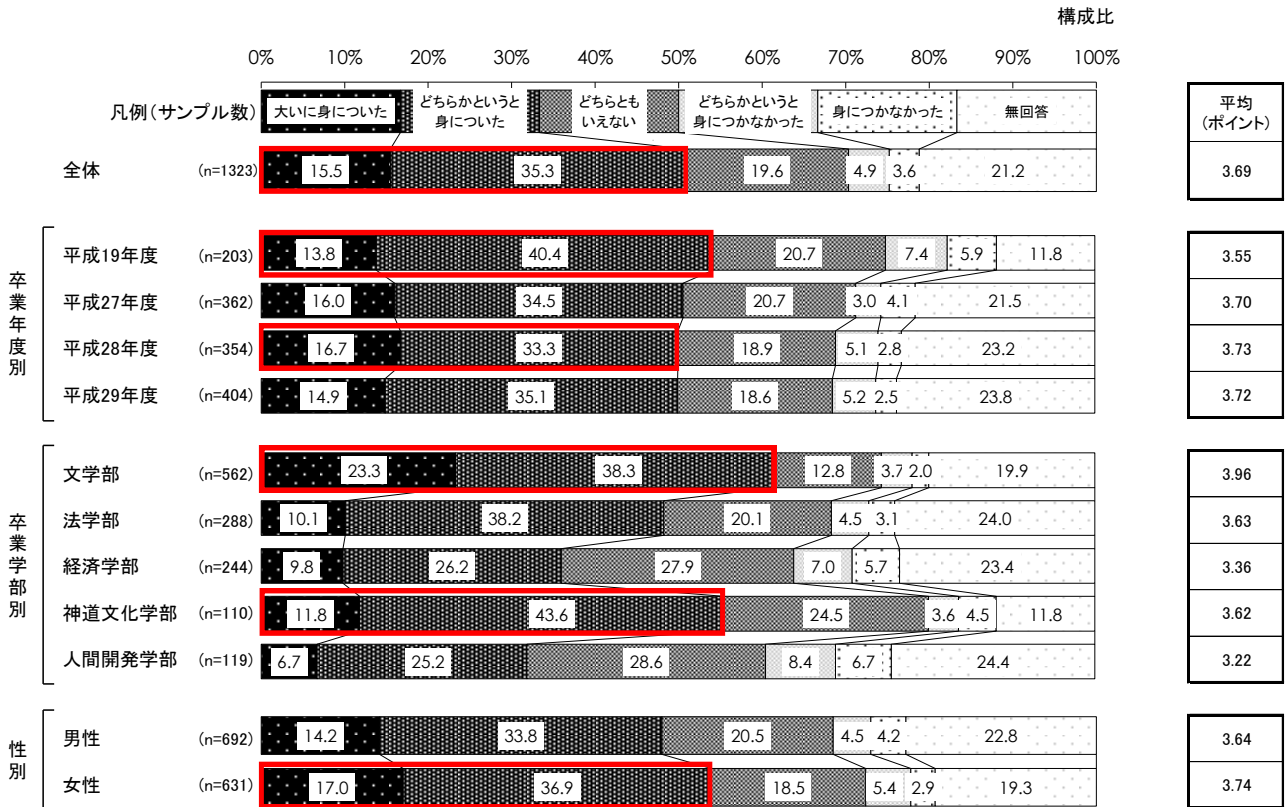
図表 2-45 英語能力 (SA)



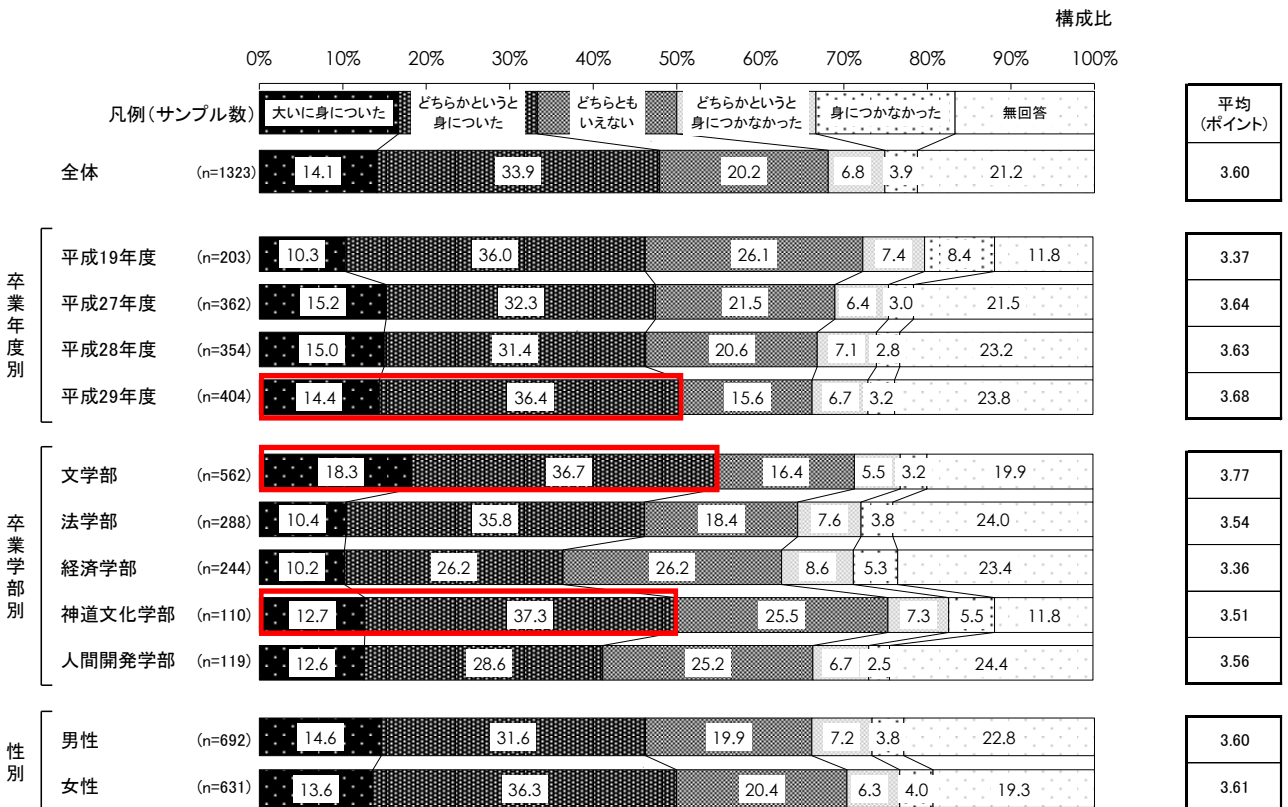
図表 2-46 英語以外の語学能力 (SA)



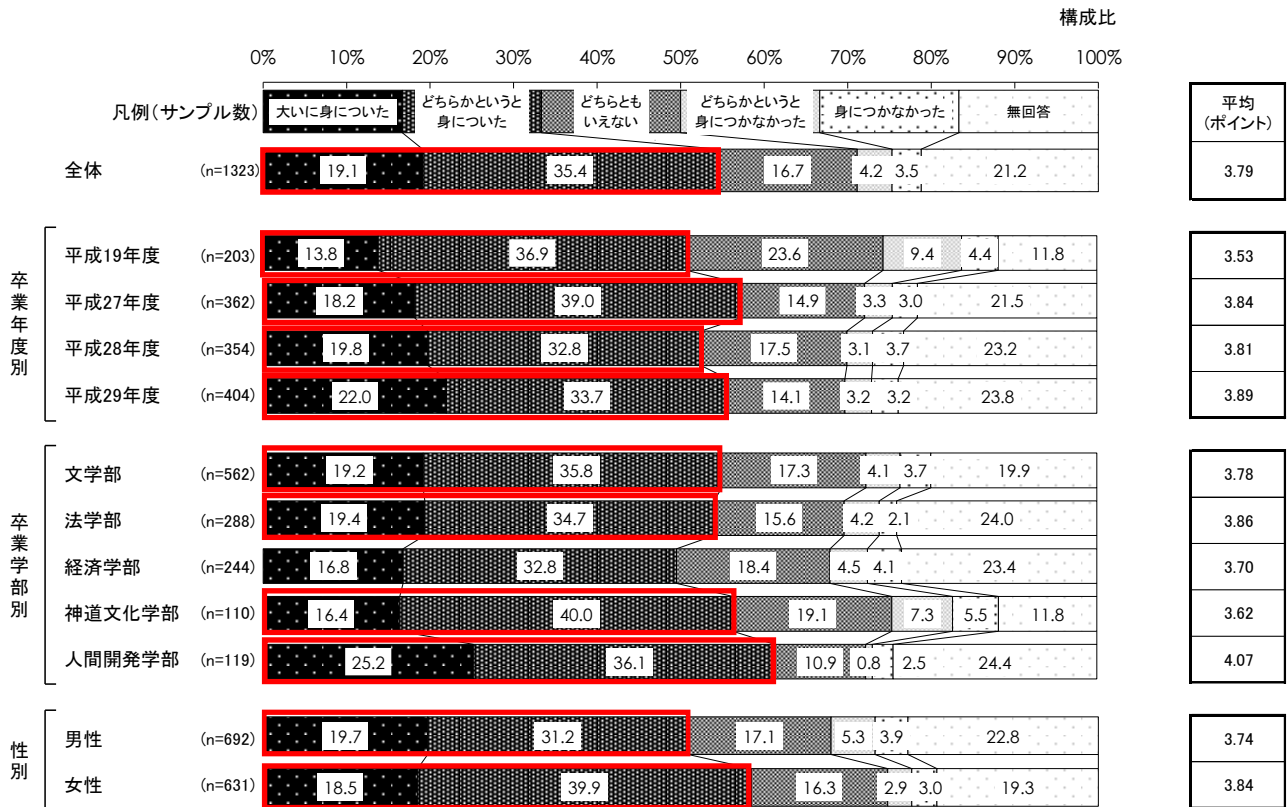
図表 2-47 適切な日本語を用いた文章表現力 (SA)



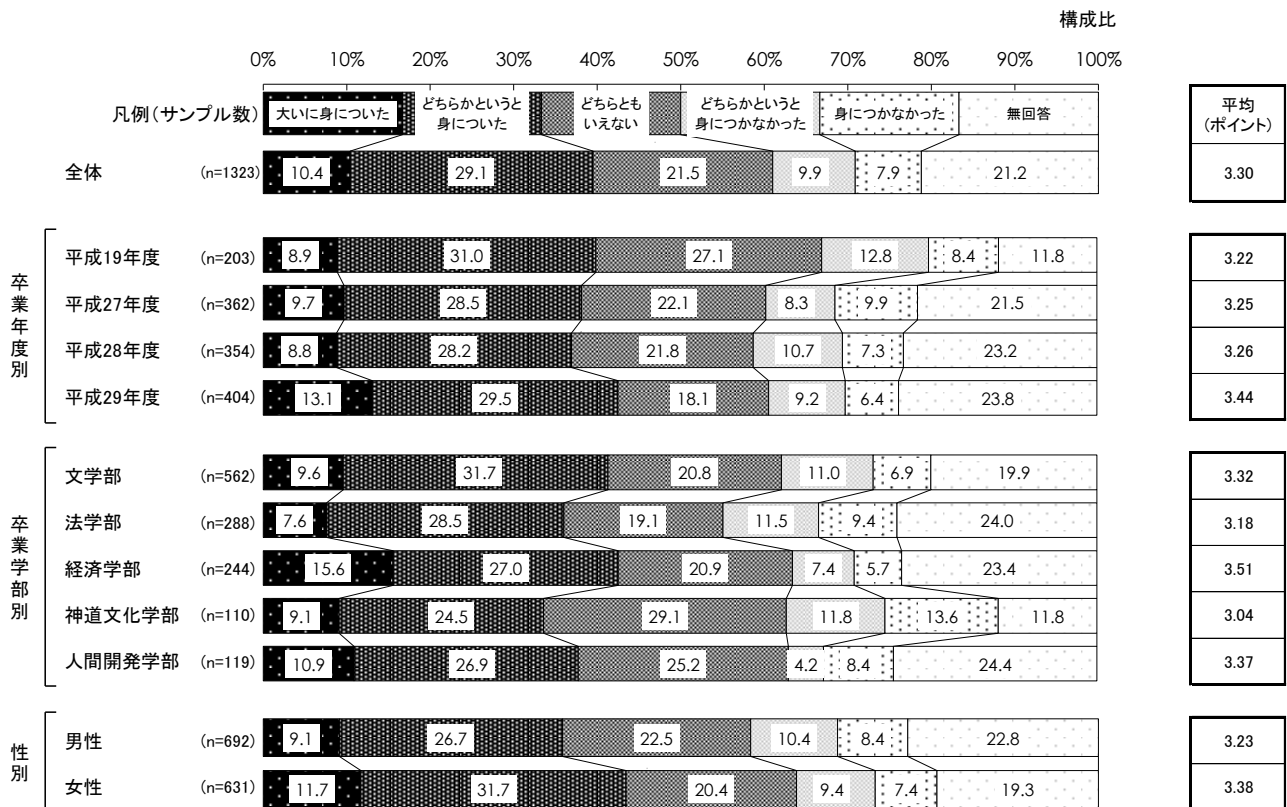
図表 2-48 自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力 (SA)



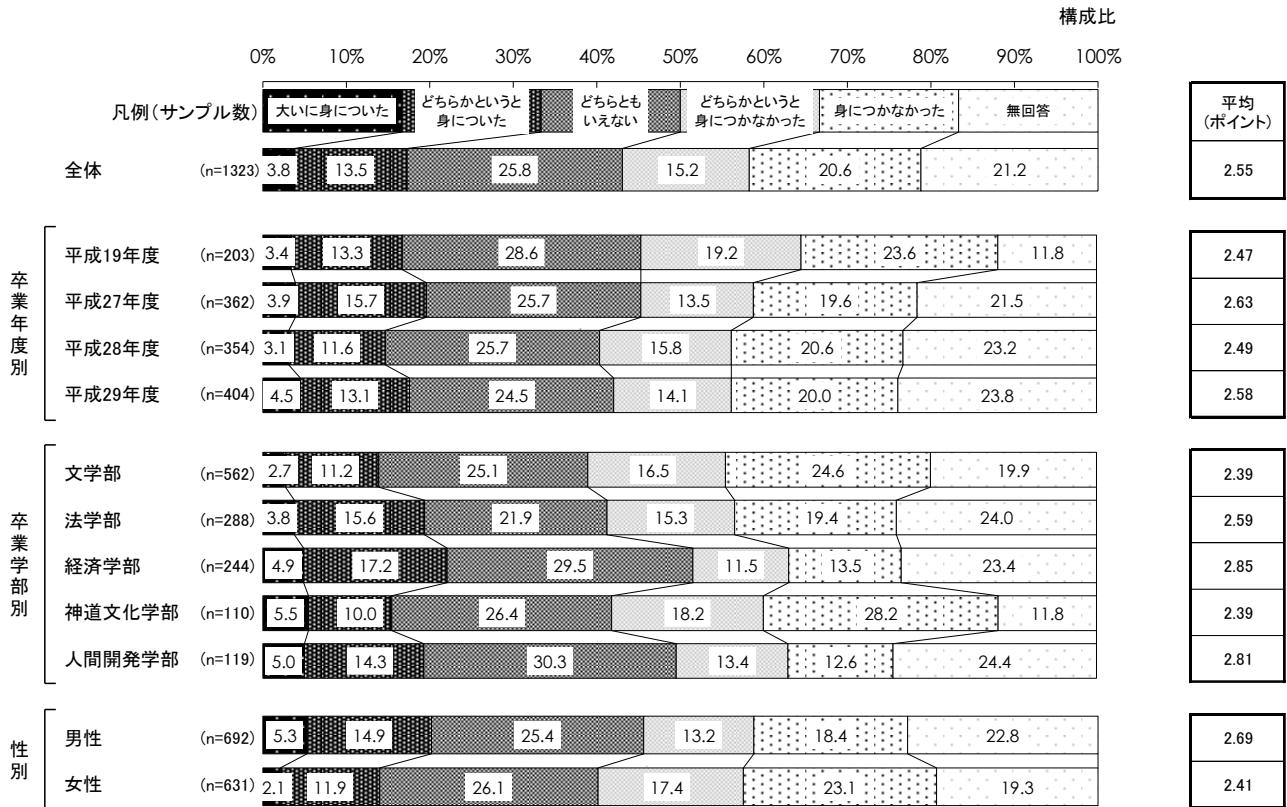
図表 2-49 他者を思いやり、サポートできる力 (SA)



図表 2-50 コンピュータの操作スキル (SA)



図表 2-51 数的処理力 (SA)



2. 学生時代に修得したと思われる知識や能力のうち、現在に活かされているものをお答えください。(それぞれ1つ選択)

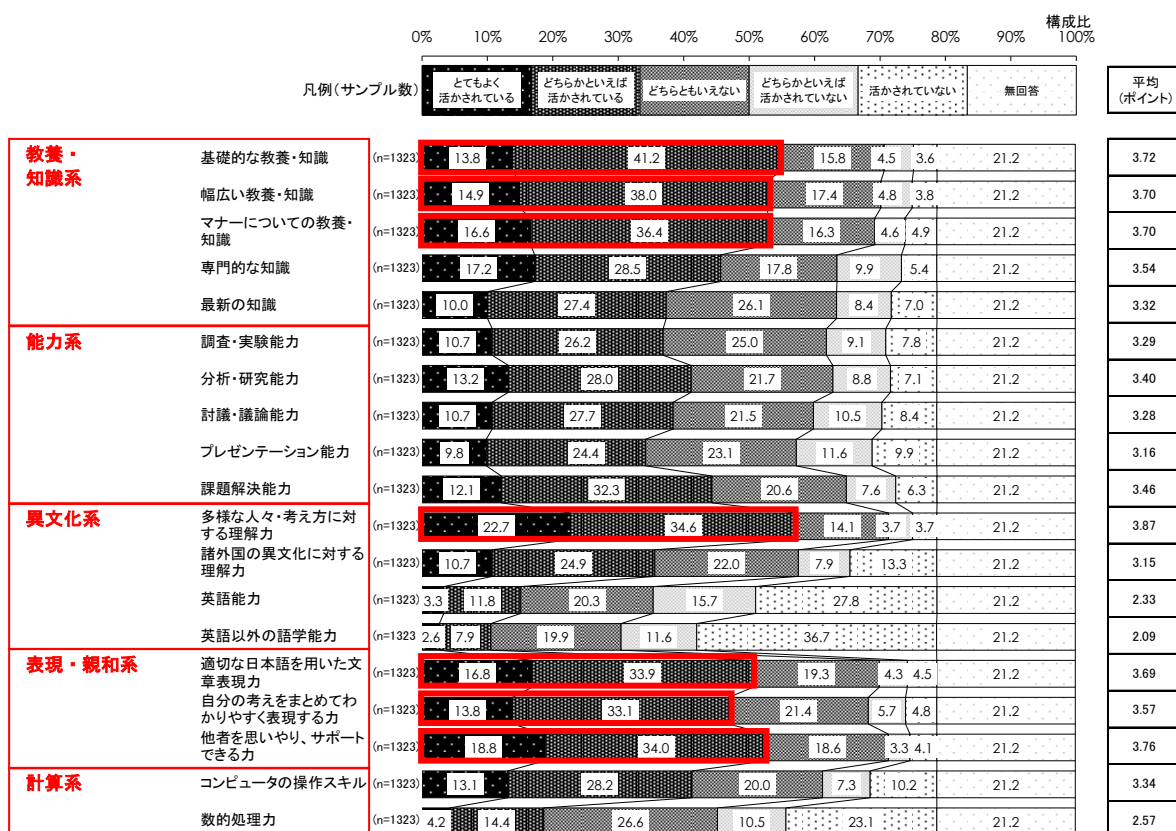
学生時代に修得したことのうち、現在に活かされているものは、「とても活かされている」と「どちらかというと活かされている」を合わせた割合が高いのは、[多様な人々・考え方に対する理解力]が57.3%、次いで[基礎的な教養・知識]が55.0%、[専門的な知識]が53.0%などの順となっている。

加重平均すると、最も点数が高いのは[多様な人々・考え方に対する理解力]で3.87ポイント、次いで[他者を思いやり、サポートできる力]が3.73ポイント、[基礎的な教養・知識]が3.72ポイントなどの順となっている。

逆に点数が最も低いのは[英語以外の語学能力]で2.09ポイント、次いで[英語能力]が2.33ポイント、[数的処理力]が2.57ポイントなどの順となっている。

大きな分野で見ると、[教養・知識系][表現・親和系]は活かされているという割合が高い一方で、[能力系][計算系]については相対的に低く、また[異文化系]は語学能力が低くなっている。[教養・知識系]、[能力系]、[異文化系]は身についた知識・能力と同様の傾向であり、学生時代に修得したことが、その後の生活の可能性を広げることを示している。

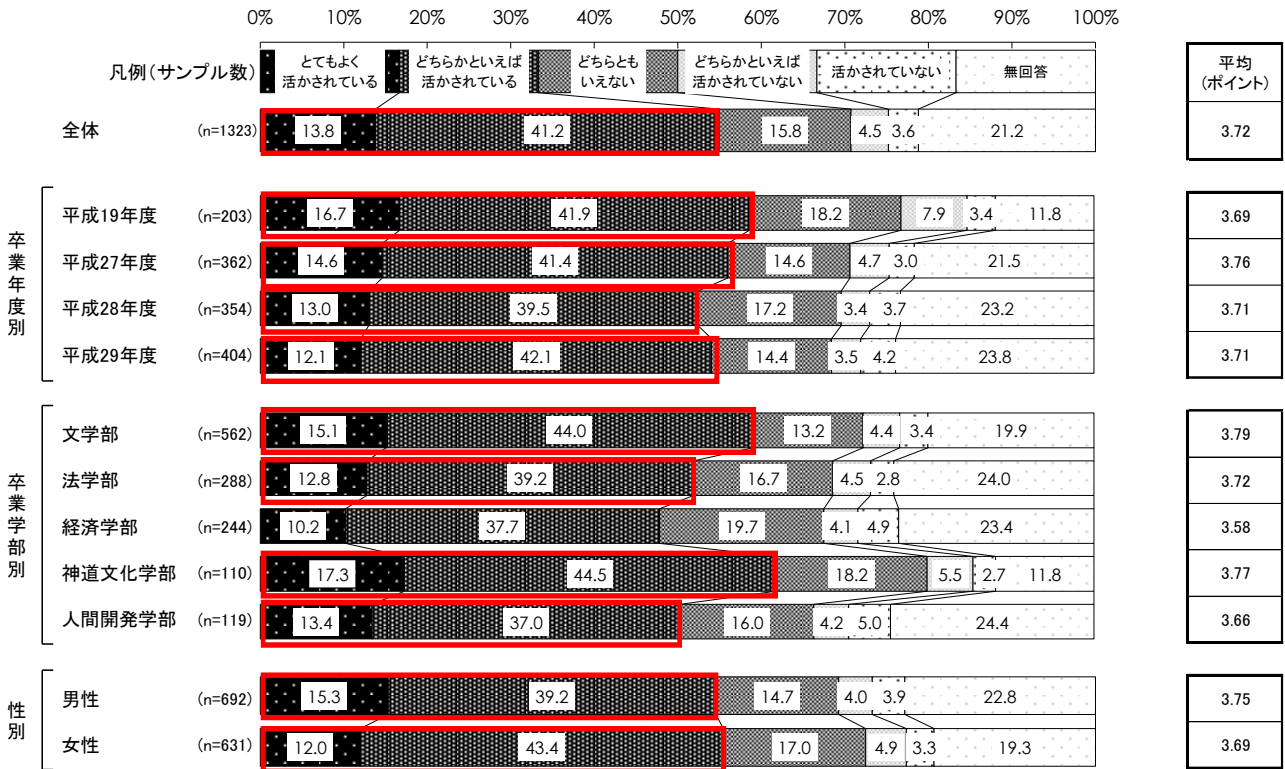
図表2-52 学生時代に修得したもののうち、現在活かされている知識や能力 (SA)



※「とても活かされている」5ポイント、「どちらかというと活かされている」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかというと活かされていない」2ポイント、「活かされていない」1ポイントで平均を抽出。

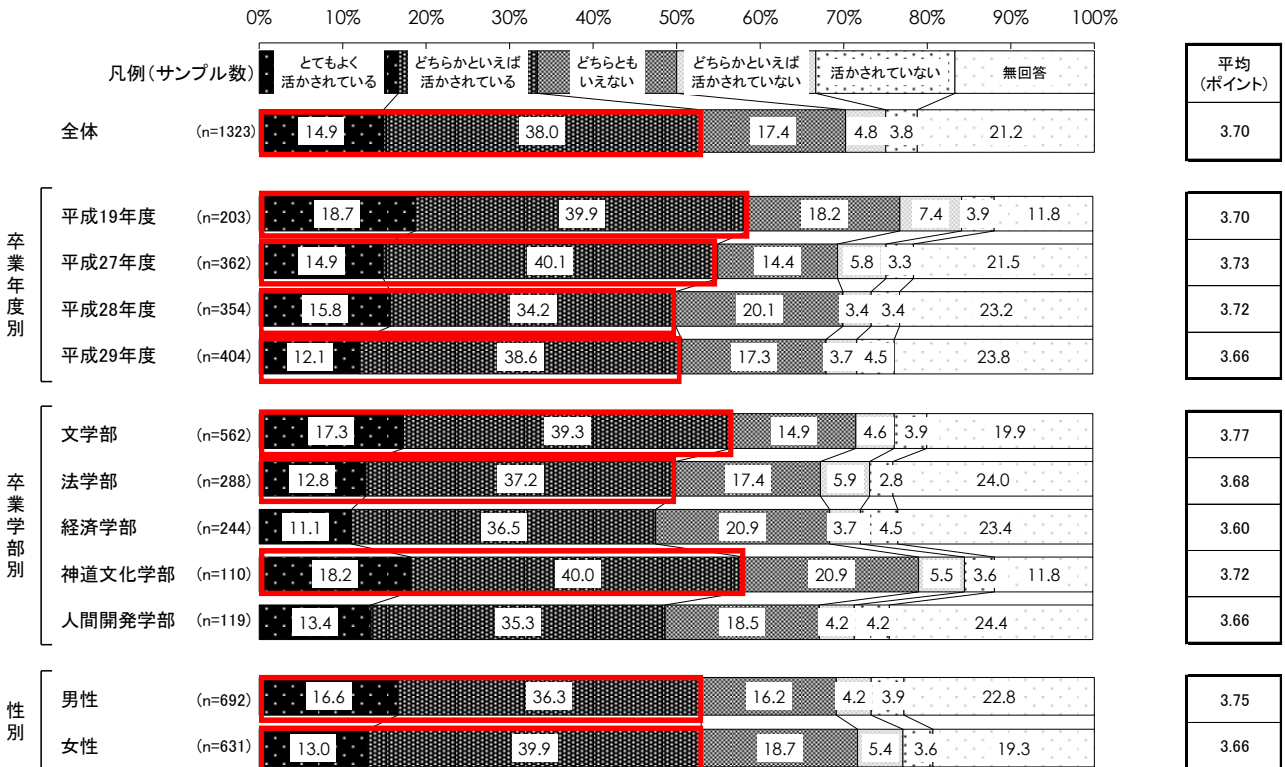
図表 2-53 基礎的な教養・知識 (SA)

構成比

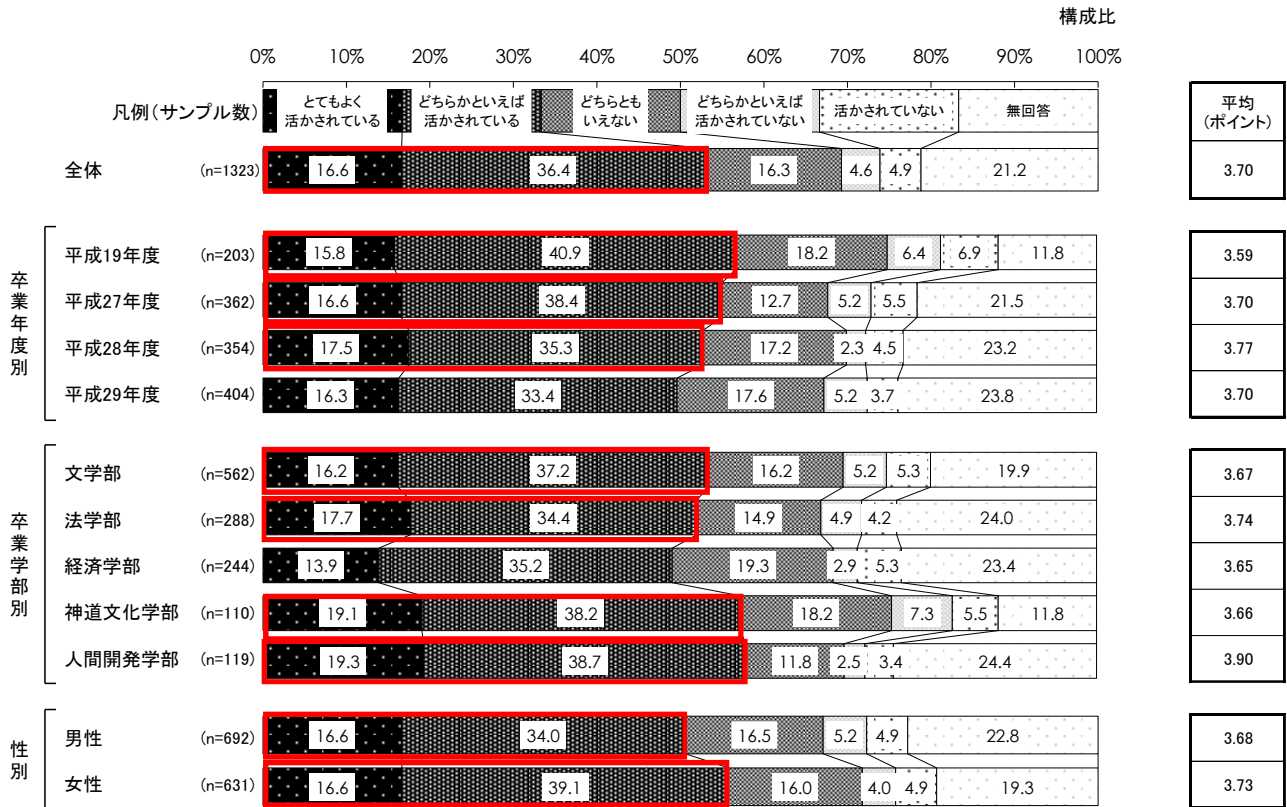


図表 2-54 幅広い教養・知識 (SA)

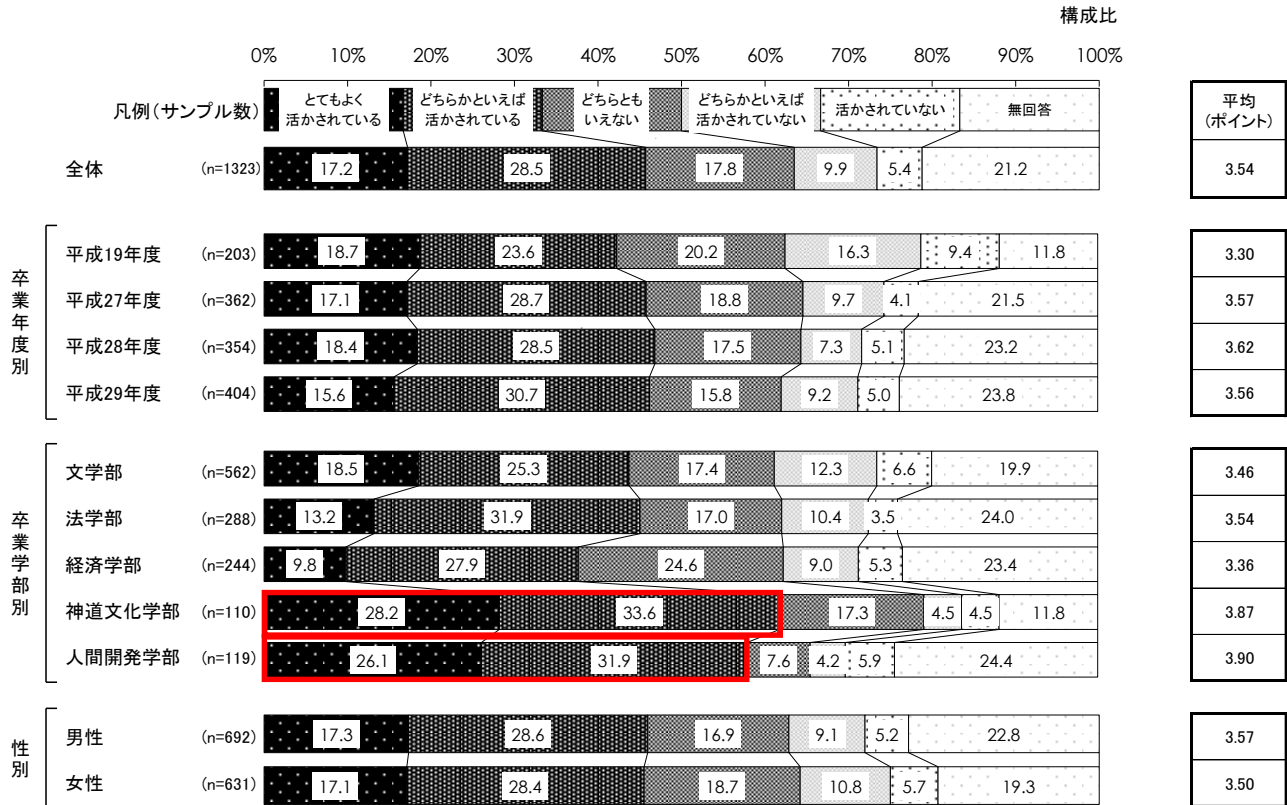
構成比



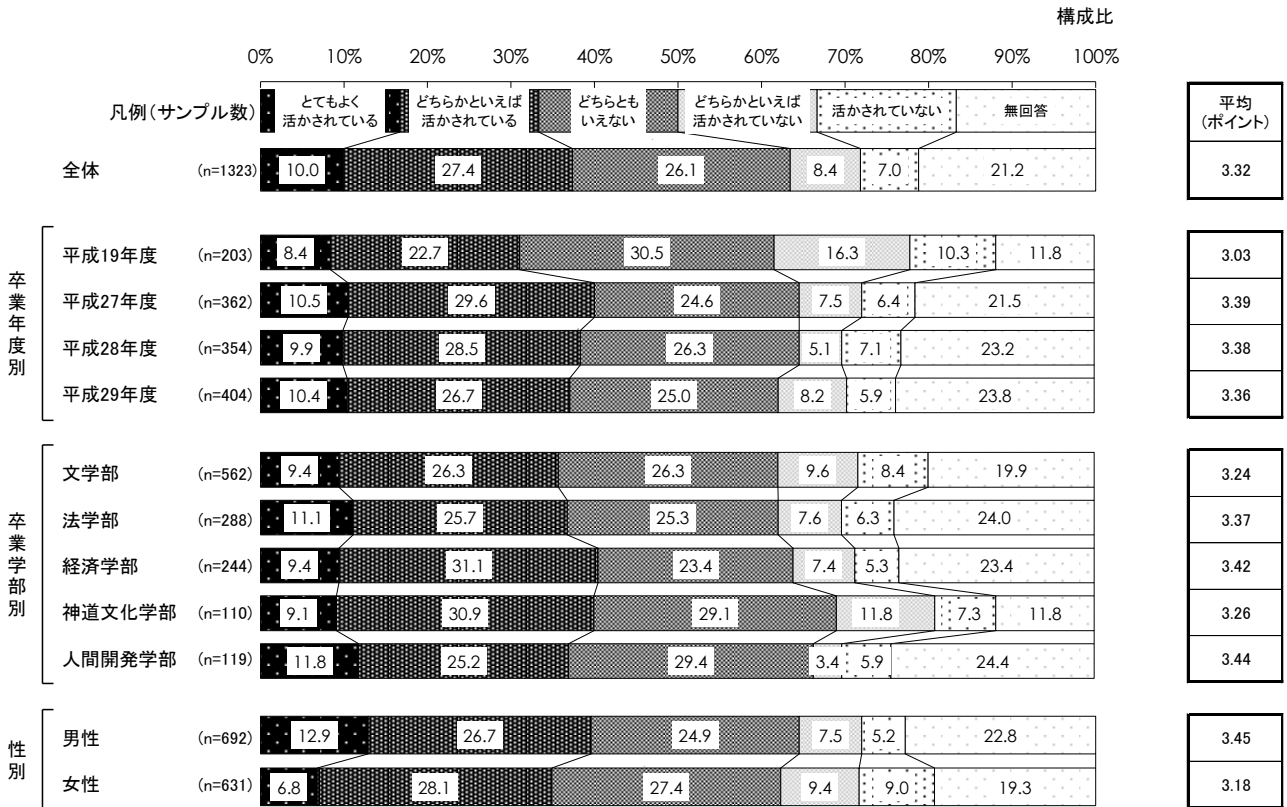
図表 2-55 マナーや礼儀についての教養・知識 (SA)



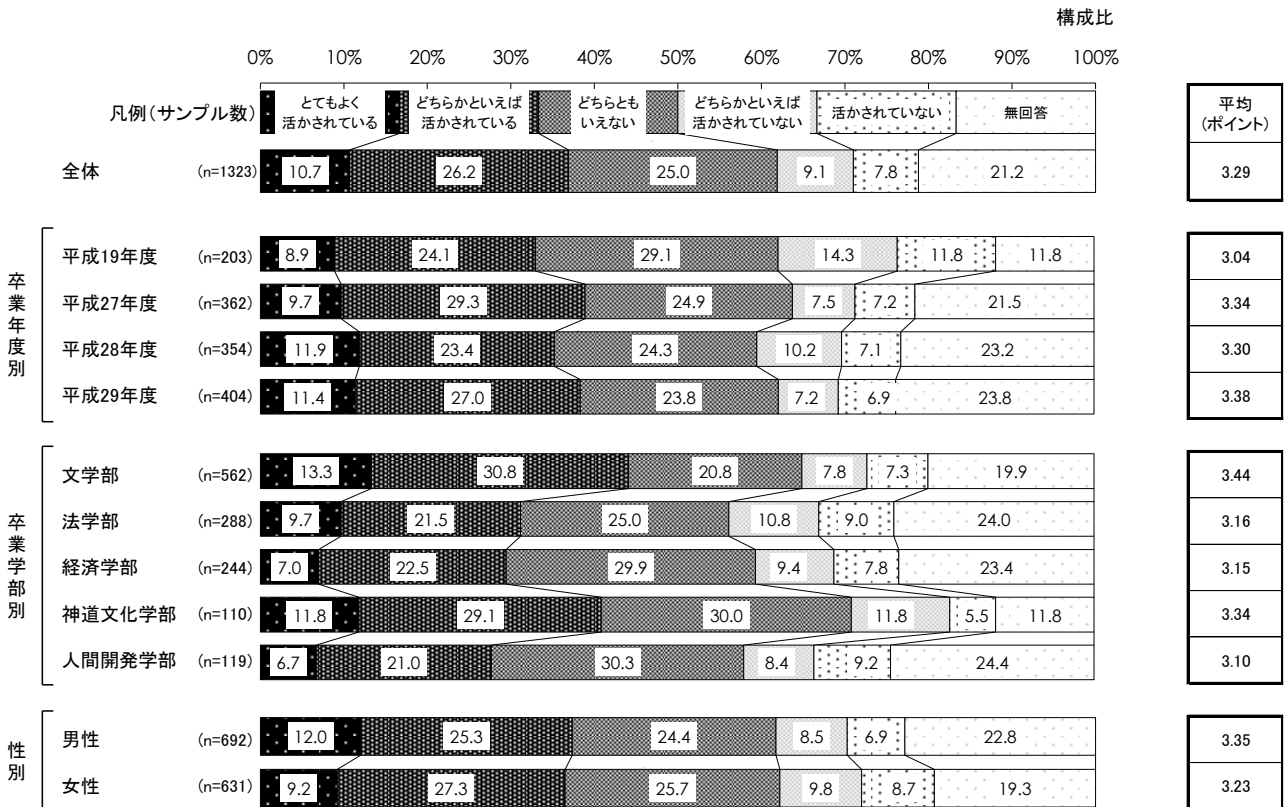
図表 2-56 専門的な知識 (SA)



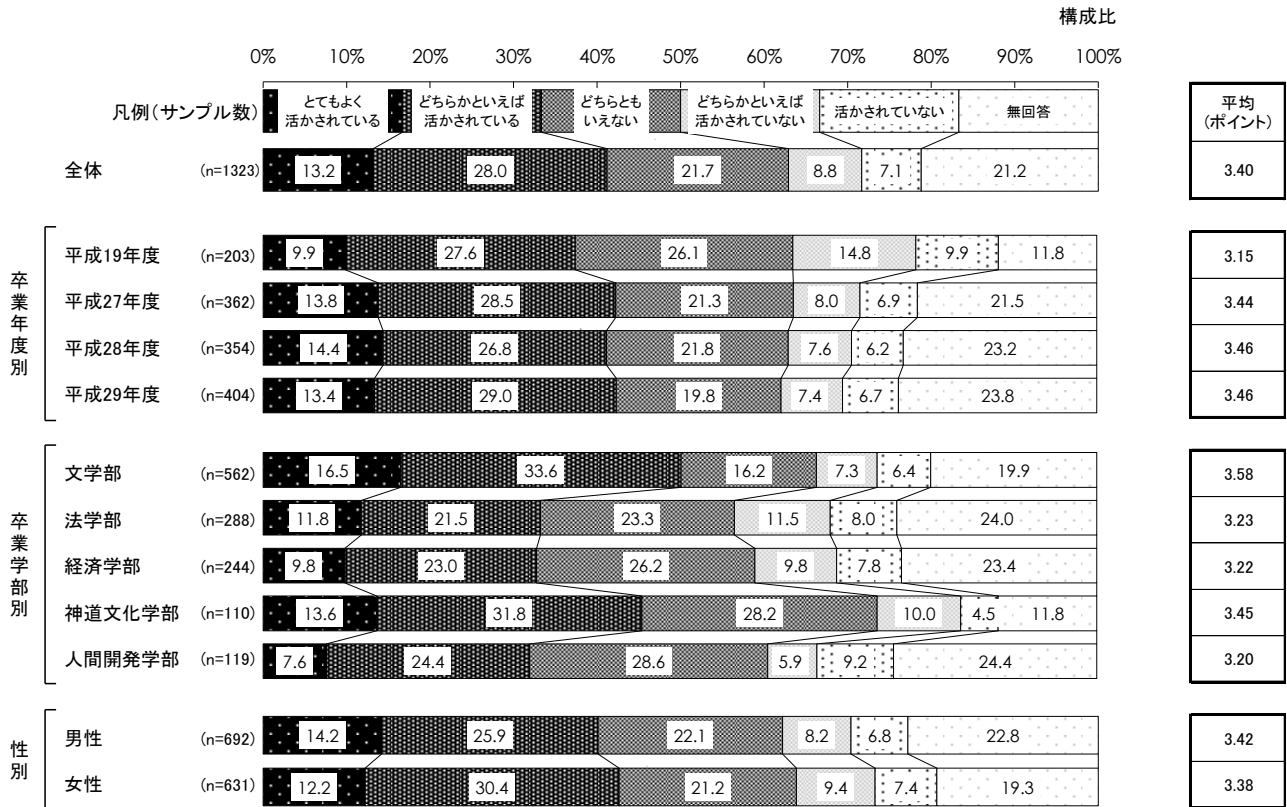
図表 2-57 最新の知識 (SA)



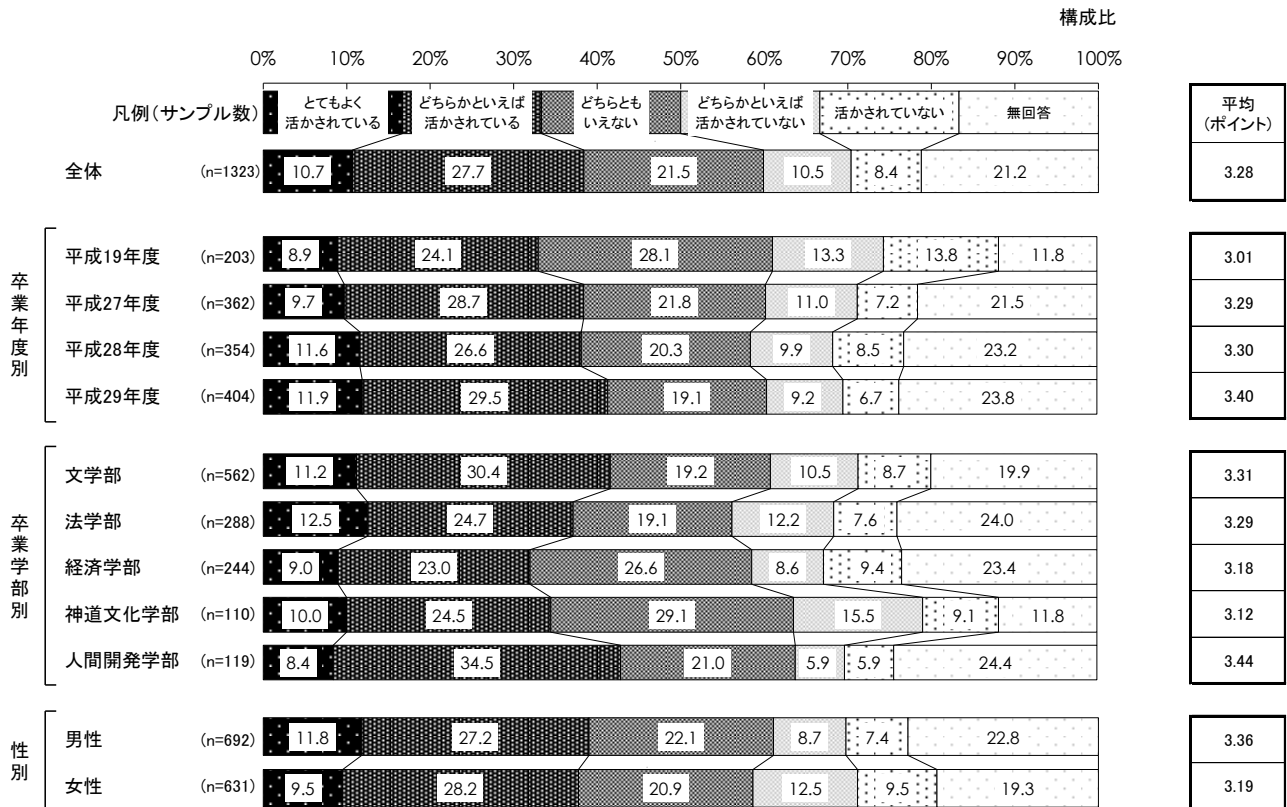
図表 2-58 調査・実験能力 (SA)



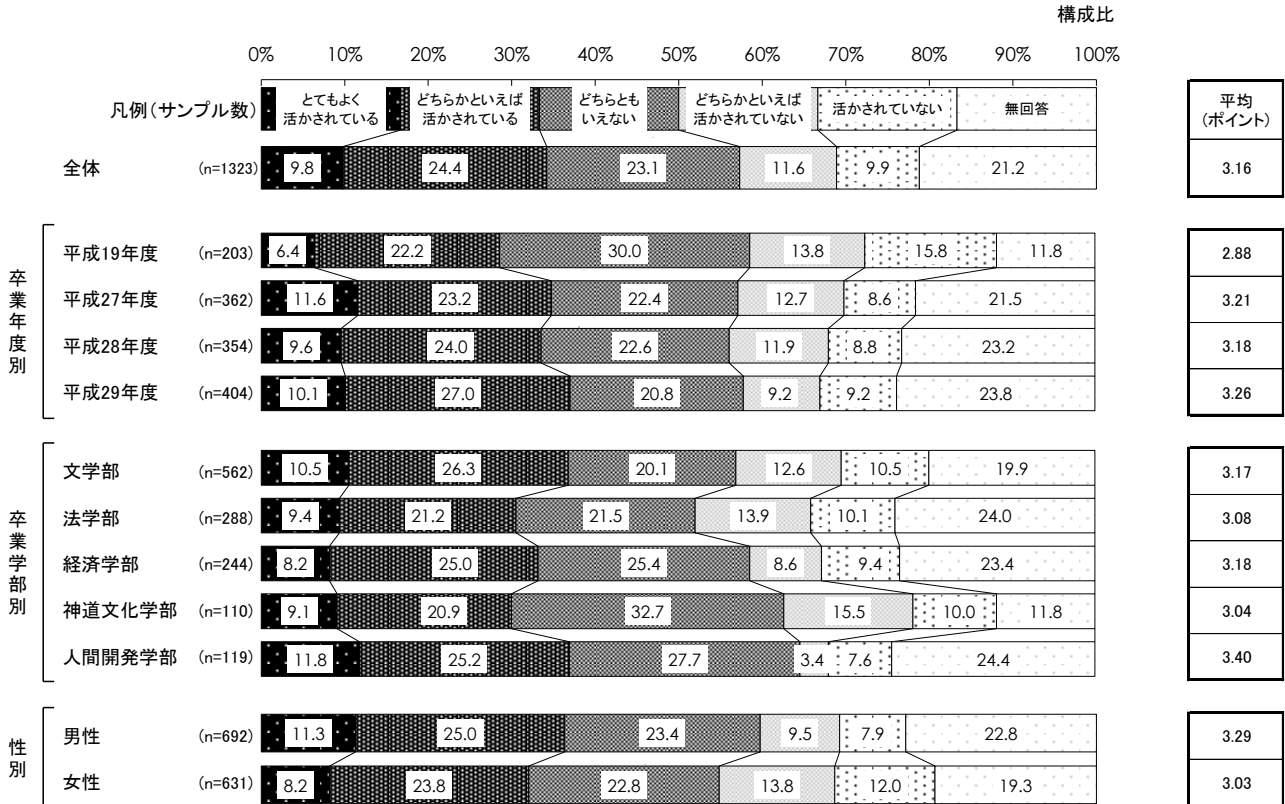
図表 2-59 分析・研究能力 (SA)



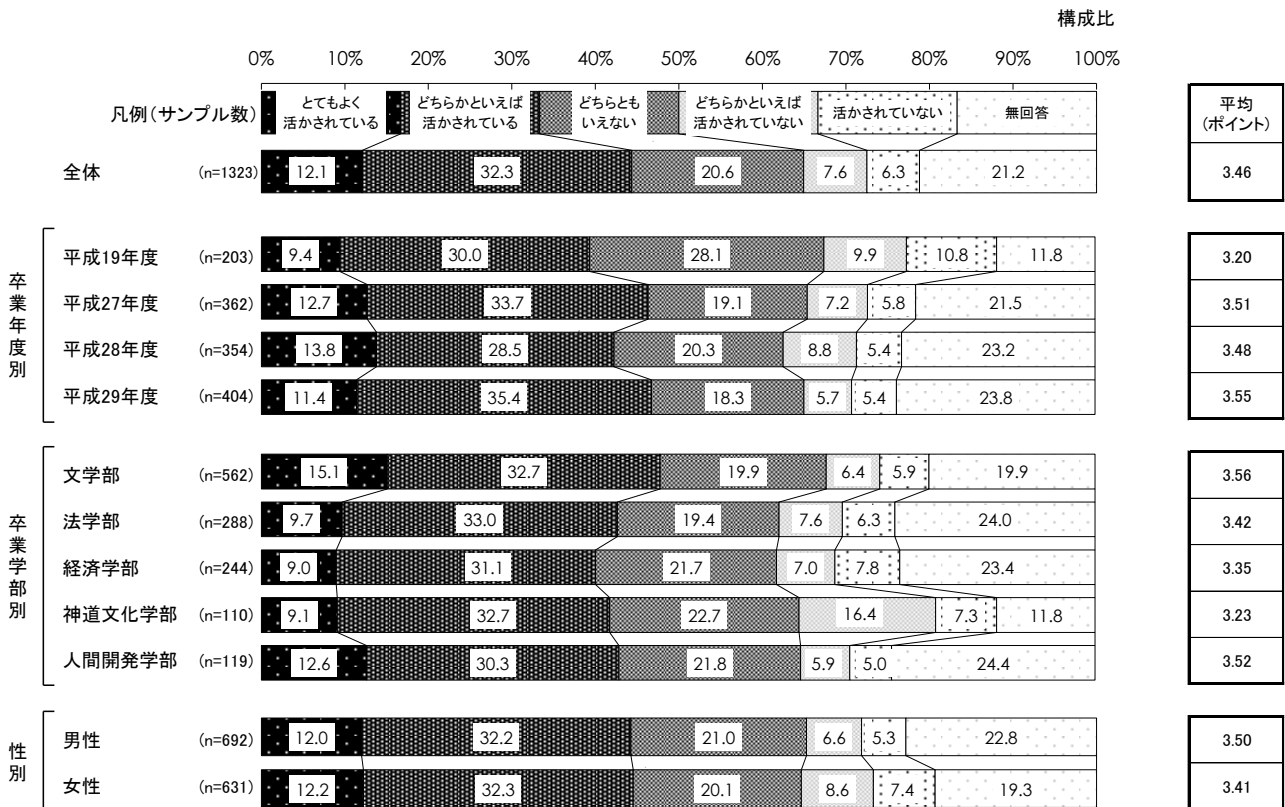
図表 2-60 討議・議論能力 (SA)



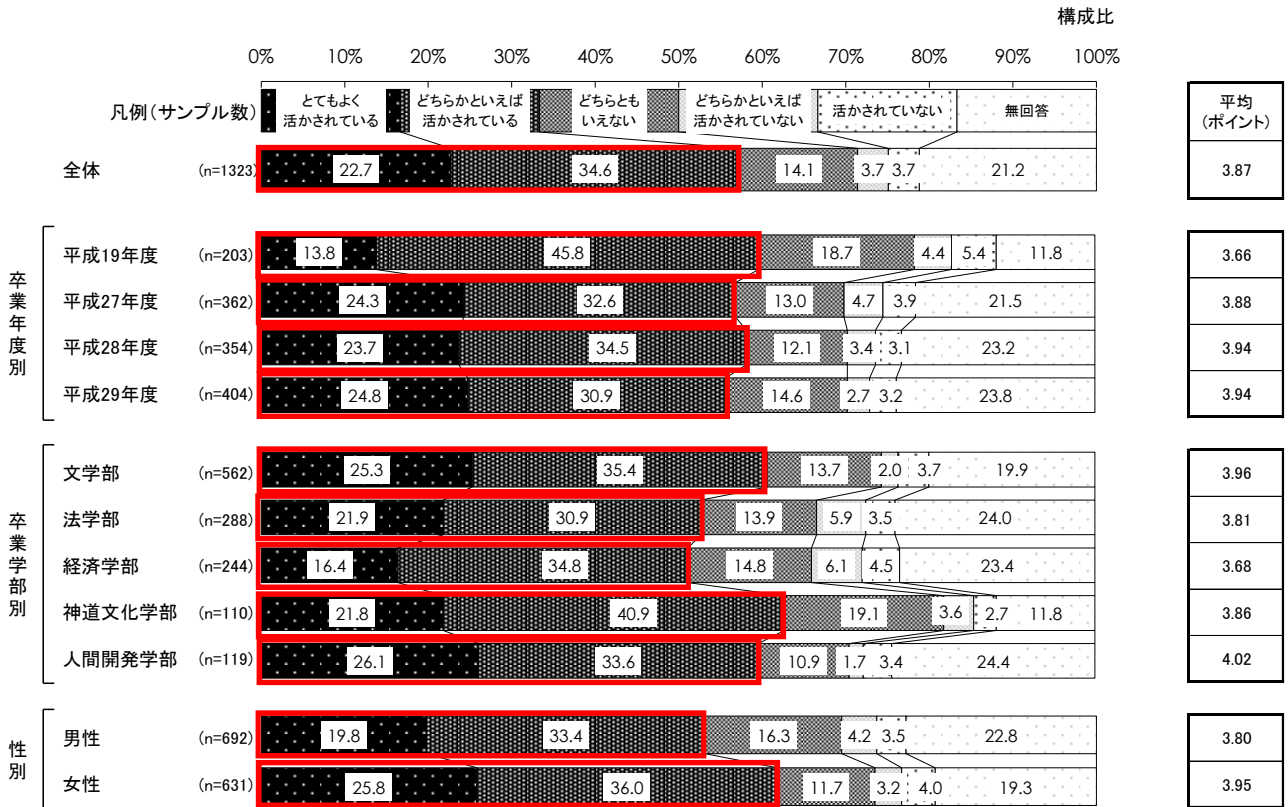
図表 2-61 プレゼンテーション能力 (SA)



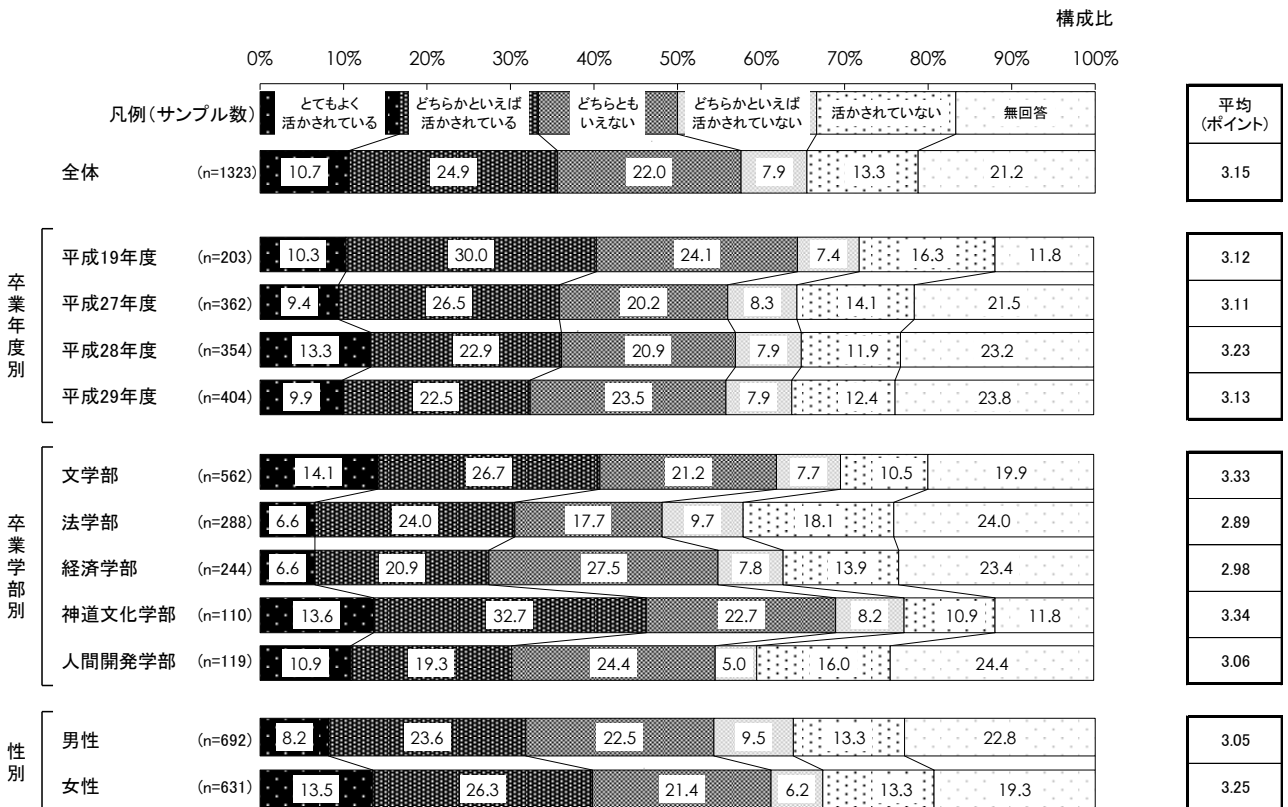
図表 2-62 課題解決能力 (SA)



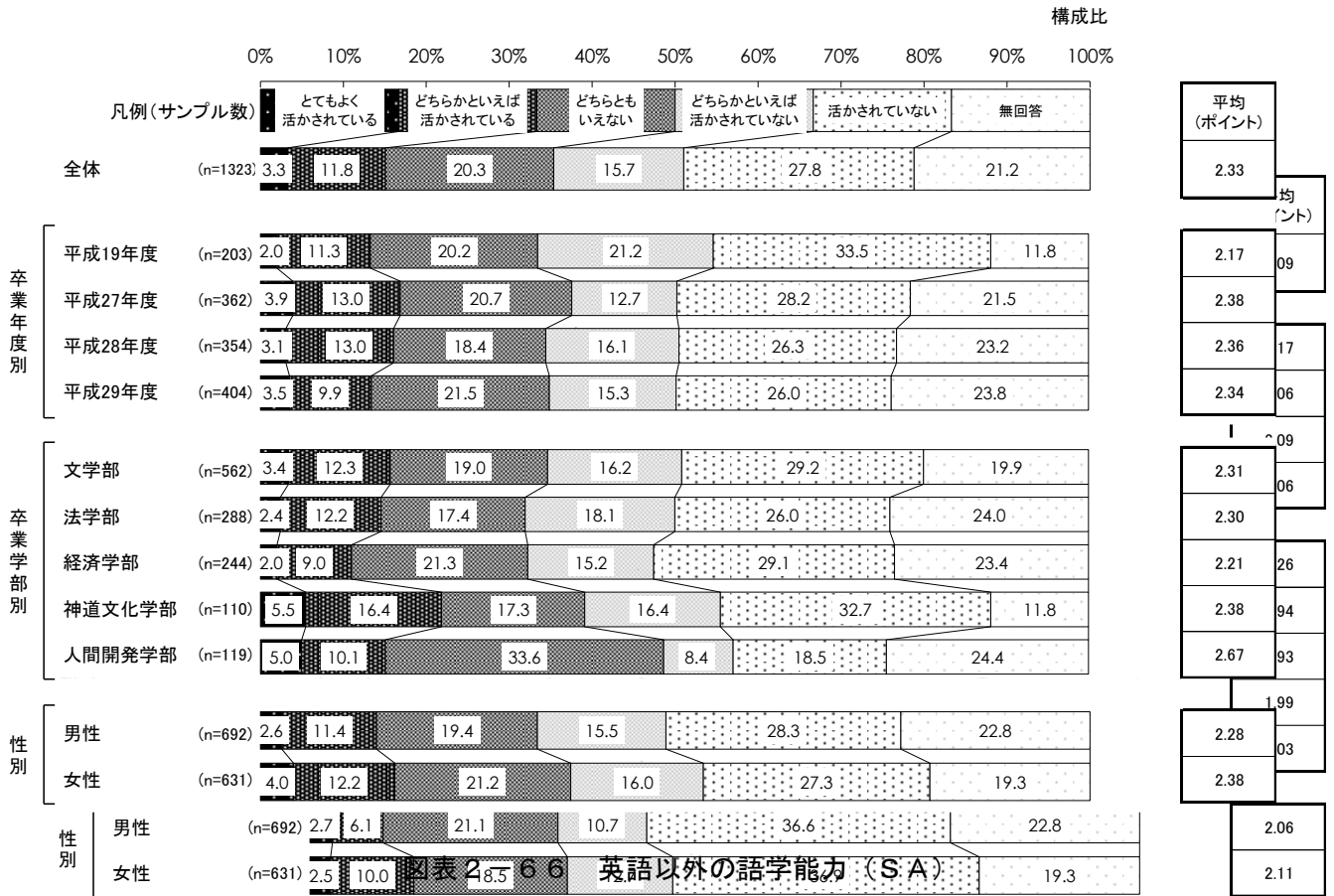
図表 2-63 多様な人々・考え方に対する理解力 (SA)



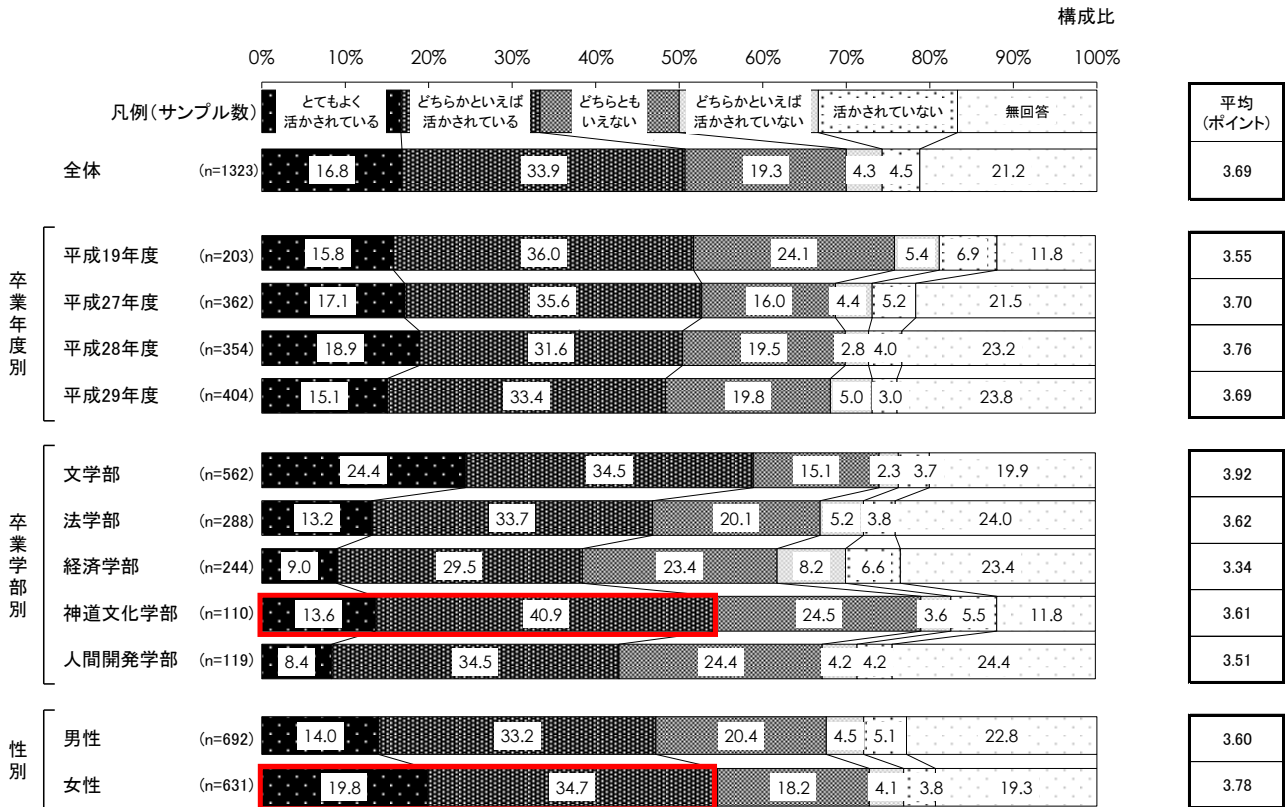
図表 2-64 諸外国の異文化に対する理解力 (SA)



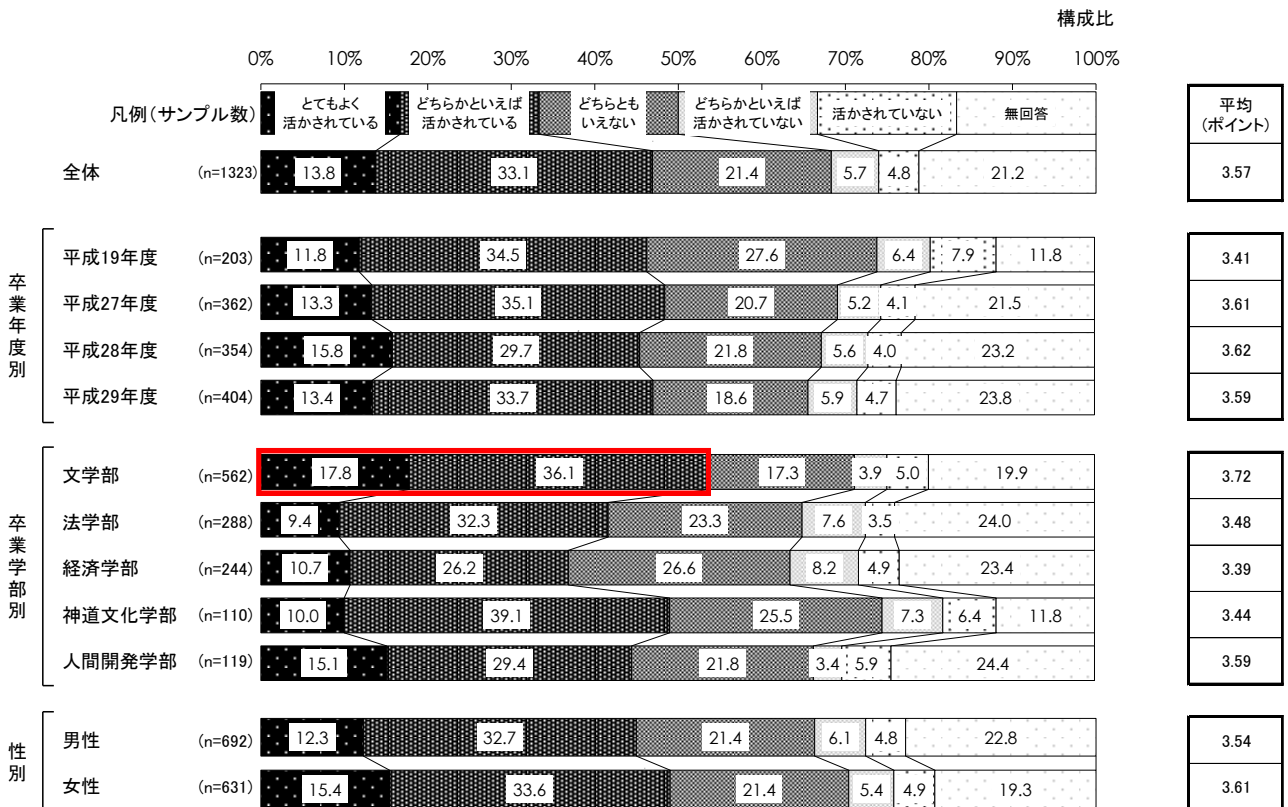
図表 2-65 英語能力 (S.A)



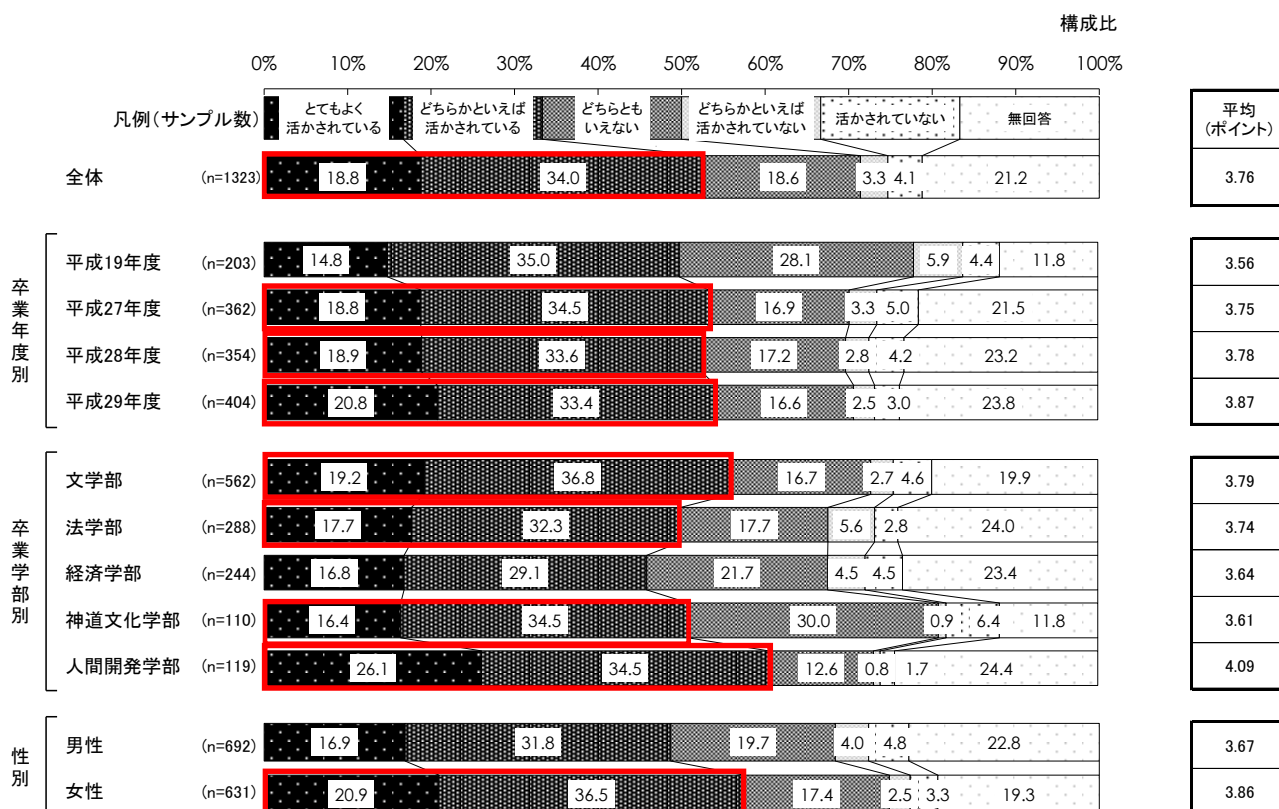
図表 2-67 適切な日本語を用いた文章表現力 (SA)



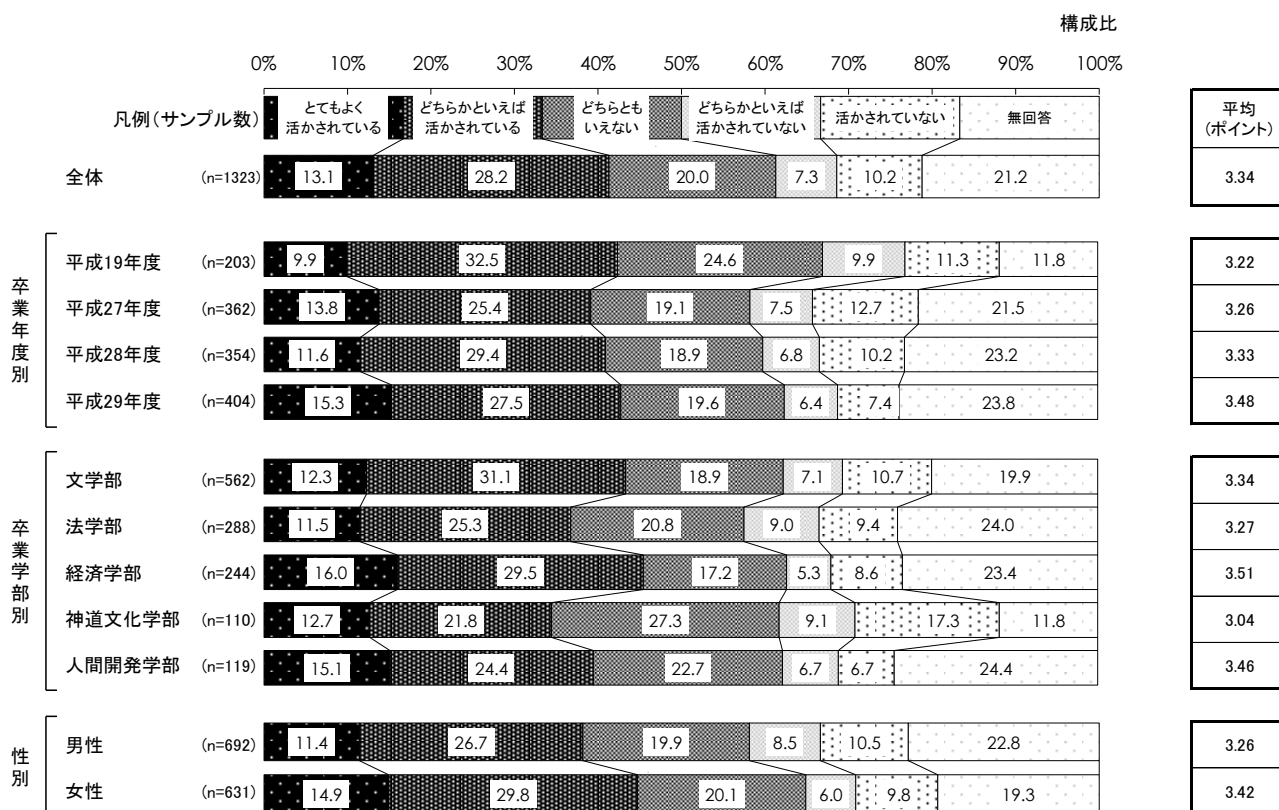
図表 2-68 自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力 (SA)



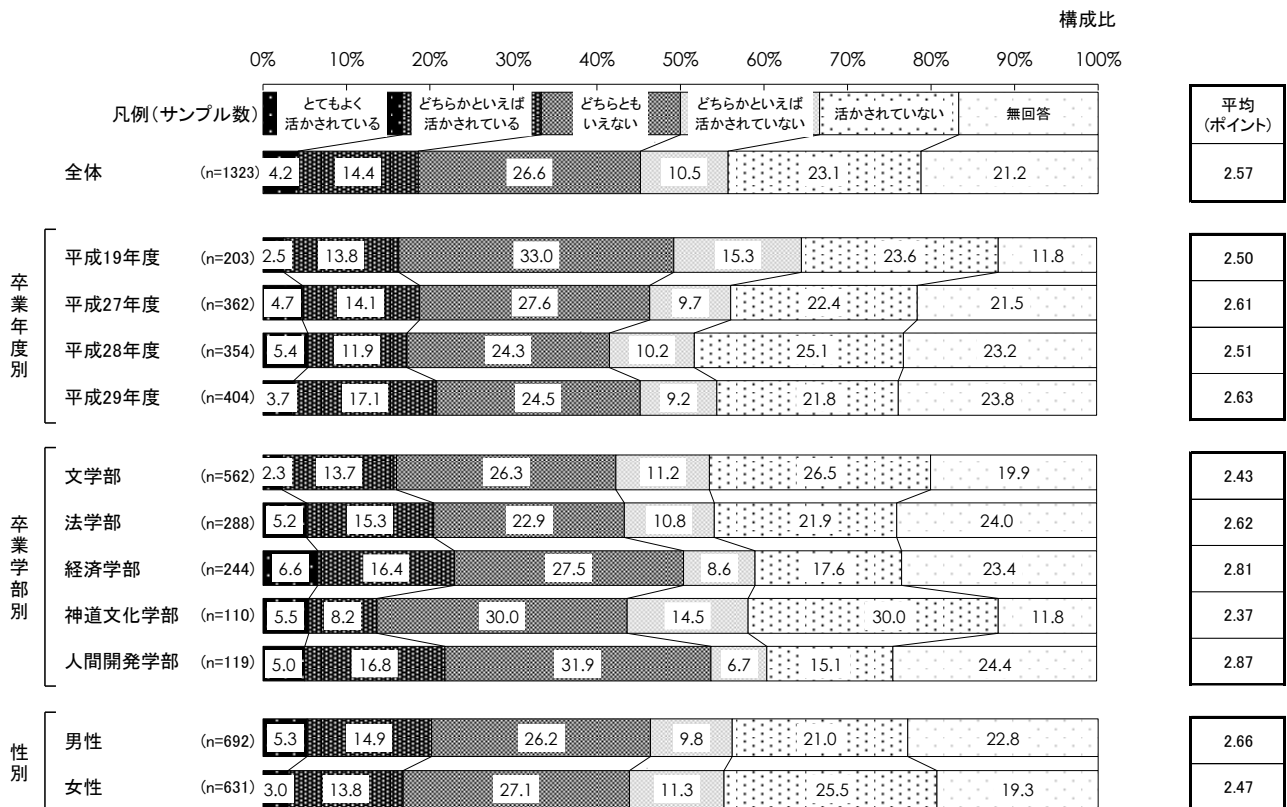
図表 2-69 他者を思いやり、サポートできる力 (SA)



図表 2-70 コンピュータの操作スキル (SA)



図表 2-71 数的処理力 (SA)



3. 「在学当時に身につけておけばよかった」と思う知識や能力はありますか。 (答えはいくつでも)

在学当時に身につけておけばよかったと思う知識や能力は、「英語能力」が最も高く 38.1%、次いで「プレゼンテーション能力」が 32.8%、「コンピュータの操作スキル」が 31.0%などの順となっている。

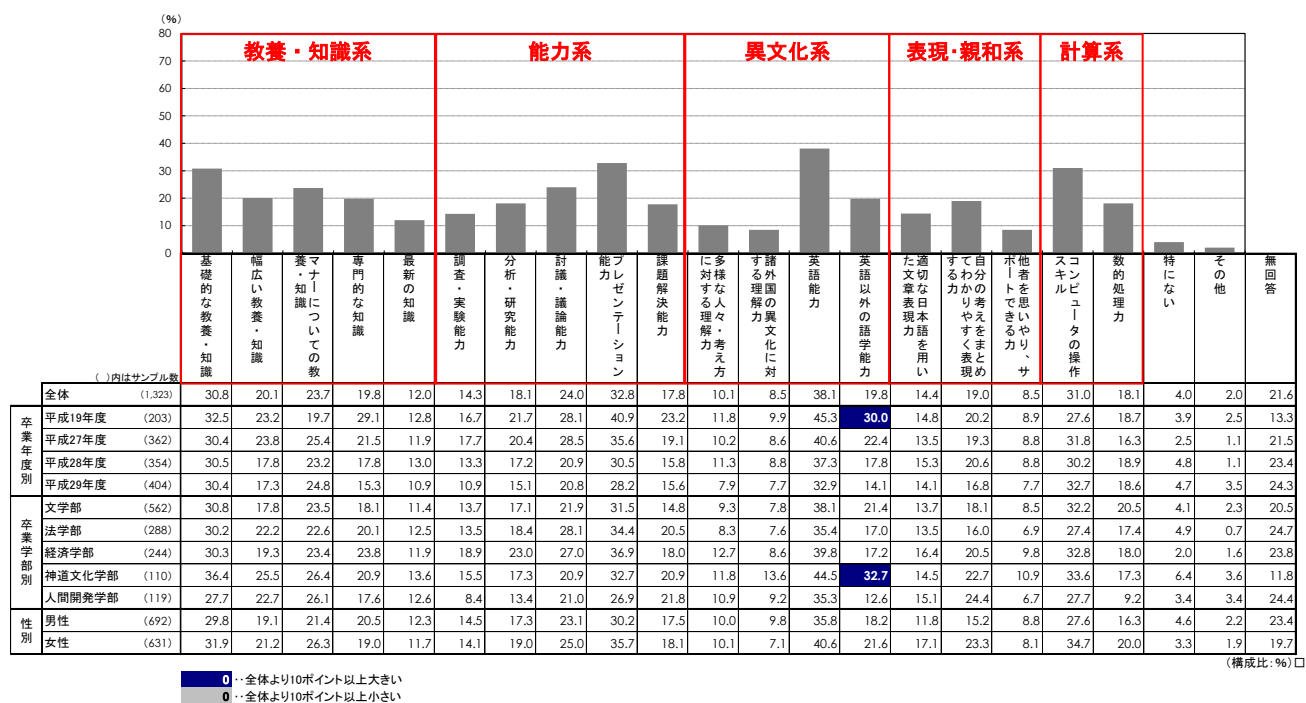
卒業年度別にみると、いずれの卒業年度も「英語能力」が最も高くなっている。また、卒業してから年数がたつほど、「身につけておけばよかった」という割合が高くなる項目は、「討議・議論能力」、「プレゼンテーション能力」となっており、他者を理解したり、自身の考えを伝える能力を挙げる傾向がみられる。

卒業学部別にみると、文学部、法学部、経済学部は「英語能力」が最も高い一方、神道文化学部は「英語以外の語学能力」が最も高くなっている。

性別にみると、男女ともに「英語能力」が最も高く、女性は 40.6%と約 4 割を占める。

身につけなかった知識や能力に対し、「身につけておけばよかった」という回答が高くなるのが基本であるが、能力系は前述のとおり全般的に修得したという回答は高くない中で、「調査・実験能力」、「分析・研究能力」、「課題解決能力」は相対的に比べて低いことから、ニーズが限定的といえる。

図表 2-7-2 「在学当時に身につけておけばよかった」と思う知識や能力 (MA)



「その他」の内容

1	いつか死ぬ自分がどういう人生を送れば納得いくのかを考えること
2	お金に関する知識
3	キャリアに対する具体的な考え方、自身の幸せの定義について。
4	この学校じゃ身につかない。
5	コミュニケーション力は大切です。
6	マナーについてだが、マナー講師が提唱する過激なものではなく、会社内でのコミュニケーションマナー――
7	もう少し資格に挑戦すれば良かった。
8	もっと神社実務の応用的な部分や経営に関することも学びたかった。
9	やりたいことをやる行動力、課外活動能力、好きなことや長所を伸ばす意識、何をして生きるか考えること。
10	英語の話す・聞く分野
11	外国語よりも魅力のある学びたい事が國學院大學には沢山ありましたので、仮に学生時代に戻っても、勉強は一生懸命するけれど、外国語は身に付かないだろうと自分で思います。大学生活は本当に楽しかった。
12	記紀神話や古典に関する専門的知識
13	教員の常識
14	金の稼ぎ方、出世のためのマナー、処世術
15	思考力の弱い相手に対し、自身で考え行動できるようにさせる能力(後輩への教育で困っている)
16	資格の取得
17	自己肯定感
18	自分自身について知る事。「自己分析」と言われてもどうやったら良いかわからないし、就活用に曲げて行ってしまいかもしれない。徹底的に自分に向き合っ知る時間を設けるべきだった。
19	社会に出てから使える事務的な文例など
20	出会い
21	初等教育を中心にしか学べていないので、転職に不利。他学科のことをもっと学びたかった
22	上記の力が社会を生き抜く上で必要だという理解
23	人前に立つという経験
24	図書館学と教職課程
25	税金とか
26	投資 彼女づくり
27	飛行能力
28	簿記やTOEIC等の資格取得
29	本を読む力
30	労働に関する法的な知識

問4 大学の満足度

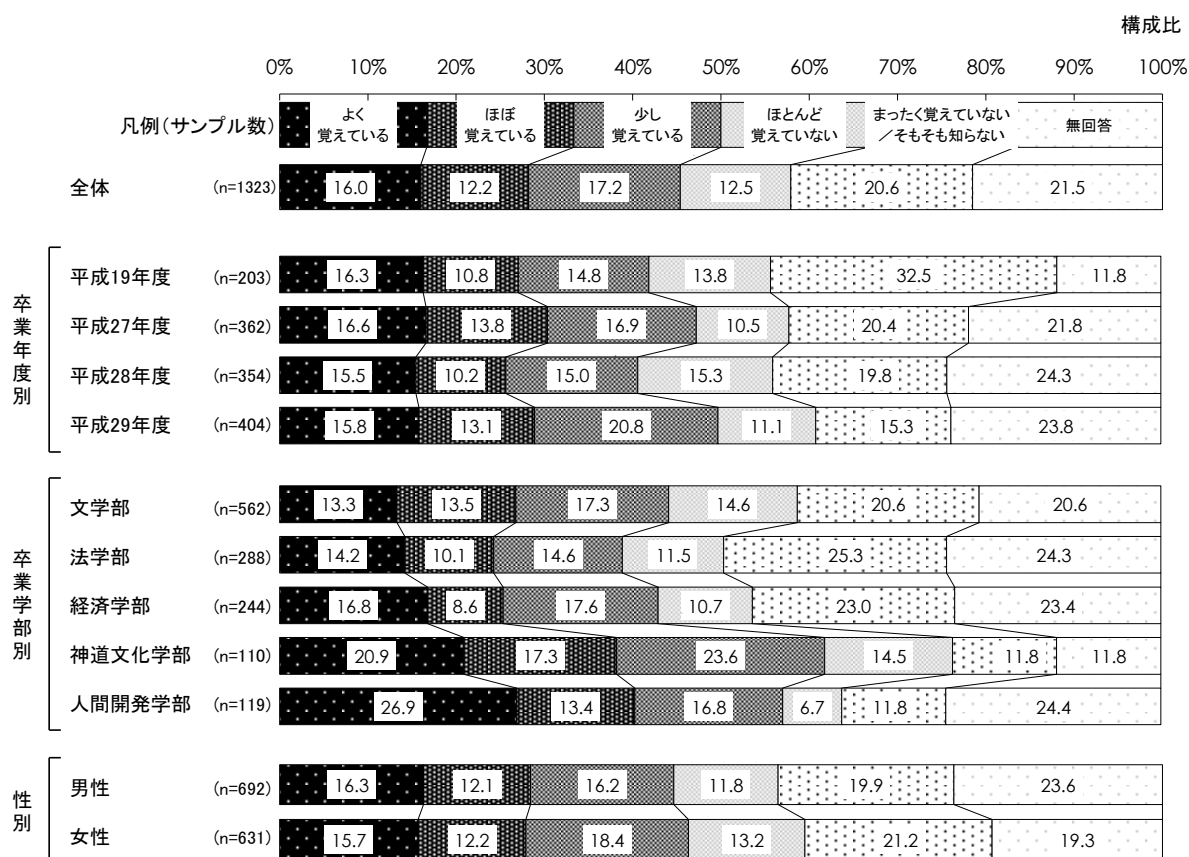
1. あなたは、國學院大学の校歌を覚えていますか。(1つ選択)

國學院大学の校歌を覚えているか、ということについては、「まったく覚えていない／そもそも知らない」が最も高く20.6%、次いで「少し覚えている」が17.2%、「よく覚えている」が16.0%となっている。

卒業年度別、卒業学部、性別でも、「まったく覚えていない／そもそも知らない」が最も高くなっている。

卒業学部のうち、神道文化学部、人間開発学部は、他の学部 비해「まったく覚えていない／そもそも知らない」が低い一方、「よく覚えている」の割合が高くなっている。

図表2-73 國學院大学の校歌について (SA)

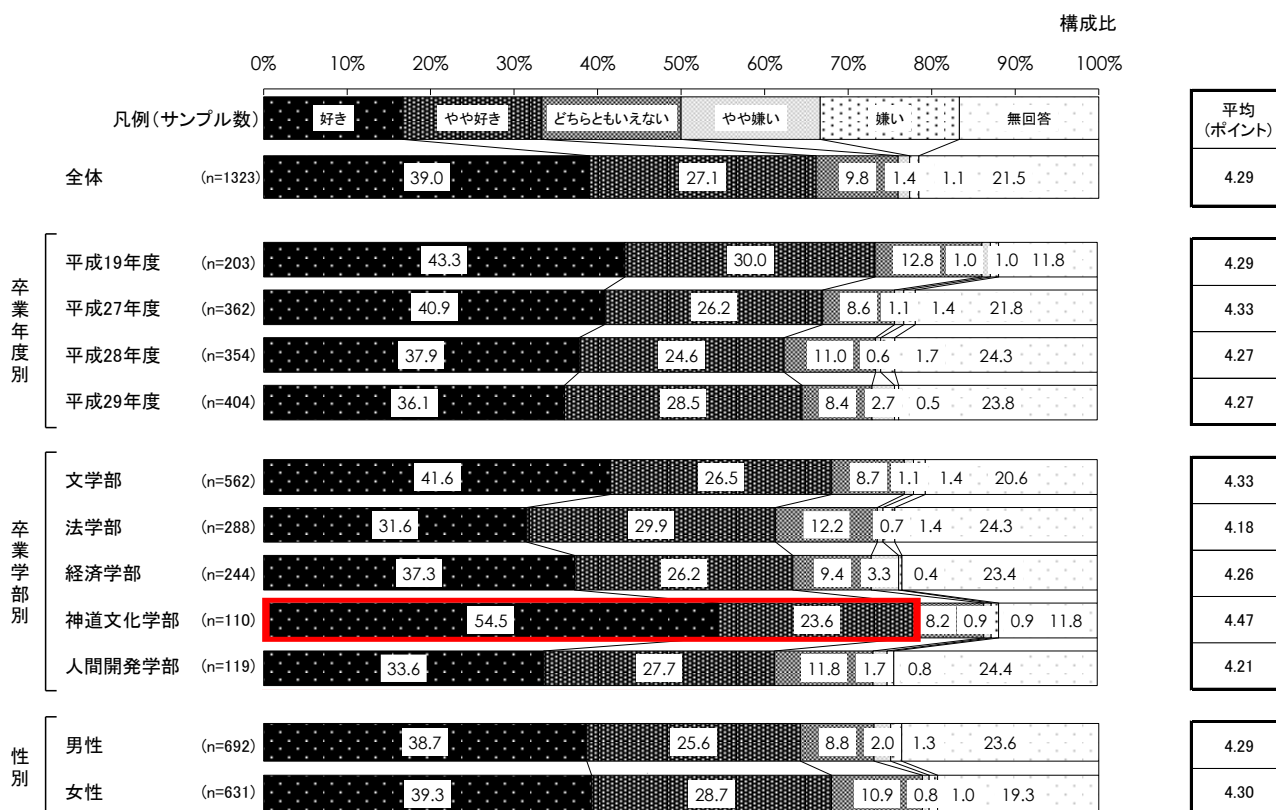


2. あなたは國學院大學が好きですか。(1つ選択)

國學院大學が好きか、ということについては「好き」が最も高く 39.0%、次いで「やや好き」が 27.1%、「どちらともいえない」が 9.8%となっている。

卒業学部別、卒業学年度別、性別で見ても同様である。

図表 2-74 國學院大學について (SA)



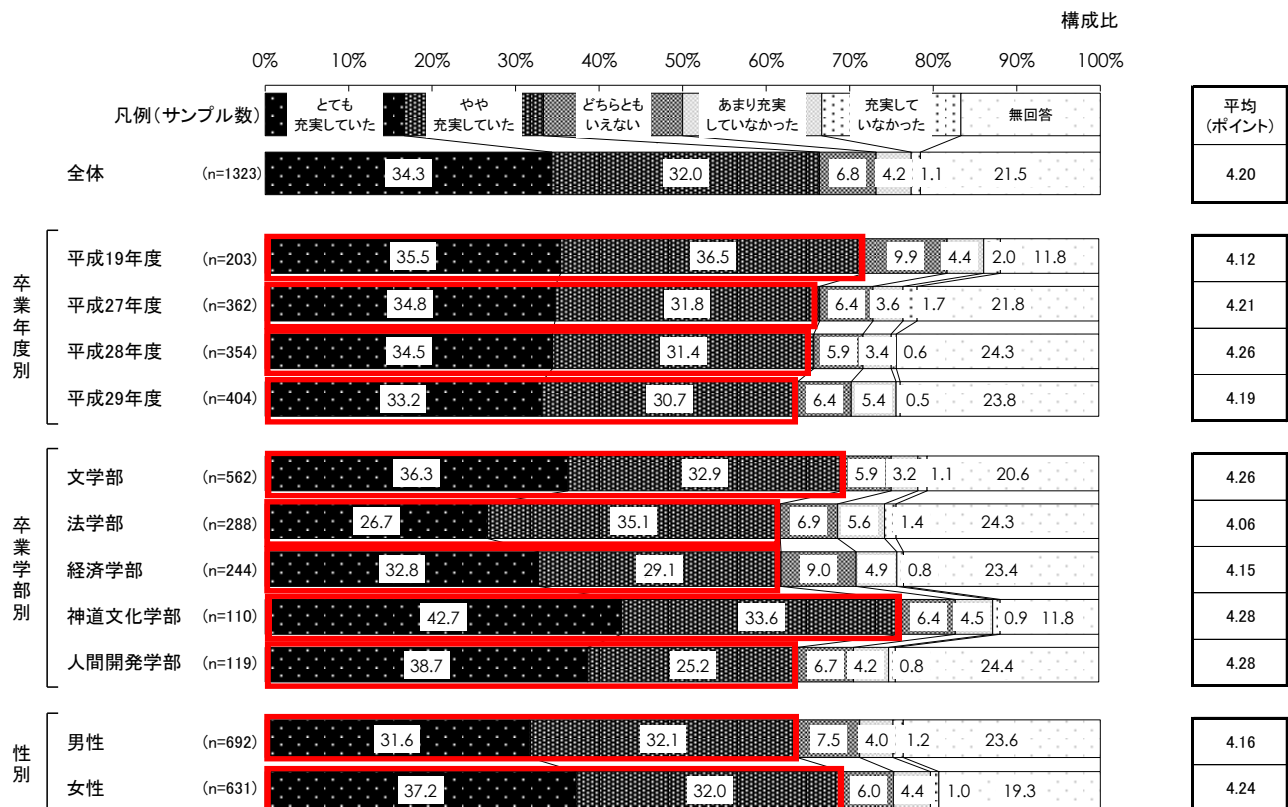
3. あなたの学生時代は、充実していましたか。(1つ選択)

学生時代が充実していたか、ということについては、「とても充実していた」が最も高く34.3%、次いで「やや充実していた」が32.0%、「どちらともいえない」が6.8%となっている。

卒業年度別、卒業学部別、性別でも、同様である。

神道文化学部は「とても充実していた」が42.7%と他の学部より高いことが特徴である。

図表2-75 学生時代について (SA)



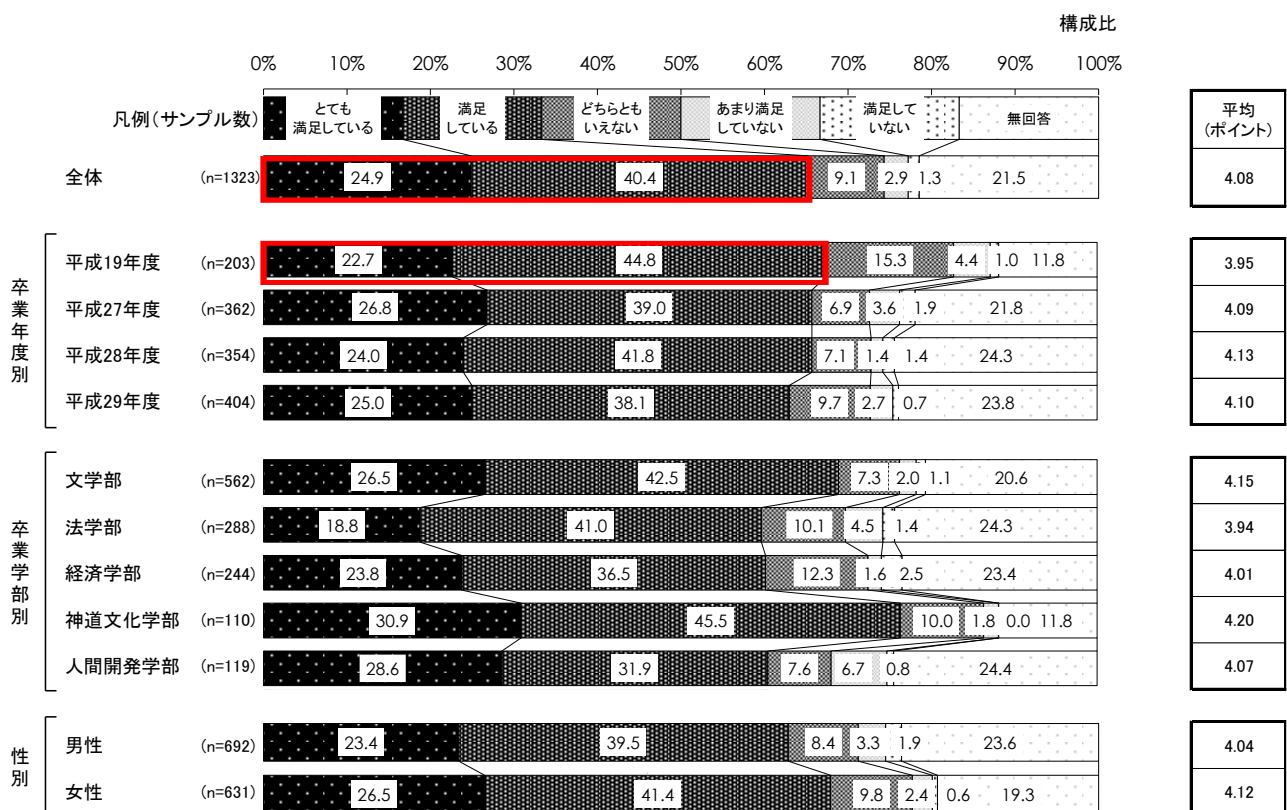
4. 本学に対する総合的な満足度をお答えください。(1つ選択)

本学に対する総合的な満足度については、「満足している」が最も高く 40.4%、次いで「とても満足している」が 24.9%、「どちらともいえない」が 9.1%となっている。

卒業学部別、卒業年度別、性別で見ても同様である。

神道文化学部は「とても満足している」が 30.9%と他の学部より高いことが特徴である。

図表 2-76 本学に対する総合的な満足度 (S A)



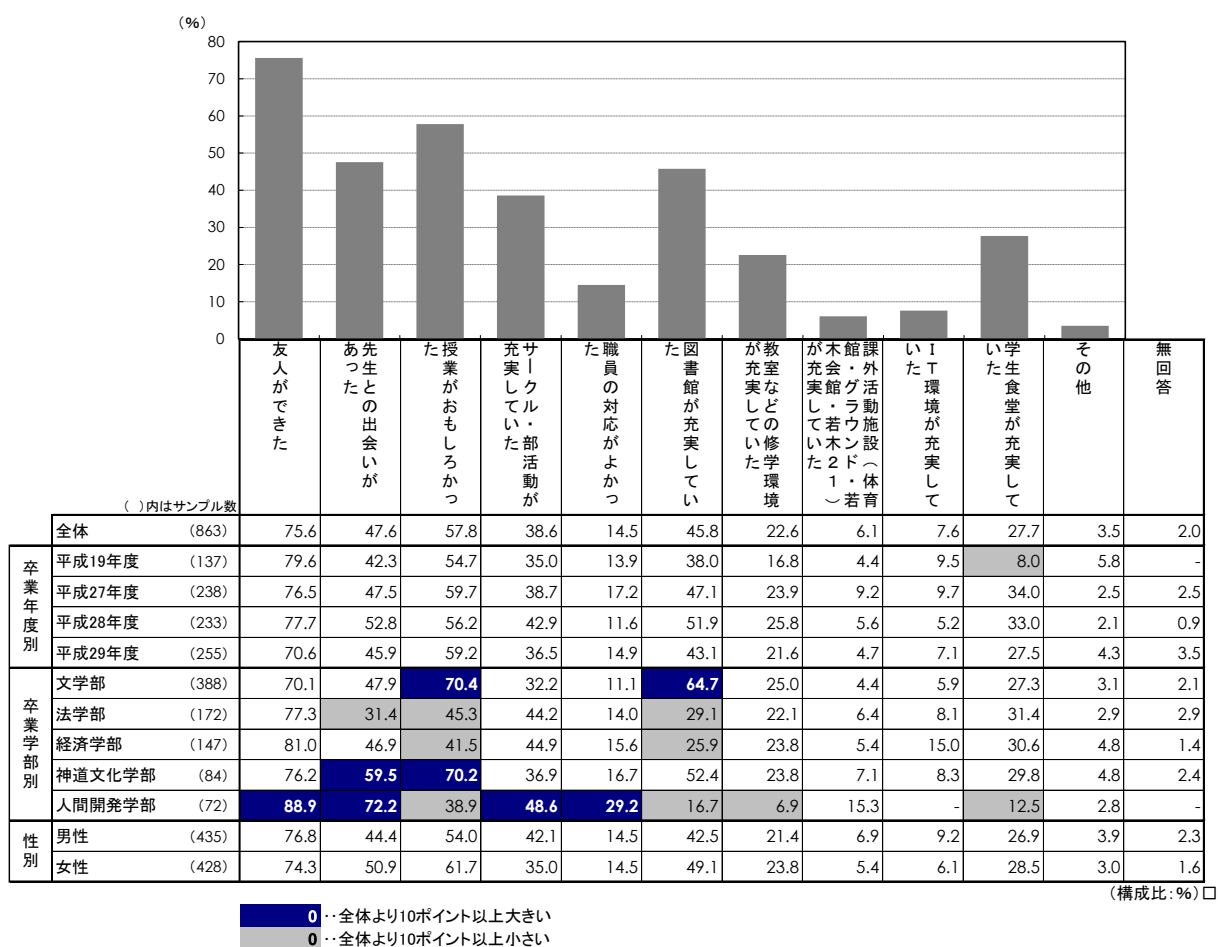
5. (「とても満足している」、「満足している」と回答された方にうかがいます。) あなたが國學院大學に満足している理由をお選びください。(答えはいくつでも)

國學院大學に満足している理由は、「友人ができた」が最も高く 75.6%、次いで「授業がおもしろかった」が 57.8%、「先生との出会いがあった」が 47.6%などの順となっている。

卒業年度別にみると、平成 19 年度においては、「図書館が充実していた」(38.0%)、「教室などの修学環境が充実していた」(16.8%)、「学生食堂が充実していた」(8.0%)が、他の年度よりも全体に対して低くなっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部において「友人ができた」の割合が 88.9%と高く、他の項目についても全体よりも高くなっている。

図表 2-77 國學院大學に満足している理由 (MA)



「その他」の内容

1	キャンパスが渋谷にあり立地がとても良かった
2	たくさん資格を取得できた
3	トイレ
4	トイレが清潔だった
5	トイレが多くて綺麗
6	トイレが綺麗だった
7	とり重が美味しかった
8	ルーム制が温かかった。手厚い対応が有り難かった。
9	学生が大人しかった
10	学生団体に入った
11	結婚できた
12	校舎が都心にあり、大学以外の学びにおいてもアクセスが良かった 規模が自分にとって適正であった
13	校門がないオープンな環境
14	高校時代までとは違う自由な雰囲気の中でも、しっかりルールを守る、静かで厳かな、勉強に打ち込める大学でした。
15	骨太な日本語力を得られた。
16	資格課程など学部学科以外のことを学べる環境が比較的整っていた、いいゼミの仲間と出会えた、大学の立地がよかった
17	取得できる資格が充実していた
18	就職支援が充実していた
19	渋谷という喧騒の中で落ち着いた空間で、「学生」を堪能できた
20	渋谷という立地
21	渋谷という立地が田舎育ちの自分には刺激的でした。
22	渋谷に近かった
23	渋谷に近くて良かった
24	渋谷の中にある大学だけど、まったりと学生生活を送れたから。
25	小さいころからなりたかった職につけ、大成したから
26	真面目な校風 適度な規模感
27	神社に心安らいた。
28	神道について学べた
29	人生が思わぬ方向に開いた。教員免許をとるなんて思わなかった。教職の授業がとても好きだった。今村梅子先生など
30	素敵な人に出会えた。
31	他では学べない、神道について、自分が生まれ育った日本という国について深く勉強できた
32	他の大学に比べ生徒の学習意欲が高かった
33	単なる愛校心。四年間も通ったので…
34	中国への留学という、他大学だったらしななかったらう体験ができた。
35	調査により、学生の要望に応えようとする姿勢を見て取れた。(例)ランチカー
36	日本の文化の素晴らしさを教えてくれた。博物館がすごい。こくびょんがかわいい。
37	熱心な先生方が親身の指導してくれたこと
38	派手すぎず落ち着いていて、雰囲気が良かった。
39	博物館がかなり充実、無料で利用できる。渋谷学の講義は続けてほしい。
40	博物館が充実しておりよく足を運んでいた。
41	博物館での催しが豪華
42	必修科目が少なく、自由に授業を選択できた為、アルバイトなどにも精を出すことができた
43	陸上部が箱根駅伝に出場している
44	立地条件
45	歴史学の面白さがわかった

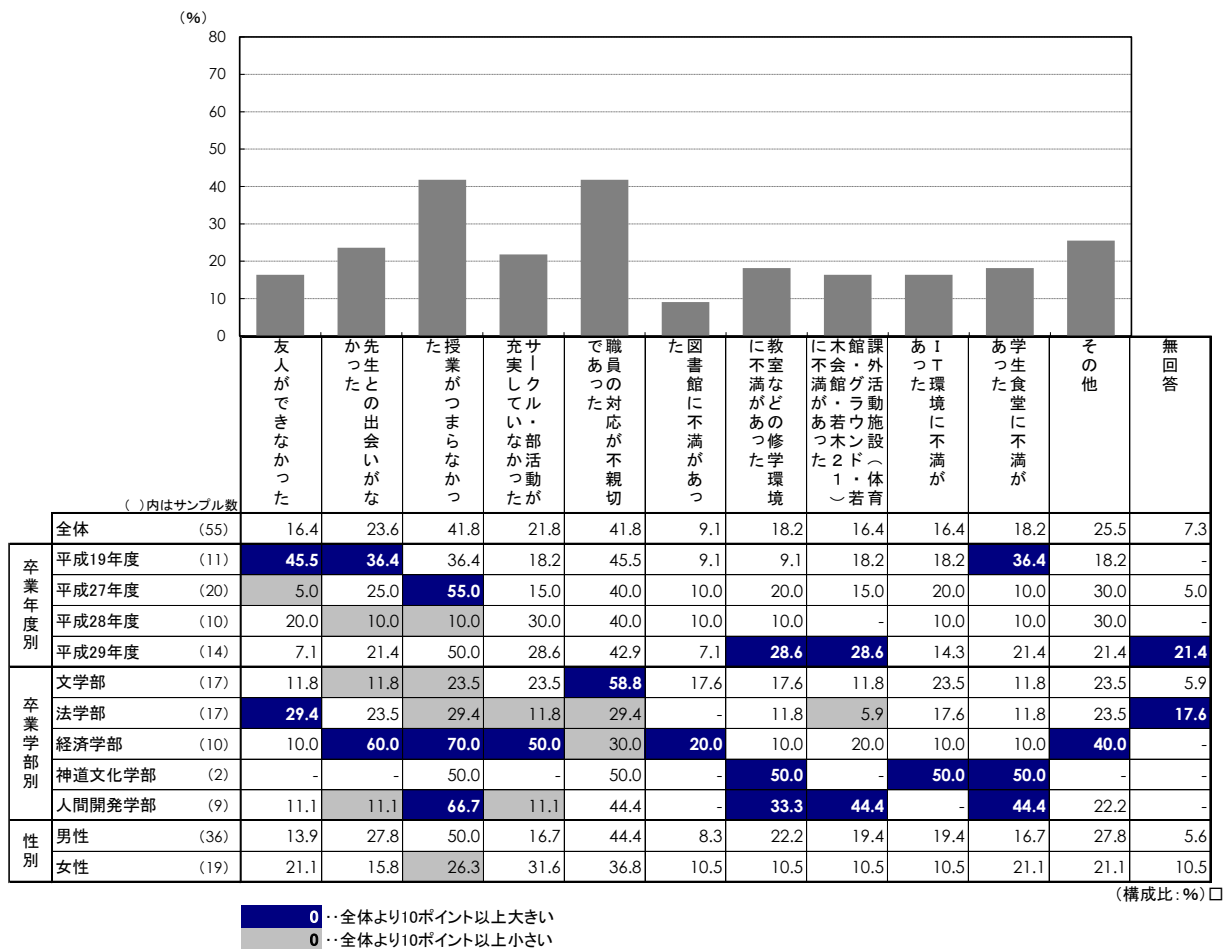
6. (「あまり満足していない」、「満足していない」と回答された方にうかがいます。) あなたが國學院大學に不満足な理由をお選びください。(答えはいくつでも)

國學院大學に不満足な理由は、「授業がつまらなかった」と「職員の対応が不親切であった」が最も高くともに41.8%、次いで「その他」が25.5%、「先生との出会いがなかった」が23.6%などの順となっている。

卒業年度別にみると、平成19年度においては、「友人ができなかった」が45.5%、「先生との出会いがなかった」と「学生食堂に不満があった」がともに36.4%、平成27年度は「授業がつまらなかった」が55.0%とそれぞれもっと高くなっている。

性別にみると、女性は「授業がつまらなかった」が26.3%と男性よりも不満を感じる人の割合が低くなっている。

図表2-78 國學院大學に不満足な理由 (MA)



「その他」の内容

1	ゼミが必修ではなかったため
2	ゼミの数が他の大学に比べて圧倒的に少なく入りたくても入れなかった
3	応援団の強引な勧誘により学生生活の出鼻を挫かれた。是正か取り潰しをして頂きたいくらいです。
4	可愛い子がいない
5	外国語の講義が将来実際に使うことを想定したものであってほしかった。単位の為だけではない講義を受けたかった。
6	外国語科目の水準が低すぎる
7	学外での活動等を通じた学びへの理解が薄かった。受動的な授業が多かった。
8	学費を払うためのバイトで勉強出来なかった。
9	教養科目における授業のレベルと学生(特に推薦組)の質が低いと感じた。
10	指導が一貫されてない。言っていることが分からない。深い学びではなく、内容が薄っぺらい。採用試験の対策も同じ。
11	事務課の人が嫌な人が多いです。態度だけでなく不親切な行動も
12	成績が出るのが遅かった、履修登録に不満
13	卒業後のブランド力のなさ
14	知名度、良さ、独自性が全く外に伝わってなく、学校名を言うのが恥ずかしいから。
15	知名度がなさすぎて出身大学を言うと「どこ？」と言われ恥ばかりかいている
16	本質的なQOLを上げるための教育学部できておらず、表面的な知識が多い。特にキャリアセンターがひどい
17	國學院の育てる学生像と社会的に求められる学生像のズレ。

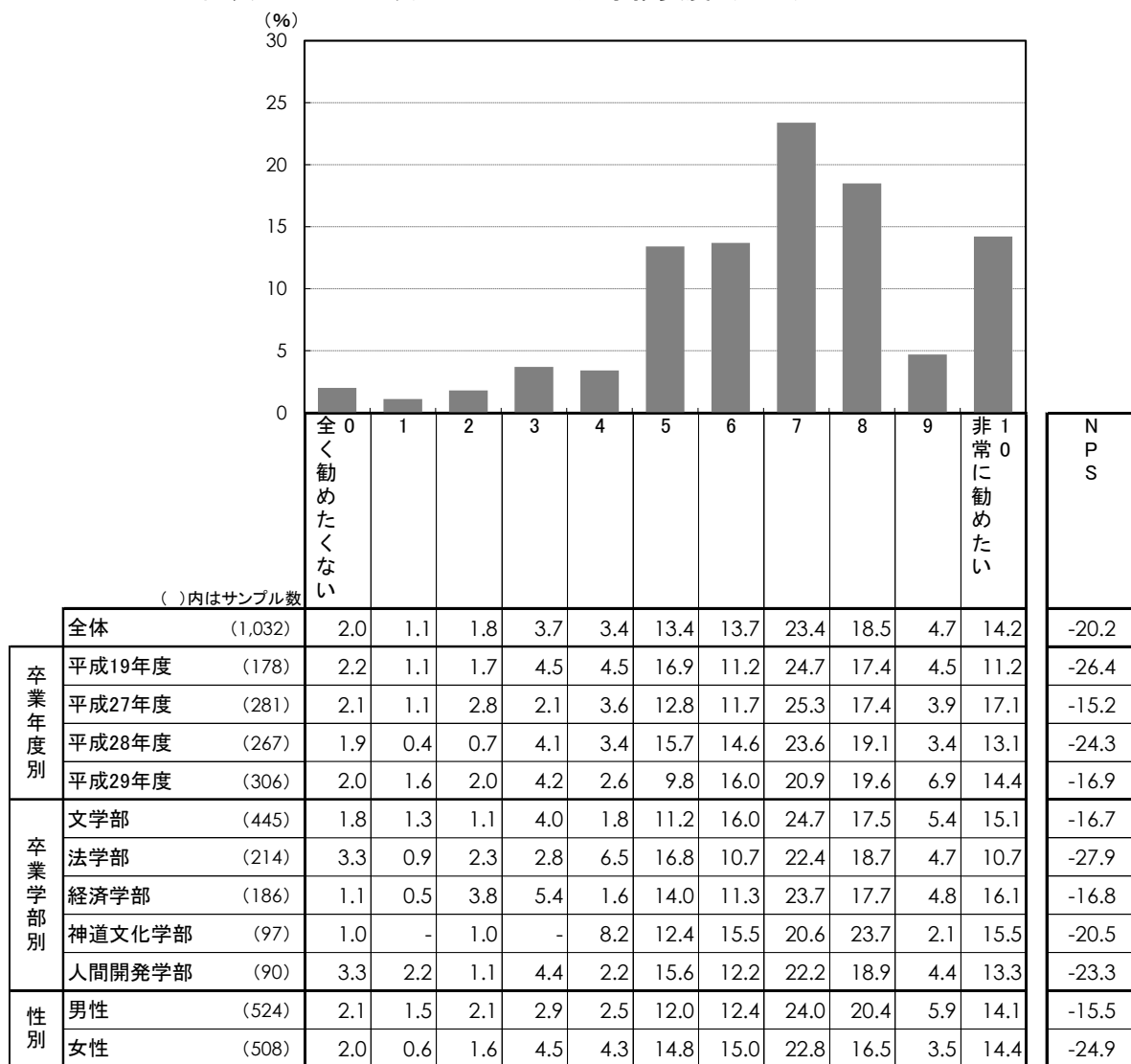
7. あなたはどの程度「本学」を友人や知人に勧めたいですか。(1つ選択)

友人・知人への大学推奨度を0から10の11段階で尋ねたところ、「7」ポイントが最も高く18.3%、次いで「8」ポイントが14.4%、「10」ポイントが11.1%などの順となっている。

NPS¹という手法で大学推奨度を評価すると、卒業年度別に平成27年度(-15.2)、平成29年度(-16.9)、平成28年度(-24.3)は、平成19年度(-26.4)の順となっている。

卒業学部別にみると、文学部(-16.7)、経済学部(-16.8)は、神道文化学部(-20.5)、人間開発学部(-23.3)、法学部(-27.9)の順となっている。

図表2-79 友人・知人への大学推奨度(SA)



(構成比:%)□

0 ..全体より10ポイント以上大きい
0 ..全体より10ポイント以上小さい

¹ *NPS (ネット・プロモーター・スコア)®

顧客ロイヤルティ(企業やブランドに対する愛着・信頼の度合い)を数値化する指標

参考URL: <http://offices.bain.com/offices/tokyo/ja/what-we-do/about-nps.aspx>

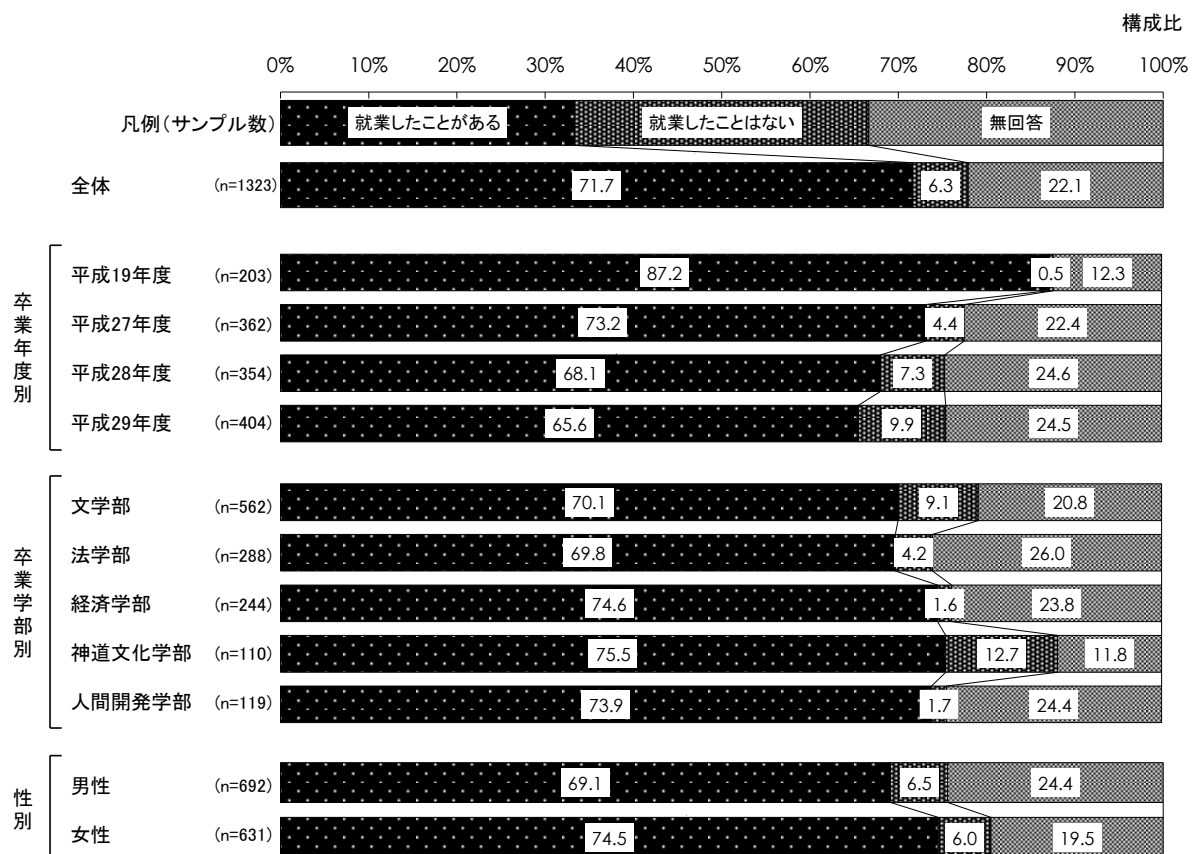
0~6を「批判者」、7・8を「中立者」、9・10を「推奨者」と分類し、NPS=(10+9の割合)-(0+1+2+3+4+5+6の割合)の式で求める。なお計算に使用する割合(%)は無回答を除いた値を用いる。

問5 就業状況

1. 大学卒業後の就業経験をお答えください。(1つ選択)

大学卒業後の就業経験は、「就業したことがある」が71.7%となっている。
卒業年度別、卒業学部別、性別でも、同様の傾向である。

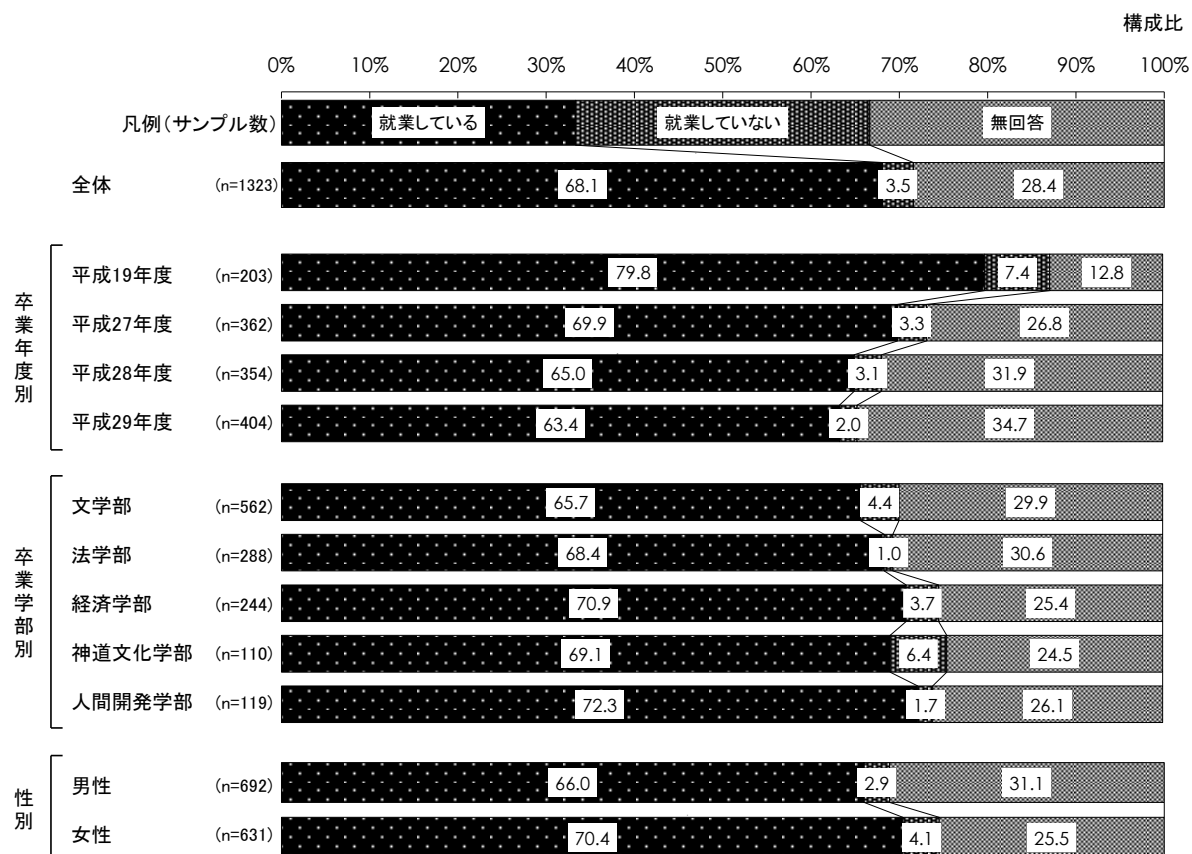
図表2-80 大学卒業後の就業経験 (SA)



2. 現在の就業状況をお答えください。(1つ選択)

現在の就業状況は、「就業している」が68.1%、「就業していない」が3.5%となっている。卒業年度別、卒業学部別、性別でも、同様の傾向である。

図表 2-81 現在の就業状況 (SA)



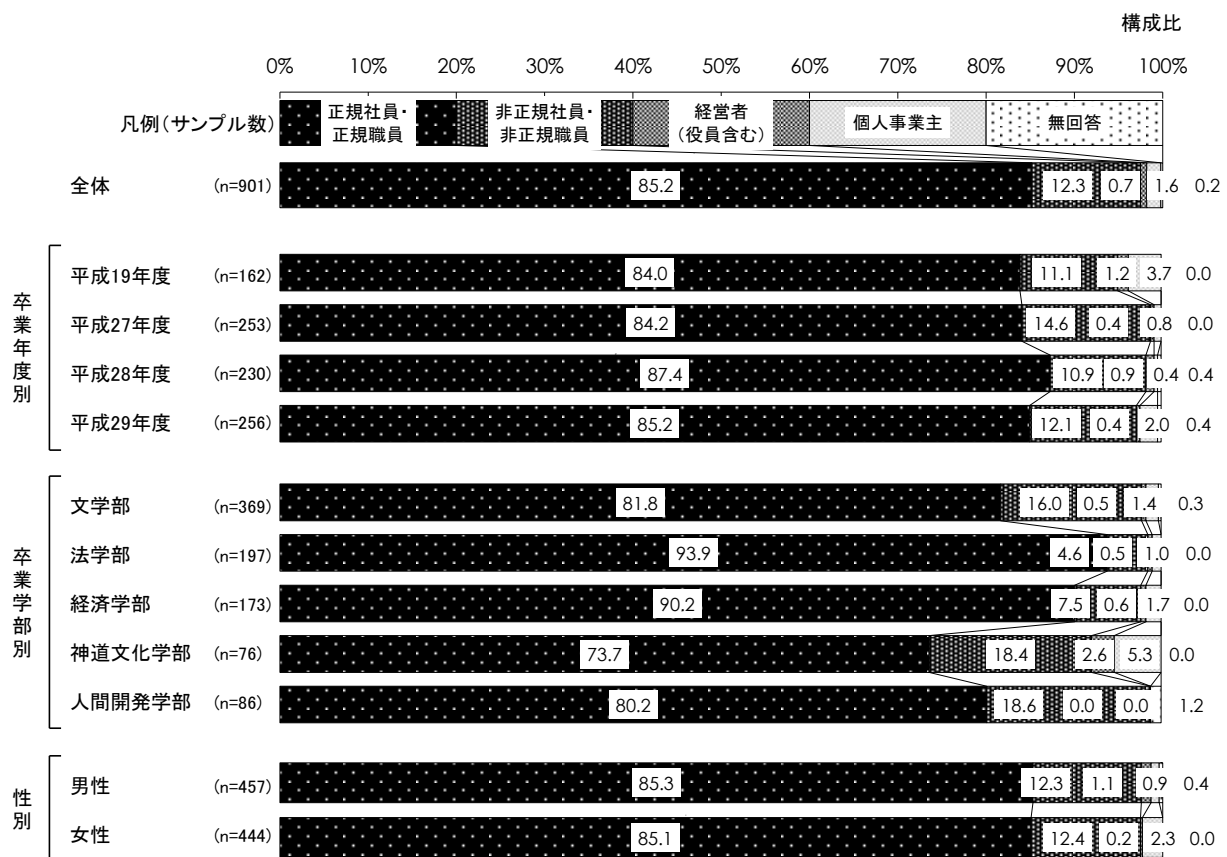
3. (就業中の方にお聞きします。) 現在の就業形態をお答えください。(1つ選択)

就業者における就業形態は、「正規社員・正規職員」が85.2%で最も高く、次いで「非正規社員・非正規職員」が12.3%、「個人事業主」が1.6%、「経営者」が0.7%の順となっている。

卒業年度別、性別でも同様の傾向でとなっている。

卒業学部別にみると、法学部と経済学部は「正規社員・正規職員」の割合がともに9割を超えるのに対し、人間開発学部は80.2%、神道文化学部は73.7%と低くなっている。

図表2-82 (就業中の方のみ) 現在の就業形態(SA)



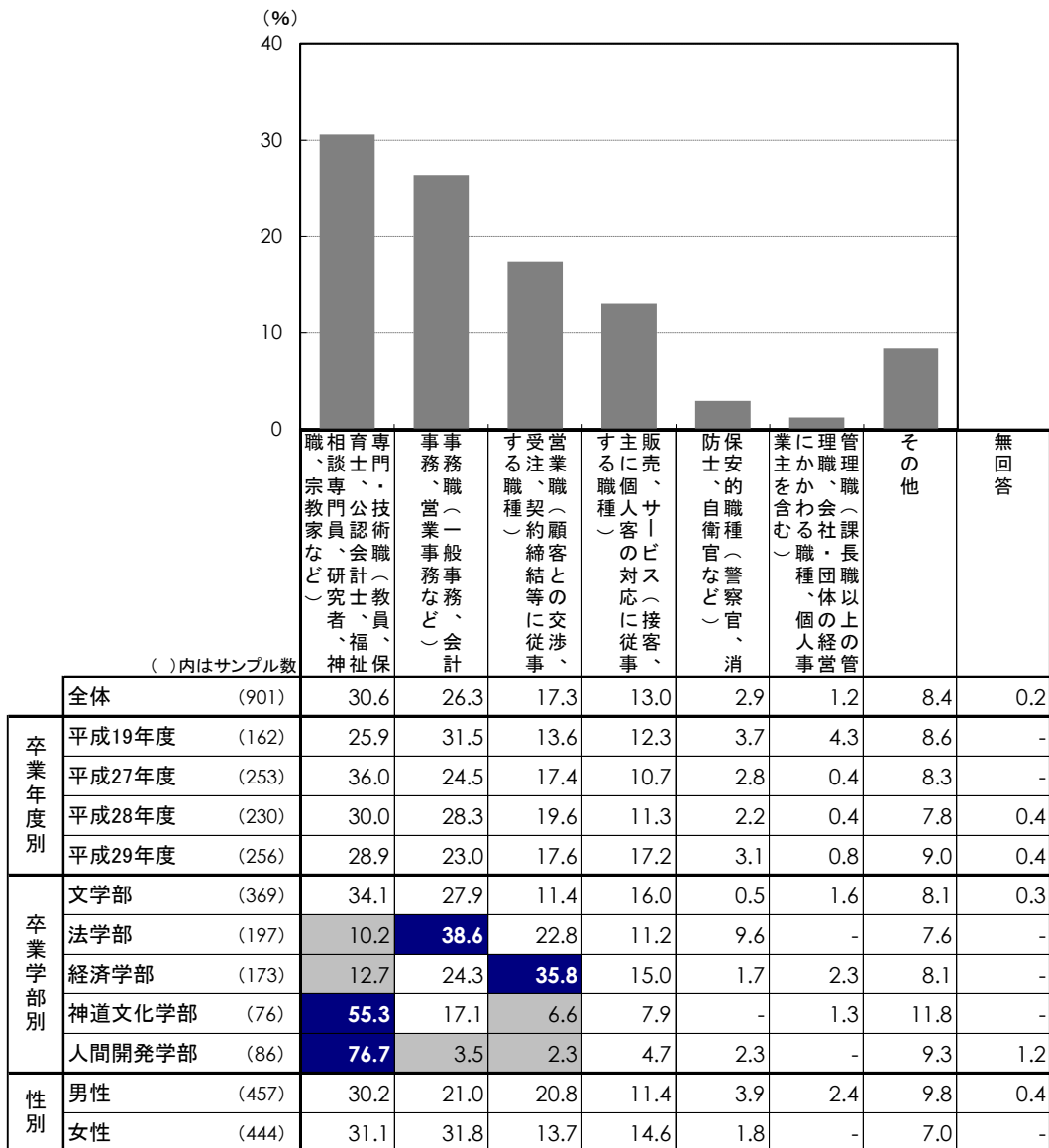
4. (就業中の方にお聞きします。) 現在就業されているお勤め先での職種をお選びください。(最も近いもの1つ選択)

現在就業中で勤務先の職種は、「専門・技術職(教員、保育士、公認会計士、福祉相談専門員、研究者、神職、宗教家など)」が30.6%と最も高く、次いで「事務職(一般事務、会計事務、営業事務など)」が6.3%、「営業職(顧客との交渉、受注、契約締結等に従事する職種)」が17.3%などの順となっている。

卒業年度別、性別にみても、同様の傾向である。

卒業学部別にみると、人間開発学部と神道文化学部は「専門・技術職(教員、保育士、公認会計士、福祉相談専門員、研究者、神職、宗教家など)」が最も高い一方、「営業職(顧客との交渉、受注、契約締結等に従事する職種)」が最も低い、また人間開発学部は「事務職(一般事務、会計事務、営業事務など)」も他の学部 비해低い。

図表2-83 (就業中の方のみ) 現在の職種(SA)



0 ..全体より10ポイント以上大きい
0 ..全体より10ポイント以上小さい

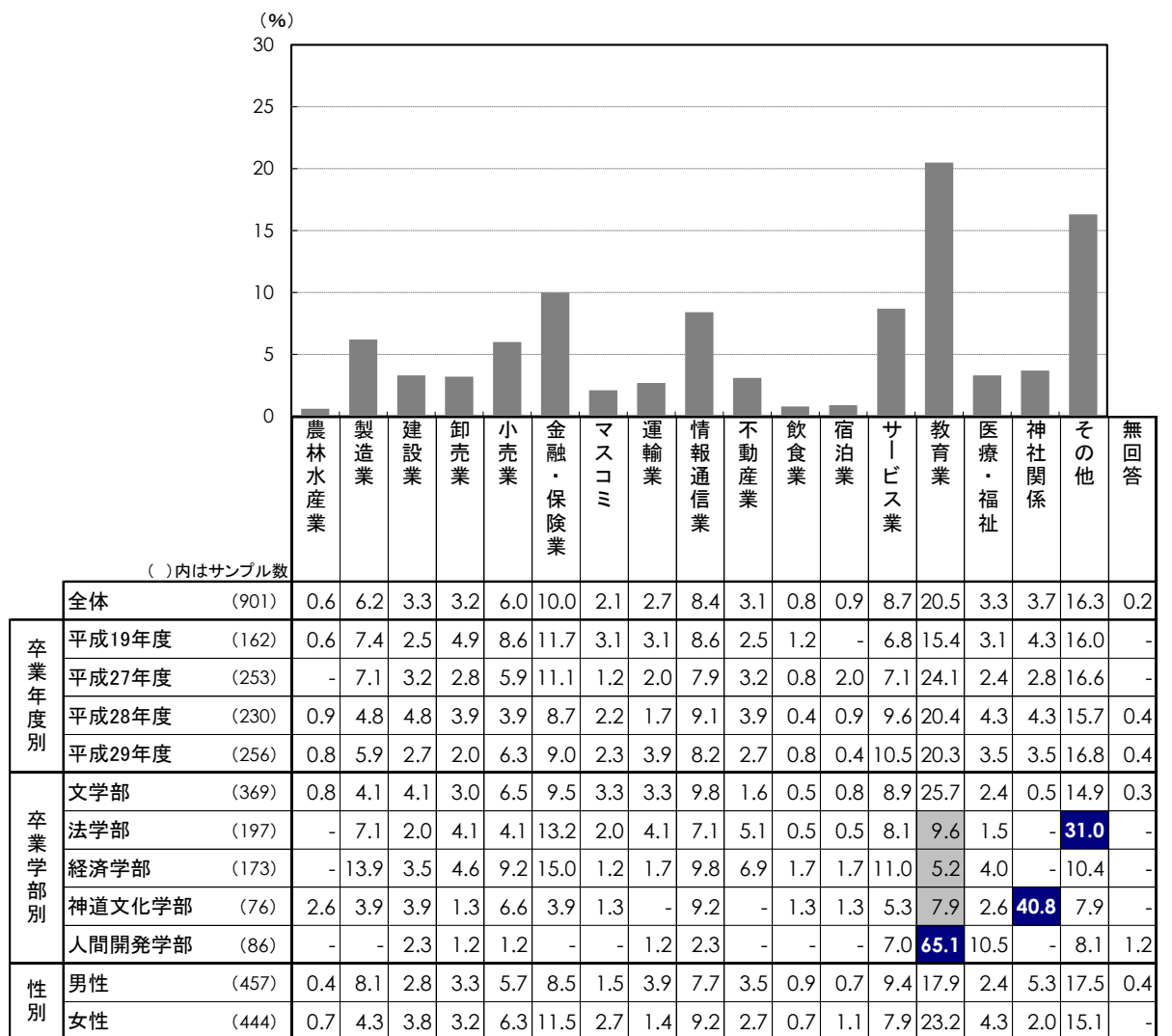
5. (就業中の方にお聞きします。)現在の就業先業種をお選びください。(最も近いもの1つを選択)

現在の就業先業種は「教育業」が20.5%と最も高く、次いで「金融・保険業」が10.0%、「サービス業」が8.7%などの順となっている。

卒業年度別、性別にみても、同様の傾向である。

卒業学部別にみると、法学部、経済学部、神道文化学部は「教育業」が最も低い一方、人間開発学部は65.1%と約半数以上を占める。

図表2-84 (就業中の方のみ)現在の業種(SA)



(構成比: %) □

0 .. 全体より10ポイント以上大きい
 0 .. 全体より10ポイント以上小さい

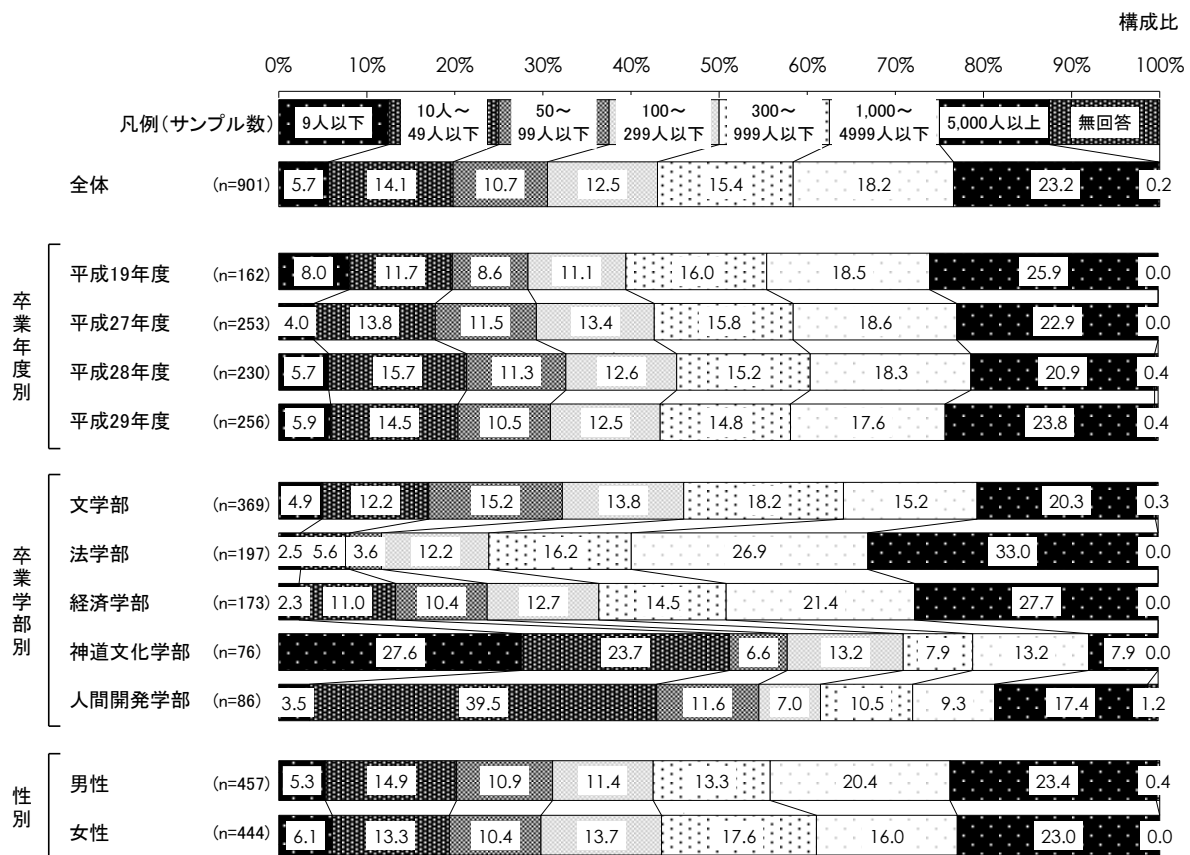
6. (就業中の方にお聞きします。)現在の就業先規模は次のうちどれですか。(1つ選択)

就職先の規模は、『5,000人以上』が23.2%と2割を占める。

卒業年度別、性別にみても、同様の傾向である。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「10人～49人以下」が39.5%と、就業中の割合が他学部卒業生よりも高くなっている。

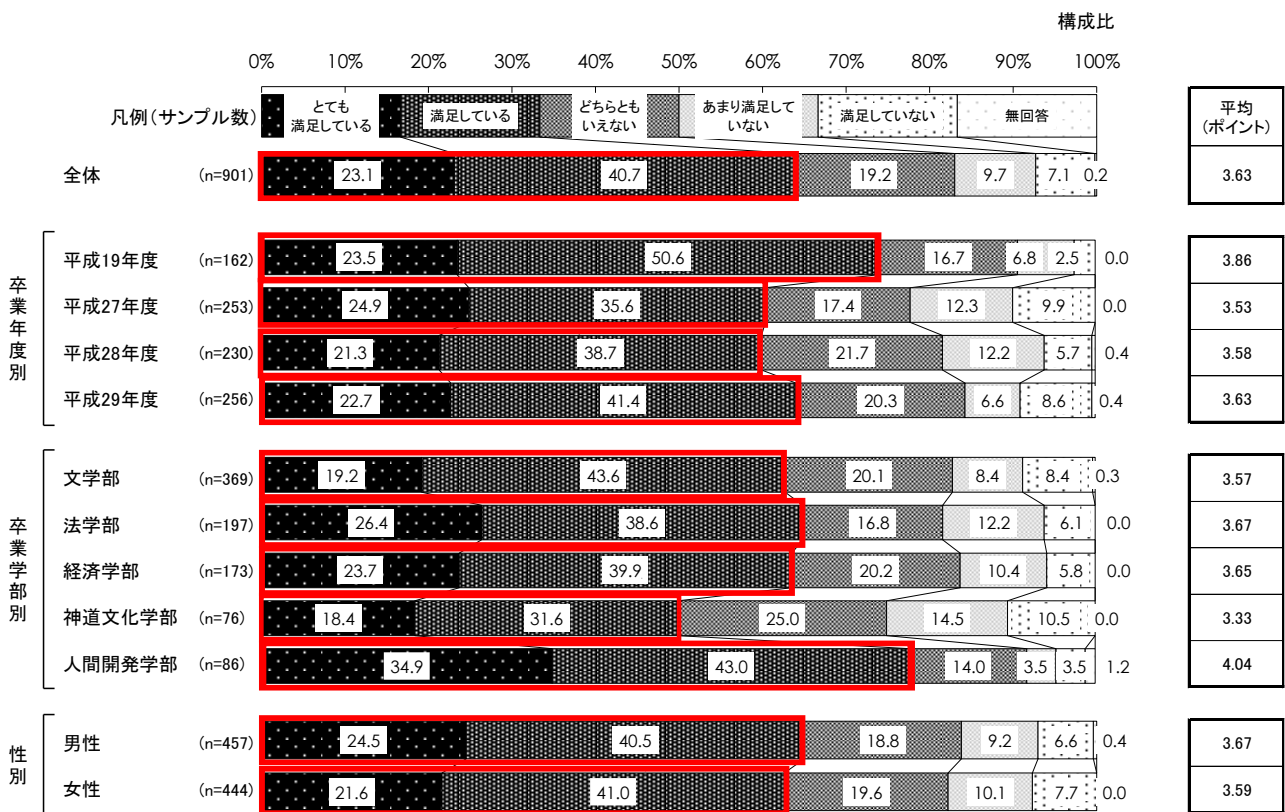
図表2-85 (就業中の方のみ)現在の就職先規模(SA)



7. (就業中の方にお聞きします。) あなたは現在の進路や就業状況に満足されていますか。(1つ選択)

現在の進路や就業状況に「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』の割合は63.8%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は16.8%となっている。
 卒業年度別にみると、平成19年度は『満足』が74.1%と他の年度よりも高い。
 卒業学部別にみると、神道文化学部は『満足』が50.0%と他の学部よりも低くなっている。
 性別にみると、男性の方が女性よりも『満足』と回答する割合が高い。

図表2-86 (就業中の方のみ) 現在の進路や就業状況に対する満足度(SA)



8. (就業中の方にお聞きします。) あなたの現在の職場において、日常業務の中で英語をどの程度使用していますか。(1つ選択)

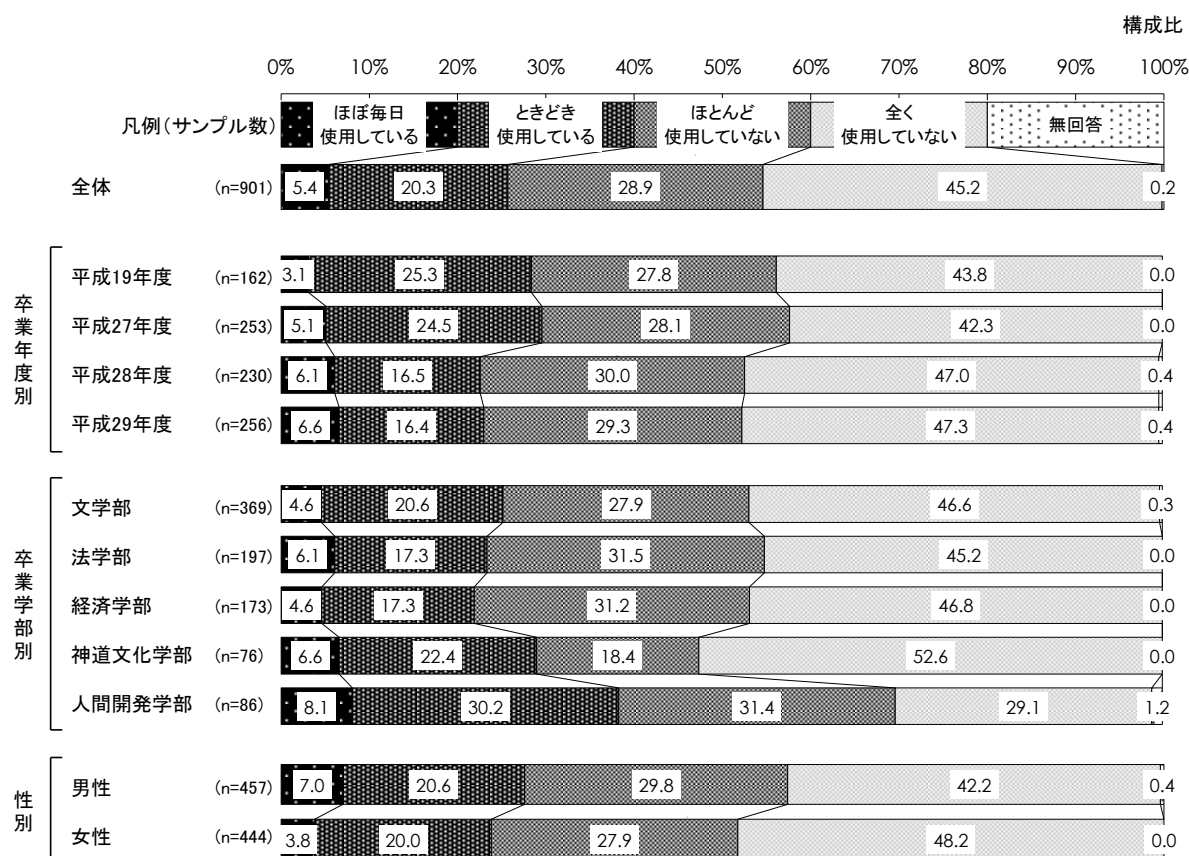
職場での英語の使用頻度は、「全く使用していない」が最も高く45.2%、次いで「ほとんど使用していない」が28.9%となっている。一方、「ほぼ毎日使用している」(5.4%)と「ときどき使用している」(20.3%)を合わせた『使用している』は25.7%と約2割を占めている。

卒業年度別にみると、いずれの年度も『使用している』が2割を占めている。

卒業学部別にみると、法学部は『使用している』が38.3%と他の学部よりも割合が高い。

性別にみると、男性は『使用している』が27.6%と女性よりも高くなっている。

図表2-87 (就業中の方のみ) 職場での英語の使用頻度



9. 転職の経験をお答えください。(1つ選択)

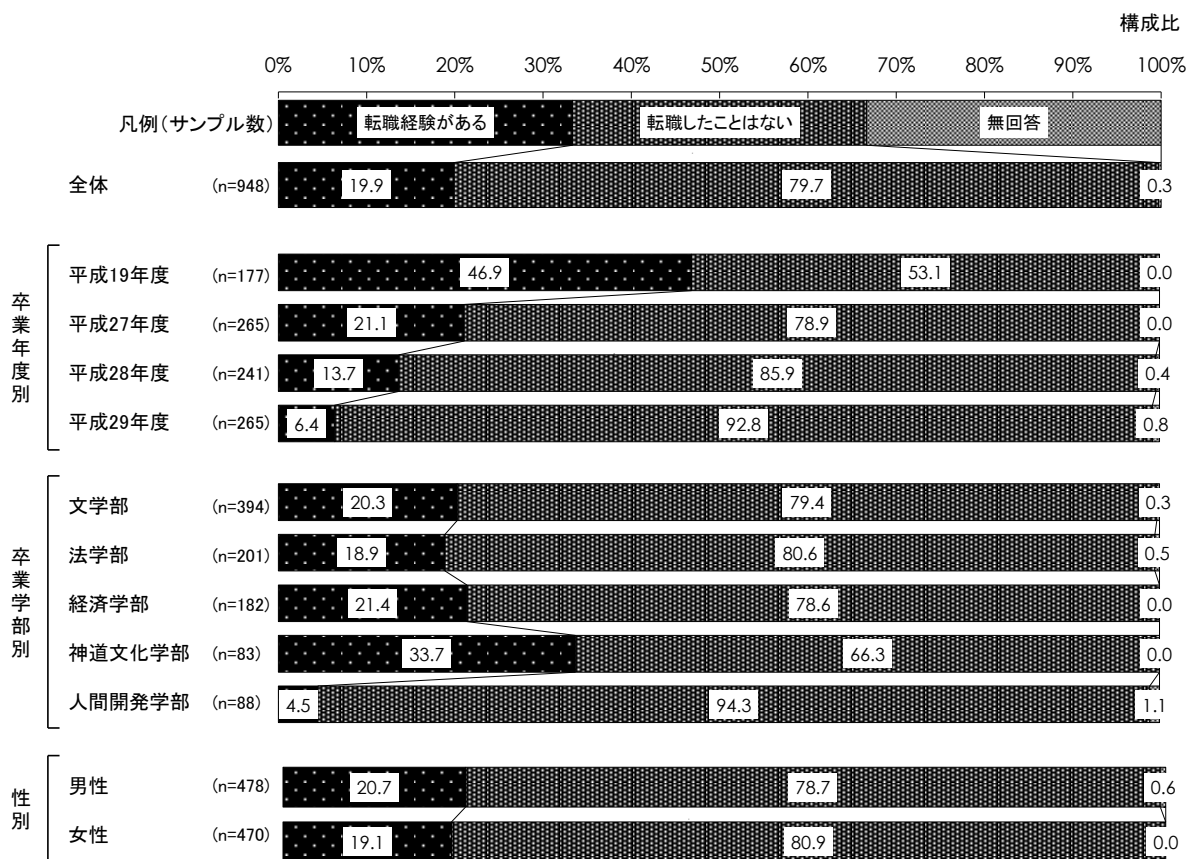
「転職経験がある」という割合は19.9%、「転職したことはない」は79.7%で、転職経験がある方が少ない。

卒業年度別にみると、いずれも「転職したことはない」という回答が上回るものの、卒業から年数が経過するほど転職経験者が増え、平成19年度では約4割を占め、転職経験者と未経験者がほぼ同数となっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部において転職経験者が4.5%と他学部比べて少なくなっているが、これは新設学部であるため、卒業後間もない卒業生が多いためと考えられる。

性別にみても、同様の傾向である。

図表2-88 転職経験 (SA)



10. 転職経験がある方は転職回数をお答えください。(1つ選択)

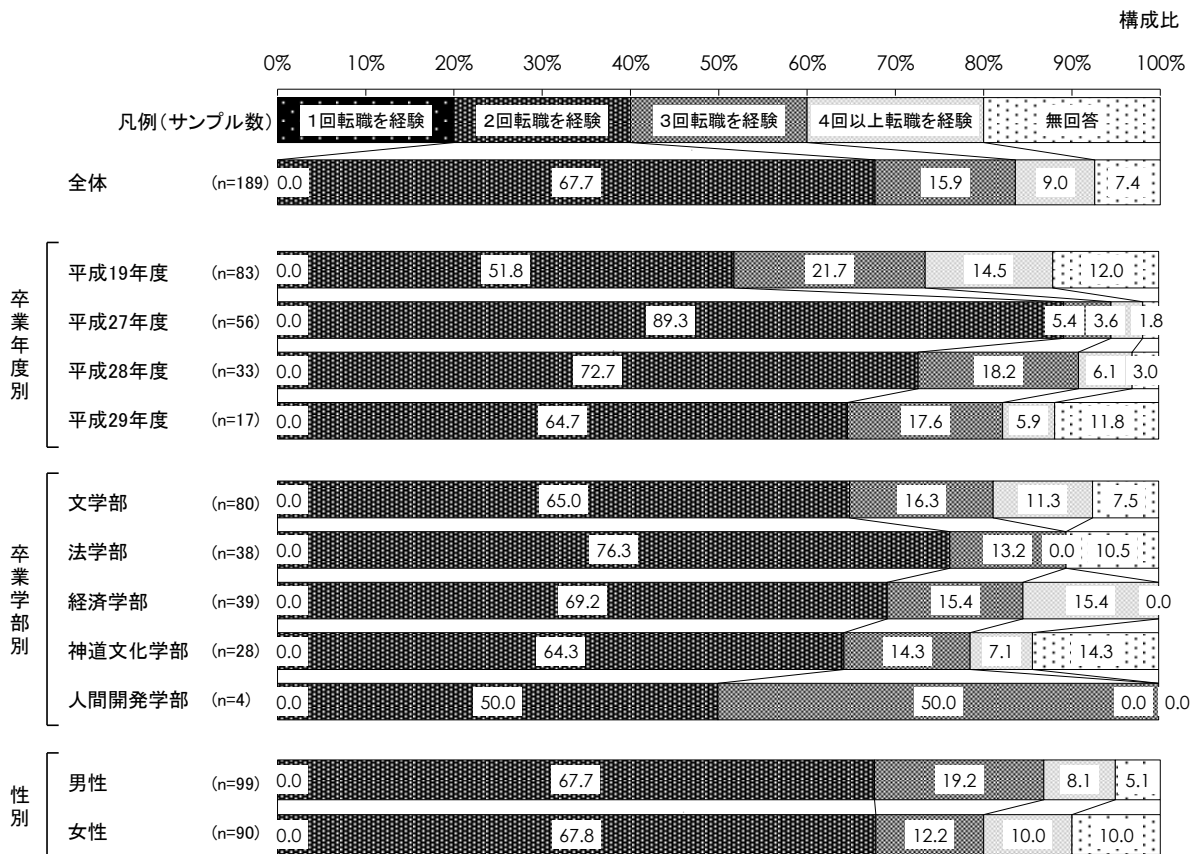
転職経験者のうち、転職回数は「2回転職を経験」という回答が67.7%で半数以上を占めている。「4回以上の転職を経験」した者は9.0%みられる。

卒業年度別にみると、卒業から年数が経過するほど、転職経験回数も増え、平成27年度卒業生においては、「2回転職を経験」した者は89.3%にのぼる。

卒業学部別にみると、いずれも「2回転職を経験」が最も多くなっているものの、神道文化学部はその割合は50.0%と半数にとどまり、『3回以上転職を経験』が50.0%と半数を占めている。

性別にみても、「2回転職を経験」が男女ともに6割以上を占めている。

図表2-89 (転職経験者のみ) 転職回数 (SA)



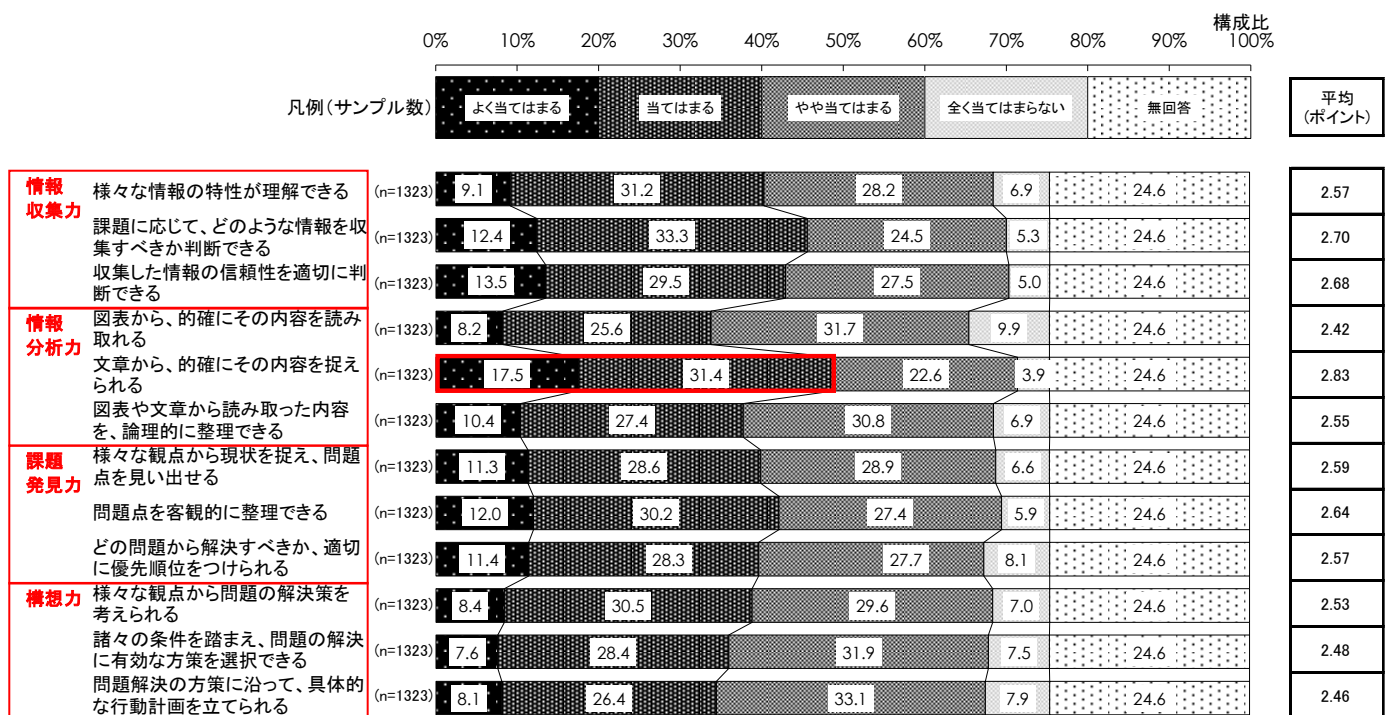
問6 学生時代に身についたと思う能力

1. 学生時代に、情報を理解・整理し活用する能力が身につきましたか。(それぞれ1つ選択)

学生時代に身についたと思う情報を理解・整理し活用する能力は、「文章から、的確にその内容を捉えられる」が最も多く、「よく当てはまる」(17.5%)と、「当てはまる」(31.4%)を合わせた『当てはまる』が48.9%で約半数を占め、加重平均は2.83ポイントである。次いで、「課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる」が2.70ポイント、「収集した情報の信頼性を適切に判断できる」が2.68ポイントの順となっており、文章や情報を収集、理解する能力は比較的高くなっている。

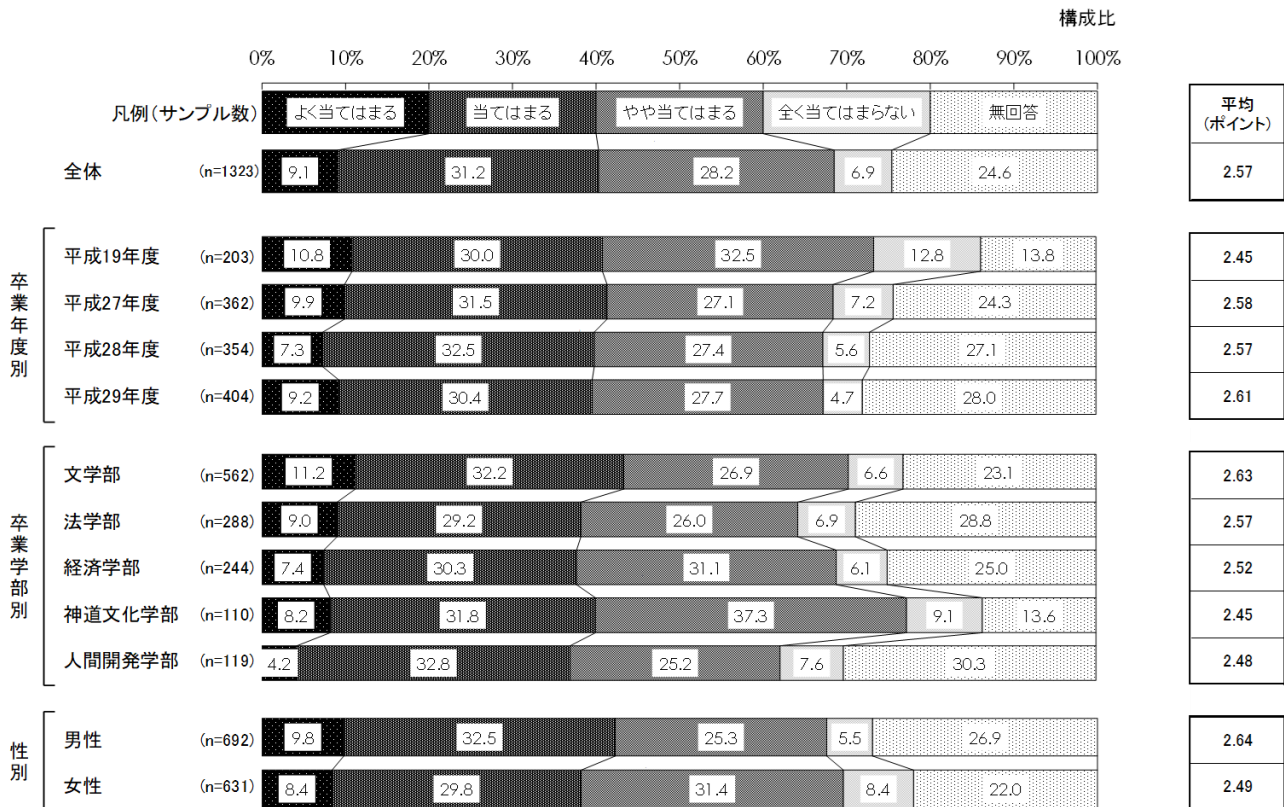
一方、「図表から、的確にその内容を読み取れる」は2.42ポイントで最も低くなっている。次いで、「問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる」が2.46ポイント、「諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる」が2.48ポイントなど、問題を解決したり、特性を理解したりする能力は比較的低い結果となっている。

図表2-90 学生時代に身についたと思う情報を理解・整理し活用する能力(SA)

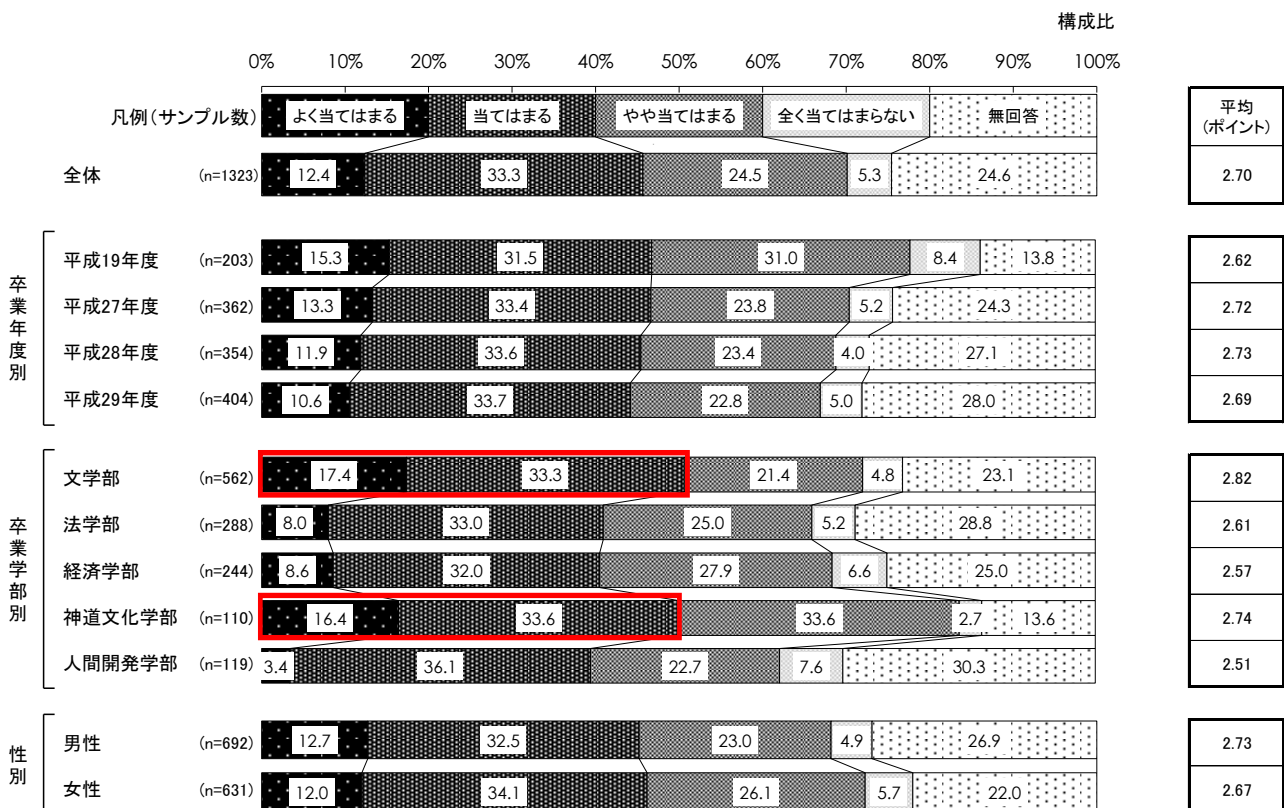


※「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで、平均を抽出。

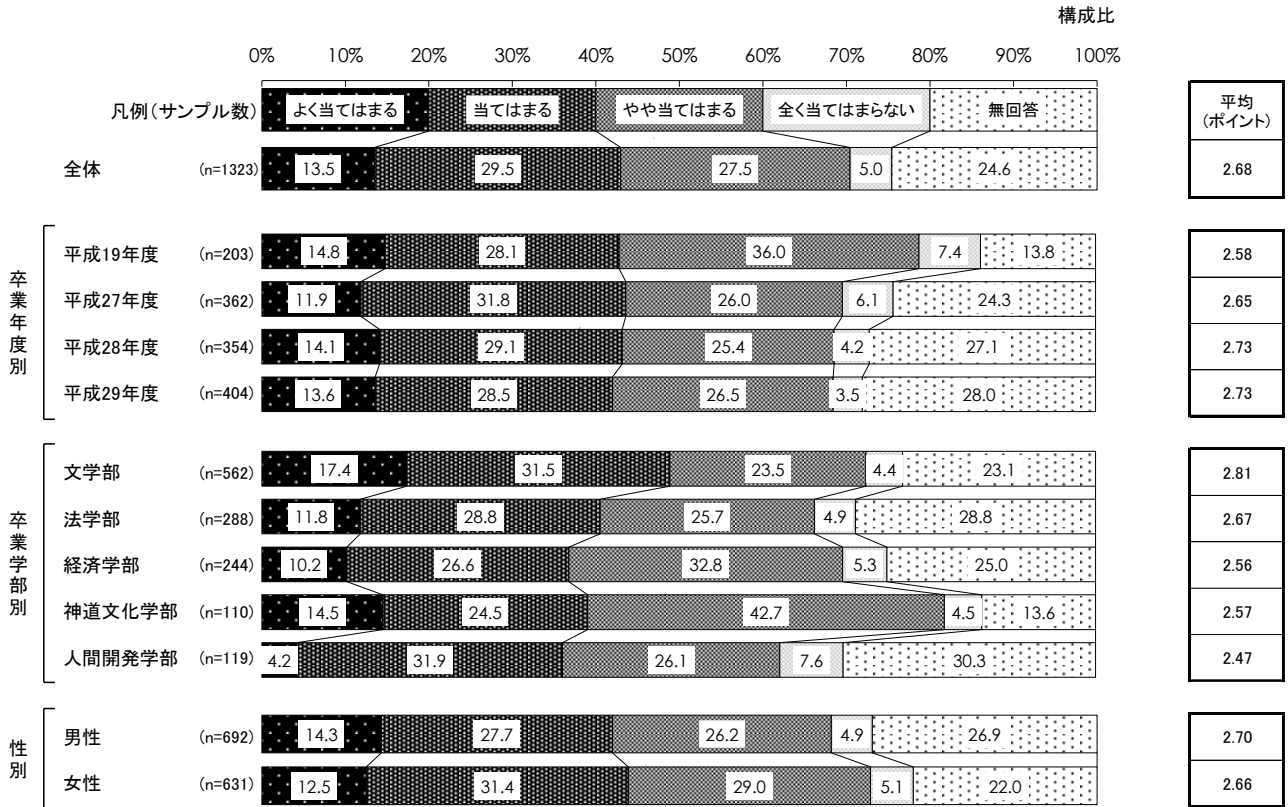
図表 2-9-1 様々な情報の特性が理解できる (SA)



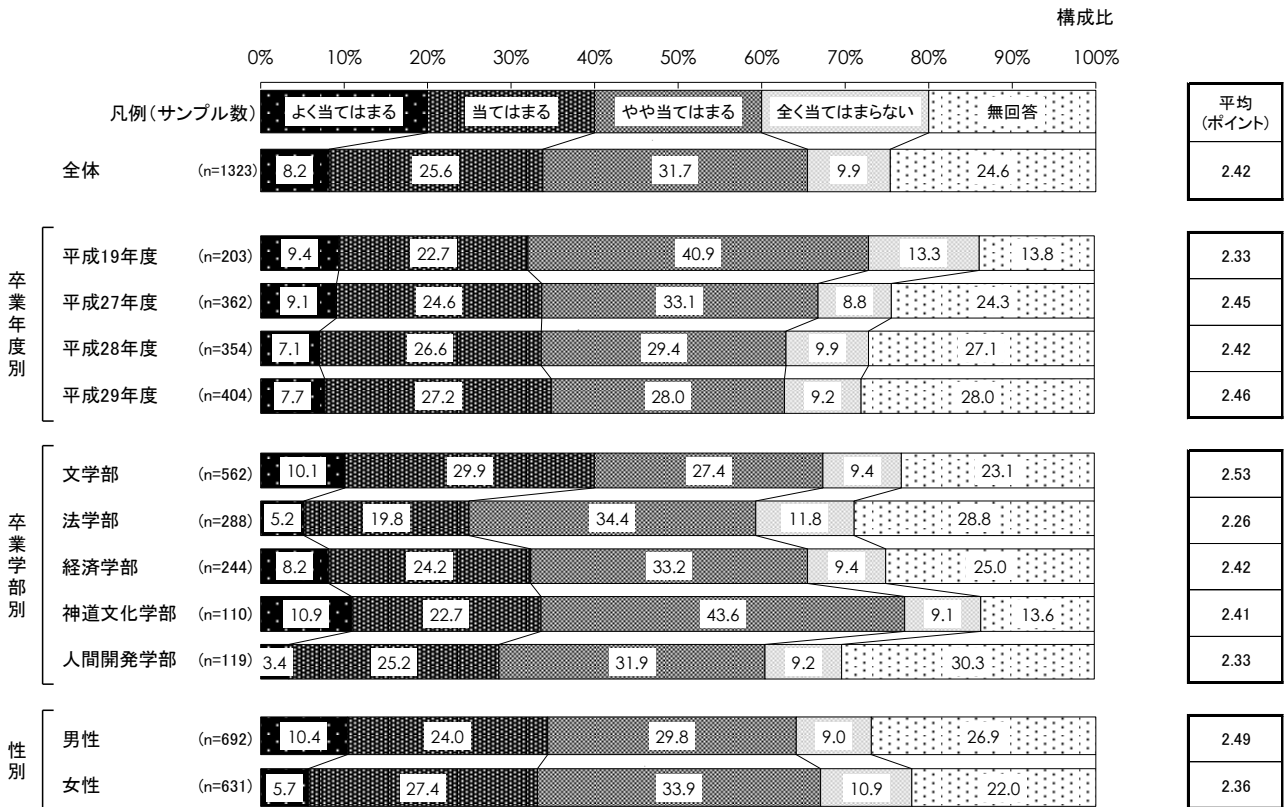
図表 2-9-2 課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる (SA)



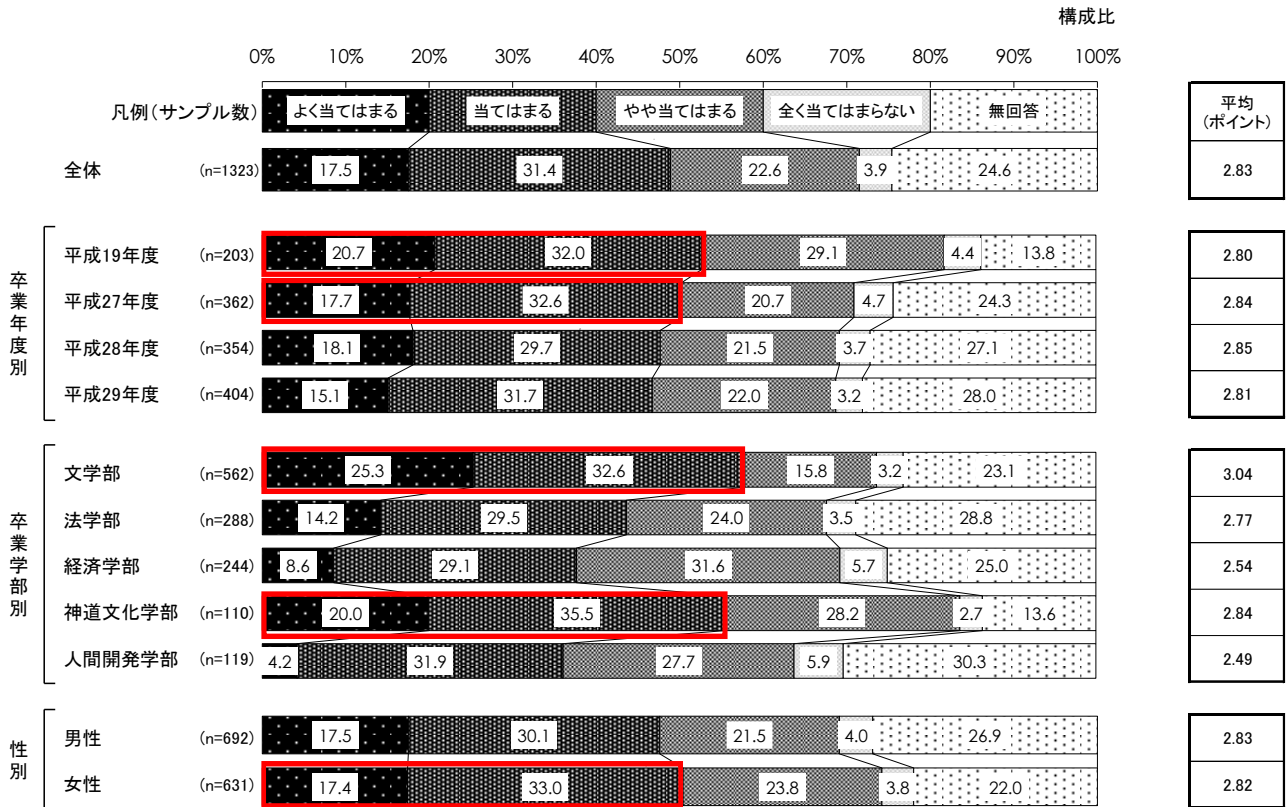
図表 2-93 収集した情報の信頼性を適切に判断できる (S A)



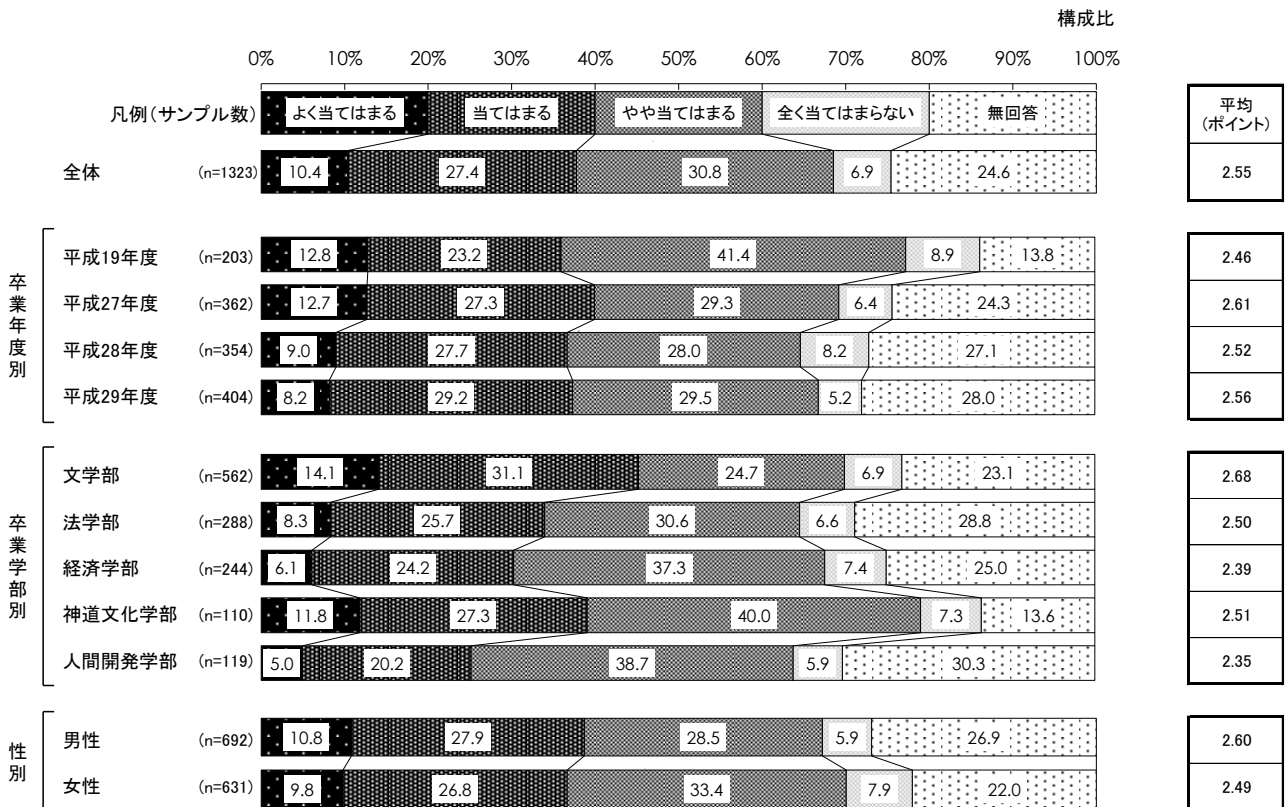
図表 2-94 図表から、的確にその内容を読み取れる (S A)



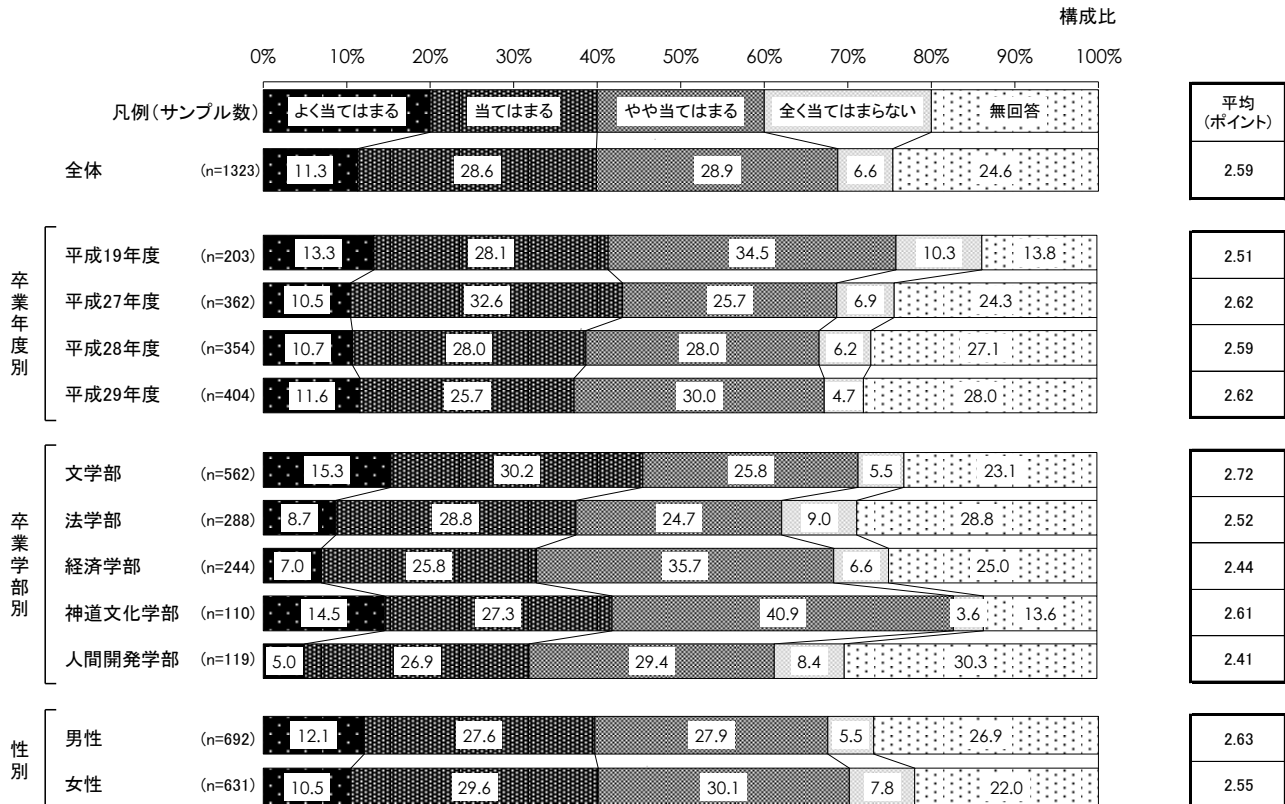
図表 2-95 文章から、的確にその内容を捉えられる (SA)



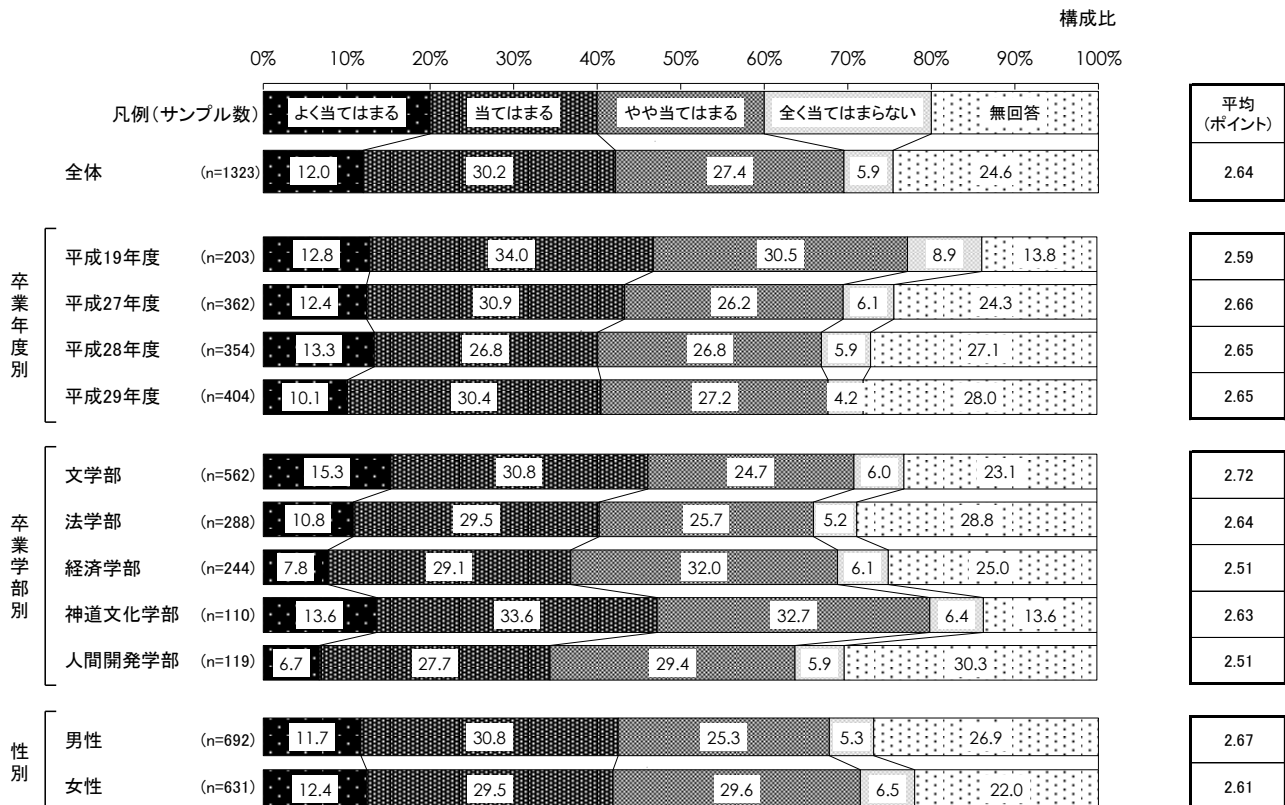
図表 2-96 図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる (SA)



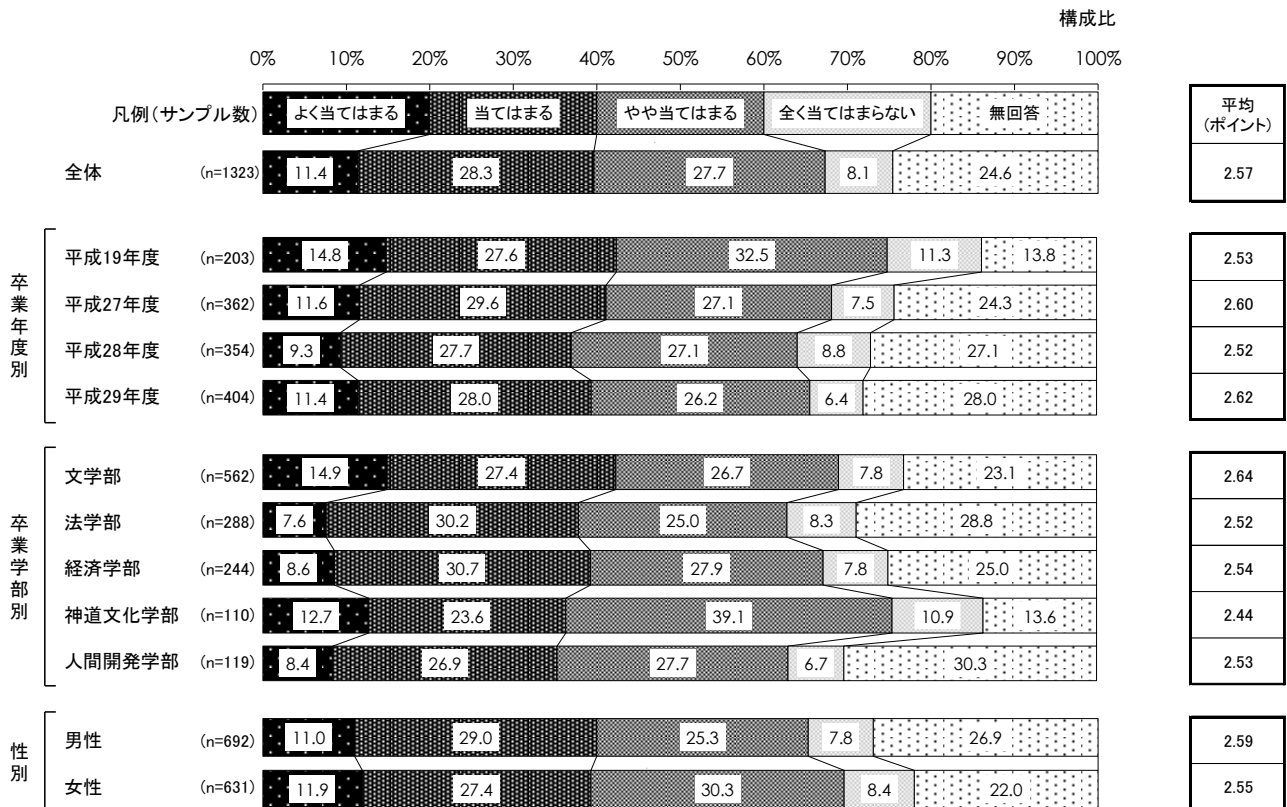
図表 2-97 様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる (S A)



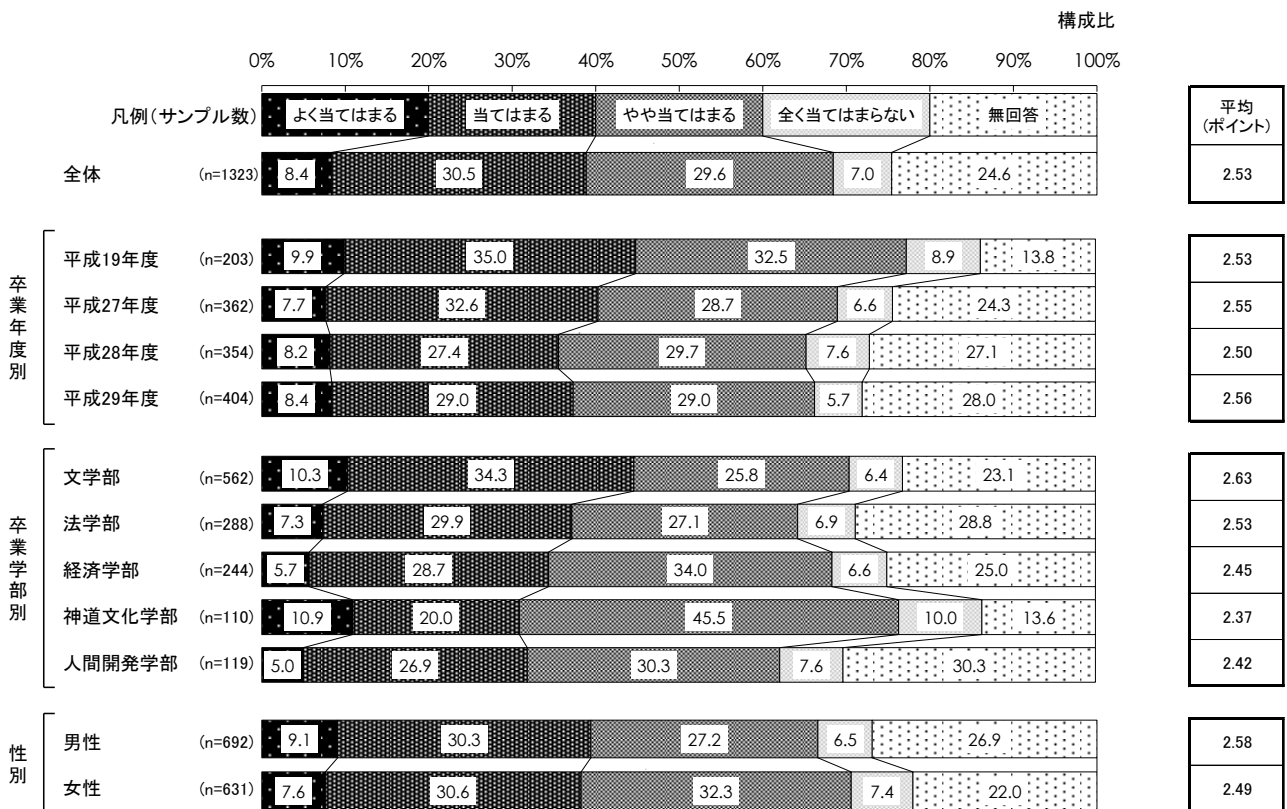
図表 2-98 問題点を客観的に整理できる (S A)



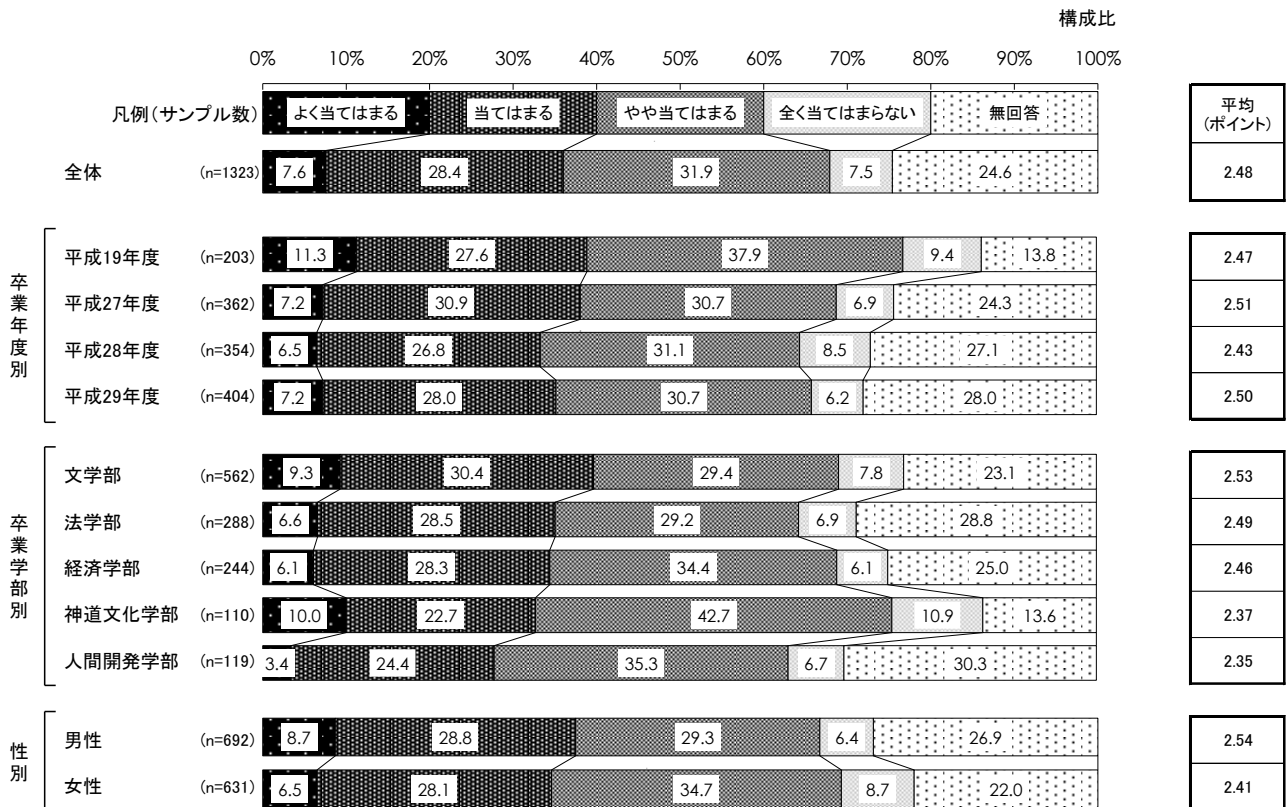
図表 2-99 どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる (SA)



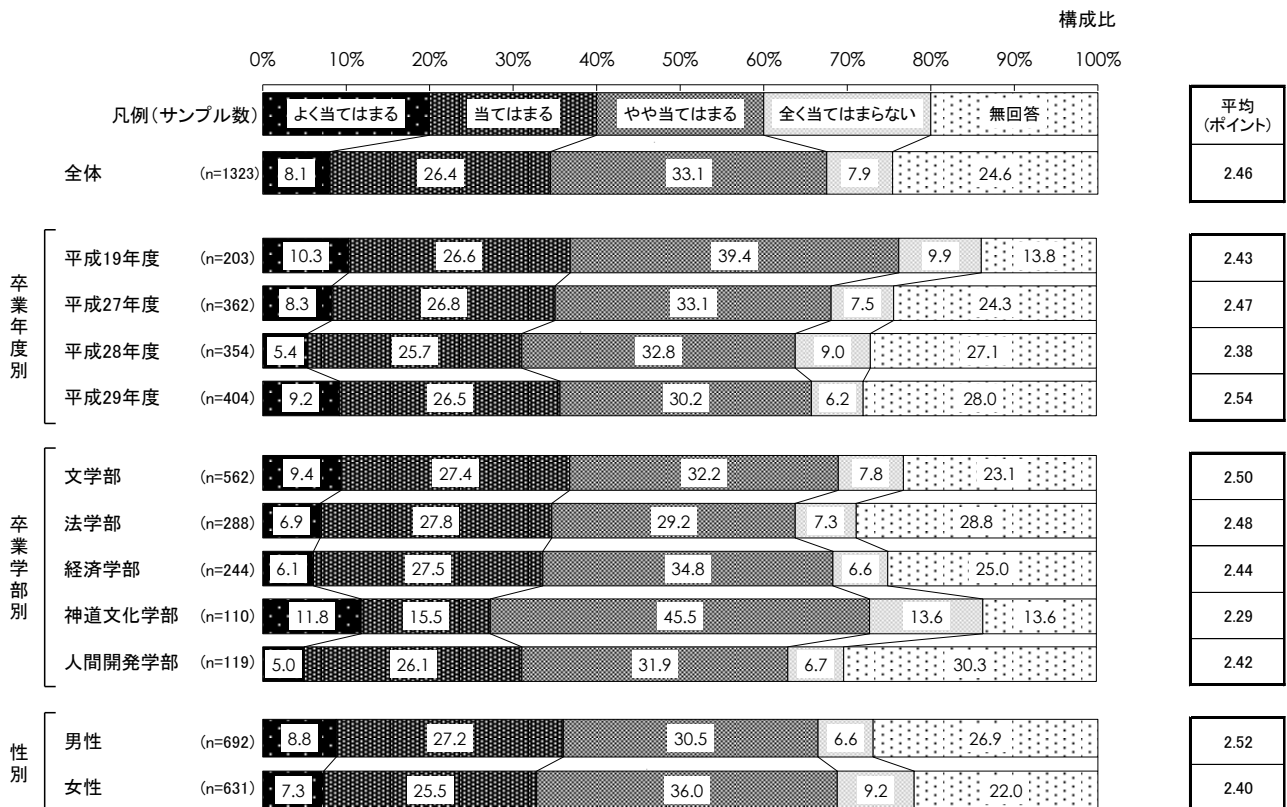
図表 2-100 様々な観点から問題の解決策を考えられる (SA)



図表 2-101 諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる (SA)



図表 2-102 問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる (SA)



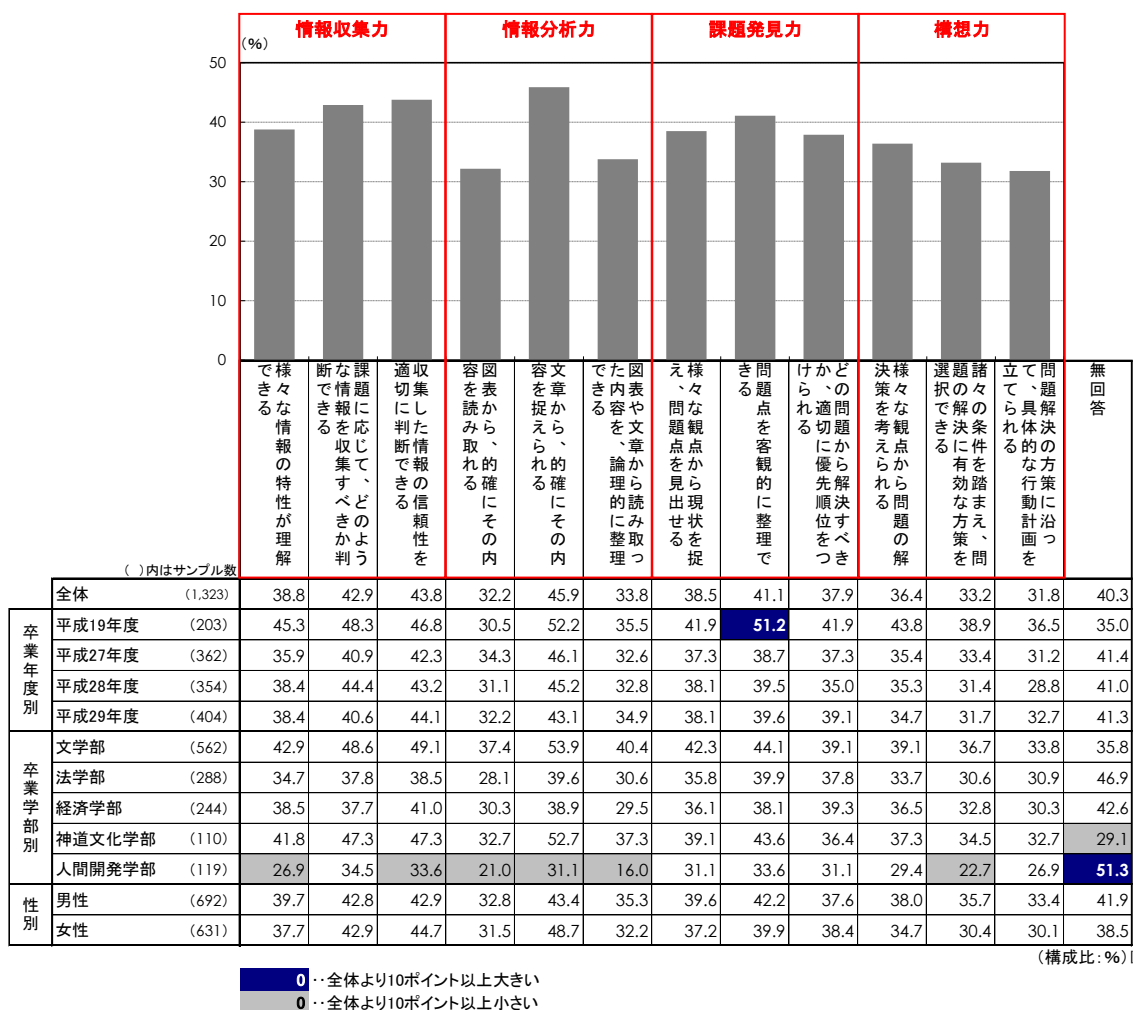
2. 「情報を理解・整理し活用する能力」のうち、「学生時代に身についた能力で今役立っている能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

学生時代に身についた情報を理解・整理し活用する能力のうち、今役立っている能力は、「文章から、的確にその内容を捉えられる」が 45.9%で最も高く、次いで「収集した情報の信頼性を適切に判断できる力」が 43.8%となっており、情報収集力などが身についたと回答した人が多い。

卒業年度別にみると、平成 19 年度は「問題点を客観的に整理できる力」が 51.2%と、他の年度に比べて 10 ポイント以上高い。

卒業学部別にみると、文学部は「文章から、的確にその内容を捉えられる」が特に高くなっている。性別にみても同様の傾向である。

図表 2-103 学生時代に習得した情報を理解・整理する能力のうち、今役立っている能力 (MA)



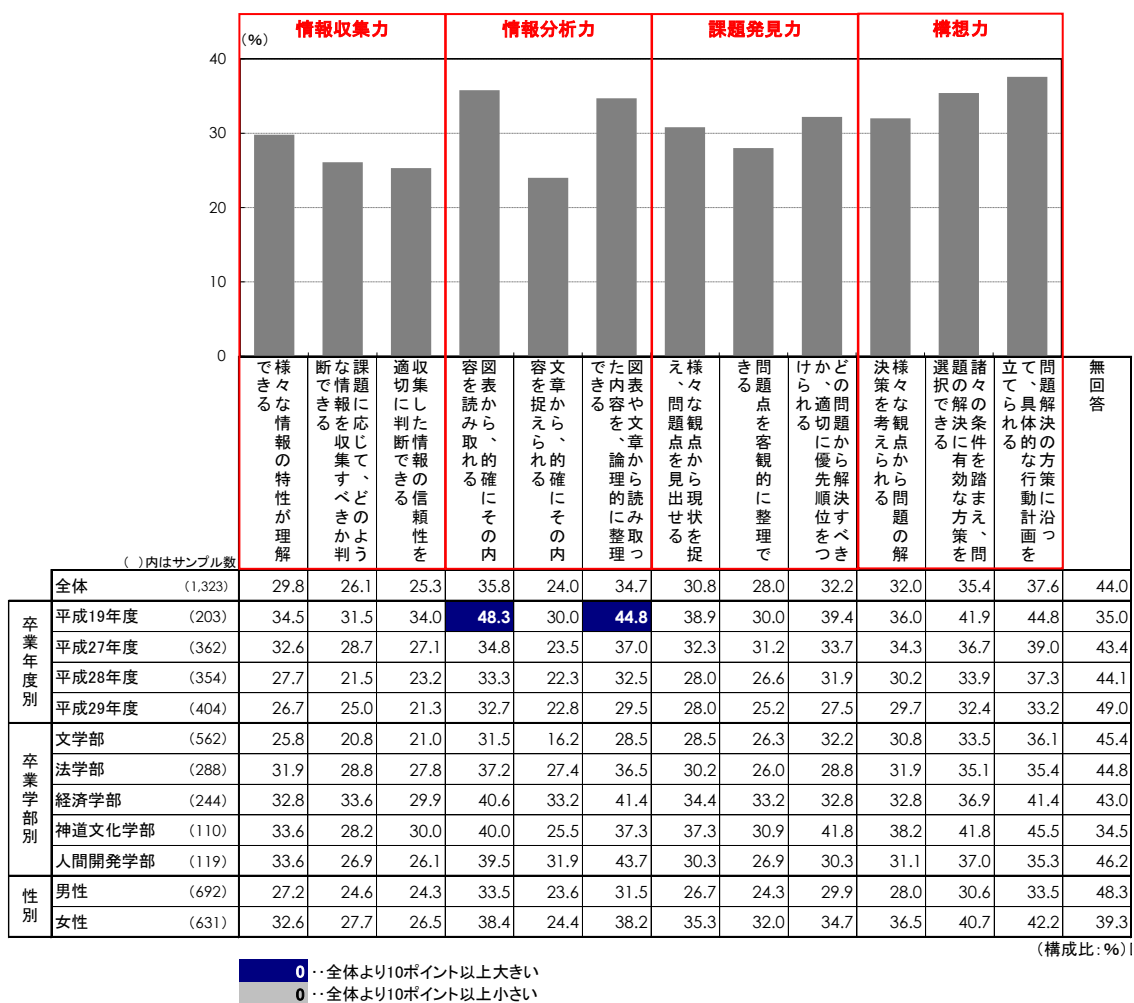
3. 「情報を理解・整理し活用する能力」のうち、「学生時代に身につけておけばよかったと思う能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

学生時代に身につけておけばよかったと思う能力は、「問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる力」が最も高く 37.6%となっている。次いで「図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる力」が 35.8%、「諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる力」が 35.4%などの順となっており、構想力や情報分析力を望む声が多い。

卒業年度別にみると、平成 19 年度が「図表から、的確にその内容を読み取れる力」が 48.3%、「図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる力」が 44.8%と他年度に比べ最も高くなっている。

卒業学部別、性別にみると、同様の傾向である。

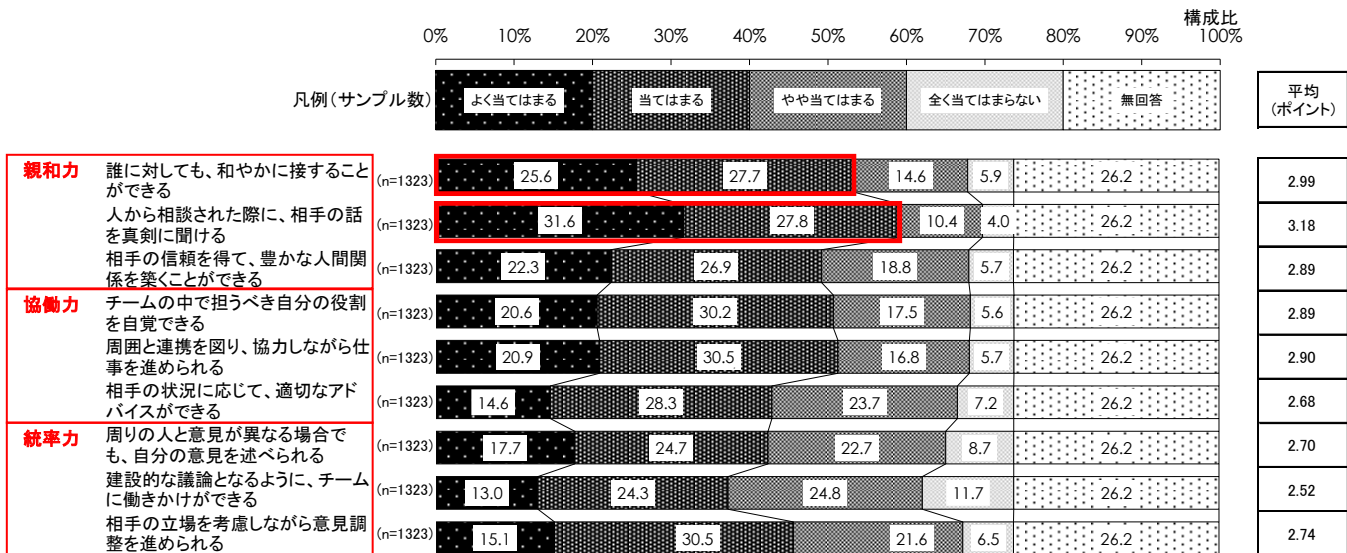
図表 2-104 学生時代に習得した情報を理解・整理する能力のうち、学生時代に身につけておけばよかったと思うもの (MA)



4. 学生時代に、以下のような「他者・チームに対する行動特性」が身についたと思いますか。(それぞれ1つ選択)

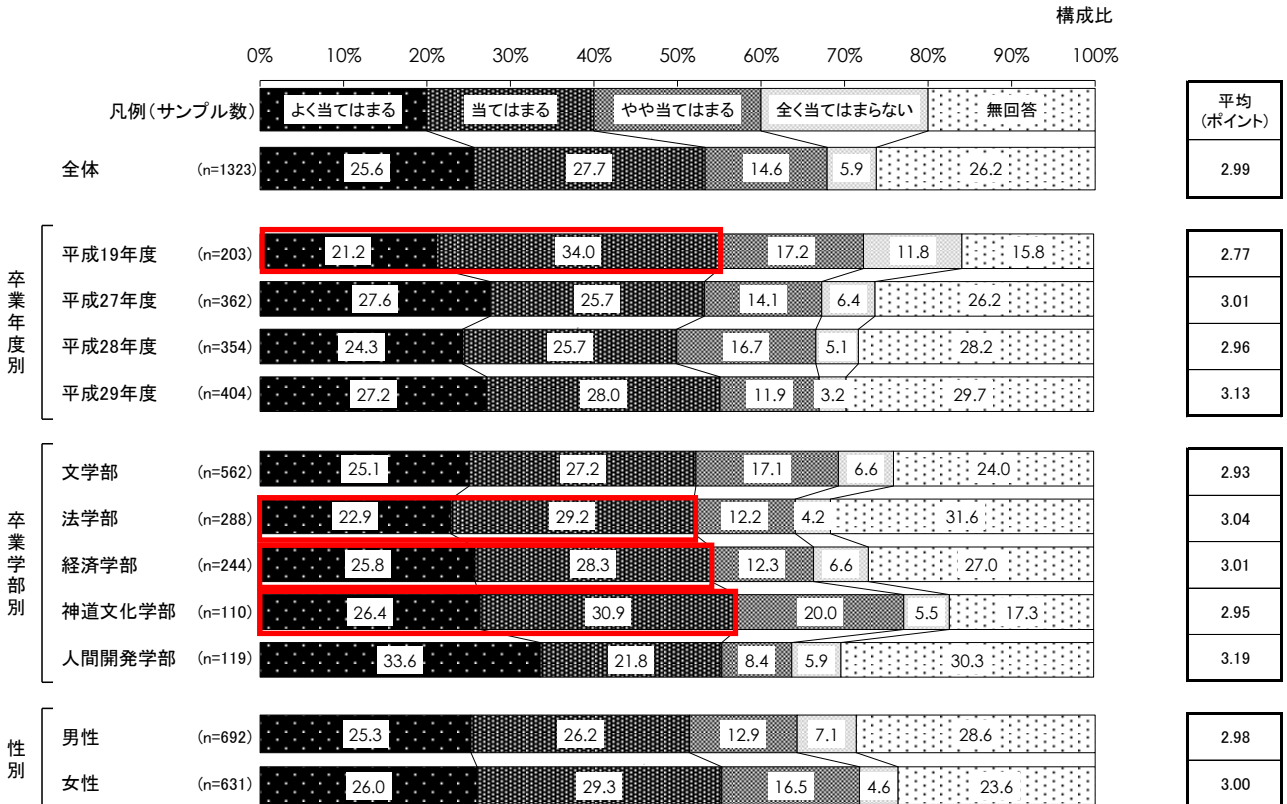
学生時代に身についたと思う他者・チームに対する行動特性は、[人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける]が最も高く、『当てはまる』が59.4%で、3.18ポイントとなっている。次いで、『誰に対しても和やかに接することができる』が2.99ポイント、『周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる』が2.90ポイント、『相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる』と[チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる]がともに2.89ポイントで、親和力や協働力が高くなっている。

図表2-105 学生時代に身についたと思う「他者・チームに対する行動特性」(SA)

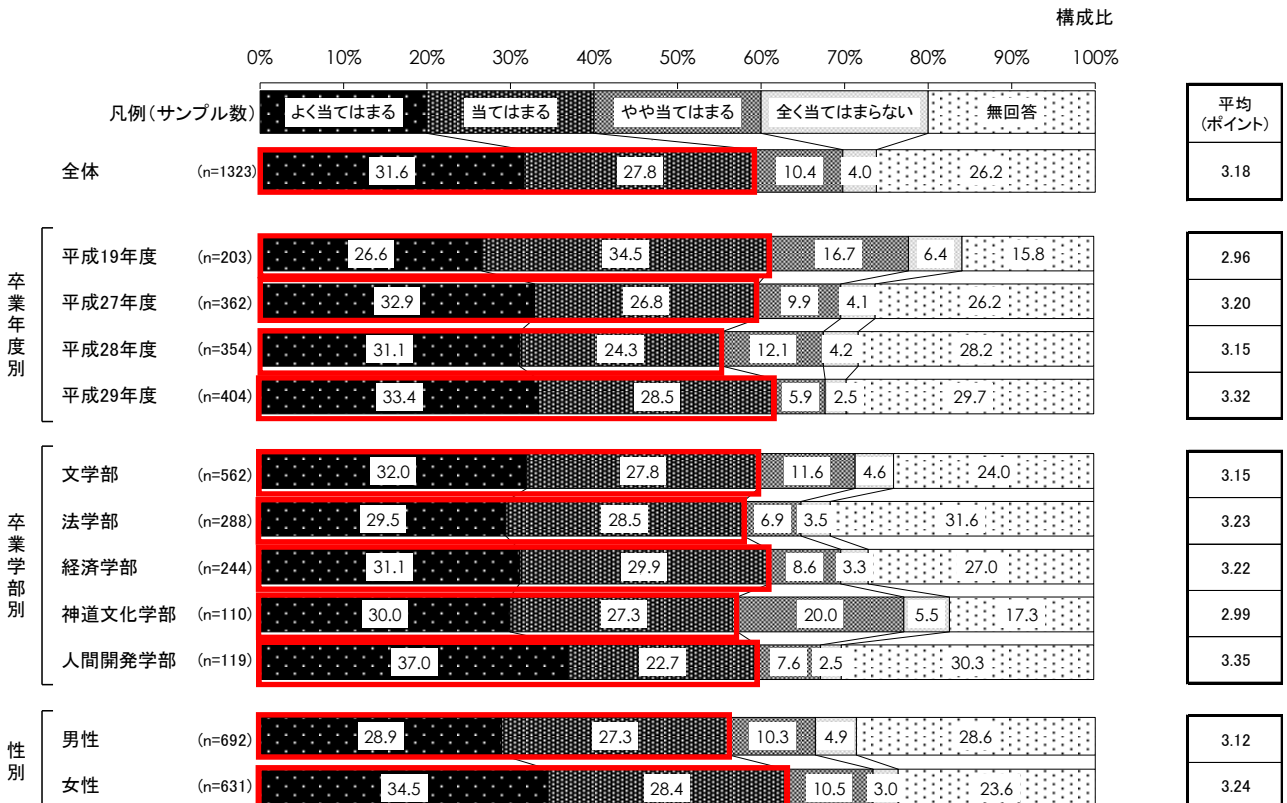


※ 「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで平均を抽出。

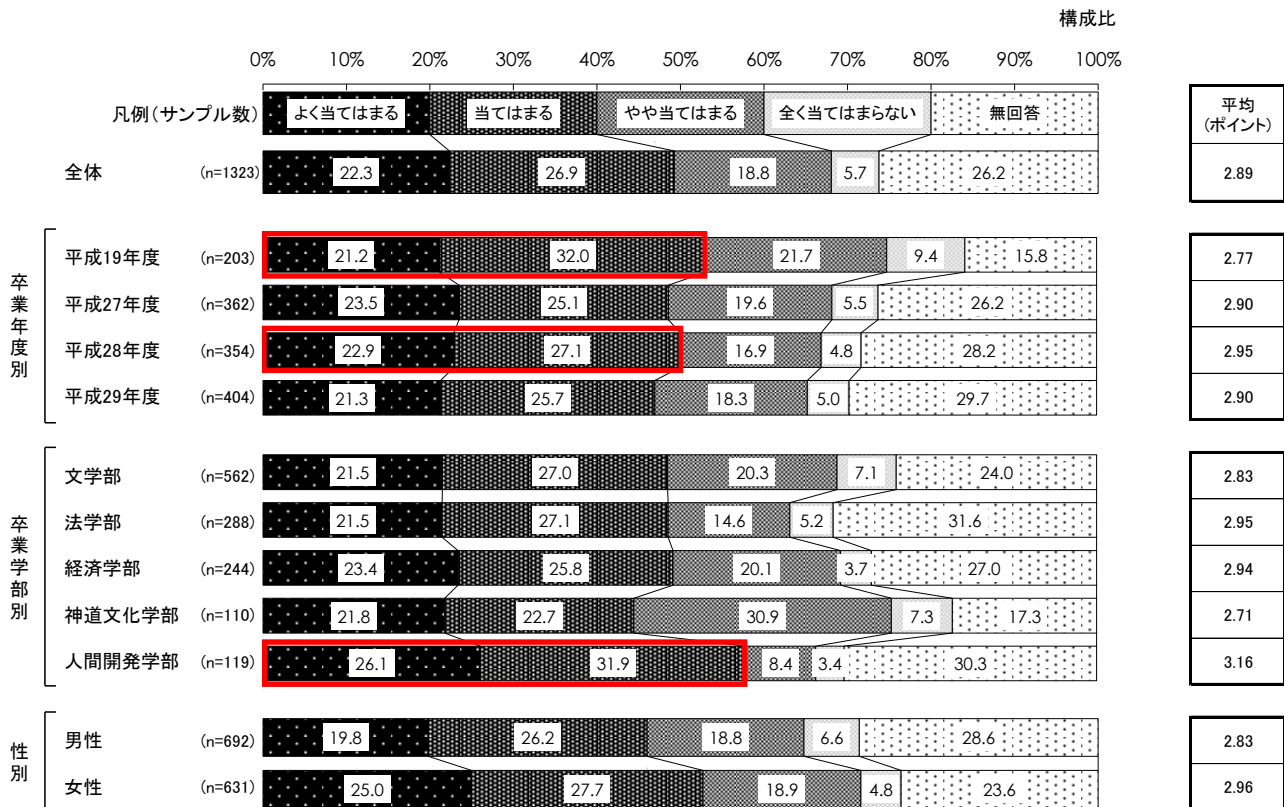
図表 2-106 誰に対しても、和やかに接することができる (SA)



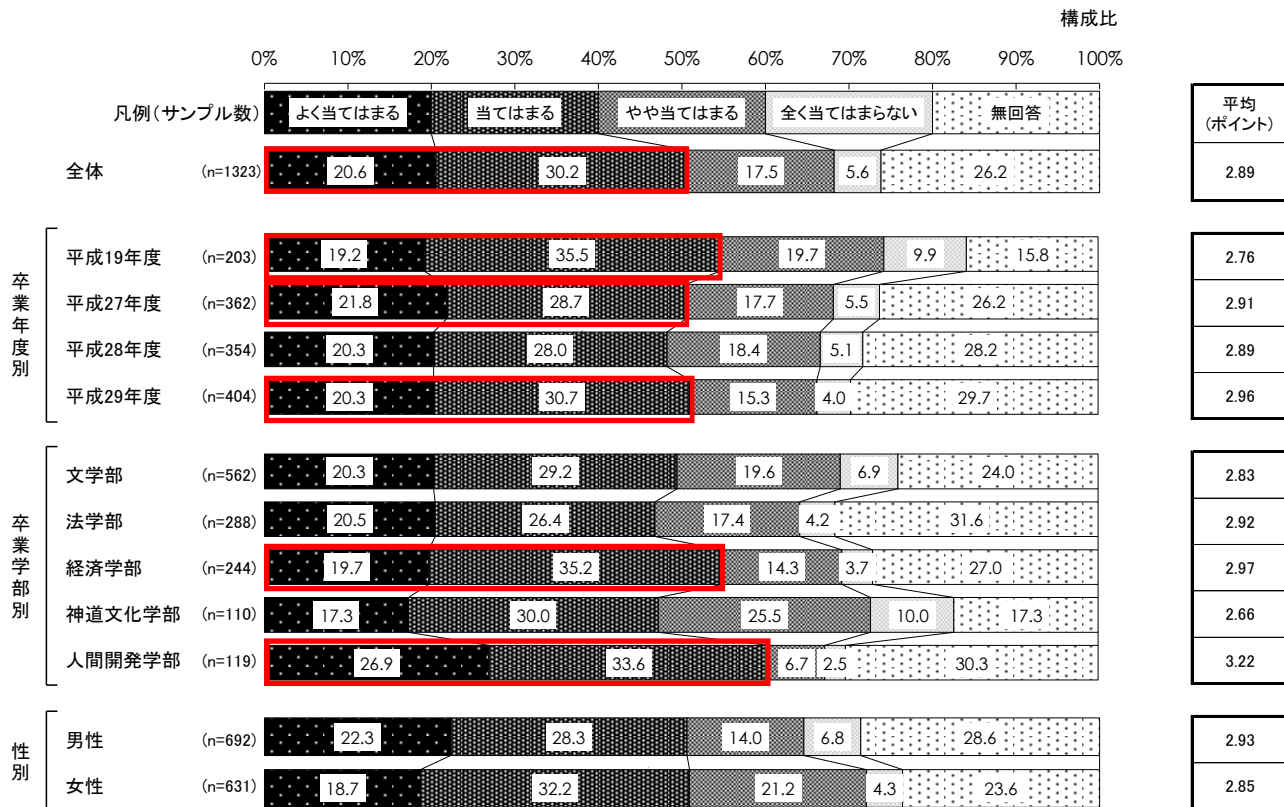
図表 2-107 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける (SA)



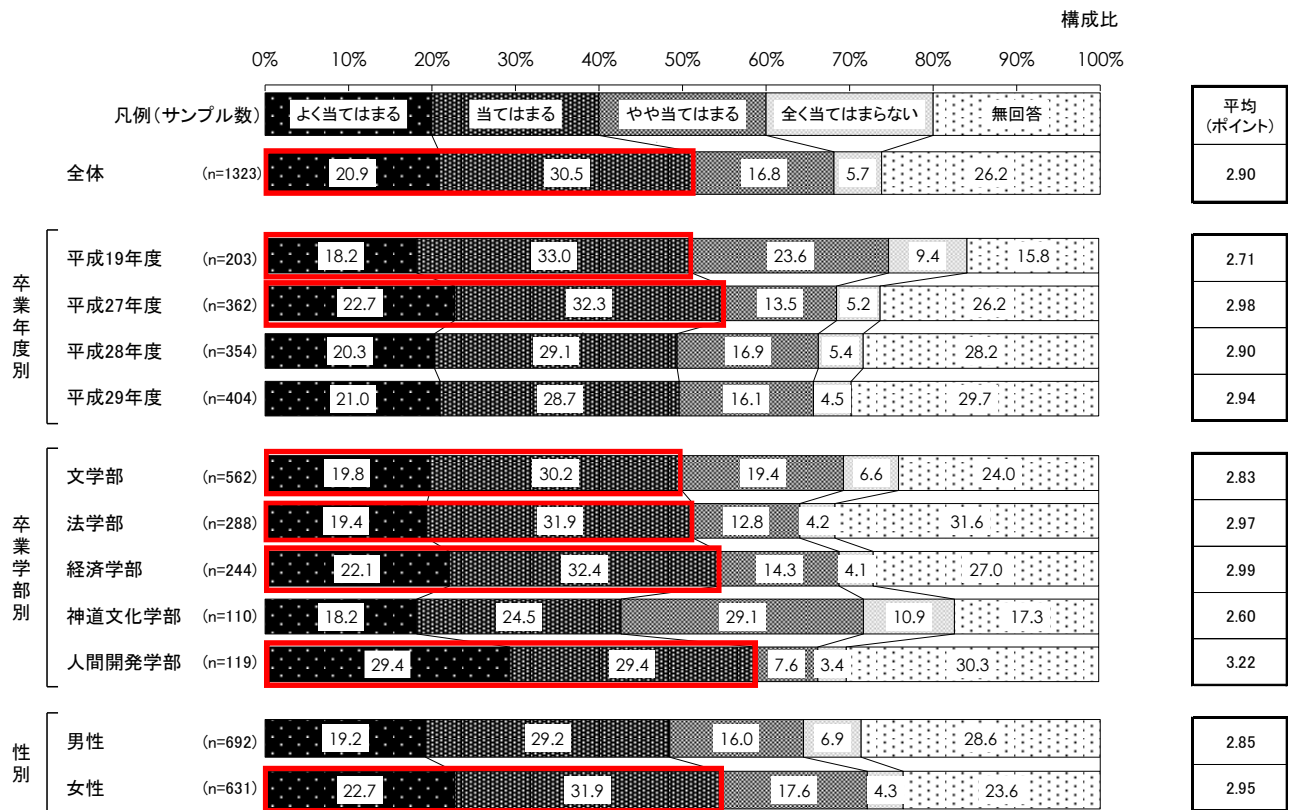
図表 2-108 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる (SA)



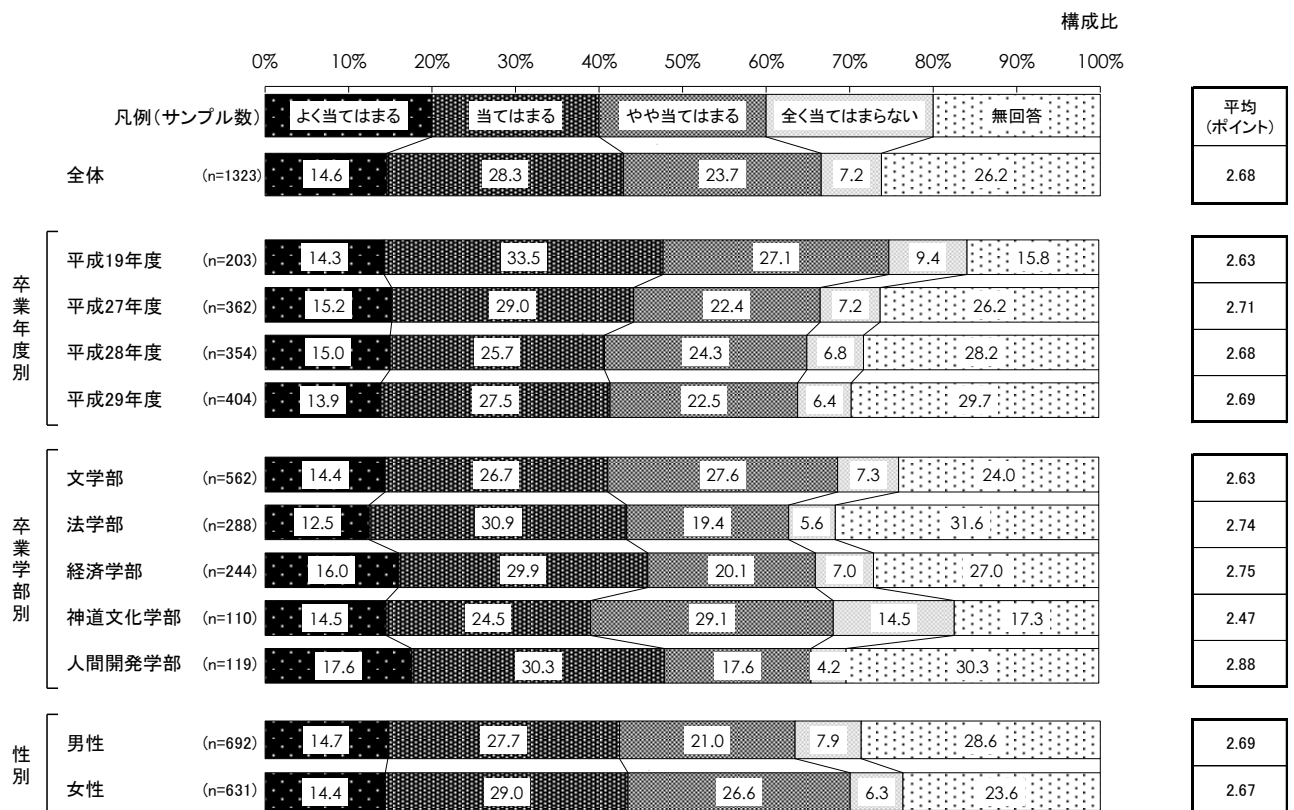
図表 2-109 チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる (SA)



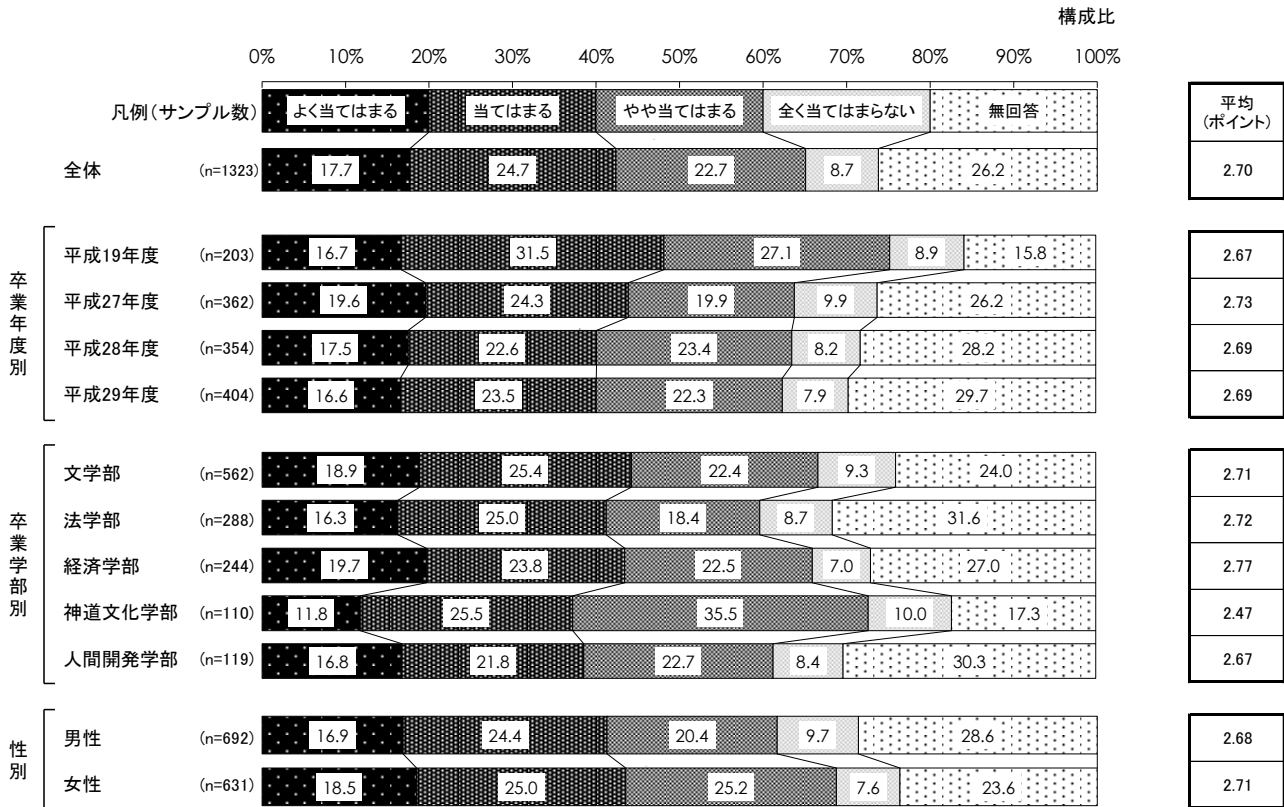
図表 2-110 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる (SA)



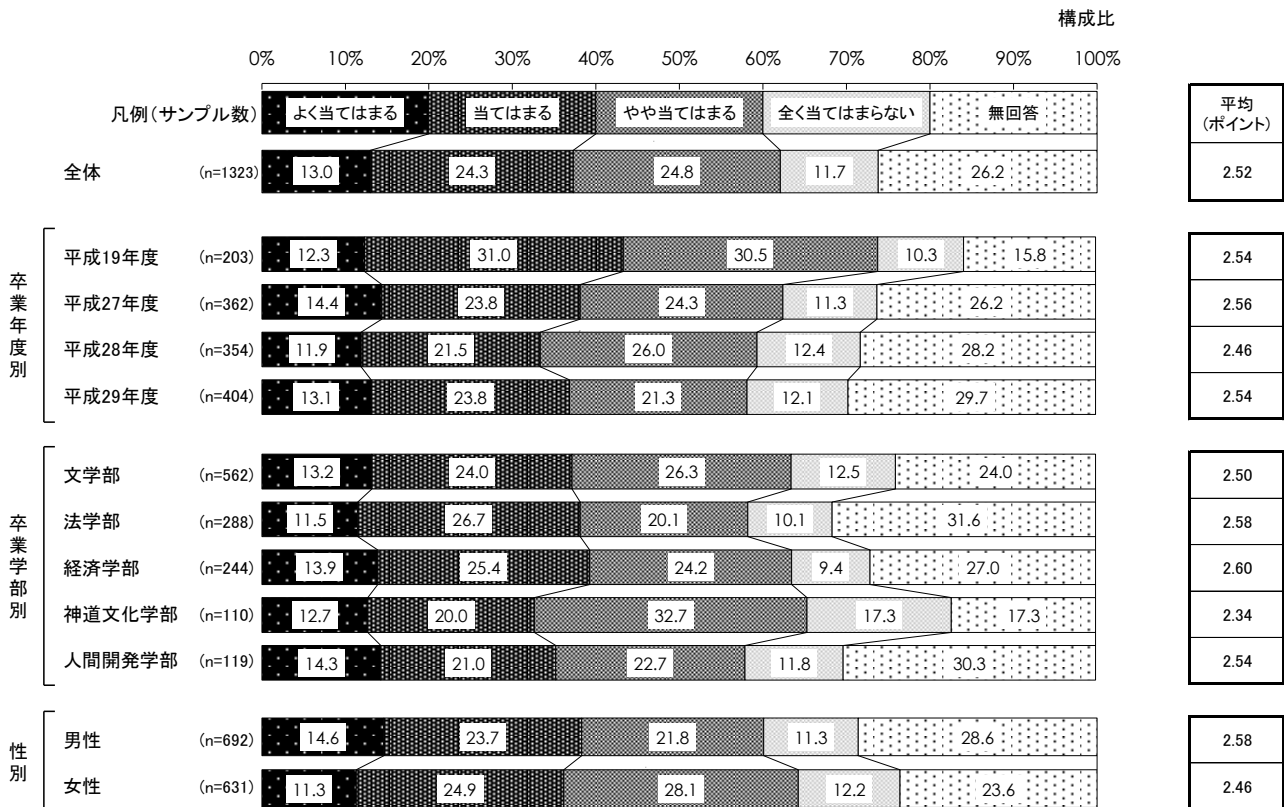
図表 2-111 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる (SA)



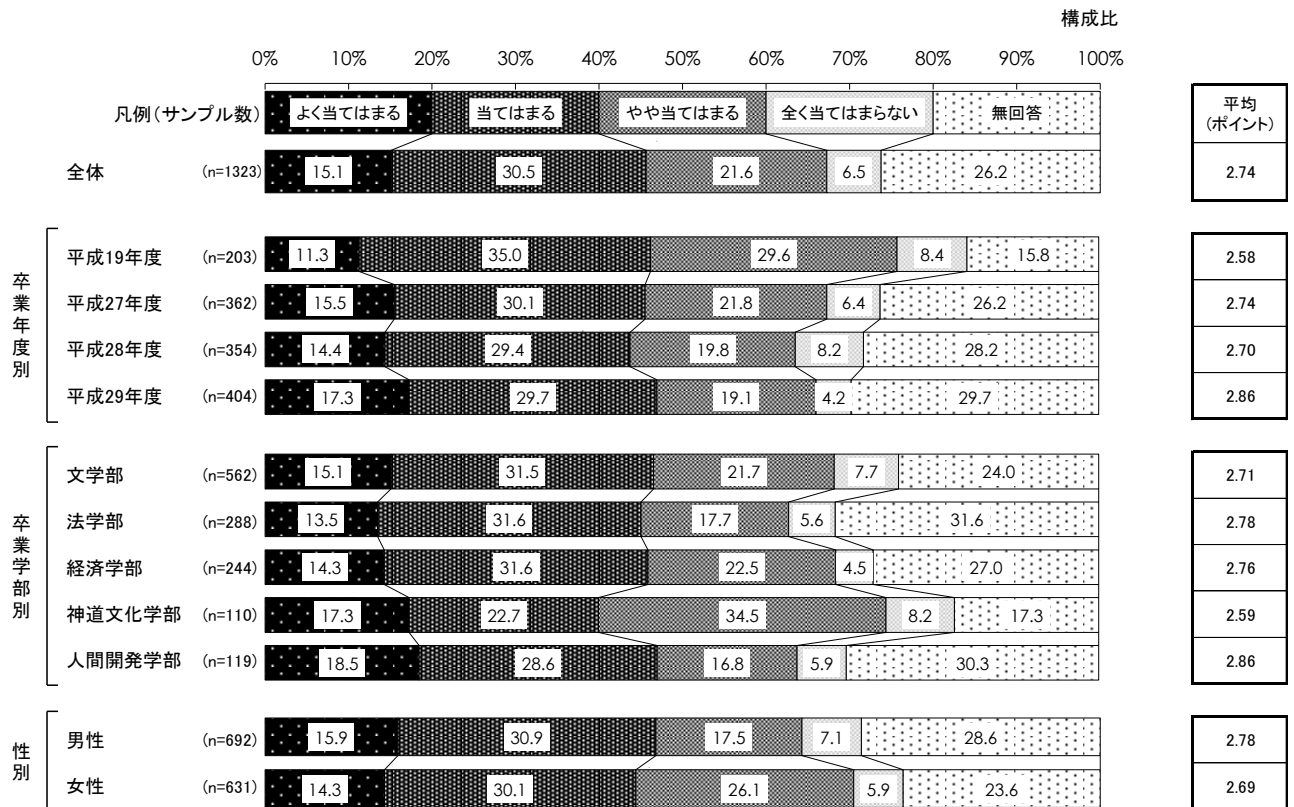
図表 2-112 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる (SA)



図表 2-113 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる (SA)



図表 2-114 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる (SA)



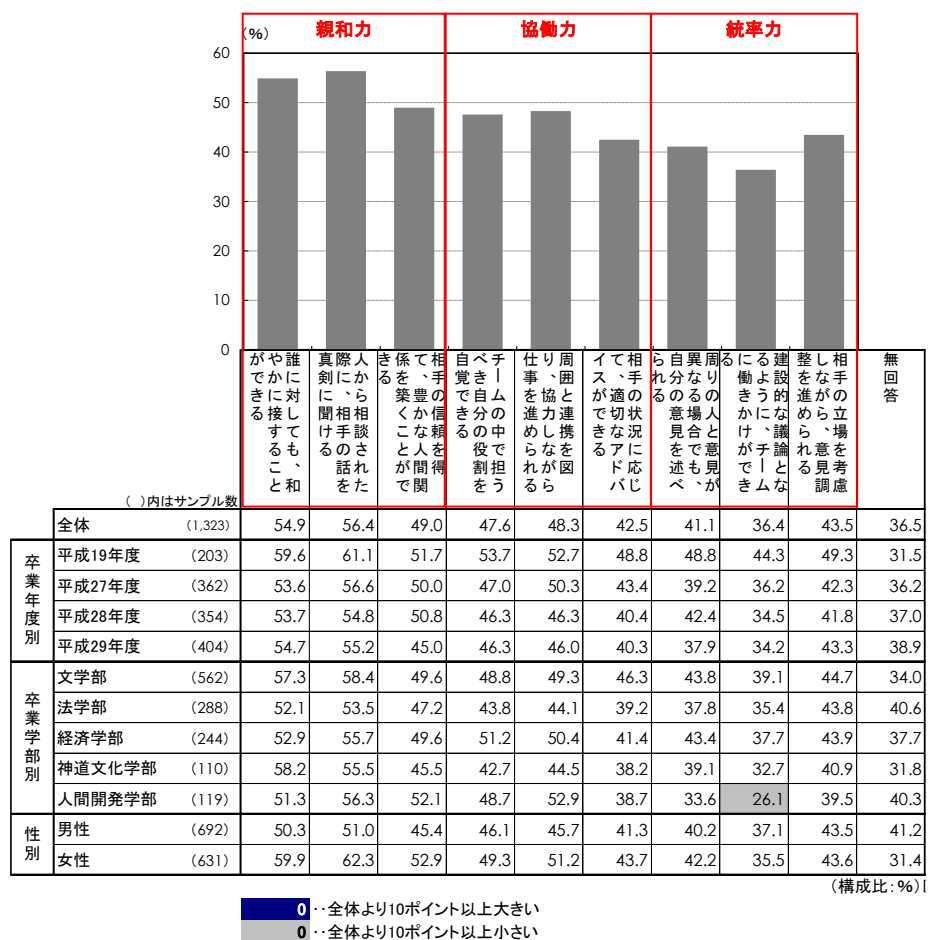
5. 「他者、チームに対する行動特性」のうち、「学生時代に身についた能力で今役立っている能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

学生時代に身についた他者、チームに対する行動特性のうち、今役立っている能力は、「人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける力」が56.4%で最も高く、次いで「誰に対しても、和やかに接することができる力」が54.9%となっており、親和力などが身についたと回答した人が多い。

卒業年度別、性別でも、同様である。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「建設的な議論となるように、チームに働きかけができる力」が他の学部 비해低い。

図表2-115 他者、チームに対する行動特性のうち、今役立っている能力（MA）



6. 「他者、チームに対する行動特性」のうち、「学生時代に身につけておけばよかったと思う能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

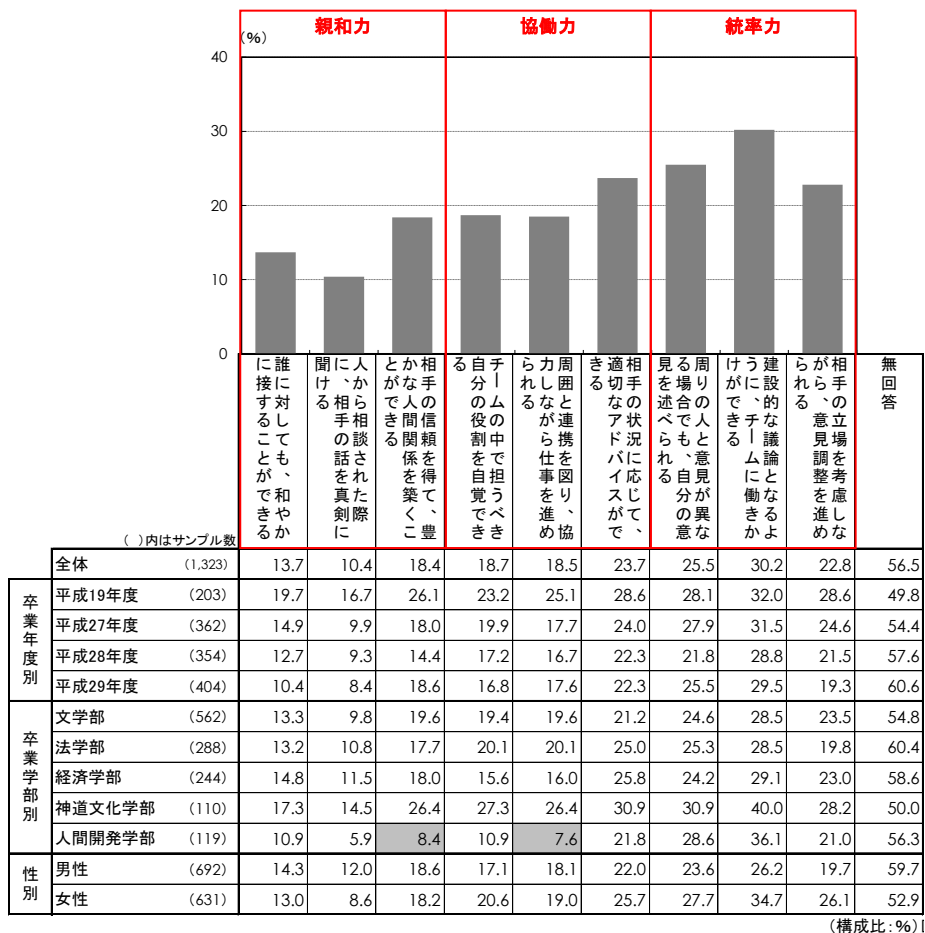
学生時代に身につけておけばよかったと思う能力は、「建設的な議論となるように、チームに働きかけができる力」が最も高く 30.2%となっている。次いで「周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる力」が 25.5%、「相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる力」が 23.7%などの順となっており、統率力や協働力を望む声が多い。

卒業年度別にみると、いずれの年度も「建設的な議論となるように、チームに働きかけができる力」が最も高くなっている。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「相手の信頼を得て、豊かな人間性を築くことができる力」と「周囲と連携をはかり、協力しながら仕事を進められる力」が全体より 10 ポイント以上低くなっている。

性別にみると、男性は親和力の割合が女性よりも高く、女性は協働力、統率力の割合が男性よりも高くなっている。

図表 2-116 他者、チームに対する行動特性のうち、
学生時代に身につけておけばよかったと思うもの (MA)

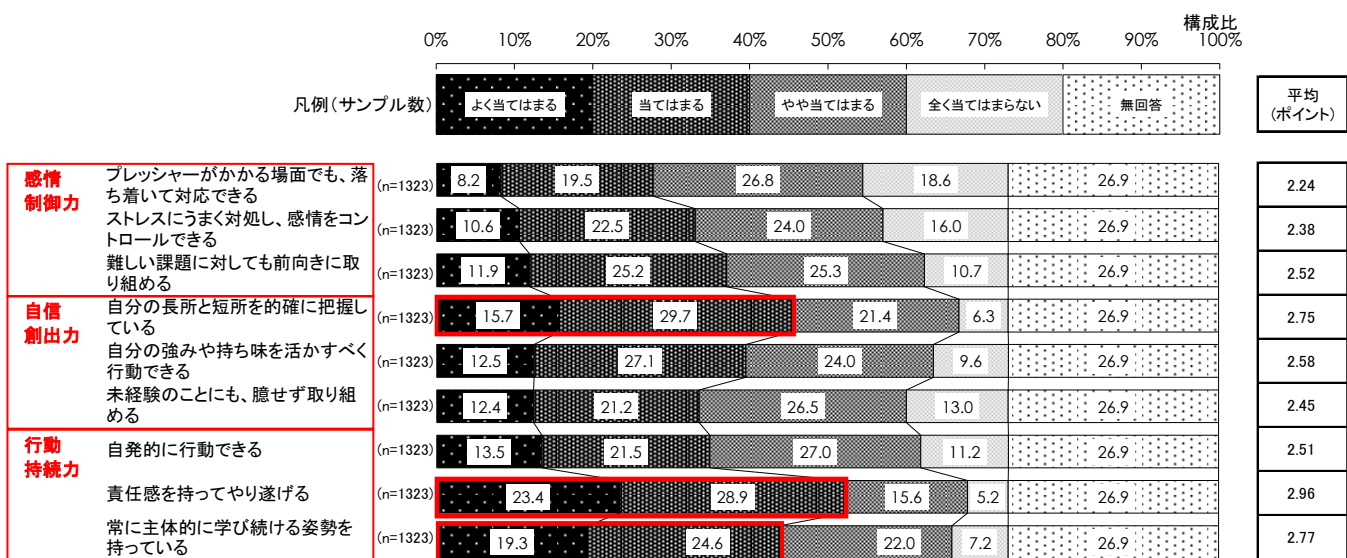


0 .. 全体より10ポイント以上大きい
0 .. 全体より10ポイント以上小さい

7. 学生時代に、以下のような「自己に対する行動特性」が身についたと思いますか。
(それぞれ1つ選択)

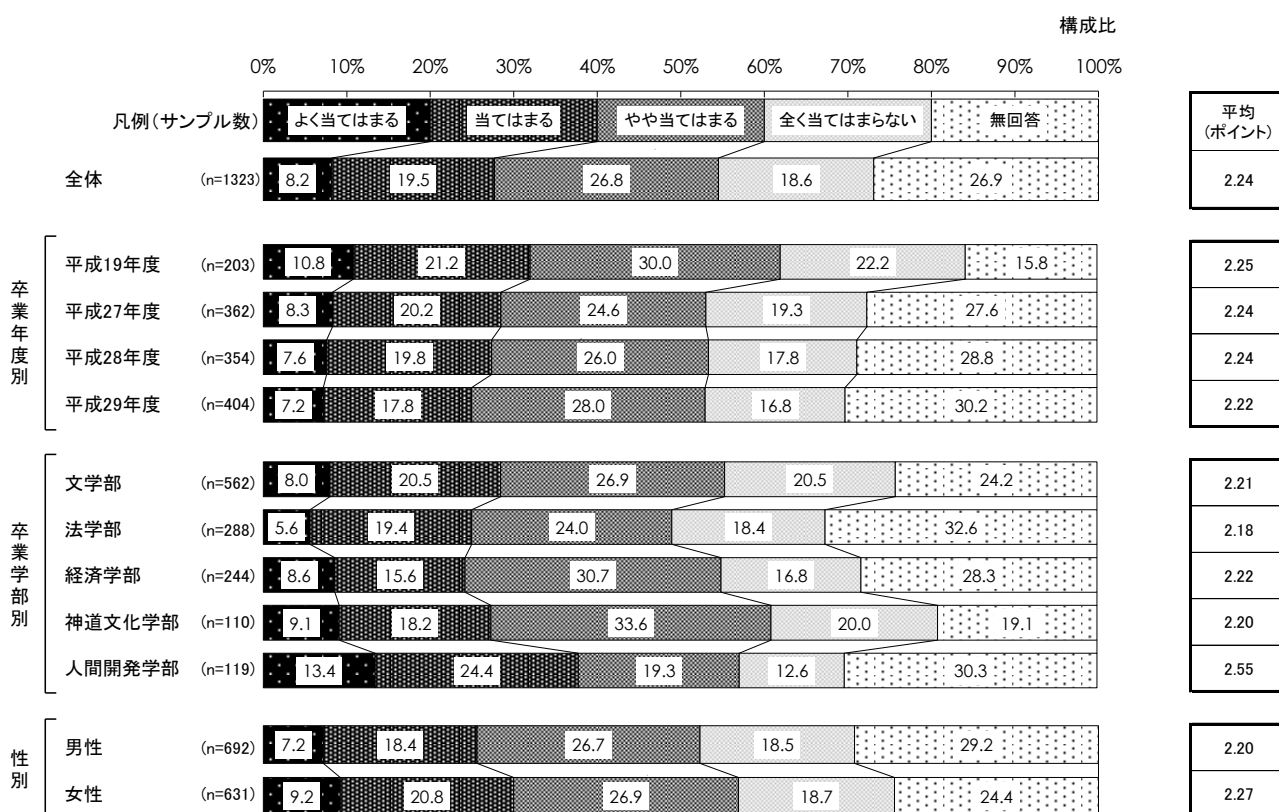
学生時代に身についたと思う自己に対する行動特性は、「責任感を持ってやり遂げる」が最も高く、『当てはまる』が52.3%で、2.96ポイントとなっている。次いで、「常に主体的に学び続ける姿勢を持っている」が2.77ポイント、「自分の長所と短所を的確に把握している」が2.75ポイントで、行動持続力や自信創出力が高くなっている。

図表2-117 学生時代に身についたと思うスキルや能力(SA)

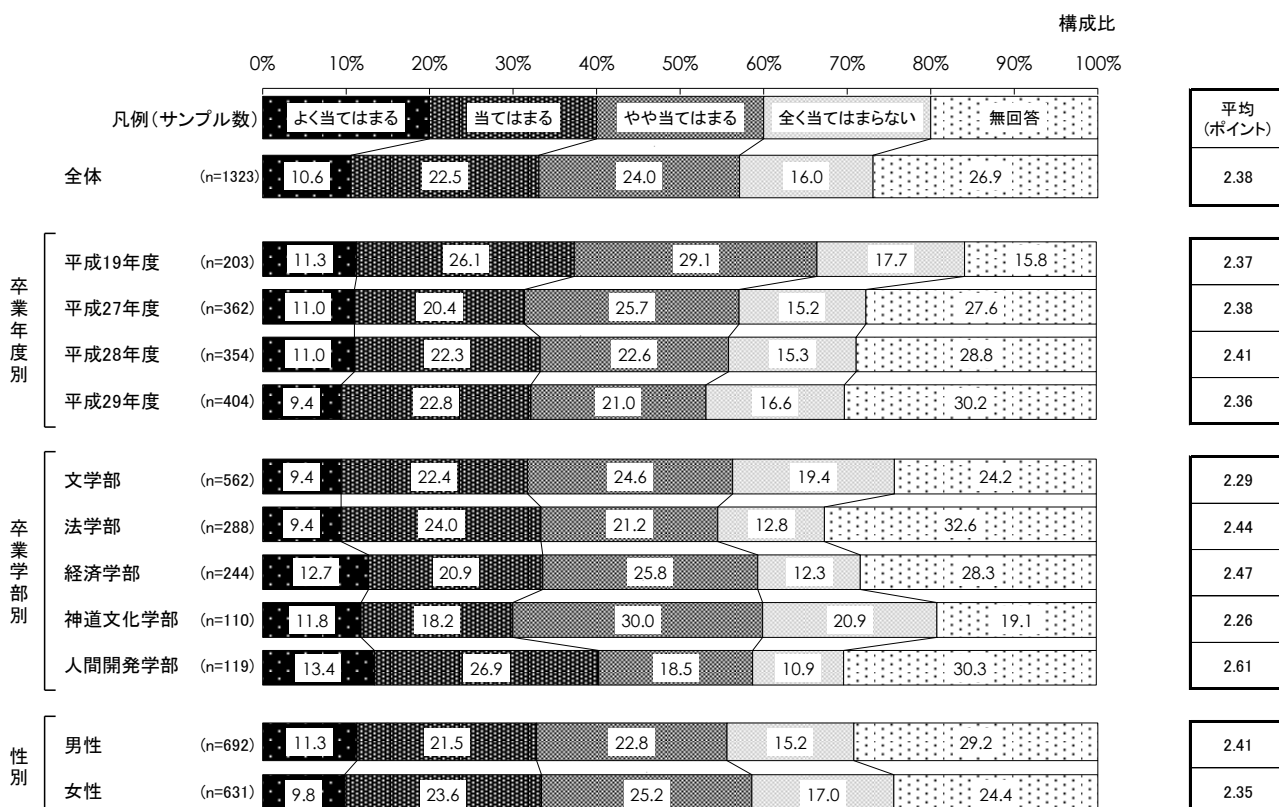


※「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで平均を抽出。

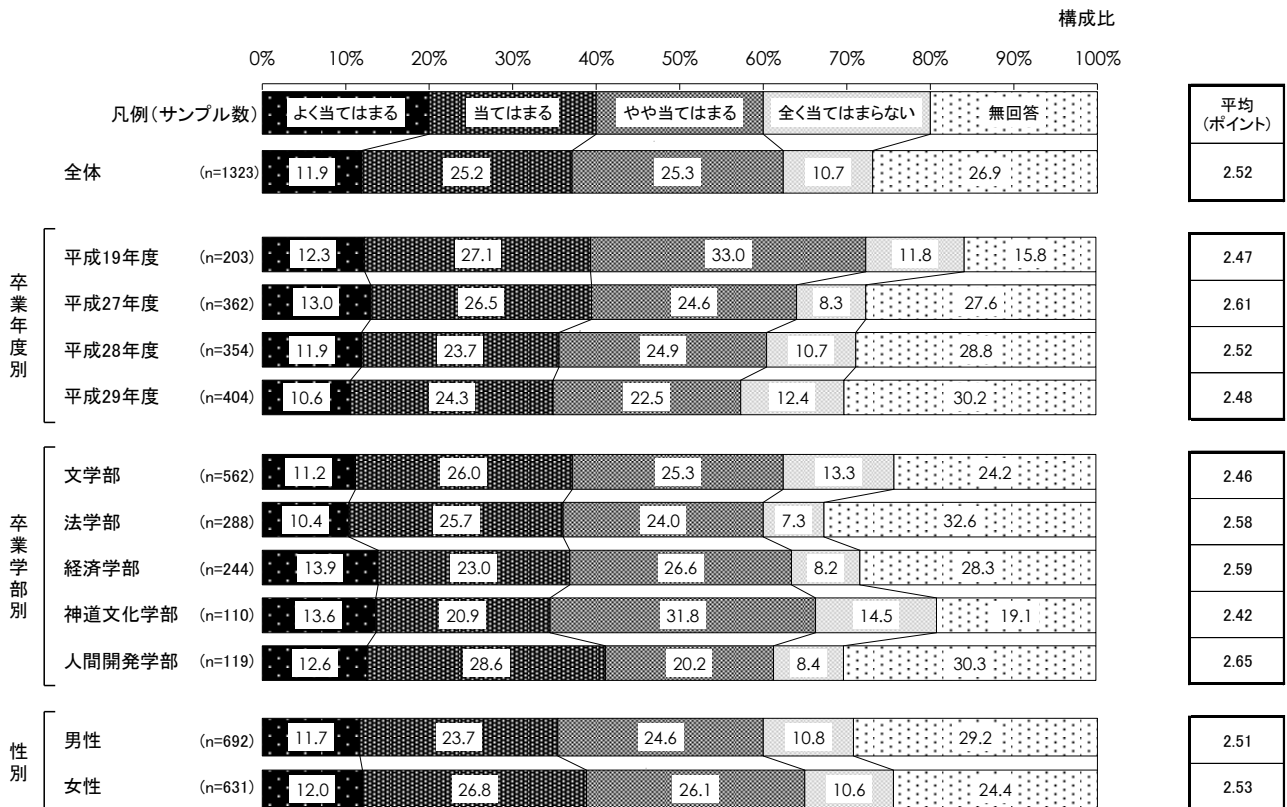
図表 2-118 プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる (SA)



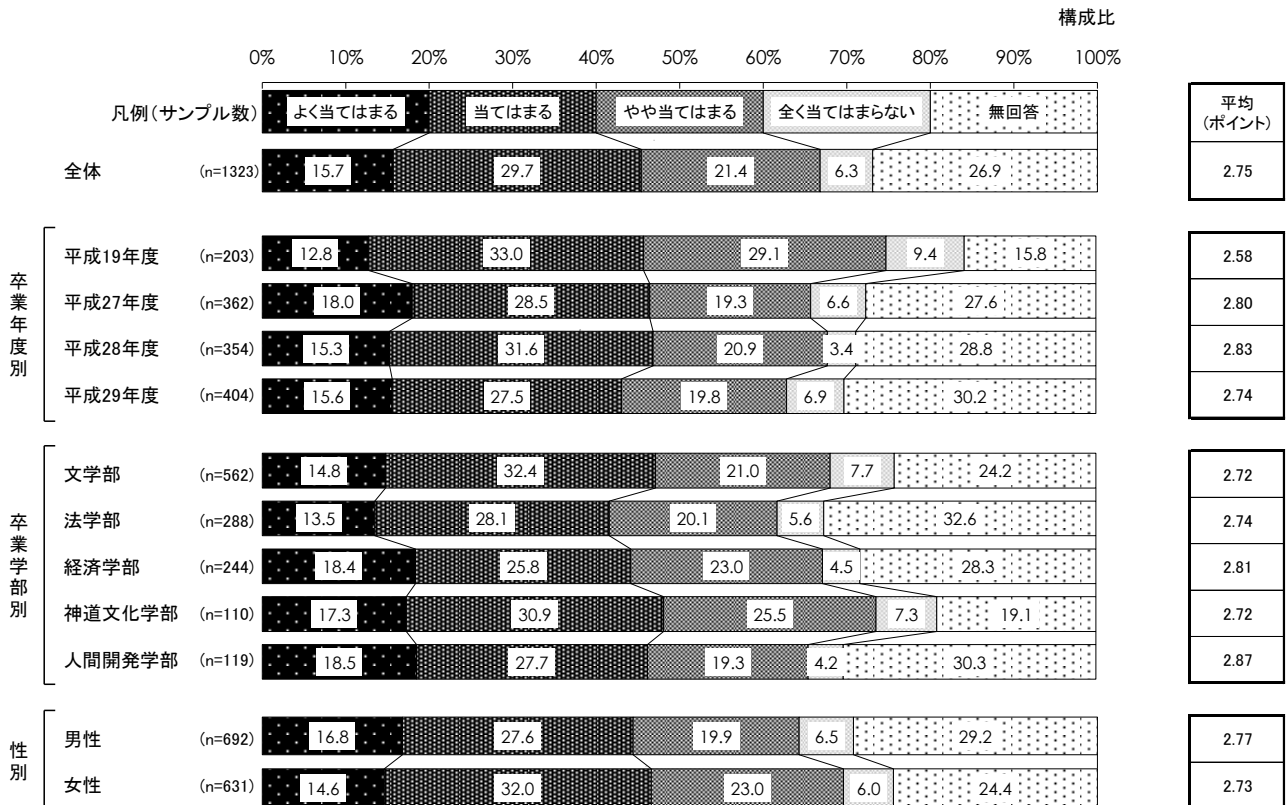
図表 2-119 ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる (SA)



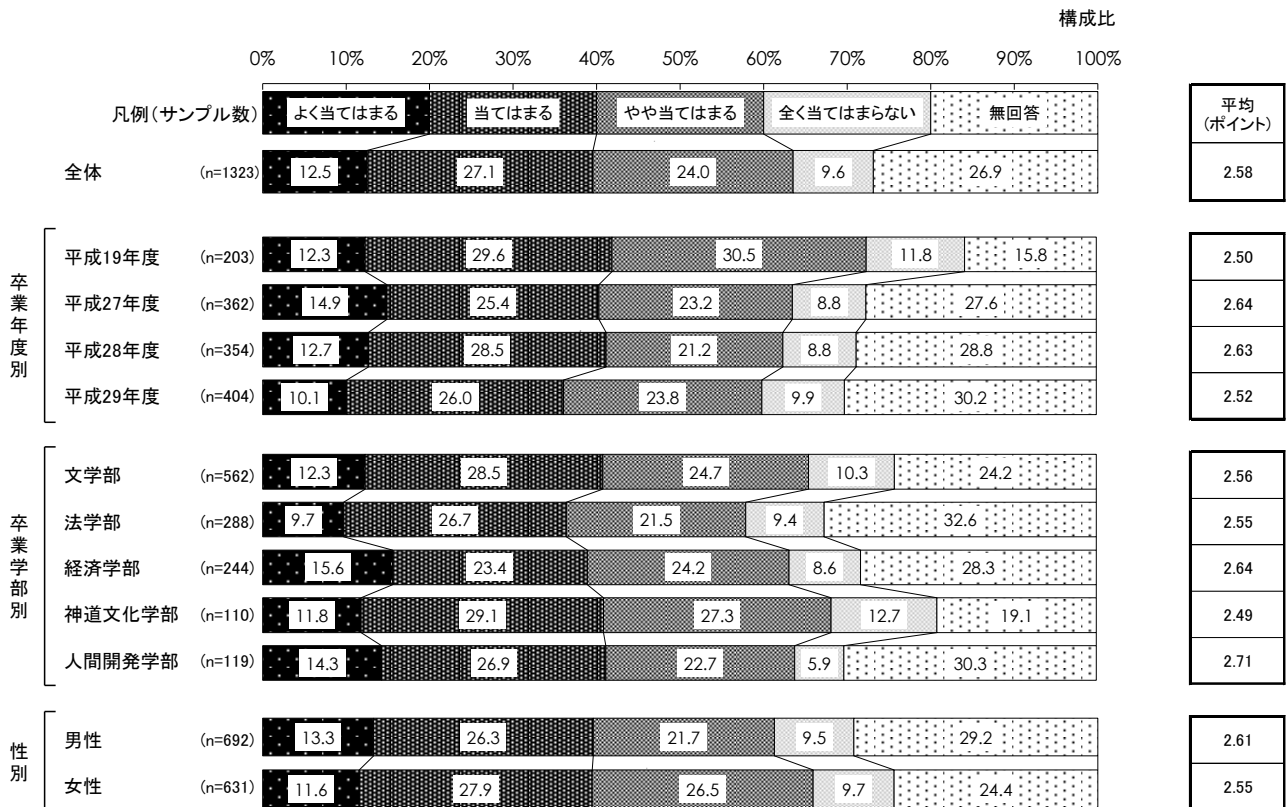
図表 2-120 難しい課題に対しても前向きに取り組める (SA)



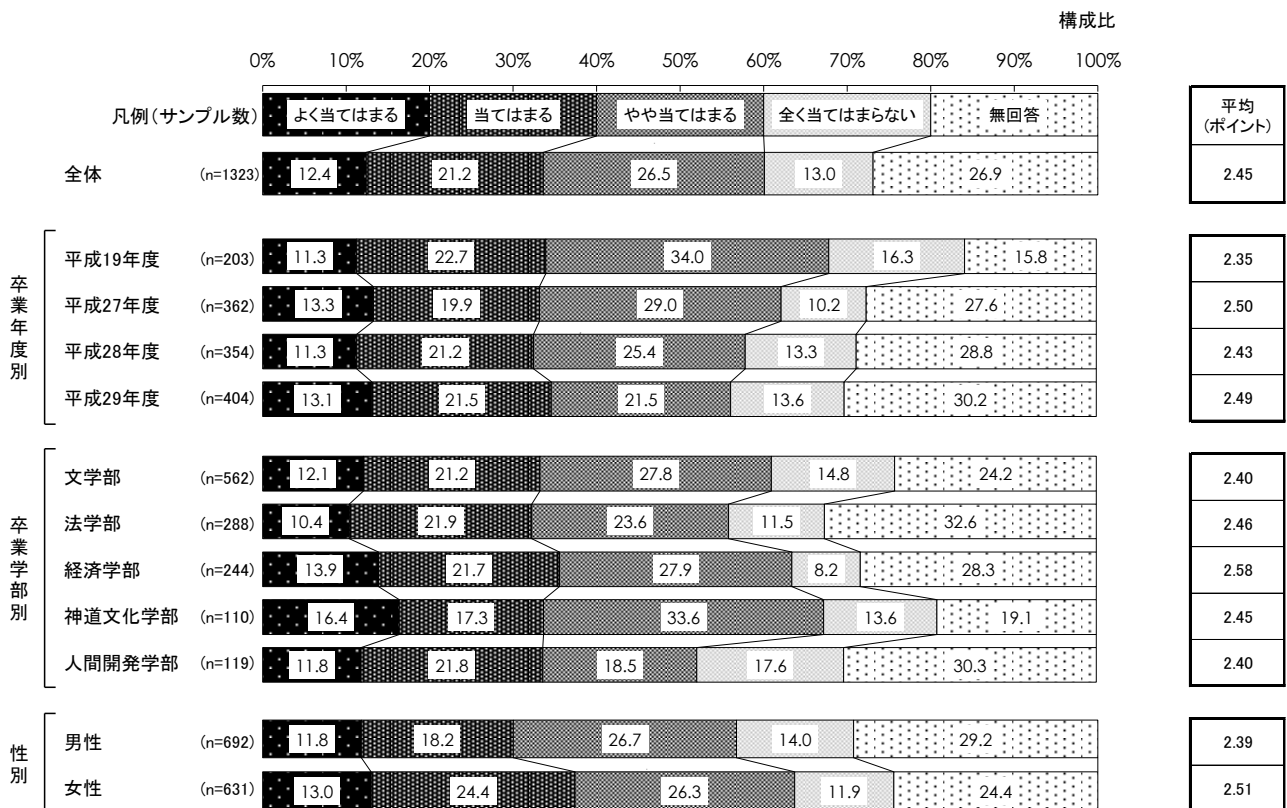
図表 2-121 自分の長所と短所を的確に把握している (SA)



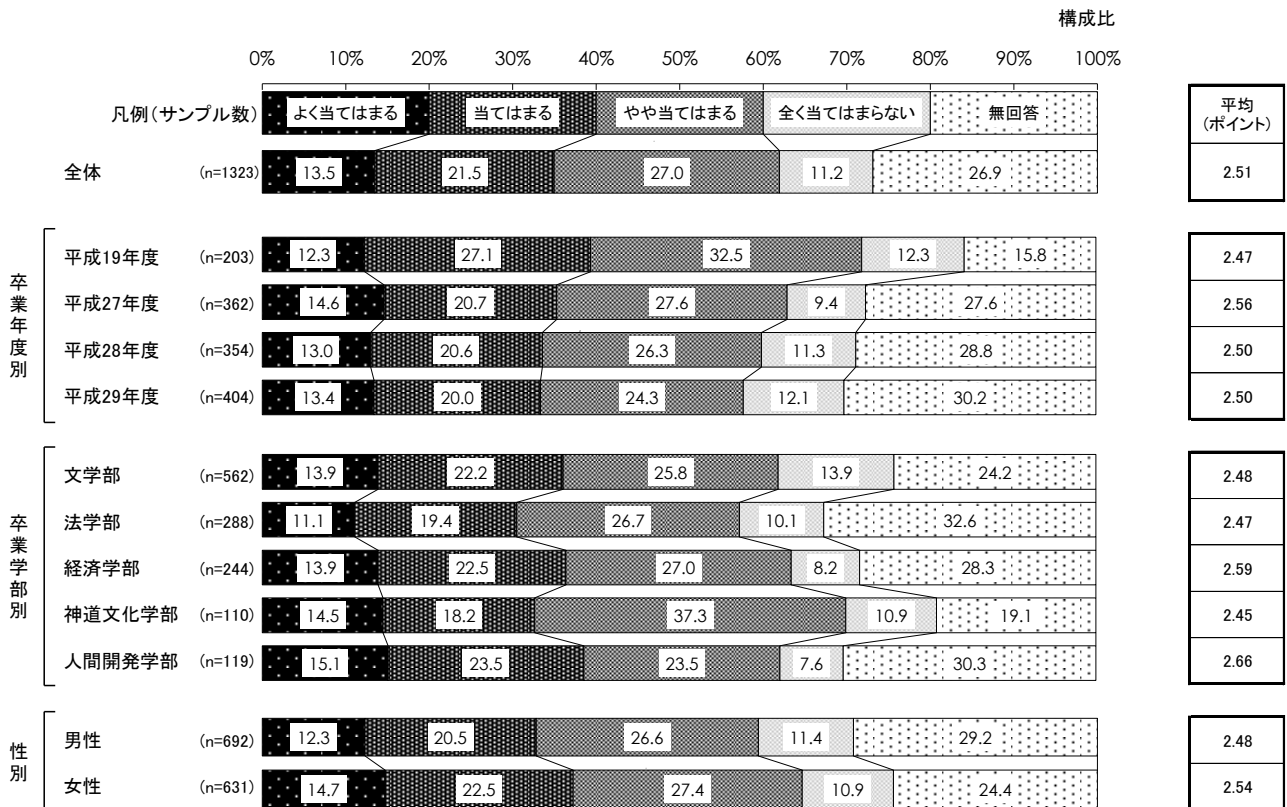
図表 2-122 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる (SA)



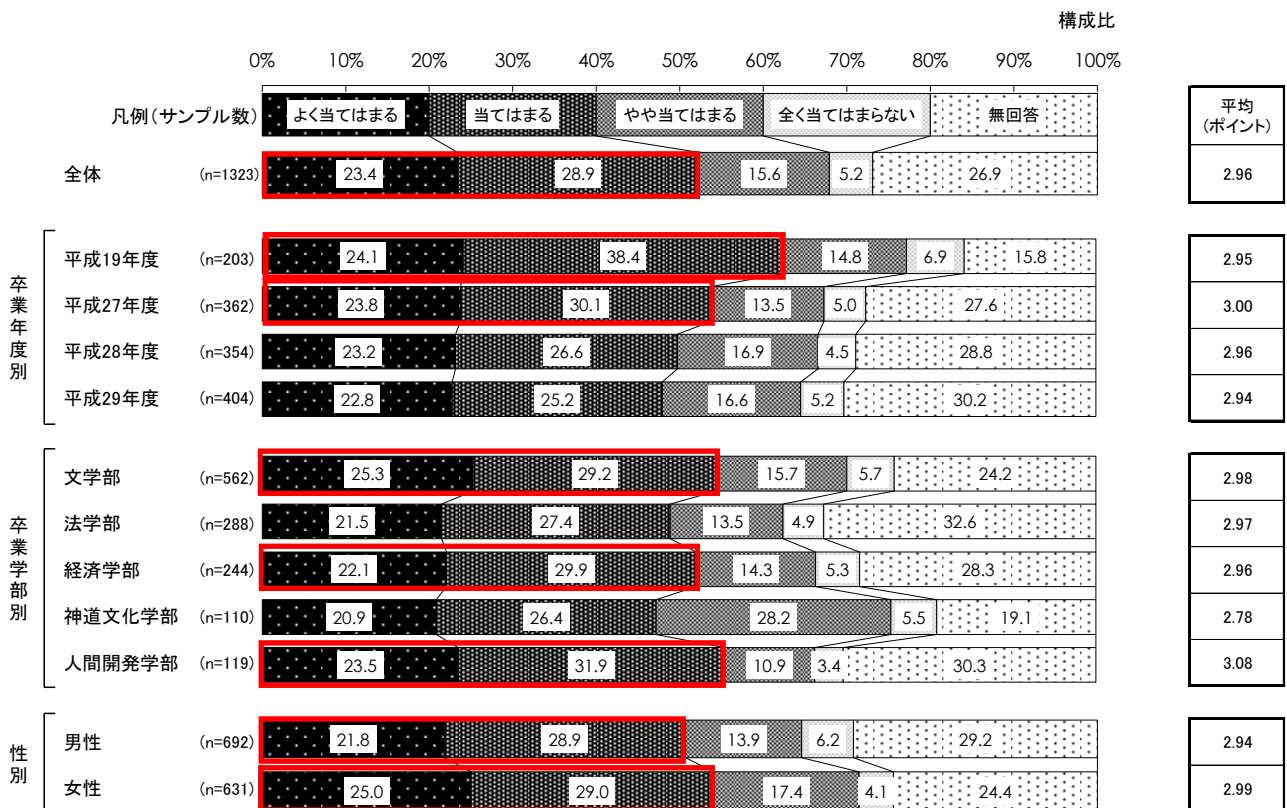
図表 2-123 未経験のことにも、臆せず取り組める (SA)



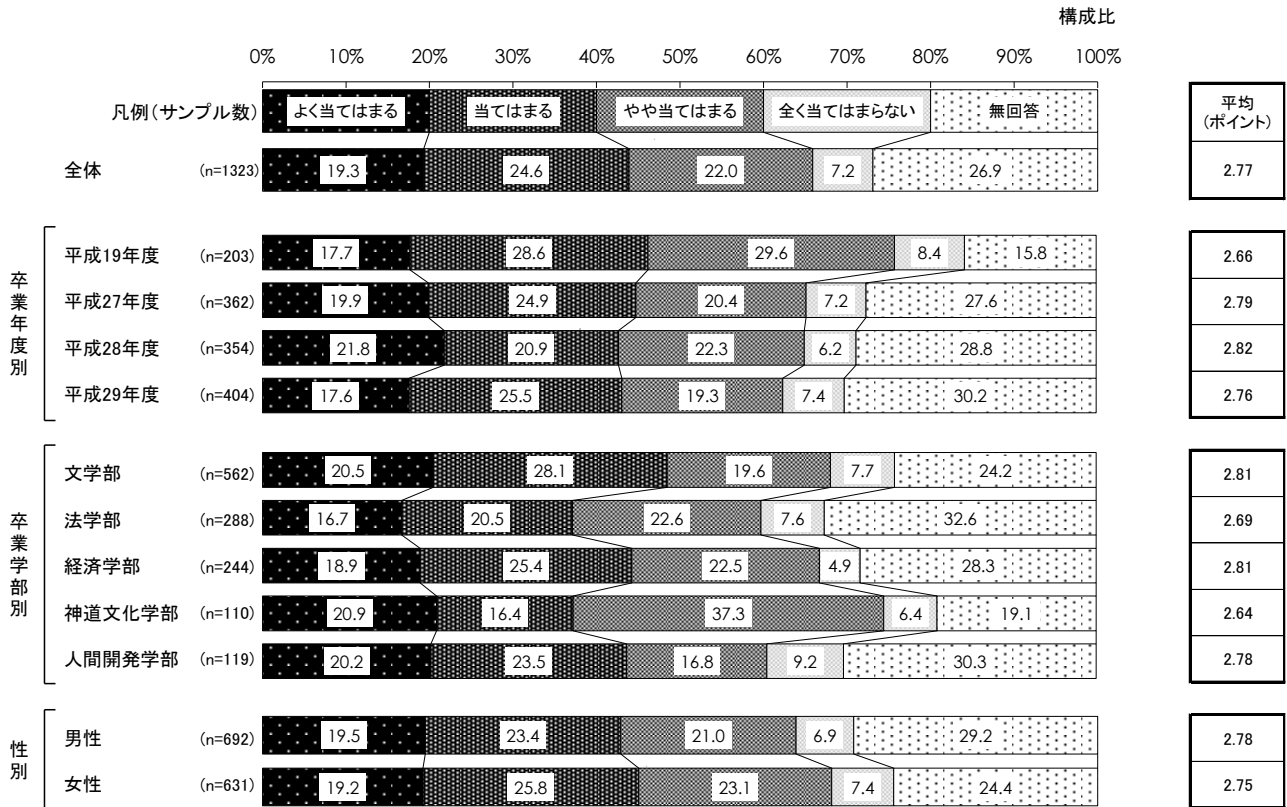
図表 2-124 自発的に行動できる (SA)



図表 2-125 責任感を持ってやりとげる (SA)



図表 2-126 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている (SA)

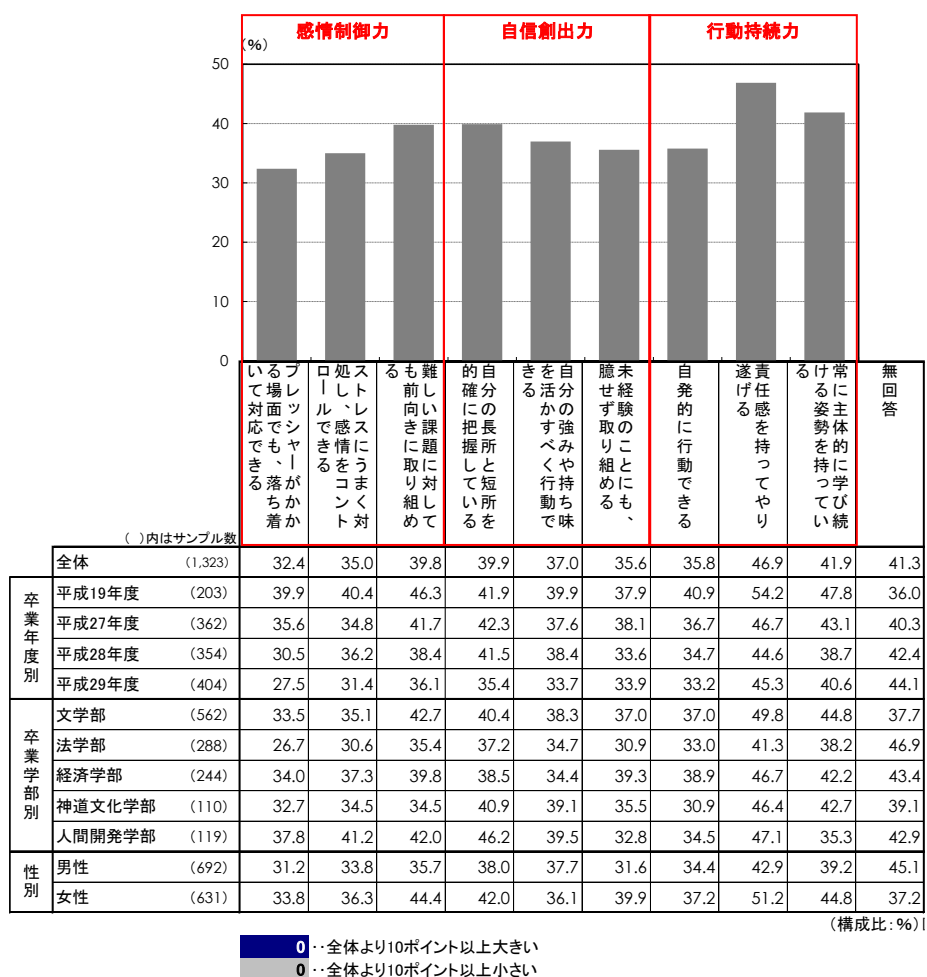


8. 「自己に対する行動特性」のうち、「学生時代に身についた能力で今役立っている能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

学生時代に身についた自己に対する行動特性のうち、今役立っているものは、「責任感を持ってやり遂げる力」が46.9%で最も高く、次いで「常に主体的に学び続ける姿勢を持っている力」が41.9%となっており、行動持続力などが身についたと回答した人が多い。

卒業年度別、卒業学部別、性別も同様の傾向にある。

図表2-127 自己に対する行動特性のうち、今役立っている能力 (MA)



9. 「自己に対する行動特性」のうち、「学生時代に身につけておけばよかったと思う能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

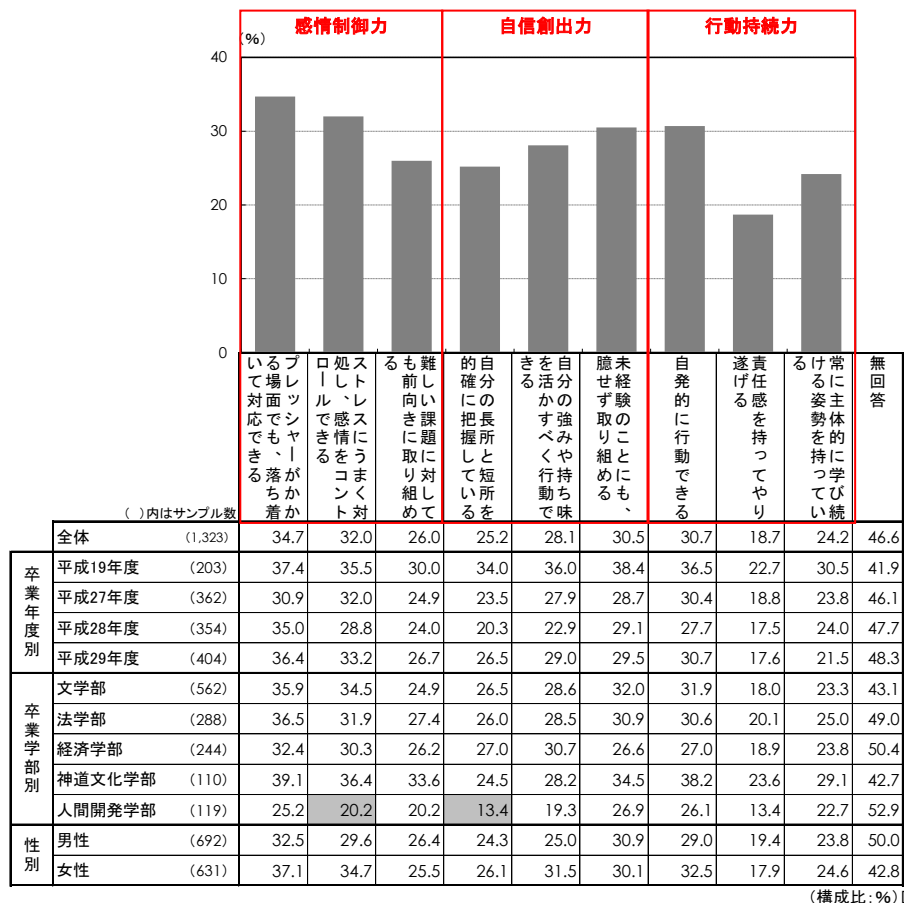
学生時代に身につけておけばよかったと思う能力は、「プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる力」が最も高く 34.7%となっている。次いで「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる力」が 32.0%、「自発的にこうどうできる力」が 30.7%などの順となっており、感情制御力や行動持続力を望む声が多い。

卒業年度別にみると、平成 19 年度は「未経験のことにも、臆せず取り組める力」が最も高くなっているものの、平成 28 年度以降は「プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる力」が最も高く、年度により傾向が異なる。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる力」と「自分の長所と短所を的確に把握している力」が他の学部より低くなっている。

性別にみると、男女ともに「プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる力」の割合が高くなっている。

図表 2-128 自己に対する行動特性のうち、
学生時代に身につけておけばよかったと思う能力 (MA)



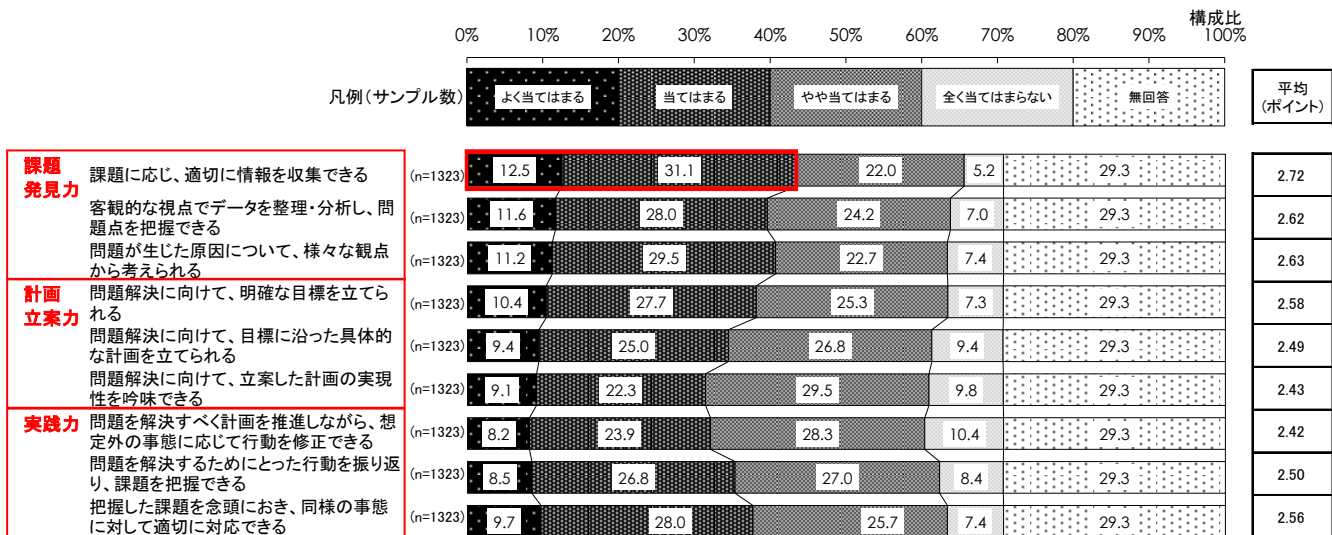
0・・・全体より10ポイント以上大きい
0・・・全体より10ポイント以上小さい

(構成比:%)

10. 学生時代に、以下のような「課題に対する行動特性」が身についたと思いますか。
(それぞれ1つ選択)

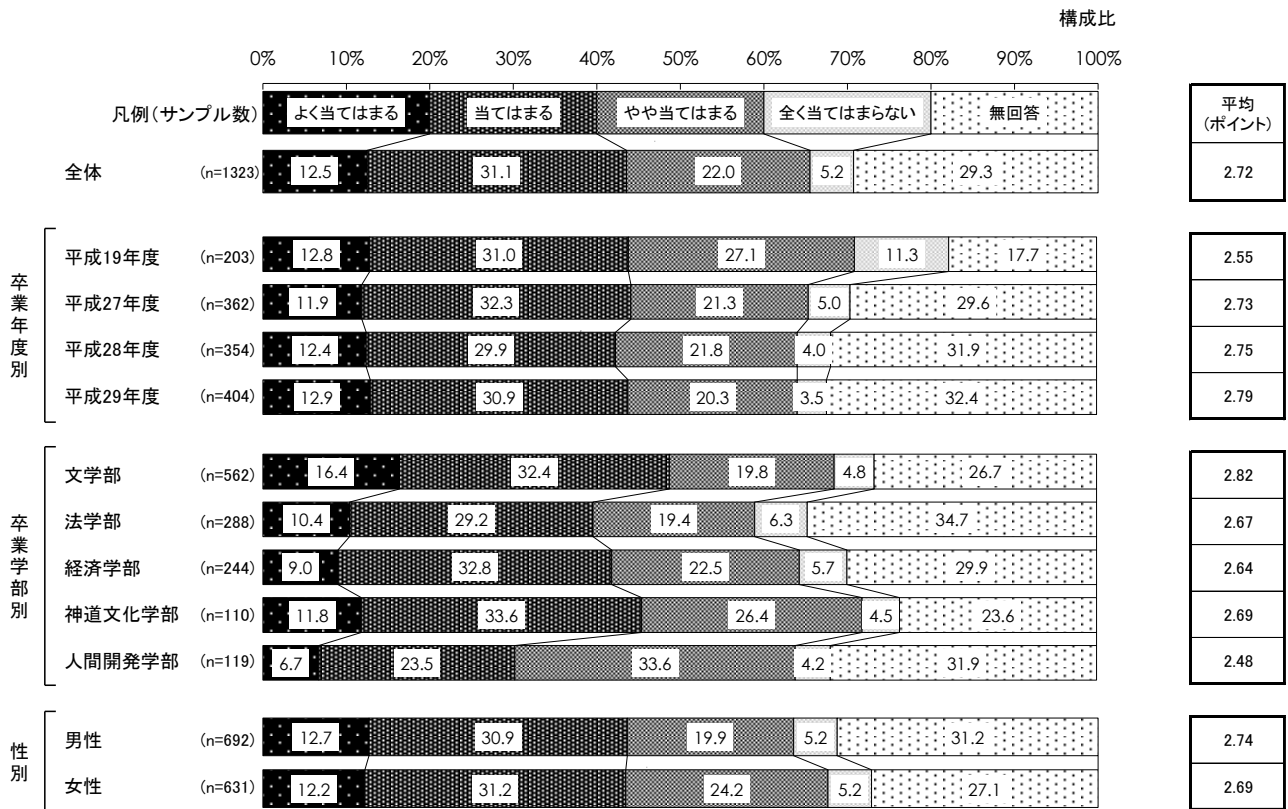
学生時代に身についたと思う課題に対する行動特性は、[課題に応じ、適正に情報を収集できる]が最も高く、『当てはまる』が43.6%で、2.72ポイントとなっている。次いで、[問題が生じた原因について、様々な視点から考えられる]が2.63ポイント、[客観的な視点でデータを整理・分析し問題点を把握できる]が2.62ポイント、[問題解決に向けて、明確な目標を立てられる]が2.58ポイント、[把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる]が2.56ポイントで、課題発見力が高くなっている。

図表2-129 学生時代に身についたと思う課題に対する行動特性 (SA)

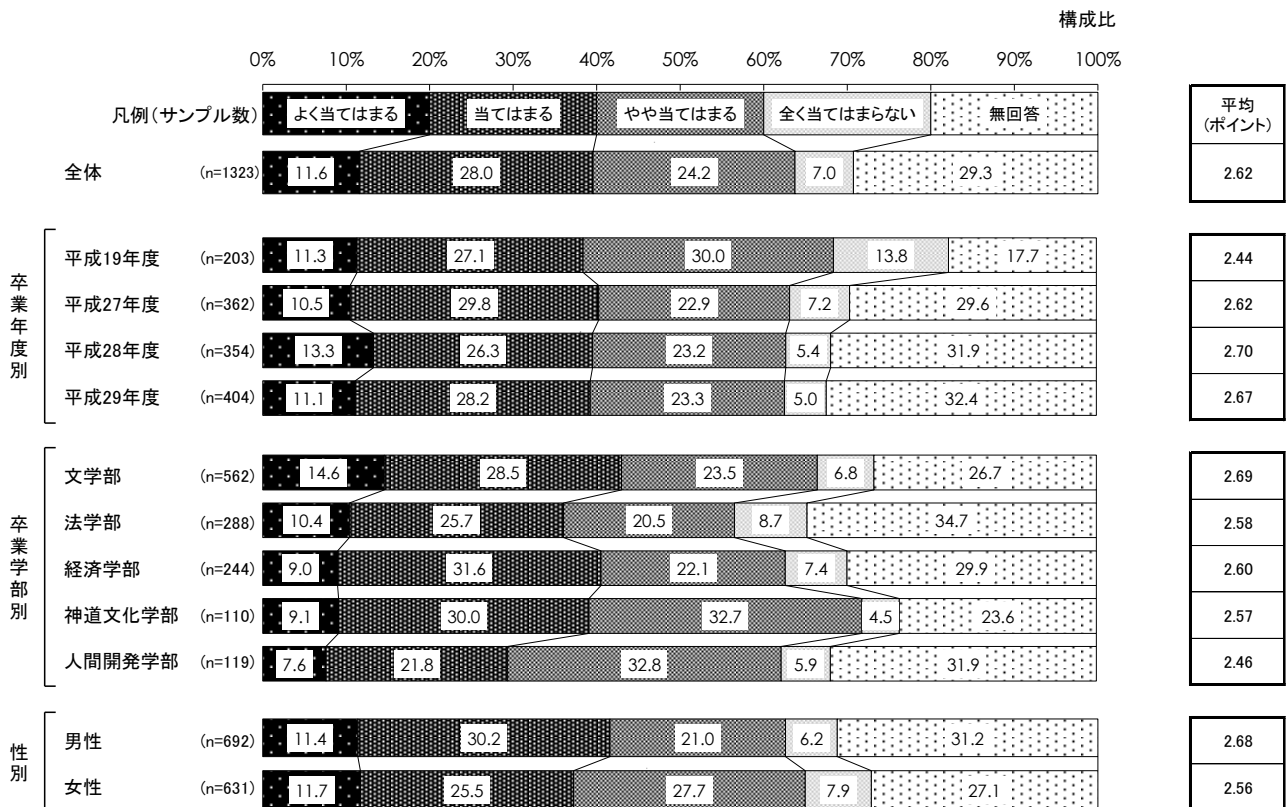


※「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで平均を抽出。

図表 2-130 課題に応じ、適切に情報を収集できる (S A)

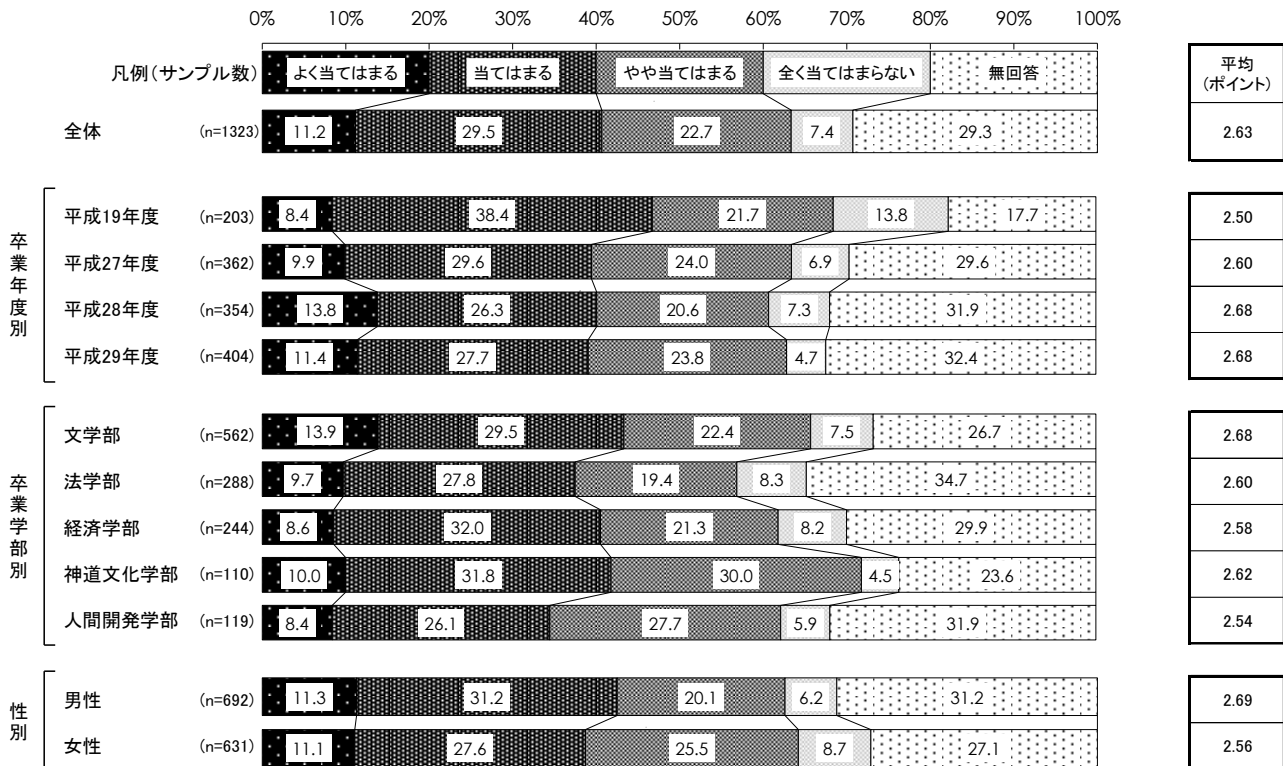


図表 2-131 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる (S A)



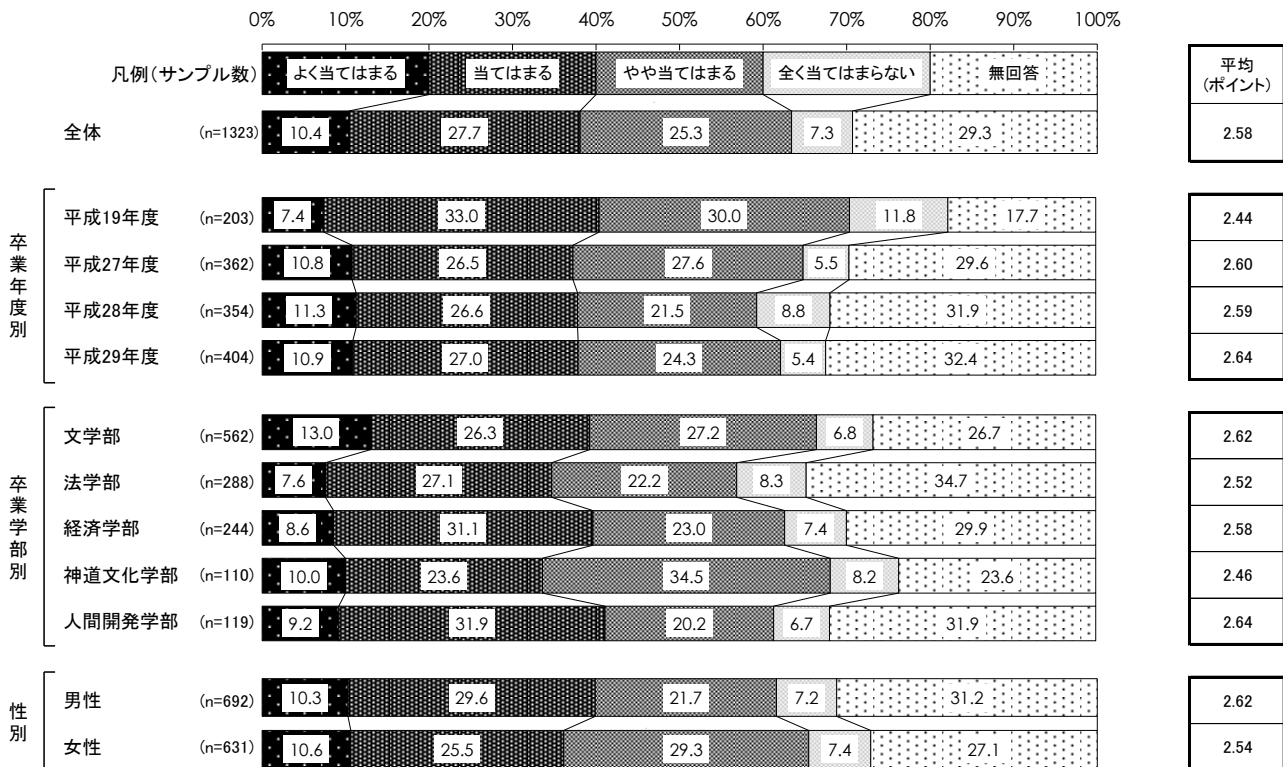
図表 2-132 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる (SA)

構成比

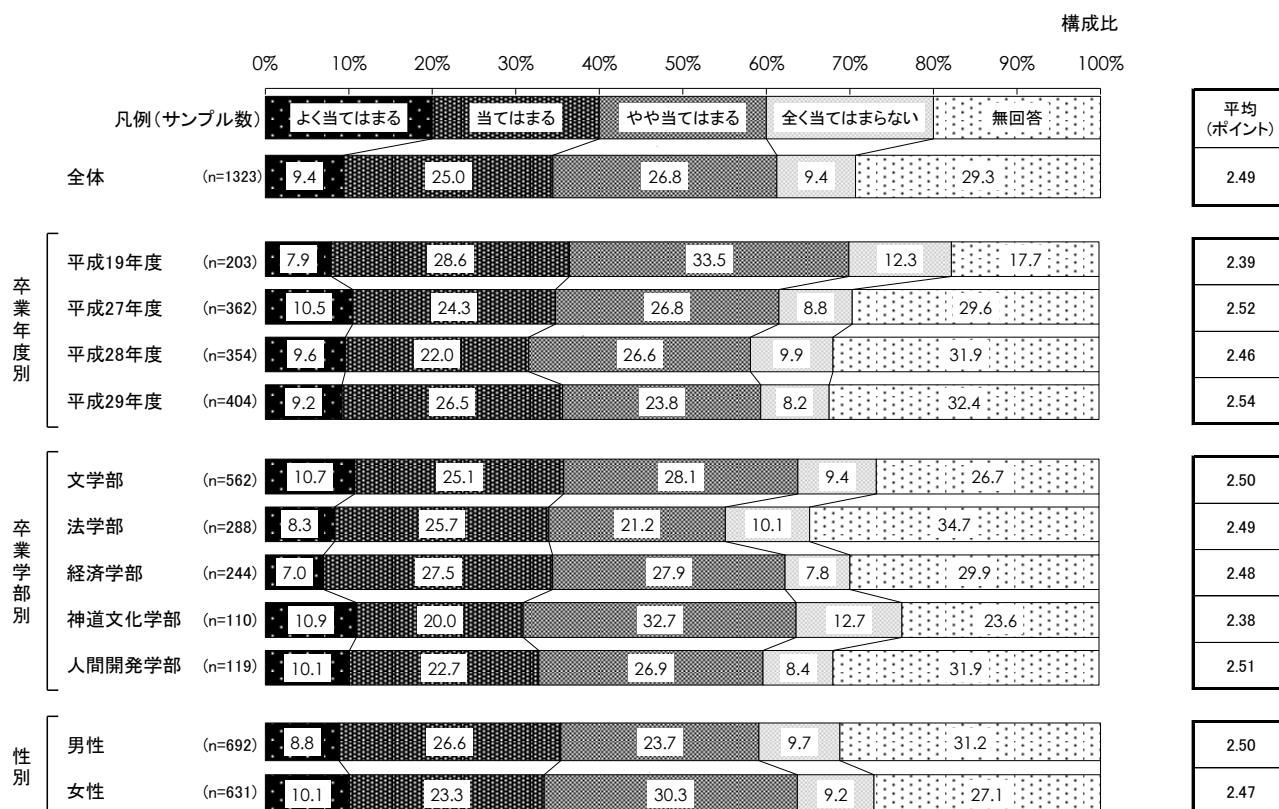


図表 2-133 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる (SA)

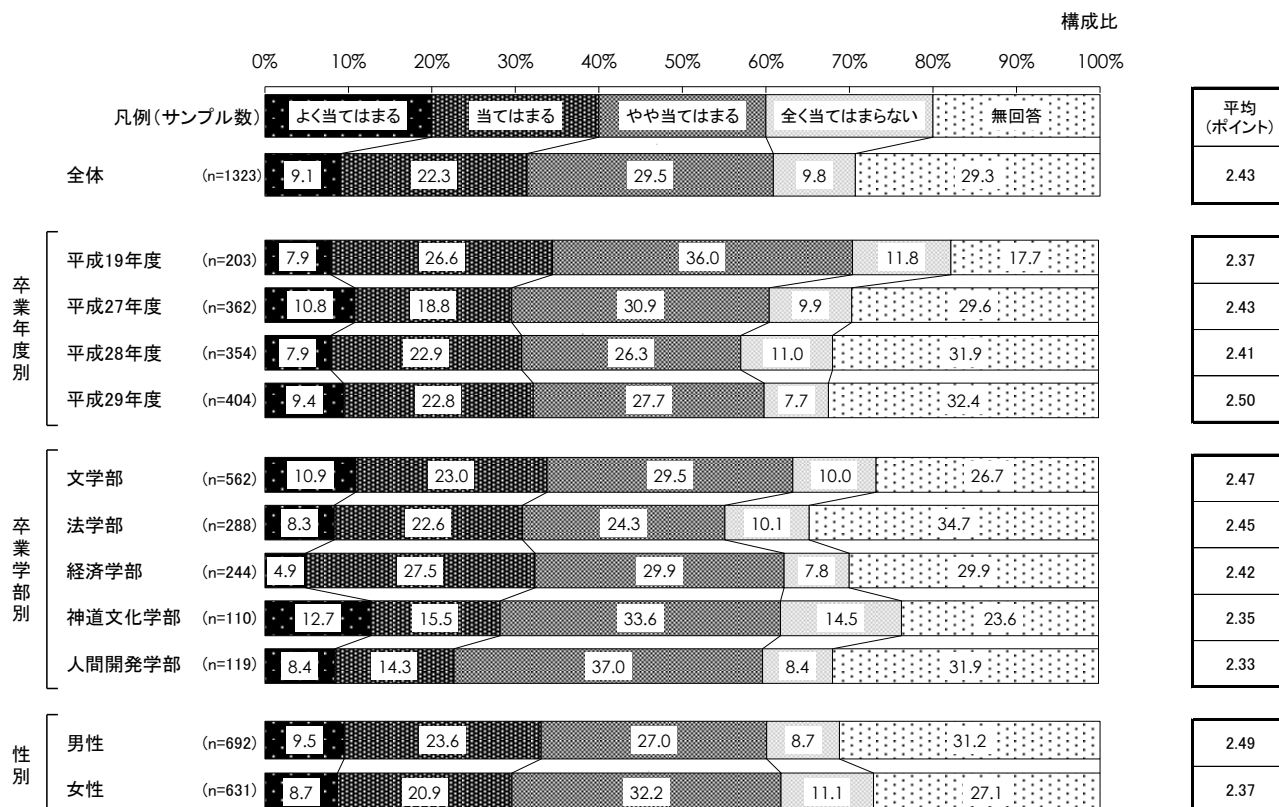
構成比



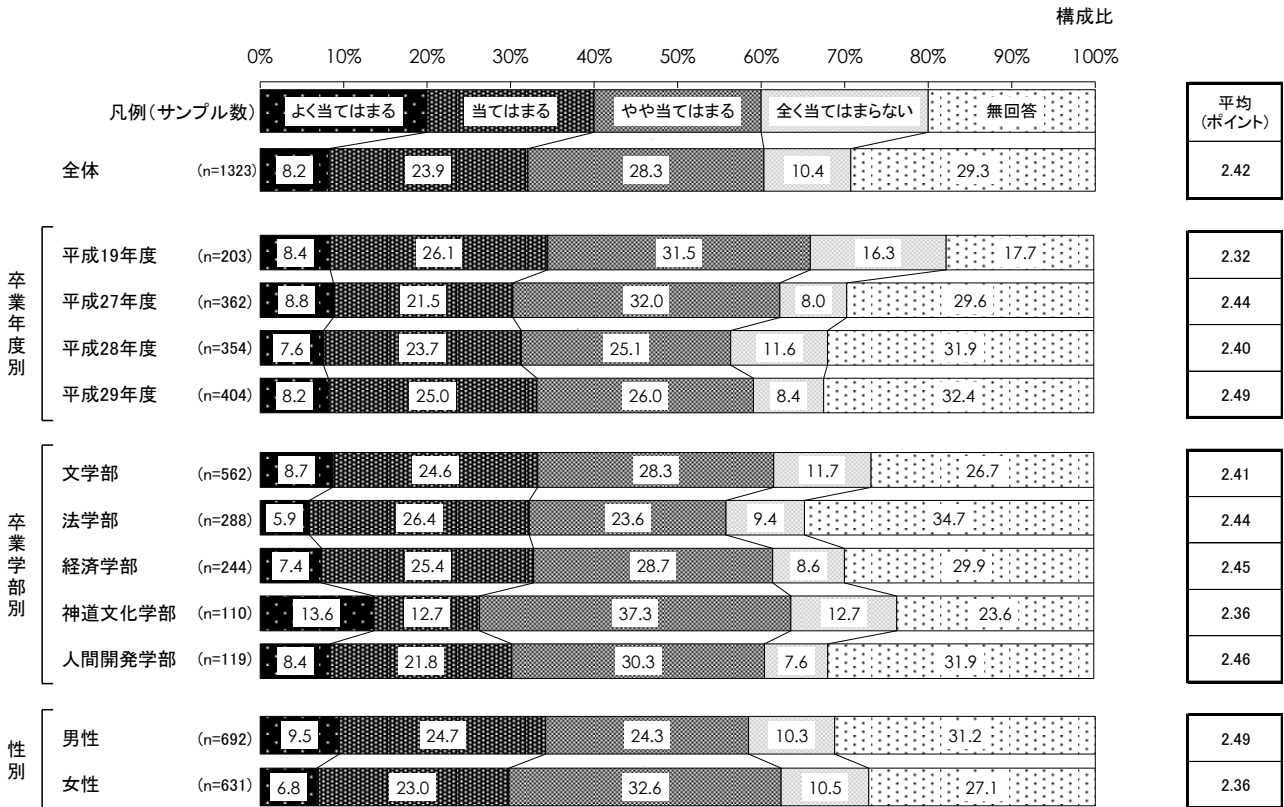
図表 2-134 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる (SA)



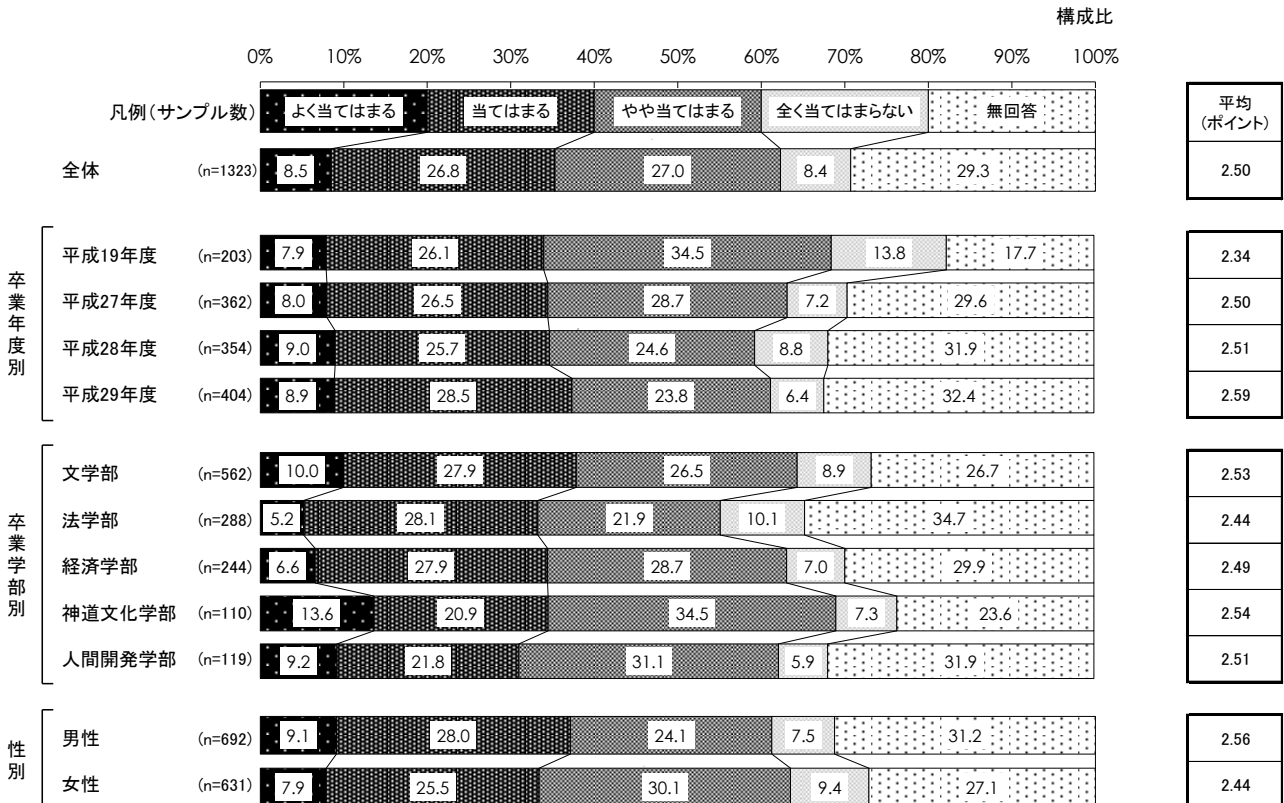
図表 2-135 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる (SA)



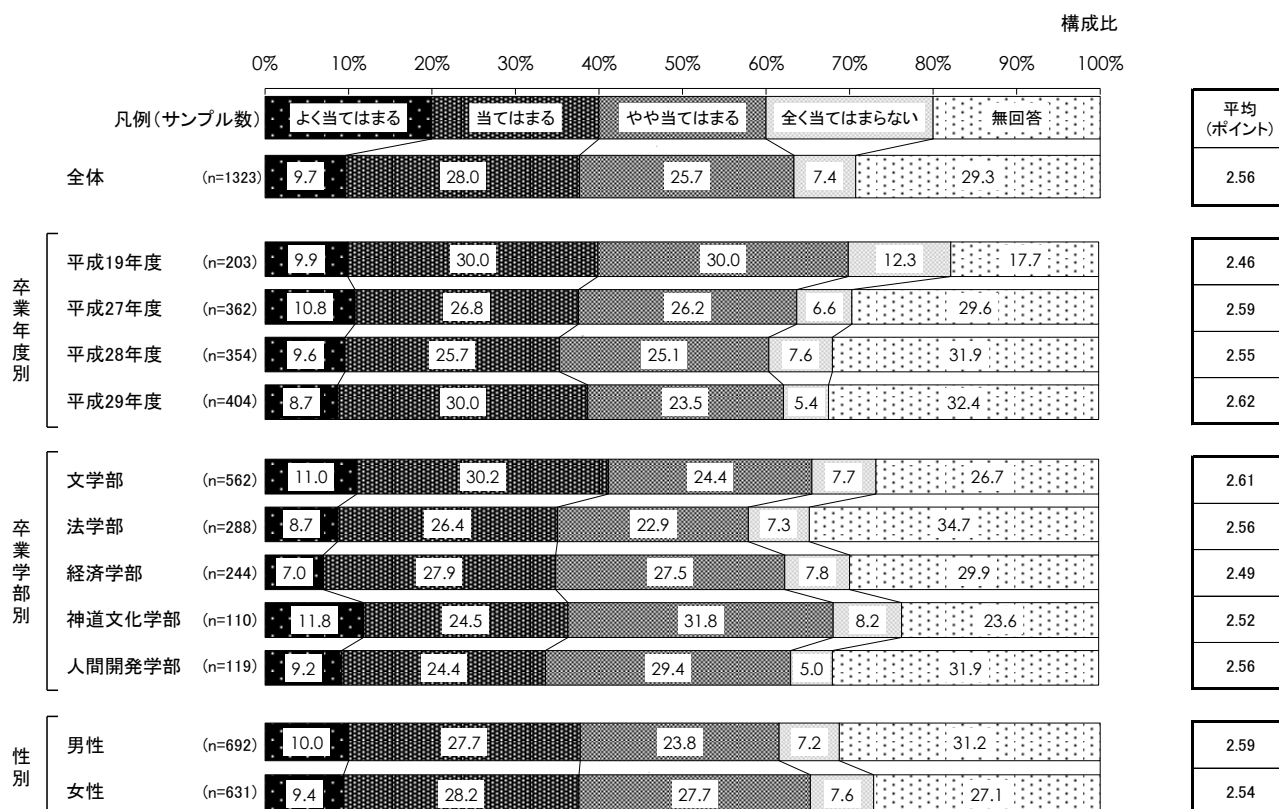
図表 2-136 問題解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる (S)



図表 2-137 問題解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる (SA)



図表 2-138 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる (SA)



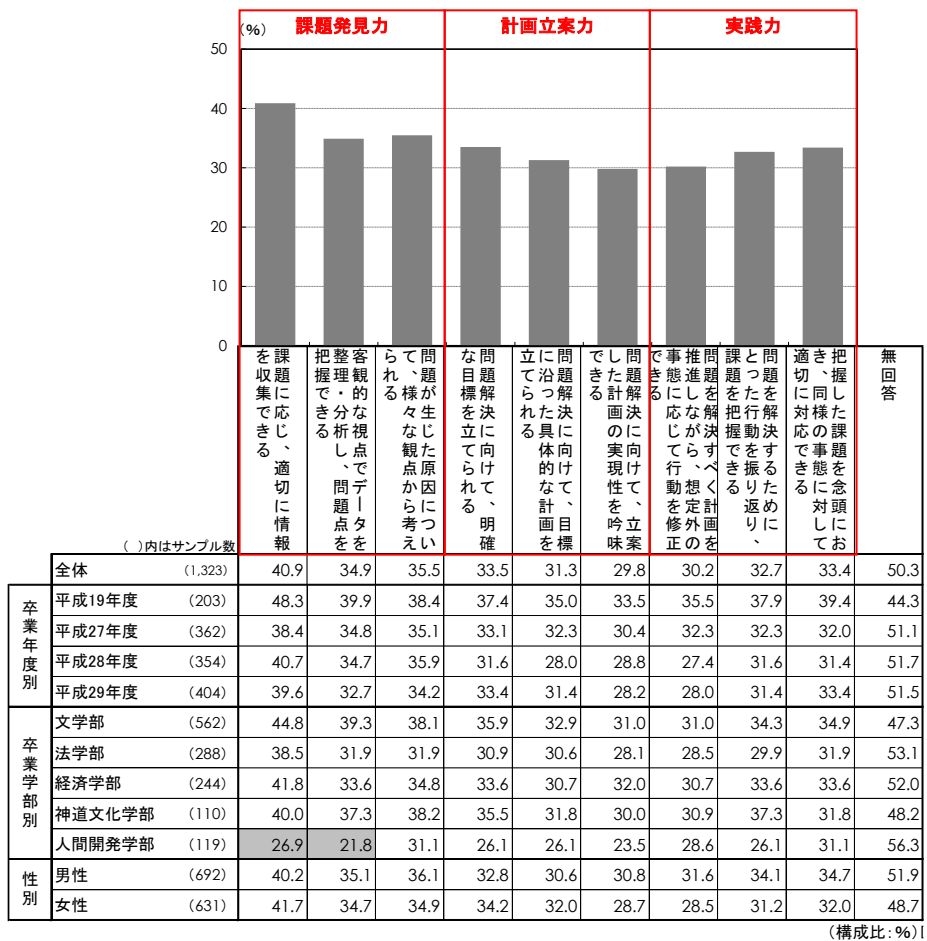
11. 「課題に対する行動特性」のうち、「学生時代に身についた能力で今役立っている能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

学生時代に身についた課題に対する行動特性のうち、今役立っている能力は、「課題に応じ、適切に情報を収集できる力」が40.9%で最も高く、次いで「問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる力」が35.5%となっており、課題発見力などが身についたと回答した人が多い。

卒業年度別、性別にみても、同様である。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「課題に応じ、適切に情報を収集できる力」と「客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる力」が他の学部 비해低くなっている。

図表2-139 課題に対する行動特性のうち、今役立っている能力 (MA)



0 .. 全体より10ポイント以上大きい
0 .. 全体より10ポイント以上小さい

(構成比:%)

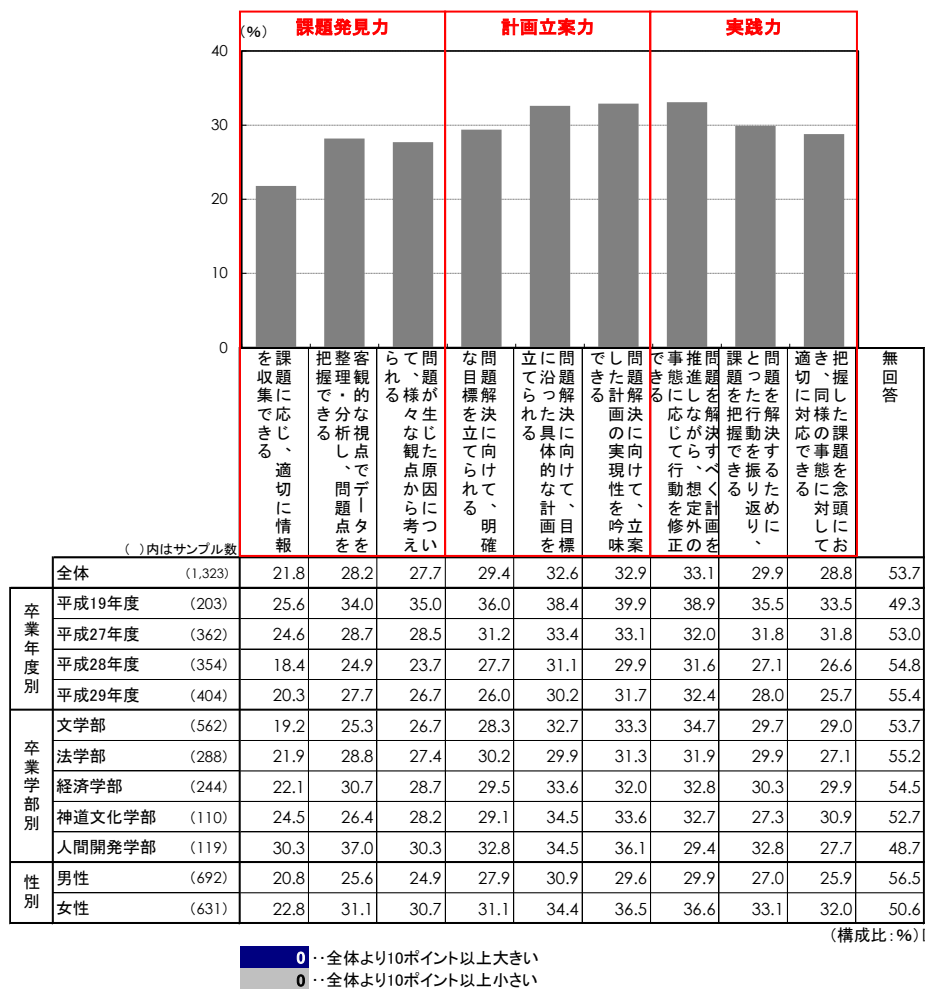
12. 「課題に対する行動特性」のうち、「学生時代に身につけておけばよかったと思う能力」を選択してください。(答えはいくつでも)

学生時代に身につけておけばよかったと思う能力は、「問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の自体に応じて行動を修正できる力」が最も高く 33.1%となっている。次いで「問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる力」が 32.9%、「問題解決に向けて目標に沿った具体的な計画を立てられる力」が 32.6%などの順となっており、実践力や計画立案力を望む声が多い。

卒業年度別、性別にみても、同様である。

卒業学部別にみると、人間開発学部は「客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる力」が 37.0%と他の学部より高くなっている。

図表 2-140 課題に対する行動特性のうち、
学生時代に身につけておけばよかったと思う能力 (MA)



13. 学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品をお書きください。

学生時代に印象に残った作家や作品について、601人より回答があった。

図表2-141 学生時代に読んだ本について、最も印象に残っている作家や作品（FA）

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
人名	日本文学	有吉佐和子	平成19年度	文学部	33歳	女性
人名	日本文学	柳田國男	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	柳田國生	平成19年度	文学部	33歳	女性
人名	日本文学	野坂昭如	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	日本文学	北方謙三	平成19年度	法学部	33歳	男性
人名	日本文学	福島 肇／司馬遼太郎	平成28年度	経済学部	26歳	男性
人名	日本文学	武田泰淳	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	日本文学	二葉亭四迷	平成29年度	文学部	24歳	男性
人名	日本文学	二葉亭四迷	平成29年度	文学部	23歳	男性
人名	日本文学	藤井由紀子	平成27年度	文学部	25歳	男性
人名	日本文学	筒井清忠	平成28年度	法学部	24歳	男性
人名	日本文学	田辺誠子	平成29年度	文学部	23歳	女性
人名	日本文学	長野まゆみ	平成19年度	文学部	33歳	女性
人名	日本文学	中島敦	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
人名	日本文学	谷崎潤一郎	平成19年度	神道文化学部	32歳	女性
人名	日本文学	谷崎潤一郎	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	日本文学	谷崎潤一郎	平成27年度	文学部	26歳	男性
人名	日本文学	太宰治	平成19年度	経済学部	32歳	男性
人名	日本文学	太宰治	平成27年度	文学部	23歳	女性
人名	日本文学	太宰治	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	太宰治	平成28年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	太宰治	平成28年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	太宰治	平成29年度	法学部	22歳	女性
人名	日本文学	太宰治	平成29年度	経済学部	24歳	男性
人名	日本文学	折口信夫	平成28年度	文学部	23歳	女性
人名	日本文学	折口信夫	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	男性
人名	日本文学	折口信夫	平成29年度	文学部	22歳	男性
人名	日本文学	赤川次郎	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
人名	日本文学	星野新一	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	星 新一	平成28年度	文学部	23歳	男性
人名	日本文学	森敦	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	日本文学	色川武大	平成27年度	法学部	24歳	男性
人名	日本文学	小林秀雄	平成28年度	文学部	25歳	女性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成19年度	文学部	33歳	男性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成19年度	法学部	32歳	女性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成28年度	文学部	25歳	男性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成29年度	法学部	23歳	男性
人名	日本文学	司馬遼太郎	平成29年度	文学部	26歳	男性
人名	日本文学	三島由紀夫	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
人名	日本文学	三島由紀夫	平成28年度	法学部	24歳	男性
人名	日本文学	江戸川乱歩、太宰治	平成28年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	江戸川乱歩	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
人名	日本文学	江戸川乱歩	平成29年度	文学部	24歳	女性
人名	日本文学	宮沢賢治/ハセガワケイスケ/七月隆文	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	日本文学	宮沢賢治	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	日本文学	吉田松陰全集	平成29年度	文学部	24歳	男性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
人名	日本文学	吉村昭	平成28年度	文学部	23歳	女性
人名	日本文学	梶井基次郎	平成27年度	文学部	22歳	女性
人名	日本文学	芥川龍之介	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	日本文学	夏目漱石	平成19年度	文学部	32歳	男性
人名	日本文学	夏目漱石	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	日本文学	岡倉天心	平成19年度	文学部	33歳	男性
人名	日本文学	円地文子	平成27年度	文学部	26歳	女性
人名	日本文学	永井路子	平成19年度	法学部	33歳	女性
人名	日本文学	安部公房	平成28年度	経済学部	23歳	女性
人名	現代文学	湊澤龍彦、町田康、村上春樹、説話全般	平成19年度	文学部	32歳	男性
人名	現代文学	冲方丁	平成27年度	経済学部	25歳	女性
人名	現代文学	冲方丁	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	現代文学	有川浩	平成19年度	文学部	33歳	女性
人名	現代文学	有川浩	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
人名	現代文学	柳美里	平成29年度	文学部	23歳	男性
人名	現代文学	湊かなえ	平成27年度	法学部	24歳	女性
人名	現代文学	湊かなえ	平成28年度	人間開発学部	23歳	男性
人名	現代文学	湊かなえ	平成28年度	法学部	24歳	女性
人名	現代文学	湊かなえ	平成28年度	経済学部	24歳	女性
人名	現代文学	湊かなえ	平成29年度	法学部	22歳	女性
人名	現代文学	豊島ミホ	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成19年度	経済学部	33歳	男性
人名	現代文学	東野圭吾	平成27年度	法学部	24歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成28年度	文学部	24歳	男性
人名	現代文学	東野圭吾	平成29年度	法学部	25歳	女性
人名	現代文学	東野圭吾	平成29年度	法学部	22歳	男性
人名	現代文学	島本理生	平成27年度	法学部	25歳	女性
人名	現代文学	辻村深月	平成29年度	文学部	23歳	女性
人名	現代文学	朝井リョウ	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
人名	現代文学	村上春樹	平成19年度	経済学部	34歳	女性
人名	現代文学	村上春樹	平成19年度	法学部	34歳	男性
人名	現代文学	村上春樹	平成19年度	法学部	33歳	男性
人名	現代文学	村上春樹	平成19年度	文学部	33歳	女性
人名	現代文学	村上春樹	平成29年度	経済学部	31歳	男性
人名	現代文学	村上春樹	平成29年度	経済学部	22歳	男性
人名	現代文学	村上 龍	平成27年度	法学部	24歳	男性
人名	現代文学	村山早紀	平成28年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	石田衣良	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	現代文学	石原千秋	平成19年度	文学部	34歳	男性
人名	現代文学	真保裕一	平成28年度	法学部	24歳	女性
人名	日本文学	森博嗣	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	森博嗣	平成29年度	文学部	24歳	女性
人名	現代文学	森見登美彦	平成27年度	文学部	24歳	男性
人名	現代文学	森見登美彦	平成28年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	森見登美彦	平成28年度	文学部	25歳	男性
人名	現代文学	小野不由美作品	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	小野不由美	平成27年度	法学部	27歳	男性
人名	現代文学	小川洋子	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	現代文学	重松清	平成28年度	経済学部	24歳	男性
人名	現代文学	住野よる	平成29年度	経済学部	23歳	男性
人名	現代文学	山田詠美	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	現代文学	山崎ナオコーラ	平成19年度	法学部	30歳	女性
人名	現代文学	山際淳二	平成19年度	法学部	33歳	男性
人名	現代文学	三浦しをん	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	三浦しをん	平成29年度	経済学部	23歳	男性
人名	現代文学	坂木司	平成27年度	法学部	23歳	男性
人名	現代文学	佐藤正午	平成19年度	法学部	34歳	男性
人名	現代文学	江國香織	平成27年度	法学部	25歳	女性
人名	現代文学	江國香織	平成27年度	文学部	32歳	女性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
人名	現代文学	京極夏彦	平成29年度	法学部	27歳	男性
人名	現代文学	夏川草介	平成29年度	文学部	22歳	男性
人名	現代文学	恩田陸	平成27年度	経済学部	24歳	男性
人名	現代文学	横山秀夫	平成27年度	法学部	25歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成29年度	文学部	25歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成27年度	法学部	24歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成27年度	経済学部	24歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成27年度	法学部	24歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成28年度	文学部	24歳	女性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成28年度	法学部	23歳	女性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成28年度	経済学部	24歳	男性
人名	現代文学	伊坂幸太郎	平成29年度	法学部	22歳	男性
人名	現代文学	綾辻行人	平成28年度	文学部	25歳	女性
人名	現代文学	ニールドナルドウォルシュ、村上龍 村上由佳	平成19年度	経済学部	34歳	男性
人名	古典文学	小町谷照彦	平成27年度	文学部	25歳	男性
人名	海外文学	魯迅	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	海外文学	魯迅	平成29年度	法学部	23歳	男性
人名	海外文学	太平廣記	平成27年度	文学部	27歳	女性
人名	海外文学	安達正勝	平成19年度	神道文化学部	32歳	男性
人名	海外文学	フィリップ・K・ディック	平成29年度	文学部	23歳	女性
人名	海外文学	ジョージオーウェル	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
人名	海外文学	カート=ヴォネガット	平成19年度	文学部	32歳	男性
人名	エッセイ・随筆	小泉八雲	平成27年度	神道文化学部	24歳	男性
人名	エッセイ・随筆	寺山修司	平成29年度	文学部	24歳	女性
人名	エッセイ・随筆	茨木のり子さん	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	エッセイ・随筆	茨木のり子	平成28年度	文学部	25歳	女性
人名	哲学・思想	和辻哲郎	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
人名	哲学・思想	老子	平成28年度	文学部	23歳	男性
人名	哲学・思想	林 竹二	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
人名	哲学・思想	二木謙一氏	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
人名	哲学・思想	中島義道	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	哲学・思想	高橋昌一郎先生の本を	平成29年度	法学部	23歳	女性
人名	哲学・思想	高橋昌一郎	平成29年度	法学部	22歳	女性
人名	哲学・思想	高橋昌一郎	平成29年度	経済学部	22歳	男性
人名	哲学・思想	永井均	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	哲学・思想	ロラン・バルト、シオラン ショーペンハウアー	平成29年度	文学部	22歳	男性
人名	哲学・思想	ルソー	平成28年度	人間開発学部	25歳	女性
人名	哲学・思想	マックス・ウェーバー	平成29年度	文学部	29歳	男性
人名	哲学・思想	ポパー	平成27年度	神道文化学部	24歳	男性
人名	哲学・思想	ショーペンハウアー	平成27年度	法学部	25歳	男性
人名	哲学・思想	ジャン=ジャック・ルソー	平成29年度	法学部	24歳	女性
人名	哲学・思想	サルトル	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	哲学・思想	ヴィクトールフランクル	平成29年度	法学部	22歳	男性
人名	哲学・思想	Guthrie, W.K.C.	平成28年度	文学部	27歳	女性
人名	社会・思想	養老孟司	平成19年度	法学部	34歳	男性
人名	社会・思想	本田一成	平成27年度	経済学部	24歳	男性
人名	社会・思想	北一輝	平成28年度	文学部	24歳	男性
人名	社会・思想	内田樹	平成27年度	文学部	25歳	男性
人名	社会・思想	坂口安吾 養老孟司 など	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
人名	社会・思想	ジョルジュ・バタイユ	平成27年度	文学部	26歳	女性
人名	歴史・時代	矢部健太郎	平成29年度	文学部	23歳	女性
人名	歴史・時代	網野善彦	平成28年度	文学部	23歳	女性
人名	歴史・時代	青山忠正氏	平成29年度	文学部	23歳	男性
人名	歴史・時代	黒田日出男	平成28年度	文学部	23歳	女性
人名	歴史・時代	屈原	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	歴史・時代	吉村明・作/ 漂流	平成19年度	文学部	34歳	男性
人名	歴史・時代	永井三明	平成27年度	文学部	25歳	女性
人名	歴史・時代	井沢元彦	平成19年度	法学部	32歳	男性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
人名	歴史・時代	伊藤隆	平成27年度	文学部	24歳	男性
人名	歴史・時代	シリーズ 遺跡を学ぶ	平成29年度	経済学部	24歳	男性
人名	民俗	柳田園雄	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
人名	民俗	植田今日子	平成29年度	文学部	35歳以上	女性
人名	民俗	小松和彦	平成27年度	神道文化学部	28歳	女性
人名	民俗	宮田登	平成19年度	文学部	32歳	女性
人名	政治	水谷三公	平成19年度	法学部	32歳	男性
人名	経済	池上彰	平成29年度	法学部	23歳	女性
人名	経済	池上彰	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
人名	経済	池上彰	平成29年度	法学部	23歳	男性
人名	経営	堀江貴文	平成28年度	法学部	24歳	男性
人名	経営	松下幸之助	平成29年度	経済学部	22歳	女性
人名	経営	山田真哉	平成19年度	経済学部	33歳	男性
人名	経営	坂本光司	平成29年度	経済学部	24歳	男性
人名	経営	鍵山秀三郎	平成29年度	文学部	22歳	男性
人名	法律	芦部信喜	平成28年度	法学部	24歳	男性
人名	教育	田村学	平成28年度	人間開発学部	24歳	女性
人名	教育	大村はま	平成29年度	文学部	22歳	女性
人名	教育	千葉保	平成27年度	文学部	24歳	男性
人名	教育	吉野敬介	平成29年度	文学部	22歳	男性
人名	自己啓発	桜井章一	平成28年度	経済学部	25歳	女性
人名	宗教	石井研士	平成19年度	神道文化学部	32歳	女性
人名	宗教	五来重	平成29年度	神道文化学部	23歳	男性
人名	宗教	岡田荘司	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
人名	宗教	井上順孝	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
人名	宗教	井上順孝	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	女性
人名	宗教	井上順孝	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
人名	美術・芸術・音楽	藤澤紫	平成29年度	文学部	23歳	女性
人名	美術・芸術・音楽	谷川渥	平成28年度	文学部	25歳	女性
人名	美術・芸術・音楽	オデュロイ・ルドン	平成19年度	文学部	33歳	女性
人名	スポーツ	木村 拓也(巨人)	平成27年度	経済学部	25歳	男性
人名	その他	尾田栄一郎	平成28年度	文学部	24歳	男性
人名	その他	前田克巳	平成27年度	文学部	24歳	女性
人名	その他	千田嘉博	平成29年度	文学部	26歳	男性
人名	その他	小林達雄	平成29年度	文学部	24歳	男性
人名	その他	河合隼雄	平成29年度	文学部	23歳	女性
人名	その他	伊藤計劃	平成29年度	文学部	24歳	男性
人名	その他	レオ=レオニ	平成28年度	人間開発学部	25歳	女性
人名	その他	ジョナサン・カラー	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
人名	その他	さとうみつろう	平成28年度	経済学部	23歳	女性
人名	その他	さだまさし	平成27年度	経済学部	26歳	男性
人名	その他	六戸部よしか	平成29年度	文学部	24歳	男性
人名	その他	有島ヒロ	平成27年度	文学部	23歳	女性
人名	その他	小池久子先生の著書	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	日本文学	驟雨	平成27年度	文学部	26歳	女性
題名	日本文学	竜馬がゆく	平成19年度	経済学部	34歳	男性
題名	日本文学	豊穡の海	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	日本文学	風立ちぬ 美しい村	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	日本文学	武者小路実篤 友情	平成27年度	文学部	25歳	男性
題名	日本文学	八日目の蝉	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	日本文学	破戒	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	日本文学	燃えよ剣	平成19年度	経済学部	32歳	男性
題名	日本文学	二十四の瞳	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
題名	日本文学	二十四の瞳	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	日本文学	島崎藤村『破戒』	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	日本文学	兎の眼	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	日本文学	田山花袋『重右衛門の最後』	平成28年度	文学部	23歳	男性
題名	日本文学	田山花袋 布団	平成19年度	文学部	33歳	男性
題名	日本文学	田山花袋 蒲団	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
題名	日本文学	蜘蛛の糸	平成29年度	経済学部	23歳	女性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	日本文学	太宰治 人間失格	平成19年度	経済学部	34歳	女性
題名	日本文学	太宰治 女生徒	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	日本文学	泉鏡花	平成28年度	文学部	22歳	女性
題名	日本文学	泉鏡花	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	日本文学	雪の鉄樹	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	日本文学	折口信夫の死者の書	平成29年度	神道文化学部	23歳	女性
題名	日本文学	折口信夫『死者の書』	平成27年度	文学部	27歳	男性
題名	日本文学	折口信夫『古代研究』シリーズ	平成28年度	文学部	28歳	男性
題名	日本文学	石川淳 焼け跡のイエス	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	日本文学	人間失格	平成19年度	経済学部	33歳	男性
題名	日本文学	人間失格	平成27年度	経済学部	25歳	男性
題名	日本文学	人間失格	平成28年度	経済学部	25歳	男性
題名	日本文学	人間失格	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
題名	日本文学	森敦「月山」	平成28年度	文学部	25歳	女性
題名	日本文学	終末のフル(伊坂幸太郎)、人間失格(太宰治)、罪と罰(ドストエフスキー)	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	日本文学	室生犀星『蜜のあわれ』	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	日本文学	死者の書	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	日本文学	司馬遼太郎 坂の上の雲	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	日本文学	司馬遼太郎	平成19年度	経済学部	33歳	男性
題名	日本文学	司馬遷 史記	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	日本文学	司馬遷 史記	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	日本文学	三島由紀夫『豊饒の海』	平成19年度	文学部	34歳	女性
題名	日本文学	三島由紀夫 春の雪	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	日本文学	三島由紀夫	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	日本文学	三四郎	平成28年度	法学部	24歳	男性
題名	日本文学	坂の上の雲(司馬遼太郎)	平成19年度	文学部	34歳	男性
題名	日本文学	国盗り物語	平成19年度	経済学部	34歳	男性
題名	日本文学	高村光太郎『道程』	平成28年度	神道文化学部	23歳	女性
題名	日本文学	銀河鉄道の夜	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
題名	日本文学	宮沢賢治「水仙月の四日」	平成29年度	文学部	26歳	男性
題名	日本文学	宮沢賢治	平成28年度	人間開発学部	23歳	男性
題名	日本文学	蒲団	平成28年度	文学部	22歳	女性
題名	日本文学	芥川龍之介 蜜柑	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	日本文学	芥川龍之介	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	日本文学	夏目漱石道草	平成27年度	文学部	26歳	男性
題名	日本文学	夏目漱石『三四郎』	平成29年度	文学部	25歳	女性
題名	日本文学	塩狩峠	平成19年度	文学部	33歳	男性
題名	日本文学	塩狩峠	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
題名	日本文学	遠野物語	平成27年度	文学部	35歳以上	男性
題名	日本文学	遠野物語	平成28年度	経済学部	26歳	男性
題名	日本文学	遠藤周作の『沈黙』	平成27年度	文学部	26歳	男性
題名	日本文学	遠藤周作『深い河』	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	日本文学	永遠のゼロ	平成27年度	法学部	24歳	女性
題名	日本文学	永遠の0	平成28年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	日本文学	安土住還記	平成28年度	人間開発学部	22歳	男性
題名	日本文学	たけくらべ	平成19年度	法学部	33歳	男性
題名	日本文学	『遠野物語』柳田国男	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	日本文学	『ドグラ・マグラ』夢野久作	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	現代文学	裏窓クロニクル／友桐夏	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	現代文学	梨木香歩『家守奇譚』	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	現代文学	陽気なギャングが世界を回す	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	現代文学	有頂天家族	平成28年度	文学部	25歳	女性
題名	現代文学	夢野久作「ドグラ・マグラ」	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	現代文学	風が強く吹いている	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
題名	現代文学	風が強くふいている	平成29年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	現代文学	武士道シックスティーンシリーズ	平成28年度	法学部	23歳	男性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	現代文学	藤沢数希氏 著、ぼくは愛を証明しようと思う。 一見すると恋愛について書かれた本ではあるが、そもその社会における生き方、人と接する際の戦略設計などを学び取ることができる。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	現代文学	藤原伊織『テロリストのパラソル』	平成29年度	文学部	34歳	女性
題名	現代文学	東野圭吾 虚ろな十字架	平成29年度	法学部	23歳	女性
題名	現代文学	泉鏡花『外科室』	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	現代文学	川上未映子 ヘヴン	平成28年度	法学部	24歳	男性
題名	現代文学	西尾維新	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	現代文学	図書館戦争	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	現代文学	真山仁 コラプティオ	平成28年度	経済学部	23歳	男性
題名	現代文学	深夜特急	平成27年度	法学部	27歳	男性
題名	現代文学	深夜特急	平成29年度	文学部	24歳	男性
題名	現代文学	森博嗣「スカイ・クロラ」	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	現代文学	森敦の月山 中島敦の文字禍	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	現代文学	新世界より	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
題名	現代文学	柴田よしき(著)『聖なる黑夜』	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	現代文学	桜庭一樹	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
題名	現代文学	黒い家	平成27年度	法学部	25歳	男性
題名	現代文学	告白 町田康	平成19年度	文学部	33歳	女性
題名	日本文学	君の隣をたべたい	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	現代文学	君の隣をたべたい	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	現代文学	君の隣をたべたい	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	現代文学	空港にて	平成27年度	経済学部	27歳	男性
題名	現代文学	橋本紡『九つの、物語』	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
題名	現代文学	宮部みゆきの模倣犯	平成27年度	法学部	25歳	女性
題名	現代文学	宮部みゆき ブレイブストーリー	平成19年度	文学部	34歳	男性
題名	現代文学	宮部みゆき「模倣犯」	平成28年度	文学部	23歳	男性
題名	現代文学	火花	平成28年度	法学部	24歳	女性
題名	現代文学	火花	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	現代文学	果つる底なき	平成27年度	経済学部	25歳	男性
題名	現代文学	何者	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	現代文学	恩田陸「ライオンハート」	平成19年度	文学部	31歳	女性
題名	現代文学	乙ー	平成19年度	経済学部	33歳	女性
題名	現代文学	ロケットボーイズ	平成19年度	文学部	33歳	女性
題名	現代文学	ゆきうさぎのお品書き	平成28年度	法学部	23歳	女性
題名	現代文学	また必ず会おうと誰もが言った	平成28年度	経済学部	24歳	女性
題名	現代文学	ビジネスマンの父から送る手紙	平成29年度	経済学部	23歳	男性
題名	現代文学	のぼうの城	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
題名	現代文学	ナミヤ雑貨店の奇蹟	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	現代文学	謎解きはディナーのあとで	平成29年度	法学部	24歳	男性
題名	現代文学	ジェノサイド	平成27年度	経済学部	23歳	女性
題名	現代文学	いちご同盟	平成28年度	法学部	23歳	男性
題名	現代文学	アサツテの人	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	現代文学	『バッテリー』あさのあつこ	平成19年度	経済学部	32歳	男性
題名	現代文学	『パッチワーク』嶽本野ばら	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	古典文学	平家物語	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	古典文学	藤原実資『小右記』	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	古典文学	埴中納言物語	平成27年度	文学部	23歳	女性
題名	古典文学	諸国風俗問状答	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	古典文学	更級日記	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成19年度	文学部	33歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成19年度	文学部	33歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成19年度	文学部	33歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成28年度	文学部	25歳	女性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	古典文学	源氏物語	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	古典文学	源氏物語	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	古典文学	伊曾保物語	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	古典文学	まろ、ん？	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	古典文学	『金々先生栄花夢』	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	古典文学	『宇治拾遺物語』	平成28年度	文学部	23歳	男性
題名	古典文学	義経千本桜	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	海外文学	嵐が丘	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	海外文学	卵をめぐる祖父たちの戦争	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
題名	海外文学	緋色の研究	平成28年度	法学部	23歳	女性
題名	海外文学	沈黙の春	平成29年度	経済学部	23歳	男性
題名	海外文学	蝶の舌	平成29年度	法学部	33歳	男性
題名	海外文学	中国山水詩の景観	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	海外文学	搜神記	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	海外文学	星の王子様	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	海外文学	人間の絆	平成19年度	文学部	32歳	男性
題名	海外文学	森の生活	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	海外文学	詩経、	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	海外文学	三国志	平成28年度	経済学部	23歳	女性
題名	海外文学	作者の死	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	海外文学	作者の死	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	海外文学	罪と罰	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	海外文学	月と六ペンス	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	海外文学	巨匠とマルガリータ(ミハイル・ブルガーコフ著)	平成28年度	文学部	27歳	男性
題名	海外文学	海のおくりもの	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
題名	海外文学	阿Q正伝	平成19年度	文学部	34歳	男性
題名	海外文学	ワイルドスワン	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	海外文学	ロランバルト 作者の死	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	海外文学	レミゼラブル	平成27年度	法学部	25歳	男性
題名	海外文学	マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	海外文学	ハリーポッター	平成19年度	経済学部	33歳	女性
題名	海外文学	ソフィーの世界	平成28年度	法学部	24歳	男性
題名	海外文学	ジョージ・オーウェル「1984」	平成29年度	文学部	24歳	男性
題名	海外文学	ウィリアムシェイクスピア『マクベス』	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
題名	海外文学	インドへの道	平成27年度	法学部	25歳	男性
題名	海外文学	アルケミスト 夢を旅した少年	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	海外文学	F.ブローデル『地中海』	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	海外文学	『悪魔のソナタ』	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	エッセイ・随筆	灯し続けることば 大村はま	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	エッセイ・随筆	菅江真澄遊覧記	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	エッセイ・随筆	女川一中生の句 あの日から	平成27年度	神道文化学部	33歳	男性
題名	エッセイ・随筆	言えない言葉	平成28年度	経済学部	24歳	男性
題名	エッセイ・随筆	キッチン	平成27年度	経済学部	24歳	女性
題名	エッセイ・随筆	キッチン	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	エッセイ・随筆	おくのほそ道	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
題名	エッセイ・随筆	いつか別れる。でもそれは今日ではない	平成29年度	法学部	23歳	女性
題名	エッセイ・随筆	『すこやかに おだやかに しなやかに』谷川俊太郎	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	エッセイ・随筆	「おくのほそ道」松尾芭蕉	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	哲学・思想	論語	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	哲学・思想	論語	平成28年度	文学部	23歳	男性
題名	哲学・思想	論語	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	哲学・思想	論語	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	哲学・思想	霊能一代	平成19年度	神道文化学部	32歳	男性
題名	哲学・思想	理性の限界	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	哲学・思想	犯罪の現象学	平成19年度	法学部	33歳	男性
題名	哲学・思想	東大生の論理	平成27年度	法学部	25歳	男性
題名	哲学・思想	東大生の論理	平成28年度	経済学部	25歳	男性
題名	哲学・思想	哲学系の本	平成29年度	文学部	22歳	男性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	哲学・思想	知性の限界	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	哲学・思想	知性の限界	平成28年度	文学部	25歳	女性
題名	哲学・思想	孫文革命文集	平成27年度	文学部	25歳	男性
題名	哲学・思想	全体性と無限	平成19年度	文学部	33歳	男性
題名	哲学・思想	善の研究	平成28年度	法学部	23歳	男性
題名	哲学・思想	切りとれ、あの祈る手を	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	哲学・思想	佐藤卓巳 言論統制 中公新書	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	哲学・思想	幸福論	平成27年度	経済学部	25歳	男性
題名	哲学・思想	語りえぬものを語る	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	哲学・思想	後世への最大遺物 内村鑑三	平成19年度	法学部	34歳	男性
題名	哲学・思想	君主論	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	哲学・思想	外山滋比古『思考の整理学』	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	哲学・思想	家訓集	平成28年度	法学部	24歳	女性
題名	哲学・思想	メルロ=ポンティ『眼と精神』	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	哲学・思想	ファスト&スロー	平成27年度	経済学部	24歳	男性
題名	哲学・思想	キューブラー=ロス 『死の瞬間』	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	哲学・思想	カント	平成19年度	文学部	34歳	男性
題名	哲学・思想	7つの習慣	平成28年度	法学部	26歳	男性
題名	哲学・思想	『荘子』	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	哲学・思想	『禅の研究』西田幾多郎	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
題名	哲学・思想	『学問のすすめ』福沢諭吉	平成19年度	文学部	32歳	男性
題名	哲学・思想	『ソクラテスの弁明』プラトン	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	社会・思想	本多勝一『日本語の作文技術』	平成19年度	文学部	33歳	男性
題名	社会・思想	難民高校生	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
題名	社会・思想	刀と日本人	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	社会・思想	堤未果『貧困大国アメリカ』	平成28年度	法学部	23歳	男性
題名	社会・思想	誕生日を知らない女の子	平成29年度	人間開発学部	24歳	女性
題名	社会・思想	増田寛也 地方消滅	平成29年度	経済学部	23歳	男性
題名	社会・思想	収容所(ラーゲリ)から来た遺書	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	社会・思想	死を招いた保育	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	社会・思想	菊と刀	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	社会・思想	菊と刀	平成29年度	神道文化学部	25歳	男性
題名	社会・思想	庵功雄『やさしい日本語 多文化共生社会へ』	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	社会・思想	サスティナブルシティニューヨーク持続可能な社会へ	平成27年度	法学部	26歳	男性
題名	社会・思想	これからの「正義」の話をしよう	平成27年度	法学部	23歳	男性
題名	社会・思想	「読むための理論」	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	社会・思想	「構造と力」浅田彰	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	荀子	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	歴史・時代	濫澤龍彦『高丘親王航海記』	平成27年度	文学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	國學の子我ら征かむ	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
題名	歴史・時代	鈴木拓也『古代東北の支配構造』	平成19年度	文学部	32歳	男性
題名	歴史・時代	陸軍人事	平成27年度	経済学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	風神雷神	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	歴史・時代	蕪山代官江川氏の研究	平成27年度	文学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	日本靈異記	平成27年度	神道文化学部	24歳	女性
題名	歴史・時代	日本史の謎は「地形」で解ける	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	歴史・時代	藤沢衛彦 日本傳説研究	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	歴史・時代	天理村十年史	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	茶の世界史	平成28年度	法学部	23歳	男性
題名	歴史・時代	大津留厚『ハブスブルクの実験』	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	上杉鷹山(人物文庫)	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	松本清張 二・二六事件	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	私の日本古代史 上下	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	女性
題名	歴史・時代	死刑執行人サンソン	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	歴史・時代	砂糖の世界史	平成28年度	文学部	23歳	男性
題名	歴史・時代	佐藤長門『日本古代王権の構造と展開』	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	歴史・時代	高橋阿伝夜叉譚	平成28年度	文学部	25歳	女性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	歴史・時代	我が闘争	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	歴史・時代	ピエール・ノラ(谷川稔訳)『記憶の場』	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	歴史・時代	なぜ日本は戦争に向かったのか NHKブックス げんしけん 木尾士目	平成29年度	法学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	そうきゆうのすばる	平成19年度	文学部	34歳	女性
題名	歴史・時代	シンドラーのリスト	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	歴史・時代	アテナイの賄賂	平成28年度	文学部	25歳	男性
題名	歴史・時代	E・H・カー『歴史とは何か』	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史・時代	『蘇我氏と大和王権』加藤謙吉	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	民俗	民俗学とは何か	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	民俗	千の顔を持つ英雄	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	民俗	松田修『刺青 死生 逆光の日本美』	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	民俗	オオカミの護符	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	民俗	『海女』瀬川清子	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	政治	戦争広告代理店	平成27年度	法学部	26歳	男性
題名	政治	国際秩序	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	政治	国家の品格	平成19年度	法学部	32歳	男性
題名	政治	元老	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	政治	安倍晋三 新しい国	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	政治	中北浩爾『現代日本の政党デモクラシー』	平成28年度	法学部	25歳	男性
題名	政治	新書『満州と自民党』	平成28年度	経済学部	23歳	男性
題名	政治	リークアンユ回顧録	平成27年度	法学部	25歳	男性
題名	経済	日本経済	平成29年度	経済学部	23歳	女性
題名	経済	日本の経済	平成28年度	経済学部	23歳	男性
題名	経済	投資家がお金よりも大切にしていること	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	経済	資本論	平成19年度	経済学部	25歳	女性
題名	経済	産業構造	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	経済	国際金融規制と銀行経営	平成29年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	経済	確率思考の戦略論	平成29年度	法学部	23歳	男性
題名	経済	ゲーム理論	平成28年度	法学部	23歳	女性
題名	経済	アダムスミス『ぼくらはいかに働き、いかに生きるべきか』	平成29年度	法学部	23歳	女性
題名	経済	『人生と投資のパズル』角田 康夫	平成19年度	法学部	34歳	男性
題名	経営	木暮太一著「僕たちはいつまでこんな働き方を続けるのか」	平成27年度	経済学部	24歳	男性
題名	経営	平川克美/株式会社という病	平成27年度	経済学部	25歳	男性
題名	経営	失敗の本質	平成19年度	文学部	32歳	男性
題名	経営	自助論、経営者のためのノート、行動経済学	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	経営	トヨタ生産方式	平成19年度	経済学部	32歳	男性
題名	経営	こんな人にならお金を貸す	平成27年度	経済学部	24歳	男性
題名	経営	CSV経営戦略	平成29年度	経済学部	22歳	男性
題名	経営	『ハードワーク』エディジョーンズ	平成27年度	経済学部	24歳	男性
題名	法律	被疑者取調べ録画制度の最前線: 可視化をめぐる法と諸科学	平成28年度	法学部	23歳	男性
題名	法律	刑事訴訟法判例百選	平成27年度	法学部	24歳	女性
題名	法律	刑事訴訟法	平成28年度	法学部	23歳	女性
題名	法律	遠藤研一郎『債権総論』	平成28年度	法学部	24歳	男性
題名	法律	ニルス・クリスティ『人が人を裁くとき』	平成28年度	法学部	25歳	女性
題名	教育	田嶋一『〈少年〉と〈青年〉の近代日本—人間形成と教育の社会史—』東京大学出版会, 2016年	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	教育	教室をいきいきと	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	教育	教育とは何か	平成29年度	人間開発学部	23歳	男性
題名	教育	学習指導要領	平成27年度	人間開発学部	25歳	男性
題名	教育	学校と社会	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	教育	学級会で子どもを育てる	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
題名	教養	女性の品格	平成28年度	文学部	25歳	女性
題名	教養	『伝え方が9割』	平成29年度	文学部	27歳	男性
題名	自己啓発	野村ノート	平成28年度	経済学部	25歳	男性
題名	自己啓発	道は開ける/デールカーネギー	平成27年度	経済学部	25歳	男性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	自己啓発	心を整える 長谷部誠	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
題名	自己啓発	嫌われる勇氣	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
題名	自己啓発	嫌われる勇氣	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	自己啓発	ドラッカーのマネジメント	平成28年度	経済学部	25歳	男性
題名	自己啓発	いつやるか？今でしょ！	平成28年度	経済学部	24歳	女性
題名	自己啓発	D.カーネギー『人を動かす』	平成29年度	文学部	22歳	男性
題名	宗教	聖なるもの	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
題名	宗教	神道の死生観	平成27年度	神道文化学部	25歳	女性
題名	宗教	神道と生命倫理	平成29年度	神道文化学部	22歳	女性
題名	宗教	宗教学	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	宗教	宗教学	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	宗教	宮家準『日本の民俗宗教』	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
題名	宗教	岡田荘司編『日本神道史』	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	宗教	安蘇谷正彦先生『神道とは何か』	平成19年度	神道文化学部	34歳	男性
題名	宗教	ささえあいの神道文化 板井正斉 弘文堂	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
題名	宗教	こんなに身近な日本の神々	平成29年度	神道文化学部	26歳	男性
題名	宗教	「神道はどこへ行くのか」石井研士教授	平成29年度	神道文化学部	23歳	女性
題名	美術・芸術・音楽	風姿花伝 世阿弥	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	美術・芸術・音楽	鏡と皮膚	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	美術・芸術・音楽	鏡と皮膚	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	美術・芸術・音楽	まなざしのレッスン	平成28年度	文学部	24歳	男性
題名	美術・芸術・音楽	でも、これがアートなの？—芸術理論入門	平成27年度	経済学部	26歳	男性
題名	美術・芸術・音楽	ゴンブリッチ 美術の物語	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
題名	美術・芸術・音楽	アストル・ピアソラ『闘うタンゴ』	平成19年度	文学部	35歳以上	女性
題名	スポーツ	野村ノート	平成28年度	経済学部	26歳	男性
題名	スポーツ	スポーツ心理	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	スポーツ	サッカー界における顧客の創造	平成29年度	人間開発学部	24歳	女性
題名	歴史書	日本書紀	平成19年度	法学部	33歳	女性
題名	歴史書	日本書紀	平成28年度	文学部	23歳	女性
題名	歴史書	日本書紀	平成29年度	文学部	23歳	男性
題名	歴史書	古事記、源氏物語	平成27年度	神道文化学部	24歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成19年度	神道文化学部	35歳以上	女性
題名	歴史書	古事記	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成19年度	神道文化学部	33歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成19年度	神道文化学部	34歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成28年度	文学部	23歳	男性
題名	歴史書	古事記	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成29年度	神道文化学部	22歳	女性
題名	歴史書	古事記	平成29年度	法学部	23歳	女性
題名	歴史書	岩波文庫 古事記	平成27年度	神道文化学部	27歳	男性
題名	歴史書	『古事記』上巻	平成27年度	文学部	26歳	男性
題名	和歌	古今和歌六帖	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	和歌	古今和歌集	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	和歌	古今和歌集	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	その他	崑崙	平成29年度	文学部	24歳	女性
題名	その他	僕たちは世界を変えることができない	平成27年度	経済学部	25歳	男性
題名	その他	北斗の拳	平成29年度	法学部	23歳	男性
題名	その他	穂村弘『手紙魔マミ』	平成29年度	文学部	22歳	女性
題名	その他	風姿花伝 世阿弥	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	その他	白洲次郎『占領を背負った男』	平成29年度	法学部	22歳	男性
題名	その他	冬の喝采	平成27年度	法学部	24歳	男性
題名	その他	地域交通政策づくり入門	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	その他	大漢和	平成27年度	文学部	24歳	女性
題名	その他	水神信仰	平成29年度	神道文化学部	23歳	男性
題名	その他	進撃の巨人	平成27年度	経済学部	22歳	女性
題名	その他	神道辞典	平成28年度	文学部	22歳	男性

人名・題名	ジャンル	印象に残っている作家や作品	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
題名	その他	松本健太郎『大学生のためのドラッカー1 大学生生活編』	平成27年度	法学部	25歳	男性
題名	その他	就活の勘違い	平成27年度	経済学部	24歳	男性
題名	その他	若尾裕「親のための新しい音楽の教科書」	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
題名	その他	自動車三十二年史	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	その他	国語学概説	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
題名	その他	高野秀行／アヘン王国潜入記	平成19年度	文学部	33歳	男性
題名	その他	皇宮警察史	平成28年度	文学部	25歳	男性
題名	その他	古文の読解(小西甚一) ちくま学芸文庫	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	その他	強殖装甲ガイバー	平成19年度	法学部	32歳	男性
題名	その他	基礎科目の国語学の教科書	平成19年度	文学部	32歳	女性
題名	その他	環境問題はなぜウソがまかり通るのか	平成19年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	その他	海馬	平成28年度	経済学部	23歳	女性
題名	その他	演劇界	平成27年度	文学部	24歳	男性
題名	その他	院内学級についての作品	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	その他	パンツを脱がすまでが遠足です!	平成29年度	文学部	24歳	男性
題名	その他	エンターテイナーの条件	平成29年度	経済学部	22歳	女性
題名	その他	HUNTER×HUNTER	平成28年度	法学部	22歳	女性
題名	その他	101%のプライド	平成29年度	法学部	23歳	男性
題名	その他	『足利学校の教育史的研究』	平成28年度	文学部	24歳	女性
題名	その他	走ればいいんだ	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
題名	その他	水戸学入門	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	男性
題名	その他	祭式大成	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
題名	その他	スタインベック「怒りの葡萄」、菊村到「硫黄島」、近藤啓太郎「海人舟」など	平成28年度	文学部	25歳	男性
題名	その他	ゴドーを待ち続けて、月と6ペンス	平成29年度	文学部	23歳	女性
題名	その他	カーテンの向こう側	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
題名	その他	20歳のうちにやるべき12のこと	平成27年度	文学部	25歳	女性
題名/人名	現代文学	阿川佐和子「聞く力」小説であれば三浦しをん、石田衣良全般。	平成27年度	法学部	26歳	女性
題名/人名	経営	作品名:ゼロ、渋谷で働く社長の告白、whyから始めよう 作者:堀江真文など	平成27年度	経済学部	26歳	男性
その他	現代文学	近現代文学の井上教授の講義の中で扱った作品は全て印象に残っています。	平成27年度	文学部	25歳	女性
その他	宗教	特になし。小説は読まない。論文や専門書をよく読んでいました。そういう方面であれば、プレステップ神道学、宗教学がもっとも印象に残っている本です。	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
その他	宗教	神道事典	平成27年度	神道文化学部	25歳	女性
その他	その他	ホリエモン	平成29年度	文学部	24歳	女性
その他	その他	体育関係の本 松田恵示など	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
その他	その他	授業についていく事に必死で論文しか読んでませんでした。文学では、古典以外にも近代文学等にも触れられたのが嬉しかったです。	平成28年度	文学部	23歳	女性

問7 本校および在校生へのメッセージ

1. あなたがこれからの國學院大學に望むことを、ご自由にお書きください。

これからの國學院大學に望むことについて、532人より回答があった。主な要望は、大学のブランディング・校風に関するもの（165件）、学部・講義の内容に関するもの（106件）、学生支援に関するもの（58件）、学生育成に関するもの（38件）等の順となっている。

図表2-142 國學院大學に望むこと（F A）

■ブランディング・校風 165件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
そのままの校風で。	平成28年度	経済学部	25歳	男性
対外的、対内的なアピール力	平成27年度	神道文化学部	25歳	女性
落ち着いた学校であってほしいです。	平成19年度	文学部	32歳	男性
伝統を忘れることなく、より生徒が成長していけるように変革して行ってほしい。	平成29年度	文学部	22歳	女性
学生、特に若い人には、このまま優しく見守ってあげてください。穏やかな校風を守ってください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
長所を伸ばしてより特色のある大学になってほしい。	平成29年度	文学部	34歳	女性
多様性の時代と騒がれながらグローバルスタンダードという名の単一的価値観の圧力が日増しに強くなっている中、それに迎合せず独自の道を貫いて下さい。	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
伝統や文化をしっかりと守りつつ、時代に沿って変わるべきところは変わって欲しいです。神道や歴史を重んじるところは変わらず、学生たちに教え続けて欲しいと思います。	平成29年度	文学部	24歳	女性
真面目で落ち着いた雰囲気は國學院の良さだと思うので、引き続きその雰囲気を保ち続けてほしい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
國大生が自信を持って、出身校を言えるような学校よりなって欲しい。	平成29年度	文学部	23歳	女性
スポーツ、部活動を通じて学校の価値を上げてもらいたい。	平成19年度	経済学部	33歳	男性
現在の環境を可能な限り維持する事	平成27年度	文学部	24歳	男性
学業、スポーツ、あらゆる面で知名度の高い大学になってほしい	平成27年度	経済学部	24歳	男性
今までどおり落ち着いた雰囲気の学校でいてほしい	平成29年度	経済学部	23歳	女性
もっと知名度を上げて欲しい	平成27年度	文学部	27歳	女性
これからの世代に神道文化、ひいては日本文化に触れる機会が多く訪れてほしい。駅伝も以前から見ていて今年の結果にとっても感動したので頑張してほしい。	平成27年度	神道文化学部	28歳	女性
伝統を守り続けてほしい。	平成29年度	文学部	23歳	女性
プライドを持ってこれからも、卒業生が胸を張って「國學院大學出身です。」と言えるような大学であってほしい！	平成28年度	文学部	24歳	男性
知名度up	平成29年度	法学部	23歳	女性
卒業してからでもなお、誇れる大学であってほしい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
歴史の長さを思わせる雰囲気、人づくりを続けてほしい	平成28年度	文学部	25歳	女性
安定して高校生から選ばれる学校であってほしい	平成27年度	経済学部	24歳	男性
現状維持ということで	平成29年度	経済学部	24歳	男性
より一層の活躍と発展	平成28年度	文学部	24歳	女性
今後は、全国的な学生数の減少も考えられる中、より魅力ある大学として、長い歴史をさらに刻んで行ってほしい。	平成19年度	法学部	33歳	男性
国内外の文化の大切さをもっと積極的に訴えてほしい。せつかく第一級の資料、人材があるのだから、自分の国の文化を人々に考えさせるような訴えかけが出来るはずだ。	平成29年度	文学部	22歳	女性
伝統を守り、かつ革新的な教育。読書推奨。	平成29年度	文学部	22歳	女性
色々なところで國學院大學の名前を目にすること	平成19年度	法学部	33歳	男性
おしなべてかっこいい大学になってもらえると嬉しいです！	平成27年度	経済学部	25歳	女性
生徒獲得の為に、大学の伝統文化を控えめにすることの無きようにお願い致します。	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
関東を代表するような大学になって欲しい	平成28年度	法学部	22歳	男性
知名度の向上	平成19年度	経済学部	33歳	男性
國學院ブランドの向上	平成27年度	法学部	27歳	男性
伝統文化を継承していただきたいと思っています。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
ニッチ市場をひた走って欲しい	平成28年度	文学部	24歳	男性
「真面目」という言葉は揶揄されがちですが、「真面目な校風」は國學院大学の最大の長所だと思います。これからも益々のご発展を祈念しております。	平成19年度	法学部	34歳	男性
世界にだけでなく日本国内にも開かれた大学になってほしい	平成19年度	文学部	32歳	女性
もっと夢が与えられる大学としてのイメージを深められたら良いなと思います。	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
もう少し有名になってほしい。	平成19年度	文学部	34歳	男性
ブランド力の強化	平成27年度	文学部	24歳	男性
歴史と伝統を重んじながら時代に遅れをとらないようにする	平成19年度	文学部	32歳	女性
知名度向上	平成27年度	法学部	24歳	男性
伝統を絶やさず、これからの社会に向けて進化し続けてほしい。	平成28年度	文学部	24歳	女性
今のままでいいと思う。	平成29年度	経済学部	22歳	女性
有名難関私大になること。	平成19年度	法学部	33歳	男性
より、清く正しい國學院にしてほしい	平成29年度	経済学部	23歳	男性
卒業生が誇れる学校	平成19年度	法学部	32歳	女性
国文学と言えは國學院と言われ続けること。	平成28年度	文学部	23歳	女性
大きくなりすぎない	平成19年度	法学部	33歳	男性
良い大学なのに、アピール力がたりない。全体的に暗すぎる。あんな良い場所にあるのに埋もれていてもったいない！	平成19年度	文学部	33歳	女性
ブランド校になってほしいです！就職サポートが本当にとても充実していると思うので、今後も力を入れ続けていただきたいです。	平成29年度	経済学部	22歳	女性
数多の大学の中であえて「國學院大學で学ぶ意味」というものを学生に与えられる環境。	平成27年度	経済学部	24歳	男性

■ブランディング・校風（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
今までの伝統を守って下さい。	平成19年度	文学部	34歳	男性
大学に対して厳しい状況になる中、独特の存在感を保って生き残って欲しい。あと強いといえば出身大学名を出しても恥ずかしくないような大学になって欲しい。	平成29年度	文学部	23歳	女性
ますますの発展と繁栄。	平成29年度	文学部	22歳	女性
スポーツに関しても勉学に関しても私は本当に好きな母校です。ただやはり社会に出て國學院と言った時、割と知名度が低いこと、それなりな偏差値があるのにあまり評価されないこと(笑)どうしても六大学の陰に隠れてしまうのが、こんなに魅力のある学校なのにもらったくないし、悔しいです。	平成27年度	経済学部	24歳	女性
とても魅力的な大学なのにPRが下手だと思います。しかし、青山学院大学のように安売りしてほくはないので今のままで良いような気もしますが、せつかくの立地や施設、教授方がいらっしゃるのですからもっと世の中にアピールしてほしいです。	平成28年度	経済学部	24歳	女性
國學院が持っている成果をもっと社会に放出して欲しい。	平成19年度	経済学部	33歳	男性
古き良き学び舎であってほしい。	平成29年度	文学部	23歳	女性
國の基を探究することを続けて欲しい。	平成27年度	文学部	26歳	男性
渋谷という地域で宗教および歴史研究に長けた本学の特徴を生かして欲しい。	平成29年度	神道文化学部	23歳	男性
不祥事がないこと。ネームバリューの維持向上。	平成27年度	経済学部	25歳	男性
今の校風を守っていただきたい。	平成29年度	文学部	22歳	男性
情報発信	平成19年度	神道文化学部	32歳	男性
知名度アップ	平成27年度	経済学部	25歳	男性
歴史といえば國學院というように、これからもその伝統とブランド価値が落ちないような施策を望みます。	平成19年度	文学部	32歳	男性
母校をもっと誇らしく思えるような、活動や挑戦をしてほしい。	平成27年度	神道文化学部	24歳	女性
もっと偏差値を上げて卒業したことを誇れる学校でいてほしい。	平成19年度	文学部	33歳	女性
伝統文化を大切にしたい	平成27年度	神道文化学部	24歳	男性
自らの特性を大切にしたい	平成28年度	文学部	24歳	女性
もっと自分を出していくこと	平成28年度	文学部	24歳	女性
伝統のある大学なので少子化でも潰れないでほしい	平成28年度	法学部	24歳	男性
知名度	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
偏差値を上げブランド力を高めて欲しいです	平成29年度	法学部	22歳	男性
落ち着きがあり、校風も上品で、とても良い母校だと思うので、同じ渋谷の青山学院大学に負けないくらい渋谷の大学として知名度を上げて欲しい。	平成28年度	法学部	24歳	女性
学力向上、知名度向上	平成27年度	経済学部	25歳	女性
文系総合大学として、ブランド力を強め偏差値を挙げて侮られないようにしてほしい。国士館大学と間違われるのが恥ずかしい。	平成19年度	法学部	33歳	女性
これからも伝統ある大学であってほしいです	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
渋谷にキャンパスがあるという強みを活かして、地域と共に歩める大学であってほしいです。	平成29年度	法学部	27歳	男性
博物館、伝統など、良いものを沢山持っているの、そういう部分はこれまでのように大切にしたいです。	平成28年度	文学部	27歳	女性
真面目に勉強したい学生が、学問に集中できる環境であって欲しいです。	平成29年度	経済学部	29歳	男性
全国的な知名度を上げる	平成29年度	法学部	22歳	男性
大学偏差値の向上、教員就職率の向上	平成29年度	法学部	22歳	男性
校風を残してもらいたい	平成28年度	法学部	25歳	男性
就職活動の際、市場に出回らない求人を出して欲しい。教職センターの職員への態度の改善。國學院を他の大学に並べられないブランディング。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
偏差値だけでは無い独自の魅力	平成19年度	経済学部	32歳	男性
生徒が目指したいと思える大学であってほしい	平成28年度	文学部	23歳	男性
変わらずにあってほしい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
派手すぎず、歴史を大事にしているところが好きだったのでそのままの母校であって欲しいです。	平成29年度	法学部	22歳	女性
在校生が学生生活の中で様々な学びや文化風土に自然と興味関心が出てくるようなコンテンツがあるといいのではないかと思います。	平成29年度	文学部	22歳	女性
卒業したことを誇れるような学校であり続けて欲しいです。	平成27年度	文学部	25歳	女性
大学の歴史と伝統を守りながら、現在発展しているグローバル化に対応できる授業やカリキュラムを構築していただきたい。	平成27年度	文学部	24歳	女性
参加型講義の増設	平成27年度	法学部	24歳	女性
今のままであり続けてください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
現状維持	平成29年度	文学部	23歳	女性
学生の生の意見を取り入れるところと伝統を守らせること	平成29年度	法学部	23歳	男性
これからも日本の歴史や文化を発信し続けてほしい。	平成27年度	文学部	24歳	男性
國學院が更に有名になるよう、PR活動に力を入れてください。	平成29年度	文学部	24歳	男性
知名度を上げてほしい。偏差値を上げてほしい。Marchと横並びになるのが理想だが、おそらく無理かと思うので、現実的な方向性から日本大学の芸術学部のような、独自性のある大学として偏差値以外の評価軸で評価される大学を目指してほしい。	平成28年度	文学部	23歳	女性
日本らしい大学	平成29年度	法学部	23歳	女性
学生が胸を張って國學院大学卒業生ですと言えるようになってほしいと思います。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
いつまでも自由闊達な校風を大事にして下さい。	平成19年度	文学部	34歳	男性
対外的なPR等により知名度向上、卒業生の母校への愛着を高める	平成19年度	経済学部	32歳	男性
一般的に、少し閉鎖的で地味な印象があるので、ポジティブな印象を与えられるよう、学校をアピールしてほしい。	平成19年度	文学部	32歳	女性
文系分野に対して風当たりの強い時代に負けず、研究の発展を牽引して欲しい。図書館資料の充実や図書館職員の専門性を高める努力を続けて欲しい。	平成28年度	文学部	25歳	女性
知名度アップ	平成28年度	経済学部	23歳	女性
より柔軟に新しいことを取り入れる体制が出来れば、より良くなると思います。知名度を上げるための広報活動などもさらに強化してほしいです。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
神道文化学部の存在をもっと公表してほしい。	平成19年度	文学部	34歳	女性
これまで以上に学生や教授の主体性を尊重していただきたい	平成27年度	経済学部	25歳	男性
今の校風を持続してほしい。	平成28年度	文学部	35歳以上	女性
もっともっと有名になってもらいたい	平成27年度	経済学部	24歳	男性
産学連携	平成29年度	法学部	23歳	男性
ブランド力、国士館大学と間違われることが時にあります	平成29年度	文学部	24歳	男性
ブランド力	平成27年度	法学部	26歳	男性
社交的な雰囲気	平成19年度	文学部	34歳	男性
私は國學院大学が渋谷という大都会に有りながらも、落ち着いた校風と学ぶ上で環境が整っていることが、卒業生として誇りに思います。また、就職過程がある学校は珍しいため、今後もこの落ち着いた校風と伝統を大切にしたいです。	平成27年度	文学部	25歳	女性
知名度の向上	平成27年度	文学部	24歳	女性

■ブランディング・校風（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
温故知新	平成19年度	経済学部	34歳	男性
「成成獨國武明学」のランクから落ちないでほしい	平成28年度	経済学部	23歳	女性
こじんまりとした、今の國學院大學が好きなのでそのままいてほしい	平成27年度	法学部	23歳	男性
胸を張って「國學院大學卒です」と言えるようになること	平成19年度	文学部	33歳	女性
国の基や歴史を中心に学問する場所であり続けてほしい	平成19年度	法学部	33歳	男性
いい大学だと思うので、これからもっと誇れる大学になってほしい	平成29年度	法学部	22歳	男性
変わらず、「学問」を学べる場であること。	平成29年度	文学部	23歳	女性
國學院ならではの和の心を重視しつつ、より先進的な国際化を図ること	平成28年度	法学部	24歳	男性
伝統を受け継いで欲しい。	平成29年度	文学部	23歳	女性
伝統を重んじるイメージがあるのでそのまま維持していただきたい。	平成28年度	文学部	23歳	男性
もっとマニアックであっていいと思う。高校の野球部のご褒美推薦で、低学力の者を文学部以外の学部に入れるのは止めてほしい。	平成29年度	文学部	26歳	男性
日本文化を後世に正しく伝え続けること。	平成27年度	文学部	25歳	男性
学外からの評価	平成19年度	文学部	32歳	男性
偏差値と知名度を上げて、出身校だと言ったらすごいと言われるようになること	平成29年度	文学部	22歳	女性
知名度と大学ランクの向上	平成29年度	法学部	23歳	女性
神職や教職以外の場でも、知名度を上げてほしいです。	平成19年度	法学部	35歳以上	女性
伝統と革新が両立した体制	平成27年度	法学部	26歳	男性
思想的に公平に、且つ理性ある神道の大学であり続けてほしい	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
いつまでも地味めの人間のオアシスであってください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
神道を基盤とした日本文化の継承にこれからも取り組んでほしい。	平成29年度	法学部	22歳	男性
建学の精神を大事にして、校風に合わない思想の教員を採用しないで欲しい。天皇制を疑問視する法学部教員がいることが大変不満。	平成27年度	神道文化学部	33歳	男性
歴史と伝統を守りながら、時代の先を見ながら大学として発展すること。	平成19年度	法学部	32歳	男性
らしさを保ってほしい。	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
居心地の良い、将来のためになる学校の維持	平成28年度	経済学部	24歳	男性
高校生が受験校を考えたときに、文学部、人間開発学部はあっても、経済学部はあまりない。経済学部の発展と大学全体のネームバリュー向上を求めます。	平成19年度	経済学部	32歳	男性
明るさ、垢抜けた雰囲気	平成29年度	文学部	23歳	男性
時勢に流されず、我が道を進んでほしい。	平成27年度	文学部	24歳	男性
このまま、時代に流されず、変わらないでいてほしい	平成19年度	文学部	32歳	女性
誰もが入学したいと思う大学となること	平成28年度	文学部	23歳	女性
伝統を守りつつ更なる進化を遂げられることを期待します	平成28年度	法学部	23歳	男性
神道と日本文学を大切に我が国の伝統と文化と言語を守り続けて欲しい	平成29年度	文学部	23歳	男性
ブランド向上	平成29年度	経済学部	24歳	男性
認知度の向上	平成19年度	経済学部	33歳	男性
持続的な発展	平成19年度	法学部	32歳	男性
大学のブランドイメージの更なる向上	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
現役の生徒にとっても、卒業生にとっても誇れる大学であってほしい。	平成28年度	文学部	25歳	女性
もっと大学の宣伝をして、有名にしてほしい。	平成28年度	人間開発学部	24歳	男性
偏差値をどうにか上げてほしいです。伝統に裏打ちされた國學院大學は、私学といえど日本の財産だと思っております。学力や知性、ブランド力の向上を切に希望します。	平成19年度	文学部	32歳	女性
良い大学だからこそもっと有名になって欲しいし、卒業生として今後も繋がって行きたい	平成29年度	法学部	22歳	女性
昔と変わらないままできて欲しい	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
これからもずっと伝統を大事にする、真面目な大学であってください。	平成27年度	法学部	26歳	女性
日本文化や文学を学ぶ学校としてトップになること	平成27年度	経済学部	24歳	女性
入る人があこがれる。入った人が笑顔になる。出た人が輝ける大学を目指してほしい。	平成27年度	人間開発学部	25歳	男性
現代の流行や目先の利益にとらわれず、国学を重要視する姿勢を貫いていただきたい。	平成28年度	文学部	24歳	女性
ネームバリュー、施設の充実	平成29年度	法学部	24歳	男性
現状維持を期待	平成28年度	文学部	23歳	男性
今の状態であり続けること	平成29年度	法学部	24歳	男性
さらに発展して、学生がこの大学に入学してよかったと思える大学にしてほしい	平成29年度	経済学部	23歳	女性
さらなる発展を遂げてほしい	平成29年度	法学部	23歳	女性
■学部・講義 106件				
伝承文化学に重きを置き、これからも国学・民俗学においては常に日本でトップレベルにいてほしい。	平成19年度	文学部	32歳	男性
もっと教育レベルを上げるべき	平成29年度	経済学部	23歳	男性
大学教師の授業の全体の質を上げてほしい。	平成29年度	法学部	23歳	男性
文学好きを増やして欲しい。	平成28年度	文学部	24歳	女性
抽選で落選し、本当にとりたいた授業が取れなかったことが多々あったのが心残りです。開講する教室を見直すなどしてなるべく多くの学生が希望の講義を受けられるよう検討をお願いいたします。	平成28年度	文学部	23歳	女性
総合力よりも専門性	平成19年度	文学部	33歳	男性
今振り替えると、神道学部があるにも関わらず、「神道とは講義の1つである」という認識で、深く知ろうと関心を持つことができなかったことが悔やまれます。楽しめるようなもの、とまではいかなくても、神道に親しめるような講義内容やイベントがあった方が、神道に関心を持てるような気がするのですが、難しいでしょうか。	平成28年度	法学部	24歳	女性
今しかできないから、興味のあることに対して時間をかけて学ぶこと。	平成27年度	文学部	24歳	女性
語学力	平成28年度	法学部	24歳	男性
英語や中国語に力をいれてほしい	平成27年度	法学部	25歳	女性
パソコンスキルの実践に向けた授業を増やすべきだと思います	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
退屈な授業、機械的な大学職員をなくすこと。	平成29年度	法学部	22歳	女性
伝統の継承・基礎数学の授業の導入	平成29年度	文学部	26歳	男性
法律学科に入学したばかりの学生へ、法学部での勉強の仕方を教える機会を充実させて欲しい。自分が学生だった時は、1年生に授業をしていた教授が「溺れなくなきゃ泳げ」みたいなスタンスや、ただ機械的に教えていて法学部での勉強の仕方を説いてくれた方が少なかった。	平成27年度	法学部	25歳	男性
これからも、移りゆく社会に合った教育をお願いします。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
益々学校名が有名になるよう学生に対する適切な教育をよろしくお願致します。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
ゼミを全員必修	平成29年度	法学部	22歳	女性
より一層の授業の充実、学祭の充実	平成29年度	文学部	22歳	女性
狭く深く学べる國學院の特性をもっと生かして欲しい。あの4年間でしか得られなかったこと、触れられなかったことが多くて本当に良い経験になった。	平成28年度	神道文化学部	23歳	女性
国際教養の充実化ならびに国学の教養強化の両立	平成28年度	文学部	24歳	男性

■学部・講義（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
専門性の高さ	平成27年度	経済学部	24歳	男性
英語やコンピューター関係の授業の充実	平成19年度	文学部	32歳	女性
基礎力の定着、神道を広める	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
英語の話す・聞くを学生のうちに徹底的に強化する。第二外国語はせつかくやっても忘れがちだが、極めれば社会で武器になるので、ここも少し力を入れていきたいところだと思う。	平成19年度	文学部	32歳	女性
環境、エネルギー問題について考える先生が増えて欲しい。校舎を渋谷に残して欲しい。	平成28年度	経済学部	25歳	男性
教職課程の充実。し	平成29年度	文学部	25歳	男性
日本文学の分野において、現代の文学・言語学層も厚くすべきだと思います。	平成29年度	文学部	22歳	女性
建築史学のコース解説(理系等の融合)	平成27年度	文学部	35歳以上	男性
神道や文学など国学を根幹とした教育を続けてください。	平成19年度	神道文化学部	35歳以上	女性
多角的に学べる環境及び神道について概要を学べる環境	平成19年度	文学部	33歳	女性
留学へいける充実した環境、充実した授業(ネイティブの面白い授業がなかった)	平成27年度	文学部	25歳	女性
中高数学の教員免許が取れるようにして欲しい	平成29年度	人間開発学部	24歳	男性
初等教育でも第2外国語を。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
プレゼン能力と英語力の向上、就職活動の貪欲さがあるといい	平成19年度	法学部	33歳	男性
公務員試験を受けたが、大学からのサポートがあまり無く、周りに受験者もいなかったが大変だった。公務員受検用のサポートを増やしてほしい。	平成27年度	法学部	25歳	女性
専門性と実践的な勉強を出来る大学になっていることを望みます	平成19年度	経済学部	34歳	女性
プリントを配るだけの講義など、熱さが感じられない授業があったことが残念。講義をもっと充実してほしい	平成27年度	法学部	25歳	男性
最近は理系特化の大学が多いので、数少ない文系特化型の大学として、他の大学との差別化をより特徴づけてほしい。	平成19年度	文学部	34歳	男性
もっと社会に出てから活かせるような、実践的な能力を培う授業やセミナーなど聞いてほしい。	平成19年度	文学部	33歳	女性
神道文化学部の偏差値がやや低いのが気がかりです。せつかくの看板学部ですし、受験生確保のためにも、向上を望みます。	平成27年度	文学部	24歳	女性
研究力の向上	平成29年度	文学部	22歳	男性
多様な選択肢を提供してほしい。	平成19年度	文学部	32歳	女性
私が在学していた頃のあり方を忘れないで欲しい。様々な先生にお世話になりました。頭を下げて本来受講していない講義にも関わらず、潜り込んで良いよ、私の講義でなければ勉強しにきなさいと話をしてくれる方もいました。きっと私以後の世代にとっても、私が在学していた頃のあり方であり続ければ、楽しんでくれる生徒は増えると思います。	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
IT関係の授業の充実	平成19年度	経済学部	34歳	男性
現代日本語を扱う授業やゼミが増えることを期待しています。	平成28年度	文学部	23歳	女性
わたしは教員になりましたが、教員の仕事も時代の変化に合わせて変わっている。例えば、英語をほとんど話せない教員が外国語の授業を自分で行ったり、習ったこともないプログラミングの授業を教えたりすることです。時代の変化に合わせて教職課程、難しいとは思いますが、これから変わることとずっと変わらないことを丁寧に教えて頂けると、今後の人生(特に仕事)に活かせると思います。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
もっと多くの経済学部生がゼミに入れる環境があれば、もっと良かったです。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
後ろまで声が聞こえる講義。積極性を身につけられる環境。	平成28年度	法学部	23歳	女性
小説家やライターを志す学生に向けた創作分野の講義の充実と拡充をお願いいたします。	平成29年度	文学部	25歳	女性
論理的な文章を書く授業を作ってください	平成29年度	文学部	22歳	女性
私が在学中、ExcelやPowerPointなど基礎的なコンピュータの授業が人気があり、履修しづらいと感じました。(実際抽選でおち、履修出来ませんでした)社会に出て、ExcelやPowerPointは役に立つので、今後の学生の為に履修できるようにしてほしいです。	平成27年度	法学部	25歳	女性
問題発見や課題解決の能力を高めるカリキュラムを、現役学生に提供してほしい。	平成29年度	文学部	23歳	男性
不動産について学ぶ機会を設けて欲しい。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
将来使わなそうな教科を、もっと有効な教科に変えていくこと	平成29年度	法学部	22歳	女性
國學院の日文に慣れて入学したが、研究スタイルが独特で閉鎖的な印象をもち、他の大学院に進学し、高校教諭をしています。國學院の誇りは大切ですが、教育現場の国語も多様に変化していますので、國學院のスタイルにとらわれない自由な学問を追求していただきたい。今はどうか分かりませんが、	平成19年度	文学部	32歳	男性
英語教育を実践的なものに変えるべき	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
持続的な継続	平成19年度	文学部	33歳	男性
社会人に必要な教養や能力を身につけさせてほしい。	平成19年度	経済学部	33歳	男性
他の大学では学べないような、國學院ならではの専門性	平成19年度	文学部	33歳	女性
少人数でディベートできるような授業を増やして欲しい。	平成29年度	人間開発学部	24歳	女性
学生が主体的に取り組む授業を増やす。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
文学部に関しては、無理にグループによる協調を求めず、今のまま個人の興味に応じた学習をさせるようにしてほしい。	平成28年度	文学部	28歳	男性
人気授業の倍率緩和	平成28年度	法学部	22歳	女性
神職課程で祭式の時間に典儀や神葬祭について教えて欲しい	平成29年度	神道文化学部	22歳	女性
しっかりと教育をおこなってほしい。	平成28年度	人間開発学部	25歳	男性
授業改善(主体的・対話的、深い学びになるような)	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
学力向上の為に、質の高い授業と、学生の獲得。	平成29年度	法学部	22歳	男性
自己分析系の授業を増やした方が良いと思います	平成28年度	法学部	24歳	女性
授業のレベルアップ。特に言語。	平成28年度	文学部	24歳	女性
考古学の調査研究活動に重点を置くべき。昔に比べ「國學院考古」の停滞は目に余ります。	平成19年度	文学部	32歳	男性
これからも高い専門性を学ぶことが出来る大学になって欲しい。	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
専門的な勉強ばかりさせるのではなく、日本国内はもちろん世界各地で起きているさまざまな社会問題について学生同士で議論させる機会をもっとたくさん作るべきだと強く思います。	平成28年度	文学部	25歳	男性
外国語で討論ができる、どんなレベルの人でも受けられる授業があるといいと思います。	平成29年度	文学部	22歳	女性
国学や私学にのみならず、外国語と国際教育に力を入れてもらいたい。外国語文化学科に関しては、一定期間、留学することを卒業条件に加えるなど。	平成29年度	文学部	24歳	男性
研究する場所・機会をもっと作って欲しい	平成27年度	法学部	35歳以上	男性
英語教育及びグローバル教育の充実と日本文化、神道の教養教育の充実	平成29年度	文学部	22歳	男性
中国文学科に関しては私の在学中のまま熱心な先生方の元学業に打ち込める環境出会って欲しいと思います。	平成27年度	文学部	24歳	女性
これからも勉学に動んでいただきたい	平成29年度	文学部	22歳	男性
英語力の改善 講義内容の簡略化 部活動、サークル活動の活性化	平成27年度	法学部	25歳	男性
経済学部に限ることかもしれないが、学生生活に大きく影響するゼミの重要性、また選考に関する期間、準備期間等を拡充するべきだと考える。	平成28年度	経済学部	23歳	男性
パソコンの授業の充実、なにもないところからの企画発案のプレゼンテーション能力	平成29年度	文学部	23歳	女性
文学の名門としての地位を保持しつつ、語学にも尽力すること。	平成28年度	文学部	23歳	男性
日本文学科のゼミをもっと充実させてほしい	平成27年度	文学部	25歳	女性

■学部・講義（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
設備面は非常に充実していると思います。構内は明るくインターネット環境などが確保され現代的な大学です。教職員の方々もみなが親切丁寧でとても学生時代を過ごしました。しかしながら人気の講義はすぐに抽選などで4年生になるまで受講ができなかったりととても悲しい思いをしました。特にコンピュータ関連の講義は教職課程履修者ばかりで基礎的なコンピュータ講義ですら受講ができないのと言うのはいかがなものでしょうか？ またホームページの体系も見直すべきだと常日頃から思っております。	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
教育の質の向上	平成19年度	文学部	33歳	男性
専門性の追求	平成28年度	文学部	23歳	男性
就活のサポートに力を入れるだけではなく、本来の役割である勉強・研究をするための環境づくりに力も注いでほしい。	平成28年度	文学部	25歳	女性
いつも学業を中心にし、付帯としてイベント等があるような大学を望む	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
授業の抽選制度がおかしいと思います。もっと好きな授業を取りたかった。4年でも抽選に落ちまくるのは悲しい。刑法の甘利先生はなぜまだパワハラやセクハラ、ほかの教授の悪口をしているのに助教から教授になり、ゼミもやっているのですか？後輩からの評判もすこぶる悪いです。	平成29年度	法学部	24歳	女性
就職の幅が広がる視野を養える講義 教員になる道だけではなく、多くの視点から自分の将来を見つめられる講義	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
より専門的であること。革マルの排斥。	平成27年度	法学部	24歳	男性
日本史や日本文学の研究者育成(援助)に力を入れて欲しい。	平成27年度	文学部	24歳	男性
語学教育、IOT教育の充実	平成29年度	文学部	22歳	男性
わかりやすい授業	平成29年度	人間開発学部	24歳	女性
グループワークなどによるディスカッションや、課題に対してのマネジメント能力を養える講義	平成19年度	経済学部	34歳	男性
必修科目は抽選じゃなくてみんなが受けられるとよい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
ゼミの充実	平成28年度	経済学部	26歳	男性
英語力の醸成	平成29年度	法学部	33歳	男性
専門性を高められる学校であること	平成27年度	文学部	25歳	女性
第2外国を必修科目にしたほうが良いと思う。	平成27年度	法学部	25歳	女性
日本文学の専門科目を増やすこと。4年の頃から書道の専門科目がつぶされ、実用日本語のような科目が増えたのを覚えている。大学は専門の学問の場である。それなのに、「即役に立つ」技能や知識ばかりが優先されてきていると感じた。日本文学の専門性を復興すべく、わけのわからない縁故採用やくだらない見栄による邪魔がなく、内外で認められた真に実力のある若手の研究者が専任として配置されることが望まれる。	平成27年度	文学部	24歳	男性
なぜ文学を学ぶのか、をしっかりと打ち出してほしい。意味のあること、将来役に立つこと、が最優先事項の時代に文学研究の意味を問いかけてほしい。	平成19年度	文学部	32歳	女性
神職の実務的知識の習得	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
文化の学習に、より力を入れて欲しい。	平成29年度	法学部	22歳	男性
様々な情報やデータ、知識を踏まえて自分の意見を述べるのが苦手な同級生を何人も見てきたので、ゼミや演習科目のように、課題に応じて調査・情報収集・意見のすり合わせ・発表等の練習になるような授業を1年生や2年生の段階で増やせると良いと思います。	平成28年度	法学部	24歳	男性
特に神職養成課程において、人権感覚の涵養や多様で幅広い価値観の修得について新科目を設定するなどして、神道や神社界の将来を切り開く人材を育成してください。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
■学生支援 58件				
卒業生と在校生のつながり	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
生徒の力になれる事務課	平成29年度	文学部	22歳	女性
公務員志望の生徒に対する支援	平成29年度	法学部	22歳	男性
在学生に対する職員の対応	平成29年度	文学部	23歳	男性
学生生活課が好きじゃなかった。	平成27年度	文学部	24歳	女性
自習やレポート作成に使用できるパソコンの台数を増やすこと	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
これからも研究できる環境が整っていること。	平成29年度	文学部	22歳	女性
温かく、手厚いサポートにとても助けられた。このような大学は他に無いと思うので、ぜひこのまま学部の温かみを残して欲しい。	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
教員採用試験の地方受験者にも丁寧に対応してほしいです。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
学生が自由のびのびと学べる環境にしてほしい	平成29年度	経済学部	23歳	男性
発展性の高い大学だと思うので、学生の自由な可能性を尊重し、それを自主的に伸ばしていける支援体制を作ってほしい。	平成28年度	文学部	27歳	男性
学生が気軽にいかに相談できる場所を提供してあげてほしい	平成29年度	法学部	23歳	女性
就職に対して、よりサポートが増えるといいと思います。	平成28年度	経済学部	24歳	女性
在籍中の学生に寄り添う大学であってください。職員の方が不親切で有名でしたし、実際冷たい対応をされたことをよく覚えてます。	平成27年度	文学部	25歳	女性
事務方の学生への協力体制(態度)	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
就職活動に対する、手助け	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
就職活動のサポートの充実	平成29年度	経済学部	24歳	男性
読むべき本がわからないことも多かった。学生のちよつとした興味関心、ちよつとした向上心を助けてほしい。	平成29年度	文学部	22歳	男性
入学した学生が、より自分の目指す将来に近づくことのできる制度。例えば、留学制度の拡大があるといいなと思います。	平成28年度	経済学部	25歳	女性
これからも学生がしっかりと学べる環境を提供してほしいと思います。また、学生の就職支援等にもより一層力を入れていただければと思います。	平成29年度	経済学部	23歳	男性
個々の学生へのサポートレベルは高いと感じました。これからも維持してほしいです。	平成28年度	経済学部	23歳	女性
自分が生まれ育ち、住んでいる国がどんなところか、どんな文化か。これを学ぶことができる他にない大学です。大学4年間を渋谷という世界的な文化の行きかう、しかし今と昔が同時に学べて、経験ができる。充実したら4年間を過ごすことはその後のほうが長い人生においての全ての礎ともなります。きれいなキャンパス、食事、神社、宗教や文化と向き合い、人間として充実し、社会の一員となる。これからもそんな学生さんたちを送り出し続けてください。こと超高齢化社会を迎える日本にとって、もはや国宝といって過言ではない、若者たちを見守り、送り出す仕事は大変な責任とプレッシャーだと思いますが、期待しております。	平成27年度	神道文化学部	27歳	男性
OBとの繋がり強化	平成28年度	法学部	23歳	男性
学生へのケアをより一層厚く	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
落ち着いて勉強できるスペースの確保	平成29年度	文学部	22歳	女性
ITスキルの習得出来る環境作り。	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
いまの学生のためにも事務課の全員昼休みで閉鎖してしまうシステムを変えてあげて欲しい。昼休みしか行く余裕がない学生も多いはずなので、案内板とかそういうものを新調するのも大切だけれど学生の声をもっと大事にしてあげてほしいです	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
学生との対話、上からではなく同じ目線に立つ	平成28年度	文学部	24歳	男性
教職へのサポートを公立だけでなく私立にも厚くして欲しい	平成27年度	文学部	25歳	男性
心を病んでいた私が、夢見ていた教職に就くことができたのも、色々な相談にのってくださった職員の皆様のおかげです。これからも、学生の丁寧なメンタルケアを引き続き行ってほしいと思います。	平成27年度	文学部	27歳	男性

■学生支援 (続き)	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
生徒の金銭面でのサポート、希望の授業を受けやすい環境作り	平成29年度	文学部	29歳	男性
就職活動のサポートの充実化	平成19年度	経済学部	33歳	男性
早い段階での資格取得や進路決定の手助けになるガイダンスをもっと行って欲しい。	平成28年度	文学部	25歳	女性
学生が利用可能な共用スペースを増やし、学生が休み時間等にもお互いに意見を交わしながら学問に励むための場所を提供する	平成29年度	文学部	22歳	男性
学生が主人公となれる学びの場の提供	平成29年度	文学部	27歳	男性
ITをもっと充実させたものにしてほしい。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
就職に力を入れましょう。	平成29年度	神道文化学部	25歳	男性
学生と学校職員の連携強化	平成28年度	文学部	25歳	男性
就職活動のサポート	平成27年度	法学部	25歳	男性
集いの場所を増やして欲しい	平成29年度	神道文化学部	27歳	女性
主体的な取り組みの機会を与える場を増やして欲しいと思います。	平成19年度	経済学部	25歳	女性
就職スクール見たいのを開講して学生時代に就職に約立つスキルを身につけたかった。	平成29年度	文学部	24歳	男性
教科書を読めば身に付く学習や、ただ企業を提案するだけ、表面的な自己分析を手伝うだけのキャリア相談をやめ、本質的な学習を行っていただきたいです。生徒の視野を広げ、個個人の幸せを実現するためにはどうすればいいのか？ということ、押し付けではなく、個個人の内発的な意思を尊重する形で行ってほしいです。教育は人の選択肢を広げ、幸せを実現するための様々な方法を学ぶと同時に、生き方、心のあり方を学ぶ場所だと思っています。従って、あらゆる科目において、「自らの意思で考えさせ、将来も見据えた継続的な幸せの実現に向けて、自分の意思で選ぶこと」これを大事にする教育を行っていただきたいです。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
各個人の強みとなるものを身に付けられる環境作りを希望します	平成27年度	法学部	25歳	男性
学生への就職サポートをもっと効果的にやってあげてほしいです。情報を与えるというより、学生自身が考えて行動するように促したほうがいい。あと、アドバイザーに相談できるのはいいけれど、引継ぎをちゃんとやってほしい。毎回毎回同じことを初めから話さなきゃいけない、時間がもったいない。	平成29年度	文学部	22歳	女性
就活支援の際、これまでの常識とされてきたことや固定概念、当たり前とされていて気づきにくくなってしまっている性差別等に敏感になってほしいと思います。	平成28年度	文学部	23歳	女性
職業斡旋	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
学生に対する就職支援の充実	平成28年度	法学部	23歳	女性
職員が生徒に対する接し方の改善、運営についての透明化、学生の意見の適切な拾い上げと実現	平成28年度	文学部	24歳	男性
就職を責任持ってサポートしてほしい。国家や海外の情勢に合わせて教育してほしい。	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	男性
就職指導をもっと現実的かつ建設的にするべきだ。	平成27年度	文学部	25歳	男性
神社本庁傘下以外の神社や冠婚葬祭業界に対しても人材の提供を積極的に行って頂きたい。	平成19年度	神道文化学部	34歳	男性
専門的な知識を意欲的に学べる環境の提供と現状の大手企業への就職重視のシステムの改善	平成28年度	法学部	23歳	男性
学生が多種多様な生き方を実現するバックアップをしてほしい	平成19年度	法学部	32歳	女性
今後も今と変わらない、手厚い就職活動のサポートを望みます	平成29年度	法学部	23歳	女性
地方就職(決定)者にも優しくしてください	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
更なる学びの環境の整備	平成28年度	文学部	23歳	女性
オープンキャンパスや共育フェスティバルで、学生が活躍する場を提供し続けて欲しいなと思っています。これからも頑張ってください。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性

■学生育成 38件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
各学生の持っている能力をレスペクトし、活用する	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	男性
大学生生活は充実していたが、就職サポートや就職後の力などは正直身につかない。もともと自主的な生徒は勝手に伸びると思うが普通の生徒が伸びる仕組みにはなっていない。もっと議論を設けたり自主性を育てる大学になってほしい。	平成27年度	法学部	25歳	女性
優秀な人材を育成する大学であってほしい	平成27年度	人間開発学部	26歳	男性
学生の人間性の伸長。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
これからは國學院らしいマニマニ人間を育ててほしい。講義でもサークル活動でも何か一つ熱中して語れるものを学生が作れるような環境を望みます。	平成27年度	文学部	24歳	女性
学生への適切な指導	平成28年度	文学部	25歳	女性
実学一辺倒ではない、豊かな教養と文化を持った人材の育成	平成29年度	文学部	23歳	女性
日本を理解した上での国際性あふれる人材づくり	平成29年度	人間開発学部	23歳	男性
生徒たちに行動力をもっと高めたい	平成29年度	経済学部	31歳	男性
考えるための基礎、多様性を身に付けた人材の育成	平成19年度	文学部	33歳	男性
新たな社会を切り開いていく学生の育成に力を入れて行って欲しい	平成19年度	法学部	35歳以上	男性
私自身も今後の人生、どこかで人の役に立つような活躍していきたいと考えていますが、今在校している学生の持つポテンシャルを最大限にサポートして頂いて、在学中、卒業後も活躍する人が増えたら卒業生としてはとても嬉しく思います。	平成28年度	経済学部	24歳	女性
主体的に学ぶことを指導してほしい	平成19年度	法学部	34歳	男性
優秀な人材を輩出して続けて頂きたいです。	平成19年度	文学部	33歳	男性
これからは日本だけでなく世界の事も学べ、広い視野を持った人材を育てる場所であってほしい。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	女性
正しい判断をできる学生を育てて欲しいと思います	平成29年度	文学部	24歳	女性
時代の変化に対応した大学運営。学生の自由を尊重。バランスのとれた平均的な人間ではなく、ある分野に特化した「武器を持った」を育てる教育。	平成28年度	法学部	23歳	男性
何事にも臆せずチャレンジする精神が大切だと実感しています。興味のあることをやらずに詰めて社会人になりましたが、後悔の日々です。大学生の皆さんが学生時代にやり残すことがないよう、どんなことにもチャレンジする大切さを教えて欲しいです。そして充実した学生生活の結果、國學院生で良かったと胸を張れるような大学であって欲しいと思います。	平成27年度	法学部	24歳	女性
主体的な学生が減ってきている印象があるので、大学側からもっと動きかける必要があると思います。	平成28年度	経済学部	26歳	男性
スキルアップ	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
日本の良さを、うまく社会に活かせる学生を輩出してほしい。	平成29年度	神道文化学部	26歳	男性
日本文化や民族を理解し、世界で活躍できる人材を育成すること。	平成19年度	文学部	32歳	女性
学びの大切さを伝えること	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
社会人としての人材の育成	平成19年度	文学部	33歳	男性
無駄遣いをやめる。学生を居心地良くするのではなく、どんな状況でも居心地良く自分でする能力を養うようにする。	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	女性
國學院生として恥ずかしくない教養を身につけてほしいです。私は職業柄、先輩たちには院生が大勢いらっしゃいますが、國學院大学での授業の話や先輩方が通われていた頃よりと随分とレベルが落ちたように感じます。それは教授陣の問題ではなく学生の資質の問題だと思っています。なんのために大枚はたいて大学に通っているのかをもう一度考えてほしいです。	平成28年度	文学部	24歳	女性
神道文化に根付いた国を誇りに思う、国に恩返しができるような学生を育てて欲しい。	平成28年度	法学部	23歳	男性
社会に出てから長い人生が待っているの、社会に出てから耐え抜ける力を学生たちには身につけてほしい	平成19年度	文学部	33歳	女性
国外の競争に勝てるような人材を輩出してほしいです。また、海外の学生ではなく、日本人の学生に手をかけて育ててあげてほしい。	平成19年度	経済学部	34歳	女性
単位をとり卒業するための授業を受ける学生が集まるのではなく、授業内容を学問的に興味を持ち探求する学生を集めてほしい。	平成29年度	経済学部	23歳	男性
学生の質の向上	平成27年度	法学部	26歳	男性

■学生育成 35件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
もっと挑戦者が出るような校風にして欲しい	平成19年度	法学部	30歳	女性
日本文化を大切にしつつ、グローバル化に適應できる人材育成を行って欲しい。	平成28年度	経済学部	23歳	女性
「日本から世界へ」を実現すべく、国際的に活躍できる人材の養成。主に語学レベルの向上。	平成27年度	法学部	25歳	男性
学力の向上	平成28年度	法学部	23歳	男性
素晴らしい教員を送り出してほしい	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
実践で活躍できる神職の育成に励んで欲しい	平成19年度	神道文化学部	33歳	女性
國學院大學は他の大学と同じでは、全く意味が無いと思っています。神道の精神に基づいた特化した教育を行うこそ、国の基を究める所となり得ると考えます。國學院大學生は礼儀正しく、品行方正で無くてはならないと思います。そのような人材を育成出来るような大学になってほしいと思います。	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	男性
■スポーツ・部活・サークル 25件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
弓道のセレクションを始めること。箱根駅伝の優勝。	平成29年度	文学部	23歳	男性
箱根駅伝で優勝してください	平成19年度	文学部	33歳	男性
駅伝の結果を受け、スポーツ分野でもっと活躍できる方が多くなることに期待しております。	平成27年度	経済学部	25歳	女性
部活動や國學院の特色ある事業に関して、外部へ情報を拡散したり、売り込んだりすること。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
様々な学生を寛容に受け入れてほしい。	平成29年度	文学部	35歳以上	女性
陸上競技部を盛り上げてください。	平成29年度	文学部	22歳	男性
箱根駅伝総合優勝	平成29年度	文学部	23歳	男性
箱根駅伝おめでとうございます。	平成19年度	文学部	33歳	女性
今年の三大駅伝も頑張ってください。	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
駅伝にもっと力を入れてサポートしてあげてほしい	平成29年度	法学部	23歳	男性
駅伝頑張ってください	平成27年度	文学部	24歳	女性
駅伝頑張ってください	平成27年度	文学部	24歳	女性
部活ができるグラウンドを増やしてあげてほしい	平成29年度	法学部	22歳	男性
スポーツだけでなく文化面にも力を注いで欲しい。	平成29年度	法学部	22歳	男性
箱根駅伝がんばってください	平成19年度	法学部	32歳	男性
駅伝部の強化	平成27年度	経済学部	25歳	男性
駅伝頑張ってください！	平成28年度	法学部	24歳	女性
駅伝頑張ってください。	平成19年度	法学部	35歳以上	男性
特定の部活動ではなく幅広い部活動への資金面での補助	平成29年度	法学部	23歳	男性
もう少し部活やサークルが活動できる場所を増やして欲しい。具体的には部室を増やして欲しい	平成28年度	経済学部	24歳	男性
学祭などのイベントをもっと活気づける。サークル活動など学生の主体性を支援する体制づくり	平成29年度	文学部	23歳	男性
箱根駅伝頑張ってください。	平成19年度	文学部	32歳	女性
箱根駅伝で活躍してください。	平成19年度	法学部	33歳	女性
スポーツなどでも、好成绩をおさめて、卒業したことを誇りに思えるようにしてほしい。	平成27年度	法学部	24歳	男性
もう少し学生同士の関わりがあると良いです。文学部はゼミが無かったため、サークルに入らないとサークルに入らないと、深い人間関係が築きあがりませんでした。	平成19年度	文学部	33歳	女性
■卒業後のサポート 15件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
卒業生との繋がり希薄すぎると卒業して感じる。より強化し、磐石な基盤を社会に作る。さすがに慶應の三田会とまで言わないが、今の校友会は年寄りの同窓会である。予算の無駄。より良い使い方があるのではないかと感じる。	平成29年度	法学部	24歳	男性
宗教社会学に関する公開授業が増えた際には参加したい	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
就職サポートの充実、卒業後も続く支援	平成28年度	法学部	24歳	男性
卒業生にも図書館入館がスムーズになるようにICカード等の配布をして欲しいです	平成29年度	神道文化学部	23歳	女性
卒業生にも図書館を利用しやすくしてほしい	平成29年度	文学部	22歳	男性
卒業しても図書館が使えたらよいです。校舎もキレイになって学生がたくさん増えて人気が出るとうれしい。	平成19年度	経済学部	33歳	女性
文学系以外の分野の発展と卒業生と在学学生、卒業生同士のパイプ役。	平成27年度	法学部	25歳	男性
現在も渋谷で働いているので、院友向けのイベントがもっと多くあれば参加したい。	平成19年度	文学部	35歳以上	女性
卒業生も気軽にいけるような体制があれば嬉しいです。	平成27年度	文学部	23歳	女性
同年に卒業した人だけの同窓会をしてほしい	平成27年度	文学部	24歳	男性
転職サポート等を含め、卒業後にも何かしらの形でサポート体制が少しでもあると助かる。	平成29年度	文学部	22歳	女性
神社界は勿論ですが、学んだことを活かせる職場の発掘・開拓に注力してほしいと思います。また、就職した後もフォローを確り行って頂き、大学自体の人材採用にも活用できるようにしてほしいと思います。	平成19年度	神道文化学部	32歳	女性
気軽に人が立ち寄れる大学に	平成27年度	法学部	24歳	男性
院友への福利厚生	平成28年度	文学部	25歳	女性
卒業後ももっと國學院大学との関わりを持ちたい。	平成28年度	文学部	23歳	女性
■その他 125件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
神道学部や国学などの特異な分野、歴史、立地条件も含め、素晴らしい大学だったことは確かです。当時はリニューアル工事が進められており、現在は改善されてるかもしれませんが、学食や売店などが特に貧弱でした。タワーができたのは良かったですが、あまり学生のための建物ではなかったです。外に出なくとも全てが揃い整った売店や、集える場所が欲しい。学生もメニュー少なく高い、料理研究家とのコラボもありましたが、もっと他大学を見習い自慢できるレベルにまでしてほしい。	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
過去の栄光にすぎない老害大学になりつつある。自身の現状を見つめられる大学になってください。	平成28年度	文学部	23歳	女性
「成人加冠式」の時期を12月か2月にずらすこと。「親月祭」が大学行事になっても「学生主体」であることを学生たちが忘れないこと。「若木祭」がこれからも斎行されること	平成29年度	神道文化学部	23歳	女性
北海道短大との連携をもっとしっかりしてほしい。情報が十分に届いていないと感じます。	平成29年度	経済学部	25歳	女性
指定校と一般入学の学力の差を小さくしてほしい	平成28年度	文学部	26歳	女性
喫煙所に屋根が欲しい	平成28年度	法学部	24歳	男性
遊び心	平成29年度	文学部	23歳	男性
空き教室の開放	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
教務課の対応の悪さを改善して欲しかった。	平成28年度	経済学部	23歳	男性
国際交流	平成28年度	法学部	24歳	男性
文化祭の規模を大きくして楽しめるイベントを増やして欲しい。	平成28年度	経済学部	23歳	女性
宗教家として慢心しない教育指導	平成19年度	神道文化学部	32歳	男性
休学費用の減額(休学して留学を考えたが、休学費用が高額で出来なかったため)	平成29年度	文学部	22歳	男性
國學院栃木から國學院大学への推薦を厳しくすること。	平成28年度	経済学部	25歳	男性
堅実に経営してください	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
潰れろ	平成27年度	経済学部	27歳	男性
サークル室を文連以外でも使えるようにすること	平成19年度	経済学部	33歳	男性

■その他（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
学費を安く、あるいは苦学生に対する援助を充実させてほしい。性別が二択しかないところが遅れている。	平成28年度	文学部	24歳	女性
図書館の規模拡大	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
職員の学生に対する横柄な態度をなくすこと	平成27年度	文学部	23歳	女性
ずっと渋谷に居続けてください	平成29年度	経済学部	23歳	男性
自分の立ち位置をしっかり把握して、その立ち位置に適した環境をつくっていくこと	平成27年度	文学部	24歳	男性
職員の対応の改善	平成27年度	法学部	24歳	女性
学費の削減	平成19年度	文学部	34歳	男性
事務の方々には真摯に仕事に取り組んでいただきたい。	平成29年度	文学部	22歳	女性
5号館のようなスカスカな建物じゃなくて、キャンパスを広くしてください	平成29年度	経済学部	22歳	男性
学費をなるべく上げない	平成19年度	文学部	32歳	女性
教職センターの改善、友人からもかなり文句が出ていた。	平成27年度	文学部	25歳	男性
卒業証明書の発行手数料を値下げしてほしい。	平成27年度	文学部	24歳	男性
自分たちがいた頃、すごいキャンパスが狭かった。今は5号館もできて少しは広くなったかもしれないが、引き続き学生の勉強する場所を増やしてほしい。また、机と椅子のあるフリースペースは学生の交流や自習に欠かせないものだった。聞くところによるとみちのきちやらんやらでAMC1回のスペースは大きく変わっただけで、学校側が用途を指定シテスペースを使わせるのではなく、学生にもっと自由にスペースを使わせるべきだ。	平成27年度	文学部	25歳	男性
教職サポートの方ももう少し生徒に優しくするべきだと思います。後、クリスマスに教職の集中講義するのをやめてください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
職員の対応があまり良くない(特に教職センター)。現在他大学大学院に所属していますが、現在所属している大学の職員の対応と比べて國學院大学の職員の方々は上から威圧的態度で学生に接する方が多いように感じます。その点を改善していただきたいです。	平成29年度	文学部	22歳	男性
事務処理面の向上	平成28年度	文学部	22歳	男性
校舎が新しくなるの楽しみです！	平成28年度	人間開発学部	25歳	女性
渋谷という土地性を活かした発展	平成28年度	経済学部	23歳	女性
MARCHを超える	平成27年度	法学部	22歳	男性
なくならないで欲しい	平成19年度	文学部	33歳	男性
日赤病院が近くに有るのだから看護学部やコメディカルの学部等医療系理系学部の設立。	平成27年度	法学部	24歳	男性
IT化を進める	平成19年度	法学部	34歳	男性
学生生活課等窓口対応が酷すぎ、人員整理も視野に入れて改善すべき。同様のアンケートで常に苦言を呈されておきながら何も変わらない。恥に思うべき。アンケートに全く意味がない	平成28年度	文学部	25歳	男性
たまプラーザキャンパスをもっときれいに。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
マネー	平成27年度	経済学部	24歳	男性
給与のペースアップ	平成28年度	文学部	24歳	男性
たまプラーザキャンパスと渋谷キャンパスの連携教職員の教育課程に対する理解を深める	平成28年度	人間開発学部	24歳	女性
まずは事務課。最低限のことだけやればよいと思ってる人が多すぎるように感じる。最低限のことすらやってくれないのに。事務課には不満が本当に多かったです。	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
学食の充実	平成28年度	経済学部	25歳	男性
学食及び購買の充実	平成27年度	法学部	24歳	男性
これからも学費を上げないでほしい	平成28年度	経済学部	23歳	男性
職員、教師が教育についてよく考えること。このアンケートも自己満。何に活きるのか。よくも悪くも普通の大学ってだけで、特段特徴もないし、親切でも親身でもない。学生生活をよく考えてない学生生活科。ゼミでも適当な教師。大学行ってもこのアンケートにかいてある能力が身に付くと本当に思っているのか。まずは本気になること。かろうじて期待している。	平成27年度	経済学部	26歳	男性
カードリーダーで出席を取るだけでなく、学生が授業にしっかり出ているかを確かめるようにしてほしい。	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
ホームカミングデーのような横と縦のつながりを大事にした催しをこれからも続けてください。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
頑張ってる	平成29年度	経済学部	22歳	男性
夜間のフレックス奨学金はずっとあってほしい	平成29年度	文学部	24歳	男性
部活のOBにパワハラセクハラをする人がいます。	平成28年度	文学部	25歳	女性
社会から必要とされる人材を輩出していただければと思います。日本の文化や特性を維持して守り、研究することで成立した大学ですが、それを守るだけでは生き残れないと思います。史学科の発表時は「日本史の論文に横文字表記や英語を話すことは相応しくない」など時代遅れな発言をする教員や講師がいらっしゃいましたが、ああいうセリフが未だに使われているかと思うと不安です。時代に逆行する教育を施す限り、よき政治家や、よき企業主を輩出することは叶わないと考えられます。学問や研究方法を習得できても、実社会でそれを活用する術を教えないと活用されません。勉強ばかりというようなイメージを世間から払拭することを望みます。	平成19年度	文学部	32歳	男性
自分の気持ち本当にやりたい事などもっと大切にほしい。	平成28年度	人間開発学部	22歳	男性
大学は知的好奇心を満たすためのもので、就業のための訓練場ではないと思う	平成28年度	文学部	24歳	男性
学費が安くなること	平成19年度	経済学部	32歳	男性
無くならないで頂ければいいと思います	平成19年度	法学部	32歳	男性
奨学金の返済のサポート	平成27年度	経済学部	24歳	男性
自由に生きれば良いと思います。失敗しても、回り道でも、人生意外とどうにかになります。	平成19年度	文学部	35歳以上	女性
渋谷キャンパスが人数に対する面積がとても狭いと感じました。建物自体はとても綺麗でしたが、ほぼ学食も空いておらず狭いと感じる事が多かったです。	平成27年度	経済学部	25歳	男性
大学の学カレレベル(塾が発信する偏差値帯)のアップ。たまプラーザキャンパスの施設面における充実。	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
まず、このアンケートの文言が間違っている箇所があるので、細かなところまでチェックできる組織的な体制を作らるべき。	平成27年度	文学部	25歳	男性
食堂をもう少し広くしてあげてください	平成28年度	文学部	24歳	女性
目指せMARCHの仲間入り	平成28年度	文学部	24歳	女性
学生時代は、お昼ご飯の時の人の多さに辟易しました。食べる場所も少なかったのが改善を求めます。	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
手紙いらない	平成29年度	文学部	22歳	女性
学生にもっと、國學院には幼稚園があることを知ってもらい、連携を取れるようにしたい。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
もっと充実したキャンパスにしてほしい 部室棟に電波が入らなかつたり汚かつたり、サークル活動が思うようにできなかった部分がある。	平成29年度	神道文化学部	23歳	男性
不祥事には気を付けてください。	平成27年度	経済学部	25歳	男性
授業の抽選制度をなくす	平成29年度	経済学部	23歳	女性
ハラスメントは絶対に許さないでほしい。	平成28年度	文学部	25歳	男性
トレーニングルームの充実 食堂の充実	平成29年度	人間開発学部	23歳	男性
在学生本位の指針	平成27年度	法学部	24歳	男性
このアンケートの内容が多すぎる。やる気を削がれます。。。	平成29年度	文学部	22歳	男性
学生に対する大学職員の態度に怠慢さを感じた。すごく高圧的な態度に見える態度や、適当に対応している方々がいた。また、図書館の職員という職員の態度・対応は最低であった。郵送による図書返却なのに、返却がされていないという通知が来たことに関する問い合わせをした所、前日に郵送にされているのに確認もしないで、電話で届いていないと答えたり、改めてクロネコヤマに問い合わせたうえで、電話した所、確認すると言って直ぐに確認しなかった。挙げ句には、再度、電話して問い合わせをした所、あまりの不誠実さに上司の名前を教えてくださいと言った所、無言になるなど、最低最悪だった。	平成28年度	法学部	25歳	男性

■その他（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
土曜日が仕事なので、日曜日にもホームカミングデーを開催していただきたいです。	平成28年度	文学部	24歳	女性
このアンケート長すぎるような気がします。私が望むことは、國學院大学はせっかく渋谷という良い立地にあるのならそれを生かしたほうがいいのではないかと思います。具体的には、渋谷にあるベンチャー企業とコネクションを持ち製品開発やインターンを行うなどすれば面白いような気がします(既にそんなことをしているゼミもあったかとは思いますが)。	平成27年度	経済学部	26歳	男性
学食を増やしてあげてほしい。	平成29年度	文学部	22歳	女性
教務課の対応改善。	平成29年度	文学部	22歳	女性
異文化交流の活性化	平成29年度	文学部	23歳	女性
夜間学生が今少し学内施設を利用しやすくなると良いと思う	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	男性
無駄な事にお金と時間を使わない(例えば学食広げられないからといって販売カーを導入。結局教室がにんく臭くったりゴミの放置など更なる問題が発生。)こと。び逃げの厳しい取締。まじめに出た私達とび逃げし、テスト傾向などを先輩などから聞き出している人が同じ評価、取得単位なのは誠に納得がいきません。	平成29年度	文学部	24歳	男性
学生生活課の対応の向上	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
もう大学に行く機会がほぼ無いと思うので施設や授業に対して言うことは無いのでこの項目に書くことでは無いのですがアンケートが長過ぎて途中で真面目に答える気が無くなってしまいます。質問の数は今の半分くらいにしたいです。あと今書いている枠が小さすぎて書いたものの確認が非常に面倒くさいです。スマホで書くにはあまりにも不親切です。でももう少しアンケートを答える側の立場に立って欲しいです。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
祝祭日に講義を行わない方がよいと思う。	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
アンケート中『大学で学んでおけばよかった』という点について、大学側からも入口となる授業やイベントを用意すべき	平成19年度	文学部	32歳	男性
学食の拡充及び値下げ	平成28年度	文学部	24歳	男性
各種部署窓口の対応の改善、メール返信の必須化	平成19年度	文学部	33歳	女性
図書館を大切にほしい	平成28年度	文学部	24歳	女性
文化祭をより盛り上げるものにする。周囲とコミュニケーションが取れない人が取り残され、退学や留年に至っているケースを多く見た。	平成28年度	経済学部	24歳	女性
このようなくだらないアンケートは必要ありません。	平成19年度	神道文化学部	35歳以上	女性
高圧的な教職センターが生徒に寄り添える環境になるよう願います。	平成27年度	文学部	25歳	女性
炎上するようなことだけはしないでください。	平成29年度	法学部	23歳	男性
学食の拡張	平成27年度	法学部	24歳	男性
このアンケートの内容は酷いです。大学は様々な学びの場なので勉強だけさせれば良いわけではありません。全体的に自習室を増やしているようすがサークル部室や活動支援などの充実を願いたい。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
こんなアンケートを押し付けけないこと	平成29年度	文学部	23歳	男性
うどんの美味しさを保つ	平成27年度	文学部	24歳	男性
サーバーを強化してほしい。ケースマッピ一重すぎました。また、みちのきちとか、余計な施設は要らないと思います。ぼっち学生が多いので、ぼっち席撤去してよく分からない施設作るならぼっち席そのままにしてほしいです。	平成29年度	文学部	22歳	女性
学費を安く、高すぎる	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
高い学費を払っていたが、学習する場の提供のみで本当に心底すごいと感じる教員は1人しかいなかった。そういった時代と共に大学生のニーズに応える教員採用や生徒側の環境を整えるべきである。	平成28年度	法学部	24歳	男性
若木会館の利便性や使いやすさが更に快適になることを望みます。	平成28年度	文学部	24歳	男性
サバティカル後の教員は多忙になりすぎていると感じています。	平成27年度	文学部	25歳	女性
もっと生徒の自主性に任せた方がいい	平成28年度	文学部	24歳	男性
特定ではありませんが、教職センターはもう少し生徒の事情を考えたアドバイスをすべきだと感じていました。	平成29年度	文学部	22歳	女性
ツイッターに大学名を入れたサークルアカウントが極左的な発言で卒業生として恥ずかしいのでどうにかしてほしい(株)西尾家具工芸社で学校家具の営業をしております。家具の買い替えのご計画があればご検討の程宜しくお願い致します。	平成19年度	法学部	33歳	女性
平成29年度	法学部	22歳	男性	
プールを作ってください	平成28年度	文学部	24歳	男性
廊下の間にある自動ドアが開くまでに時間がかかることが多かったので、反応速度をもう少しだけ上げた方がいいと思います。	平成29年度	文学部	22歳	女性
金銭的に不利な人でも大学でめいっぱい学べるような奨学金制度が欲しい	平成29年度	文学部	23歳	女性
大学院との連携をもっととっていただきたいです。	平成29年度	文学部	24歳	女性
教務課の対応が悪いので改善してください。学校の落ち着いた雰囲気が好きなので教務課以外はそのままでもいい。	平成28年度	文学部	24歳	女性
このアンケートからも感じますが、本当に卒業生の意見を聞きたいとかより良くしたいと考えてますでしょうか？こんな長ったらしいアンケートをしっかりと回答する人は自分をマネジメントしてる立場の人はまず回答しないで。「シンプルルール」で検索してアンケートの本質をしっかりと見定めてアンケートを行ってください	平成19年度	経済学部	33歳	男性
もっと院生にも給付型の奨学金増やせ	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
図書館・博物館の保全	平成27年度	神道文化学部	25歳	女性
事務の方にもっとしっかりとっていただきたいです。	平成28年度	文学部	23歳	男性
博物館をこれからも運営してほしい	平成29年度	文学部	23歳	男性
部活施設の改修、喫煙所の隔離(煙が広がる部につに上がってきた)	平成27年度	文学部	25歳	女性
職員控を増やしてほしい。	平成27年度	文学部	24歳	女性
学校設備などはキャンパス間で明らかな差が出ないようにしてほしい。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
ホームページを使いやすくしてほしい	平成27年度	文学部	25歳	女性
ITリテラシー	平成29年度	文学部	22歳	男性
留学制度の整備、パソコンの増加、食堂の整備	平成27年度	文学部	24歳	女性
図書館活動の充実	平成19年度	文学部	35歳以上	男性

2. 充実した学生生活を送るために、どうすればよいか、現役の学生に対するメッセージがあればご自由にお書きください。

現役の学生に対するメッセージについて、527人より回答があった。主な内容は、学生時代の興味関心を高めたり経験・挑戦を促すもの（218件）、学生生活を充実させるもの（78件）、学業に関するもの（67件）、仲間や人間関係の重要性（48件）等の順となっている。

図表2-143 現役の学生に対するメッセージ（FA）

■興味・関心、経験、挑戦 218件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
もっともっと「疑い」をもって、自分で考えて、視野を広げてほしい	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	男性
何のために大学に来て、ここで何をやるかを早めに固めなければ、充実した大学生活はあり得ない。そしてこうと決めたら後悔のないように100%やり切る。	平成19年度	文学部	32歳	男性
見聞を広めること、経験してみる	平成27年度	神道文化学部	25歳	女性
やりたいことをやるのが一番。後悔のなきよう。お金とかの問題で可能性を消さないでほしい。	平成29年度	法学部	24歳	男性
やりたいことをとことんやる。ときには授業サボってでも。とりあえず、卒業はちゃんとする。	平成27年度	文学部	24歳	女性
今しかない学生生活、やりたいことはやるだけやっておこう。	平成29年度	文学部	22歳	女性
とにかく好きな事を積極的にやるべきだと思います。	平成27年度	文学部	26歳	男性
いろいろ体験できる最後のモラトリアムです。失敗しても人生のやり直しがいくらでもきく時期ですので、深く考えずいろいろ挑戦してください。	平成28年度	文学部	24歳	女性
大学生活は視野を広げる場だと思います。色々なことに興味を持って充実した学生生活を送ってください。	平成19年度	文学部	33歳	男性
あなたがしたいように、生きろ	平成27年度	文学部	24歳	女性
自分の専門分野(学科)の他にやりたいことは1年生～2年生の内に決めて行動しておくとうい。	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
いろいろな経験をして下さい。	平成29年度	文学部	23歳	男性
やりたいことに取り組む	平成28年度	法学部	24歳	男性
興味のあることはどんどんチャレンジしてみるべきです。大学生の時の時間はありません。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
何事も楽しむ方法を見つけながら、時間を大切に生活してください。	平成29年度	文学部	34歳	女性
時間がある学生のうちに色々挑戦してみてください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
とにかく、夢中になれることを探すといいと思います。	平成29年度	経済学部	25歳	女性
臆せず挑戦すること。	平成19年度	経済学部	33歳	女性
将来を見据え自主性を重んじる。	平成28年度	経済学部	23歳	男性
授業よりも外の世界で学ぶものの方が、自分を成長させるので積極的に取り組んだ方がいい。	平成29年度	法学部	22歳	女性
目標を見つけ、何事にも挑戦することが充実につながると思います	平成27年度	経済学部	24歳	男性
あとで後悔しないようにやりたいと思ったことは挑戦してみたほうがいいと思います。	平成29年度	経済学部	23歳	女性
早いうちに将来何がしたいかをハッキリさせた方が就職後に苦労しなくて済む	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
やりたい事は躊躇わずにやる	平成28年度	法学部	24歳	男性
何事にも臆せず挑戦すること。時間を無駄にしないこと。	平成29年度	文学部	23歳	女性
自分から行動してください。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
一定の集団に落ち着かず、たまには外に思い切って飛び出してみるとよい。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
様々な場面において取捨選択を自分自身で考え、的確な判断ができるようにすること	平成29年度	経済学部	23歳	男性
積極的に外に出て、様々な物事に参加してみてください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
学生時代に様々な事を経験すること	平成19年度	神道文化学部	32歳	男性
「今しかできないこと」に取り組もう！	平成28年度	文学部	24歳	男性
自分の強みや得意なことをある程度理解してほしい。必ずしもリーダーシップばかり求める必要はない。大きな成功がなくても小さな成功体験を沢山積み重ねてほしい。	平成27年度	文学部	24歳	女性
身の回りのものに対して興味を持って下さい	平成29年度	法学部	23歳	女性
どんなことにも積極的に参加することが大切です。	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
とりあえずやりたいことをみつけて精一杯やった方がいい	平成19年度	経済学部	33歳	男性
悔いのないように、やりたいこと全部挑戦して取り組んでほしい。大学生で居られるのはいまこの時しかないのだから。	平成27年度	文学部	25歳	女性
好きなことはとことんやること	平成27年度	経済学部	24歳	男性
目先の単位に囚われることなく、将来を見据えて色々なことを学ぶこと	平成27年度	文学部	23歳	女性
何事にも挑戦すること。失敗してもそこから学び、それを人生に活かせる考えを持つこと。	平成29年度	文学部	22歳	男性
主体的に！強く！	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
お金と時間が許す限り色々な経験を積んでおくことが大切	平成27年度	文学部	24歳	男性
自分のやりたいことを見定める。好奇心を大切に	平成29年度	文学部	23歳	女性
自分のやりたいことに積極的にそして徹底的に取り組んで下さい	平成29年度	神道文化学部	23歳	女性
学びたいこと、追求したいことを見つけろ	平成29年度	文学部	23歳	男性
職を考える。	平成29年度	文学部	25歳	男性
自分のためになることは、進んで経験して未来に活かしてください	平成19年度	文学部	33歳	女性
何事にも臆することなくチャレンジすること。	平成29年度	経済学部	23歳	男性
自分から動いて欲しい。旅にたくさん出掛けほしい。	平成27年度	文学部	24歳	男性
なんでもいいんでやりきってください	平成29年度	経済学部	22歳	男性
やること、やりたいことをしっかり見定めて、生活してください。	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
目標を持ってそれに真面目に取り組んで下さい。	平成27年度	文学部	25歳	男性
なんとなく、の気持ち・考えを大切に、少しでも良いなと思うものがあたら、ぜひ挑戦してみてください。そのなんとなく、には理由があり、さらにはそれが自分を知る1つの方法であると思うからです。私は、ゼミを選ぶ際に、読書を多くするゼミがなんとなく気に入り、入りました。今ではその選択が自分の糧となっています。一見、読書というと遠ざけてしまう気持ちを持つ人が多いかもしれませんが、一般に言われる声ではなく、自分の声を信じてほしいです。	平成28年度	経済学部	25歳	女性
今していることに満足せず、いろんなことをやってみる。失敗しても力になってくれる人はいっぱいいる。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
興味をもったことは何でも挑戦してみる	平成19年度	文学部	32歳	女性
4年間という短い期間の中で高い目標を設定し、逆算してスケジュールを組むこと。また意識の高い社会人や学生と多く接し、失敗してもいいから行動すること	平成19年度	法学部	33歳	男性

■興味・関心、経験、挑戦（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
夢と目標を見つけて明確にすること。	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
自分がやってみたいことのうち、今できることを学生のうちにたくさんしてください。いつになっても挑戦はできると思いますが、失敗も温かく見守ってもらえるのは若者の特権ではないでしょうか？	平成28年度	経済学部	24歳	女性
期待だけでなく、何事も自発的に取り組んでほしい	平成27年度	法学部	25歳	男性
やりたいこととやるべきことをしっかりこなすこと。お金は社会人になったら嫌でも貯まるので、学生時代はしっかり使うこと。	平成19年度	文学部	34歳	男性
思い立ったらすぐ行動！	平成29年度	法学部	23歳	男性
何事にもチャレンジして下さい	平成27年度	文学部	24歳	男性
あまり気が進まないことであっても、なんでも挑戦することが大切だと思います。	平成29年度	経済学部	23歳	男性
時間がある大学時代に、たくさんのごことに挑戦する！	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
軸を持つ	平成28年度	経済学部	23歳	女性
熱中できるものを見つけてください	平成27年度	法学部	22歳	男性
今しか経験できないことに取り組んで生活する。	平成27年度	法学部	24歳	男性
思い立ったら即行動	平成29年度	人間開発学部	24歳	男性
何でも前向きに活動して下さい	平成19年度	経済学部	34歳	男性
やってみたいことをできる時にする	平成27年度	文学部	24歳	女性
行動あるのみ	平成19年度	文学部	33歳	男性
何か1つでも打ち込めるものが作れると良いのではないのでしょうか。	平成28年度	文学部	23歳	女性
とにかくいろいろなことに挑戦することです。一番時間のある時期。時は金なり...これを社会人になった時に一番実感したことです。あの時、やればよかったと思うことが沢山あります。先のことはおいて、今自分がやってみたいと思うことをとにかく思う存分やってほしいと思います。それは、ただ楽しいだけじゃなくて、自分の暮らしを豊かにするということを基準に考えてほしいですね。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
学生時代にしか出来ないことをやってほしい。	平成29年度	経済学部	22歳	女性
やりたいことは、今しかない！の勢いで挑戦すると良いと思います。	平成28年度	法学部	23歳	女性
限られた時間とお金でたくさんのお金を体験、経験してください。そしてその事を人にきちんと話せる力を身に付けてください。勉強も大切ですが、色々な事の遊びをしてください。それが学生生活だけではなく、今後の人生を充実させる秘訣だと思います。伝える力があれば就活に役に立ち、社会人となっても円滑に仕事もこなせすし、話のタネにもなって人間関係も充実するはず。社会人になると遊べる時間がありません。今のうちに今出来る事をしてください。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
好奇心の赴くまま、学びを重ねていってください。	平成29年度	文学部	25歳	女性
自由にやりたいことをやる。社会人になったら遊べません	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
自分で考え、できる範囲でもいので行動すること	平成29年度	文学部	22歳	女性
好きな事を好きにだけやること	平成29年度	文学部	22歳	女性
色々経験は大切！	平成19年度	文学部	33歳	女性
今しかできないと思うことをやり抜くだけで全然違います！	平成29年度	経済学部	22歳	女性
色々な情報が人がいて色々な情報が入ってきて、郊外の大学に通う学生には経験できないことが沢山出来る大学だと思っています。家と大学の往復を越える行動をするべきだと思います。	平成27年度	法学部	25歳	女性
やりたいと思ったことは、とりあえずやってみるべきです。失敗しても、それを糧に何度も挑戦し続けることが大切だと思います。	平成29年度	文学部	22歳	女性
大学生は思ってる以上に自由だし、やろうと思えば色々できるものでやりたいことを精一杯やって欲しい。将来のことを考えることも重要だけど、そのための準備よりも大学生だからこそ出来ることに重きを置いて学生生活を楽しんで。	平成29年度	文学部	23歳	女性
自分の好きなことをしてほしい。例えば、どの授業を取るかは「友人と同じだから」ではなく「興味があるから」で決めるなど。	平成29年度	文学部	23歳	男性
単位を意識せずやりたいことをやる	平成27年度	法学部	24歳	男性
時間は沢山あるので何事にも失敗を恐れなくてチャレンジしてほしい	平成28年度	経済学部	23歳	男性
幸せはお金じゃありません。自分が本当にやりたい仕事に就けることを願っています。	平成29年度	法学部	22歳	女性
仕事は失敗したら責任が発生しますが、学生時代はあまり重大な責任は発生しません。目の前にあるチャンスや機会を無駄にしないよう失敗を恐れずチャレンジしてほしいです。自分が挑戦して良かったと思うことも多いですが、それと同じくらいもっとやっておけば良かったと思うこともあります。(たとえば留学やインターンシップなど)	平成28年度	経済学部	24歳	女性
興味を持った事に対して深く関われば、きっと充実した学生生活を過ごすことができると思います。	平成19年度	経済学部	33歳	男性
やりたいことをやった方がいい。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
たくさん本を読んだり、いろんな人の講話などを聞いて、自分とは違う考えに多く触れてほしい。今まで経験したことのないものにもチャレンジしてほしい。時間がたくさんあるのは学生の時だけなので、アルバイトでお金をたくさん稼ぐこともいいことだけど、自分の幅を広げるような経験をいっぱいした方が人生の楽しみが増えると思います。	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
やりたいことを見つけて全力で取り組んで下さい。きっと良い思い出になります。頑張っている時は辛いかもしれませんが、きっと結果が出ます。私のような人間でもそうでした。	平成27年度	経済学部	25歳	男性
やりたい事に没頭してほしい。好きな事をとことん極めてほしい。	平成28年度	法学部	23歳	男性
学生生活中心しかできない事をたくさん経験しておきましょう。	平成29年度	文学部	24歳	男性
休みを使ってやりたいことをやりましょう。	平成29年度	文学部	22歳	男性
ゴーイングマイウェイ	平成27年度	経済学部	25歳	男性
地方からの学生さんに向けて。多様な経験と沢山の交流を。成功は自信に。失敗は人生の旨味に。	平成19年度	文学部	32歳	男性
今のうちになんでもやりましょう	平成28年度	文学部	24歳	男性
数年後までのビジョンを持って、学生生活を送ると、より充実した将来に繋がると思います。学生時代にたくさん経験することをオススメします！それが自分を助ける武器になると思います。頑張ってください。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
学生生活の目標を明確に立てること	平成19年度	経済学部	32歳	男性
いましかできないことをいっぱいやってください	平成19年度	法学部	32歳	男性
自発的に出会いを求めて問題解決能力を研いで下さい。	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
主体的に、好奇心を持って何事にも取り組むとよい。	平成19年度	文学部	33歳	女性
目標を持つべき	平成27年度	神道文化学部	24歳	男性
大学は自分から行動することで物事が進んでいくので、自分から行動していくことを心がけましょう。	平成27年度	文学部	24歳	男性
時間がある学生でないとも難しいことを積極的にやってみるべき。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
國學院にしかないことをする	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
好きなことをする	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
よく学び、よく関わり、自己や他者を理解する機会に真剣に向き合うこと。そうすれば、自ずと必要なことがわかり、未来への道しるべになります。	平成19年度	文学部	32歳	女性
様々なことに興味や関心を持ち取り組むこと	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
お金を気にせずやれるのは卒業してからかもしれないけれど、時間を気にせずやりたいことをやれるのは学生の内だと思います。時間をかけてやりたいことがあるならば、今初めて見てください。	平成28年度	文学部	24歳	女性
やりたいと思ったら即行動すること、視野を広げること	平成28年度	文学部	24歳	女性
言い訳せず、今あることに全力で	平成27年度	文学部	25歳	男性
何にでも目的意識を持って行動すべき	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性

■興味・関心、経験、挑戦（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
自由な時間が多いいのは学生のうちだけなので、お金が理由で行動ができないのならば、借りてでも資格や免許いろんな場所に行って経験を積んだ方がいいと思っています	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
あまり気負い過ぎず、少しでも多く行動をして色々試してみたい。	平成19年度	文学部	35歳以上	女性
4年間はあっという間で、やろうと思えばなんでも出来る貴重な時間だと思います。目標ややりたいことのアンテナを常に張ってより充実した4年間になりますように。	平成28年度	法学部	24歳	女性
一度の挫折で諦めてしまうことほど勿体ないことはありません。一歩、踏み出してみよう。	平成27年度	文学部	27歳	男性
やりたいと思ったことを全部やってみる。できないと思ったら容量を超えたと思ったらやめれば、結果充実したものになる。	平成29年度	神道文化学部	23歳	男性
何事にも自分の限界に挑戦してみること。	平成28年度	文学部	25歳	男性
なんとなくで4年間を終わらせないために何か目標を持ってひとつひとつの行動をして欲しいです。そうすれば就職活動の時に自分を助けてくれます。	平成28年度	文学部	25歳	女性
就職時と、その先の労働を意識して、自分は何がしたいのか、その実現の為に何を成すべきなのかを考えて、短い学生生活を有効活用して欲しい。	平成29年度	法学部	22歳	男性
大学生のうちに自分が、何が好きで何が嫌で何が得意で何が苦手かよく知って欲しいです。そうすると、働くことが、生きていくことが怖くなります。楽しくなります。たとえ大学が充実しなくても、自分を知ることが自分の世界を広げてくれます。好きなものを見つけて欲しいです。何にも興味を持っていない人は辛い方を選んでください、退屈で辛いことは、たぶん続けられないのも人生でなかなか芽が出にくいです。怠けるのではなく、どちらかといえばやるのが苦ではないものを見つけて欲しいです。	平成28年度	法学部	24歳	女性
自分から行動する	平成29年度	法学部	22歳	男性
目標をしっかり掲げ、そこに向けての正しい努力	平成19年度	経済学部	32歳	男性
やりたいことをやる。チャレンジする。時間は有限。今が一番自由になんでもチャレンジできる時期。	平成28年度	文学部	24歳	女性
やりたいことは全部やって社会人になった方がいいです。後悔しない人生を。	平成27年度	文学部	23歳	女性
自由に何にでもチャレンジしてみてください。	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	女性
何にでも興味を持つこと、興味を持ったと知りあえず首を突っ込んでみる。そのために、余裕のあるスケジュールを組んでおくこと。特に國學院では神道や武道に接する機会が他より圧倒的に多く、とても貴重なのでその貴重な機会を逃さず首を突っ込みまくることをおすすめします。何か一つをやり遂げることも素敵ですが、せっかくなので他の大学ではできない体験がそこら中に転がっているのだから、いろいろなことに手を出してたくさん経験を積み、知識を得る、というもこれから社会に出るにあたり役立つと思います。	平成27年度	文学部	25歳	女性
やりたいことをたくさんやってください。どんな経験も必ず自分のためになります。	平成29年度	文学部	22歳	女性
専門的な勉強ばかりではなく、世の中のいろいろなことに興味を持ち、いろいろな人と話することを勧めます。特に、毎日少しでも新聞を読む習慣はつけておくべきでしょう。偉い人間ではなく立派な人間になりましょう。ただのお金持ちではなく、心が豊かな人間に是非ともなってください。	平成28年度	文学部	25歳	男性
なんでも良いので、物事に打ち込む事。怠惰な四年間にしないこと。	平成29年度	神道文化学部	25歳	男性
思いっきりやる。	平成29年度	文学部	22歳	女性
やりたいことは思っただけでなくすぐ行動してみてください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
沢山の本を読み、自分とは異なる価値観を受け入れ、自分の視野を広げる	平成29年度	文学部	23歳	女性
学びは外にあります。いろんな経験をしてください	平成27年度	法学部	25歳	男性
自発に行動して、自分の興味あることをトコトン追求する。お金がなくても、友達との付き合いを大切に1回は海外旅行に行くこと。	平成29年度	文学部	24歳	男性
学生の間に自分のやりたいことをやってください！やらない後悔はずっと残り続けます。私には出来ない、などと思わないでください。	平成27年度	文学部	24歳	女性
興味が出た物はとことんやるべき	平成27年度	法学部	35歳以上	男性
好きなことをして、しないといけないこともする。	平成29年度	文学部	22歳	女性
就職すると深くても狭い経験になりやすいので、学生の内は浅くても広い経験を。	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	男性
学生のうちにやっておきたいことかあるならやるべき	平成29年度	文学部	23歳	女性
卒業したとき、何か自分がやりたいことに打ち込めた学生時代だったと言えたら良いのではないのでしょうか。	平成27年度	文学部	24歳	女性
日々を無為に生きるのではなく、自分はどうすれば幸せなのか、どんな人生を送りたいのか、どんな人になりたいのか、これを「本質的に」考えて生活を送っていけばよいと思います。例えば、「年収1000万円稼ぎたい」「いい企業に入って普通の生活が送れればいい」など、それぞれの考え方はありますが、そこで思考を止めず、「お金を稼いで何がしたいのか？そもそもそれが幸せに直結するのか？」「いい企業とは？そもそも企業に頼って今後生活ができるのか？普通の生活とはなにか？自分のとっての「普通」はどのように構築されたのか？」このように、思考を深く深く行っていく、自分の本質に迫っていくことができれば、一生後悔することのない、最高の人生が歩めるんじゃないかと思っています。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
アルバイトに熱を入れるのも良いのですが、働くことなんて卒業してから嫌ってほどやる事になります。学生という仕事までの執行猶予期間は本当に好きな事に使える時間を割いて欲しいです。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
自分の力を信じて、選択・行動してください。	平成27年度	文学部	24歳	男性
先ずはやりたいこと、目標を見つけること。日々、過ごしていく中で「今」を大切にしてください。	平成29年度	文学部	24歳	男性
怖いか不安に思う程、そこに飛び込んでみる	平成29年度	法学部	23歳	女性
アルバイトや遊びに精を出すのも良いが、じっくり時間を掛けて取り組むべきことがあればそれに力を入れて欲しいと思います。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
素直にやりたいことに従った方がいいです。大人から見れば下らないことでも全力で取り組めば後悔はないです。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
自分から動き出すこと。	平成28年度	法学部	23歳	男性
自分の強みとなるものを大学生活の間に身に付けるよう努力するしてください。強みは自分を守り武器となります。	平成27年度	法学部	25歳	男性
学業でも遊び(趣味等)でも、熱中できるものを新たに発見し、多くの時間をかけてひとつのことをやるのは良い経験になるのではないだろうか。多様な経験をすることも無論大切だが、ひとつのことに集中し、時間をかけることも良い経験になると思う。	平成28年度	経済学部	23歳	男性
自分の好きなことややりたいことを素直に、そして意識的に追い求めてください。自分のペースでいいです。どうか他人の意見や常識に自分を閉じ込めないで。小さい頃は思い出して。長所を伸ばしてください。それが生きるために必要な力です。	平成29年度	文学部	22歳	女性
臆せず、できない言い訳を作らず、色々なことをやったらよかったなど、卒業してから思いました。自分に対して諦めの気持ちを持たないことが大事だと思います。	平成28年度	文学部	23歳	女性
大学時代しか出来ない事がたくさんあるので、やりたい事を全力で自由にやるべし(常識の範囲内)。あと車の免許は早期に取得すべし。	平成28年度	文学部	24歳	男性
主体的かつ能動的になること。求めれば大学は力を貸してくれるということ。	平成29年度	文学部	24歳	女性
遊ぶことも大切ですが、今でしかできないことを見つけて行動に移すことができたなら、それはとても良い経験になると思います。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
とりあえず興味のあることについて情報を集め、説明を聞いてみましょう。	平成28年度	文学部	24歳	女性
いろいろチャレンジしてみてください。	平成27年度	法学部	27歳	男性
今を大切に、20代は人生の基盤を作る大切な期間です。恐れずまずはやりたいことに思い切り取り組んでください。どんなことでも必ず未来のあなたをつくります。生きづら世の中ですが、前向きに。	平成19年度	経済学部	34歳	女性
やりたい事は今すぐやる！社会人になってからじゃ遅い！	平成28年度	法学部	23歳	女性
やりたいことを早めに探して、主体的に動いていこうと、心がけて欲しいです。	平成27年度	文学部	25歳	女性
ただ勉強するだけでなく、社会に出る時に役に立つコミュニケーションや世渡りの術を学ぶよう、色々なことに挑戦したり色々な人と会ってみてください。	平成27年度	経済学部	24歳	男性

■興味・関心、経験、挑戦（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
何でもいので夢中になることが必要だと思う	平成19年度	法学部	30歳	女性
好きなことをすること	平成19年度	文学部	33歳	男性
何事にも積極的になる。	平成28年度	文学部	35歳以上	女性
学生の時からできることを自分で探して実践してください	平成27年度	経済学部	24歳	男性
やりたいと思ったことは学生のうちに。	平成29年度	文学部	22歳	女性
大学愛を持って何事も積極的に取り組んで下さい。	平成27年度	法学部	24歳	女性
自発的に行動すること	平成29年度	文学部	23歳	男性
主体性を持つように	平成27年度	文学部	24歳	男性
いろいろな事を幅広く経験することが良いと思います。	平成29年度	文学部	23歳	女性
主体的に、積極的に行動してください。	平成28年度	経済学部	23歳	男性
自分がやりたいように過ごした方がいい。のんびり過ごすのもいいですよ。	平成28年度	文学部	23歳	男性
ほんの少しでいい、やる気を持って何事にも臨め。	平成29年度	文学部	26歳	男性
人に頼るばかりでなく、自らの力で課題等に取り組むことが成長に繋がります。	平成27年度	文学部	25歳	男性
熱中できることを見つけそれをやりきる事。	平成29年度	法学部	23歳	男性
一度きりの人生。好きな事、やりたい事をとことん追求しよう！	平成29年度	法学部	23歳	女性
自分が少しでも興味を持った事があれば、迷わずトライしてみるのが良いと思います。	平成27年度	神道文化学部	24歳	女性
何か一つに全力で挑んでみてください。必ず自分の強みになります。	平成29年度	法学部	22歳	女性
新しいことに臆せずどんどん挑戦することが将来必ず役に立つはず	平成27年度	法学部	26歳	男性
講義だけでは、社会に出てもほとんど役に立たないから興味があることには積極的に取り組んでほしい	平成29年度	法学部	22歳	男性
やる前から諦めない事、大学は何事にも挑戦できる環境でした。	平成29年度	経済学部	26歳	男性
今しかできないことを精一杯楽しんでください。	平成27年度	文学部	24歳	女性
常に挑戦的であること。暇な時間を少なくすること。	平成27年度	法学部	24歳	男性
様々な経験をすべき。留学すべき。	平成19年度	法学部	32歳	男性
何事も試してみる事が大切。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
目標をしっかり持つこと	平成19年度	文学部	32歳	女性
自分がしたいことのために努力を惜しまないでください。	平成29年度	人間開発学部	24歳	女性
社会人になれば自分の時間がなくなるので、今の内にやりたい事をしてください。	平成29年度	法学部	22歳	男性
今しかできないことを全力で楽しむ	平成28年度	法学部	23歳	男性
周りに流されない、自分の意志、目標を持つ。	平成27年度	文学部	25歳	女性
失敗してもいいから、どんな事でも挑戦してみてください。成功と失敗の両方から学べる事は沢山あります。	平成28年度	文学部	25歳	女性
常に何を指すかを意識し、覚悟を持って取り組むこと。学生にしか出来ない失敗や体験を数多くして頂きたいと思えます。	平成19年度	経済学部	34歳	男性
自分の興味あることをとことん突き詰めて、様々な充実感を得てほしいです。	平成29年度	文学部	24歳	女性
やりたいことは悩まずやること	平成29年度	経済学部	24歳	男性
何をすべきか、何がしたいのかを考える前にまずは挑戦してみてください。自身に必要なものを選び取って行って欲しい	平成28年度	法学部	23歳	男性
とんとん外の世界に出て欲しい。海外旅行で世界の良い事も悪い事も見て欲しい。	平成27年度	経済学部	25歳	男性
自分の性格や特色を客観的に見るためにも、色々な人と交流したり、色々な場所に足を運んだりするとうれしいと思えます。	平成27年度	文学部	24歳	男性
大学生活での財産は、多くの人と深く交流ができた事です。私は、大学生活で魅力的な方々と出会う事が出来ました。勉強の楽しさを教えてくれた仲間もいれば、一緒に楽しい企画をして、多くの思い出も作りました。私自身は、ずっと明るい気持ちで学生生活を過ごしているうちに、いつの間にか社会で役に立つ力が身についたと感じています。学生生活を送る皆様にも、好きなことに取り組み、多くの価値観に触れる機会を持ちながら、何より楽しく過ごしてもらえれば、私は嬉しいです。	平成28年度	経済学部	26歳	男性
後悔しないようになんでも自分から行動してほしいです。	平成29年度	法学部	23歳	女性
諦めないこと	平成27年度	神道文化学部	25歳	女性
やりたいと思ったことにはなんでも挑戦して、学びも遊びも全力で取り組むのがよいと思う。現役時代も学業はかなりの力を入れていたが、もっとがんばればよかったと思うことが多い。	平成28年度	文学部	25歳	女性
大きな目標を掲げて生きていこう。達成できなくても、それまでの過程が最も大事な事なんだよね	平成28年度	文学部	23歳	男性
大学時代の四年間はあっという間なので、新しいことにチャレンジしたり、時間を大事に過ごしてください。	平成27年度	法学部	25歳	女性
何事にも挑戦！めげずに頑張れ！	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
やりたい事、興味のあることをやれるだけやる。仕事してるとできなくなる。	平成27年度	文学部	25歳	女性
やりたいことを全部やってみる！	平成27年度	経済学部	24歳	女性
自分がやりたいことをやる。でも、就きたい仕事に関わる学びは真剣に取り組もう。	平成27年度	人間開発学部	25歳	男性
熱中できることを一つも見つける。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
たとえ興味がないことでも、時間が掛かることをやるべきです。大人になってからはもう時間をむやみにに使うことは出来ません。	平成28年度	文学部	24歳	女性
様々なことを体験しておくとうれしい！	平成28年度	文学部	23歳	女性
思い立ったらすぐに挑戦すること	平成29年度	法学部	24歳	男性
自分の頑張り次第では何事もチャンスに変わる	平成29年度	経済学部	23歳	女性
失敗を恐れず積極的に行動し、学んでください。	平成29年度	法学部	22歳	男性
卒業後の進路が明確になっている方はその進路に進めるよう、或いは更に突りのある人生になるよう積極的に学んでいくべきです。卒業後の進路が明確になっていない方は、広くたくさんの授業を受けて自分の視野を広げるべきです。	平成28年度	法学部	24歳	男性

■学生生活の充実 78件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
学生時代の努力があって、仕事へ自信を持って取り組みます。やるだけやって損は全くないです。何もやってこなかった人は、社会に出ても変わらず、その姿勢も伝わります。かと言って、貧乏に時間を使って遊べるのも最後となるので、メリハリつけて楽しんで下さい。	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
「よく遊び、よく学ぶこと」「大学は経験と人脈作りの場」であるということ。なるべく、自分で考えて行動する事。以上これだけ自由に遊べて、自由に学べる事は大学生の特権だと思う。臆せず色々な事を体験して学んで欲しい。授業でもゼミでも、アルバイトや遊びでもいいので。	平成29年度	神道文化学部	23歳	女性
今の瞬間を大切に。	平成29年度	文学部	23歳	女性
後悔のないよう、4年間フルに使って計画的にとにかく楽しんで下さい。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
学業と遊びのメリハリをつける事が大切だと思います。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
卒業後の進路または目標を見据えておくこと。次に繋がるかどうかで今の行動にもメリハリがつく。未来に向けて、充実した学生生活を送ってください。	平成28年度	経済学部	25歳	男性
メリハリをつけること	平成28年度	文学部	27歳	男性
楽しく、健全に過ごす。	平成27年度	文学部	24歳	男性
計画性を持って取り組むことが大切	平成19年度	経済学部	32歳	男性
充実したかどうかは自分で決めること。振り返る時に未練を残さないように今を大事に過ごしてください。それが満足できれば十分です。	平成29年度	経済学部	24歳	男性
遊ぶ時間、アルバイトをする時間、勉強する時間のけじめをつける	平成28年度	経済学部	25歳	男性
社会人になれば学びたくても学ぶ時間がなかなかとれない。遊びたくてもなかなか予定が合わない。今だから出来る学ぶこと、遊ぶことを一生懸命やってほしい。	平成29年度	人間開発学部	23歳	男性
学業も遊びもアルバイトも、様々な事がよい経験になると思います。4年間、自分のやりたいことをやれる時間は社会人になつたらそうはありません。やりたいこと、やるべきことを精一杯やって、今後ないであろう大学生活を楽しんでほしいと思います。	平成28年度	文学部	24歳	女性
生活に追われない環境を手に入れること。負すれば鈍する。	平成19年度	法学部	33歳	男性
勉強や遊び、恋愛にしても時間を無駄にしないで全力で楽しんで欲しい	平成29年度	文学部	22歳	男性
何事にも経験すること。限られた時間を有効に使い、ゼミ、部活には積極的に参加し、自分自身の成長につなげてほしい。	平成28年度	法学部	22歳	男性
遊びも学びも楽しむ。楽な方に流されない	平成19年度	経済学部	33歳	男性
生徒としての自由を謳歌して下さい	平成19年度	文学部	33歳	男性
学生といっても様々なタイプの方がいるので、万能なアドバイスはございません。ただ、社会人生活も大変な面が勿論ありますが、学生生活よりも良い面もあると感じています。過度な楽観も悲観もせず、「今」を生きて頂きたいと願っております。	平成28年度	文学部	24歳	男性
楽しめ	平成19年度	法学部	34歳	男性
事務課や大学教授を大いに利用して趣味に取り組み楽しい大学生活を送ってください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
今をとにかく愛おしんで楽しんでいただきたい	平成28年度	人間開発学部	25歳	女性
学生生活はとも短いです。そうしたなかで目標を常に持ち、何事においても最善を尽くせるよう考えて行動することで、実りある学生生活につながると思います。	平成29年度	文学部	22歳	女性
ゼミとサークルを頑張る自分とはとてもいい経験になったので当時はとても大変だったけどなんとなく大学生活を過ごさず何かか一生懸命に取り組んで辛いことも楽しいこともいい経験。頑張る充実した学生生活を。一生の友達ができました。	平成28年度	経済学部	23歳	女性
自分が生まれ育ち、住んでいる国がどんなところか、どんな文化か。これを学ぶことができる他にない大学です。4年間学生できる機会に、思いのままに、一生に一度しかない、かけがえのない若い時間の中の全てを面白く、楽しく生きてください。(当然、はめを外すようなことはないよう、超えてはいけないことの自分ブレーキは常にしっかり握って...)。若者であることは人間にとって至上の決してのちに取り戻すことのできない宝です。学生さん、若者が幸福であることは世界の宝であり、喜ばしいことです。とにかく、欲張りに、思うがままにすべてを行い、すべてを楽しみましょう。	平成19年度	経済学部	33歳	女性
学校の恵まれた環境を生かし、学生生活を楽しんで下さい。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	女性
沢山のことを学んで欲しい。図書館や教授陣に対していかに関わろうとするか。それが大学生活を楽しむかどうかにかかっています。どうか学生生活を楽しんで下さい	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
今を大切に、國學院で学ぶことに感謝して、楽しい学校生活を送ってください。	平成29年度	文学部	24歳	女性
バイトでも勉強でも良いので、常に何かに打ち込んで、暇な時間はあまり作らないで過ごしておく、後々振り返った時に後悔しないで済みます。笑	平成28年度	経済学部	22歳	男性
大いに学び大いに遊ぶ	平成27年度	神道文化学部	27歳	男性
心暖かい職員さんもいます。自分から積極的に関わって充実した大学生ライフを送ってほしいです。	平成19年度	法学部	33歳	男性
与えられた四年間を無為にするかすべき事に使うかは本人次第だったと今思います。	平成28年度	人間開発学部	24歳	女性
入学と同時にやりたいことリスト50を作成し、毎年更新していけば充実した学生生活を送れると思います。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
今しかできないこと、今しか出会えない人たち、今しか学べないこと、本当に一瞬一瞬が楽しくてあっという間だったと感じます。後悔のしないように、身体が動く限りやりたいことは全てやるべきだと思います！私は365日ほぼフル回転でいたいと思うとよくやってたなと思います、けどだからこその充実の一言に尽きます。そんな4年間を送って欲しいです。	平成19年度	文学部	34歳	男性
就活はいつからやってもいいので、一年時に四年後を見据えて計画を建てるといいでしょう。適度に遊び、日夜学びつつ。	平成29年度	経済学部	24歳	女性
大学生のうちにはできないことがたくさんあります。社会人に自由な時間はあまりありません。時間のある今のうちに、やりたいことは可能な限りやってください。そうしないと、いつか後悔します。後悔しないために、少しでも興味のあること、行動するか迷っていることがあればやってください。充実した大学生活を送られることを心より願っています。	平成27年度	神道文化学部	23歳	男性
とにかく遊びも学業も全力で！	平成27年度	法学部	24歳	女性
楽しんでください 自分の道を歩んで	平成28年度	経済学部	26歳	男性
将来、どの業界に就きたいかを考え、履修科目を吟味し履修すること、学生のうちに友人と沢山遊びに出かけ思い出を作ること。	平成28年度	文学部	25歳	女性
良く学び、良く遊ぶこと。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
今を大切に！	平成29年度	神道文化学部	26歳	男性
自分で選んだ専門科目に熱心に取り組む。友人と色々話す。教養科目を色々取る。	平成27年度	文学部	26歳	女性
バイトをする。旅行をする。友達を作る。勉強もそこそこする。	平成19年度	文学部	32歳	女性
勉学、バイトに熱心に取り組むように。	平成28年度	文学部	24歳	女性
大学4年間はあっという間です。その先の長い人生の中で学生時代に学んだ事、自分が取り組んできた事、熱中した事は必ずどこかで自分の武器になります。中途半端が一番いけません。好きな分野、単元の勉強があるならそれを突き詰める、遊ぶときは全てを忘れるぐらい楽しむなどです。講義がつまらない、学校が楽しくないならバイトをしましょう。続かなくても私は良いと思います。社会に出て「学生時代のバイトは何をやっていたの？」と聞かれたときに、「居酒屋、舞台の設営、塾講師、キグルミの中の人、イベントスタッフとかやりました。」なんて人がいたら、ほとんどの人がその人の話を聞きたくなくとも思います。もう何もかも嫌になって、逃げ出したいって人は海外に逃げるのもいいかもしれませんね。色んなことを経験して欲しいなと思います。留学にしようか悩んでる人は、行ってきなさい。悩んで実行しなかった事ほとんどはいつか後悔することになります。お金に関しては両親、親戚に頭を下げるか、死ぬ気でバイトしましょう。健全な派遣のバイトでその気になれば月40万は稼げます。長くなりましたが、何でもいので楽しんでください。その体験が充実した学生生活に繋がっていくと私は思います。	平成27年度	文学部	25歳	女性
よく考えて、よく学び、将来に役立ててもらいたい	平成28年度	経済学部	25歳	男性
よく考えて、よく学び、将来に役立ててもらいたい	平成28年度	法学部	25歳	男性

■学生生活の充実（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
勉強と遊びはバランスを保ちどちらも充実させる。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
今を大切に頑張ってください。	平成29年度	法学部	22歳	男性
積極的に興味のある事柄に取り組んで欲しい。授業はたくさんとって多くの人との交流を増やしてほしい。大学生は自由、で楽しい。思う存分楽しんでください！	平成29年度	神道文化学部	27歳	女性
社会人で経験できない無茶苦茶な経験を無謀な冒険を沢山の人の出会いを学生の間に過ごして下さい。時間がないからできないのではなく、時間は作るものでチャンスや機会は一度断ると2度目はない。人生でたった一度きりの今の時間を十分に充実したものにしてください。	平成29年度	文学部	22歳	男性
学生時代に頑張ることは4つ。バイト、恋愛、サークル、ともう一つ。その一つが何かを見出せるかで学生時代の価値は決まる。	平成19年度	経済学部	34歳	男性
学生時代の四年間は人生の中で短くてもとても充実した時間でした。1日1日を大切に勉強もプライベートも思い切り楽しんでください。	平成19年度	文学部	33歳	女性
沢山遊んで沢山勉強して沢山友達を作ってください。これらに対して妥協しないでください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
時間を無駄にするな	平成29年度	文学部	24歳	女性
勉強も部活もバイトも全部全力でやってください	平成27年度	神道文化学部	24歳	女性
限りある学生生活の時間を有意義に過ごしてください	平成27年度	文学部	24歳	男性
講義と課外活動の両立が大事	平成27年度	法学部	24歳	男性
意欲的に学業に励む。そして、遊ぶ時には目一杯遊ぶ。ON/OFFの切替えが身につくはず。	平成28年度	文学部	26歳	男性
社会人になると遊ぶ時間ないので、勉強やアルバイトもしつつ遊んだほうが良い！！	平成28年度	経済学部	23歳	女性
4年間は長いようであつという間ですので、1日1日を大切に噛み締めて過ごしてください	平成29年度	法学部	22歳	男性
学生生活の充実とは学習・学びを充実させることだと思います。学びに対して、真剣に向き合えば自ずと知りたいたいことが見つけたりそれまでの学びで得たことを知るための手段とすることができます。先生方からの問いに真剣に向き合うことで学べ、また周りの同期との関係も構築されていくと思います。どうぞ学生としての生活を楽しんでください。	平成29年度	文学部	23歳	女性
私が大学生の頃は実際大学自体に何も頼りにしていなかった。場所の提供は感謝しているが、それ以外は自ら行動し、友人を作ったり、学習した。つまり、大学生として自分でやりやすい環境を整えていくべきだと感じる。	平成28年度	法学部	24歳	男性
まずは今やるべきことを責任を持ってやり遂げてください。その上で将来の夢、卒業後の進路について考え、そのためにすべきことを計画し、実行に移してください。学生生活は本当にあつという間。しかし、4年間を自分の将来のために使わなければ必ず後悔します。自分は公務員になりたくて公務員になるための試験勉強ばかりやっていました。しかし、実際公務員になってみると、英語力や法律の専門知識、パソコンの技術など、いろいろな所で大学でやってこなかったことを後悔しています。皆さんはまだ時間があるので、精一杯、自分で考えて一日を大切に過ごしてください。	平成27年度	法学部	25歳	男性
多くの価値観に出会い、学びを恐れず、日々を楽しむことです。	平成28年度	文学部	24歳	男性
時間の使い方は重要だったと反省	平成28年度	経済学部	24歳	男性
渋谷の地にあつて、程々の自然にも囲まれた、恵まれた学習環境にあるので、思う存分学生時代を謳歌してほしい。学問も遊びも悔いの残らないように。4年間は本当にあつという間。	平成29年度	文学部	23歳	女性
ダラダラしていても卒業はできるけど必ず後悔するので悔いのない学生生活を送ってください	平成19年度	法学部	33歳	女性
楽しい生活も大事ですが、大学で「何をしたか」がその後の人生に大きな意味をもちます。人生最初で最後の自由な4年間を無駄にすることなく、存分に使い切ってください。	平成19年度	経済学部	32歳	男性
勉強だけではなく遊びでも何でもいいので、完全燃焼するまでやりきってください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
全力で取り組むこと。そうすれば失敗も成功も全て力になる	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
授業とバイトだけの学生生活で終わらず、サークル活動や留学など、経験や人脈を増やしてほしい。学ぶことも遊ぶことも、全てが社会人になる前に与えられた貴重な4年間の自由時間だと思ってる。	平成19年度	法学部	32歳	女性
時間の有効活用	平成19年度	法学部	32歳	男性
学生の本分を果たしつつも、世間を見るためによく遊ぶこと	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
四年間はあつという間なので、積極的に学生生活を楽しんでほしい	平成27年度	法学部	24歳	男性
学生でいられる時間を大切にしてください。私自身は社会人になって、時間の自由がきくうちにもっとたさんのものを見て学んでおけばよかったと感じています。	平成27年度	法学部	26歳	女性
怠惰な生活を送ってほしくないです、貴重な4年間、有意義に過ごしてください	平成29年度	法学部	23歳	女性
大学生の特権である長い休みを利用して、趣味に没頭したり、沢山旅行に行ったりしてみてください。	平成29年度	神道文化学部	22歳	女性
■学業 67件				
授業には出席しよう。	平成29年度	法学部	23歳	男性
語学能力をあげたいほうがいいです	平成27年度	法学部	25歳	女性
勉学を全力でできるということがいかに貴重なことか、卒業してからよく分かりました。自分の意思で自分の学びたいことを学んだという経験は一生の宝物になります。勉強ではなく学問を学んでいるということを胸に頑張ってください。	平成29年度	文学部	24歳	女性
講義で得た知識を繰り返し学び直せば良かったと後悔しているので、時間があるうちに沢山勉強してほしい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
学問に真剣に向き合ってください。	平成29年度	文学部	35歳以上	女性
授業はサボらない、将来の自分のためになるから少しでも先生の話はインプットするべき。	平成29年度	法学部	22歳	女性
まずは、専門をしっかり。	平成29年度	文学部	22歳	男性
授業への参加意識を高める	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
就職など先を見据えながら行動するより、後先考えず貪欲に学んだ方が後悔しない。心配しなくても、その後の人生はどうにもなる。	平成28年度	神道文化学部	23歳	女性
たくさん時間があるので勉強してください	平成29年度	経済学部	23歳	女性
多くの人と知り合い話をする。人を知り言葉や学びそして復習する。そのローテーションの積み重ねこそ本当の学習のあり方。知識は減らない財産。知識財産を貯蓄して博識長者になってください。	平成28年度	文学部	24歳	男性
必要なバイトもあると思うが、バイトやサークルはなくてもいい。いつでもできるから。もっとも学問に集中するべきだった。そして、最近の新卒学生の他者への理解のなさが深刻なため、一般教養でそういった議題を取り入れるべき。	平成19年度	文学部	32歳	女性
授業をサボることは楽ですが、せっかく通っているのだから授業に耳を傾けてみてほしいです。ちゃんと聞いていれば案外おもしろいですよ。	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
どのような理由で入学したにせよ必ず「なぜ学ぶのか」を考えて過ごしてください。大学時代を遊んで浪費しないでください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
つまらない学問なんてこの世にない。すべての出来事に意味がある。学ぶことを愛してください。学べる環境に感謝してください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
本当に自分がその学部にあつているか見直してみるのも大切(自分は経済学部に入った後に史学科や神道文化学部)に憧れを抱いてそのまま大学生活を送り続けてしまった)	平成29年度	経済学部	24歳	男性
大学院に進むか就職するか早く決める。図書館や教職課程はなるべく習得する。	平成19年度	文学部	32歳	女性
学べる環境を大いに活用し、掘り下げて学べるチャンスです。学生のうちにたくさん知識を吸収してください。	平成19年度	文学部	33歳	女性
授業には出ておけ	平成29年度	人間開発学部	24歳	男性
ちゃんと学校へ行くこと。まず講義に出ること。	平成28年度	文学部	24歳	男性
取り敢えず興味のない講義を取ってみると意外に新しい興味が湧くことも多い。	平成28年度	経済学部	26歳	男性
授業はサボらず	平成28年度	経済学部	25歳	男性
まずは大学に来ること。	平成29年度	文学部	22歳	女性
学ぶ事が一番です。	平成29年度	文学部	23歳	女性

■学業 (続き)	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
学問を習得することは大切です。しかし、それだけでは不十分です。自分が人に負けないだけの専門性、幅広い教養(リベラルアーツ)、英語が堪能、英語以外の外国語をもう1つ習得し可能なこと、課外活動(留学、インターン)の充実が社会的に求められる時代です。ゼミの教員や講師はそういう話をしませんでしたし、大学の就職や進路指導でもそこまで話はしていません。私の場合はそういうことを教えてくださった方々の存在があるから今が在ります。福沢諭吉は『学問のすずめ』のなかで「活用なき学問は無学に等しい」と述べていますが、活用ある学問に向けて頑張っていたらいいと思います。	平成19年度	文学部	32歳	男性
社会人になると思うように勉強に集中する時間が取れなくなるので、思いっきり勉強できる時間を大切にしてください。	平成27年度	神道文化学部	24歳	女性
勉学に思いきり打ち込める最後の時期だとも思うので今だけの貴重な時間を学びながら、楽しく過ごしてほしい	平成19年度	文学部	33歳	女性
1,2年生のうちに単位を落とさず出来る限り修得しておいた方がいい。就活する際に必ず負担が減る。	平成29年度	人間開発学部	22歳	男性
知識をつけること	平成28年度	文学部	24歳	男性
授業は単位を取るために受けるのではなく、将来を見据えて何が必要なのか考え取ることをお勧めします。	平成27年度	経済学部	25歳	女性
一見無駄と思える知識も、社会に出て使えることが多々有自分に帰ってくるので時間を無駄にせず学んで欲しい。社会に出たら講義なんて聞く暇はない。学生の時間はとても貴重な時ということをお忘れなでほしい。國學院大学は神道を学べる唯一の大学で日本人として学んでおいて損はない。私は大学で触れ合う機会に恵まれて幸せと感じた。	平成19年度	法学部	33歳	女性
自発的に学習する事、目的をもって学習する事が重要だと思います。	平成19年度	経済学部	33歳	男性
自分の専門から最も離れていると思われるような学問に触れる。真面目は良いけど真面目にならないこと。	平成29年度	文学部	27歳	男性
わたしはどちらかというと勉強を怠ってきた人間ですが、それはそれで大学生活を満足しています。しかし、もっと勉強していればよかったと感じる瞬間は多くあります。プライベートも勉強も、自分の中で両立させて頑張ってください。大学生生活で「こんなはずでは…」と思う事は多々あるかもしれないけれど、社会に出たらもっとある。なのでめんどくさい先生だな授業だなこんなはずではなかったなと思っ投げ出していらこの先何してもキミはダメ人間なので諦めるか、まじめに受けた方がいいですよ。	平成27年度	経済学部	26歳	女性
勉強せよ	平成29年度	文学部	24歳	男性
人生では二度と無い自由な時間を過ごすことになるので、全力で学んで全力で遊んで人間を磨いて下さい。社会に出たらきつとそれが財産になるので。	平成27年度	法学部	25歳	男性
遊んでばかりいないで、課題に真摯に取り組むこと。交友関係で学ぶことも多いが、課題に向き合う姿勢が後々の人生を豊かにできるはず。何かに真剣になれる時間をつくれるのは学生の間だけ。学生の間「真剣になれる時間」を作れた人は、社会に出ても時間の使い方が上手い。	平成19年度	文学部	32歳	女性
時間がある学生時代だからこそ、専門的な知識や資格の取得を行うことは自身の将来に必ず役立つこと	平成19年度	経済学部	32歳	男性
指導教員やゼミの仲間と研究に取り組むこと	平成19年度	文学部	33歳	女性
よく遊びよく学ぶこと。分らないことはスマホで調べるのではなく、自らの足をういてとことん調べる。	平成19年度	文学部	32歳	女性
教授と多く話し、授業に意欲的に取り組む。	平成28年度	文学部	23歳	男性
授業をおろそかにしない。	平成29年度	経済学部	23歳	男性
勉強は投資	平成28年度	経済学部	24歳	男性
基礎知識を学んだ上で、マッピングや反対意見や構造を考えるとより勉強したことを活用できると思います。	平成28年度	神道文化学部	35歳以上	男性
とにかく、勉学に励んでほしい。	平成28年度	文学部	23歳	女性
勉強と社会性	平成28年度	文学部	23歳	男性
大学は学ぶ場であり、自分の好きな分野をとことん追求できる場でもあります。アルバイトや遊ぶことも学生の間にか出来ない事がたくさんあるので大切ですが、ぜひ自分の興味のあることを幅広く学び多くの知識を吸収して下さい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
数的処理能力と簿記は身に付けておいて損はない、ということ。四年次には必修もないレベルにするのがベストだけれど、四年次には履修できない科目もあるので注意深くカリキュラムを組むこと。	平成19年度	文学部	33歳	女性
一回一回の演習発表を充実したものにできるように、努力を怠らなでください。演習発表を毎回きちんとこなしていれば、4年次の卒論で焦らずに済みます。	平成28年度	文学部	25歳	女性
学業は必ず将来役に立つので、毎日少し勉強して欲しい。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
自分の好きな勉強をできるのは今のうちなので沢山勉強して遊んでください。	平成28年度	文学部	23歳	男性
アルバイトやサークル活動ももちろん大切ですが、学生のうちに思いっきり頭を使って研究をする、ということを経験しておいた方が学生時代の思い出として有意義なものになりますし、就職後の仕事が簡単になりますよ。健康には十分気をつけて、是非頑張ってください	平成27年度	文学部	25歳	女性
幅広く科目の授業を受け、図書館を最大限に利用してください。勿体無いです。	平成29年度	文学部	22歳	女性
勉強をしっかりしてほしい。	平成27年度	文学部	25歳	女性
学問こそ人間文明の基礎。就職は適当に	平成19年度	文学部	35歳以上	男性
自分が学んでいることに誇りを持ち、視野を広く持って研究に取り組むことが一番の方策かと思います。	平成19年度	神道文化学部	34歳	男性
興味の幅を広く持ち、勉学に励んで下さい。特に國學院は入学して終わりではなく、他大学で学び得ない内容を研究できる場所です。	平成19年度	神道文化学部	32歳	女性
夜はよく眠って必修の1限に出ること。	平成27年度	文学部	25歳	女性
時間があるのは今だけです。お金を払って学校に通っているのだから自ら吸収できることを見つけて最大限に吸収して育ってください。	平成28年度	文学部	24歳	女性
文武両道！部活もバイトも大切ですが勉学はもっと大切です。	平成28年度	経済学部	23歳	女性
とにかく学修です。遊びは二の次で、大学生活が、遊び中心にならないで貰いたい	平成29年度	神道文化学部	35歳以上	男性
日々の授業を大切にしてください	平成27年度	文学部	25歳	女性
今しか集中して学ぶ時間はありません。	平成27年度	文学部	25歳	女性
自主性を取り入れた授業の展開が一つの社会対応力の養成となると考えています。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
MARCHの授業を参考にしてください。(楽しい授業が多い)	平成27年度	文学部	25歳	女性
SNSやYouTube、Voicyなどの個人が参画できメディアコンテンツなど、ネットワーク学科卒としては今であれば習いたかったです	平成19年度	経済学部	33歳	男性
■仲間、人間関係 48件	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
コミュニケーションをとる。	平成28年度	経済学部	25歳	男性
コミュニティに所属すること	平成29年度	経済学部	23歳	男性
友達や教授との関係を密にする	平成29年度	法学部	22歳	男性
教授と積極的にコミュニケーションを取る。	平成28年度	文学部	23歳	女性
思いやりをもって行動すること	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
積極的に交友関係を広げていく事	平成27年度	文学部	24歳	男性
先生との距離が近いので困ったら何でも相談してください！！	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
どうぞたくさんの人と繋がりをもち、色々な意見や思想に触れてください。	平成27年度	神道文化学部	28歳	女性
好奇心と付き合ってくれる友人を大事に。	平成29年度	文学部	23歳	女性
先生とのコミュニケーションが必須。大学の先生は深く知れば知るほど面白い。	平成28年度	文学部	25歳	女性
友人を大切に	平成19年度	法学部	33歳	男性
在学中にたくさんの人と関わっておくと社会人になってから役立つと思います。	平成29年度	経済学部	22歳	女性
友達を多く作ること。4年間の間に、やりたいと思ったことはできる限り挑戦すること。	平成29年度	文学部	22歳	男性
沢山のひとと接し、自分はどんな人生を歩みたいか想像し、すぐに行動を始めることがオススメです。勉強をしながらも社会生活を先取りできる大学生という立場は貴重です。	平成19年度	経済学部	34歳	女性
遊びと勉強バランス良くこなす友人と付き合う	平成28年度	文学部	22歳	男性

■仲間、人間関係 (続き)	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
学生時代は長いようで短いです。時間を大切に、信頼できる友人を多く作って下さい。	平成19年度	文学部	33歳	男性
学部・学科の中に模範、優等生が居たらその人と話して、自分を磨く他山の石とする。	平成27年度	法学部	24歳	男性
窓口は殆ど役に立たないので先輩や教授にうまく相談して就活等乗り切ること。	平成28年度	文学部	25歳	男性
友人を多く作るべき	平成27年度	経済学部	24歳	男性
教授に頼ること。特に人間開発の教授は、一生懸命な人には本当に手厚くしてくれます。	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
友達との時間を大切に下さい。	平成27年度	経済学部	24歳	男性
日文の研究室はオープンで先生方がよく応対してくださいました。大学の醍醐味は、授業だけではなく、研究者たる第一線の教員らと自由に学問を語り合えるところにあると思います。気軽に研究室を訪ねるとよいと思います。私の思い出の中心は研究室での先生達との語らいです。	平成19年度	文学部	32歳	男性
質のいい友達作り	平成29年度	経済学部	23歳	女性
とりあえず、サークルに入って友達を作ること。大学生生活では友達と過ごす時間が何よりも充実していた。	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
将来、自分のやりたいことを見つければ、就活でも苦労はかなり減ると思います。友達関係を大事にしてください。	平成27年度	経済学部	25歳	男性
バイトも大切だけでも、社会に出てからも充分働くので自由な時間を大切のひとつと過ごしたり、友人と過ごし素敵な大学生生活を送ってください。	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
様々な地域から学生が来ているので、色々な人と交わって色々な価値観に触れて思い出を沢山作っていただきたいです。	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
コミュニケーションをよく取ること	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
教授の先生方と積極的にコミュニケーションをとりたいパイプを作っておく。	平成29年度	人間開発学部	23歳	男性
友達を作ろう	平成27年度	文学部	24歳	男性
学業と課外活動や娯楽を両立させるために、計画性をもって行動するとともに、決して多くなくても構わないので、信頼出来る仲間や友人を見つけ、その人たちとの関係を大切にすべし。	平成29年度	文学部	22歳	男性
辛いことや面倒くさいことも沢山あると思いますが、出会った仲間と協力しながら頑張ってください。	平成29年度	人間開発学部	23歳	女性
たくさん学び、たくさん遊んでください。そして、かけがえのない友人をたくさんつくましよう！	平成19年度	文学部	33歳	男性
大学は人と一切話さなくても良い成績が取れ、優秀な学生として評価してくれます。しかし社会人として働く気持ちがある場合、色々な人と話してください。関係を築いてください。コミュニケーション量を増やさいと社会人になって大変苦労します。「異動するあなたから部署の皆さんへ一言お願いします」と咄嗟に言われたとき、何も言うことが出来なくなります。学生時代の4年間人とほとんど話さなかったからです。仕事うんぬんの前に基本的なことが出来ない人というレッテルが貼られます。まずは授業で隣の席に座った人に声をかけてみてください。	平成28年度	文学部	23歳	女性
まずは友人を作る	平成29年度	法学部	23歳	男性
色々な人と交流する事	平成19年度	文学部	34歳	男性
やってみることが一番大事。結果だけ見てあーだこーだ言う周りがいたら無視。但し振り返りができる知人友人は大事にすべし。	平成19年度	法学部	33歳	男性
一人でも多く切磋琢磨できる友人を探すこと	平成27年度	文学部	25歳	男性
自らと相反する性格の人と関わってみること	平成28年度	法学部	24歳	男性
友人をたくさん作ってほしい	平成27年度	経済学部	25歳	男性
たくさんの本を読んで、たくさんの方と話してください。学生生活ほど、自分の将来を見つめられる時間はありません。たくさんの人から話を聞いて、たくさんの方の経験を自分のものにして新しい目線で社会を見て下さい。	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
友達、先生、本との出会い、ご縁を大切に。	平成27年度	文学部	24歳	男性
研究会やサークルなど積極的に参加し、人脈を作っていくと将来役立つと思う。	平成19年度	文学部	32歳	女性
幅広い人間関係を築き、卒業後も付き合い合える友人を作ってください。授業を可能な限りたくさん受けて、資格も取って、バイトもほどほどに経験して、旅行もたくさんお楽しみしよう。	平成19年度	法学部	33歳	女性
とにかく多種多様な人達と関わり、他者から出会えて良かったと思ってもえらくなれば今後素敵な人生になると思います。	平成29年度	法学部	22歳	女性
勇気を出して人に話しかけよう。	平成29年度	文学部	23歳	男性
いろいろな世代に接すること。理不尽を知っておくこと。	平成19年度	文学部	32歳	女性
人とのコミュニケーション能力を磨けばなんとかなる	平成27年度	法学部	24歳	男性
■部活、サークル、アルバイト、ボランティア 26件				
必ずサークルには入った方がいいと思います。極端な話、大学を出てから一生涯の友人を作るのは難しいと実感しています。学問ももちろん大事ですが、専門性を身につけると同じくそれよりも大枠を見れるようになると思います。自分で課題を設定し越えていく力が社会人になってから必要になっています。自分で動けば揃っている大学です。ぜひ人生で思い返して輝く時間を過ごしてください。	平成27年度	法学部	25歳	女性
サークルでもアルバイトでもないので、打ち込める環境で社交性を身につければ、楽しくかつ将来役に立つスキルが身につくと思います。ぜひ今を楽しんで下さい。	平成29年度	文学部	22歳	女性
サークルに入って友達を作ろう。嘘でも本好きだと言おう。	平成29年度	文学部	23歳	女性
勉強だけでなくアルバイトやサークル、ボランティア等で自分とは違う様々な人と接して色々な経験を積むことが大切です。	平成19年度	文学部	33歳	男性
サークル活動	平成29年度	法学部	23歳	男性
こんなにも時間があるのは大学生のうちだけだと思う。ボランティアに参加したり、海外旅行に行ったり、自分の知見を広めるため、様々なことにチャレンジすべきだと思う。また、アルバイトに関しても就業してからは経験できないため、様々な職種に触れられると良いと思う。特に人間開発学部は教授も事務課の方々も本当に温かいので、言い方は悪いが、利用させてもらい、自分に活かすべきだ。	平成27年度	人間開発学部	25歳	女性
部活に入った方がいいです。就活に役立ちます。	平成29年度	法学部	23歳	女性
授業や研究が忙しくても必ずバイトをしてください。バイトでの経験の方が就職後役に立ちます。	平成27年度	文学部	25歳	女性
ちゃんと活動しているサークルに入ること。	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
部活動やサークル活動に本気で取り組むことは今後の人生に大きく役立つと思います。	平成28年度	文学部	24歳	女性
旅をしたり、バイトで様々な職業を体験するなど、いろんなことをしてほしい。	平成19年度	文学部	32歳	女性
サークル、部活動、アルバイトなど授業以外にも何か打ち込めるものを一つでもするべきだと思います。人脈の幅も広がり、多くの交流ができ、学生生活には欠かせない楽しさを生み出してくれるでしょう。卒業してからも未だにたまに集まって騒いだ思い出話に浸って本当に楽しかったと話すほどです。なので、今できることを全力で楽しんでください。	平成27年度	文学部	23歳	女性
大学よりも、自分で勉強したりバイトした方がよっぽど身になるよ	平成27年度	経済学部	26歳	男性
大学とは別のコミュニティに二つくらい属したほうが良いと思います。バイトだったり習い事だったり。いざ仕事につくと、自分の中身のなさに気づいてしまうからです。何かしらの経験が多い人の方が仕事ができる人が多い気がします。	平成28年度	法学部	22歳	女性
サークル活動や部活動に熱心に取り組む友達を増やして欲しいです	平成29年度	法学部	22歳	男性
実践的な学習やボランティアで現場を知る学習をすることが今後必ず役立つ。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
ゼミ、バイト、サークル、なんでも挑戦！楽しいことはもちろん、嫌だと感じることも、未来の自分に役立つことかもしれません。	平成29年度	法学部	22歳	女性
授業をもちろん大事ですが、サークル活動やアルバイトの中で学べることもたくさんあります。特に、社会的な行動や集団行動の中で必要なことは座学では学べないことです。実際に体験して経験こそ、学び身に付けることができることなのです。もちろん、座学で学ぶこともたくさんあります。一つでも多くのことに興味を持って、授業を受けることで、今後の進路ややりたいことが見つかると思います。	平成29年度	文学部	23歳	女性

■部活、サークル、アルバイト、ボランティア（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
渋谷という流行の最先端の中で日本人の心を学べるという貴重な機会であることをきちんと認識してほしいです。腰を据えて日本人としての心を学べる環境は他にはありません。また学問以外にも積極的にサークルやボランティア、アルバイト等に参加し、課外活動を通じて知人友人と交流を深めるのも大切です。	平成29年度	神道文化学部	22歳	男性
いろんな本を読み、サークルに足を運んで下さい	平成27年度	経済学部	25歳	男性
たくさんさんのコミュニティに参加する	平成27年度	文学部	24歳	女性
自分にあったサークルに入り、就活はOBOGや先輩をたよったりしましょう。いつでも大歓迎です。	平成29年度	法学部	24歳	女性
授業・学問に差し支えないようにできるならば、できる限りたくさんさんの課外活動をするのが社会に出て役に立ちます。	平成27年度	神道文化学部	33歳	男性
サークル活動への参加	平成29年度	文学部	22歳	男性
学内に居場所が無い人は、サークルや研究会など、勇気を出して組織に入ると、充実した日々が過ごせるかもしれません。また、生活や学費のためとも言えども、アルバイトは程々にして、最低限、授業はしっかり出るべきです。アルバイトのやりすぎのために留年しては本末転倒です。最後に、本学の職員はとて親身になって相談に乗ってください。特に就職課の方々には大変お世話になり、卒業し約11年経った今でも転職せずやりがいのある仕事に就けています。	平成19年度	文学部	33歳	女性
バランスが大事。大学は自発的な学びの場だからもちろん授業は大事にしなければならぬが、それ以外の部分、サークル、遊び、アルバイト、旅行、友達関係など自分から動かなければ何もまま学生時代は終わってしまう。時間を作れる学生時代だからこそできることがたくさんあるはず。時間の有効活用ができるように考えるといいかも。地方から大学に進学して、地方にリターンしたが、大学時代の友達は今でも連絡を取り合ったりあったりしているの、一生の出会いができるといいね。	平成28年度	人間開発学部	23歳	女性
■精神面の成長 7件				
一步踏み出す勇気を持つこと。	平成27年度	文学部	24歳	女性
自分を大事にしてください。選択を誤ることもあります。そうであっても、今から先が楽しく在るように、考えてください。そして、その答を誰よりも信じてあげられるのは自分ですよ。	平成29年度	文学部	22歳	女性
周りを気にせずに我が道を行ってください	平成28年度	神道文化学部	24歳	男性
自ら行動すること	平成29年度	経済学部	23歳	男性
酒たばこ、運転など人様の迷惑になるようなことはしないこと。自発的に動くから、指示待ち体制にならないこと。	平成19年度	法学部	32歳	女性
強くなれ	平成19年度	経済学部	34歳	男性
親から卒業するつもりで学校生活を送って下さい。あなたが一番幸せになれるように準備してください。	平成19年度	文学部	32歳	女性
■その他 83件				
編入生のため、在学年数が少なかったですが、それでもたくさん良くてくれる大学でした。小規模であるところも気に入っているところですよ。	平成27年度	経済学部	24歳	女性
まず明確な理由なく國學院に入らないことをお勧めします。	平成28年度	文学部	23歳	女性
寝ない	平成29年度	文学部	23歳	男性
充実しなくては、と意気込まないこと	平成28年度	神道文化学部	23歳	男性
ここ以外の大学にしろ	平成27年度	経済学部	27歳	男性
マナーは学んでください	平成19年度	文学部	34歳	男性
今は学生時代に学んだことは全く違う仕事をしているが、勉強以外のことで知るべきことはとても沢山あります。採用に関わる仕事をしているが、きちんとした常識を持った社会人になって欲しいです。	平成19年度	文学部	32歳	女性
頑張れ！	平成27年度	法学部	27歳	男性
時間を大切に。	平成28年度	経済学部	24歳	男性
一年時に三年先の自分を想定し、3年時に五年先の自分を意識できれば良いと思っています。4年生になってからは遅いのではないかと考えています。	平成27年度	文学部	35歳以上	男性
本を読むこと、今後の人生設計をすること	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
図書館やイベントなど、大学の様々な所を利用していく。	平成19年度	文学部	34歳	男性
暇だと思ったら、なんでもいから本を読んだらいいと思う。	平成19年度	文学部	33歳	女性
その時々思うこと考えること感じることを大切にすること	平成29年度	経済学部	23歳	男性
よく遊ぶことが大事	平成19年度	法学部	34歳	男性
未来を想像すること。逆算して、今日をどう過ごせば自分にとってプラスになるのか考えて生活する。	平成28年度	文学部	23歳	女性
読書と映画鑑賞、孤独をおそれない	平成19年度	法学部	33歳	男性
融通無碍	平成29年度	文学部	35歳以上	男性
多く本を読んで、教授の話をたくさん聞き入れて、取捨選択をできる人になってください！	平成29年度	文学部	24歳	女性
図書館を利用するかどうかで学生生活の豊かさは変わります！	平成27年度	文学部	26歳	男性
頑張ってください。	平成29年度	文学部	24歳	男性
絶対後回しにするな。	平成29年度	経済学部	22歳	男性
自分に嘘をつかない。素直になれ	平成28年度	人間開発学部	22歳	男性
真面目にやれ。	平成27年度	文学部	26歳	男性
学業以外でも構わないので、課題意識を持ちながら生活する事。	平成19年度	文学部	33歳	男性
留学はしたほうがいい	平成19年度	経済学部	33歳	男性
自分と周りを比べない。	平成19年度	文学部	35歳以上	女性
周りに流されない	平成29年度	人間開発学部	24歳	女性
ぶっちゃけ将来のことってなるようにしかありません	平成27年度	文学部	24歳	女性
バイトをしすぎぬように。	平成27年度	文学部	25歳	男性
生きて	平成29年度	神道文化学部	22歳	女性
応援団には気を付けて	平成19年度	法学部	32歳	男性
自分の大学の規模の小ささの自覚と誇りを持つこと。	平成27年度	法学部	25歳	男性
情報収集は何よりも大学生活を充実させると思っています。	平成27年度	文学部	24歳	女性
図書館などの学校の設備をフルに使って活かしてほしい	平成29年度	文学部	29歳	男性
ちょっとしたことですぐに諦めない	平成29年度	文学部	22歳	女性
芯を持って生きる	平成29年度	経済学部	23歳	女性
マナーを身に付けよう 本を読もう 体力をつけよう	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
将来を見据えて行動すること。	平成27年度	法学部	24歳	男性
就職予備校ではないのだから、射程を就活以後に向けるべき。	平成19年度	文学部	32歳	男性
國學院で学ぶことに誇りを持って欲しい	平成28年度	文学部	23歳	男性
何事も機械に頼らず書物で調べて自分の目で確かめてください。	平成28年度	文学部	24歳	女性
大学の歴史、卒業された諸先輩方にもっと興味を持ち、学んでください。	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
体にご自愛ください。	平成28年度	文学部	24歳	男性
学生時代に蓄えられた知識量と、活用ノウハウで社会人の差が出ます。楽しみつつも、自身を育ててください。	平成27年度	法学部	24歳	女性
勉強だけでなくたくさん遊ぶといいと思います。	平成19年度	経済学部	25歳	女性
肉若丸はぼったり常習のお店	平成29年度	文学部	24歳	男性
自分を表現する事ができる場であり、磨く場として自分のパーソナリティを意識する事が充実した学生生活とその先の人生の手助けになります！	平成29年度	法学部	23歳	男性

■その他（続き）	卒業年度	卒業学部	年齢	性別
明確な目標を持ってください。大きな、立派な目標でなくて構いません。大学はゴールではありません。なぜ大学に入学したのか。時々原点にかえてみてください。	平成28年度	文学部	24歳	女性
たくさん遊ぶ	平成28年度	経済学部	23歳	女性
とにかく学生のうちに本を読んでください。	平成27年度	文学部	25歳	女性
将来像を明確に持つこと	平成27年度	法学部	26歳	男性
ビジネスの現場に触れる	平成29年度	法学部	23歳	男性
最近の若者は自分の意見を全て押し殺し相手に合わせる傾向があります。自分を解放しても周りに合わせられる土壌を本学で培ってください。	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性
就活は真面目に取り組む。	平成27年度	法学部	26歳	男性
楽しんでほしいです！	平成28年度	法学部	24歳	女性
就職とか考えずに遊んだ方がいいと思います。遊べるうちに遊んでおかないと後悔すると思うので。	平成29年度	文学部	22歳	女性
頑張って卒業してください。	平成19年度	法学部	35歳以上	男性
個人次第	平成27年度	神道文化学部	25歳	男性
この大学に入った時点で人生たかが知れています。マーチ以上の学生に一生見下されて過ごします。諦めてください。	平成29年度	文学部	22歳	女性
自己実現は自己責任	平成28年度	文学部	24歳	男性
悔いの無いように遊び尽くすこと	平成29年度	文学部	22歳	女性
燃え尽きて下さい。	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
親に学費を出してもらっている学生のみなさん。その学費を稼ぐためにどれだけ親が苦勞しているのかを考え、学生生活を送ってください。自然と自分が今何をすべきなのかがわかるはずです。	平成27年度	人間開発学部	24歳	女性
一人で行動すること	平成29年度	文学部	23歳	男性
時間がある今だからこそ、本を沢山読んでください。	平成27年度	文学部	24歳	男性
手を抜かないこと	平成28年度	文学部	23歳	女性
恋をすること	平成28年度	文学部	24歳	男性
祖国を愛することから全てが始まります。	平成29年度	文学部	23歳	男性
大学の近くに住むことをオススメします	平成27年度	法学部	24歳	男性
大学生生活充実するかどうかは自分次第だと思います。	平成28年度	文学部	25歳	女性
就活のイベントの参加企業を増やすこと。履修に関するトラブルを減らす。	平成29年度	経済学部	22歳	女性
たけのこ	平成27年度	神道文化学部	26歳	男性
思いやりを持って日々過ごしてください	平成29年度	法学部	33歳	男性
本をよく読むこと	平成28年度	神道文化学部	24歳	女性
がんばれ。	平成29年度	人間開発学部	22歳	女性
自分が後悔しない道を選んで行動してください。	平成29年度	文学部	22歳	男性
大学は、社会に出る前の準備だと考えて、勉強やアルバイトなどの社会経験を積んでいって欲しいなと思って、頑張ってください。	平成27年度	人間開発学部	24歳	男性
他の学生との交流を広く持ちたい	平成27年度	文学部	24歳	女性
思考力の強化	平成19年度	経済学部	35歳以上	男性
図書館がすごく良いのもっと利用すべき	平成29年度	法学部	23歳	女性
計画	平成29年度	経済学部	22歳	男性
学生時代にしかできない青い議論を十二分にしてください	平成27年度	神道文化学部	35歳以上	男性

第3章 経年比較

第3章 経年比較

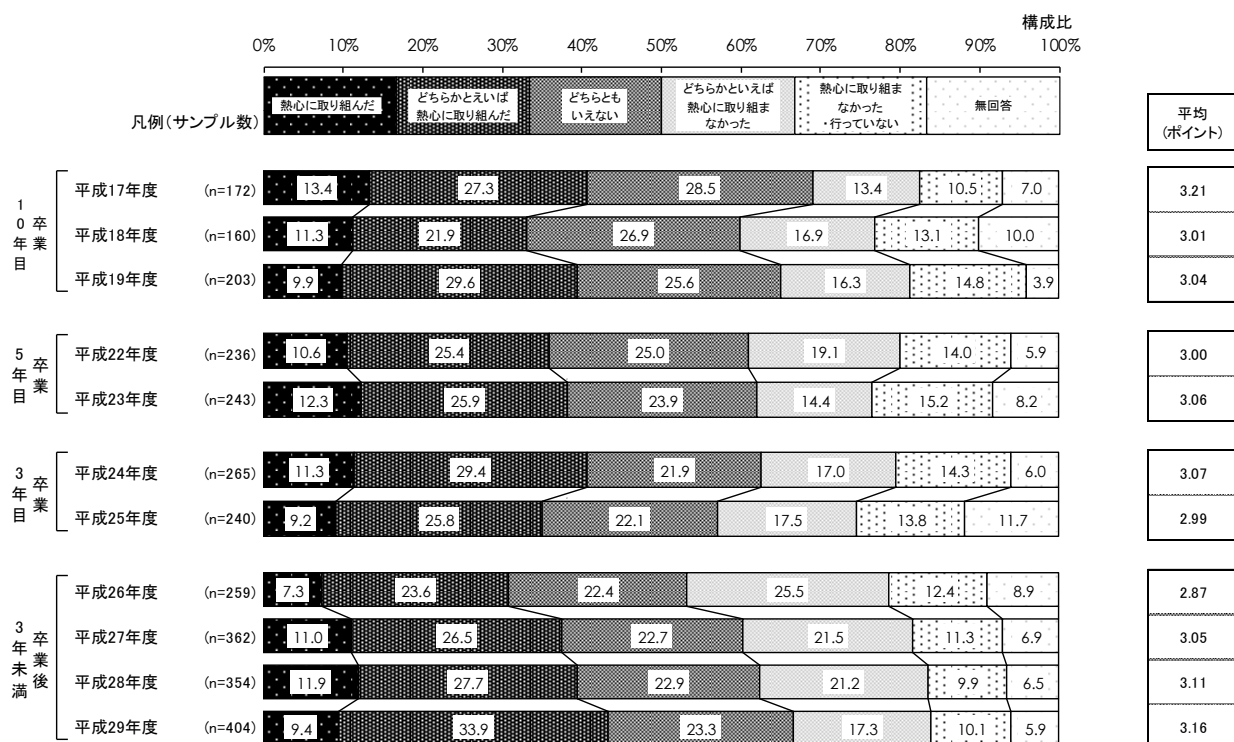
第1回調査から第3回調査について、共通の設問ごとに卒業からの経過年数が同じ年度、および卒業後3年未満を比較した。

問2 学修方法

1. 学生時代の学修等への取組状況をお答えください。(それぞれ1つ選択)

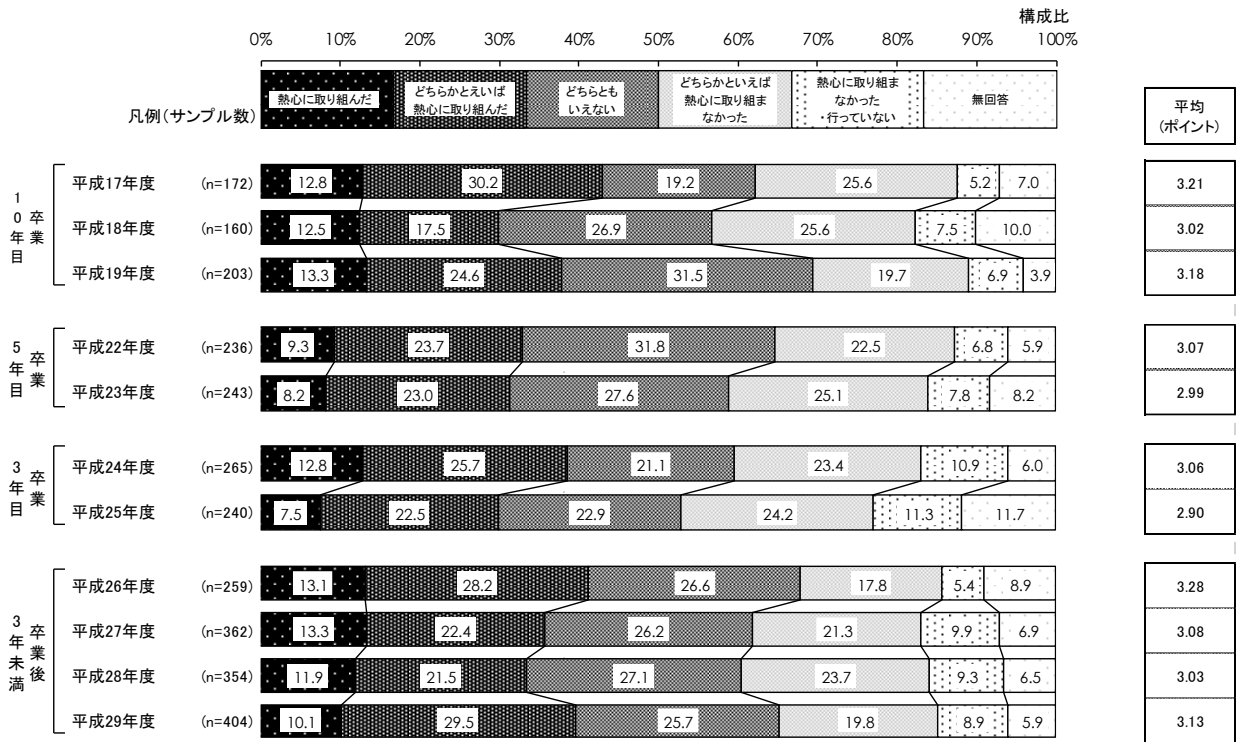
卒業年度別の平均値に注目すると、卒業年度が直近になるほど高くなる傾向を示すのは「神道科目」「専門教育科目」「インターンシップ」「留学」「サークル・部活動」「社会活動(ボランティア等)」となっている。特に「インターンシップ」は急速に伸びており、就職に向けて熱心に取り組んでいる傾向がみられる。「留学」はまだ大きな割合にはなっていないが、「取り組んだ」割合が徐々に増えている。

図表3-144 神道科目 (SA)

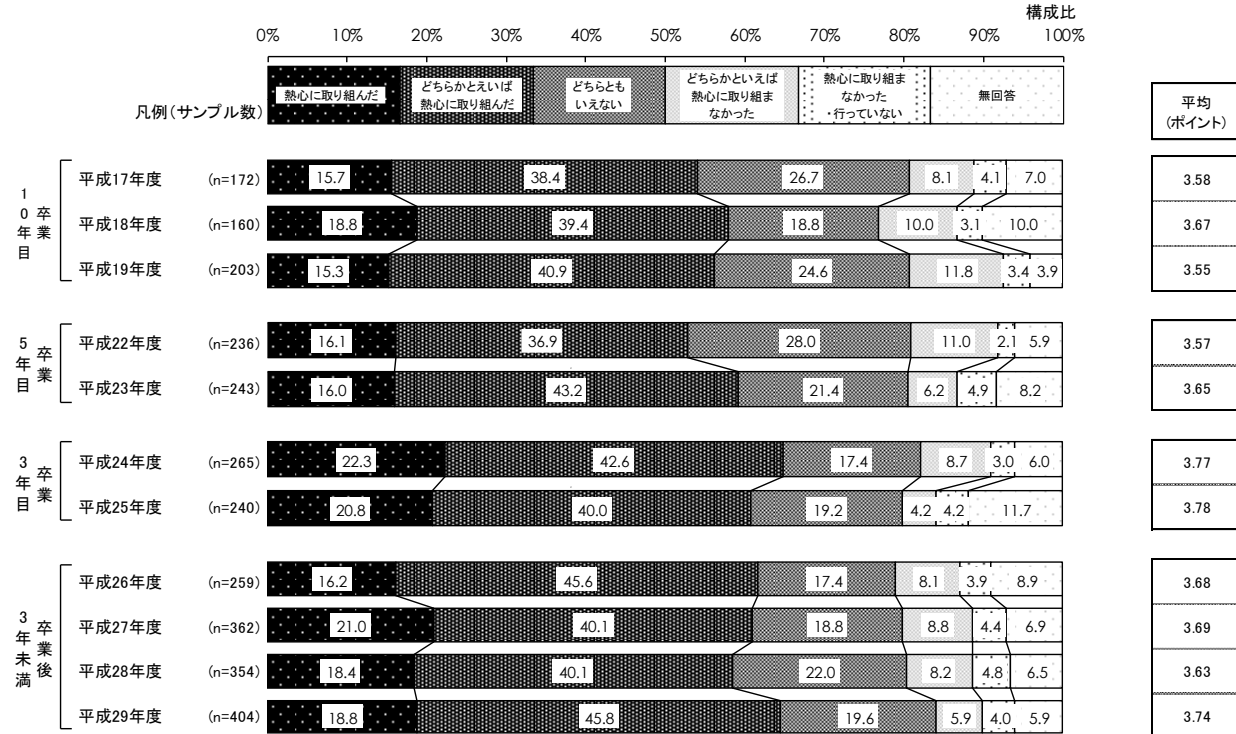


※「熱心に取り組んだ」5ポイント、「どちらかといえば熱心に取り組んだ」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば熱心に取り組まなかった」2ポイント、「熱心に取り組まなかった・行ってない」1ポイントで平均を抽出。

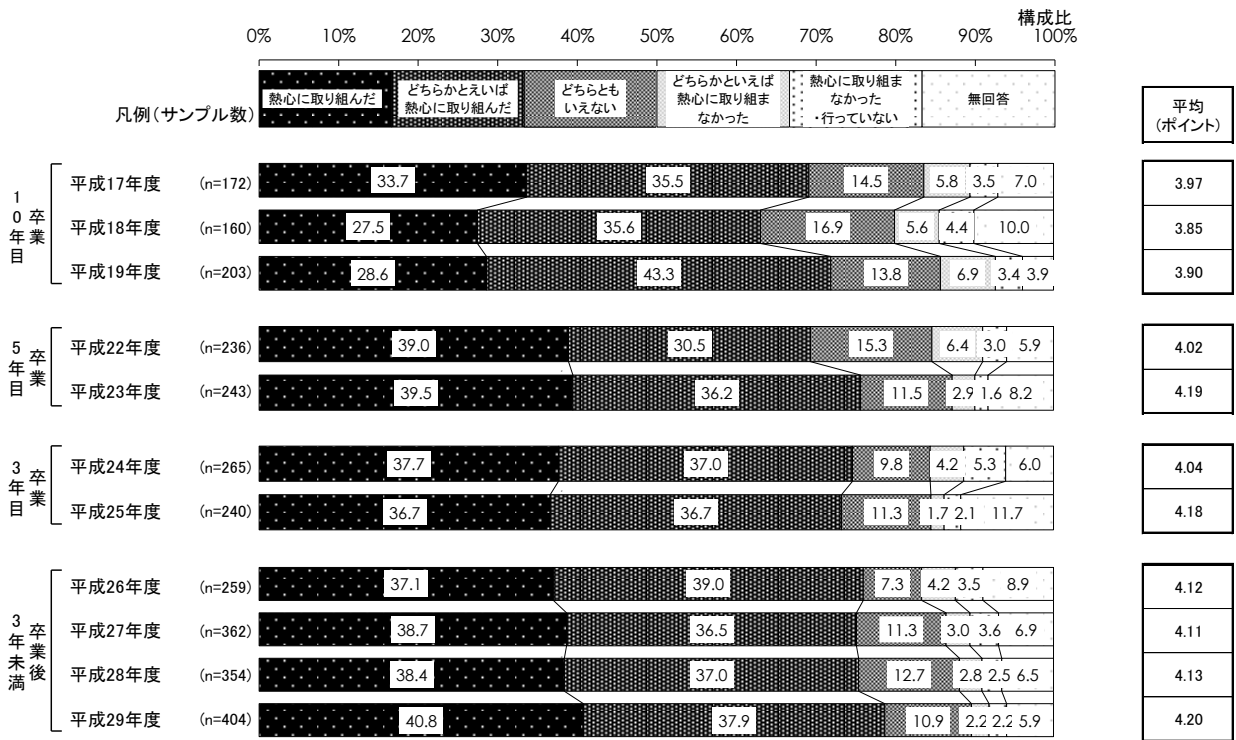
図表3-145 外国語科目 (SA)



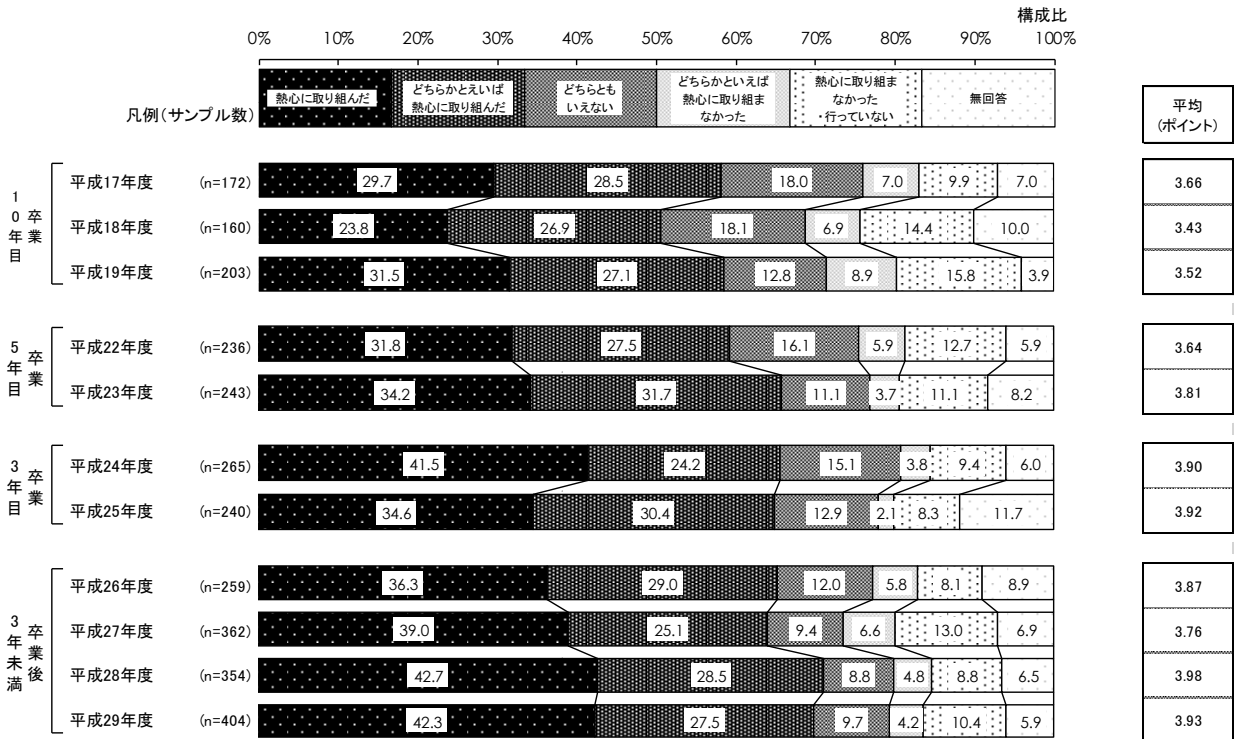
図表3-146 教養科目 (神道科目/外国語を除く) (SA)



図表3-147 専門教育科目 (SA)

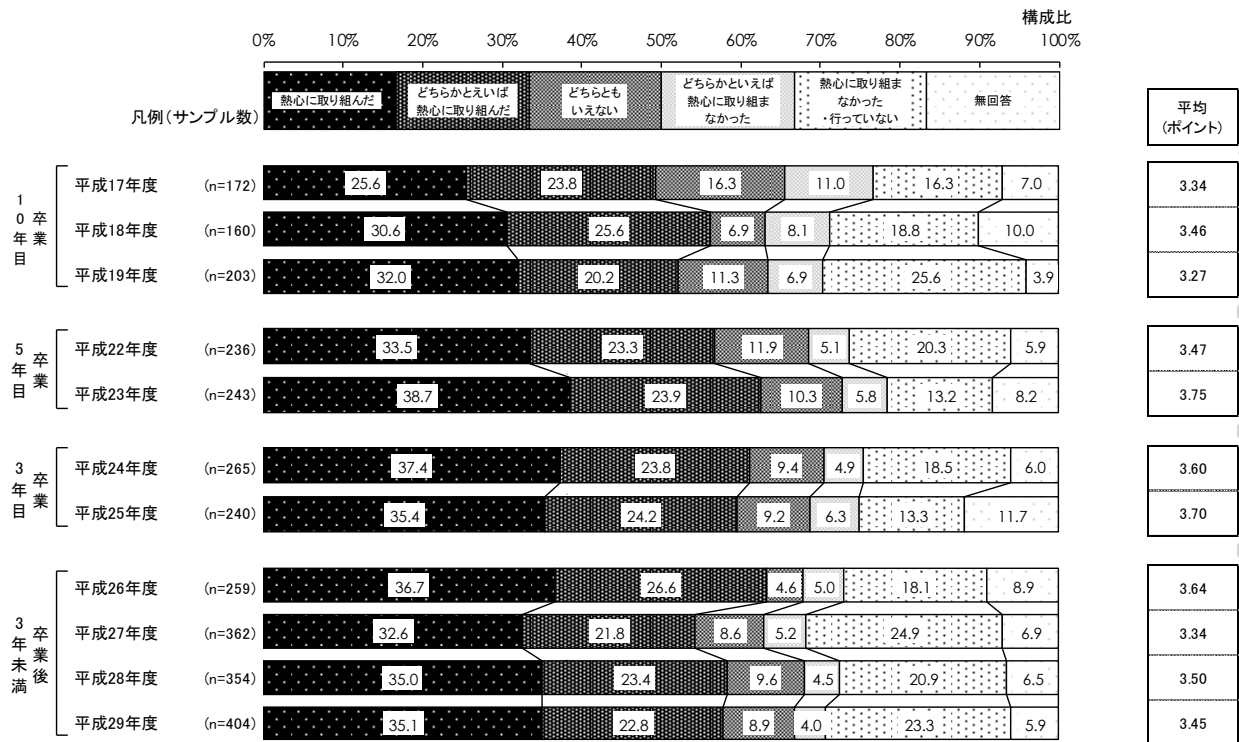


図表3-148 演習・実習・ゼミ活動 (SA)



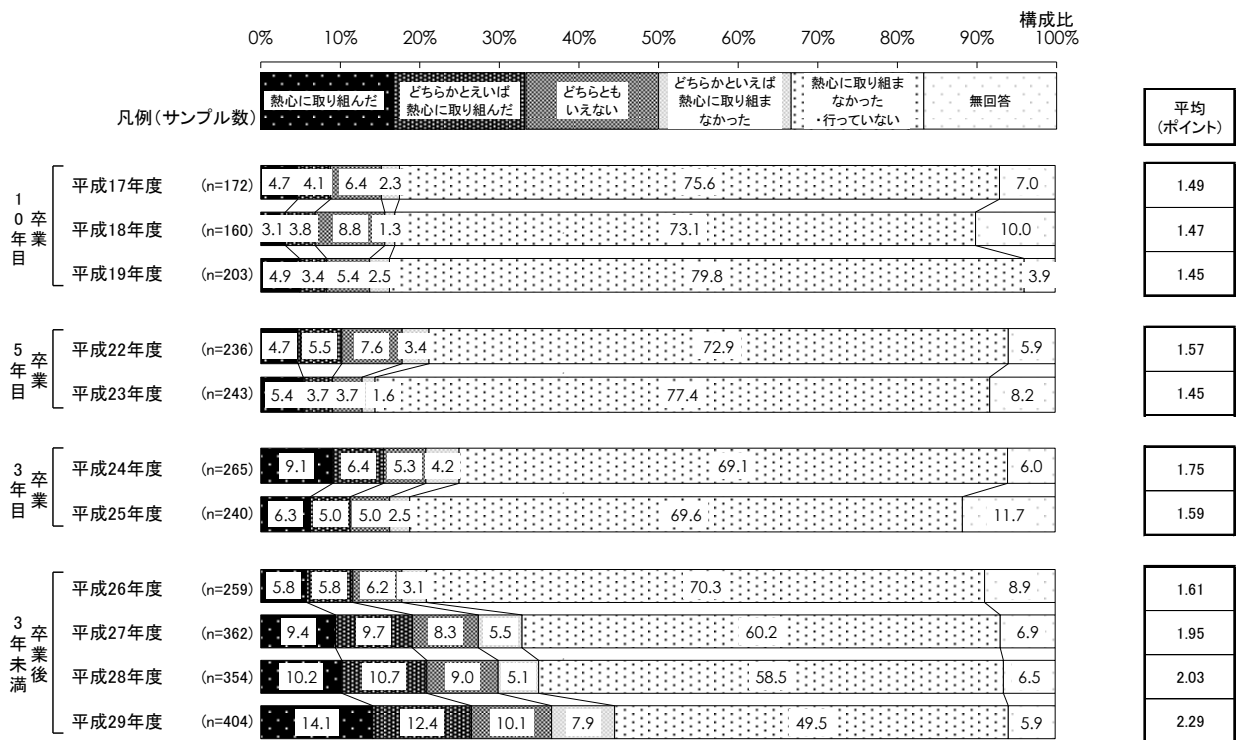
※注) 第1回調査(平成17年度、平成22年度、平成24年度)および第2回調査(平成18年度、平成23年度、平成25年度、平成26年度)では、「演習・実習」として聴取している。

図表3-149 卒業論文・ゼミ論等 (SA)

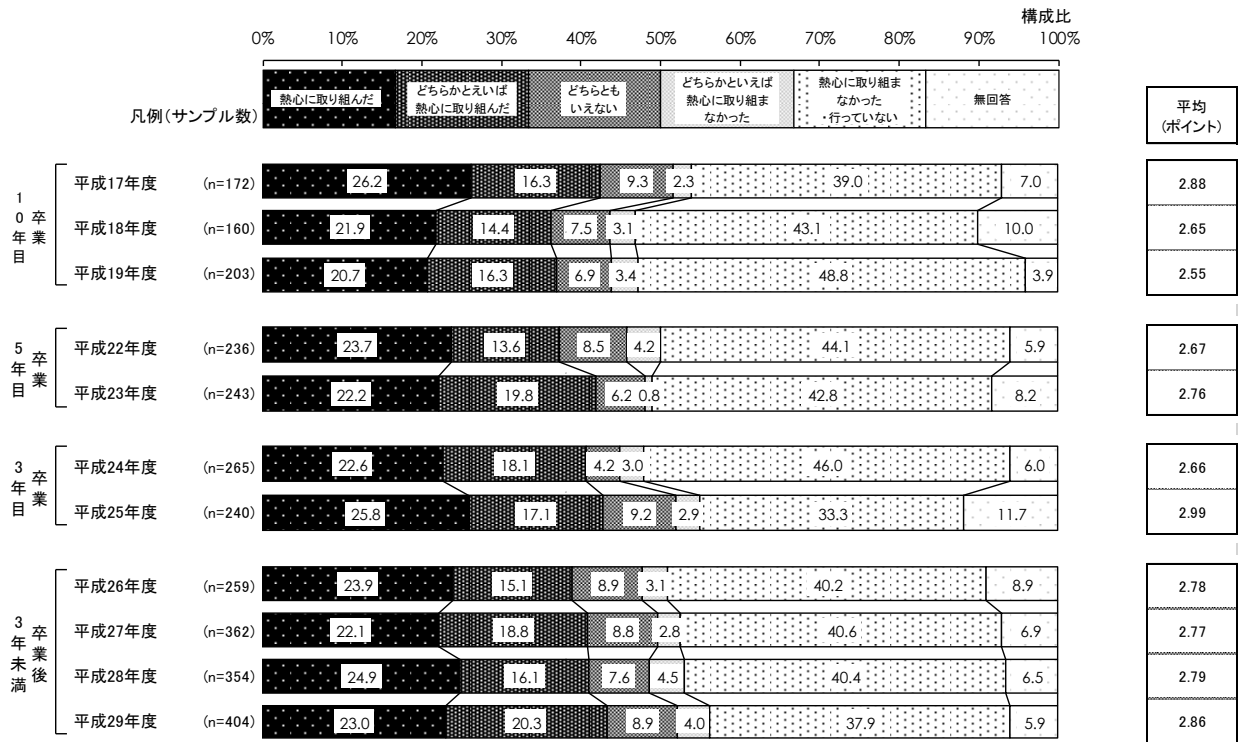


※注) 第1回調査(平成17年度、平成22年度、平成24年度)および第2回調査(平成18年度、平成23年度、平成25年度、平成26年度)では、「卒業論文・ゼミ活動(ゼミ論等)」として聴取している。

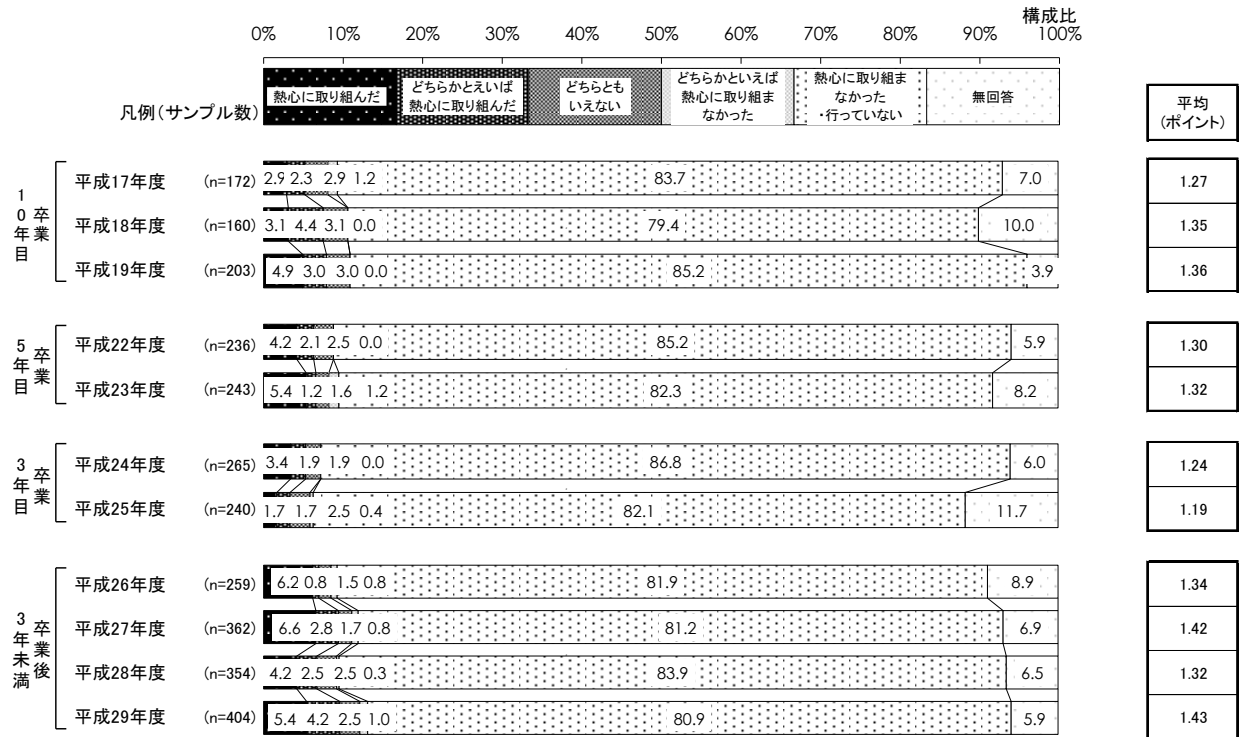
図表3-150 インターンシップ (SA)



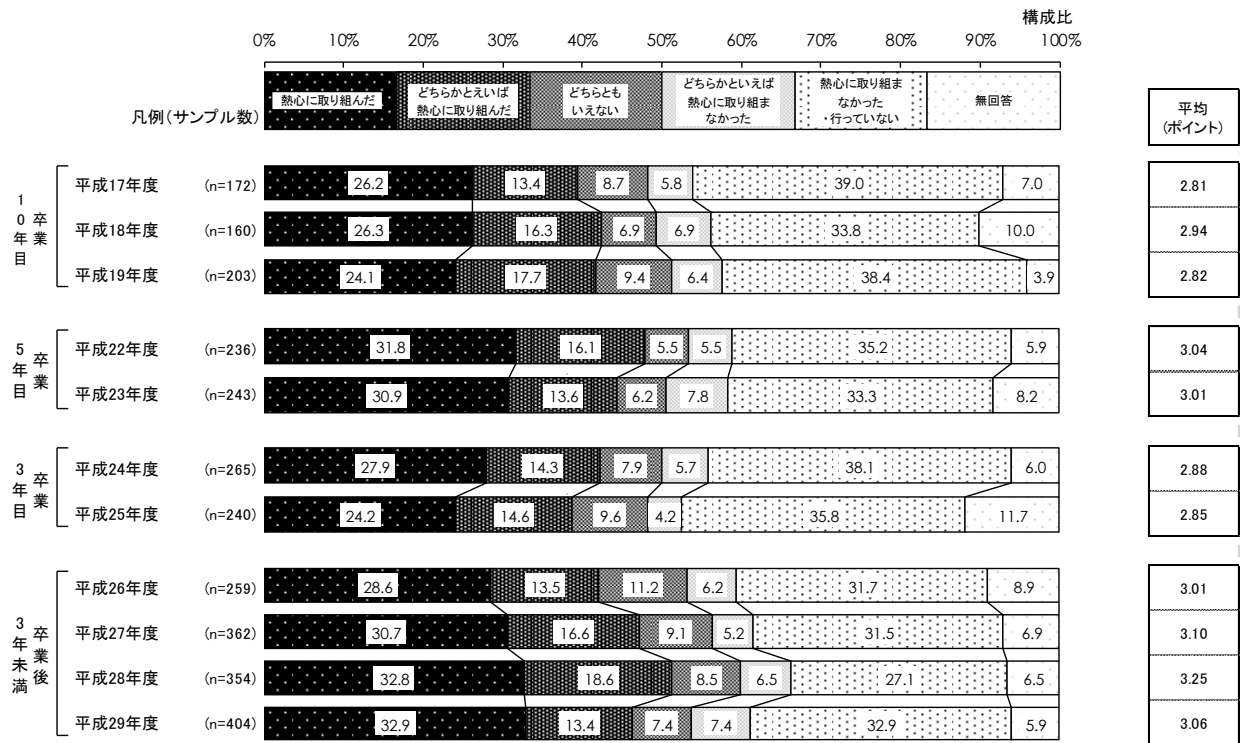
図表3-151 教職・資格関係科目 (SA)



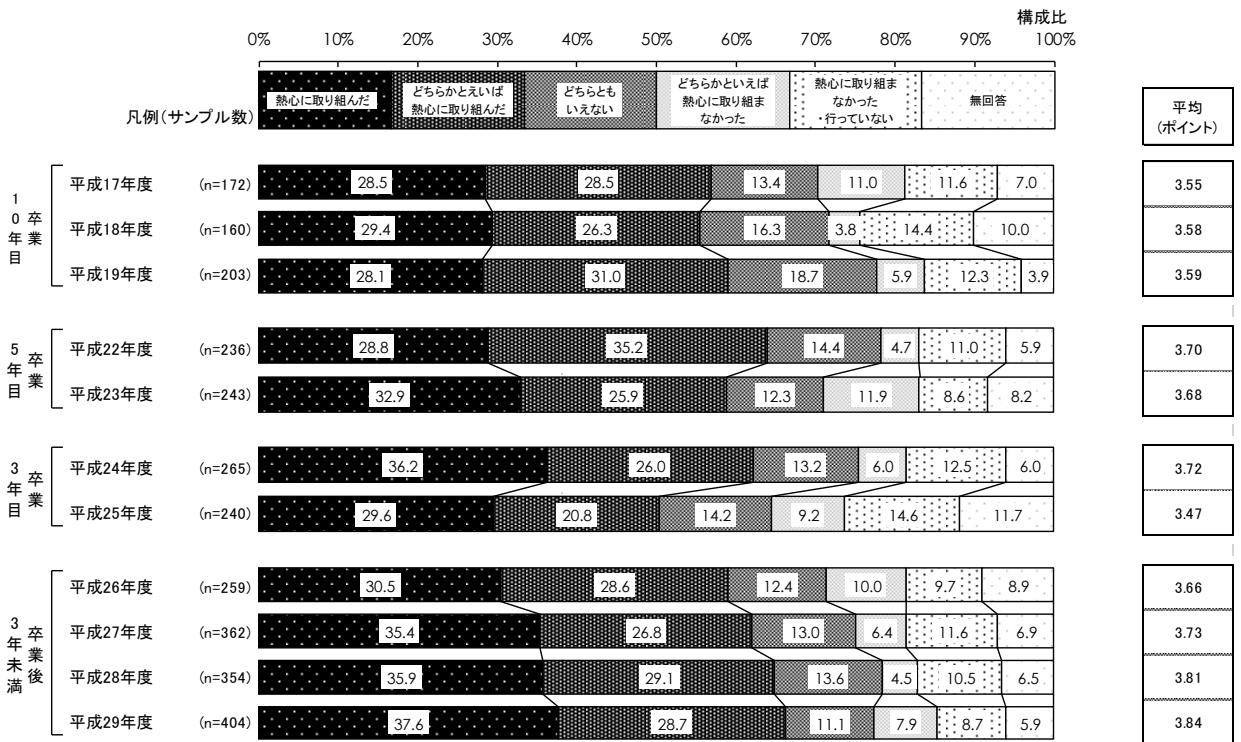
図表3-152 留学 (SA)



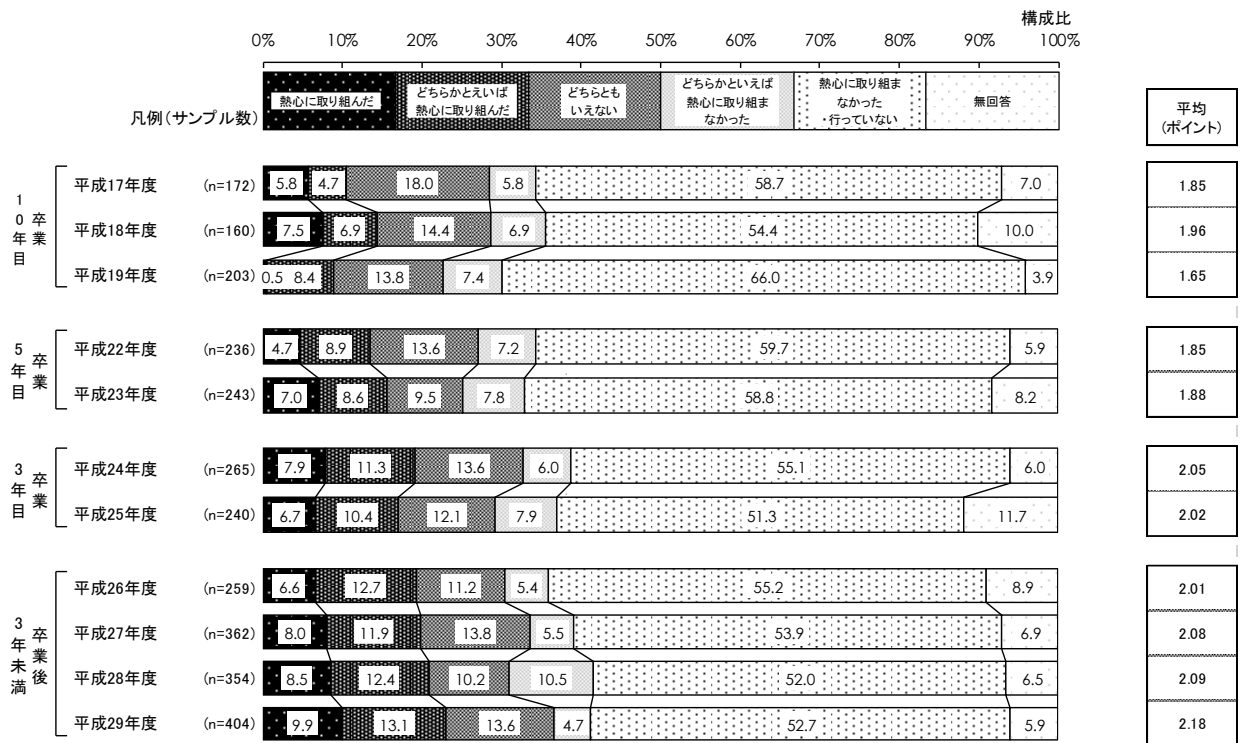
図表3-153 サークル・部活動 (SA)



図表3-154 アルバイト (SA)



図表3-155 社会活動（ボランティア等）（SA）

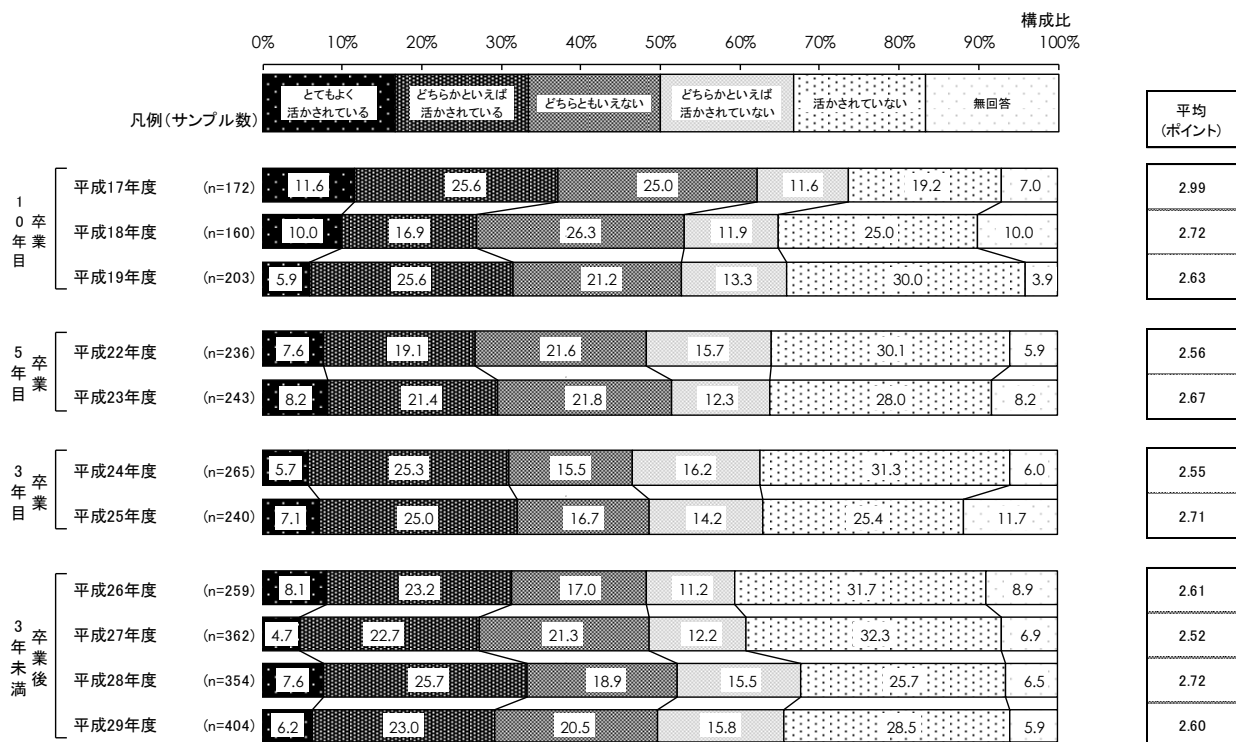


2. 学生時代に学修したことや取り組んだことは、現在の社会人生活でどの程度いかされていますか。(それぞれ1つ選択)

社会人生活においても活かされていることは、学生時代の学修取組状況と概ね連動している。なかでも「インターンシップ」は学生時代の学修取組状況と同様に大きな伸びをみせている。

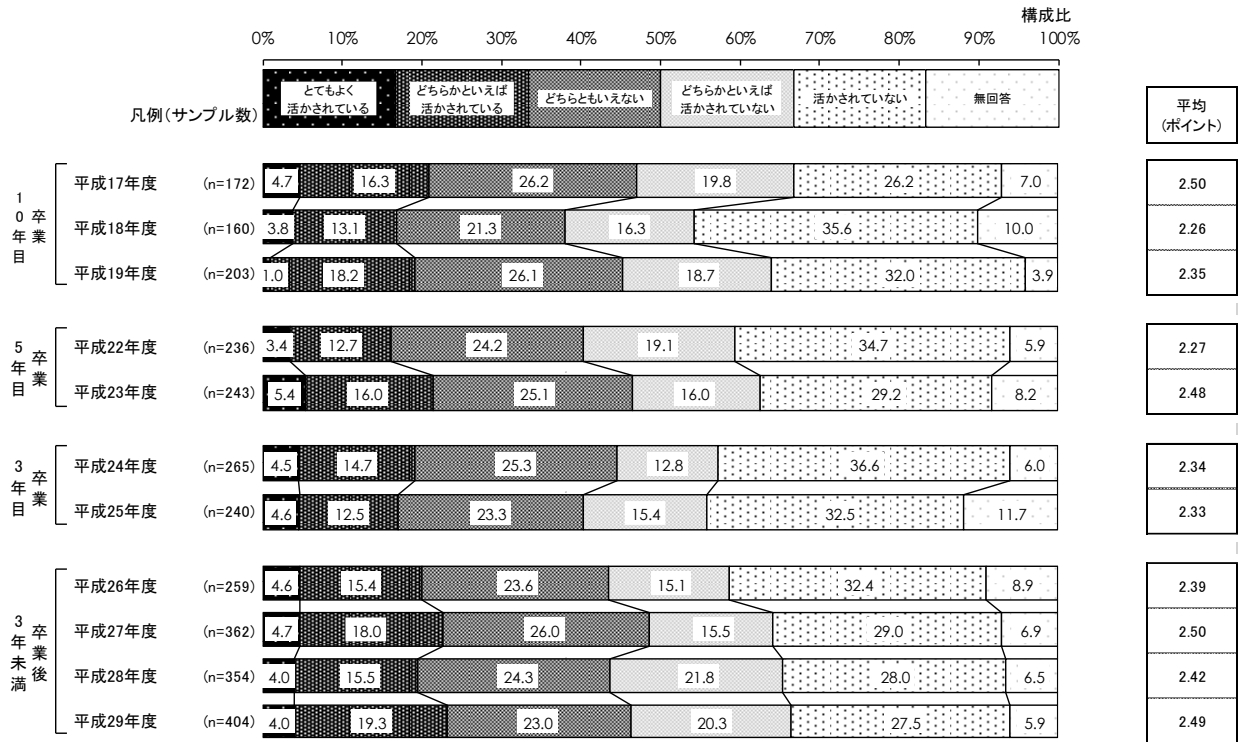
また、卒業間もない卒業生ほど、学生時代の学びの影響を大きくとらえる一方、卒業から時間が経つにつれて、その割合は低下する。これは、社会人経験が長くなるにつれ、社会人経験からの学びの影響が学生時代の学びの影響を次第に上回るためと考えられる。

図表3-156 神道科目 (SA)

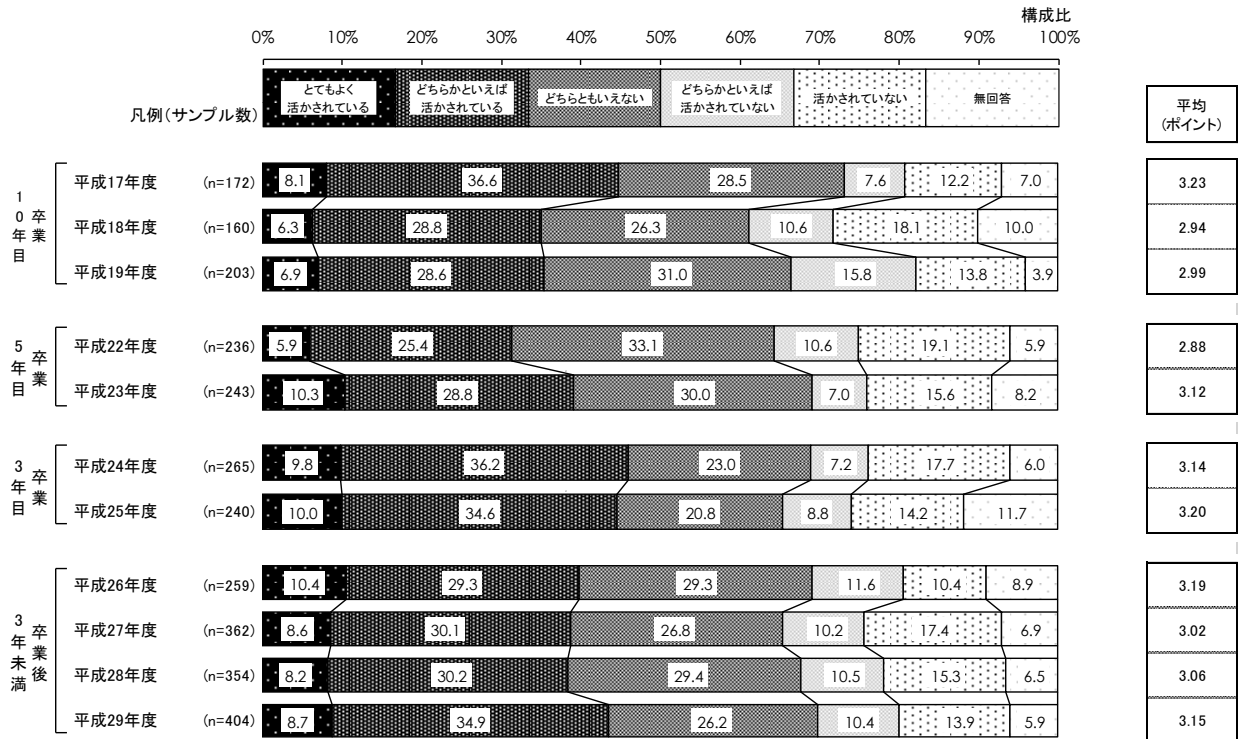


※「とてもよく活かされている」5ポイント、「どちらかといえば活かされている」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば活かされていない」2ポイント、「活かされていない」1ポイントで平均を抽出。

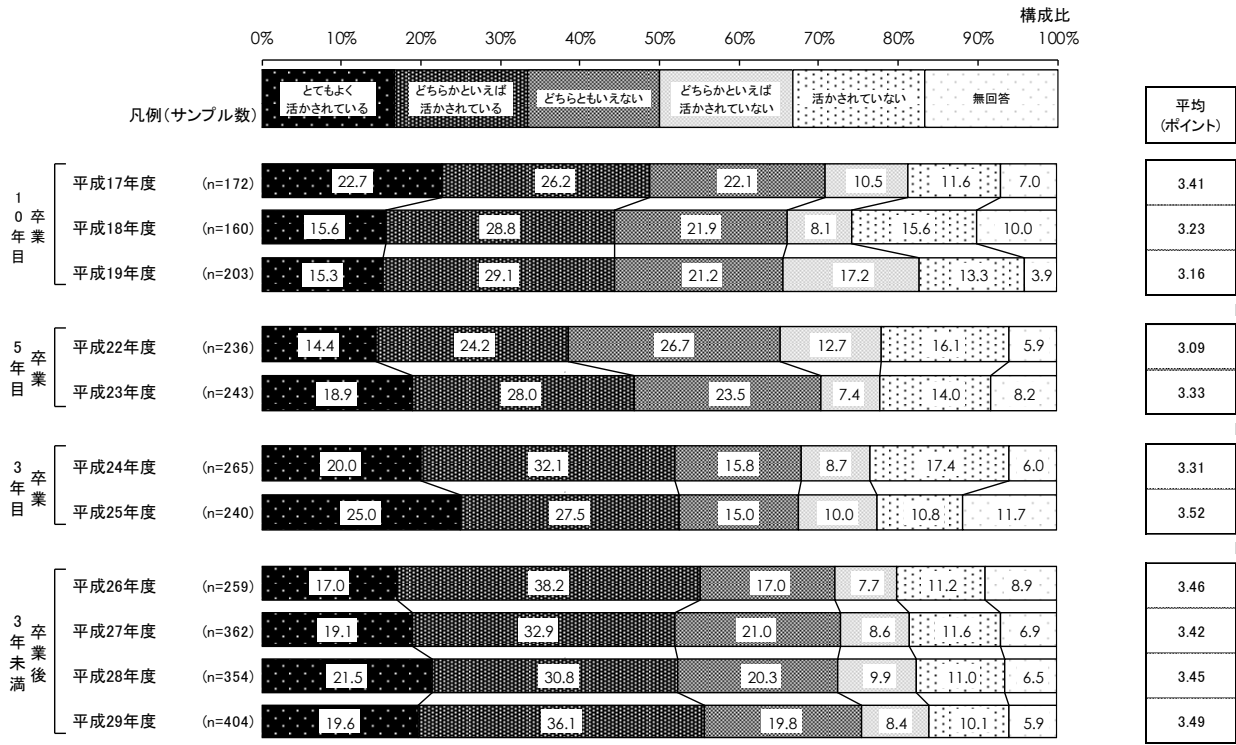
図表3-158 外国語科目 (SA)



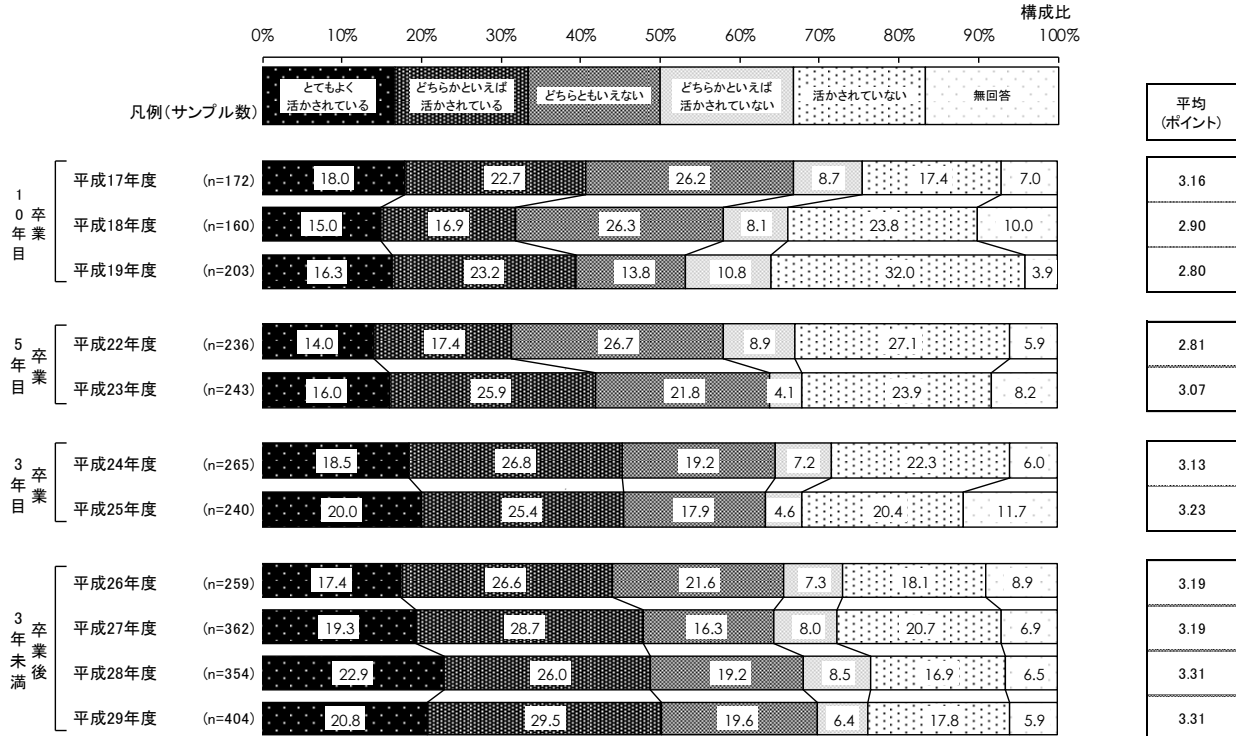
図表3-159 教養科目 (神道科目/外国語科目を除く) (SA)



図表3-160 専門教育科目 (SA)

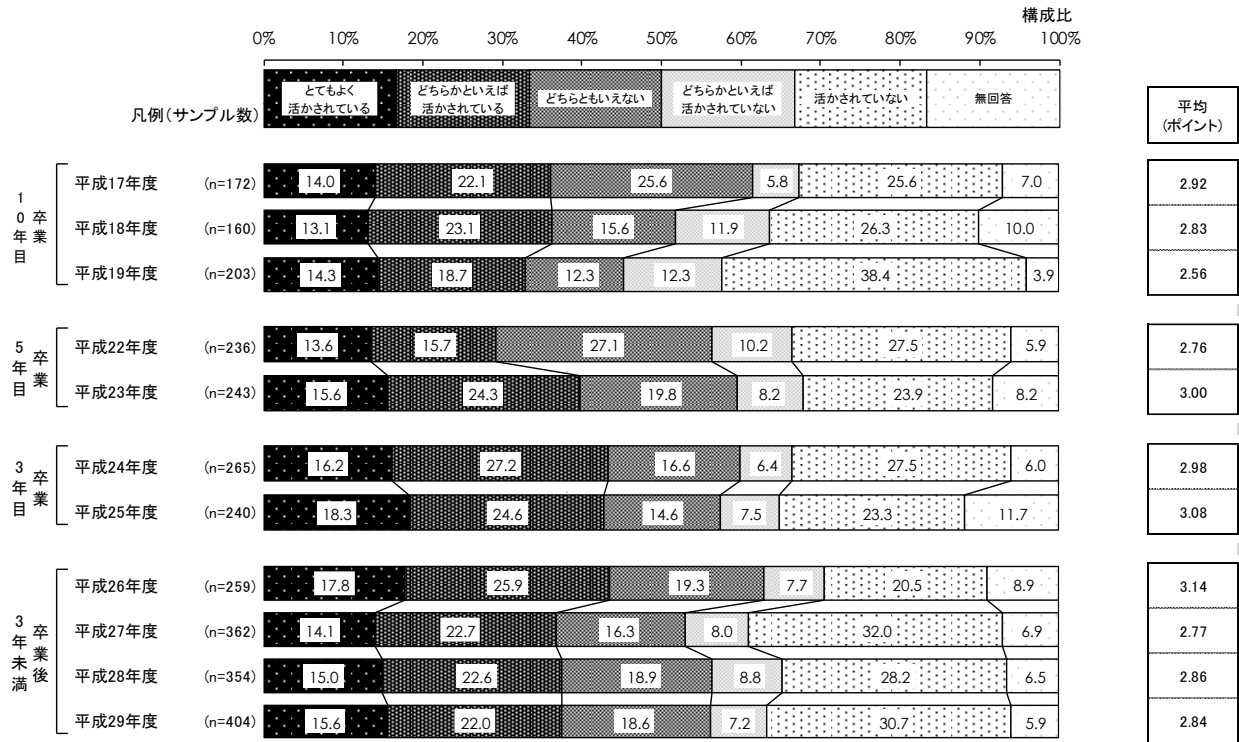


図表3-161 演習・実習・ゼミ活動 (SA)



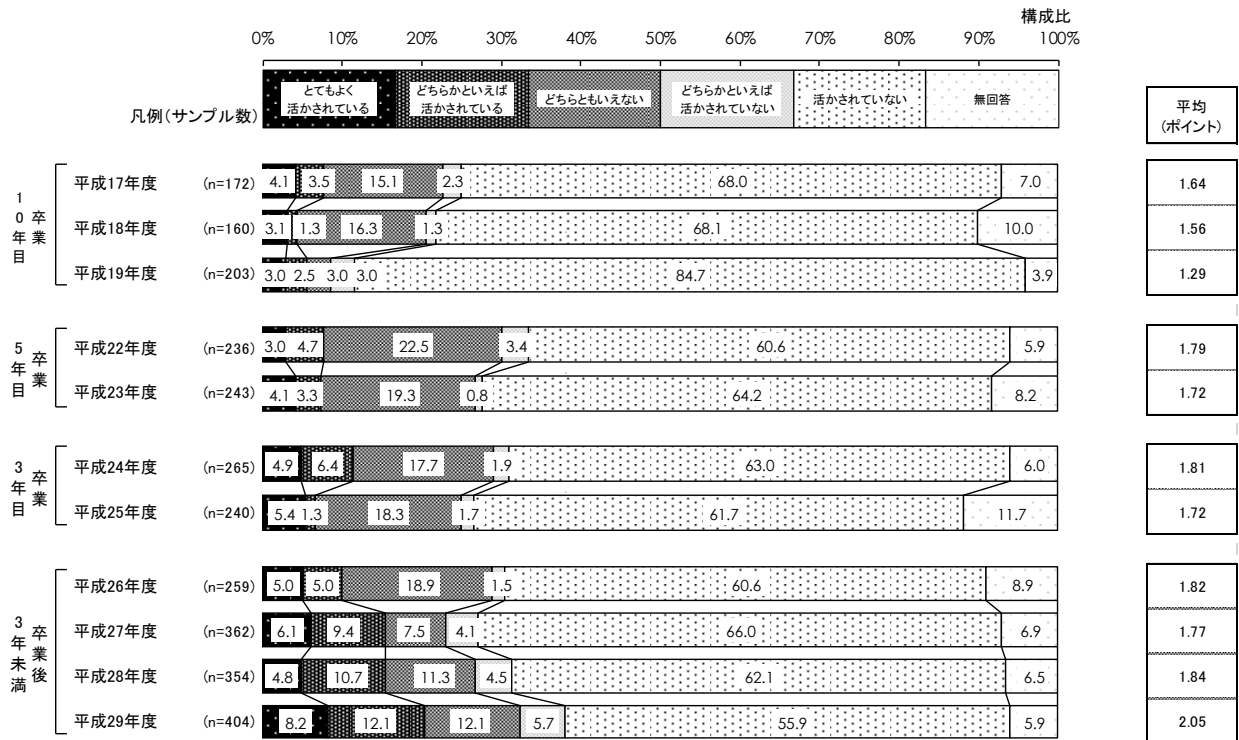
※注) 第1回調査(平成17年度、平成22年度、平成24年度)および第2回調査(平成18年度、平成23年度、平成25年度、平成26年度)では、「演習・実習」として聴取している。

図表 3-162 卒業論文・ゼミ論等 (SA)

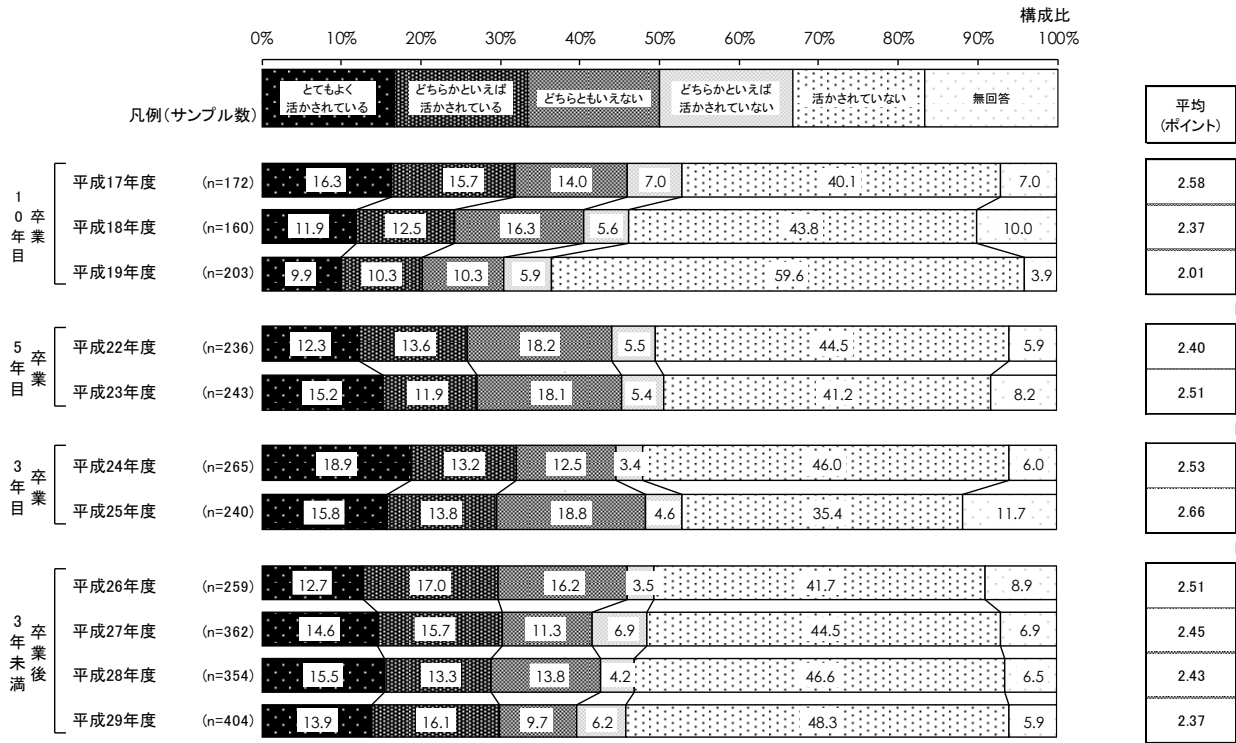


※注) 第1回調査(平成17年度、平成22年度、平成24年度)および第2回調査(平成18年度、平成23年度、平成25年度、平成26年度)では、「卒業論文・ゼミ活動(ゼミ論等)」として聴取している。

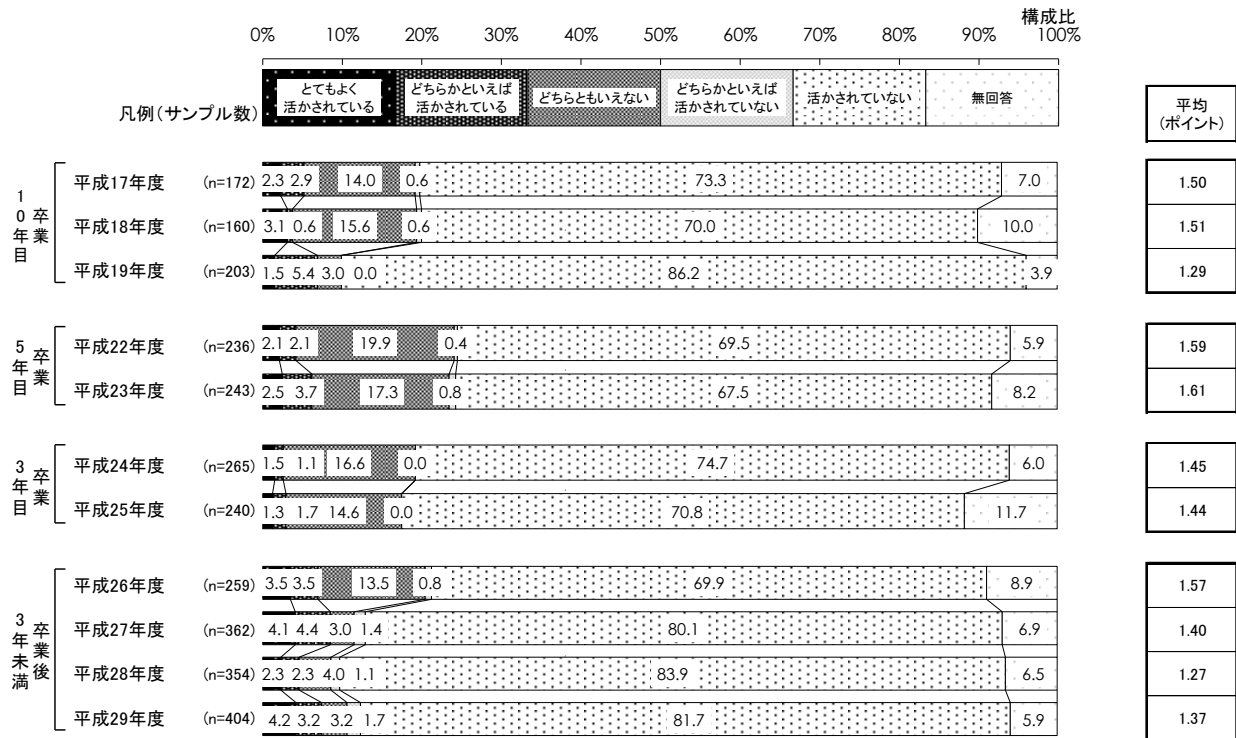
図表 3-163 インターンシップ (SA)



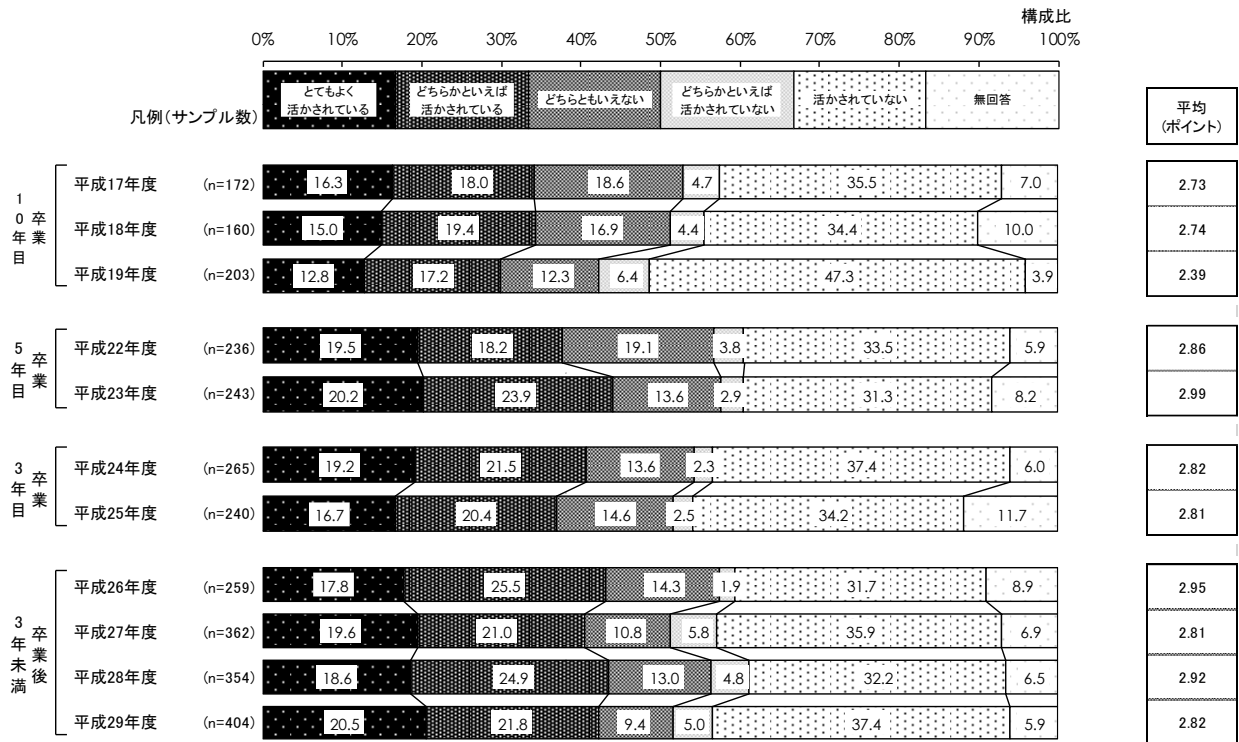
図表3-164 教職・資格関係科目 (SA)



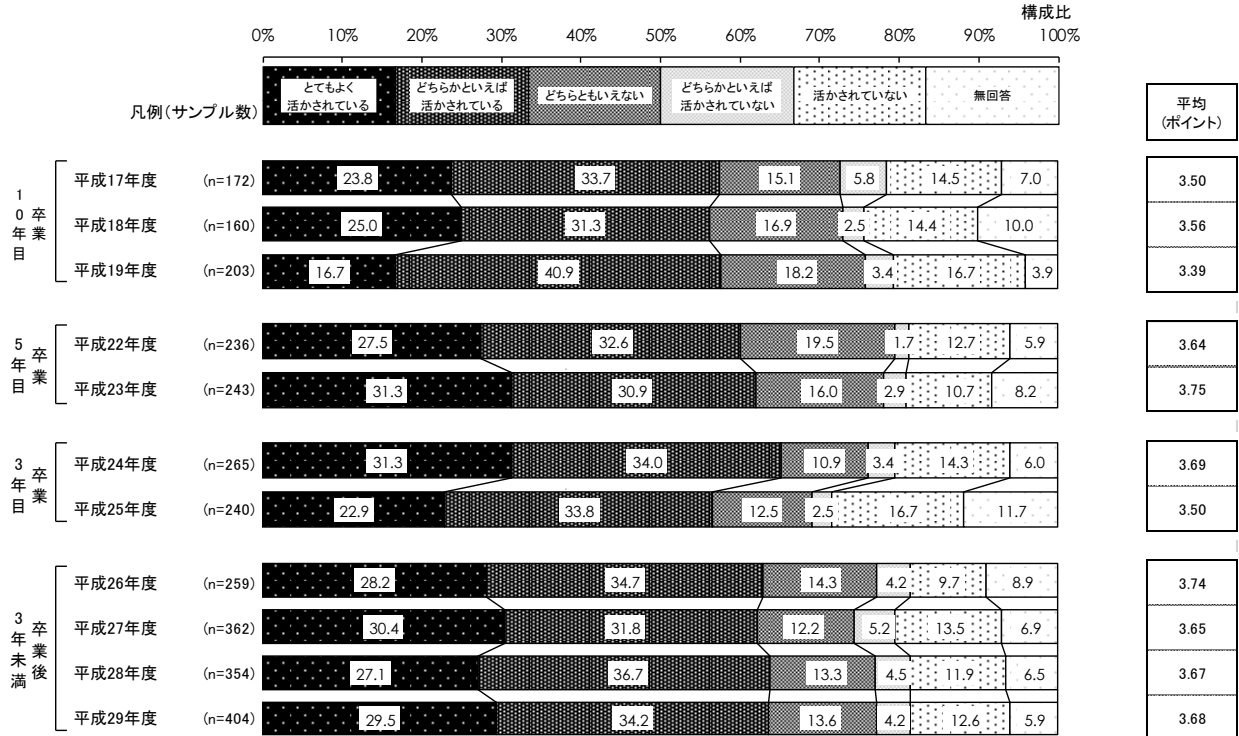
図表3-165 留学 (SA)



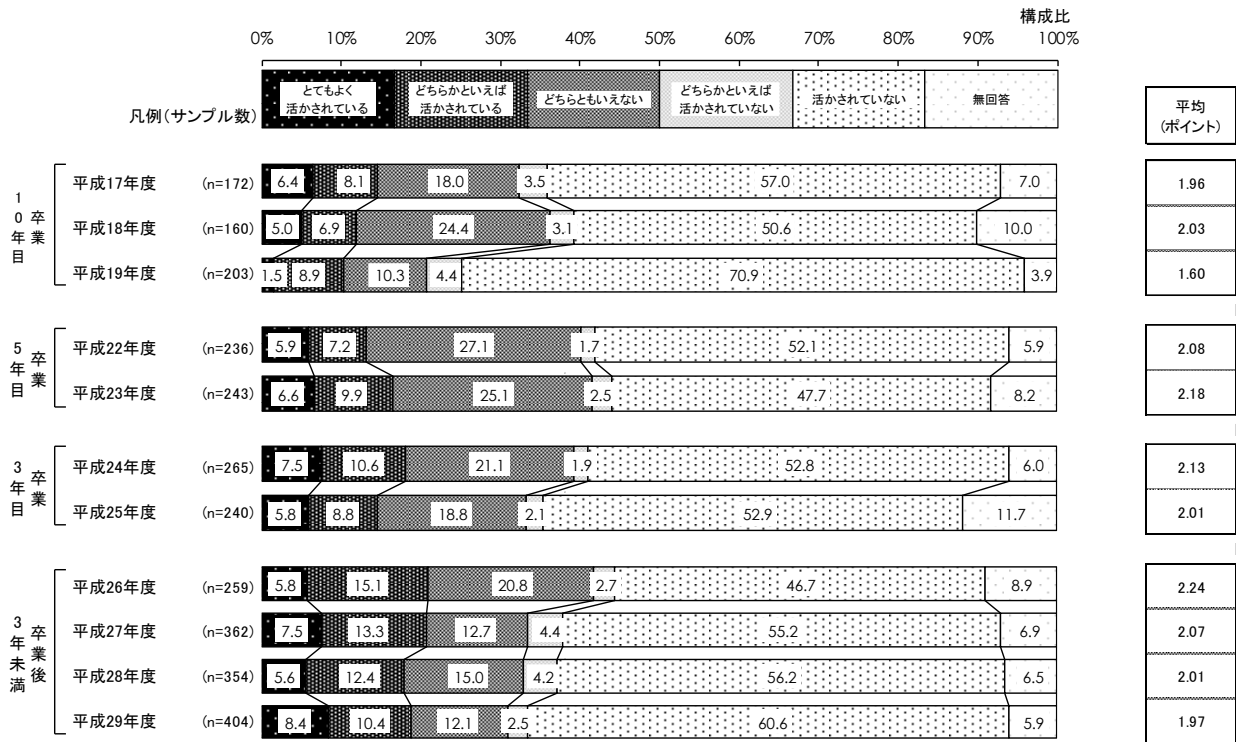
図表3-166 サークル・部活動 (SA)



図表3-167 アルバイト (SA)



図表3-168 社会活動（ボランティア等）（SA）



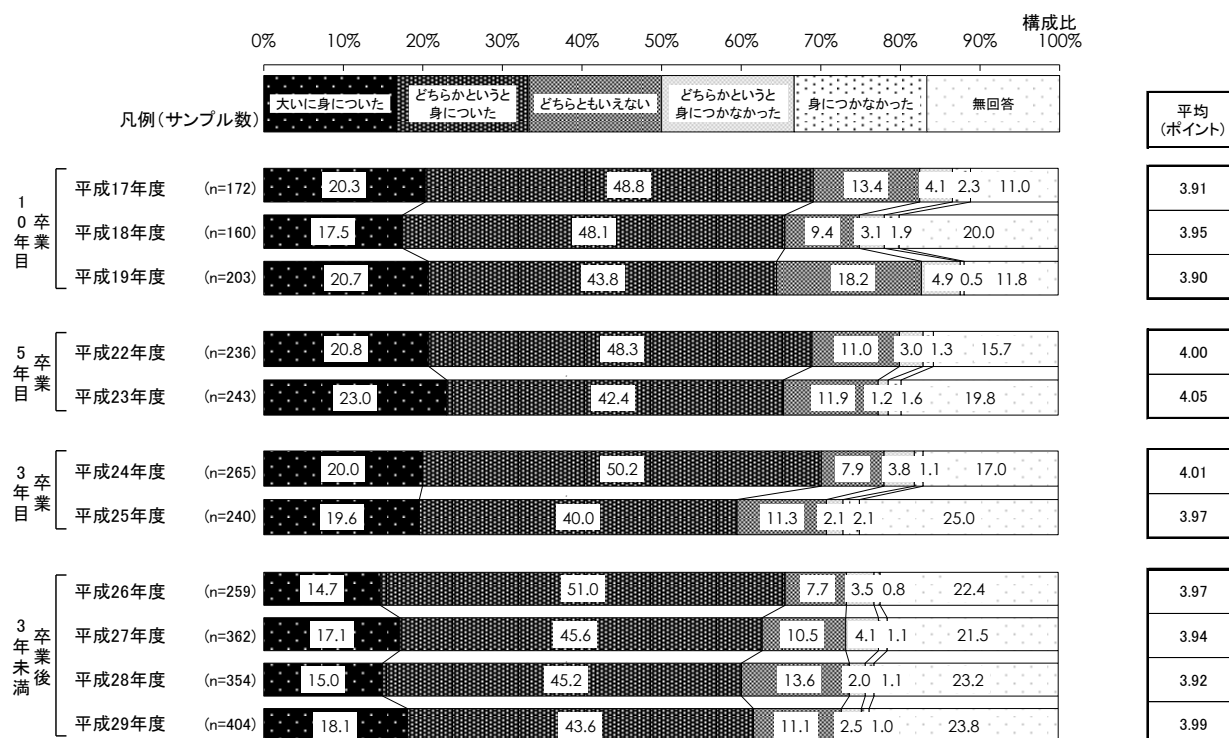
問3 学修の成果

1. 学生時代に身についたことをお答えください。(それぞれ1つ選択)

卒業年度別の平均値に注目すると、卒業年度が直近になるほど概ね高くなっているのは「専門的な知識」「最新の知識」「調査・実験能力」「分析・研究能力」「討議・議論能力」「プレゼンテーション能力」「課題解決能力」「多様な人々・考え方に対する理解力」「諸外国の異文化に対する理解力」となっている。

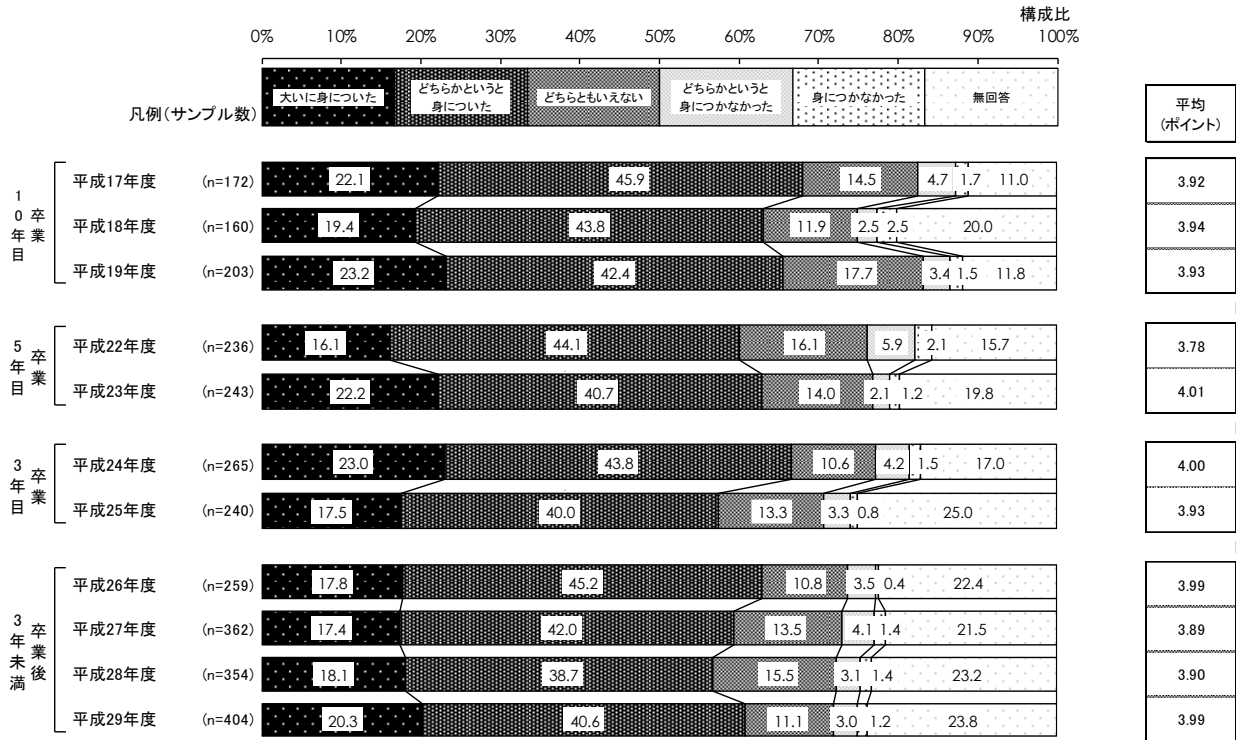
一方、「基礎的な教養・知識」「幅広い教養・知識」「マナーについての教養・知識」は卒業10年目から卒業3年未満まで変わらず高い平均値となっている。卒業年度を問わず、大学時代に幅広く教養・知識を得る機会があったことが伺える。

図表3-169 基礎的な教養・知識 (SA)

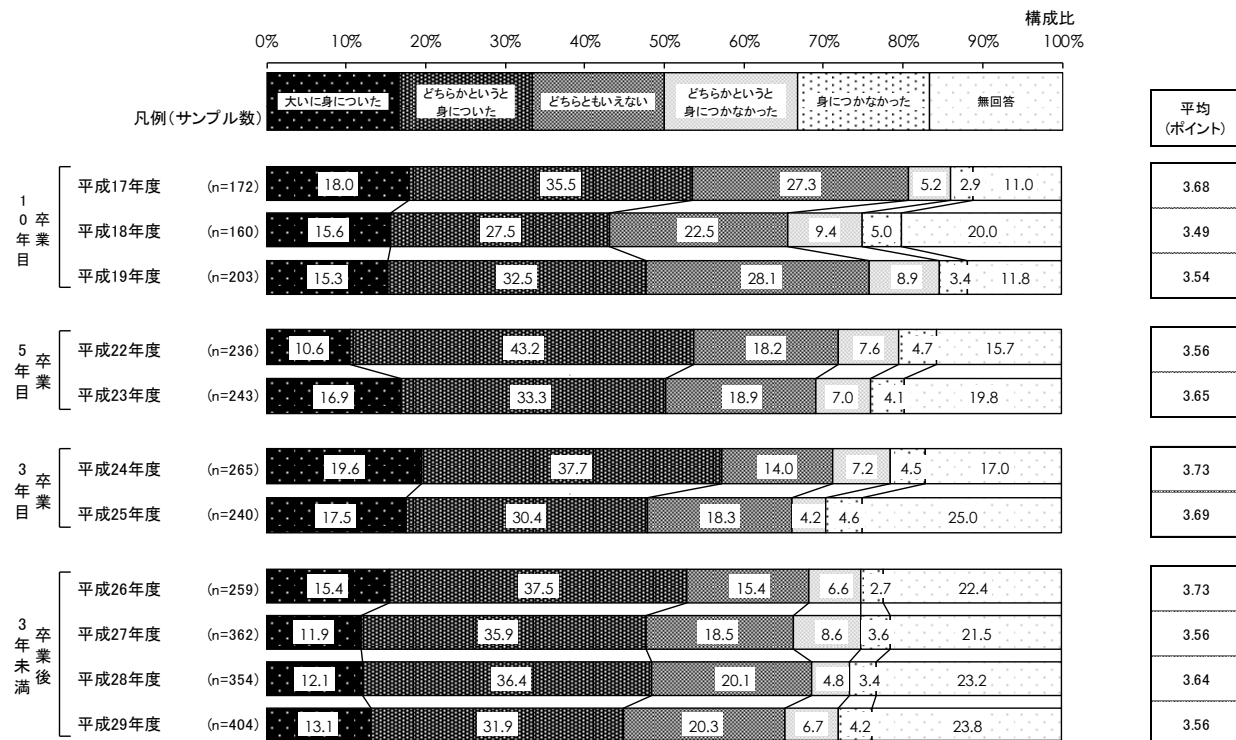


※ 「大いに身についた」5ポイント、「どちらかという身についた」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかという身につかなかった」2ポイント、「身につかなかった」1ポイントで平均を抽出。

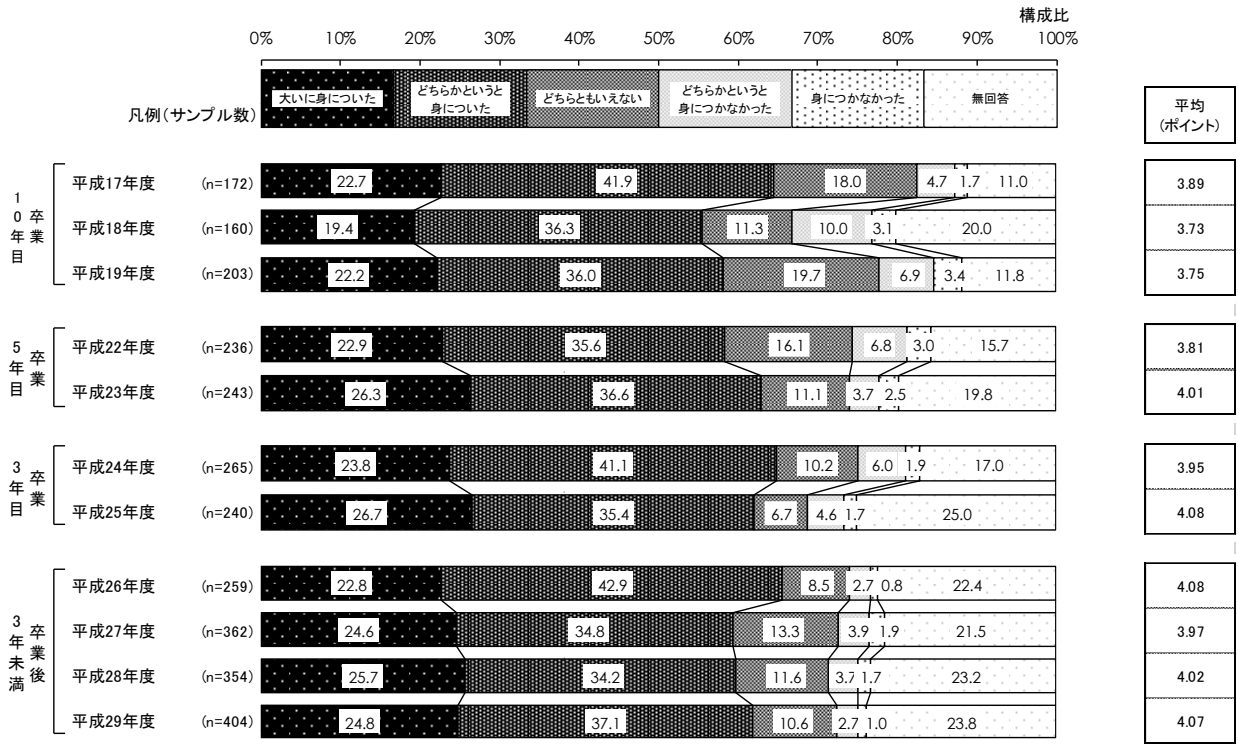
図表3-170 幅広い教養・知識 (SA)



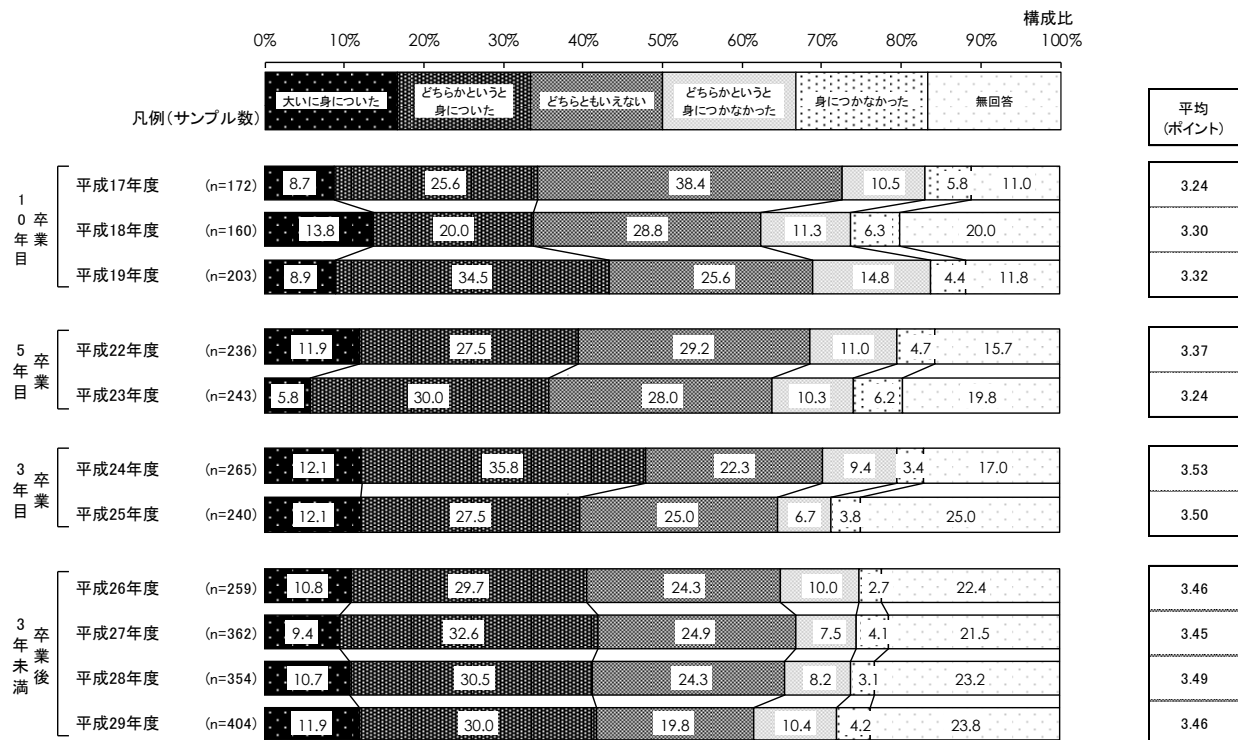
図表3-171 マナーについての教養・知識 (SA)



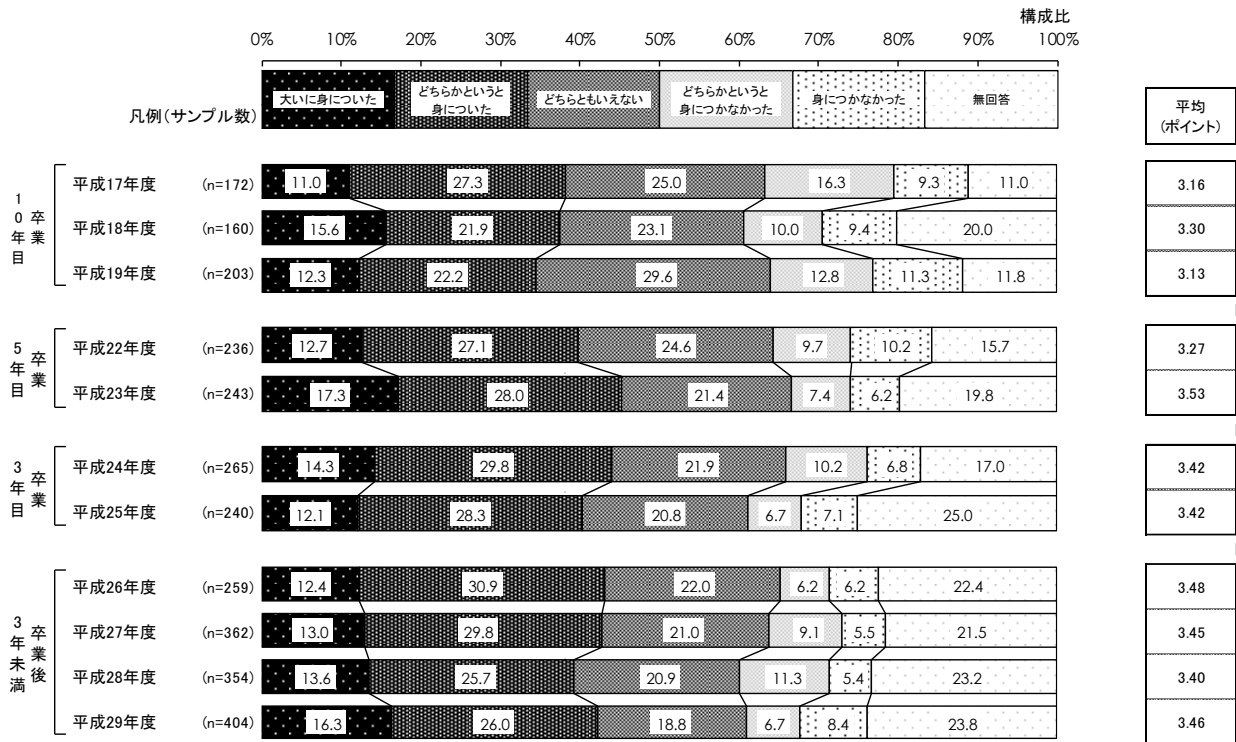
図表 3-172 専門的な知識 (SA)



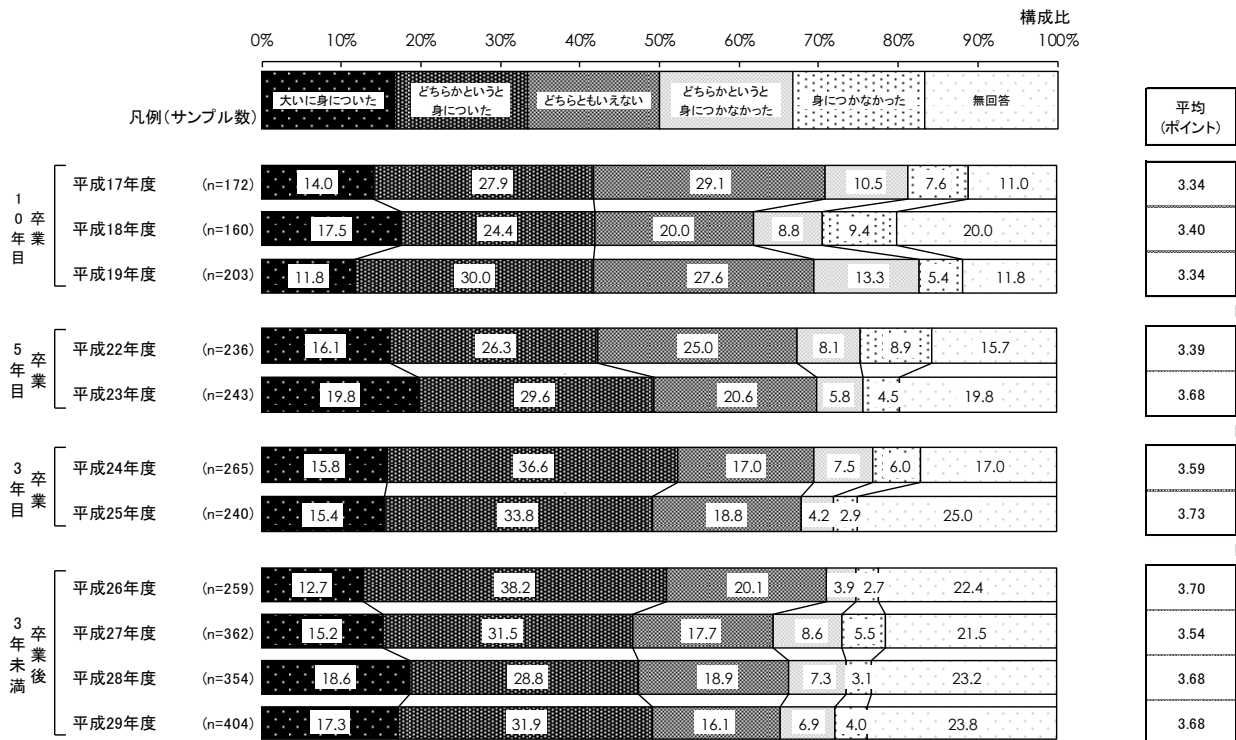
図表 3-173 最新の知識 (SA)



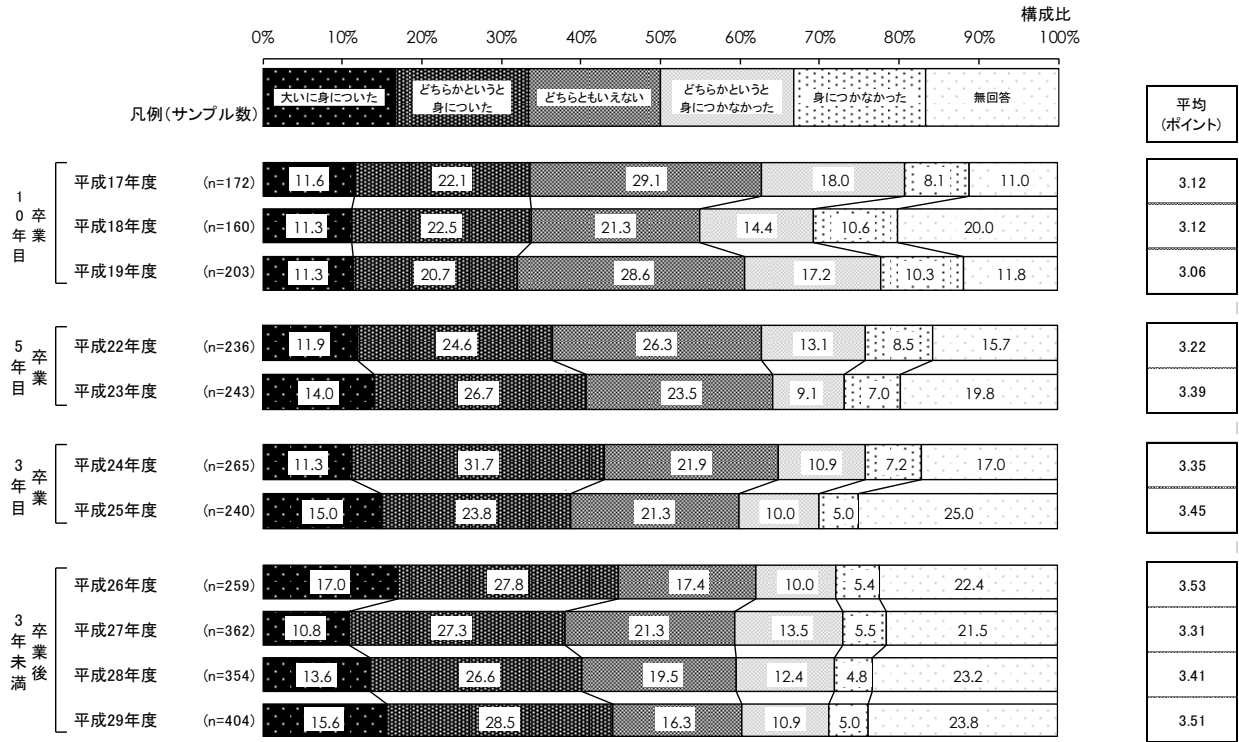
図表3-174 調査・実験能力 (SA)



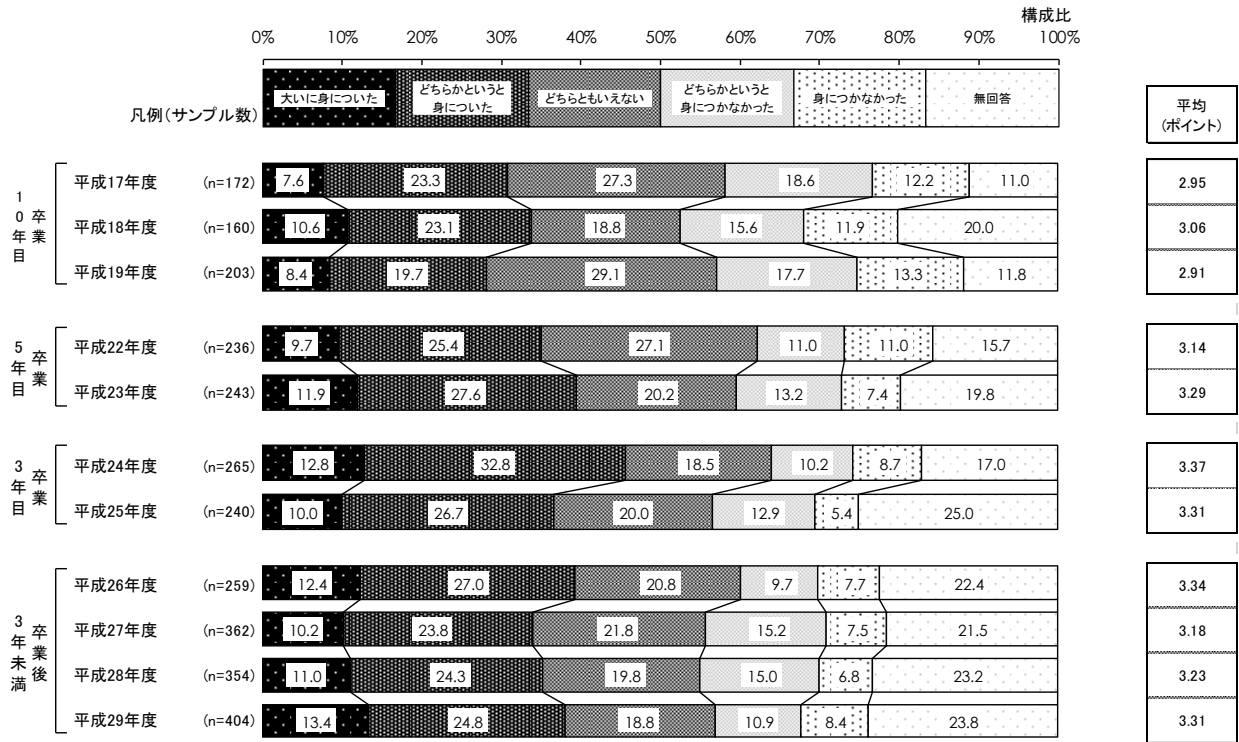
図表3-175 分析・研究能力 (SA)



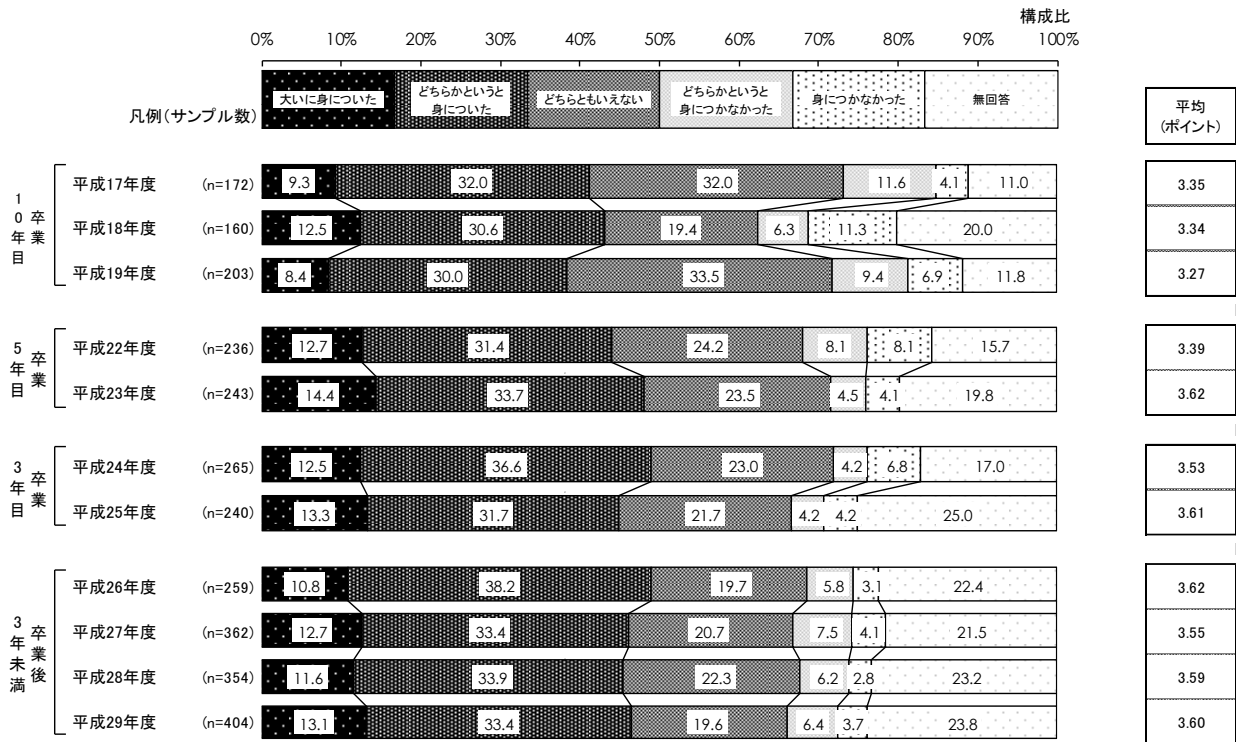
図表3-176 討議・議論能力 (SA)



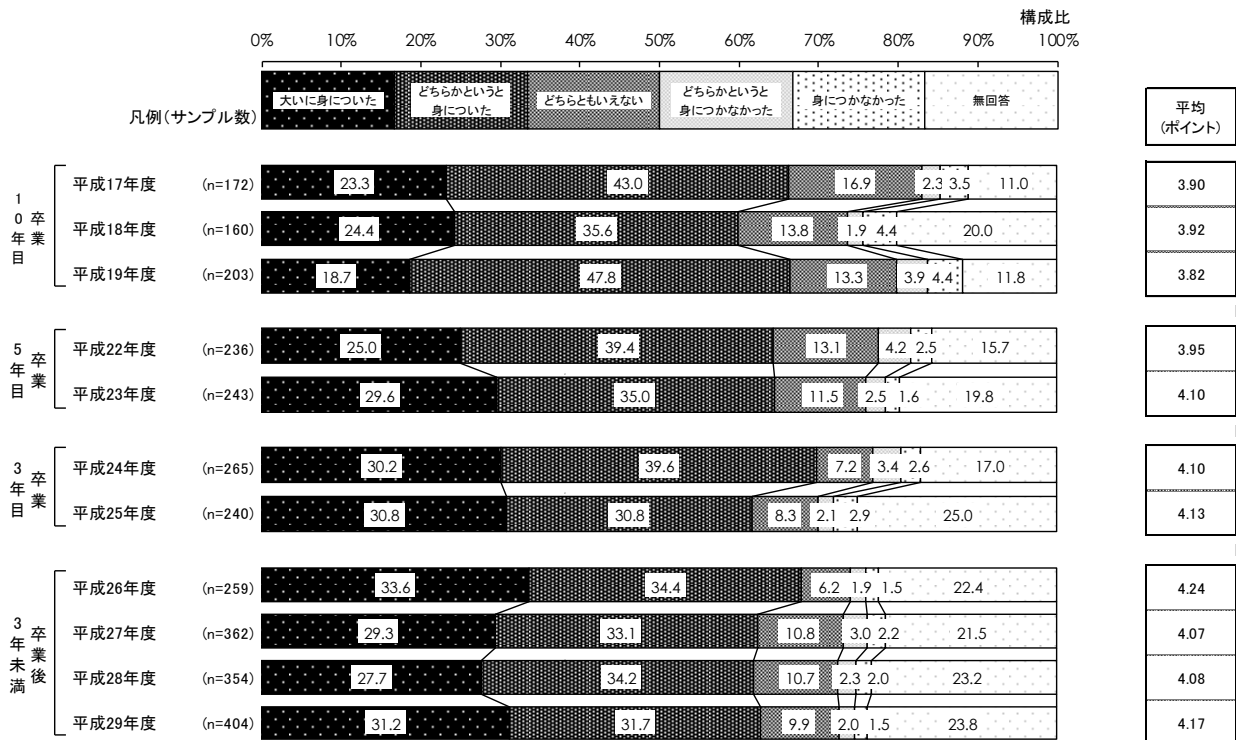
図表3-177 プレゼンテーション能力 (SA)



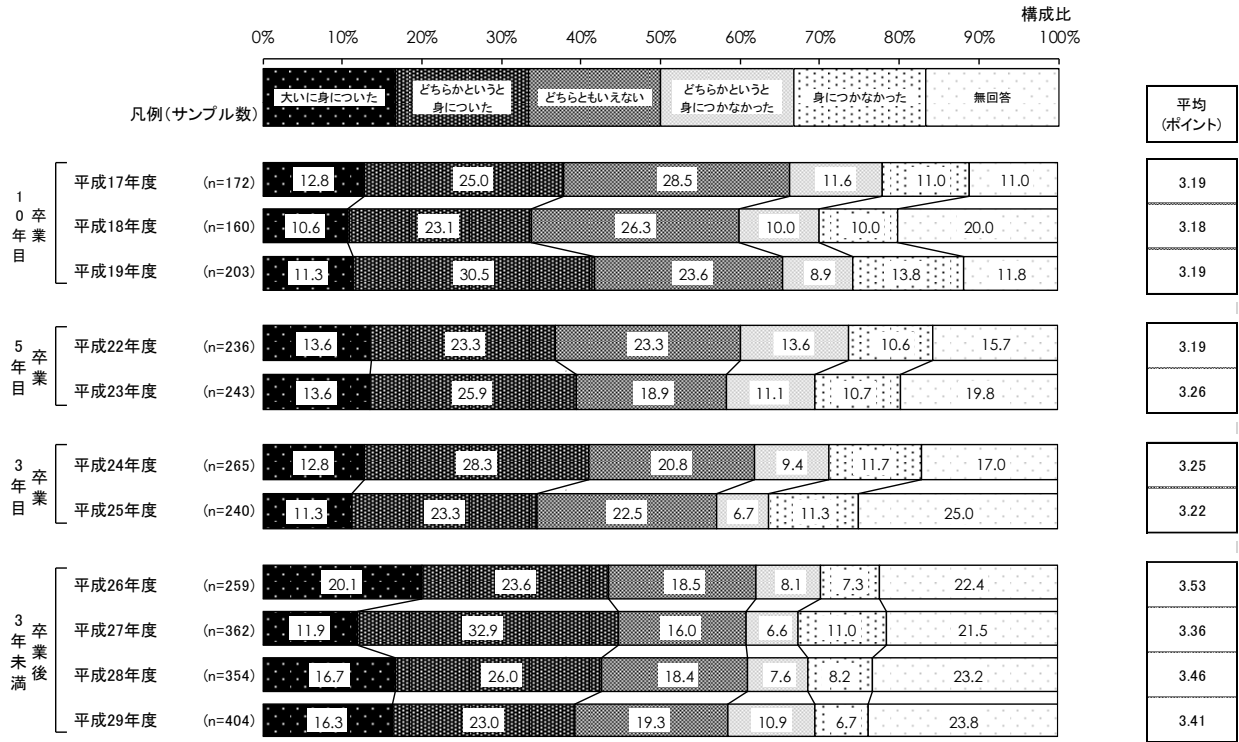
図表3-178 課題解決能力 (SA)



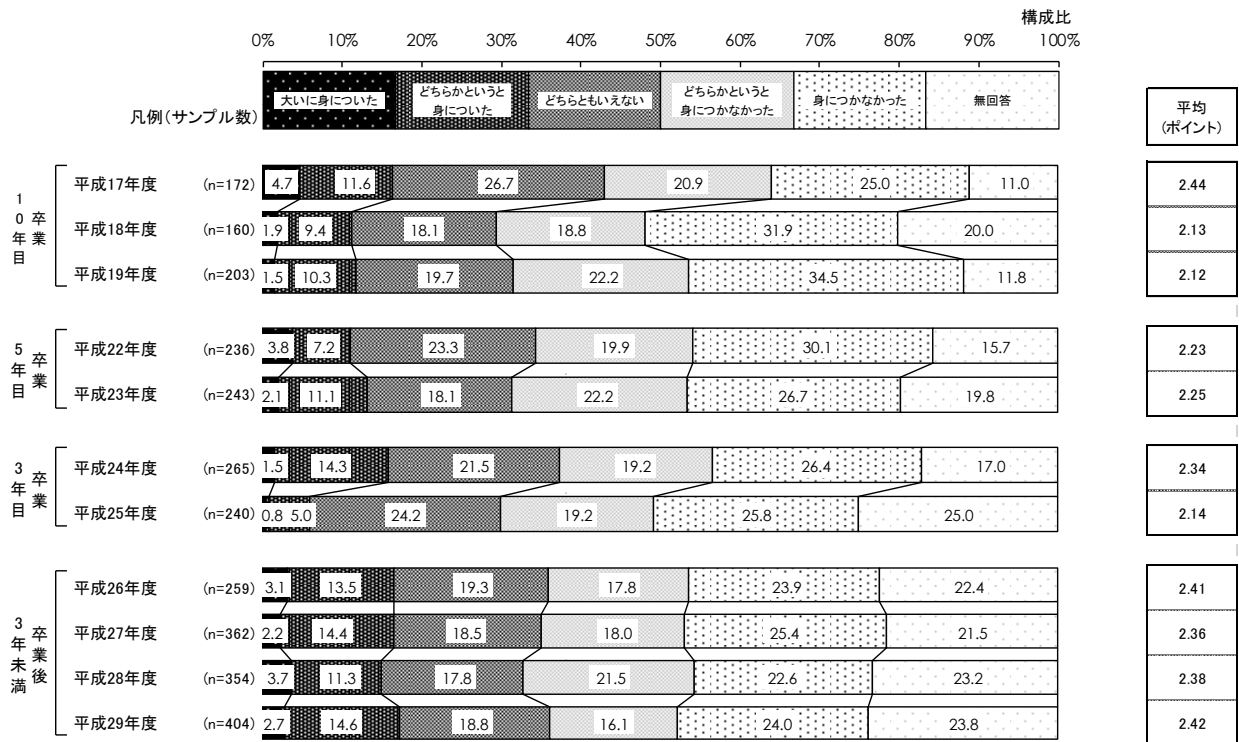
図表3-179 多様な人々・考え方に対する理解力 (SA)



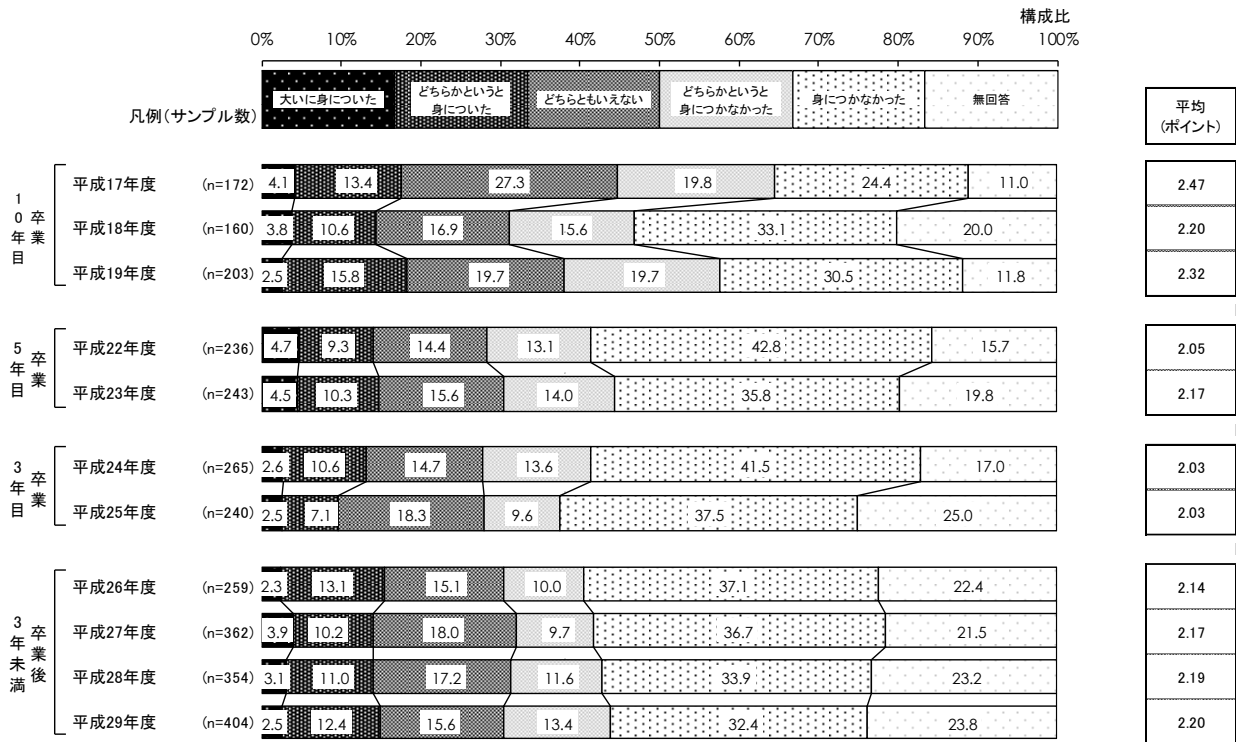
図表3-180 諸外国の異文化に対する理解力 (SA)



図表3-181 英語能力 (SA)



図表3-182 英語以外の語学能力 (SA)

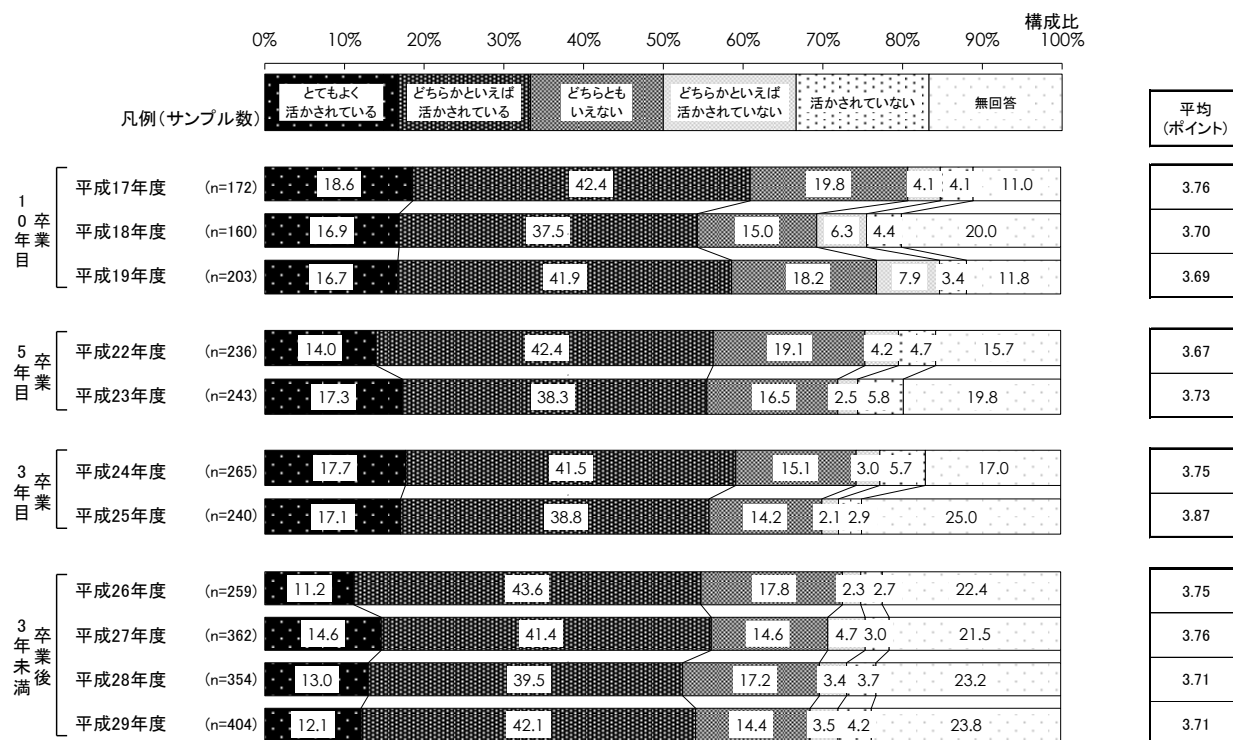


2. 学生時代に修得したと思われる知識や能力のうち、現在に活かされているものをお答えください。(それぞれ1つ選択)

現在においても活かされていることは、学生時代に身についたことと概ね連動した傾向が見られる。卒業年度別の平均値に注目したとき、「最新の知識」「調査・実験能力」「分析・研究能力」「討議・議論能力」「プレゼンテーション能力」「課題解決能力」「多様な人々・考え方に対する理解力」は卒業年度が直近になるほど概ね高くなっている。

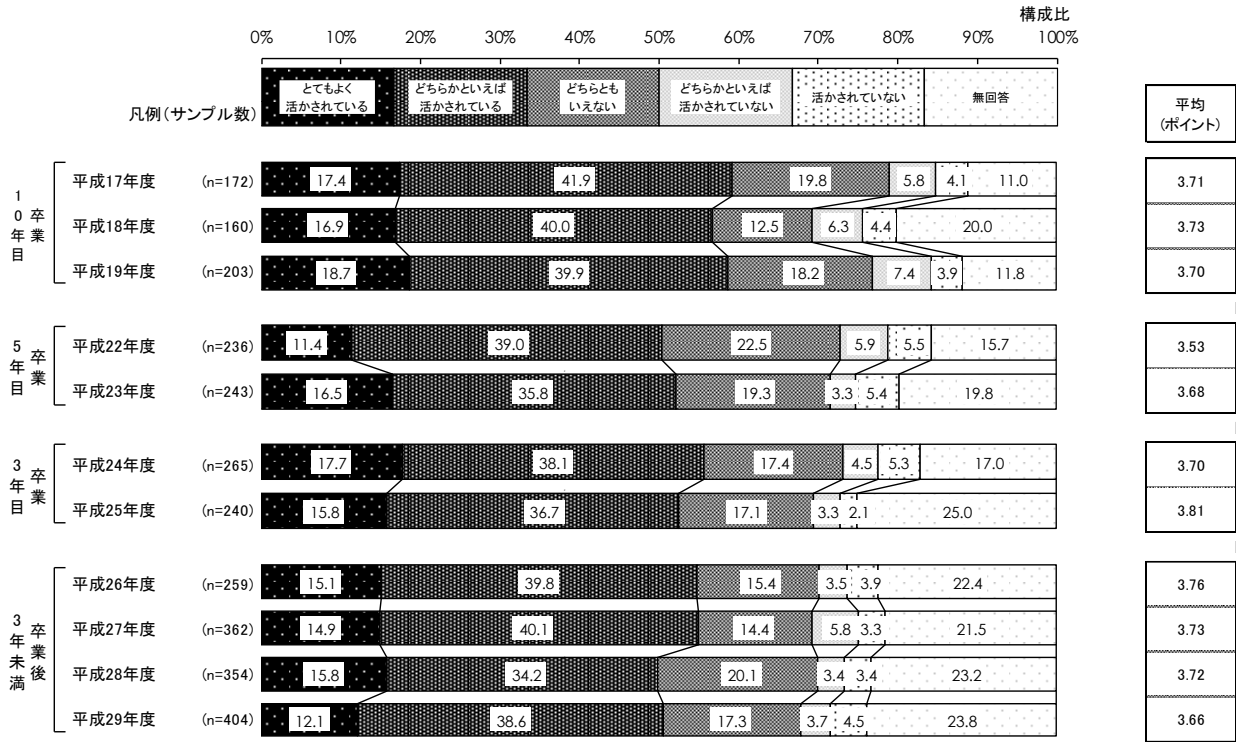
「基礎的な教養・知識」「幅広い教養・知識」「マナーについての教養・知識」は、卒業から時間が経過しても「活かされている」の割合は比較的高く、普遍性をもつ教養・知識であることが伺える。

図表3-183 基礎的な教養・知識 (SA)

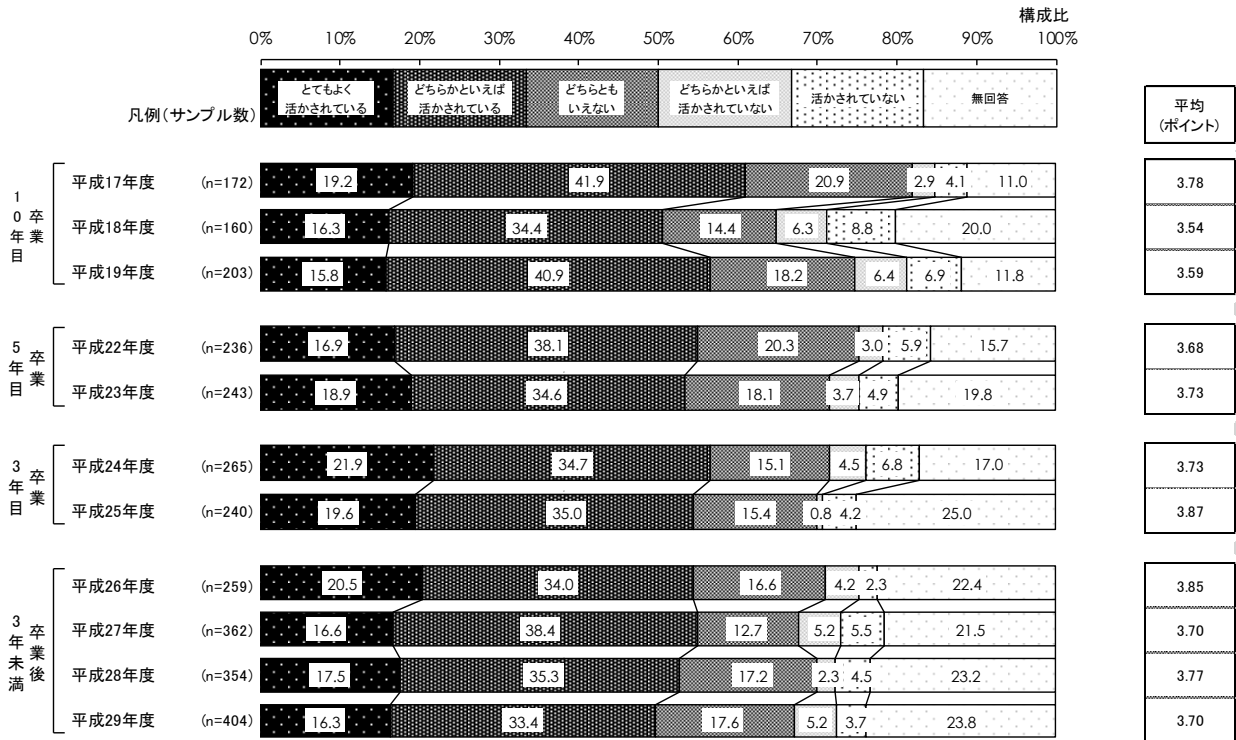


※ 「とても活かされている」5ポイント、「どちらかというと活かされている」4ポイント、「どちらともいえない」3ポイント、「どちらかといえば活かされていない」2ポイント、「活かされていない」1ポイントで平均を抽出。

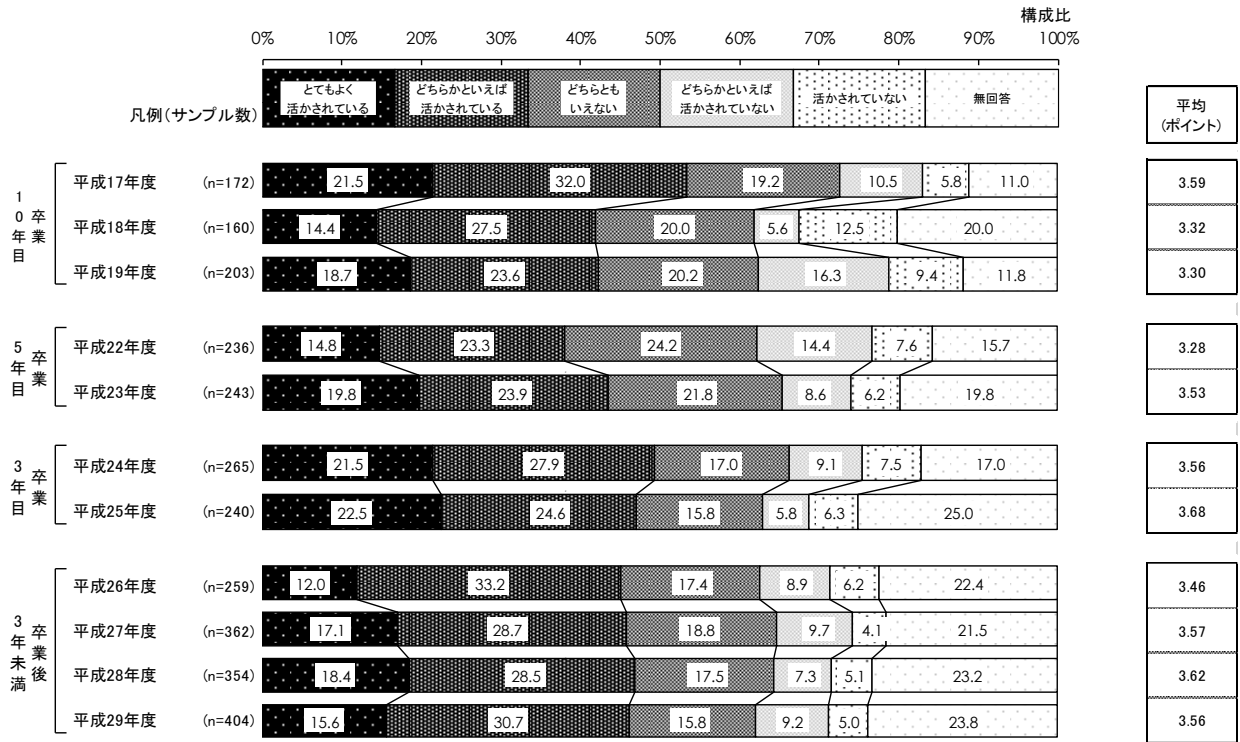
図表3-184 幅広い教養・知識 (SA)



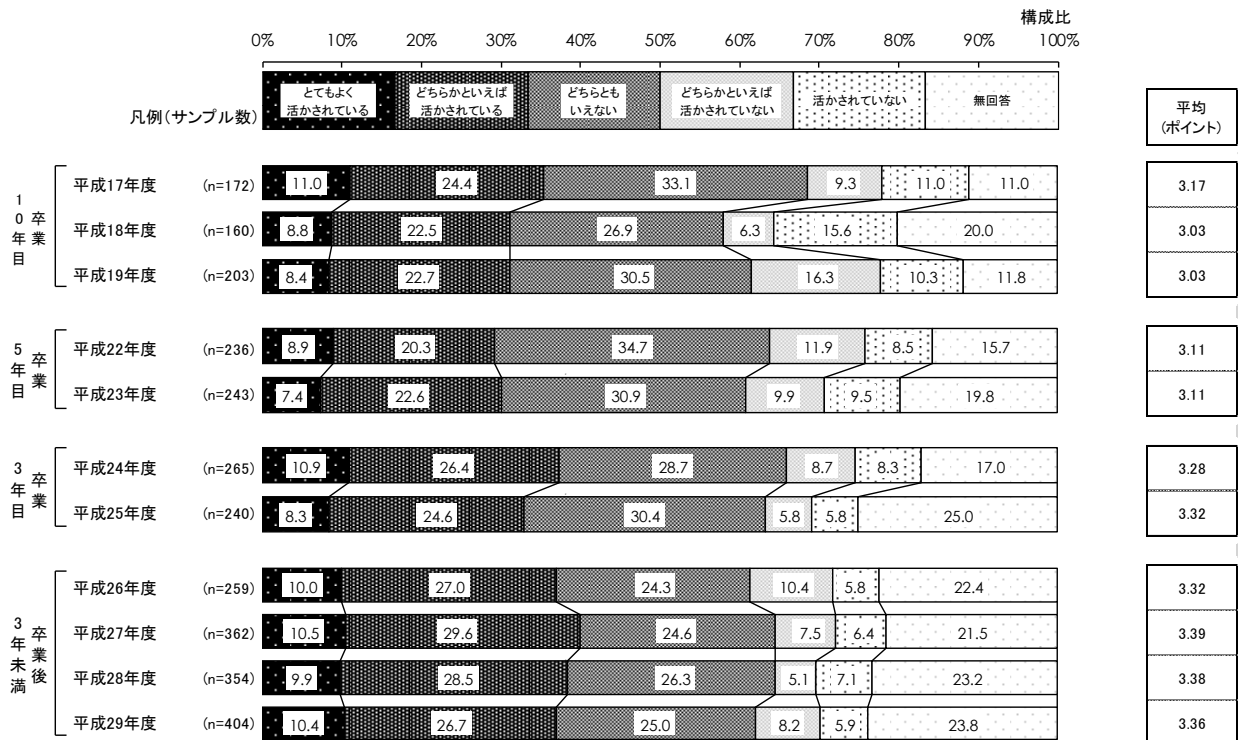
図表3-185 マナーや礼儀についての教養・知識 (SA)



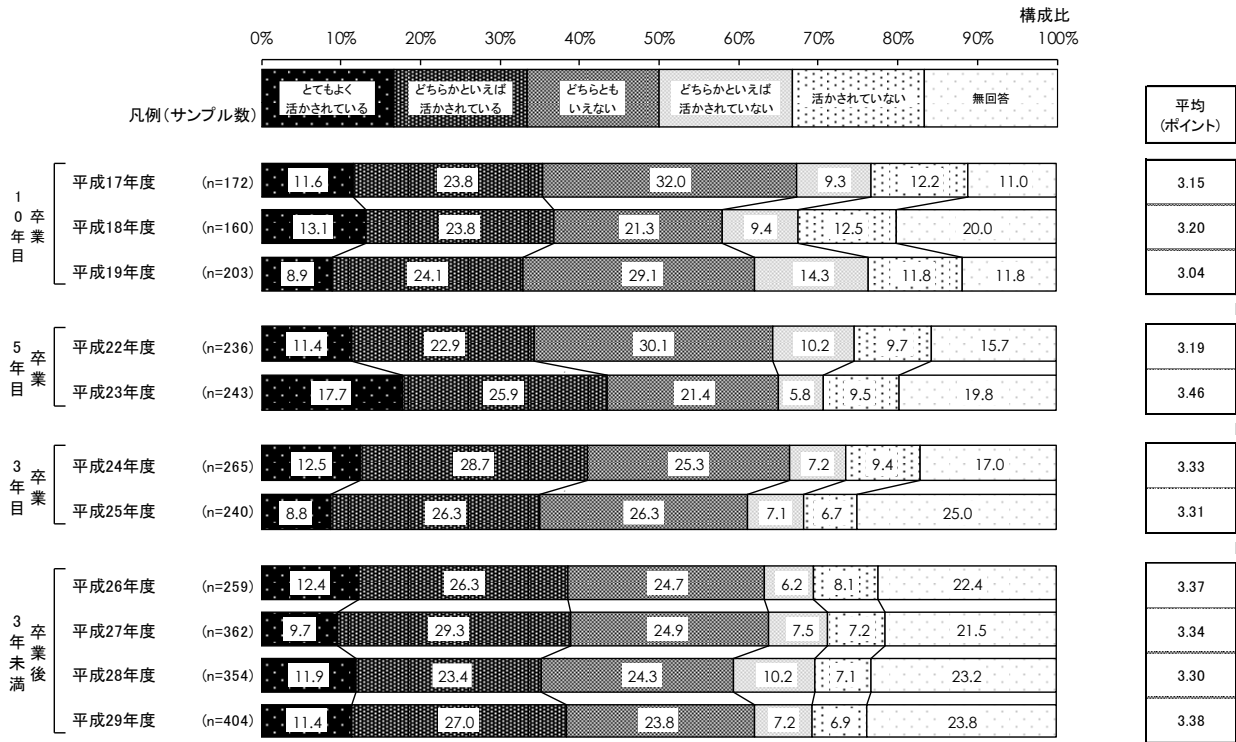
図表 3-186 専門的な知識 (SA)



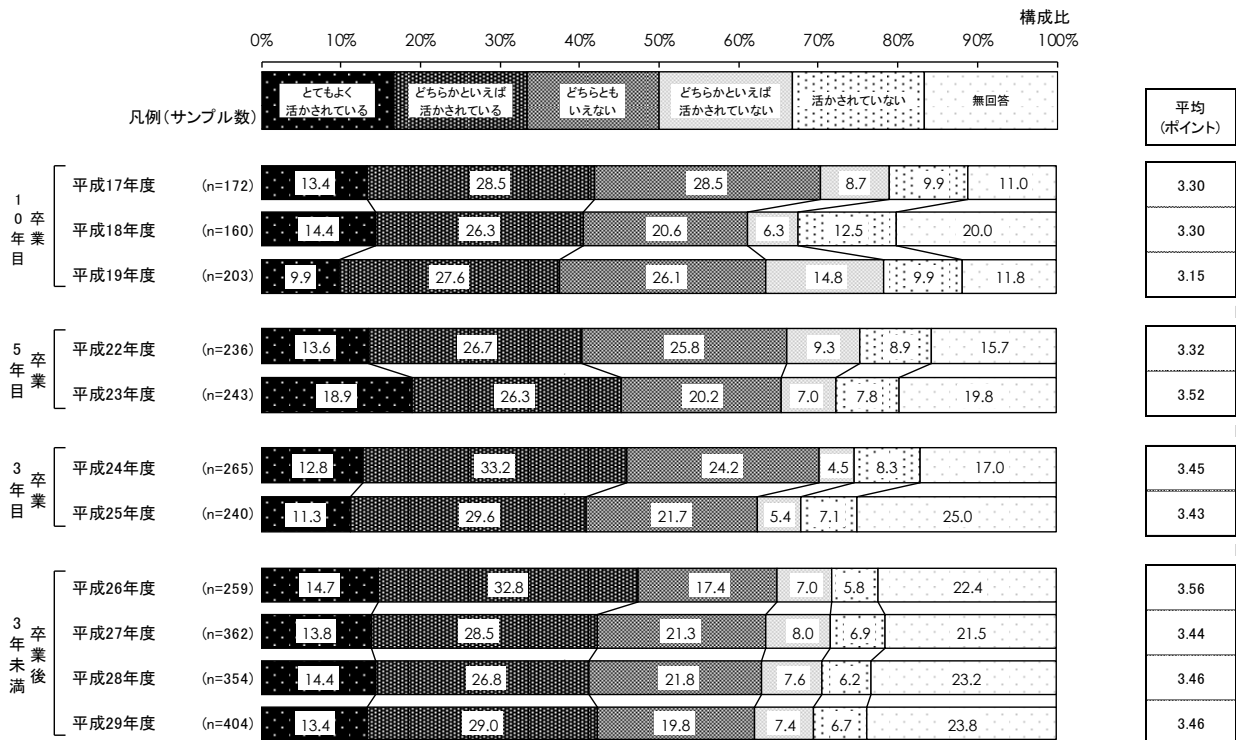
図表 3-187 最新の知識 (SA)



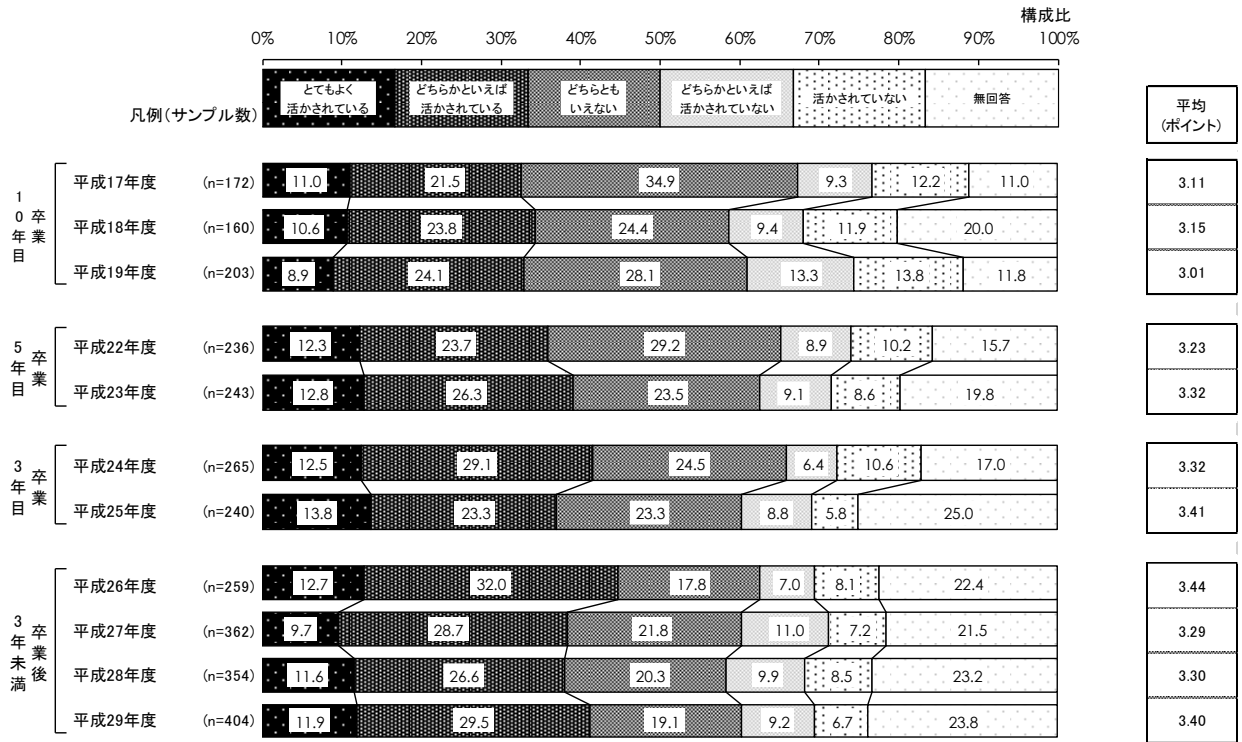
図表3-188 調査・実験能力 (SA)



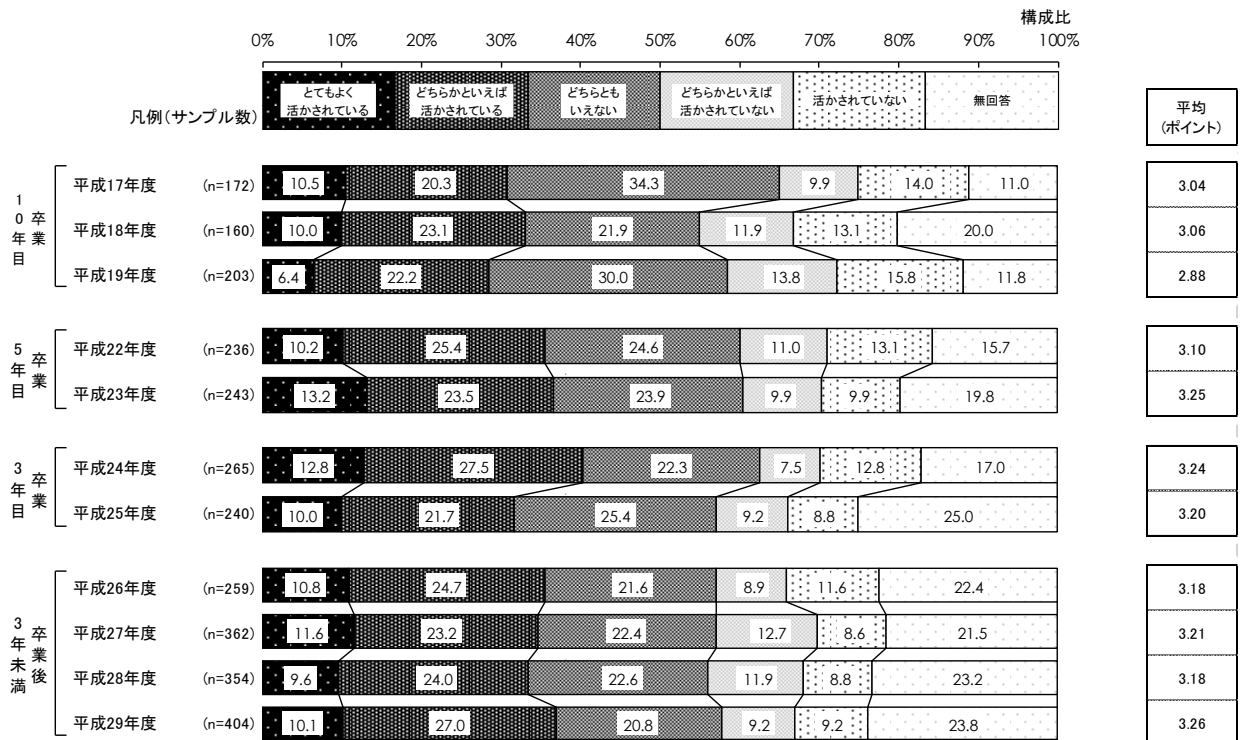
図表3-189 分析・研究能力 (SA)



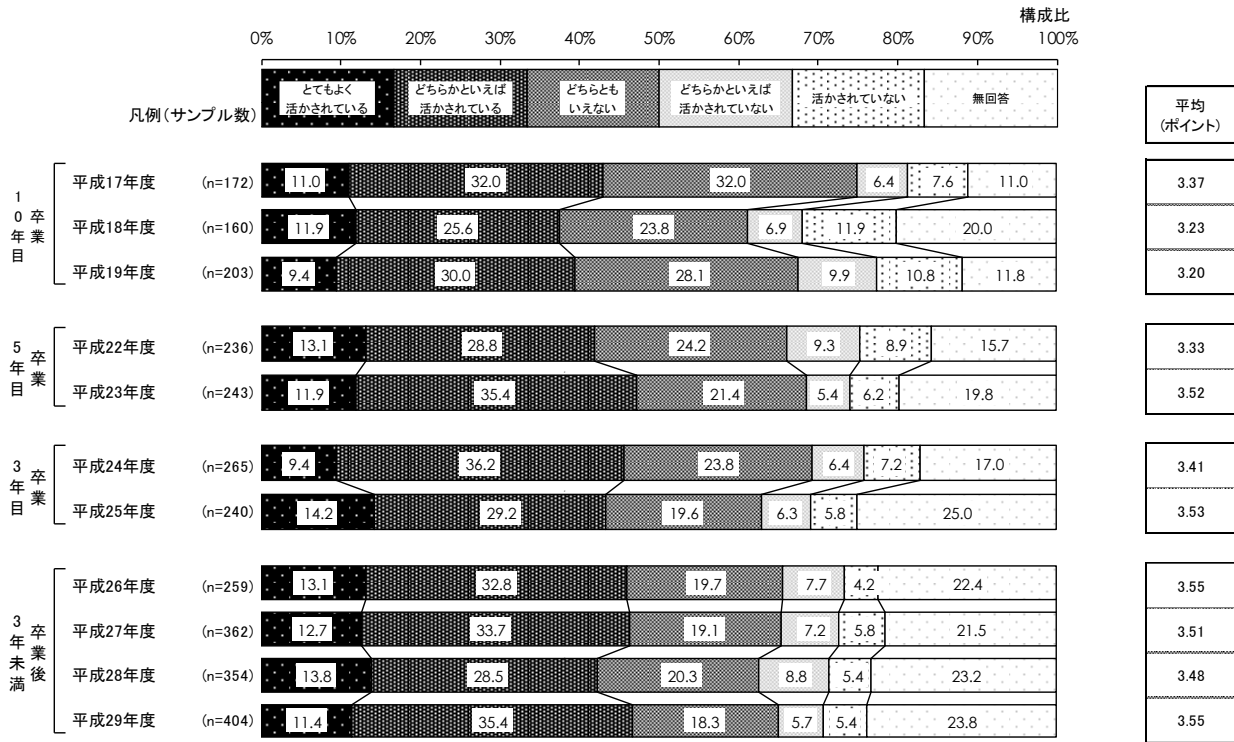
図表 3-190 討議・議論能力 (SA)



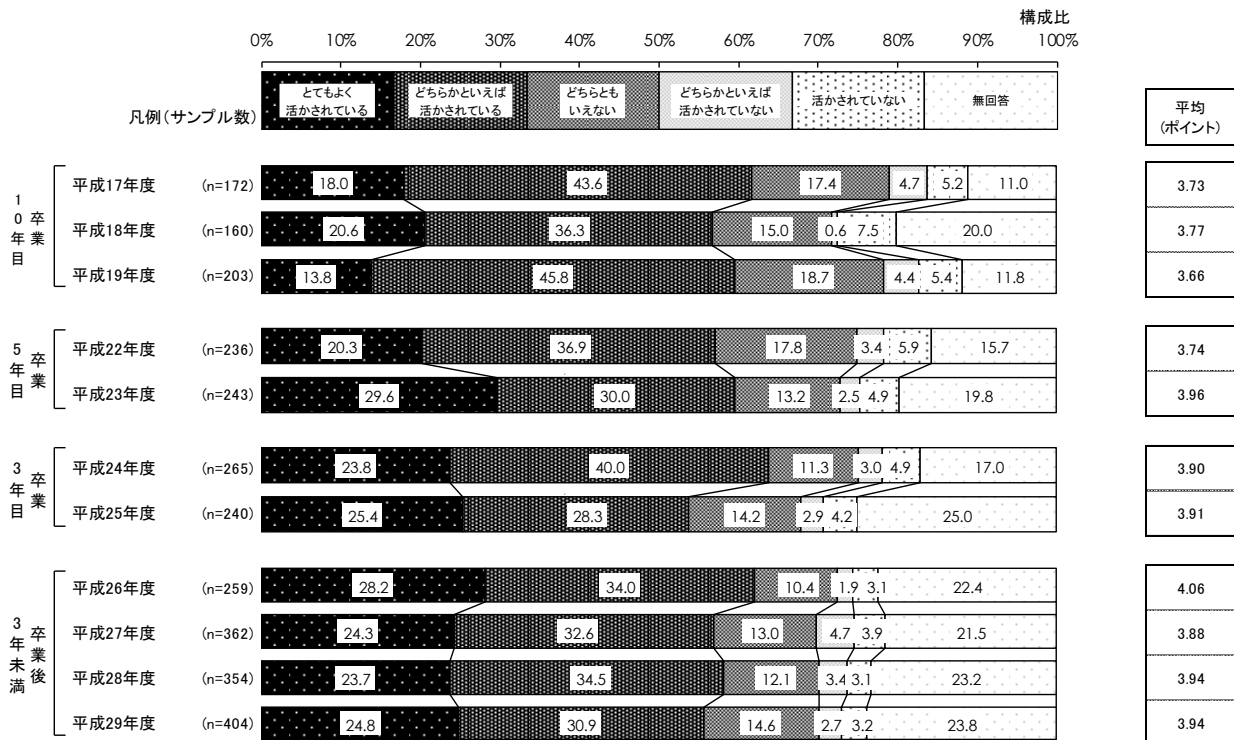
図表 3-191 プレゼンテーション能力 (SA)



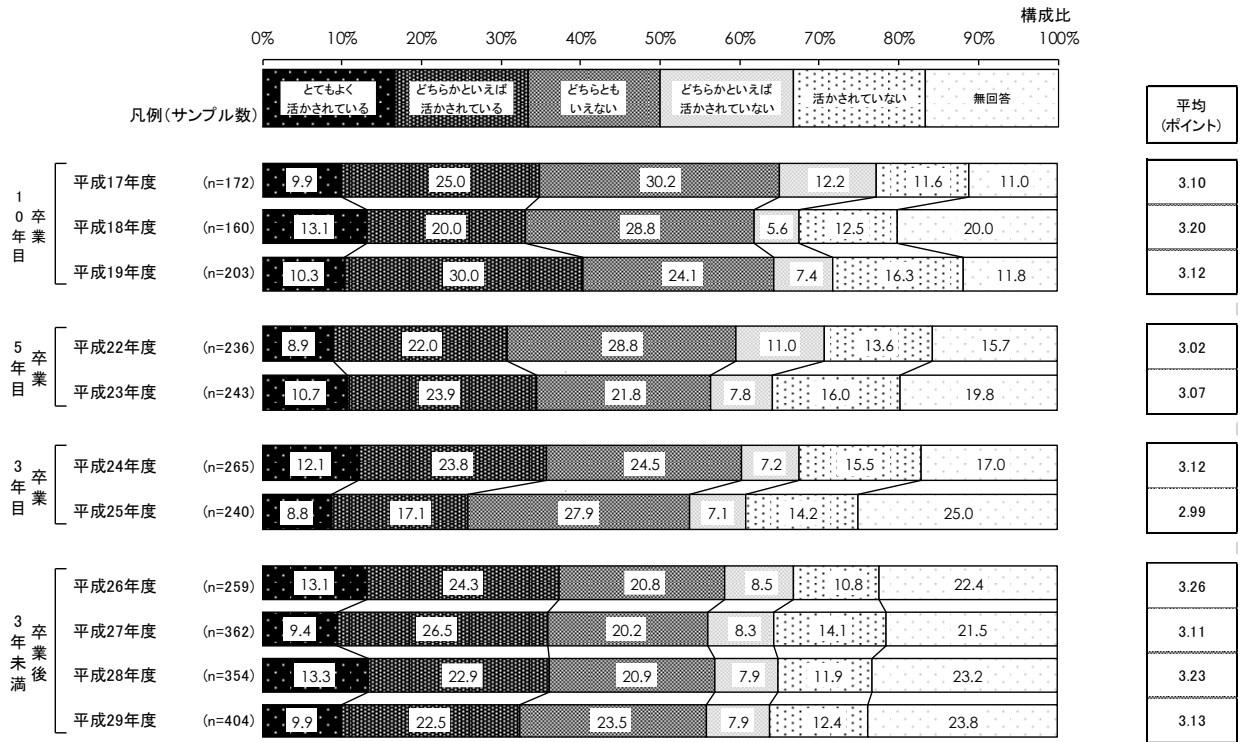
図表3-192 課題解決能力 (SA)



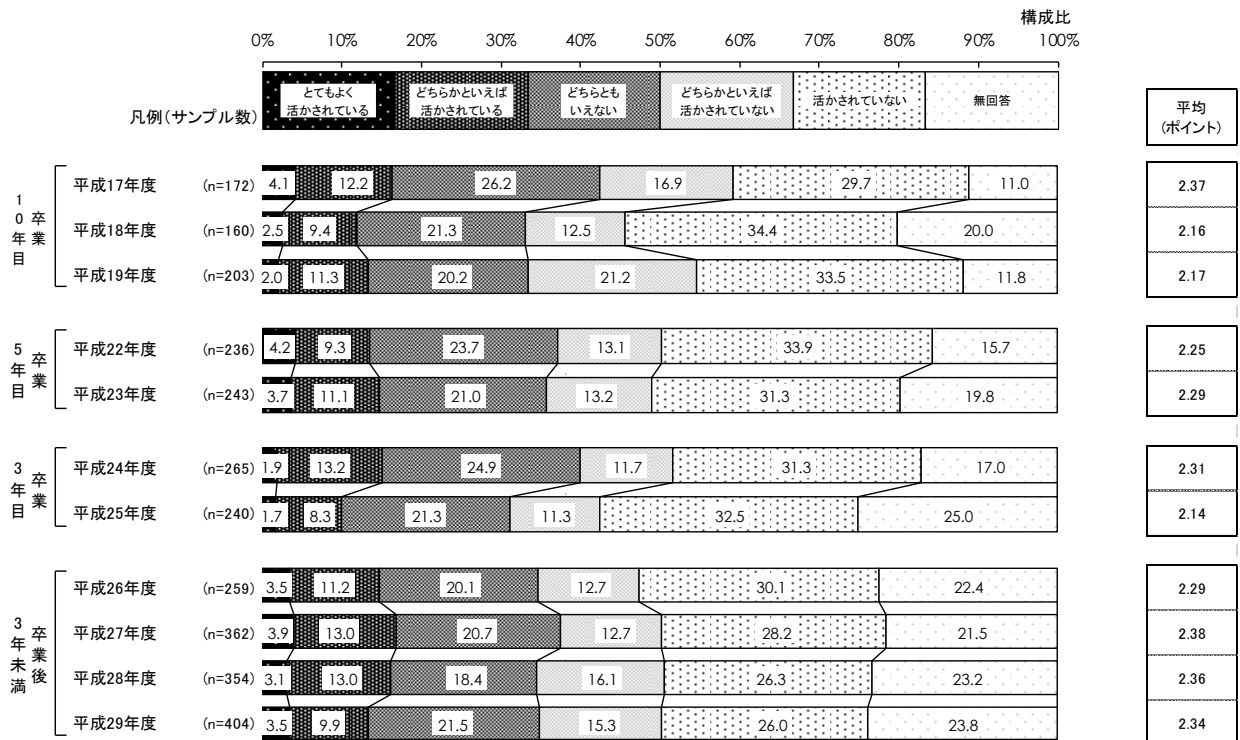
図表3-193 多様な人々・考え方に対する理解力 (SA)



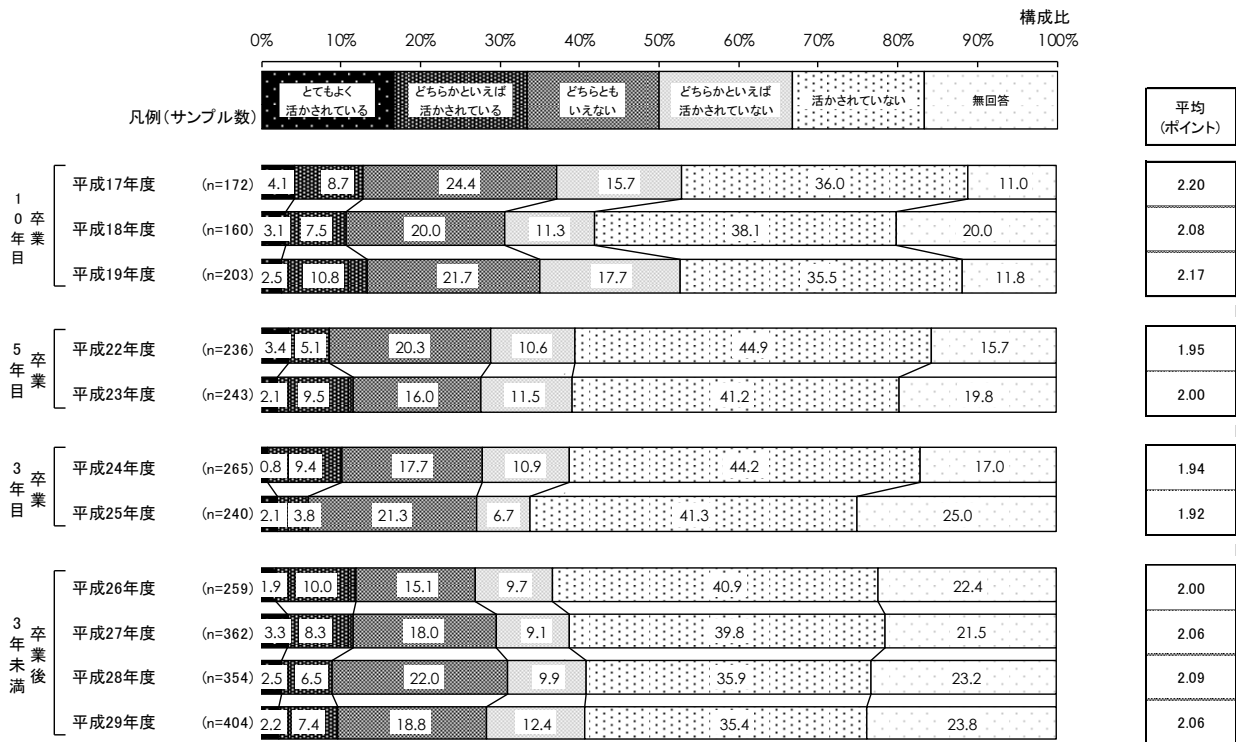
図表3-194 諸外国の異文化に対する理解力 (SA)



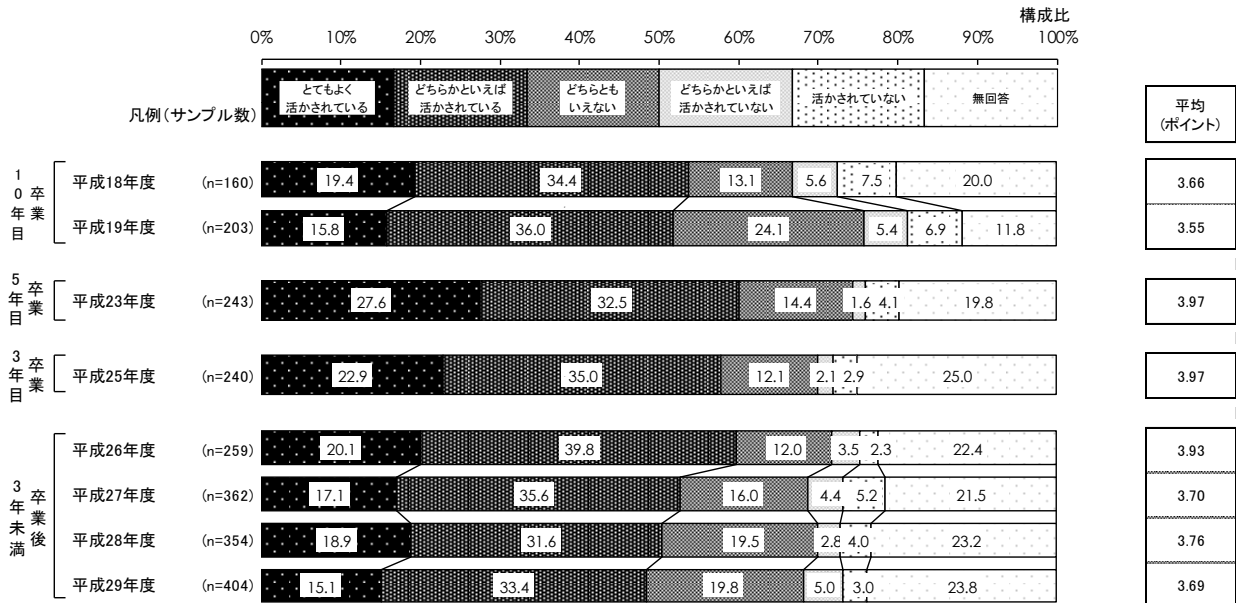
図表3-195 英語能力 (SA)



図表3-196 英語以外の語学能力 (SA)

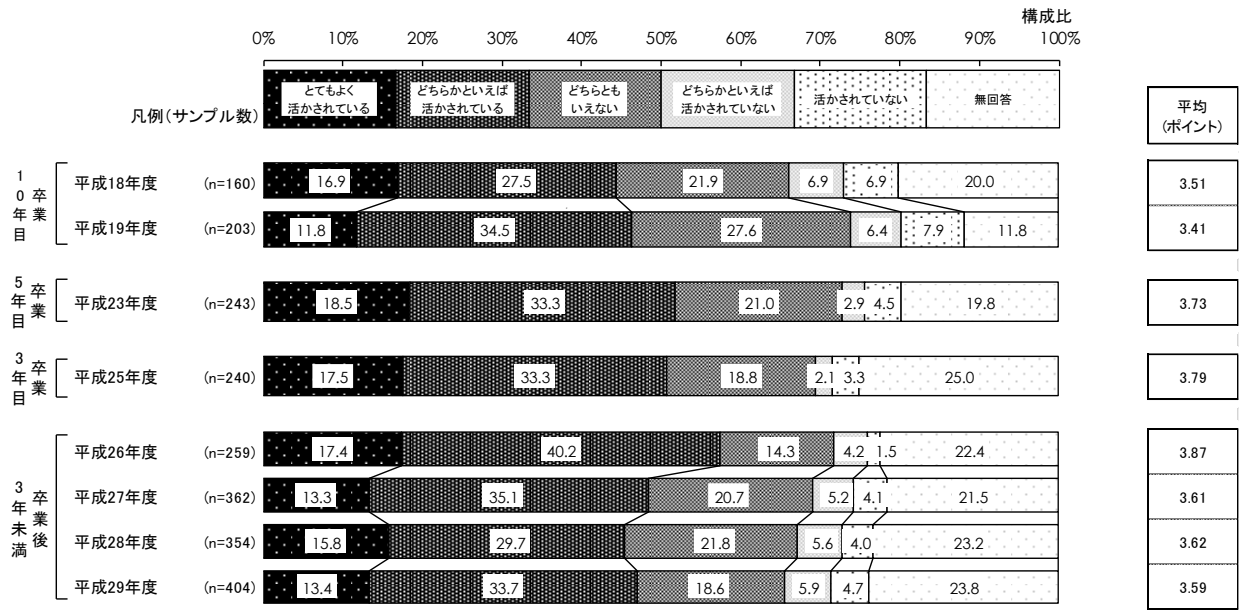


図表3-197 適切な日本語を用いた文章表現力 (SA)



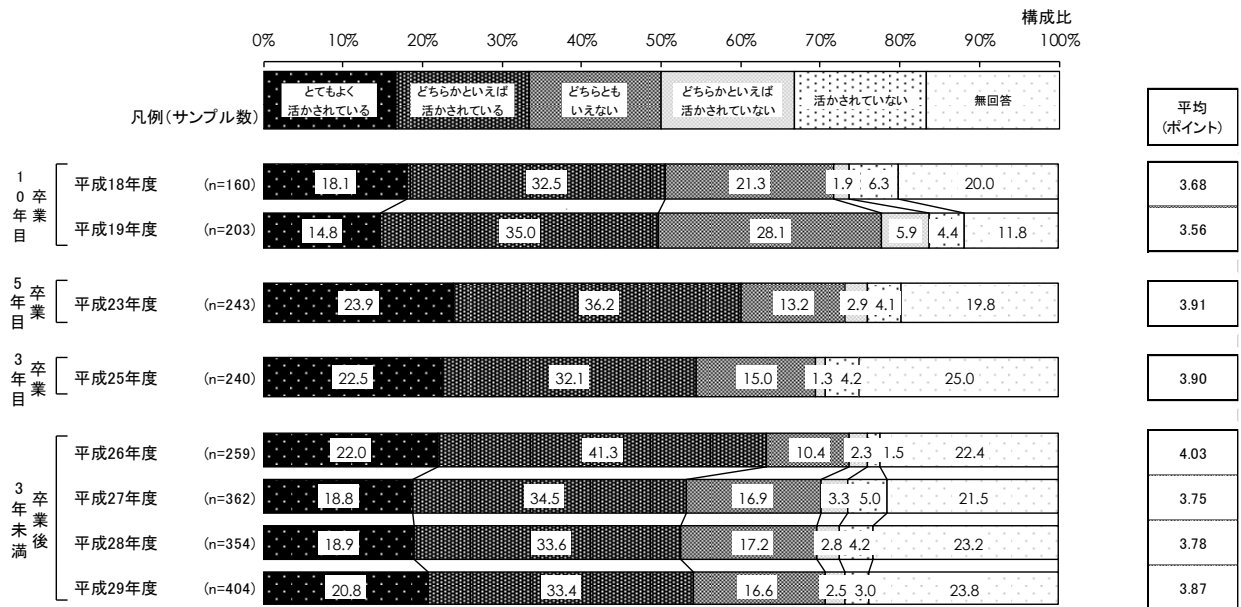
※注) 第1回調査 (平成17年度、平成22年度、平成24年度) では、聴取していない。

図表3-198 自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力（SA）



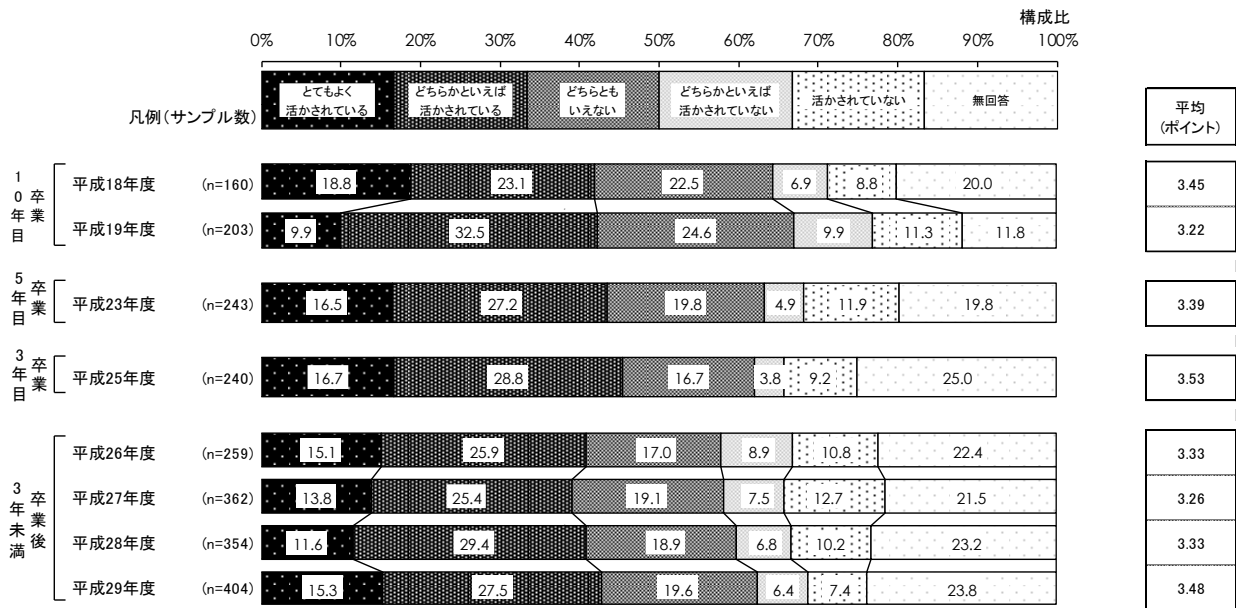
※注) 第1回調査（平成17年度、平成22年度、平成24年度）では、聴取していない。

図表3-199 他者を思いやり、サポートできる力（SA）



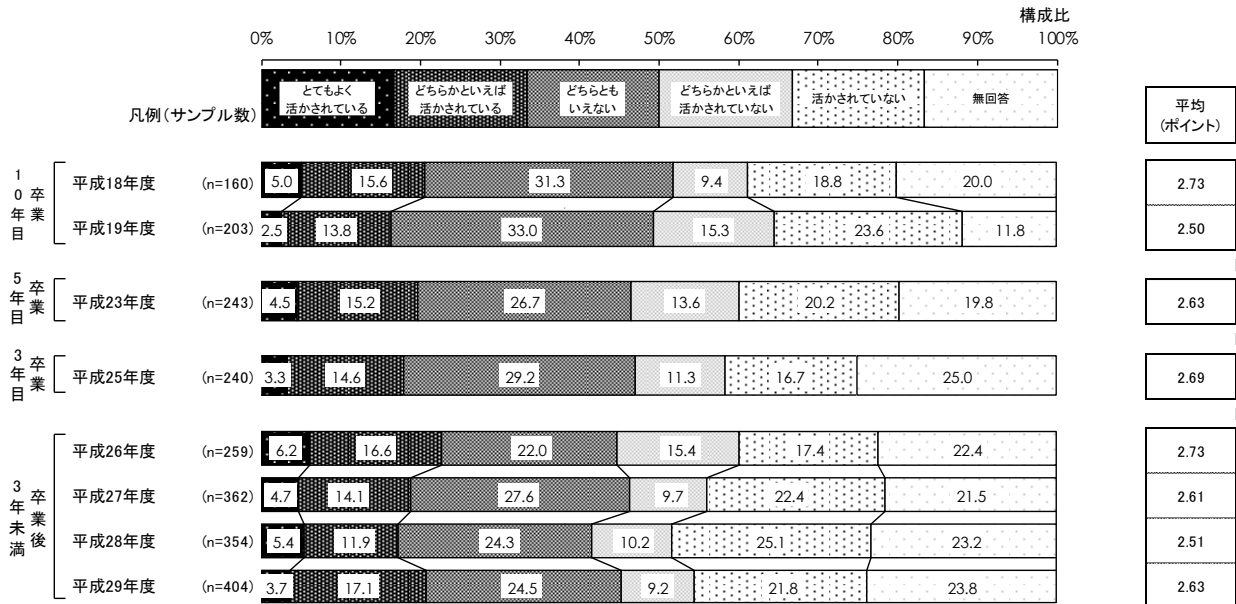
※注) 第1回調査（平成17年度、平成22年度、平成24年度）では、聴取していない。

図表3-200 コンピュータの操作スキル (SA)



※注) 第1回調査 (平成17年度、平成22年度、平成24年度) では、聴取していない。

図表3-201 数的処理力 (SA)



※注) 第1回調査 (平成17年度、平成22年度、平成24年度) では、聴取していない。

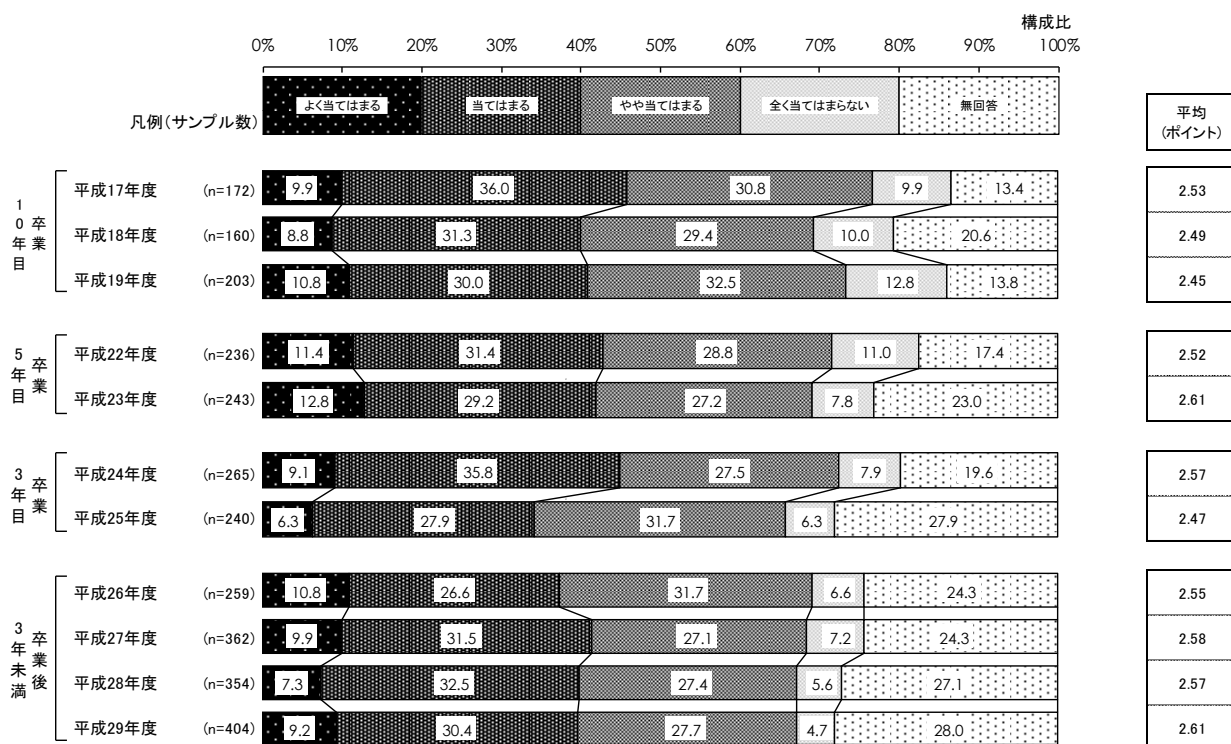
問6 学生時代に身についたと思う能力

1. 学生時代に、情報を理解・整理し活用する能力が身につきましたか。(それぞれ1つ選択)

「情報を理解・整理し活用する能力」について、卒業年度別の平均値に注目すると、ほとんどの能力において卒業年度が直近になるほど概ね高くなっている。

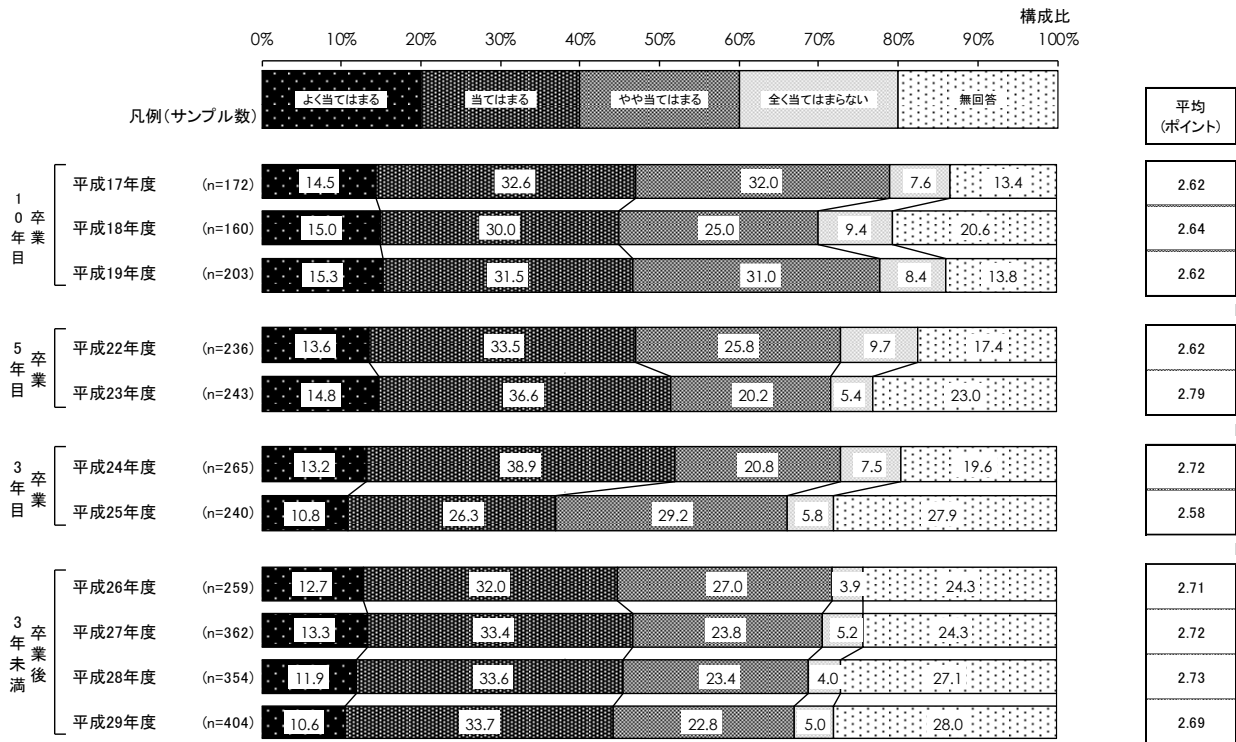
一方で、「課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる」「文章から、的確にその内容を捉えられる」「問題点を客観的に整理できる」は、卒業年度による大きな変化は見られない。

図表3-202 様々な情報の特性が理解できる (SA)

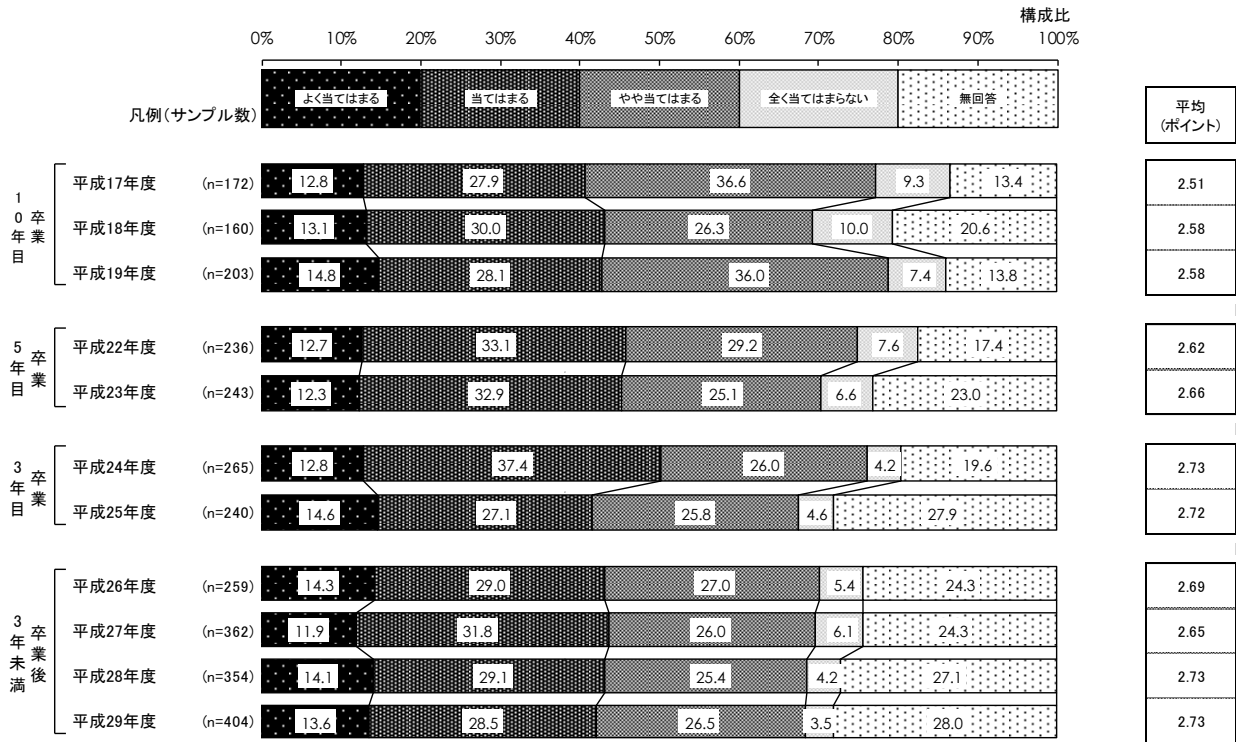


※ 「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで、平均を抽出。

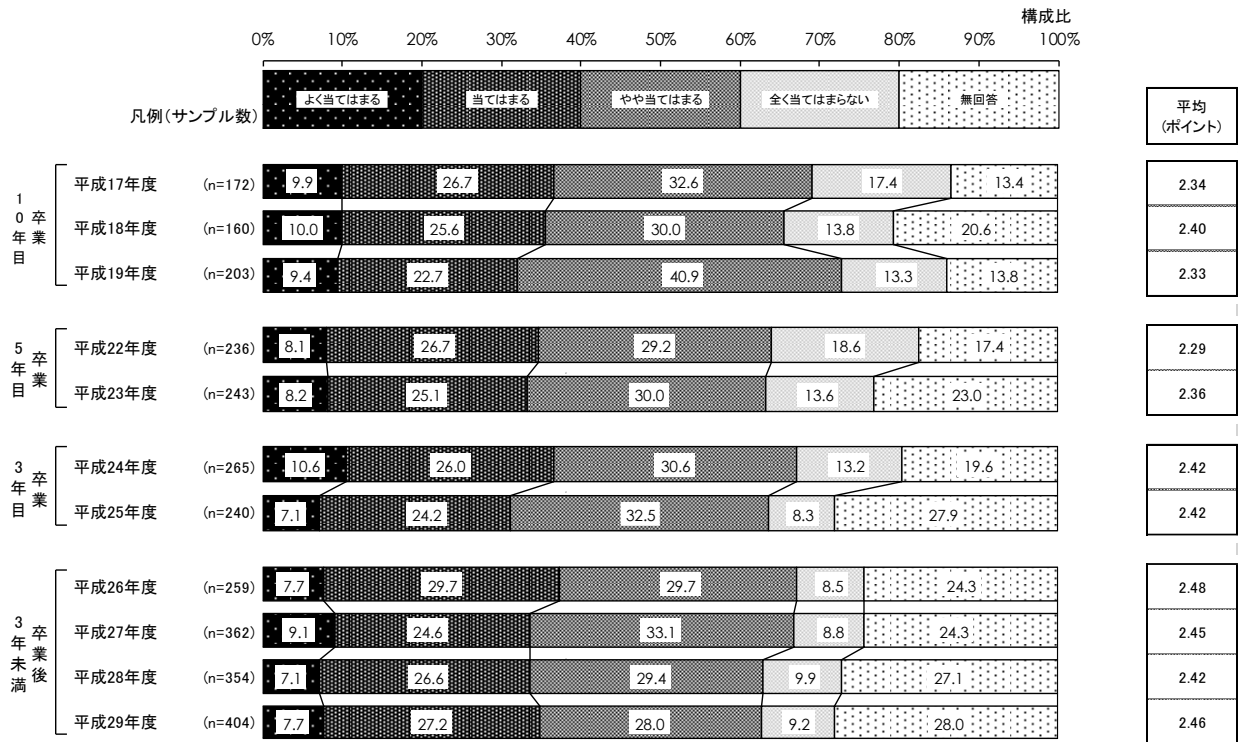
図表3-203 課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる（SA）



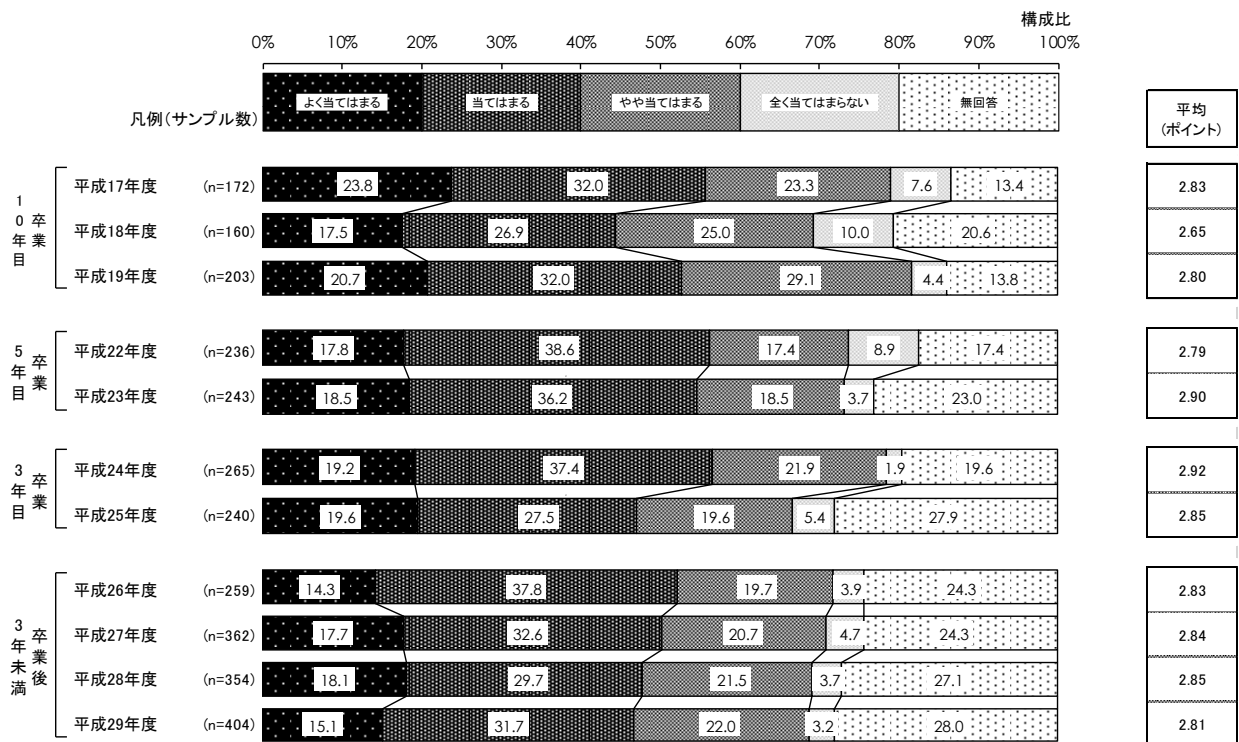
図表3-204 収集した情報の信頼性を適切に判断できる（SA）



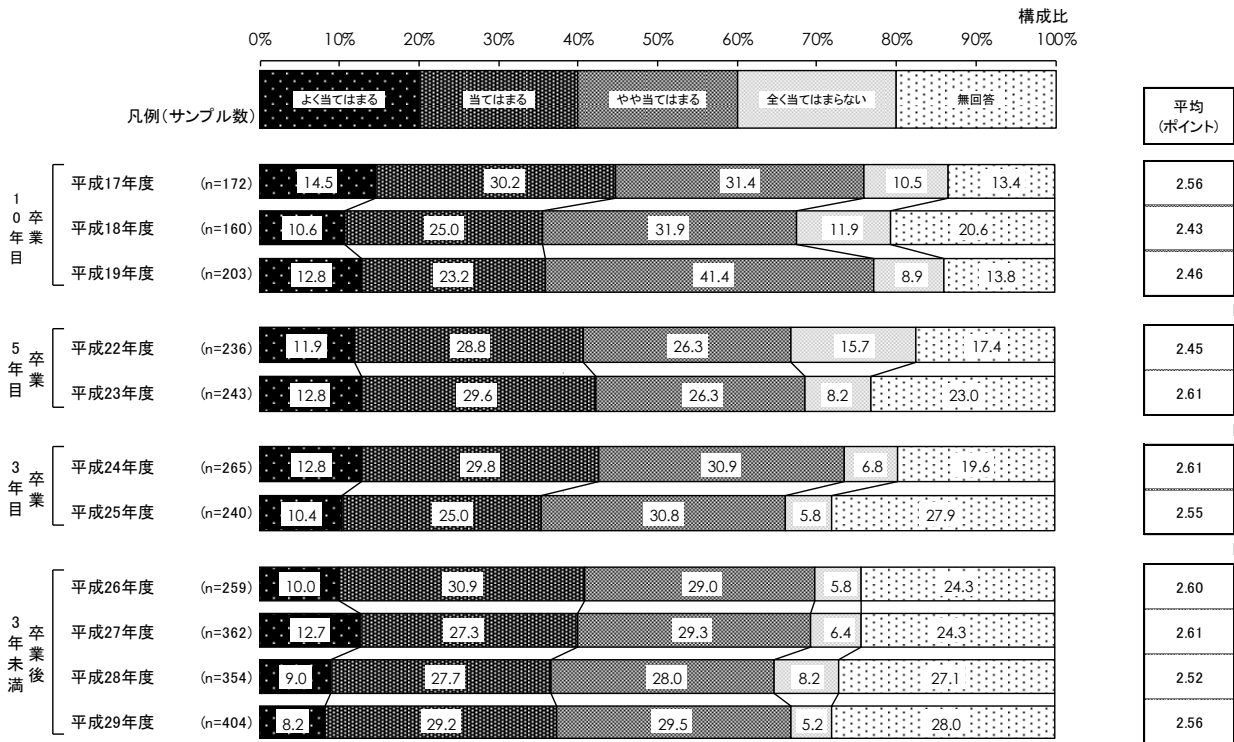
図表3-205 図表から、的確にその内容を読み取れる（SA）



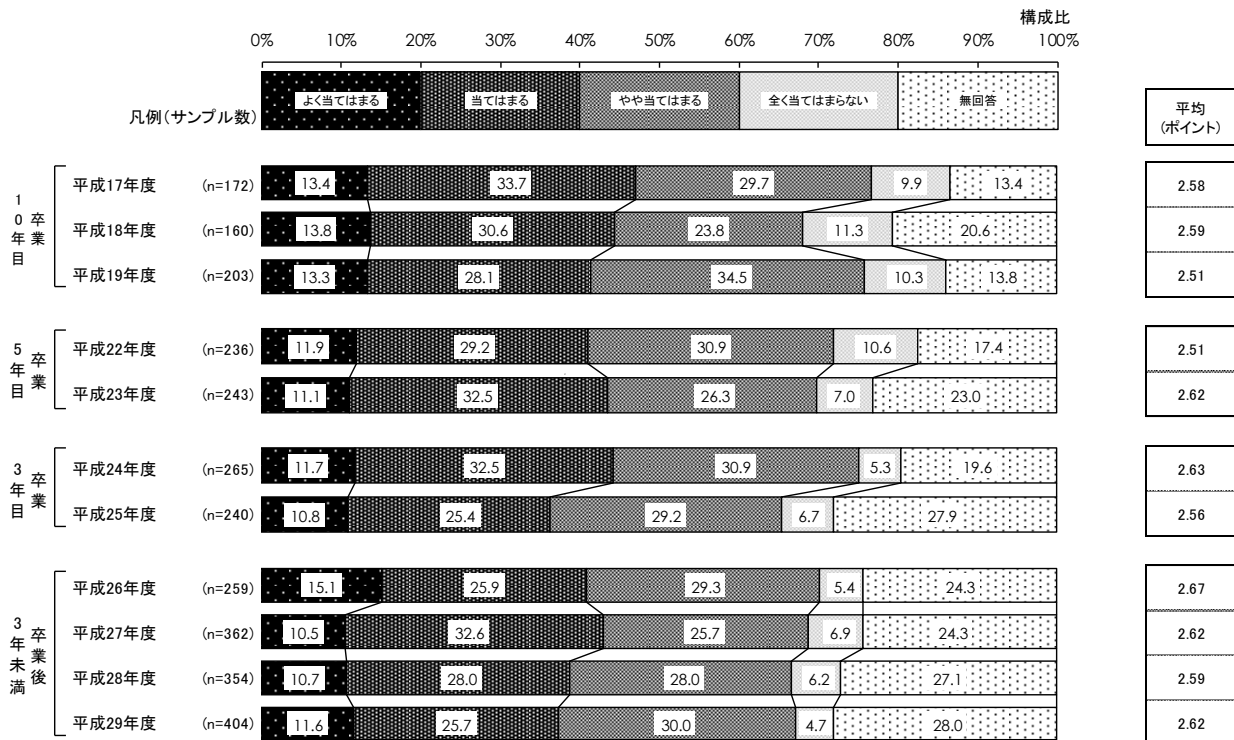
図表3-206 文章から、的確にその内容を捉えられる（SA）



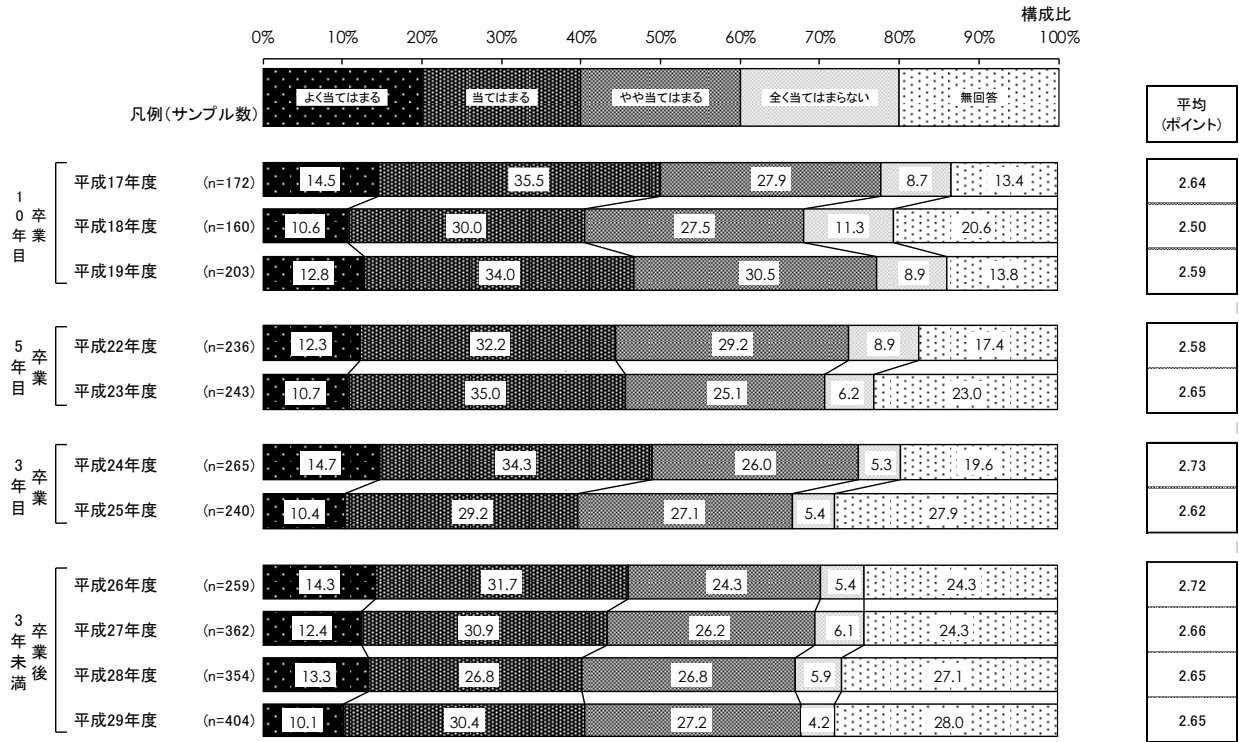
図表3-207 図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる（SA）



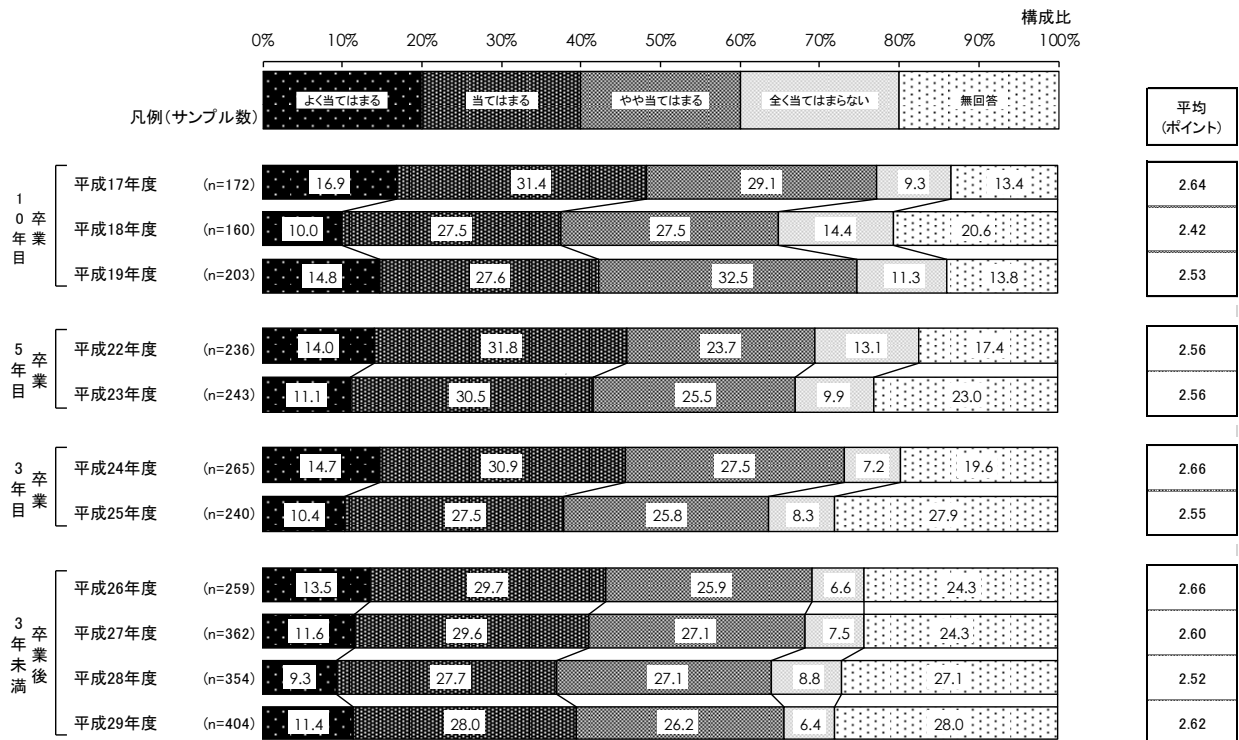
図表3-208 様々な観点から現状を捉え、問題点を見出せる（SA）



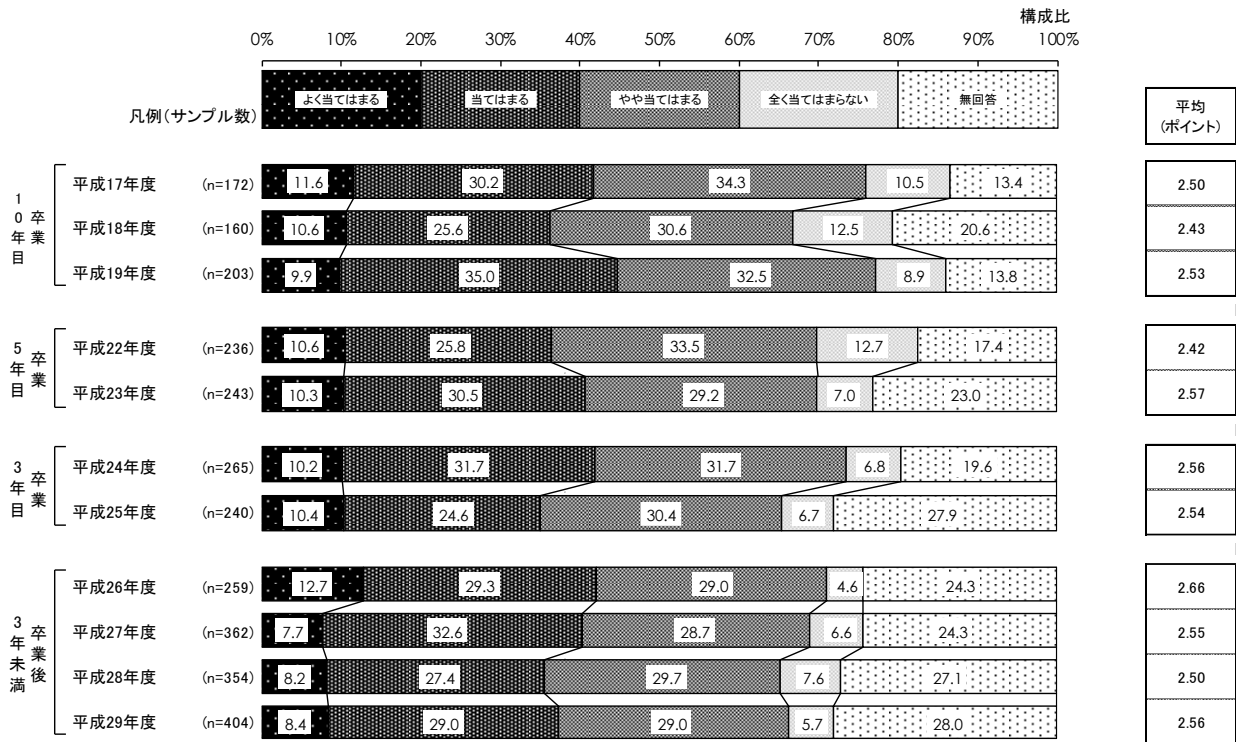
図表3-209 問題点を客観的に整理できる (SA)



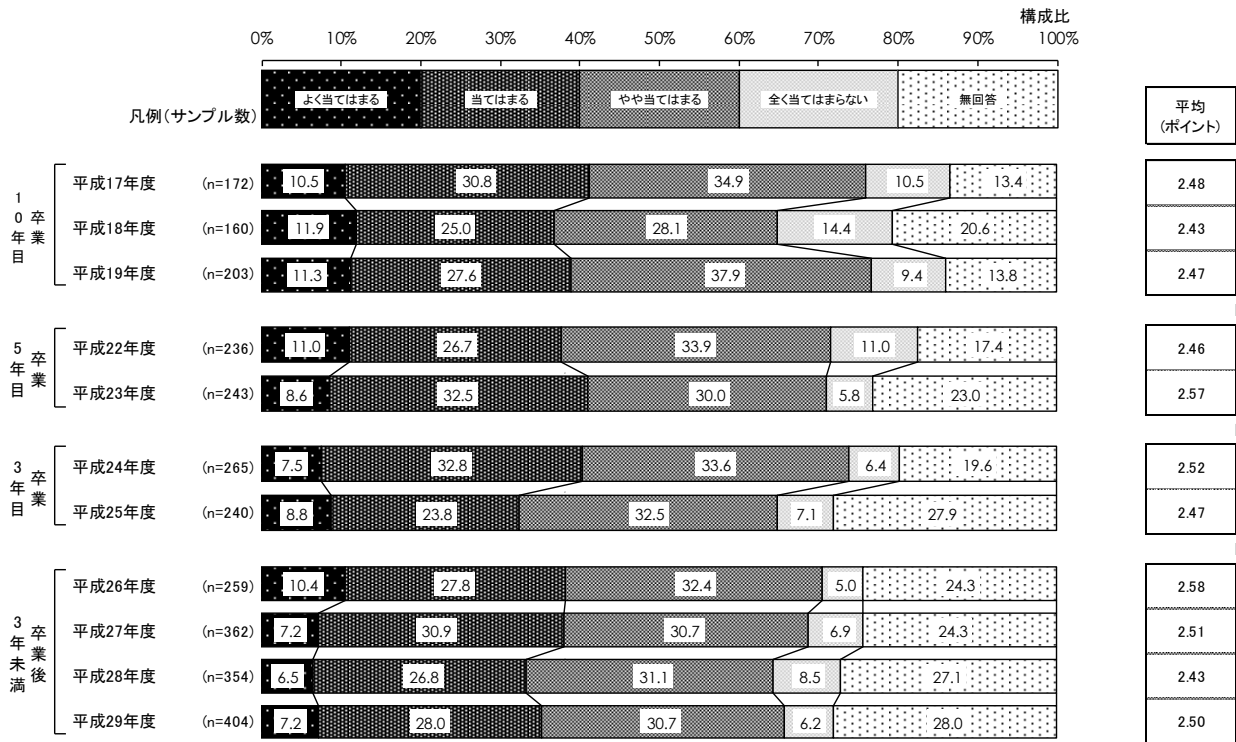
図表3-210 どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる (SA)



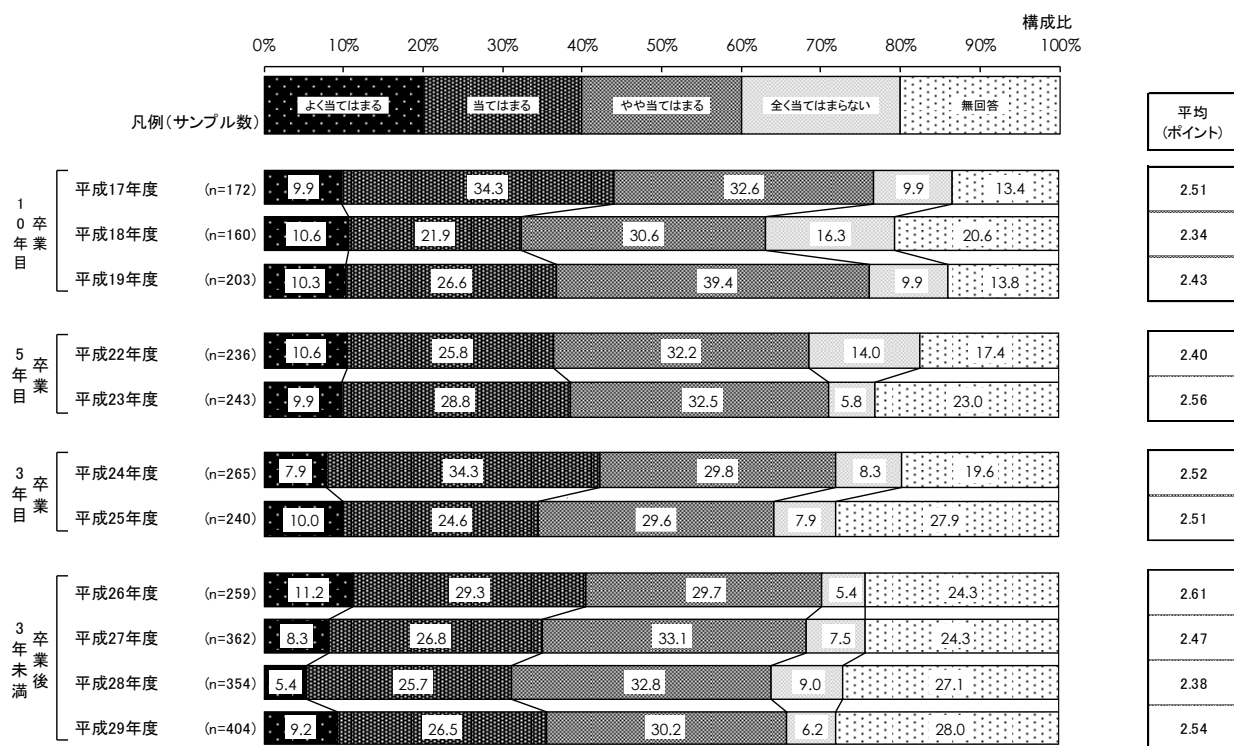
図表3-211 様々な観点から問題の解決策を考えられる (SA)



図表3-212 諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる (SA)



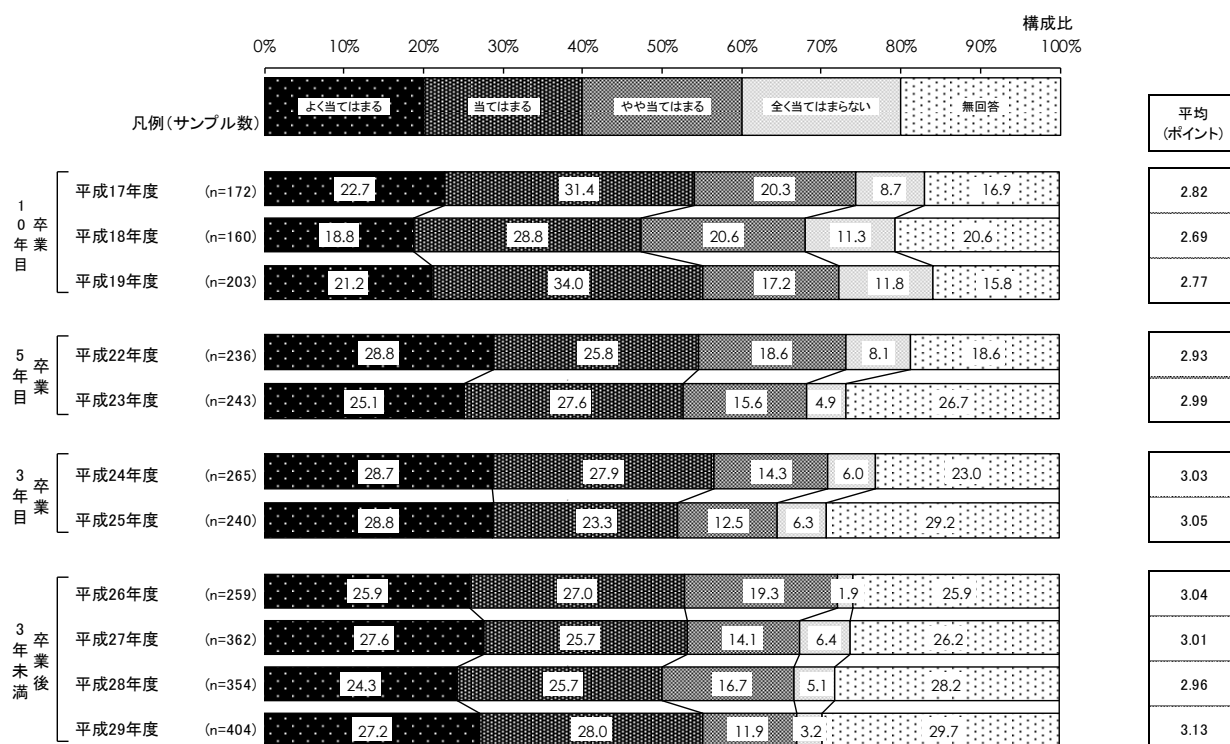
図表 3-213 問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる (SA)



2. 学生時代に、以下のような「他者・チームに対する行動特性」が身についたと思いますか。(それぞれ1つ選択)

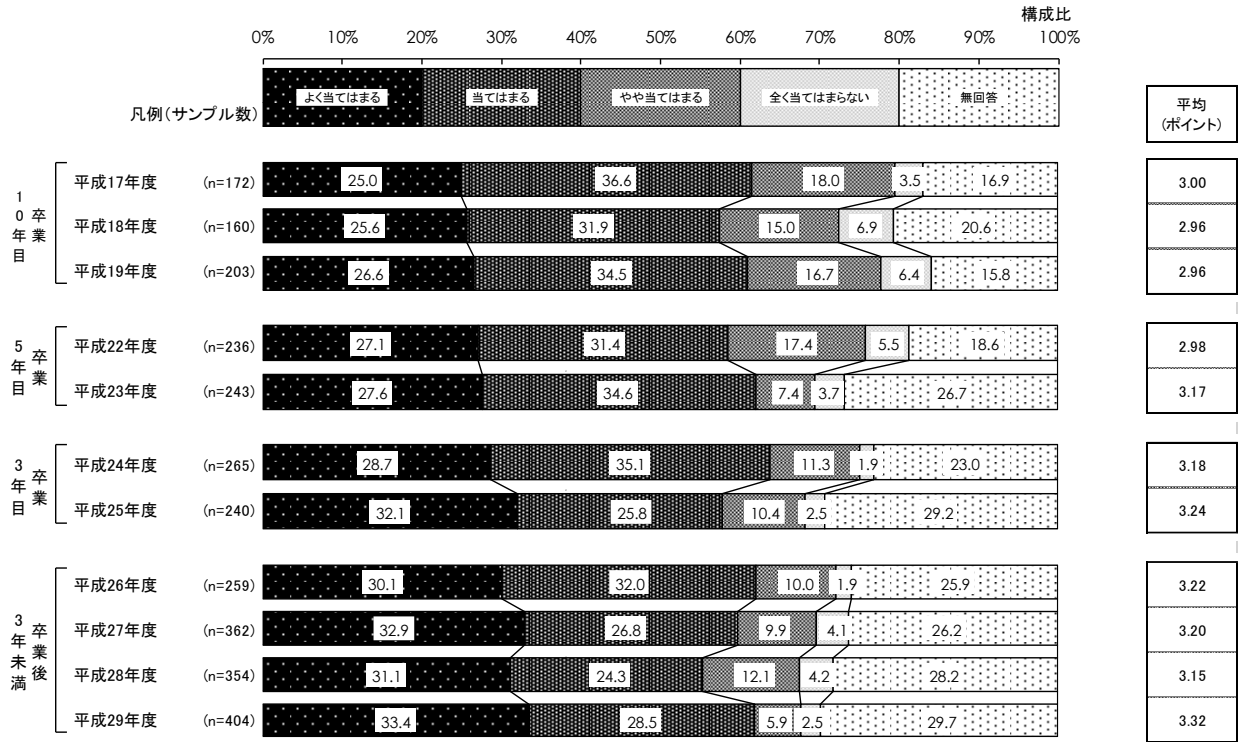
「他者・チームに対する行動特性」について、卒業年度別の平均値に注目すると、ほとんどの能力において卒業年度が直近になるほど概ね高くなる傾向が見られる。

図表3-214 誰に対しても、和やかに接することができる (SA)

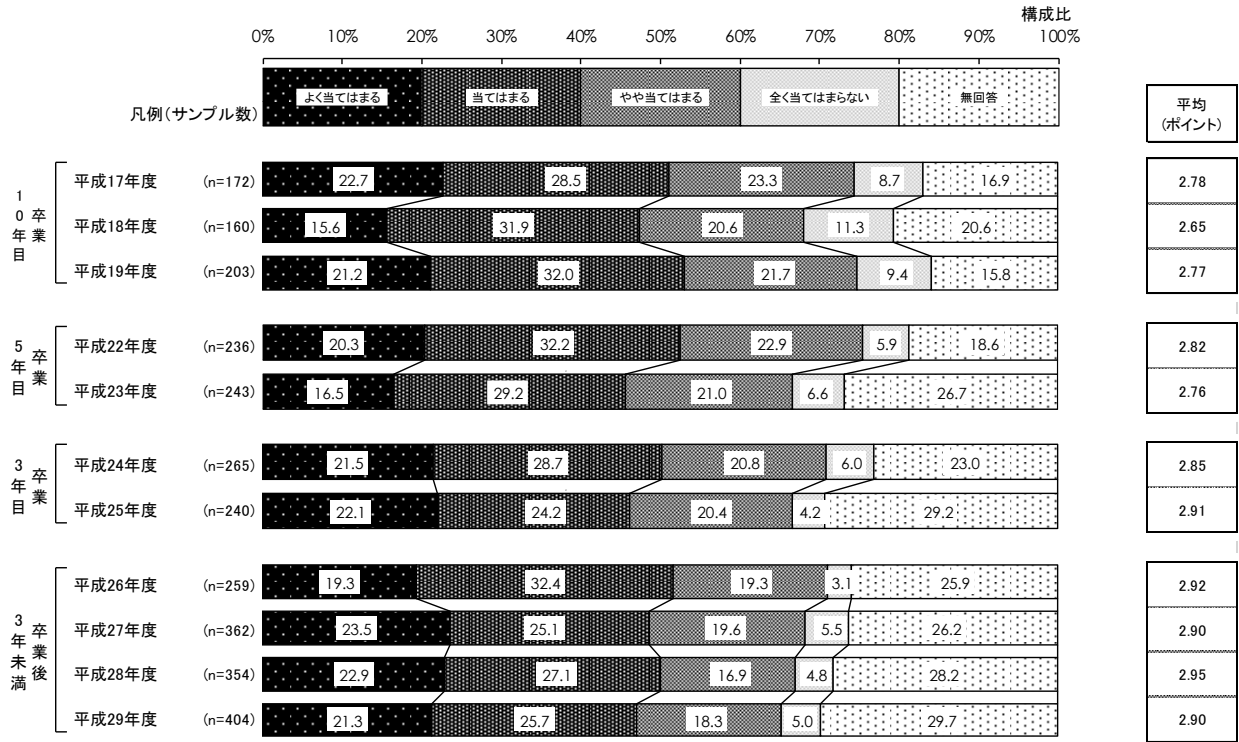


※ 「よく当てはまる」4ポイント、「当てはまる」3ポイント、「やや当てはまる」2ポイント、「全く当てはまらない」1ポイントで平均を抽出。

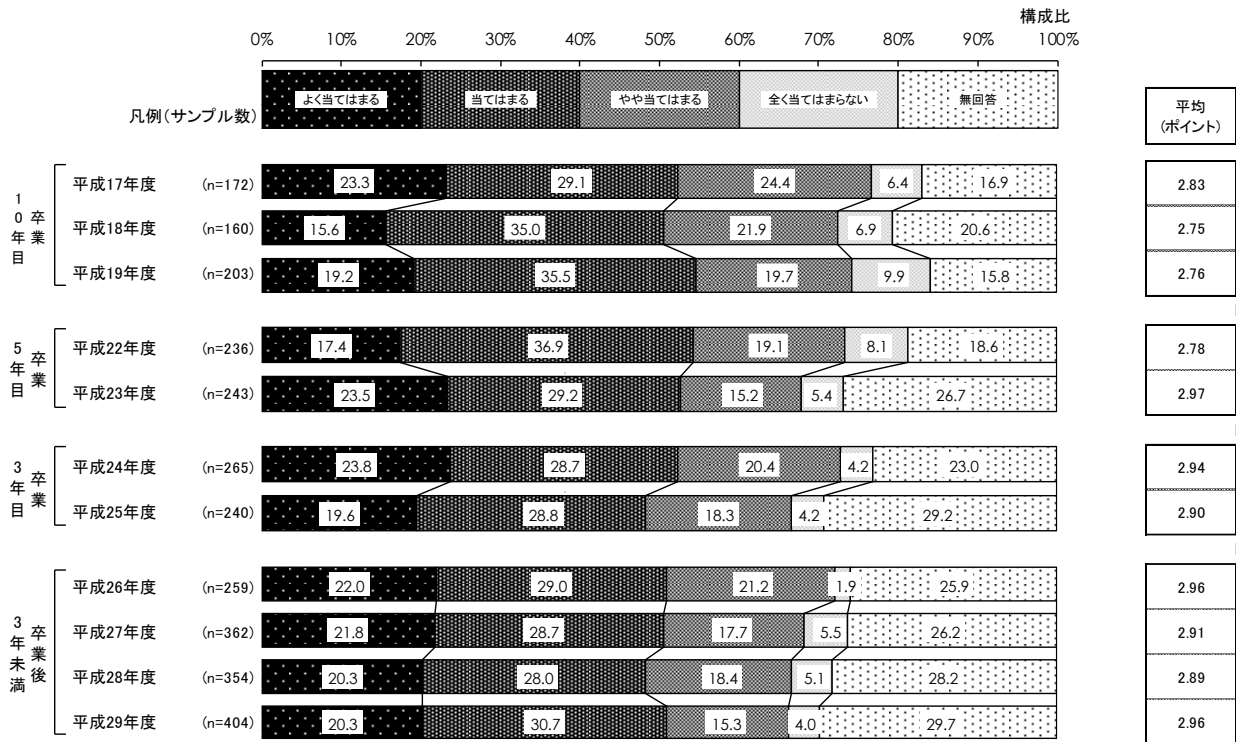
図表 3-215 人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける (SA)



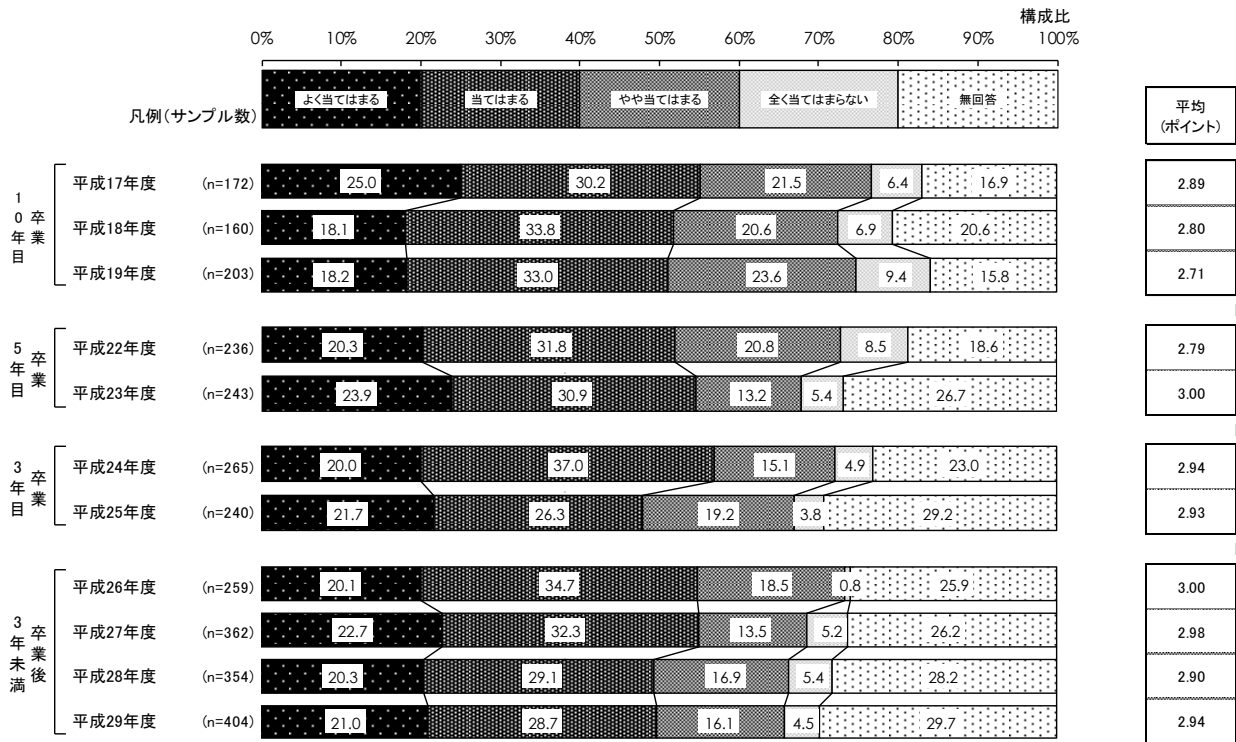
図表 3-216 相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる (SA)



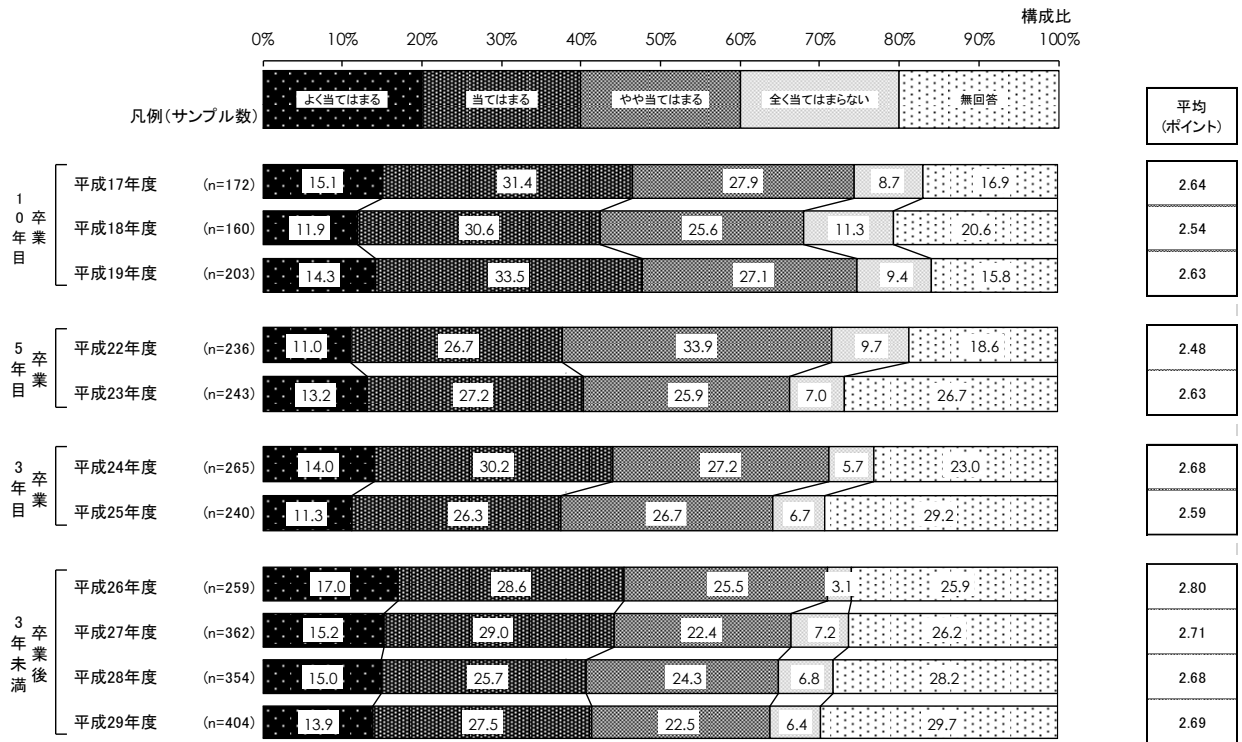
図表 3-217 チームの中で担うべき自分の役割を自覚できる (SA)



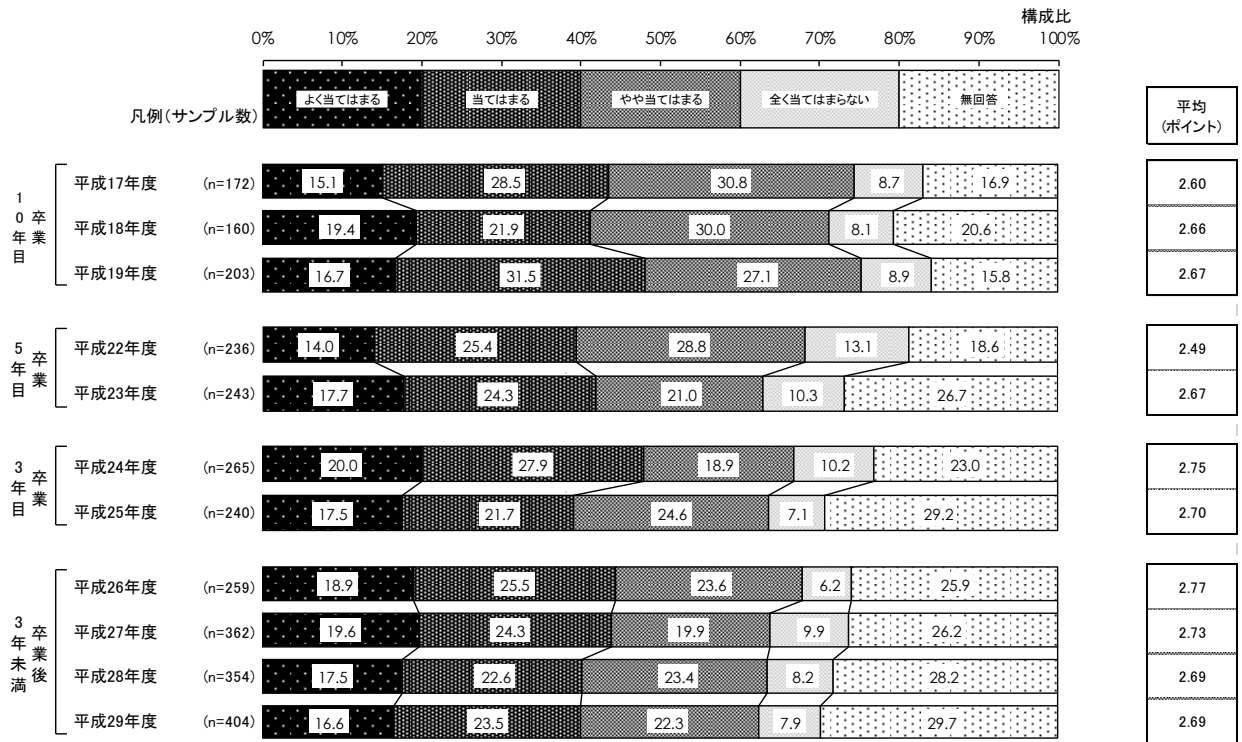
図表 3-218 周囲と連携を図り、協力しながら仕事を進められる (SA)



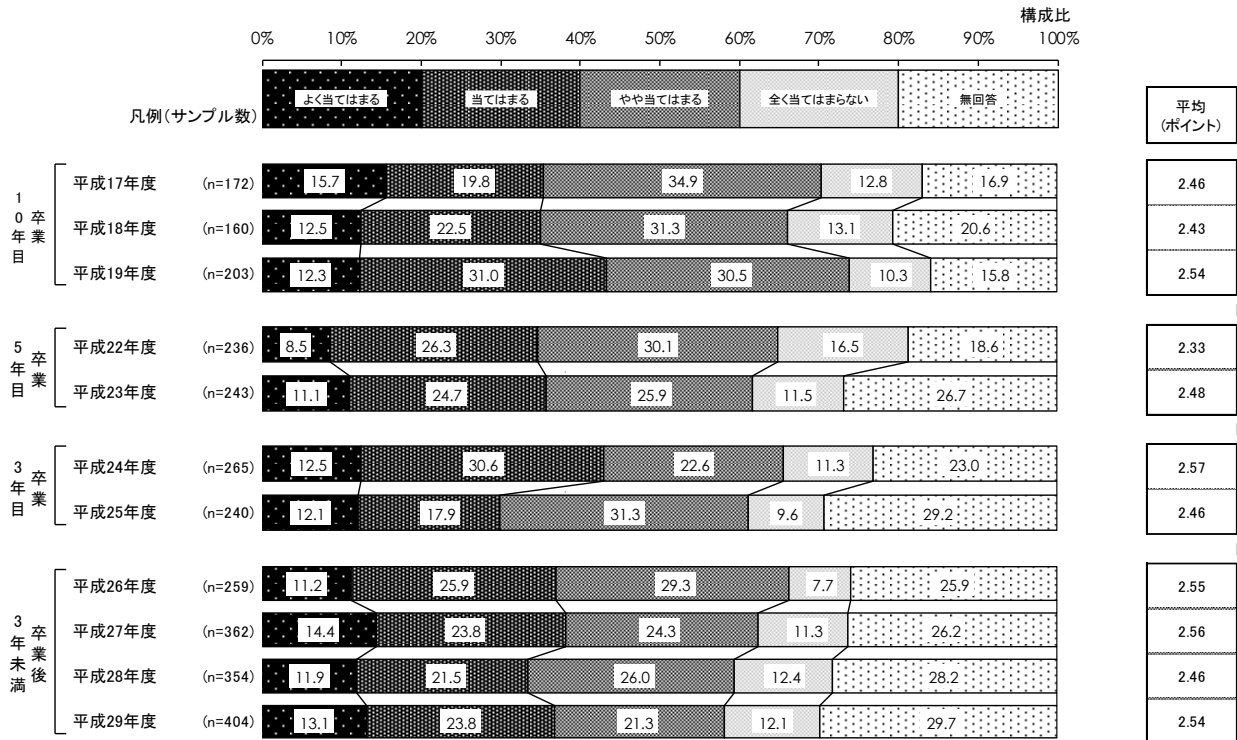
図表 3-219 相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる (SA)



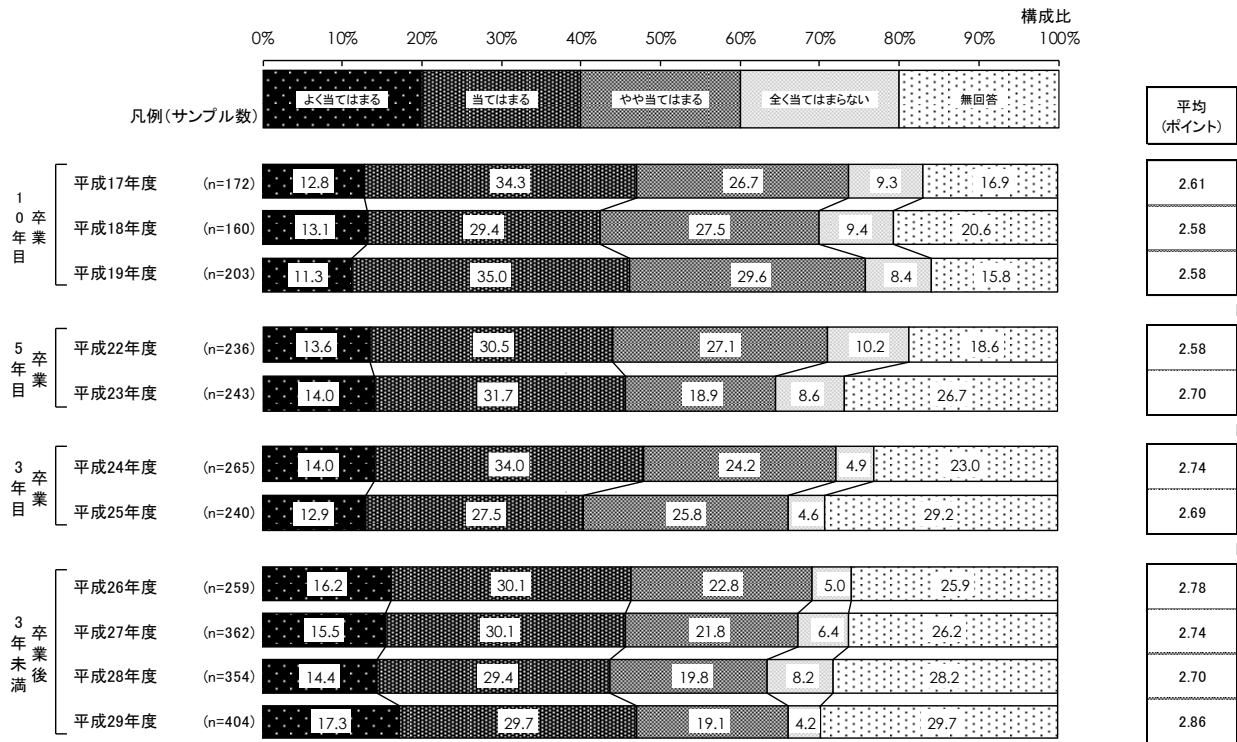
図表 3-220 周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる (SA)



図表3-221 建設的な議論となるように、チームに働きかけができる (SA)



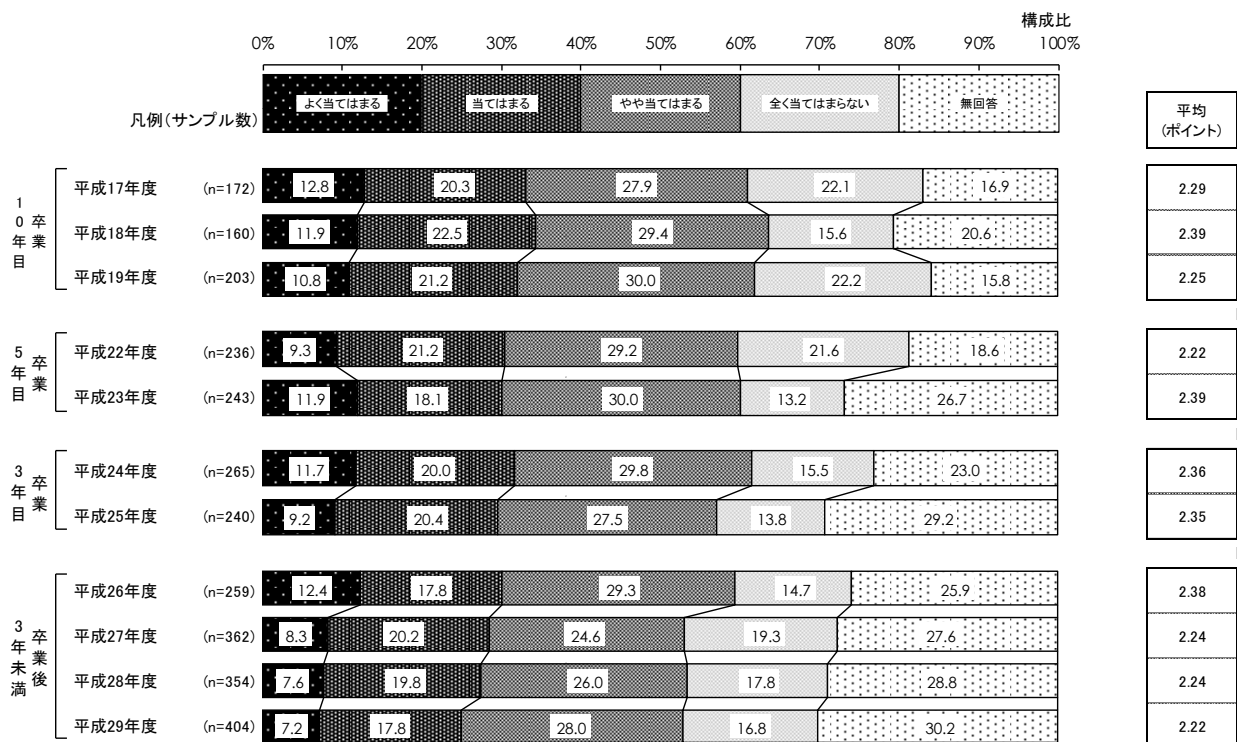
図表3-222 相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる (SA)



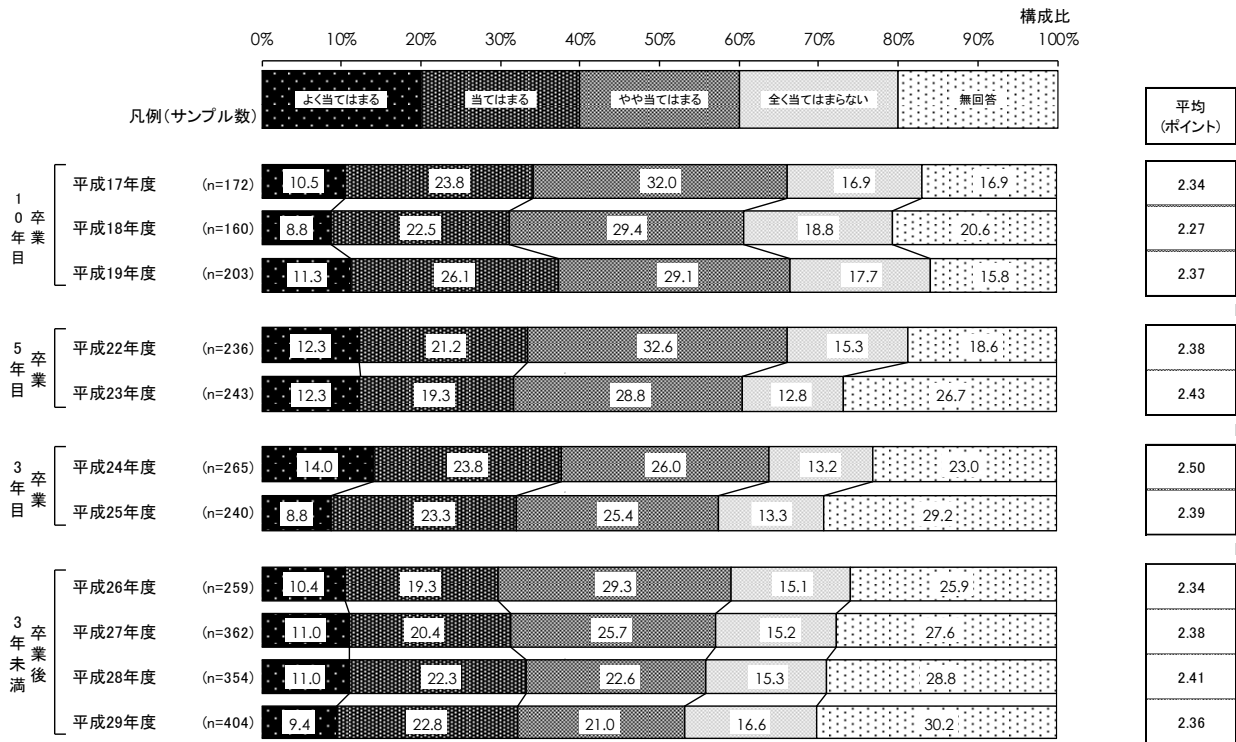
3. 学生時代に、以下のような「自己に対する行動特性」が身についたと思いますか。
(それぞれ1つ選択)

「自己に対する行動特性」について、卒業年度別の平均値に注目すると、「ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる」「自分の長所と短所を的確に把握している」「自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる」などをはじめとして、卒業3年目・卒業5年目の方が、卒業後3年未満よりも若干高い傾向が見られる。

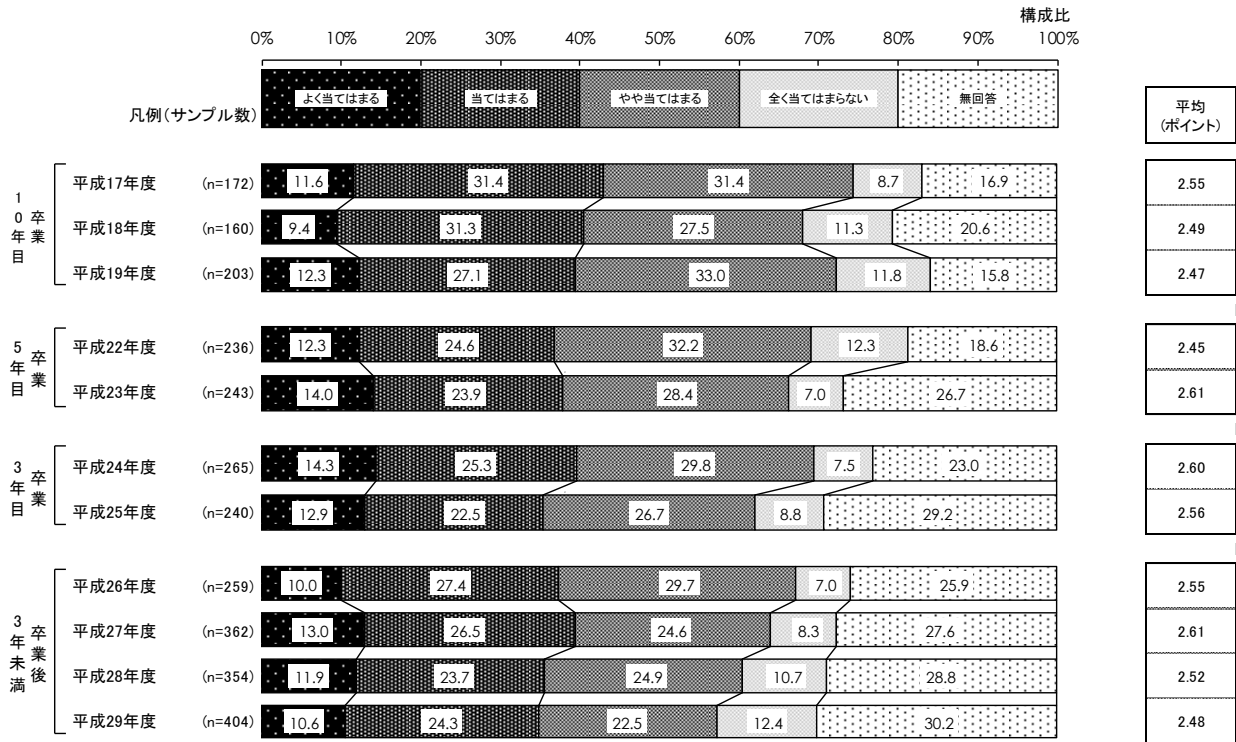
図表3-223 プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる (SA)



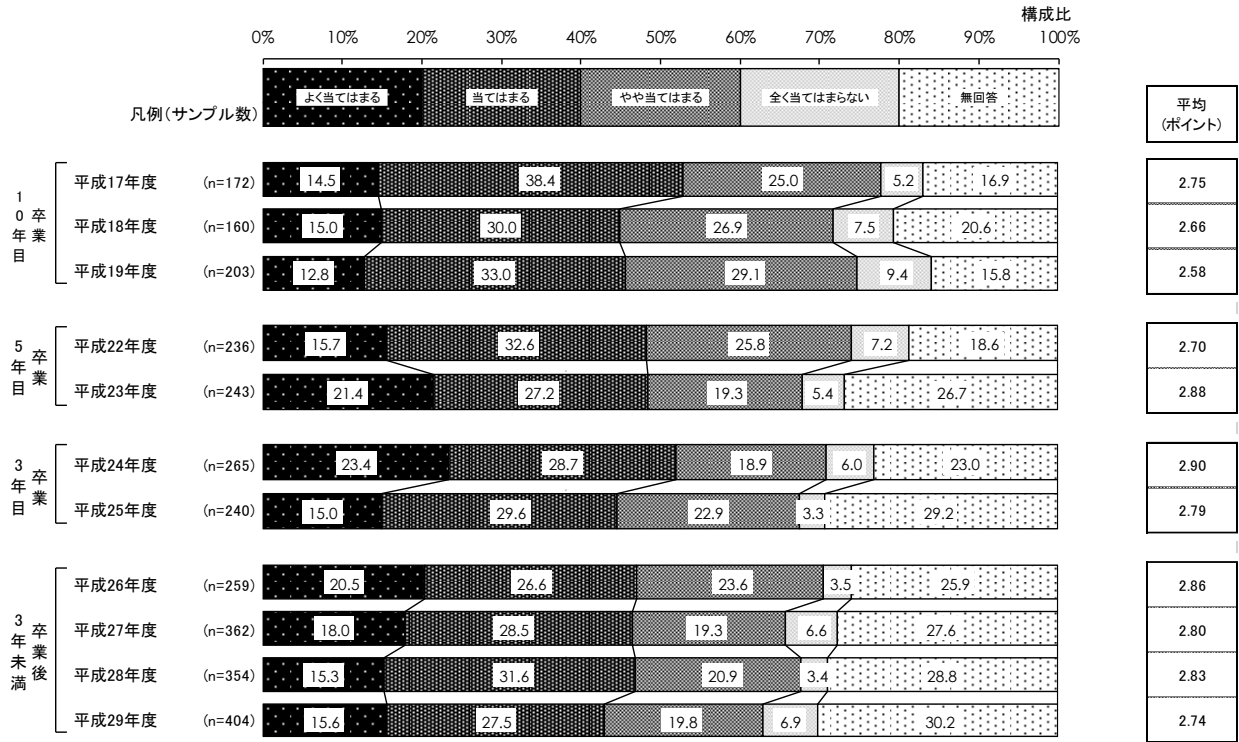
図表3-224 ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる (SA)



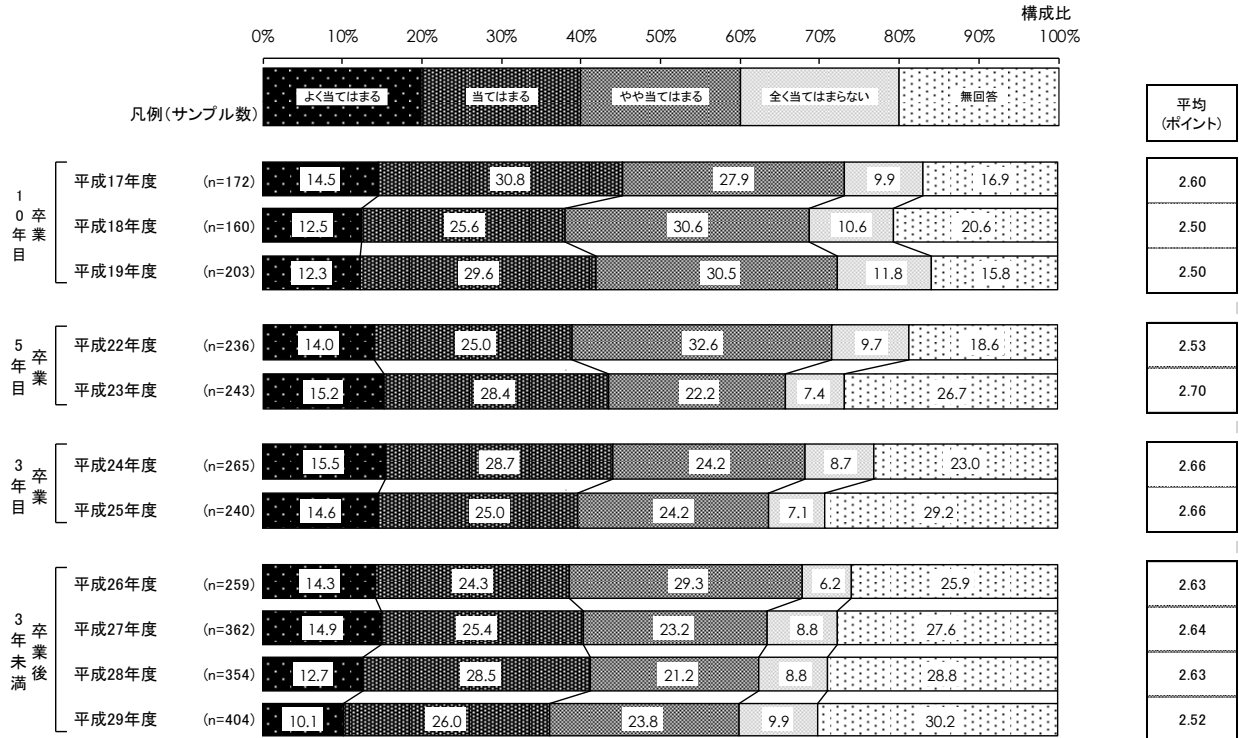
図表3-225 難しい課題に対しても前向きに取り組める (SA)



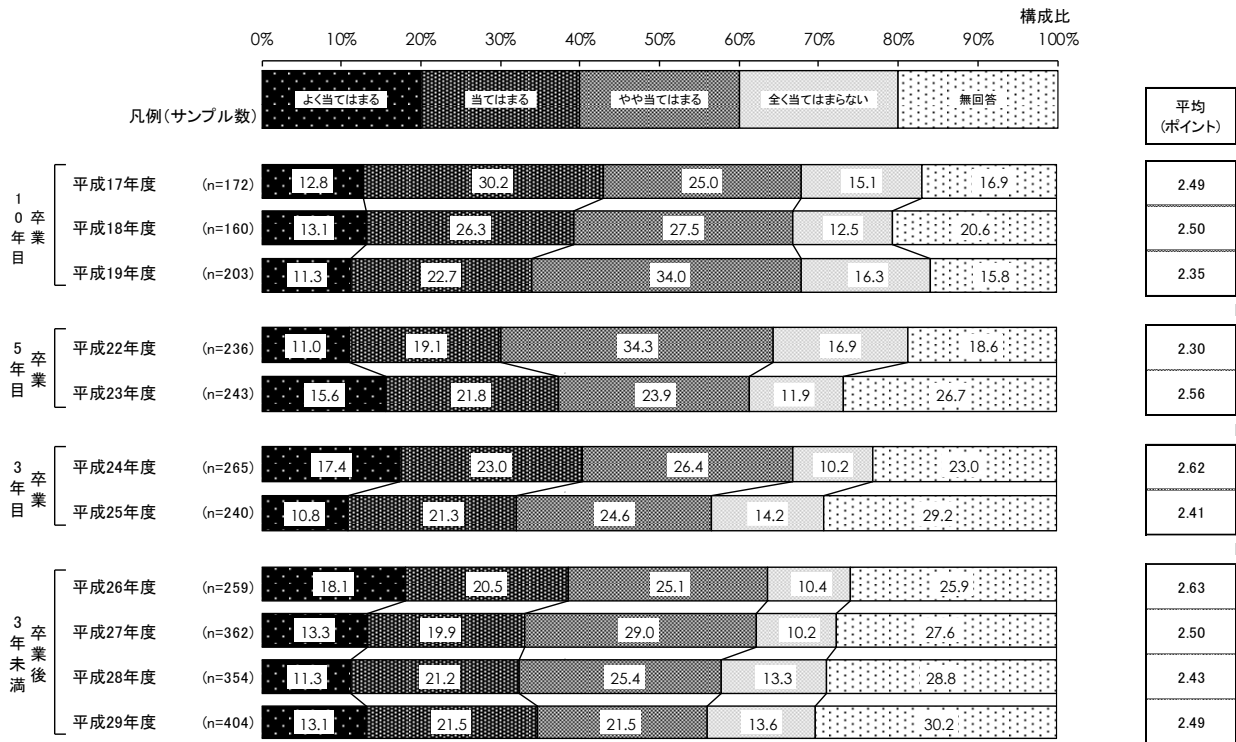
図表 3-226 自分の長所と短所を的確に把握している (SA)



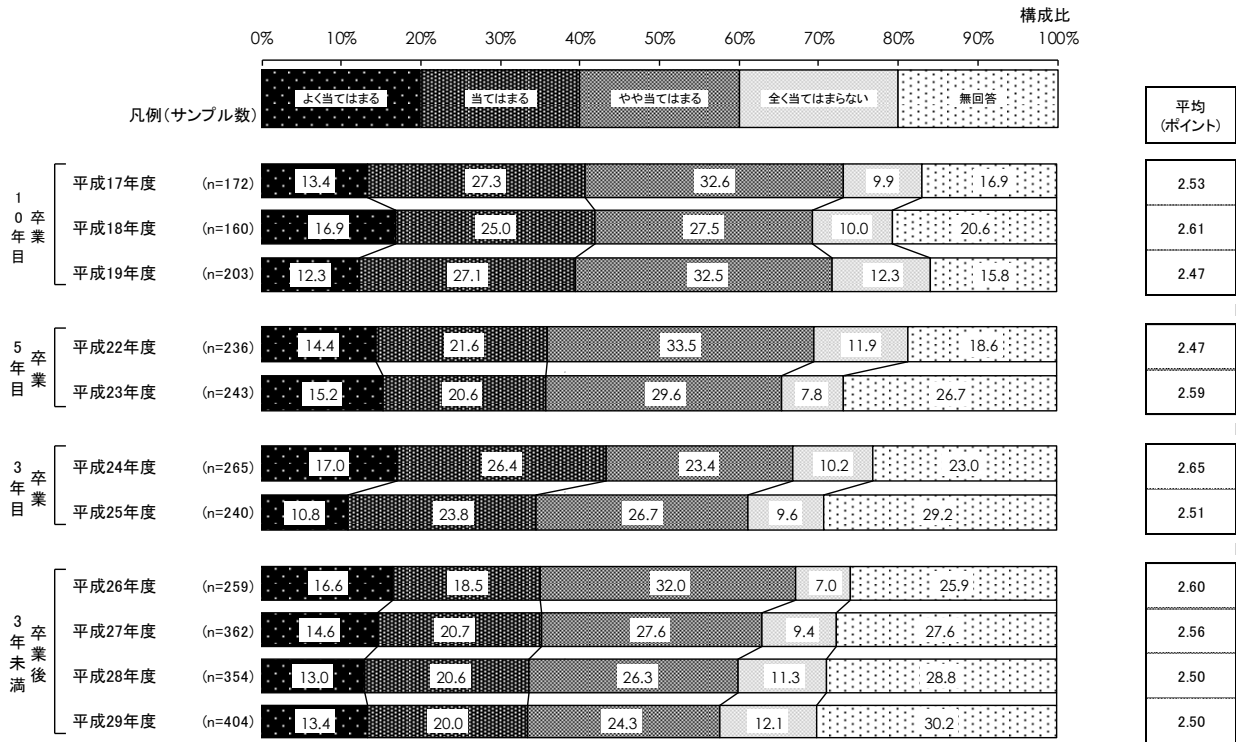
図表 3-227 自分の強みや持ち味を活かすべく行動できる (SA)



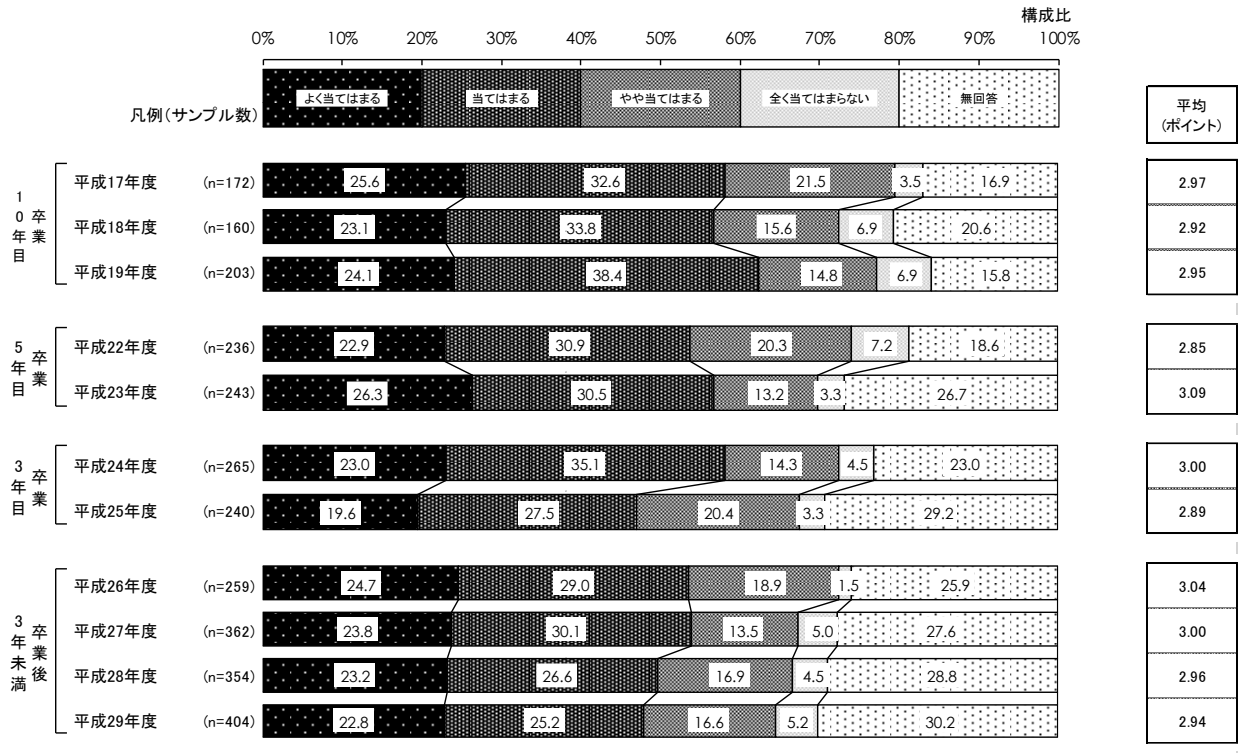
図表 3-228 未経験のことにも、臆せず取り組める (SA)



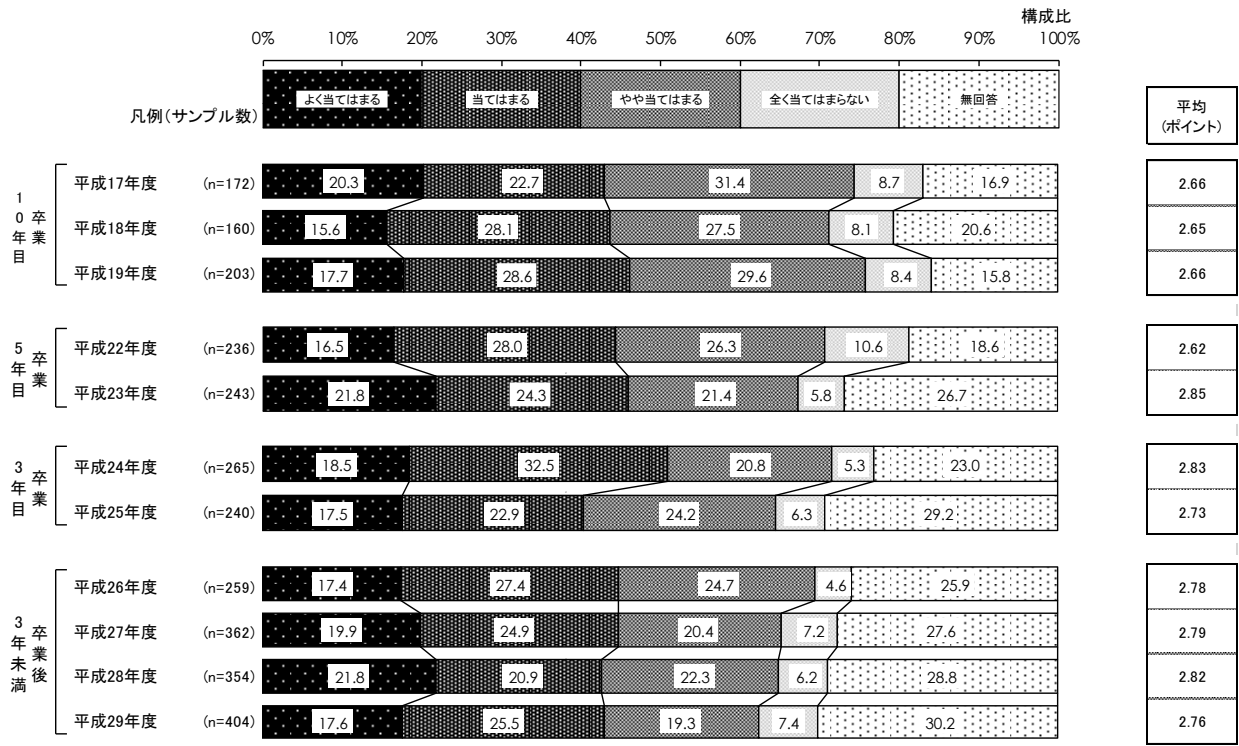
図表 3-229 自発的に行動できる (SA)



図表3-230 責任感を持ってやりとげる (SA)



図表3-231 常に主体的に学び続ける姿勢を持っている (SA)

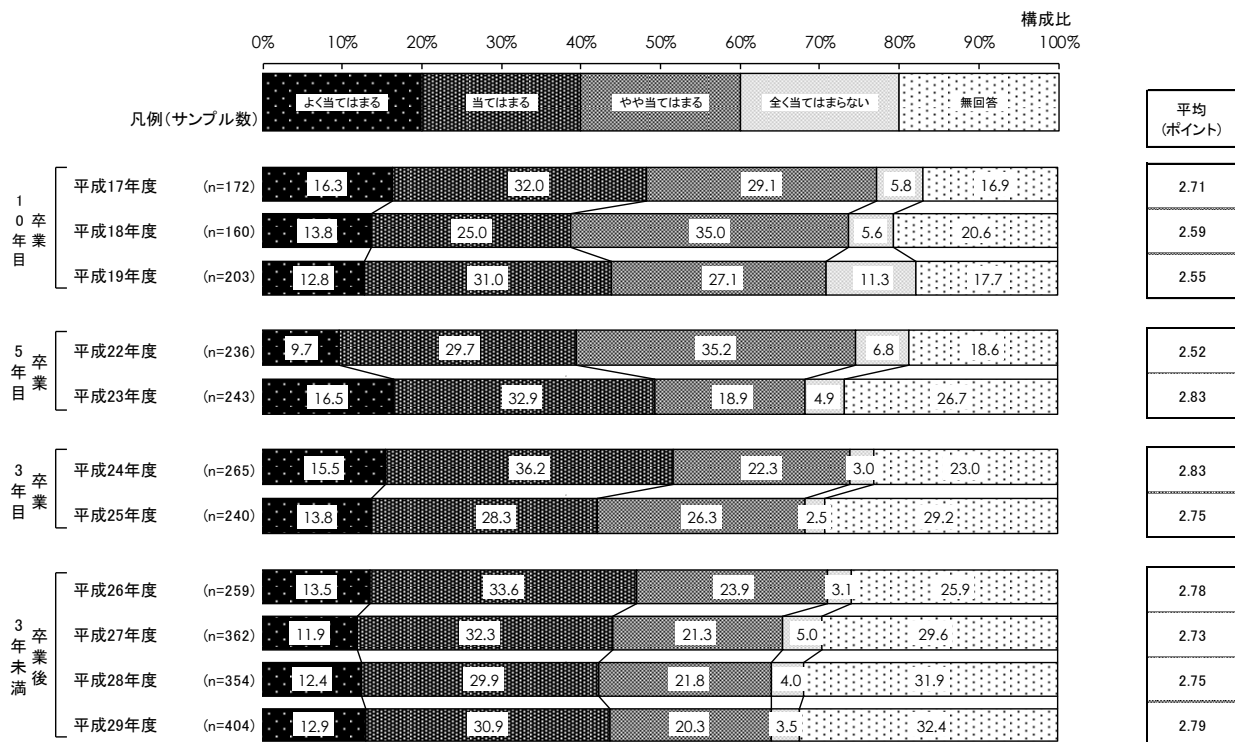


4. 学生時代に、以下のような「課題に対する行動特性」が身についたと思いますか。
(それぞれ1つ選択)

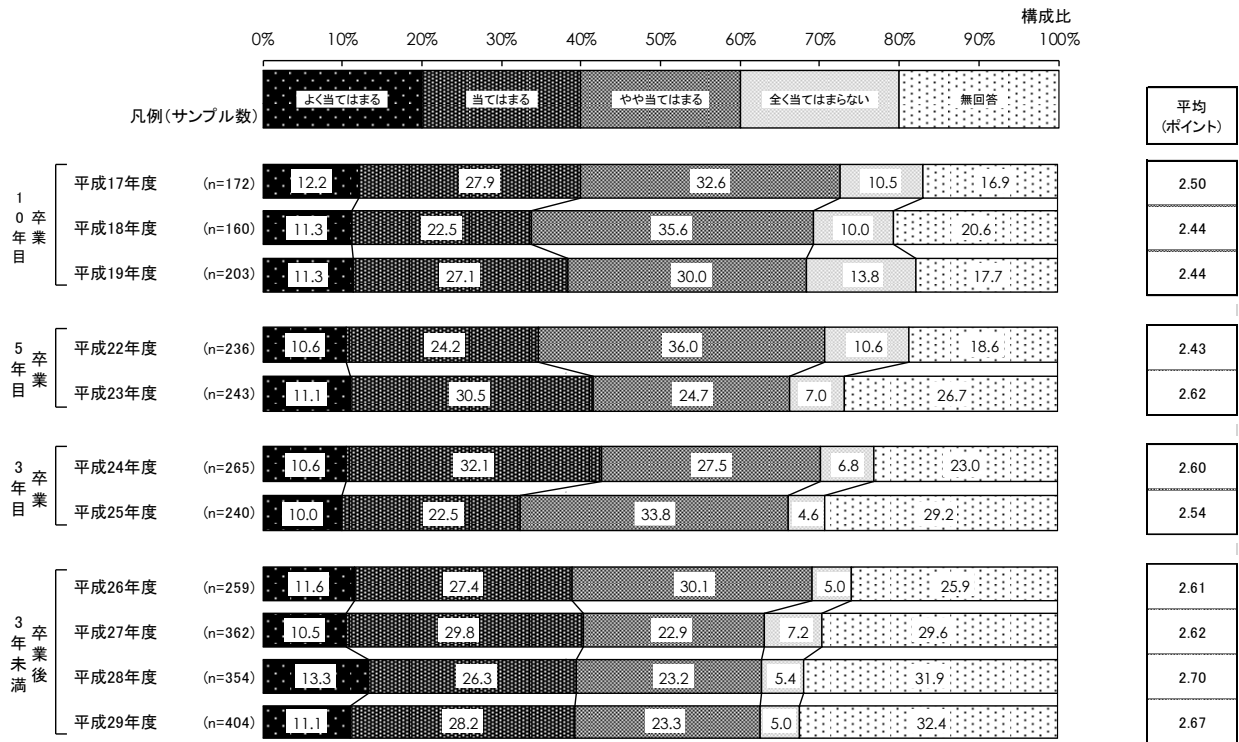
「課題に対する行動特性」について、卒業年度別の平均値に注目すると、ほとんどの能力において卒業年度が直近になるほど概ね高くなっている。

「課題に応じ、適切に情報を収集できる」は、卒業3年目、卒業5年目が比較的高くなっている。

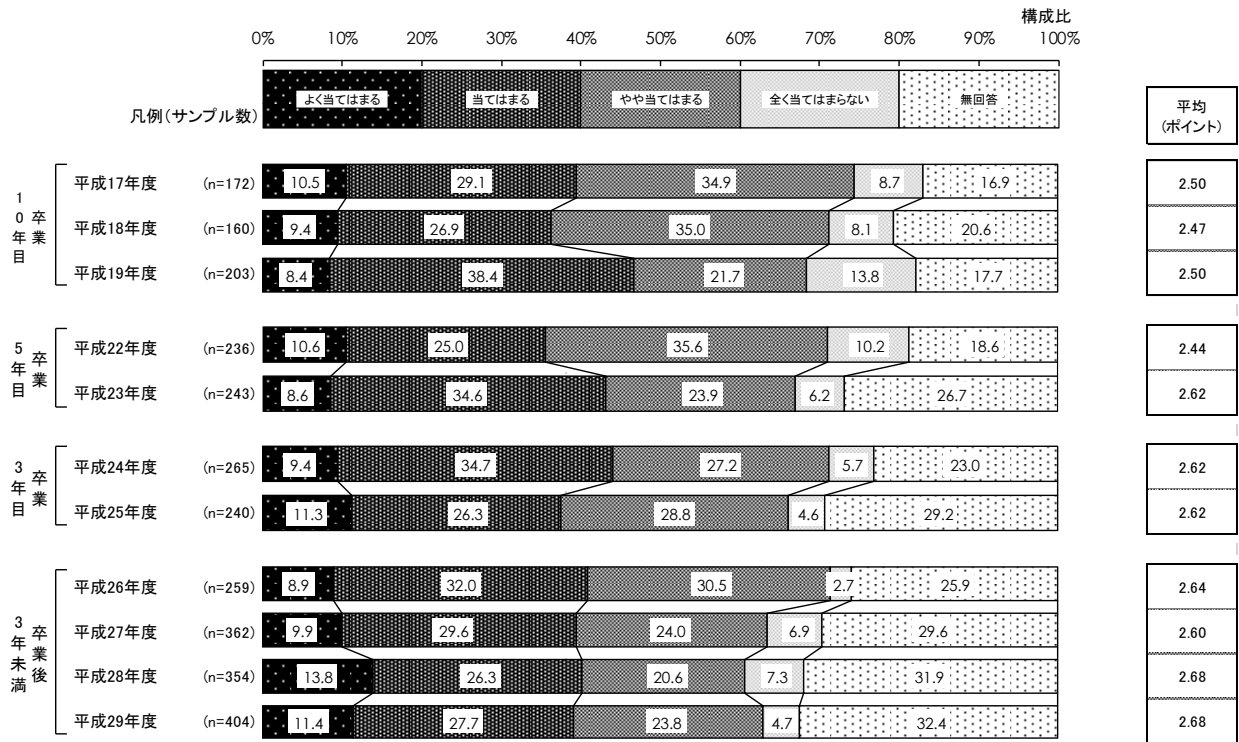
図表3-232 課題に応じ、適切に情報を収集できる（SA）



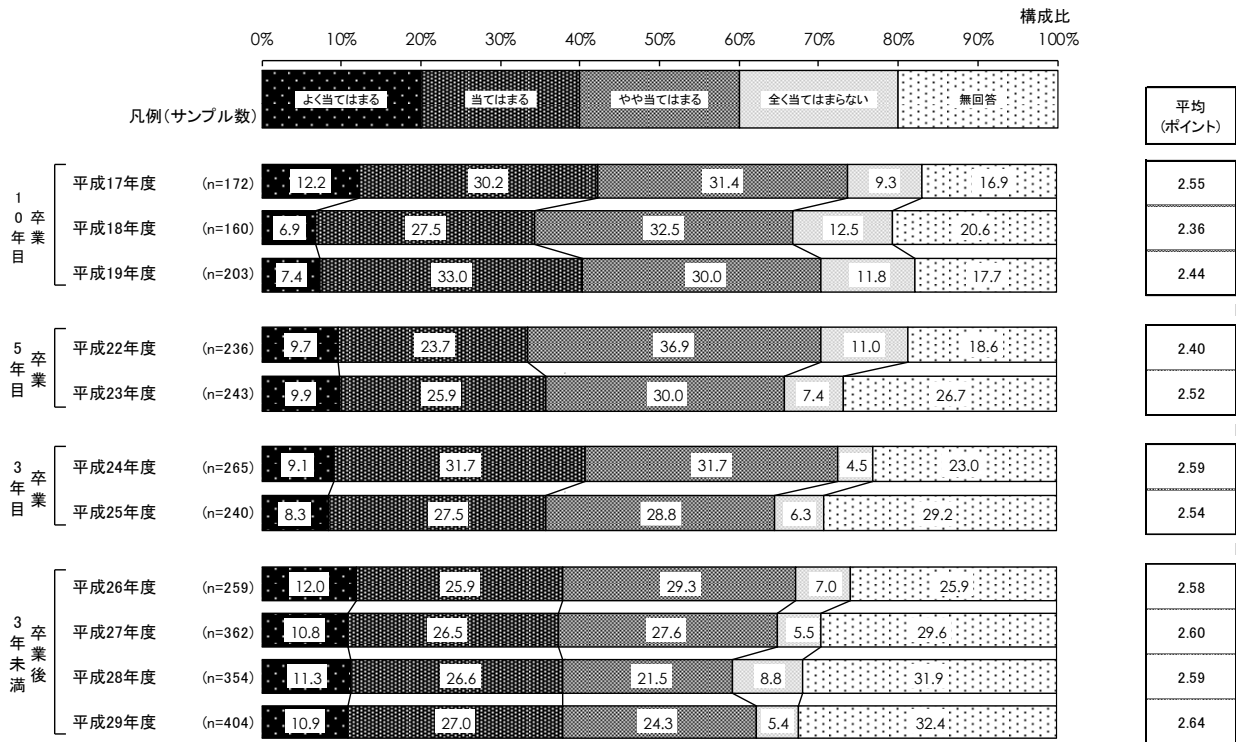
図表3-233 客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる (SA)



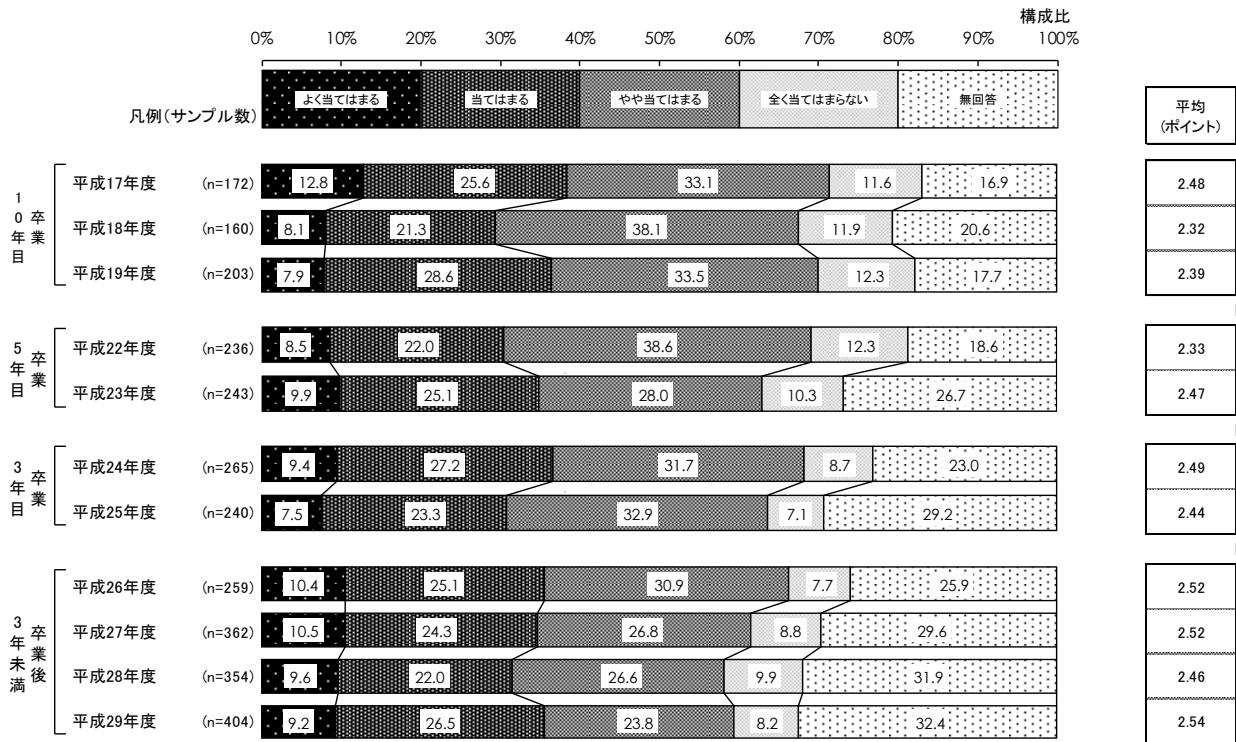
図表3-234 問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる (SA)



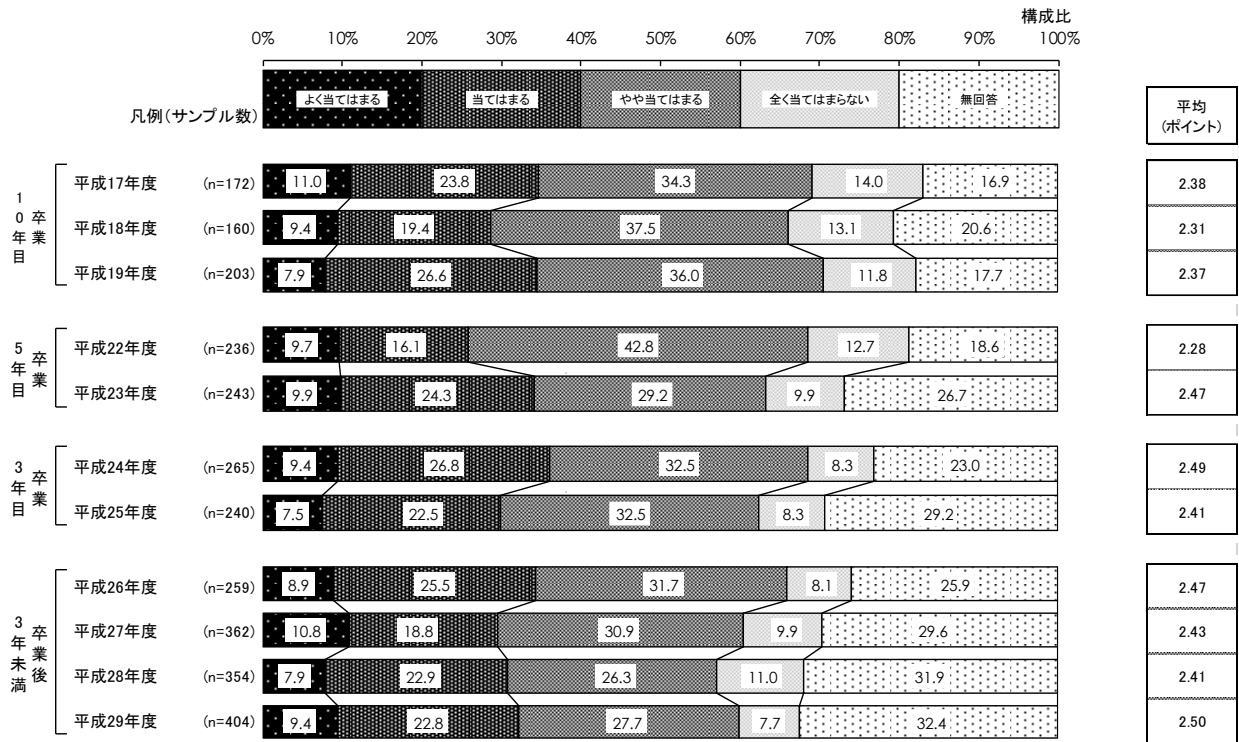
図表3-235 問題解決に向けて、明確な目標を立てられる (SA)



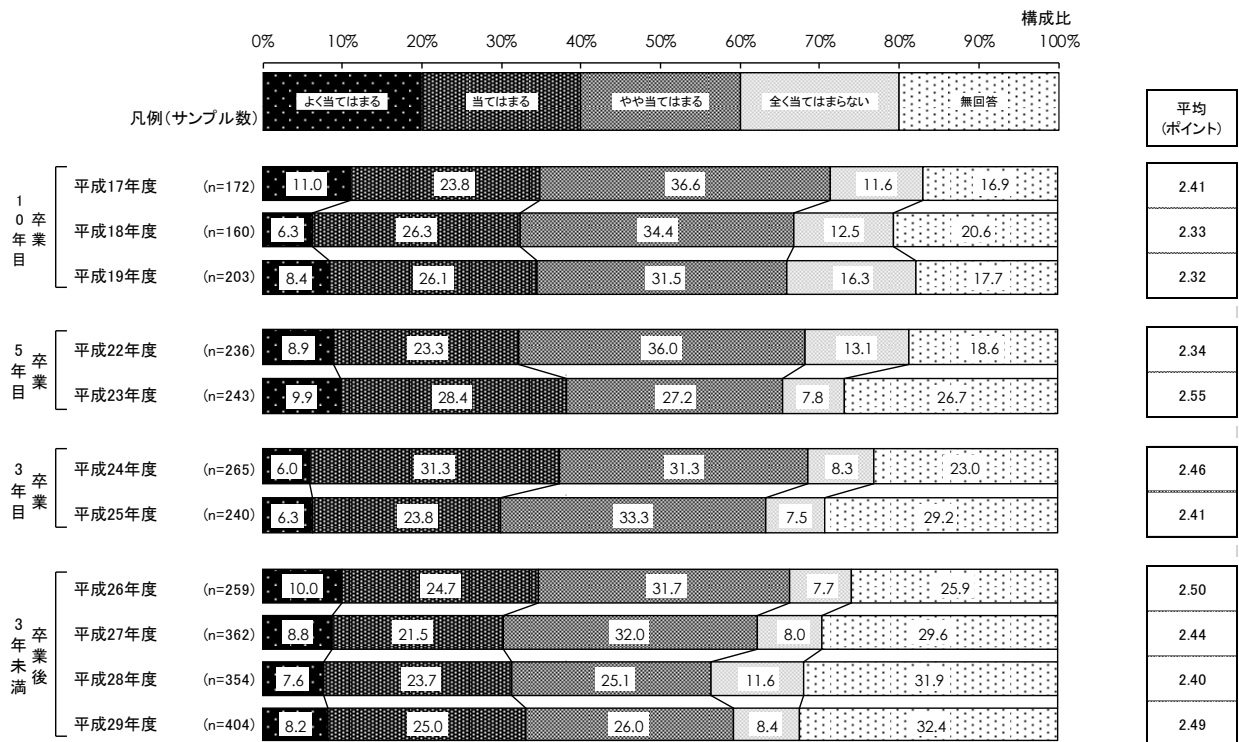
図表3-236 問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる (SA)



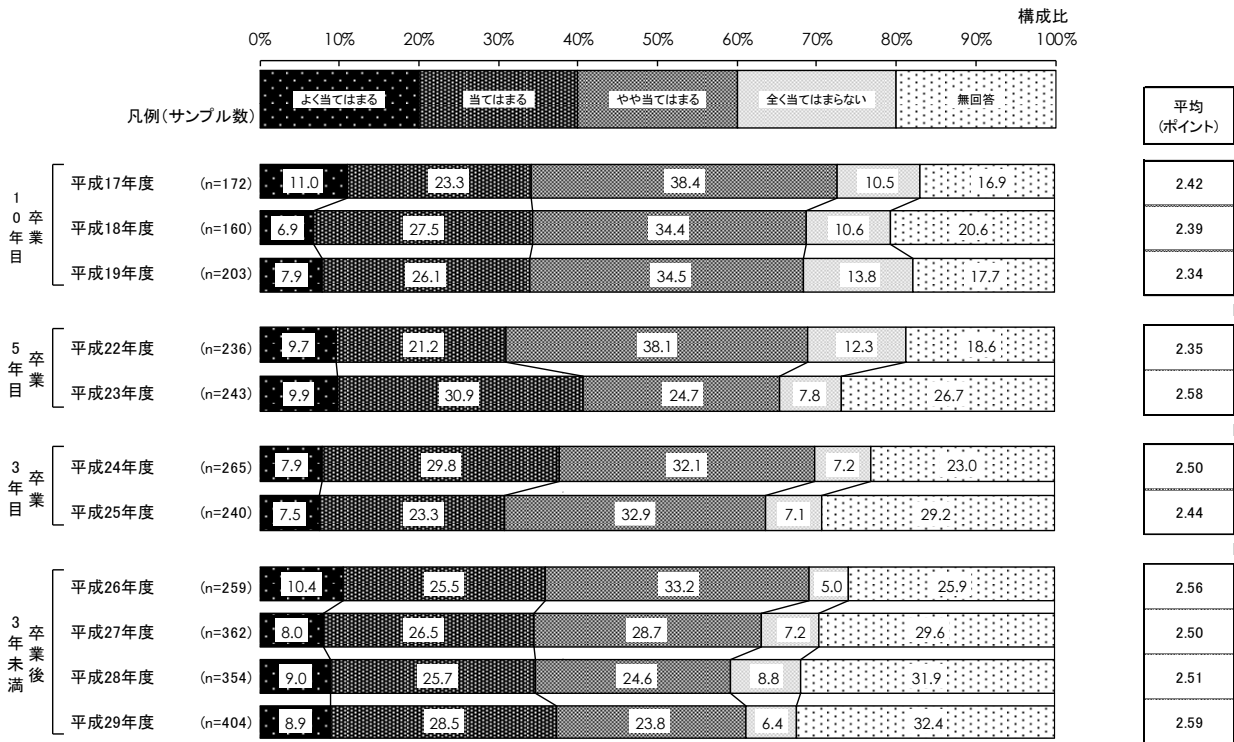
図表3-237 問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる（SA）



図表3-238 問題解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる（SA）



図表3-239 問題解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる (SA)



図表3-240 把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる (SA)

